四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第五十二冊

谷遺跡

2004. 10

香　川　県　教　育　委　員　会

日　本　道　路　公　団

四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第五十二冊

谷遺跡

2004. 10

香　川　県　教　育　委　員　会

日　本　道　路　公　団

序　　文

谷遺跡は四国横断自動車道建設（津田～引田）に伴い発掘調査が行われた香川県東かがわ市白鳥に所在する遺跡です。調査は、香川県教育委員会からの委託で、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが平成11、12年度に用地内の埋蔵文化財の発掘調査を実施し、弥生時代中期、古代、中世、近世の遺構が検出されました。特に19世紀前半の陶器窯1基と多量の陶器、窯道具が見つかったことはこの時期の陶器生産を考える上で大変興味深い資料となりました。

このたび、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが平成15年4月から平成16年3月まで実施しておりました整理事業が終了し、「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第52冊　谷遺跡」として刊行することになりました。

本報告書が本県の歴史研究の資料として広く活用されますとともに埋蔵文化財に対する理解と関心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土品の整理・報告に至るまでの間、日本道路公団及び関係諸機関並びに地元関係者各位には多大なご協力とご指導をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年10月29日

香川県埋蔵文化財調査センター
所長　中村　仁

例　　言

1．本報告書は四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第五十二冊で、香川県東かがわ市に所在する谷遺跡（たにいせき）の報告を収録した。

2．発掘調査は香川県教育委員会が日本道路公団から委託され、香川県教育委員会が調査主体、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として実施した。

3．発掘調査の期間及び担当は以下のとおりである。

予備調査 期間　平成11年3月1日～同年3月30日
担当　木下晴一、香西亮、中山尚子
期間　平成11年7月1日～同年7月30日
担当　長元茂樹、松岡宏一、中山尚子
本調査　期間　平成11年9月1日～平成12年3月31日
担当　溝渕大輔、長井博志、多田歩
期間　平成12年4月1日～平成12年8月31日
担当　蓮本和博、長井博志、中山尚子

4．調査にあたって、下記の関係諸機関の協力を得た。記して謝意を表したい。（順不同、敬称略）
香川県土木部横断自動車道対策総室、同長尾土木事務所横断道対策課、白鳥町横断道対策室、白鳥町教育委員会、地元対策協議会、地元自治会

5．報告書の作成にあたっては下記の方々のご教示を得た。記して謝意を表したい。
九州陶磁文化館　大橋康二　　吹田市立博物館　藤原　学　　国際航業株式会社　稲垣正宏
鳴門工業高校　日下正剛

6. 本報告書の作成は、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが実施した。
本報告書の執筆・編集は長井博志が担当した。
なお、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが平成15年度末に廃止となったため、報告書刊行業務は香川県埋蔵文化財センターが実施した。

7．本報告書で用いる方位の北は、国土座標系第Ⅳ系の北であり、標高はＴ．Ｐ．を基準としている。
また、遺構は下記の略号により表示している。
ＳＨ…竪穴住居　　ＳＢ…掘立柱建物　ＳＦ…窯　　ＳＫ…土坑　　ＳＤ…溝状遺構
ＳＸ…不明遺構　　ＳＰ…柱穴

8. 石器実測図中、スクリーントーンを貼った部分は摩滅痕を、輪郭線の回りの実線は潰れを表す。なお、現代の欠損は濃く黒で潰している。石器石材は特に表記がない限り、サヌカイトである。

9. 挿図の一部に国土地理院地形図　三本松及び引田（1/25,000）を使用した。

10. 本遺跡の報告にあたっては下記の機関に分析を依頼し、玉稿をいただいた。
胎土分析　　岡山理科大学　白石純

11. 遺構断面図の水平線上の数値は、水平線の標高値（単位m）である。

12. 土器観察表の中の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖　1992年度版』を使用して表す。また、残存率は遺物の図下部分に占める割合であり、完形品に対する割合ではない。

13. 報告書で用いる窯道具実測図の破線は以下の意味で使用している。
・・・・・・・・・・・・・・被熱度の違い（焼けムラ。円形を呈する場合は陶器・窯道具痕。）
—-—-—-—（自然）釉付着（陶器の場合は施釉範囲。）
・・・・・・・・（粘土塊の）剥がれた痕。（サヤ鉢では設置痕）

本文目次

序文
例言

第１章　調査の経緯
　第１節　調査に至る経過 …… 1
　第２節　調査の経過と体制 …… 5
　　1　調査の経過 …… 5
　　2　発掘調査及び整理作業の体制 …… 5
第２章　立地と環境
　第１節 地理的環境 …… 7
　第２節 歴史的環境 …… 8
　第３節 予備調査 …… 8
　第４節 調査の方法 …… 10
第３章　調査の成果
　第１節　土層序と地形 …… 12
　第２節　Ⅰ区の調査成果 …… 23
　第３節　Ⅱ区の調査成果 …… 37
　第４節　Ⅲ区の調査成果 …… 49
　第５節　Ⅳ区の調査成果 …… 57
第４章　自然科学的分析
　　谷遺跡出土遺物の胎土分析 …… 163
第５章　まとめ
　第１節 遺構の変遷 …… 176
　第２節 ＳＦ01の検討 …… 180
　　1　窯体構築材について …… 180
　　2　窯の構築方法と順序 …… 180
　　3　改築について …… 183
　　4　５室の用途について …… 183
　第３節 ＳＦ01関連遺物の検討 …… 185
　　1　陶器の器種と類型 …… 185
　　2　窯道具の器種と類型 …… 188
　　3　窯詰めについて …… 196
　　4　陶器、窯道具の器種組成について …… 197
　第４節 吉金窯跡との比較 …… 206

谷遺跡遺構番号変更一覧表 …… 208
Ⅰ～Ⅲ区　土器観察表 (1) ～ (6) …… 209
Ⅰ～Ⅲ区　石器観察表 …… 215
Ⅰ～Ⅲ区　銭観察表 …… 215
Ⅰ～Ⅲ区　鉄製品観察表 …… 215
Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表 (1) ～ (19) …… 216
Ⅳ区　窯道具・窯構築材観察表　(1) ～ (25) …… 235
Ⅳ区　瓦観察表 (1) (2) …… 260
Ⅳ区　石器観察表 …… 262
Ⅳ区　鉄製品観察表 …… 262
写真図版
報告書抄録
付図２枚

挿図目次

第１章　調査の経緯

第１図　四国横断自動車道（津田～引田）埋蔵文化財包蔵地（遺跡名番号）……2

第２章　立地と環境

第２図　谷遺跡位置図(1/600,000)……7
第３図　谷遺跡の位置及び周辺遺跡分布図(1/25,000)……8
第４図　谷遺跡周辺地形図（1/5,000）……9

第３章　調査の成果

第５図　予備調査トレンチ配置図……10
第６図　予備調査土層柱状図(1/40)……11
第７図　調査前地形測量図(1/250)……13
第８図　Ⅳ区グリット配置図（1/250）……14
第９図　Ⅰ区予備調査２トレンチ土層図（1/60）……15～16
第10図　Ⅰ・Ⅲ区北壁土層図（1/60）…17～18
第11図　Ⅳ区東西ベルト北土層図（1/60）……19～20
第12図　Ⅳ区南北ベルト（西）北部土層図，A3b-A4bグリッドベルト土層図（1/60）……22
第13図　Ⅰ区遺構配置図(1/300)……24
第14図　Ⅰ区ＳＨ01，ＳＨ01内ＳＫ01平・断面図(1/60)，出土遺物実測図(1/4)……25
第15図　Ⅰ区ＳＨ02，ＳＨ02内ＳＫ01，ＳＫ02平・断面図（1/60）（1/30），出土遺物実測図（1/4）……26
第16図　Ⅰ区ＳＨ02出土遺物実測図(1/2)(1/4)……27
第17図　Ⅰ区ＳＢ01平・断面図(1/80)……28
第18図　Ⅰ区ＳＤ01～ＳＤ08断面図（1/40），出土遺物実測図(1/2)(1/4)……29
第19図　Ⅰ区ＳＫ01平・断面図（1/20），出土遺物実測図(1/4)……30
第20図　Ⅰ区ＳＫ02，ＳＫ03平・断面図（1/20），出土遺物実測図(1/2)(1/4)……31
第21図　Ⅰ区ＳＫ04平・断面図（1/20），出土遺物実測図(1/2)(1/4)……32
第22図　Ⅰ区ＳＰ出土遺物実測図（1/2）（1/4）……33
第23図　Ⅰ区１面包含層出土遺物実測図（1/4）……35
第24図　Ⅰ区１面・２面包含層出土遺物実測図(1/2)(1/3)(1/4)……36
第25図　Ⅱ区遺構配置図(1/300)……37
第26図　Ⅱ区ＳＢ01平・断面図(1/80)……38
第27図　Ⅱ区ＳＢ02平・断面図（1/80），出土遺物実測図(1/4)……39
第28図　Ⅱ区ＳＢ03平・断面図(1/80)……39
第29図　Ⅱ区ＳＢ04平・断面図(1/80)……39
第30図　Ⅱ区ＳＢ05平・断面図(1/80)……40
第31図　Ⅱ区ＳＢ06平・断面図(1/80)……40
第32図　Ⅱ区ＳＤ01～03断面図（1/40），出土遺物実測図(1/4)……41
第33図　Ⅱ区ＳＫ01平・断面図（1/20），出土遺物実測図（1/4）……42
第34図　Ⅱ区ＳＫ02平・断面図(1/20)……42
第35図　Ⅱ区ＳＫ04平・断面図(1/20)……42
第36図　Ⅱ区ＳＫ03平・断面図（1/20），出土遺物実測図（1/4）……43
第37図　Ⅱ区ＳＰ01平・断面図（1/10），ＳＰ出土遺物実測図(1/2)(1/4)……45
第38図　Ⅱ区ＳＰ67，ＳＰ72平・断面図（1/10），出土遺物実測図(1/4)……46
第39図　Ⅱ区ＳＰ出土遺物実測図（1/2）（1/4）……47
第40図　Ⅱ区１面・２面包含層出土遺物実測図(1/2)(1/4)……47
第41図　Ⅲ区遺構配置図(1/300)……48
第42図　Ⅲ区ＳＢ01平・断面図（1/80），出土遺物実測図(1/4)……49
第43図　Ⅲ区ＳＫ01平・断面図（1/20），出土遺物実測図(1/4)……50
第44図　Ⅲ区ＳＫ02平・断面図(1/20)……51
第45図　Ⅲ区ＳＫ03平・断面図(1/30)……51
第46図　Ⅲ区ＳＫ06平・断面図(1/30)……51
第47図　Ⅲ区ＳＫ04平・断面図(1/30)……52
第48図　Ⅲ区ＳＫ05平・断面図（1/20），出土遺物実測図(1/4)……52
第49図　Ⅲ区ＳＫ07平・断面図（1/40），出土遺

物実測図(1/4)……53
第50図　Ⅲ区ＳＰ出土遺物実測図(1/4)……54
第51図　Ⅰ～Ⅲ区ＳＸ02，Ⅲ区１面・２面包含層出土遺物実測図(1/3)(1/4)…56
第52図　Ⅳ区遺構配置図(1/300)……58
第53図　Ⅳ区ＳＫ12・ＳＸ01平・断面図(1/40)，ＳＸ01出土遺物(1/4)……59
第54図　Ⅳ区ＳＦ01平・南北断面図，階段状遺構平・立・断面図(1/60)……61～62
第55図　Ⅳ区ＳＦ01東西断面図，ＳＤ01断面図(1/60)……65
第56図　Ⅳ区ＳＦ01燃焼室・１・２・３室遺物出土状況(1/30)……66
第57図　Ⅳ区ＳＦ01　４・５室遺物出土状況(1/30)……67
第58図　Ⅳ区ＳＦ01奥壁立面図(1/40)……68
第59図　Ⅳ区ＳＦ01奥壁被熱状況(1/40)……69
第60図　Ⅳ区ＳＦ01　１～５室西側壁立面図(1/40)(1/80)……70
第61図　Ⅳ区ＳＦ01西側壁被熱状況(1/40)…71
第62図　覆い屋ＳＰ平・断面図(1/20)……72
第63図　Ⅳ区ＳＦ01燃焼室出土遺物１(1/4)……73
第64図　Ⅳ区ＳＦ01燃焼室出土遺物２(1/4)……74
第65図　Ⅳ区ＳＦ01　１室出土遺物１(1/4)…75
第66図　Ⅳ区ＳＦ01　１室出土遺物2，２室出土遺物１(1/4)……76
第67図　Ⅳ区ＳＦ01　２室出土遺物２(1/4)…77
第68図　Ⅳ区ＳＦ01　３室出土遺物１(1/4)…78
第69図　Ⅳ区ＳＦ01　３室出土遺物２(1/4)…79
第70図　Ⅳ区ＳＦ01　３室出土遺物３(1/4)…80
第71図　Ⅳ区ＳＦ01　３室出土遺物4，４室出土遺物１(1/4)……81
第72図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物２(1/4)…82
第73図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物３(1/4)…83
第74図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物４(1/4)…84
第75図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物５(1/4)…85
第76図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物６(1/4)…86
第77図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物７(1/4)…87
第78図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物8，５室出土遺物１(1/4)……88
第79図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物２(1/4)…89
第80図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物３(1/4)…90
第81図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物４(1/4)…91
第82図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物５(1/4)…92
第83図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物６(1/4)…93
第84図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物７(1/4)…94
第85図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物８(1/4)…95
第86図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物９(1/4)…96
第87図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物10，煙出し出土遺物１(1/4)……97
第88図　Ⅳ区ＳＦ01　煙出し出土遺物２(1/4)……98
第89図　Ⅳ区ＳＦ01　関連遺構，上面精査出土遺物(1/4)……99
第90図　Ⅳ区ＳＤ01遺物出土状況(1/30)……100
第91図　Ⅳ区ＳＤ01西側出土遺物１(1/4)…101
第92図　Ⅳ区ＳＤ01西側出土遺物２(1/4)…102
第93図　Ⅳ区ＳＤ01西側出土遺物３(1/4)…103
第94図　Ⅳ区ＳＤ01西側出土遺物４(1/4)…104
第95図　Ⅳ区ＳＤ01南側出土遺物１(1/4)…105
第96図　Ⅳ区ＳＤ01南側出土遺物２(1/4)…106
第97図　Ⅳ区ＳＤ03，ＳＤ04平・断面図(1/40)……107
第98図　Ⅳ区ＳＤ03出土遺物(1/4)……108
第99図　Ⅳ区ＳＤ04出土遺物(1/4)……109
第100図　Ⅳ区ＳＫ01平・断面図(1/30)……110
第101図　Ⅳ区ＳＫ01出土遺物１(1/4)……111
第102図　Ⅳ区ＳＫ01出土遺物２(1/4)……112
第103図　Ⅳ区ＳＫ02平・断面図(1/20)……113
第104図　Ⅳ区ＳＫ02出土遺物(1/4)……114
第105図　Ⅳ区ＳＫ03平・断面図(1/20)……115
第106図　Ⅳ区ＳＫ04平・断面図(1/20)……115
第107図　Ⅳ区ＳＫ06，ＳＤ02平・断面図(1/30)……115
第108図　Ⅳ区ＳＫ03出土遺物１(1/4)……116
第109図　Ⅳ区ＳＫ03出土遺物２(1/4)……117
第110図　Ⅳ区ＳＫ04出土遺物(1/4)……117
第111図　Ⅳ区ＳＫ05，ＳＫ07，ＳＫ08平・断面図(1/30)……119
第112図　Ⅳ区ＳＫ09平・断面図(1/30)……119
第113図　Ⅳ区ＳＫ05出土遺物1(1/4)……120
第114図　Ⅳ区ＳＫ05出土遺物2(1/4)……121
第115図　Ⅳ区ＳＫ06出土遺物(1/4)……121
第116図　Ⅳ区ＳＫ07出土遺物1(1/4)……122
第117図　Ⅳ区ＳＫ07出土遺物2(1/4)……123
第118図　Ⅳ区ＳＫ08出土遺物(1/4)……124
第119図　Ⅳ区ＳＫ09，ＳＫ10出土遺物(1/4)……125
第120図　Ⅳ区ＳＫ11，ＳＸ03平・断面図(1/40)……126
第121図　Ⅳ区ＳＫ11出土遺物(1/4)……127
第122図　Ⅳ区ＳＸ02平・断面図(1/40)……128

第123図　Ⅳ区ＳＸ02出土遺物１(1/4)……129
第124図　Ⅳ区ＳＸ02出土遺物２(1/4)……130
第125図　Ⅳ区ＳＸ03出土遺物１(1/4)……131
第126図　Ⅳ区ＳＸ03出土遺物２(1/4)……132
第127図　Ⅳ区ＳＸ04平・断面図(1/40)，ＳＸ04出土遺物１(1/4) ……133
第128図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物２(1/4)……134
第129図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物３(1/4)……135
第130図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物４(1/4)……136
第131図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物５(1/4)……137
第132図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物６(1/4,1/2)…138
第133図　Ⅳ区ＳＸ05平・断面図(1/30)……139
第134図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物１(1/4)……140
第135図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物２(1/4)……141
第136図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物３(1/4)……142
第137図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物４(1/4)……143
第138図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物５(1/4)……144
第139図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物６(1/4)……145
第140図　Ⅳ区ＳＸ06平・断面図(1/40)，出土遺物(1/4)……146
第141図　Ⅳ区包含層A1a・A1b,A2a・A2b出土遺物(1/4)……147
第142図　Ⅳ区包含層A2c・A3c・A3d出土遺物(1/4)……148
第143図　Ⅳ区包含層A3a・A3b出土遺物(1/4,1/2)……149
第144図　Ⅳ区包含層A3b，A4a・A4b，撹乱２出土遺物 (1/4) ……150
第145図　Ⅳ区包含層B1，B1・C1出土遺物 (1/4)……151
第146図　Ⅳ区包含層B2出土遺物(1/4)……152
第147図　Ⅳ区包含層B3出土遺物(1/4)……153
第148図　Ⅳ区包含層B4出土遺物１(1/4)…154
第149図　Ⅳ区包含層B4出土遺物２(1/4)…155
第150図　Ⅳ区包含層B4出土遺物３(1/4)…156
第151図　Ⅳ区包含層B4出土遺物４(1/4)…157
第152図　Ⅳ区包含層B4出土遺物５(1/6，1/4，1/2) ……158
第153図　Ⅳ区包含層B4・C4出土遺物(1/4)‥159
第154図　Ⅳ区包含層C1，C2，D3，出土位置不明，予備調査出土遺物(1/4)……160
第155図　Ⅳ区包含層C3・C4出土遺物(1/4)‥161
第156図　Ⅳ区撹乱出土遺物(1/4)……162

第４章　自然科学的分析

第157図　谷窯跡内での胎土比較（K-Ca散布図）……167
第158図　谷窯跡内での胎土比較（Zr-Sr散布図）……167
第159図　谷遺跡出土軟質施釉陶器とその他陶器の胎土比較（K-Ca散布図）……168
第160図　谷遺跡出土軟質施釉陶器とその他陶器の胎土比較(Zr-Sr散布図)……168
第161図　谷遺跡と他遺跡出土陶器との胎土比較(K-Ca散布図)……169
第162図　谷遺跡と他遺跡出土陶器との胎土比較(Zr-Sr散布図) ……169
第163図　胎土分析遺物写真（１)……170
第164図　胎土分析遺物写真（２)……171
第165図　谷遺跡胎土分析遺物１(1/4，1/8)‥172
第166図　谷遺跡胎土分析遺物２(1/4，1/8)‥173
第167図　谷遺跡胎土分析遺物３(1/4，1/8)‥174
第168図　谷遺跡Ⅳ区ＳＦ01胎土分析試料採取位置図(1/40)……175
第169図　空港跡地遺跡Ｄ地区胎土分析遺物(1/4)……175

第５章　まとめ

第170図　谷遺跡遺構変遷図(1/800)‥177～178
第171図　ＳＦ01構築順序図……182
第172図　陶器器種分類図（１）碗・汁次・徳利・鉢(1/4)……189
第173図　陶器器種分類図（２）鉢・擂鉢・行平鍋・鍋蓋(1/4)……190
第174図　陶器器種分類図（３）土鍋・土瓶・急須・土瓶蓋(1/4)……191
第175図　陶器器種分類図（４）茶入れ・蓋・灯明皿・花生・香炉・仏花瓶・水注・ロクロ軸受け・合子・水滴 (1/4) ……192
第176図　陶器器種分類図（５）甕・底部・植木鉢(1/4)……193
第177図　吉金窯跡出土陶器(1/4)……194
第178図　窯道具器種分類図（１）サヤ鉢・敷板(1/4)……198
第179図　窯道具器種分類図（２）敷板・焼き台(1/4) ……199
第180図　窯道具器種分類図（３）ドーナツ状焼き台・トチン (1/4)、サヤ鉢法量グラフ …200
第181図　Ⅳ区ＳＦ01窯詰め方法（１）……201
第182図　Ⅳ区ＳＦ01窯詰め方法（２）……202

写真図版目次

図版１　①遺跡遠景（南から）
②Ⅳ区ＳＦ01作業風景（北東から）
図版２　③Ⅳ区ＳＦ01検出状況（北から）
④Ⅳ区ＳＦ01燃焼室検出状況（北から）
⑤Ⅳ区ＳＦ01焚口検出状況（南から）
⑥Ⅳ区ＳＦ01燃焼室東側壁検出状況（西から）
⑦Ⅳ区ＳＦ01第１室西側壁検出状況（東から）
図版３　⑧Ⅳ区ＳＦ01第2･3室間通炎孔検出状況（西から）
⑨Ⅳ区ＳＦ01第３室奥壁検出状況（北から）
⑩Ⅳ区ＳＦ01第３室西側壁検出状況（東から）
図版４　⑪Ⅳ区ＳＦ01第４室検出状況（北から）
⑫Ⅳ区ＳＦ01第４室西側壁検出状況（東から）
⑬Ⅳ区ＳＦ01第４・５室間通炎孔検出状況（北西から）
図版５　⑭Ⅳ区ＳＦ01第５室奥壁検出状況（北から）
⑮Ⅳ区ＳＦ01第５室西側壁検出状況（東から）
⑯Ⅳ区ＳＦ01煙出し検出状況（北から）
図版６　⑰Ⅳ区ＳＦ01遺物出土状況（北から）
⑱Ⅳ区ＳＦ01第１～３室遺物出土状況（南から）
図版７　⑲Ⅳ区ＳＦ01第４室遺物出土状況（西から）
⑳Ⅳ区ＳＦ01第３室遺物出土状況（西から）
㉑Ⅳ区ＳＦ01第４室遺物出土状況（南から）
㉒Ⅳ区ＳＦ01第５室遺物出土状況（西から）
㉓Ⅳ区ＳＦ01第５室火床遺物出土状況（西から）
図版８　㉔Ⅳ区ＳＦ01燃焼室断ち割り状況（北から）
㉕Ⅳ区ＳＦ01第１室西側壁断ち割り状況（北から）
㉖Ⅳ区ＳＦ01燃焼室断ち割り状況（西から）
㉗Ⅳ区ＳＦ01第１室断ち割り状況（東から）
㉘Ⅳ区ＳＦ01第３室断ち割り状況（東から）
図版９　㉙Ⅳ区ＳＦ01第３室奥壁断ち割り状況（東から）
㉚Ⅳ区ＳＦ01第３室西側壁断ち割り状況（北から）
㉛Ⅳ区ＳＦ01第４室奥壁断ち割り状況（東から）
㉜Ⅳ区ＳＦ01第４室西側壁断ち割り状況（北から）
㉝Ⅳ区ＳＦ01煙出し断ち割り状況（東から）
図版10　Ⅳ区ＳＦ01で製作された陶器
Ⅳ区ＳＦ01で使用されたサヤ鉢，敷板
図版11　出土遺物１
図版12　出土遺物２
図版13　出土遺物３
図版14　出土遺物４
図版15　出土遺物５
図版16　出土遺物６
図版17　出土遺物７
図版18　出土遺物８
図版19　出土遺物９
図版20　出土遺物10
図版21　出土遺物11
図版22　出土遺物12
図版23　出土遺物13
図版24　出土遺物14
図版25　出土遺物15
図版26　出土遺物16
図版27　㉞Ⅰ区第１面全景　㉟Ⅱ区第１面全景
図版28　㊱Ⅰ区ＳＨ01土層断面(西半部)(南から)
㊲Ⅰ区ＳＨ01土層断面(東半部)(南から)
図版29　㊳Ⅰ区ＳＨ02遺物（４）出土状況（南東から）
㊴Ⅰ区ＳＨ02完掘状況（北から）
図版30　㊵Ⅱ区ＳＰ01遺物出土状況（北から）
㊶Ⅱ区ＳＰ01遺物出土状況（南東から）
図版31　㊷Ⅱ区ＳＰ67遺物出土状況（東から）
㊸Ⅱ区ＳＰ67遺物出土状況（西から）
図版32　㊹Ⅱ区ＳＰ72遺物出土状況（東から）
㊺Ⅱ区ＳＫ03遺物出土状況（東から）

図版 33　㊻Ⅳ区全景
図版 34　㊼Ⅳ区ＳＦ01 天井崩落状況（北東から）
㊽Ⅳ区ＳＦ01 焚口付近土層断面(東から)
図版 35　㊾Ⅳ区ＳＦ01 第４室土層断面（東から）
㊿Ⅳ区ＳＦ01 第５室土層断面（東から）
図版 36　(51)Ⅳ区ＳＦ01 第５室天井崩落状況（西から）
(52)Ⅳ区ＳＦ01 作業風景（西から）
図版 37　(53)Ⅳ区ＳＦ01 地山整形状況（北東から）
(54)Ⅳ区ＳＦ01 地山整形状況（北から）
図版 38　(55)Ⅳ区ＳＦ01-ＳＰ03 添え石検出状況（北から）
(56)Ⅳ区ＳＦ01 階段状遺構検出状況（北から）
図版 39　(57)Ⅳ区ＳＦ01 階段状遺構礫出土状況（北から）
(58)Ⅳ区ＳＦ01 階段状遺構礫出土状況（東から）
図版 40　(59)Ⅳ区ＳＤ01（南部）遺物出土状況（西から）
(60)Ⅳ区ＳＤ01（西部）遺物出土状況（北から）
図版 41　(61)Ⅳ区ＳＤ01（ＳＦ01 第２室横）土層断面（北から）
(62)Ⅳ区ＳＤ01（ＳＦ01 第４室横）土層断面（北から）
図版 42　(63)Ⅳ区東部作業風景（北から）
(64)Ⅳ区ＳＫ03 遺物出土状況（北から）
(65)Ⅳ区ＳＫ03 土層断面（北から）
(66)Ⅳ区ＳＫ05 遺物出土状況（南から）
(67)Ⅳ区ＳＫ08 遺物出土状況（南から）
図版 43　(68)Ⅳ区ＳＸ04 遺物出土状況（南から）
(69)Ⅳ区ＳＸ04 土層断面（東から）
図版 44　(70)Ⅳ区ＳＸ05 遺物出土状況（北から）
(71)Ⅳ区東西土層断面（ＳＦ01 東部）（北から）
図版 45　(72)さぬき市吉金窯跡全景（東から）
(73)吉金窯跡第６室奥壁構築状況（東から）
図版 46　出土遺物 17
図版 47　出土遺物 18
図版 48　出土遺物 19
図版 49　出土遺物 20
図版 50　出土遺物 21
図版 51　出土遺物 22
図版 52　出土遺物 23
図版 53　出土遺物 24
図版 54　出土遺物 25
図版 55　出土遺物 26
図版 56　出土遺物 27
図版 57　出土遺物 28
図版 58　出土遺物 29

第１章　調査の経緯

第1節　調査にいたる経過

四国横断自動車道津田～引田間の建設については、平成５年度に建設大臣から日本道路公団総裁に対して建設の施工命令が下され、平成６年度に路線の中心杭の打設が行われた。

これに伴う埋蔵文化財保護については、平成４年度から県教育委員会と日本道路公団高松建設局とで事前協議が開始された。平成７年６・７月には県教育委員会が国庫補助事業として分布調査を行い、津田～引田間については22地区について埋蔵文化財の保護に配慮する必要があることを日本道路公団に通知した。日本道路公団は県教育委員会の意見を踏まえ、平成７年10月文化庁と協議を行い、平成８年１月文化庁から「工事の施工に先だって発掘調査を実施すること」等の回答がなされた。これにより、平成４年度からの事前協議は終了し、平成８年４月、県教育委員会と日本道路公団とで埋蔵文化財発掘調査についての委託契約が締結され、さらに県教育委員会と財団法人香川県埋蔵文化財センターとで発掘調査の委託契約が締結された。

一方、県教育委員会では明石大橋開通にあわせた津田～引田間の高速道路の整備は香川県の緊急かつ重要な課題であることから、平成８年度及び９年度に文化財専門職員を新規採用し、調査体制の充実を図ることで対応した。

津田～引田間22地区の調査対象地区のうち、白鳥町内には４地区がある。平成８年度からは、この調査対象地区の具体的な遺跡の内容を把握するため、用地買収の進捗にあわせて、予備調査を実施し、随時本調査の範囲を確定した。

平成12年度現在の遺跡位置及び遺跡内容は第１図及び第１・２表のとおりである。

谷遺跡は，前記の平成７年度の県教育委員会による22地区のうち白鳥町谷地区にあたり、平成10、11年度に予備調査が行われた。

なお整理作業については、平成15年４月より開始し、平成16年３月に終了した。

参考文献

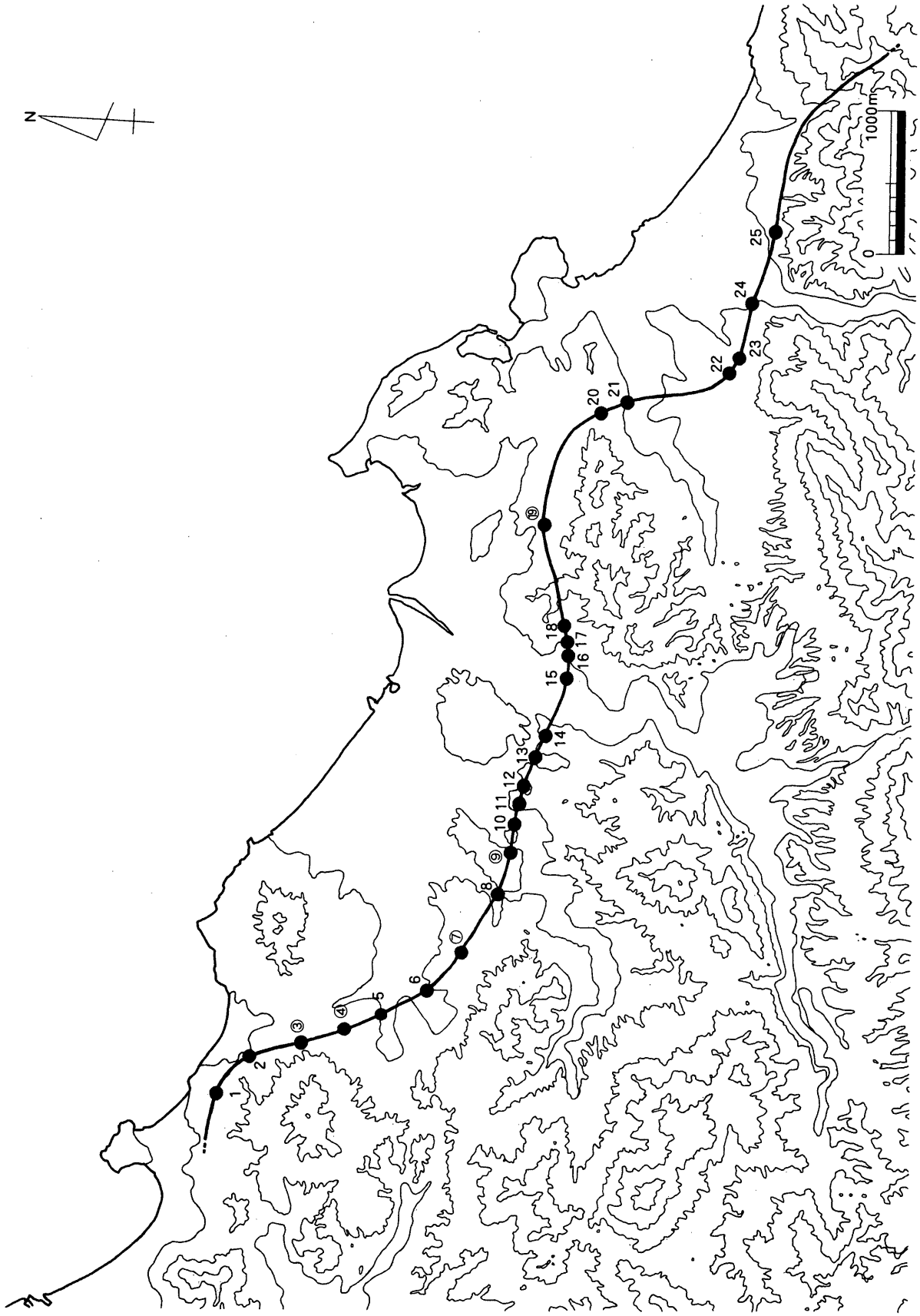
『埋蔵文化財試掘調査報告Ⅸ　国道バイパス等事業予定地内の調査』香川県教育委員会　1996

『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成８年度』香川県教育委員会他　1997

『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成９年度』香川県教育委員会他　1998

『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成10年度』香川県教育委員会他　1999

『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第三十六冊　金毘羅山遺跡・塔の山南遺跡・庵の谷遺跡』香川県教育委員会、財団法人香川県埋蔵文化財調査センター他　2000



第１図　四国横断自動車道（津田～引田）埋蔵文化財包蔵地（遺跡名番号）

	遺跡名	地区名	所在地	調査面積（㎡）	調査期間	遺構	遺物	備考
1	中谷遺跡	中谷	さぬき市津田町鶴羽	518	8.10. 1～ 9. 1.31	中世：柱穴	瓦器、土師器	横断道報告第48冊
2	大山遺跡	大山	さぬき市津田町鶴羽	2,113	8.10. 1～ 9. 1.31	弥生：溝、中世：柱穴・土坑・溝・土壙墓	弥生土器、瓦器、土師器	横断道報告第48冊
3		馬篠	東かがわ市　大内町馬篠	620	9. 7. 1～ 9. 8.31	（予備調査）		平成９年度概報で報告完了
4		小砂	東かがわ市　大内町小砂	100	9. 6. 1～ 9. 6.30	（予備調査）		平成９年度概報で報告完了
5	坪井遺跡	中山	東かがわ市　大内町中山	6,556	10. 9. 1～11. 3.31	奈良：掘立柱建物跡	刻印須恵器、土師器、黒色土器	横断道報告第40冊
6	三殿出口遺跡	三殿	東かがわ市　大内町三殿	135	11. 7. 1～11. 7.31	（予備調査）		平成15年度整理
				6,370	11. 4. 1～11. 6.30	近世：砂糖竈	弥生土器、須恵器、土師器	
					11.11. 1～11.11.30			
7		町田	東かがわ市　大内町町田	69	10. 9. 1～10. 9.30	（予備調査）		平成10年度概報で報告完了
8	楠谷遺跡	楠谷Ａ	東かがわ市　大内町水主楠谷	1,000	11. 3. 1～11. 3.31	（予備調査）		平成11年度概報で報告完了
		楠谷Ｂ		1,578	9. 7. 1～10. 3.31	弥生：掘立柱建物跡・溝・河川	弥生土器	平成15年度整理
		楠谷Ｃ		460	8.12. 1～ 8.12.31	（予備調査）		
9		高原	東かがわ市　大内町水主高原	11	9. 9. 1～ 9. 9.30	（予備調査）		平成９年度概報で報告完了
10	金毘羅山遺跡	下屋敷	東かがわ市　大内町水主下屋敷	446	8.11. 1～ 8.11.30	（予備調査）		平成15年度整理
				100	10. 3. 1～10. 3.31	（予備調査）		
				3,600	10. 4. 1～10. 8.31	弥生：竪穴住居跡・土器棺、古墳：竪穴住居跡	縄文土器、弥生土器、土師器、微状耳飾	横断道報告第36冊
				1,300	11.12. 1～11.12.31	弥生・土器棺・竪穴式石槨	弥生土器、青銅鏡	横断道報告第46冊
11	塔の山南遺跡	別所	東かがわ市　大内町川東杖の端	15	9. 9. 1～ 9. 9.30	（予備調査）		横断道報告第36冊
				1,300	11. 1. 1～11. 3.26	弥生：墳墓群		
12	西谷遺跡	杖の端	東かがわ市　大内町川東西谷	2,092	9. 6. 1～10. 3.31	弥生：溝、中世：掘立柱建物跡	弥生土器、土師器	平成９年度概報で報告完了
13	原間遺跡	原間	東かがわ市　大内町川東原間	500	9. 2. 1～ 9. 2.28	（予備調査）		横断道報告第39・42冊
				19,254	9. 4. 1～10. 3.31	弥生：竪穴住居跡・掘立柱建物跡、古墳：古墳	弥生土器、須恵器、土師器	
				24,243	10. 4. 1～11. 3.31			
14	樋端遺跡	樋端	東かがわ市　白鳥町西藤井	3,590	10.12. 1～11. 3.31	弥生：墳墓、古墳：古墳	弥生土器、須恵器、耳環、鉄鏃、青銅鏡	横断道報告第43冊
				1,647	11. 9. 1～11.10.31			

第１表　四国横断自動車道（津田～引田）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査一覧①

	遺　跡　名	地区名	所　在　地	調査面積（㎡）	調　査　期　間	遺　構	遺　物	備　考
15	成重遺跡	成重	東かがわ市　白鳥町白鳥	1,500	9. 2. 1～ 9. 2.28	（予備調査）		平成15年度・16年度に「成重遺跡Ⅰ・Ⅱ」として報告書刊行予定
				14,650	9. 4. 1～10. 3.31	弥生：集石遺構・方形周溝墓・竪穴住居跡・壺棺、古墳：竪穴住居跡・古墳、古代：掘立柱建物跡、中世：掘立柱建物跡	弥生土器、石器、土師器、鉄器、耳環、玉類、陶磁器	
				6,543	10. 4. 1～11. 3.31			
				4,192	11. 6. 1～12. 3.31			
16	谷遺跡	谷	東かがわ市　白鳥町白鳥	111	10. 7. 1～10. 7.31	（予備調査）		本書
				2,741	11. 9. 1～12. 3.31	中世：掘立柱建物跡、近世：陶器窯	陶磁器	
				900	12. 4. 1～12. 8.31			
17	善門池南遺跡	池の奥	東かがわ市　白鳥町白鳥	3,566	9.11.17～10. 3.31	弥生：竪穴住居跡、古墳：竪穴住居跡、中世：掘立柱建物	弥生土器、石器、須恵器、土師器、備前焼	平成15年度整理
				2,500	10. 4. 1～11. 3.31			
				1,050	11. 7. 1～11. 8.31			
18	池の奥遺跡	池の奥	東かがわ市　白鳥町白鳥	8,700	10. 6. 1～11. 3.26	弥生：竪穴住居跡・土坑	弥生土器、石器、磨製石剣	横断道報告第46冊
19		法月	東かがわ市　白鳥町帰来	510	10. 1. 1～10. 1.31	（予備調査）		平成９年度概報で報告完了
20	天王谷遺跡	塩屋	東かがわ市　引田町引田	1,200	11. 1.22～11. 3.24	中世：掘立柱建物跡・瓦窯	土師器、瓦	横断道報告第45冊
				1,475	11. 7. 1～11. 8.31			
21	川北遺跡	塩屋	東かがわ市　引田町小海	6,038	10. 8. 1～11. 3.31	奈良：掘立柱建物跡	土師器、須恵器	
22	迯田石垣遺跡	迯田	東かがわ市　引田町引田	554	10. 4. 1～10. 5.31	（予備調査）		横断道報告第44冊
				2,300	11. 4. 1～11. 6.30	中世：掘立柱建物跡	土師器、陶磁器	
23	迯田谷川下池遺跡	迯田	東かがわ市　引田町引田	1,450	10.12. 1～11. 1.29	弥生：竪穴住居跡	弥生土器、石器	横断道報告第44冊
24	鹿庭遺跡	鹿庭	東かがわ市　引田町吉田	310	9. 7. 1～ 9.10.31	（予備調査）		横断道報告第44冊
				3,800	10. 4. 6～10. 8.31	弥生：土坑、中世：掘立柱建物跡	弥生土器、石器、須恵器、土師器、	
25	庵の谷遺跡	黒羽	東かがわ市　引田町黒羽	3,978	9.10. 1～10. 3.31	弥生：竪穴住居跡・土坑	弥生土器、石器	横断道報告第36冊
	合計			145,685				

※「横断道報告」は「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」の略で、冊数は善通寺～豊浜間からの通算の冊数である。

第２表　四国横断自動車道（津田～引田）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査一覧②

第2節　調査の経過と体制

1. 調査の経過

谷遺跡は平成10、11年に予備調査を実施した後、本調査は丘陵部と丘陵から延びる緩斜面、平地部で2度に分けて行った。調査期間は平成11年9月1日から平成12年3月31日および同年4月1日から8月31日である。発掘調査は調査員3名で、直営方式により実施した。またその概要は既に概報および年報（註）で報告している。調査面積は3641㎡である。整理作業は平成15年4月から平成16年3月にかけて調査員1人、整理作業員7名の体制で行った。

2 発掘調査及び整理作業の体制

発掘調査及び整理作業の体制は第3表のとおりである。
その他、日々雇用職員として発掘調査に携わった方々は以下のとおりである。

現場整理作業員　高澤由紀子
普通作業員　秋山二郎、安藤繁夫、上村富治、桶川義博、成重忠昭、松川春雄
軽作業員　入口ゆかり、内海信子、岡部恵子、川越マユミ、吉川君代、木村房子、清川ハツコ、鈴木民子、丹生誠子、丹生一二三、原篤子、福光辰子、藤村和代

整理作業に携わった方々は以下のとおりである。

整理員　山地真理子
整理補助員　若山淳子
整理作業員　加藤恵子、松崎千春、陶山仁美、地崎裕子、磯崎福子

（註）
『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成11年度』2000　財団法人香川県埋蔵文化財調査センター他
『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成12年度』2001　財団法人香川県埋蔵文化財調査センター他
『財団法人香川県埋蔵文化財発掘調査センター年報　平成12年度』2001　財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

香川県教育委員会　文化行政課

	平成11年度	平成12年度	平成15年度
総　括	課　長　小原　克己 課長補佐　小国　史郎	課　長　小原　克己 課長補佐　小国　史郎	課　長　北原　和利 課長補佐　森岡　修
総　務	係　長　中村　禎伸 主　査　三宅　陽子 主　査　松村　崇史	係　長　中村　禎伸 主　査　三宅　陽子 主　事　亀田　幸一	主　任　香川　浩章 主　査　須崎　陽子 主　事　八木　秀憲
埋蔵文化財	副主幹　廣瀬　常雄 係　長　西村　尋文 文化財専門員　森　格也 主任技師　塩崎　誠司	副主幹　廣瀬　常雄 係　長　西岡　達哉 文化財専門員　森　格也 文化財専門員　宮崎　哲治	副主幹　大山　眞充 主　任　片桐　孝浩 文化財専門員　佐藤　竜馬 主任技師　松本　和彦

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

総　括	所　長　菅原　良弘	所　長　菅原　良弘 (～10.31) 小原　克己 (11. 1～)	所　長　中村　仁
総　務	次　長　川原　裕章 副主幹兼係長　田中　秀文 主　査　新　一郎	次　長　川原　裕章 副主幹　六車　正憲 副主幹　大西　誠治 主　査　新　一郎	次　長　渡部　明夫 副主幹　野保　昌弘 係　長　多田　敏弘
調　査	主任文化財専門員　大山　眞充 主任技師　溝淵　大輔 技　師　長井　博志 調査技術員　多田　歩	主任文化財専門員　藤好　史郎 主任文化財専門員　蓮本　和博 技　師　長井　博志 調査技術員　中山　尚子	主任文化財専門員　真鍋　昌宏 文化財専門員　森　格也 主任技師　長井　博志

第3表　発掘調査および整理作業の体制

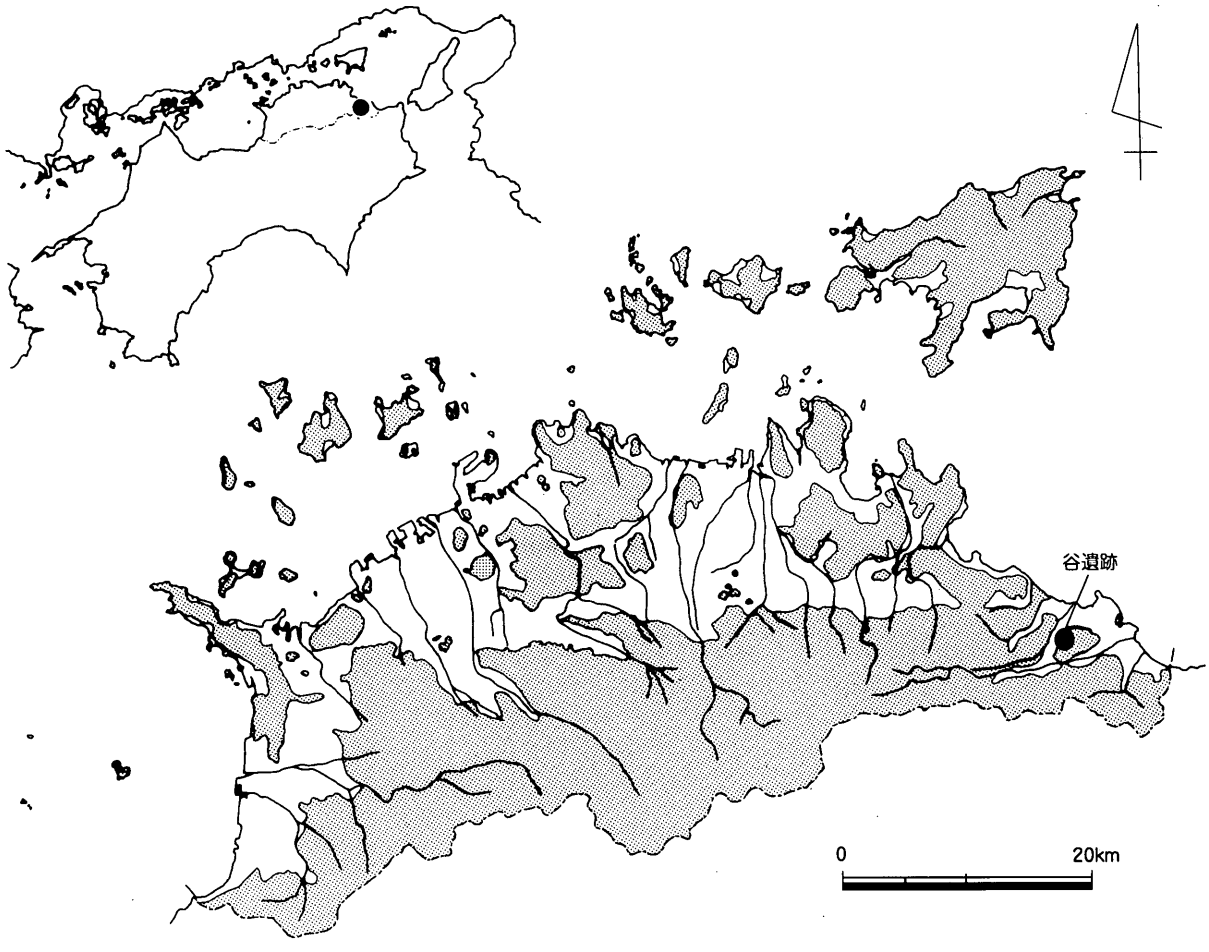
第2章　立地と環境

第1節　地理的環境（第2～4図）

谷遺跡は東かがわ市白鳥に所在する。白鳥は香川県東部にあり、東端部の旧引田町の西隣に位置する。北側には湊川により形成された沖積平野が広がり、北端で瀬戸内海に面する。南側には鳴嶽など阿讃山脈を形成する標高200～500 mの山塊が屹立する。湊川は北端部以外で東西に丘陵が迫る狭い範囲を流下している。流域付近では河岸段丘が形成され、氾濫原が見られる。

遺跡は巨視的には鳴嶽から北に派生する丘陵北端部が平野に接する場所に位置する。東側では同様に北に派生する丘陵がいくつか連なり、丘陵間は狭い谷地形となっている。微視的にはこの谷地形の北西端に位置し、丘陵東斜面とこれから延びる緩斜面、平地部に展開する。谷地形内では新川が南流している。

こうした地形的環境を近世の陶器生産と関連づけて見ると遺跡東側で近接して新川があり、南～北東側までは丘陵が広がる。良質な粘土層は調査対象地で見られないものの今回胎土分析を行った、さぬき市吉金窯跡出土陶器の胎土と類似した。このように水と燃料は付近で得られる立地であり、粘土も吉金窯跡とのつながりで入手できたようである。



第２図　谷遺跡位置図（1/600, 000）

第2節 歴史的環境（第3図）

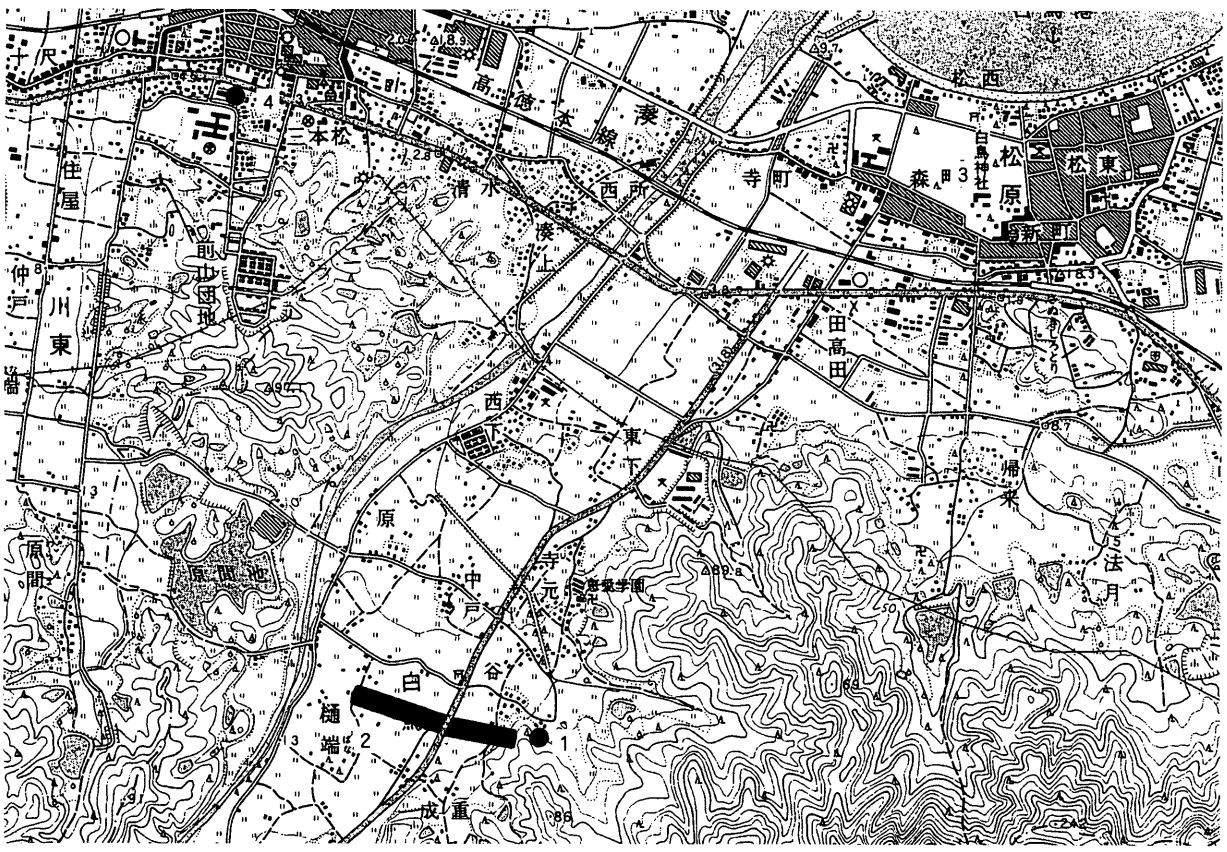
遺跡周辺の通史的な歴史的環境については西側に隣接する成重遺跡の報告書（註１）に詳しいので参照されたい。ここでは谷遺跡でメインとなる近世についてのみ取り扱う。この時期の白鳥の状況について「白鳥町史」（註２）では白鳥が白鳥神社の門前町として栄え、香川県琴平町の金刀比羅宮と比肩するほどであったと述べている。具体的には讃岐内外から多数の信者が参拝するため交通の発達、土産物等を生産する製造業や芝居興行の繁栄を生じたとする。また近世後半には「讃岐三白の一」に数えられる製糖業が東讃地域で隆盛し、高松藩の財政に貢献していた。成重遺跡をはじめとする東讃地域の遺跡ではその痕跡として砂糖竈が検出されている。

また近隣地域で同時期に操業された陶磁器窯として旧大内町（現東かがわ市）の讃窯、旧大川町（現さぬき市）の吉金窯跡などがある。讃窯は高松藩主の命を受けた大内村の庄屋堤治兵衛が京都の陶工仁阿弥道八を招き、築造した窯であり、19 世紀前半に２回操業されている。谷窯跡との関係について豊田基氏は、堤家が谷遺跡ＳＦ01の築かれた山林所有者である林家（白鳥村庄屋）と関わりが深いとしている。（註３）だが実態については所在位置も含め不明な点が多い。吉金窯跡は 18 世紀中葉～幕末にかけて操業された全長 40 mの階段状連房式登窯である。詳細は後述するが谷遺跡への窯業技術導入はこの窯が深く関係していたと考えられる。

以上の歴史的環境を谷遺跡における窯の操業と関連付けて見ると白鳥神社や製糖業の繁栄、交通の発達といった財政的、社会的基盤や讃窯の存在、そして吉金窯跡からの技術導入などが複合して開始されたと考えられる。

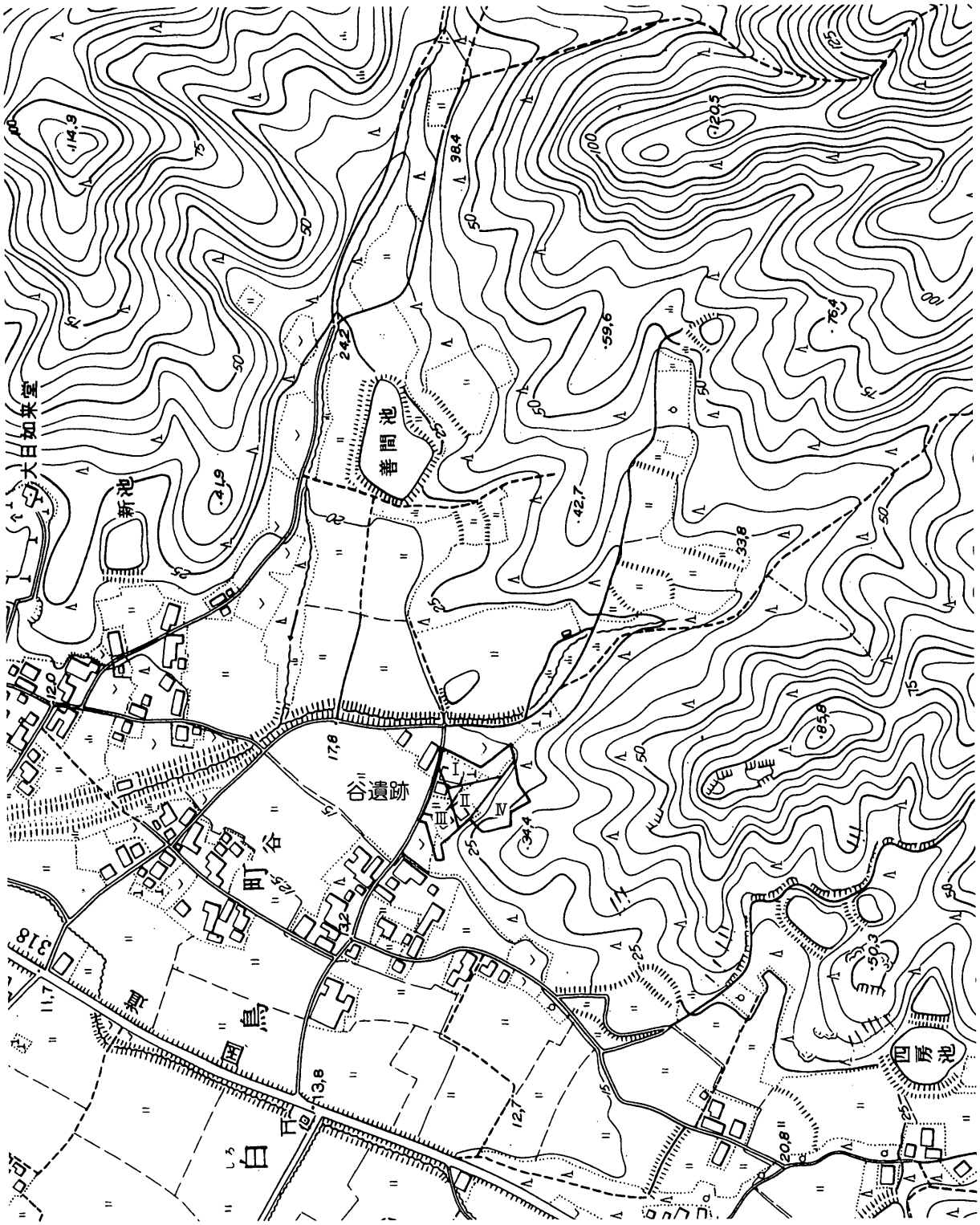
第3節 予備調査（第5、6図）

旧白鳥町谷地区における予備調査の結果、谷遺跡の本調査範囲が確定した。ここでは予備調査の結果を報告する。予備調査は丘陵とその北側の平地部で２度に分けて実施した。丘陵については平成 11 年３月に実施し、尾根（中央）部に６本、谷（東）部で４本のトレンチを掘削した。尾根（中央）部のトレンチは西側に弥生時代中～後期の集落跡



1．谷遺跡　2．成重遺跡　3．白鳥神社　4．讃窯

第３図　谷遺跡の位置及び周辺遺跡分布図（1/25,000）



第４図　谷遺跡周辺地形図（1/5, 000）

である成重遺跡が所在することからこれに対応する墓域などが形成された可能性を考慮して調査した。だが、遺構は検出されなかった。

谷（東部）トレンチは周知の谷窯跡の位置、付近の状況確認を目的とした。窯跡については南部の腐葉土直下で煙出しを検出した。また丘陵と緩斜面の境界付近（Ⅱ、Ⅲ区とⅣ区の境界）は宅地造成によりカットされていたため壁面清掃を行い、灰原を確認した。この結果窯跡の位置を把握し、燃焼室から煙出しに至る全構造が調査対象地内に含まれることを予測できた。出土遺物には陶器製品として鍋、土瓶、筒碗が、窯道具としてサヤ鉢、焼き台、トチンが

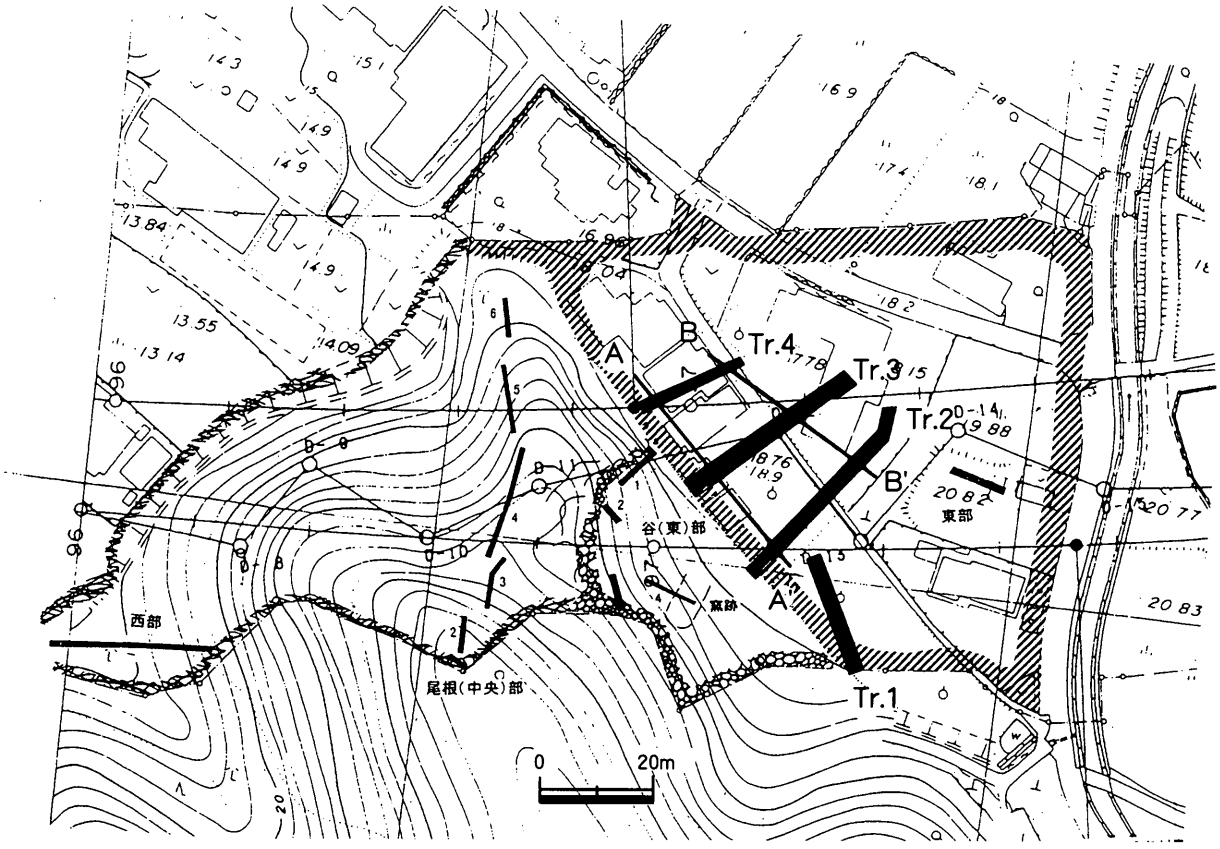
あり白鳥町史の記載事項（註４）を追認した。

平地部については平成11年８月に実施し、４本のトレンチを掘削した。このうち２～４トレンチでまばらに柱穴が検出され、少量の中世土器も出土した。これにより谷地形内の平地部に小規模な中世集落が存在することが予測された。

第4節　調査の方法（第4,8図）

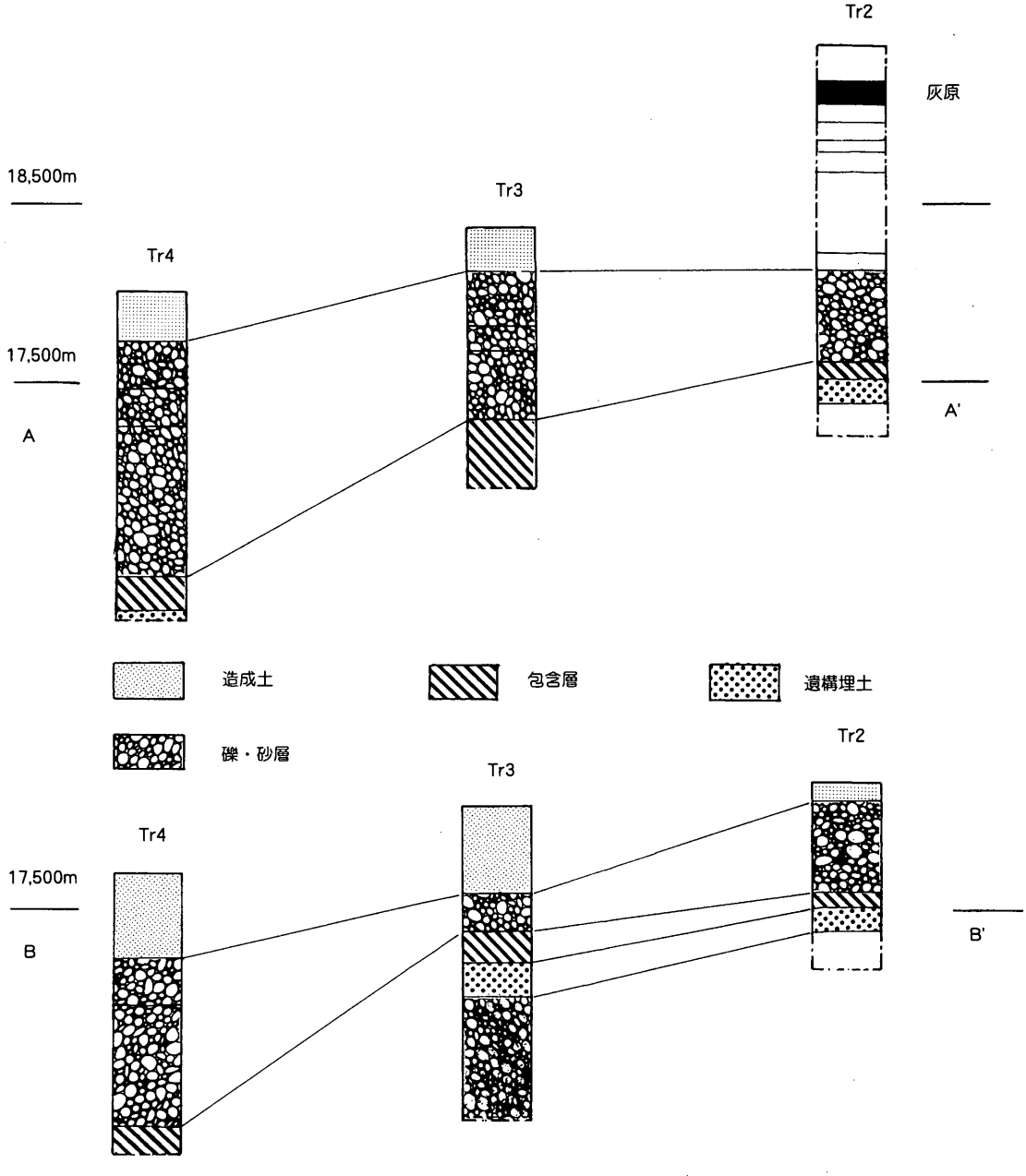
調査区を第４図のようにⅠ～Ⅳ区と設定した。Ⅳ区が丘陵斜面部、Ⅰ～Ⅲ区がこれから延びる緩斜面、平地部に該当する。調査時の遺構番号は調査区ごとに１から始まる連番を使用しており、Ⅰ区ＳＫ01、Ⅱ区ＳＫ01というように遺構名を付けている。当報告でも基本的にこれを使用したが、Ⅰ～Ⅲ区第２遺構面に属する遺構には第１遺構面の遺構末尾の番号から続けて連番を付与した。遺構図は主に航空測量により作成したが、Ⅳ区ＳＦ01などの主要な遺構については１／20ないし１／10の縮尺で手書きの平・断面図を作成した。

なおⅣ区では近世窯跡の存在が確認されていたため、遺構検出に至るまでの調査項目を通常より多く設定した。まず調査開始前に地形測量を行い、窯跡周辺の微地形を記録した。これにより推定窯跡位置は東西に隣接する谷地形（以下では東、西の谷地形を「谷地形（東）」、「谷地形（西）」と仮称する。）に挟まれ、やや小高くなること、東側の谷地形の東部には小さな平坦面が見られることを確認したため、窯跡と谷地形の関係を反映するように、また谷地形、平坦面の状況を明確化できるように土層観察用あぜを設定した。そしてあぜで区画された範囲をグリッドとし、遺物取り上げの単位とした。次いで表土（腐葉土）掘削により遺物回収を行い、遺物分布状況を確認した。これにより窯跡の東側で遺物が集中し、作業関連施設の存在が予測されるのに対し、西側では遺物が極めて希薄である状況が窺えた。なお東側では地形的な起伏が目立つため微地形ごとに存在する遺構の性格が異なり、出土遺物にもその差が反映



第５図　予備調査トレンチ配置図

される可能性を考え、あぜを追加し、グリッドを細分した。その後遺物量が多く、遺構面までの深度が約 20 cmのＳＤ 01 以東では人力掘削により、遺物量が極めて乏しく遺構面までの深度も 50 cm前後ある谷地形（西）では重機により遺構面まで下げた。



（註）Ａ－Ａ’ラインの「Ｔｒ２」図は上位にTr ２に近接した斜面部で灰原を検出した部分の上層を、下位に平地部の上層を合成している。（前者はラインにかかっていない）

第６図　予備調査土層柱状図（1/40）

（註１）信里芳紀他『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第四十七冊　成重遺跡１』（2004）　財団法人香川県埋蔵文化財調査センター他

（註２）『白鳥町史』（1985）白鳥町

（註３）豊田基『白鳥町史産業編』（1985）白鳥町

（註４）（註３）に同じ

第3章　調査の成果

第１節　土層序と地形（第7～ 12 図）

先述の通り調査区の地形はⅣ区が丘陵斜面、Ⅰ～Ⅲ区が丘陵から延びる緩斜面、平地部であり大きく異なる。よって以下ではⅠ～Ⅲ区とⅣ区に分けて説明する。なお、土層図の作成位置は付図に表記している。

Ⅰ～Ⅲ区 ：調査前状況は宅地となっており、南端に該当する緩斜面への変換点から緩斜面にかけては造成により平坦化され、大きく削平を受けている。

ここではⅠ区予備調査２トレンチ東壁、Ⅰ・Ⅲ区北壁土層図を用いて土層堆積状況と遺構面について説明する。Ⅰ～Ⅲ区では南部が丘陵から延びる緩斜面であり遺構面は１面である。だがこれより北側では平坦地となり、遺構面が２面見られる。予備調査２トレンチ東壁土層図（第９図）を見ると南部以外の基本層序は上からコンクリートの基礎などを含む宅地造成土（１層）、炭粒を含む褐色土である旧耕作土（２層）、橙色礫混じり粗砂層（９～ 12 層）、第１面包含層であるにぶい黄褐色微砂質土（19 層）、第１面ベース土である黄褐色砂質土（20 層）があり、第２面ベース土であるにぶい黄色砂質土（21 層）に至る。この層序はⅠ・Ⅲ区北壁土層図でも同様である。

よって橙色細砂層（10 層）がⅠ～Ⅲ区で広く見られる最上位の自然堆積土であり上面レベルはⅣ区付近で 18.5 m を測る。これをⅣ区北端の近世遺構面レベル（約 19.0 m）と比較すると 50 ㎝程度の差がある。Ⅰ～Ⅲ区においてⅣ区付近に当たる南端部は斜面が段状にカットされた奥方向に該当することを考慮してもこの深度は大きい。北部を含めても近世遺構、遺物が皆無に近いことから近世遺構面は完全に削平されたと考えられる。（これは平地部にⅣ区ＳＦ 01 関連集落や作業ヤードが展開することを前提としている。）

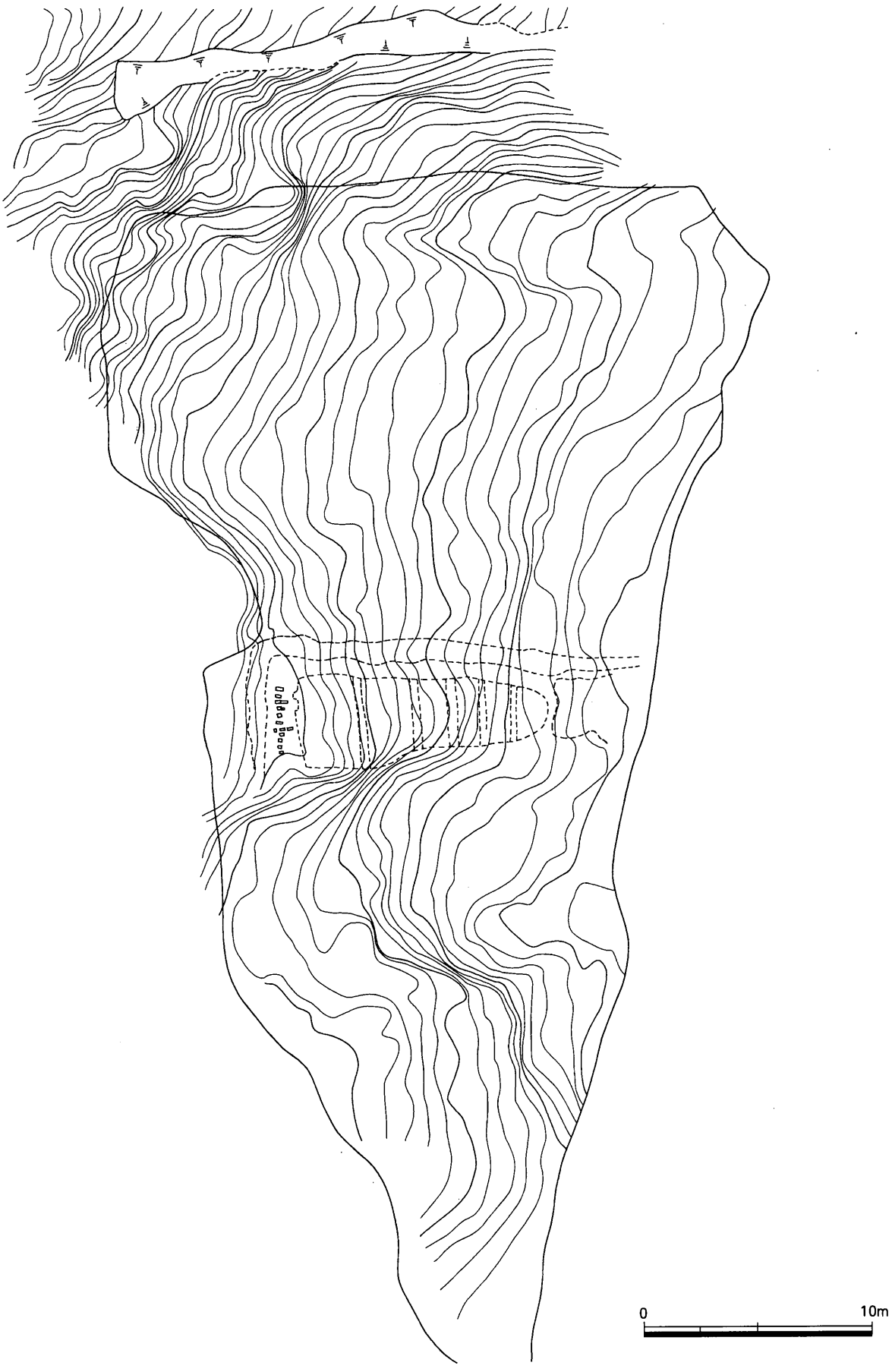
南部ではⅣ区から延びる緩斜面であり、１、２面に共通する遺構面ベース土としてにぶい褐色粘質土がある。なお新川からの洪水砂（13 ～ 17 層）も見られる。これはⅠ区南端にある丘陵裾部際を西に向かって流下する。第１面包含層（19 層）を切り込んでいる。

遺構面の時期については第１面に属する遺構、包含層から 14 ～ 16 世紀代を中心とした時期の遺物が出土しているためこの時期と考えられる。第２面については弥生時代中期の竪穴住居がある以外に、遺構から 14 世紀代の遺物が出土し、包含層（＝第１面ベース土）に中世土器が含まれるため弥生、14 世紀代と考えられる。（第２面に属するⅡ区ＳＰ 01、Ⅲ区ＳＫ 07 は 15 世紀代に位置づけられるが、検出ミスと推定される。）

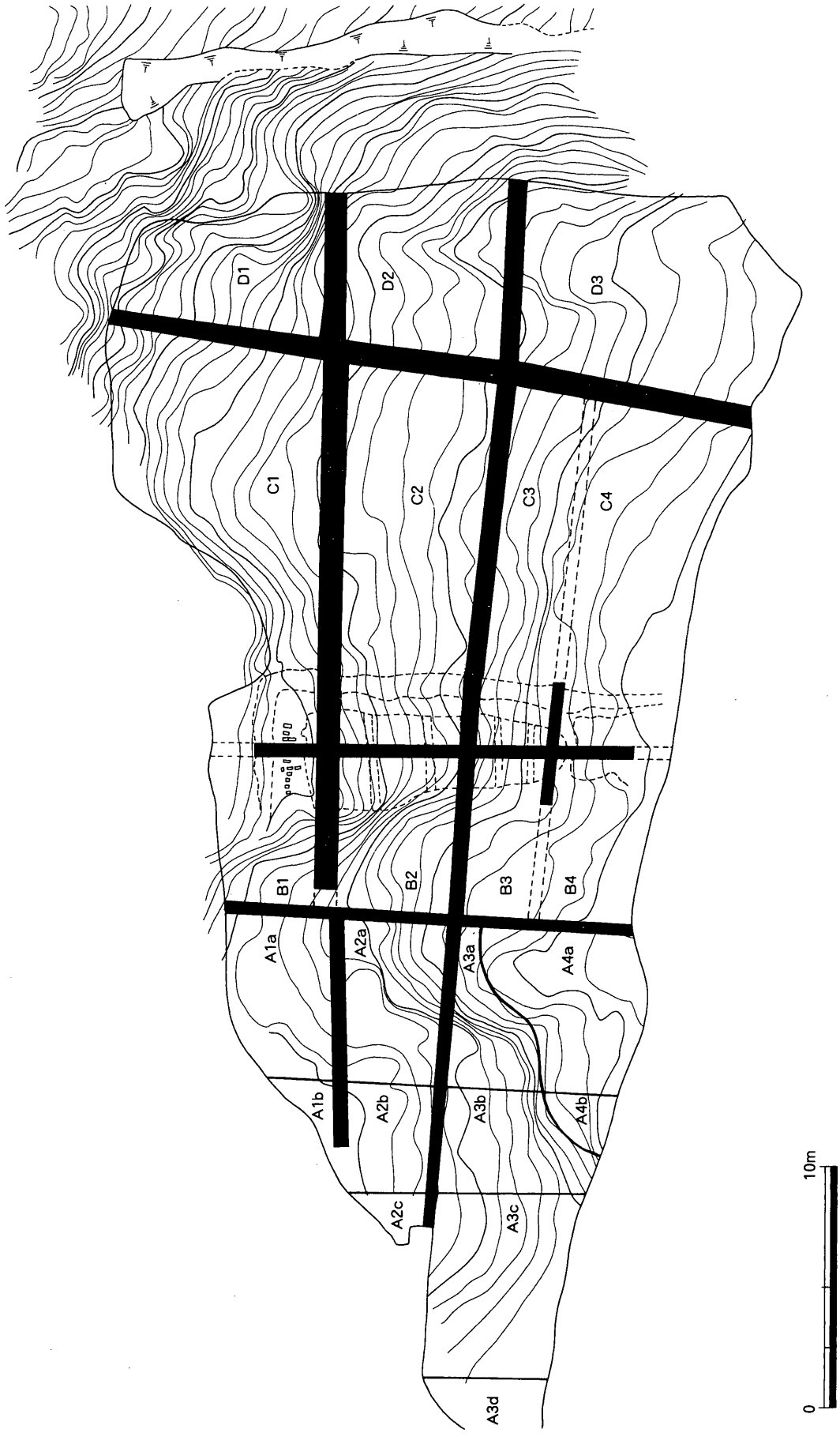
Ⅳ区 ：調査前状況は山林であり後世の地形改変はほとんど見られない。（窯跡東側の谷地形が林道造成のため改変されている程度）本調査区ではグリッド区分を兼ねたあぜを多く設定した。ここではⅣ区東西ベルト（北）、Ⅳ区南北ベルト（西）北部を用いて調査対象地の地形、土層堆積状況などについて説明する。

Ⅳ区東西ベルト（北）土層図では中央にＳＦ 01 を、その東西に谷地形（東）・（西）を、谷地形（東）の東部に小さな平坦面〔平坦面（東）〕を図化している。ＳＦ 01、ＳＤ 01 の掘り込み面レベルは約 21.0 mを測り、ＳＤ 01 西肩より西へ約 2.5 mまではほぼ平坦である。だがこれより西側へは緩やかに下る。谷地形（西）についてはＳＤ 01 より西へ５～ 13 mの範囲では近世遺構面のレベルが約 20.6 mを測り、東西にほぼ平坦である。だがⅣ区南北ベルト（西）北部土層図を見ると黄褐色系砂質土が遺構面の上下に同程度の傾斜で水平堆積しており遺構面のカット、盛り土による整地痕跡は見られない。また勾配が約 18 度あり、堆積土中には盛り土に由来する可能性を持つ土壌ブロックなども含まない。〈提示していない調査区南北ベルト（西）南部でも土層の特徴は同様であり、勾配はこれよりきつい。〉

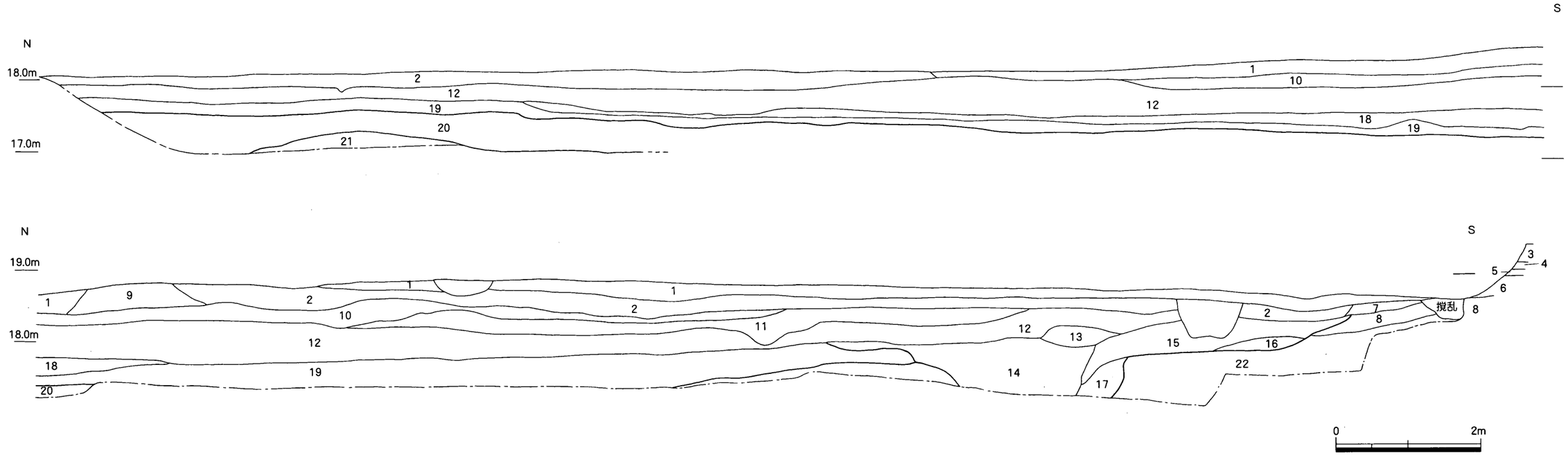
谷地形（東）の遺構面レベルは約 20.2 mと一定であり、ＳＦ 01（２室）の床面レベル（21.0 m）とは 80 ㎝の比高差がある。谷地形内には土坑、性格不明遺構など複数の近世遺構が切りあって存在する。これらの埋土はグライ化しているものの砂層の堆積など流水痕跡は見られない。また埋土直上に窯体崩落後の堆積土（７～ 10 層）が存在する。（なお窯の東端部では極めて直線的なオーバーハングが見られる。林道造成時に重機により破壊された痕跡と考えら



第７図　調査前地形測量図（1/250）

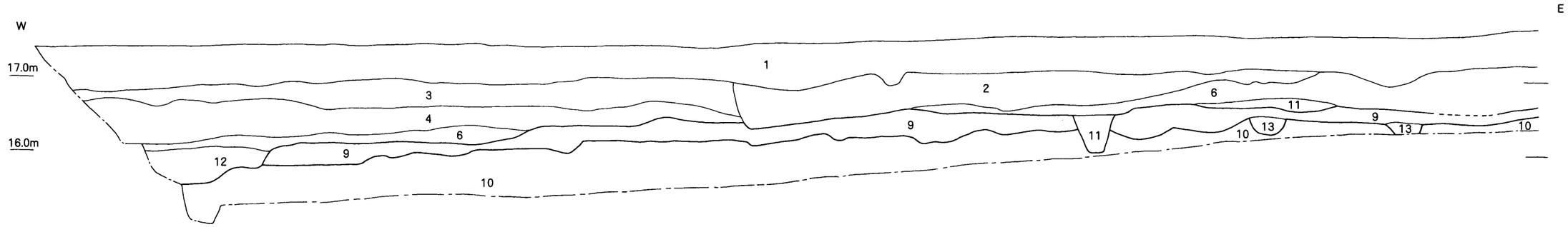


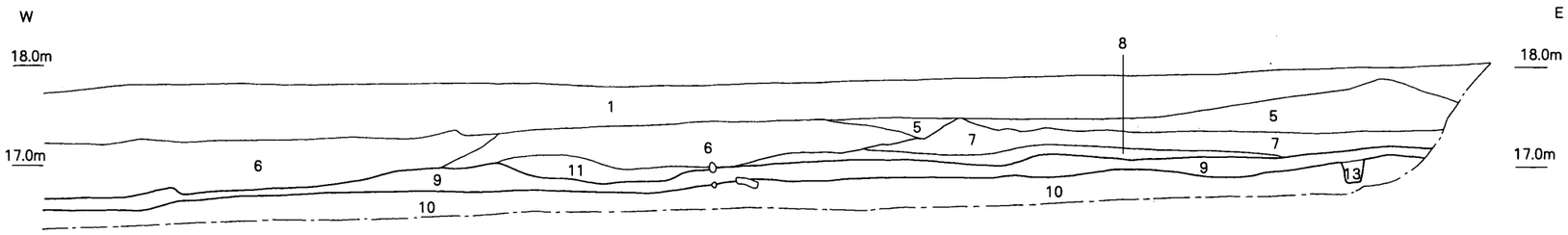
第8図　Ⅳ区グリッド配置図（1/250）



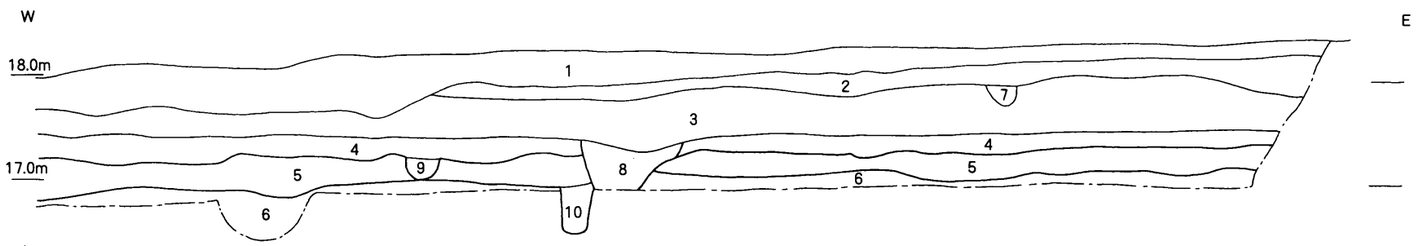
1. 黄褐色土(10YR5/6)＜宅地造成土＞
2. 褐色土(10YR4/4) ＜旧耕作土＞
3. 灰黄色粘性砂質土(2.5Y6/2)
4. 灰オリーブ色粘性シルト(5Y6/2)＜Ⅳ区 SX05＞
5. 浅黄色粘質土(2.5Y7/4) 土器片・炭を含む 固くしまる＜整地土？＞
6. 浅黄色砂利混粘質土(2.5Y7/3)
7. 明黄褐色粗砂質土 しまり悪い(10YR/6)
8. にぶい黄橙色粗砂質土(10YR7/4)
9. 橙色砂(5YR7/6)多量の礫を含む
10. 橙色細砂(5YR7/6)少量の礫を含む
11. 橙色砂質土(7.5YR7/6)
12. 橙色砂(7.5YR6/8)礫を含む
13. 橙色粗砂(7.5YR7/6)
14. にぶい橙色粗砂(7.5YR7/4)
15. 明褐灰色シルト(7.5YR7/2)
16. 褐灰色砂利混粘質土(7.5YR6/1)
17. 黄灰色粘質土(2.5Y6/1)
18. 黒褐色微砂質土(7.5YR3/2)
19. にぶい黄褐色微砂質土(10YR4/3)
20. 黄褐色砂質土(2.5Y5/3) 弥生・中世土器を含む 灰オリーブ色土がマーブル状に混じる＜第1面ベース＞
21. にぶい黄色砂質土(2.5Y6/3) 黄味色が強く、ややしまり悪い ＜第2面ベース＞
22. にぶい褐色粘質土(7.5YR5/3)＜第1・2面ベース＞

第9図　Ⅰ区予備調査２トレンチ土層図（1/60）





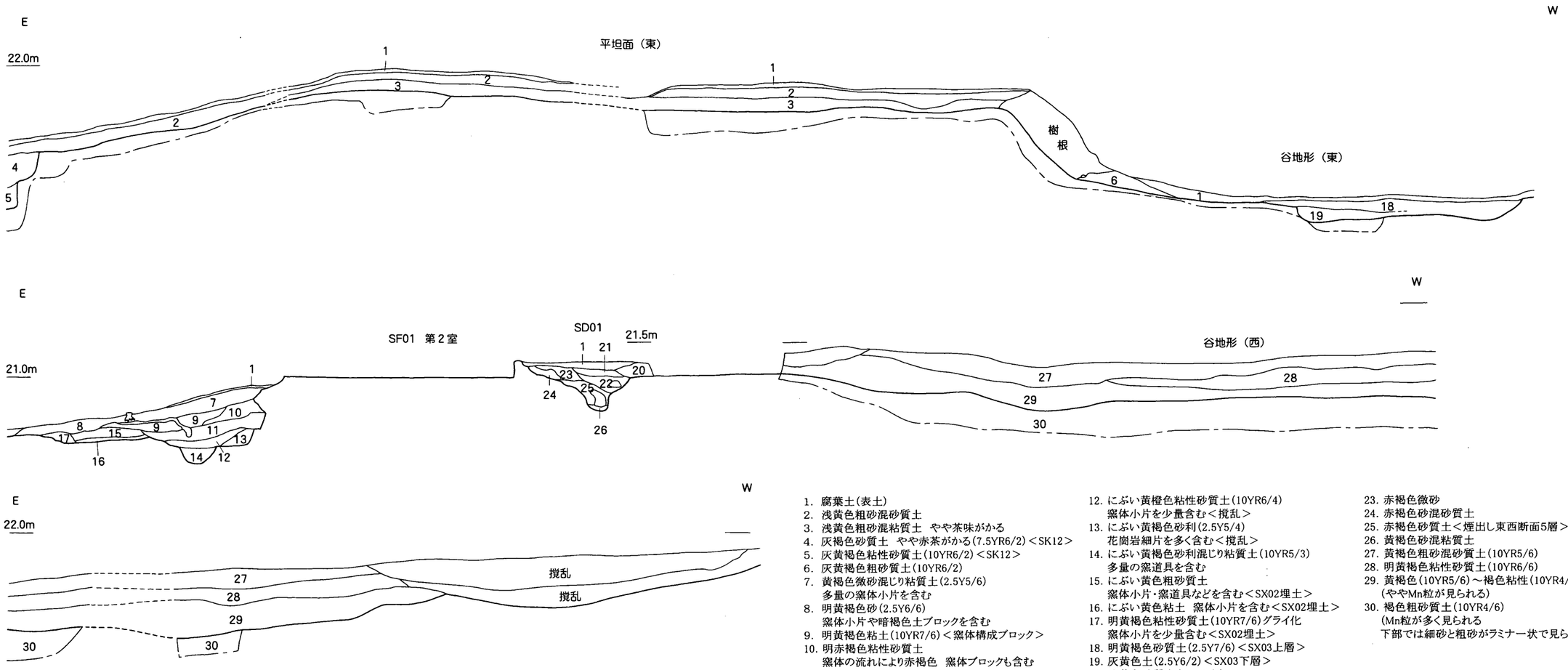
Ⅲ区　北壁
1. 褐色土(10YR4/4)
2. 暗灰黄色土(2.5Y5/2)
3. にぶい黄褐色土(10YR5/3)
4. 黄褐色粗砂(10YR5/6)
5. 明黄褐色粗砂(10YR6/6)
6. 黄褐色礫混じり砂質土(2.5Y5/4)
7. 褐灰色砂利混質土(10YR6/1)
8. 灰黄褐色砂利混じり微砂質土(10YR5/2)
9. 黄褐色砂質土(10YR5/6)＜第1面ベース＞
(弥生・中世土器を含む)
10. にぶい黄色砂質土(2.5Y6/3)＜第2面ベース＞
11. 黒褐色炭混じり微砂質土(10YR3/2)＜第1面遺構埋土＞
12. オリーブ褐色微砂混じり粘質土(2.5Y4/3)＜SX02＞
13. 暗灰黄色粘性砂質土(2.5Y4/2)＜第2面ピット＞



Ⅰ区　北壁
1. 褐色土(10YR4/4)＜宅地造成土＞
2. 褐色砂質土(10Y4/4)＜宅地造成土＞
3. 明黄褐色粗砂(10YR6/6)
4. 黄褐色微砂(10YR5/6)
暗灰黄色土をマーブル状に含む
5. 黄褐色砂質土(2.5Y5/3)
マーブル状に灰オリーブ土が混じる＜第1面ベース＞
6. にぶい黄色砂質土(2.5Y6/3)
黄色味が強くしまりがやや悪い＜第2面ベース＞
7. 褐色粗砂(10YR4/4)＜ピット＞
8. 灰白色砂質土(10YR7/1)＜遺構？＞
9. にぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)＜第1面ピット＞
10. 暗灰黄色砂質土(2.5Y5/2)＜第2面遺構＞

0　2m

第10図　Ⅰ・Ⅲ区北壁土層図（1/60）



1. 腐葉土(表土)
2. 浅黄色粗砂混砂質土
3. 浅黄色粗砂混粘質土　やや茶味がかる
4. 灰褐色砂質土　やや赤茶がかる(7.5YR6/2)＜SK12＞
5. 灰黄褐色粘性砂質土(10YR6/2)＜SK12＞
6. 灰黄褐色粗砂質土(10YR6/2)
7. 黄褐色微砂混じり粘質土(2.5Y5/6)
   多量の窯体小片を含む
8. 明黄褐色砂(2.5Y6/6)
   窯体小片や暗褐色土ブロックを含む
9. 明黄褐色粘土(10YR7/6)＜窯体構成ブロック＞
10. 明赤褐色粘性砂質土
    窯体の流れにより赤褐色　窯体ブロックも含む
11. にぶい黄橙色砂質土(10YR6/4)
    窯体ブロックを含む　＜撹乱＞
12. にぶい黄橙色粘性砂質土(10YR6/4)
    窯体小片を少量含む＜撹乱＞
13. にぶい黄褐色砂利(2.5Y5/4)
    花崗岩細片を多く含む＜撹乱＞
14. にぶい黄褐色砂利混じり粘質土(10YR5/3)
    多量の窯道具を含む
15. にぶい黄色粗砂質土
    窯体小片・窯道具などを含む＜SX02埋土＞
16. にぶい黄色粘土　窯体小片を含む＜SX02埋土＞
17. 明黄褐色粘性砂質土(10YR7/6)グライ化
    窯体小片を少量含む＜SX02埋土＞
18. 明黄褐色砂質土(2.5Y7/6)＜SX03上層＞
19. 灰黄色土(2.5Y6/2)＜SX03下層＞
20. 浅黄色砂質土(2.5Y7/4)
21. にぶい赤褐色土(5YR4/4)
    極めて締まりが悪く腐葉土が混じる
22. 暗黄褐色微砂質土　窯体小片を含む
23. 赤褐色微砂
24. 赤褐色砂混砂質土
25. 赤褐色砂質土＜煙出し東西断面5層＞
26. 黄褐色砂混粘質土
27. 黄褐色粗砂混砂質土(10YR5/6)
28. 明黄褐色粘性砂質土(10YR6/6)
29. 黄褐色(10YR5/6)～褐色粘性(10YR4/6)
    (ややMn粒が見られる)
30. 褐色粗砂質土(10YR4/6)
    (Mn粒が多く見られる
    下部では細砂と粗砂がラミナー状で見られる)

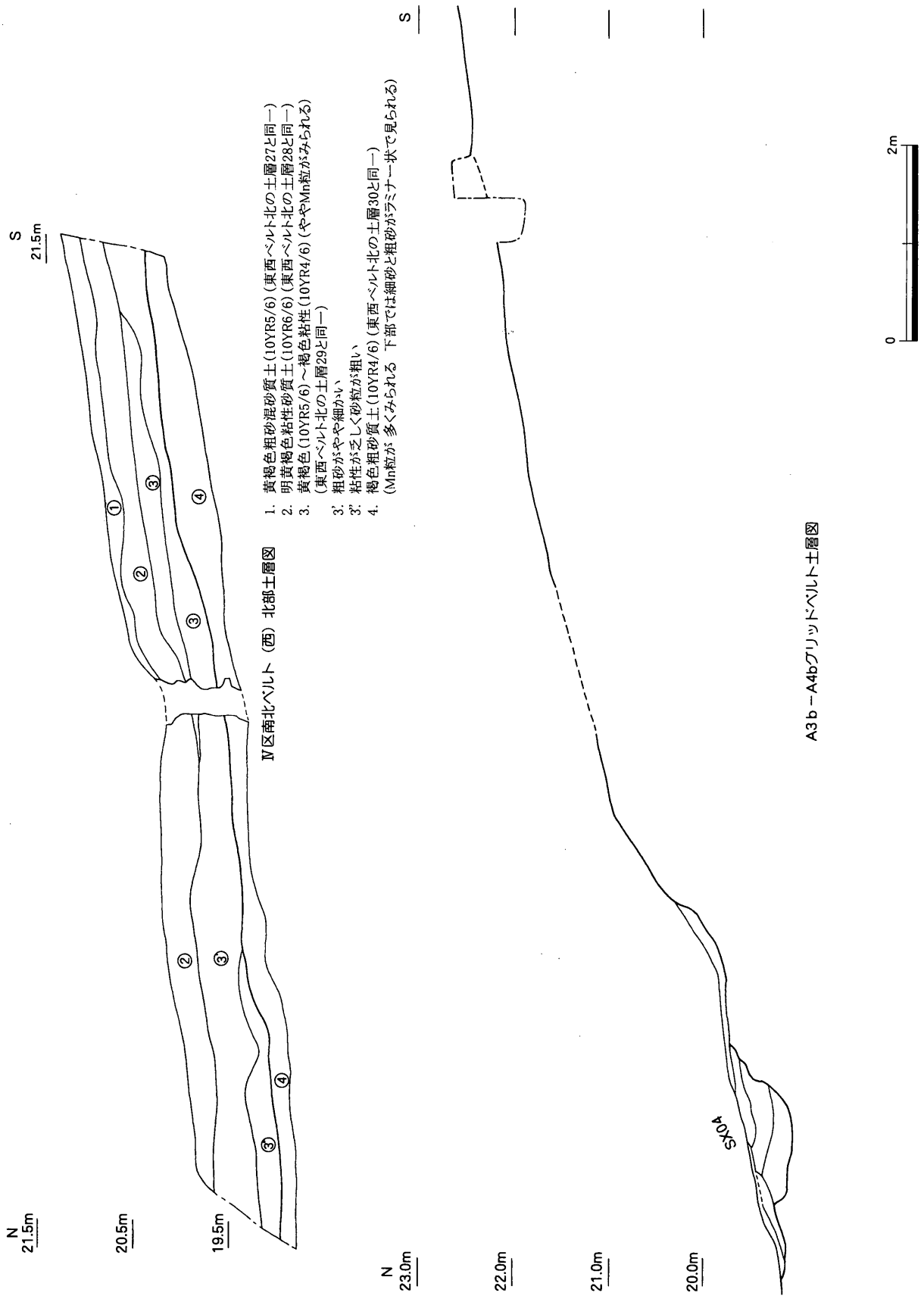
0　2m

第11図　Ⅳ区東西ベルト北土層図（1/60）

れる。）

谷地形（東）は東端部で直立気味にせりあがり、以東には東西９ｍ×南北 8.5 ｍ以上の平坦面（東）がある。基本層序は上から腐葉土（表土）、浅黄色粗砂混砂質土、浅黄色粗砂混粘質土を経て、地山（にぶい黄色粘土）に至る。ごく緩く西、北側に下る。平坦面の東側は再び浅い谷地形となり、東に傾斜する。

以上から窯跡が２つの谷地形に挟まれたやや小高い位置に築かれていること、谷地形（東）の東側に小規模な平坦面（東）が存在することが窺える。Ⅳ区の最後にここまでに呈示した土層断面図では説明できていないⅣ区の微地形および土層堆積状況について説明する。遺構配置コンター図を見ると平坦面（東）の北端は急傾斜で北に下り、その北側に平坦面〔平坦面（北）〕がある。また谷地形（東）の北端部も平坦な地形となる。両者は１つの平坦面をなすが、その範囲は灰原までで東西 15 ｍ、南北 4.2 ｍ以上を測る。この部分では多数の土坑、性格不明遺構、溝が密集し、切りあって検出された。なお谷地形（東）は南部では浅く、わずかに東に振りながら調査区外に延びる。



第12図　Ⅳ区南北ベルト（西）北部土層図，Ａ３ｂ－Ａ４ｂグリッドベルト土層図（1/60）

第2節 I区の調査成果

(1) 調査区の概要（第13図）

I区は調査対象地の北東部に位置するL字形の調査区である。地形的には南側の丘陵から延びる緩斜面と平坦面にあたる。南端部は斜面が続いているが、以北では北側に向かって平坦であり、西側に向かってごく緩やかに下る。I～Ⅲ区SX02は中央部に位置し、東西方向に延びる。遺構面は丘陵に近接する地点で1面、これ以外では2面確認した。

遺構密度は低いが、谷地形の北側でややまとまる。検出遺構は弥生時代の竪穴住居2基、中世の掘立柱建物1基、溝8条、土坑4基、柱穴などである。第2面で検出した竪穴住居は第1面ベース土が堆積する14世紀代までに著しい削平を受けている。また南部では調査区東側に近接する新川からの洪水砂を確認した。

以下のI区の報告において遺構名称の前に調査区名を付けていないものは全てI区の遺構である。

(2) 弥生時代の遺構・遺物

竪穴住居

SH01（第14図）

I区北部からⅢ区にかけて検出した竪穴住居である。平面形は南東部が撹乱により破壊されるが、整った円形である。規模は径4.14 m、深さ21 cmを測る。西側に推定上面幅0.4 mのベッド状遺構がある。主柱穴は6基と考えられるが、近接して同程度の規模、深さの柱穴が位置するため建て替えが行われた可能性がある。またベッド状遺構が途切れる部分に位置する。底場レベルは16.3～16.5 mと類似するが、撹乱内の1穴は16.15 mと一段下がる。埋土は部分的に多量の炭を含むが、床面の被熱は中央土坑のすぐ北側に小範囲で確認されたのみであり、炭化材や焼土も出土していない。よって焼失家屋でないと考える。中央土坑（SK01）は平面形がややいびつな方形であり、規模が長径1.05 m、短径0.87 m、深さ17 cmを測る。埋土には炭を含む。

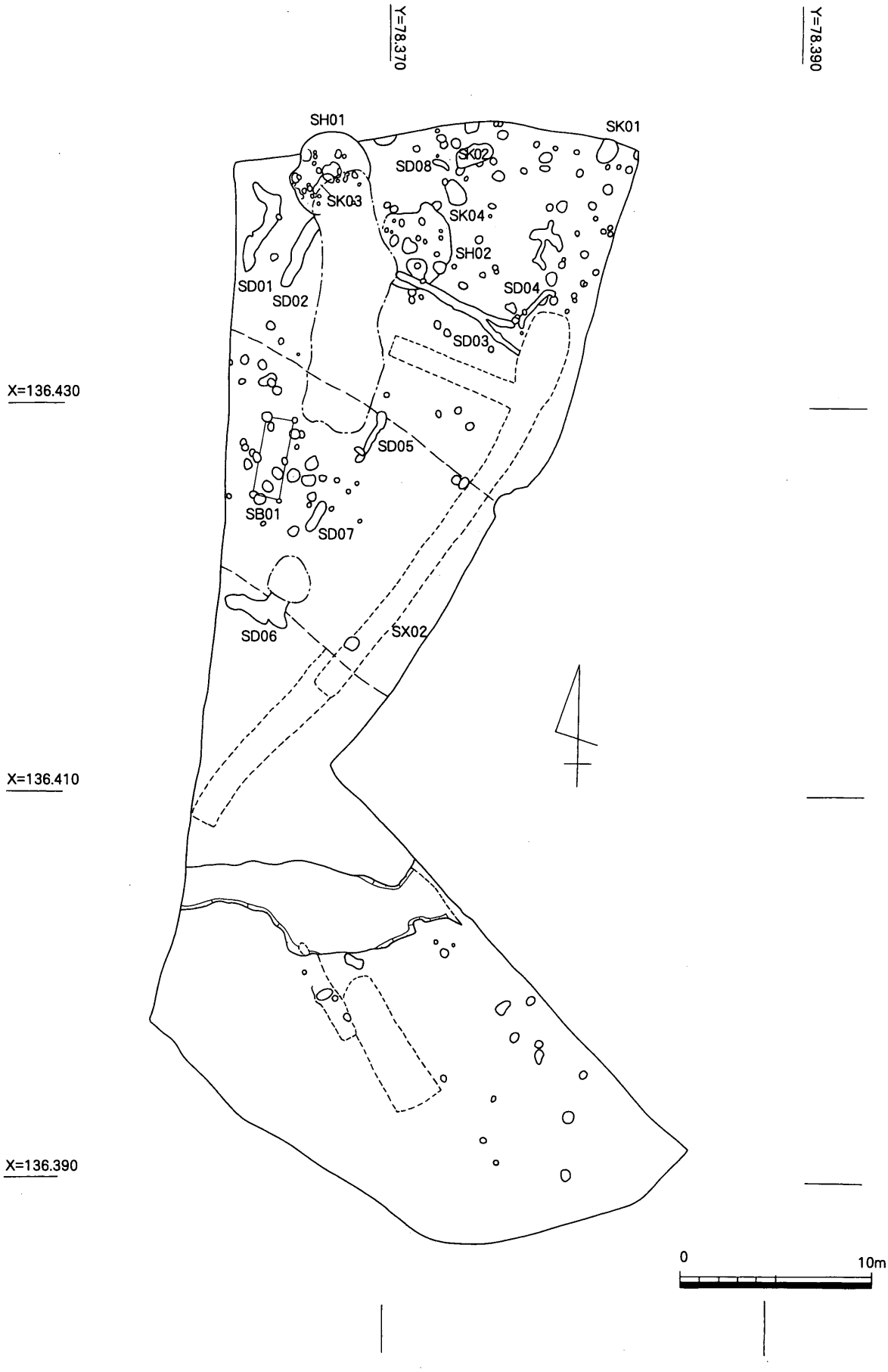
出土遺物は壺（2、3）、砂岩製砥石（1）がある。2は口縁端部を上下方に肥厚させ、凹線文を施す。3は刻目を加える。ともに弥生時代中期中葉に位置づけられる。1は検出面で出土し、被熱している。上面には研磨に伴う擦痕が縦横に見られる。時期は2、3より弥生時代中期中葉と考えられる。

SH02（第15・16図）

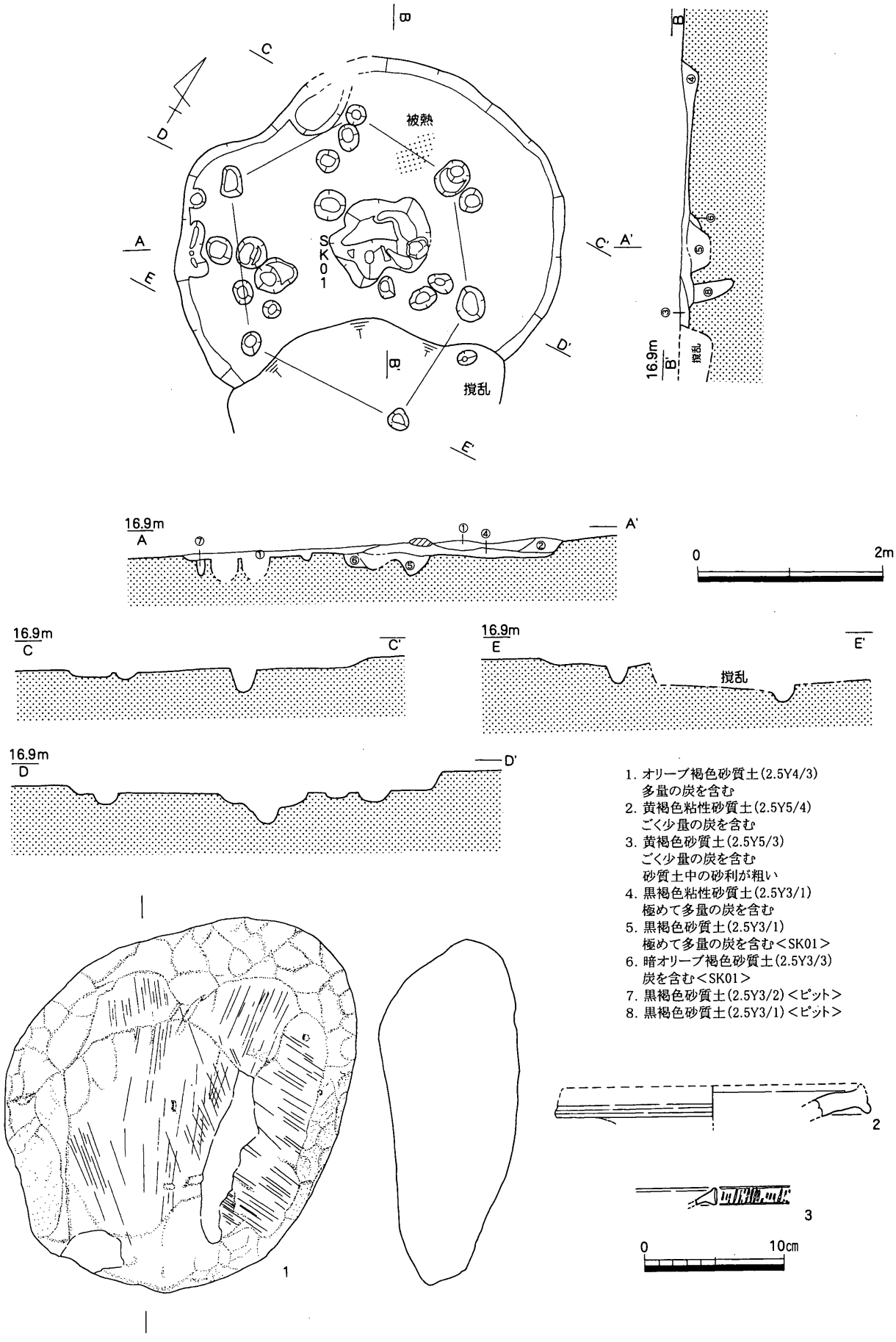
調査区北部で検出した竪穴住居である。SH01から南東へ2 mと近接する。平面形は南西部が撹乱により破壊されるが、整った円形である。規模は径4.5 m、深さ18 cmを測る。北側に推定上面幅0.8 m、長さ2.1 mのベッド状遺構を伴う。主柱穴は4基確認できるが，配置から見て本来は6基であり、撹乱で2穴が失われていると考えられる。SH01と同様にベッド状遺構がくびれる位置で主柱穴が配置される。底場レベルは16.5 m前後と類似する。埋土はオリーブ褐色砂質土である。北東隅の床面直上では壺（4）、砥石（11）が近接して出土している。

中央土坑（SK01）は平面形が北側で小さく膨らむいびつな楕円形であり、規模が長径0.78 m、短径0.75 m、深さ18 cmを測る。埋土には少量の炭を含む。また北側に30 cmほどの離れた床面では被熱面が見られる。壺（5）が出土している。SK01の南側にも土坑（SK02）がある。平面形は楕円形、断面形は逆台形である。規模は長径1.08 m、短径0.87 m、深さ82 cmを測る。埋土は2層に分けられるが、3層には拳大の礫を多量に含む。他の遺構埋土には概ね礫を含まないため、地山ブロックは見られないものの人為的な埋め戻しが行われた可能性が高い。

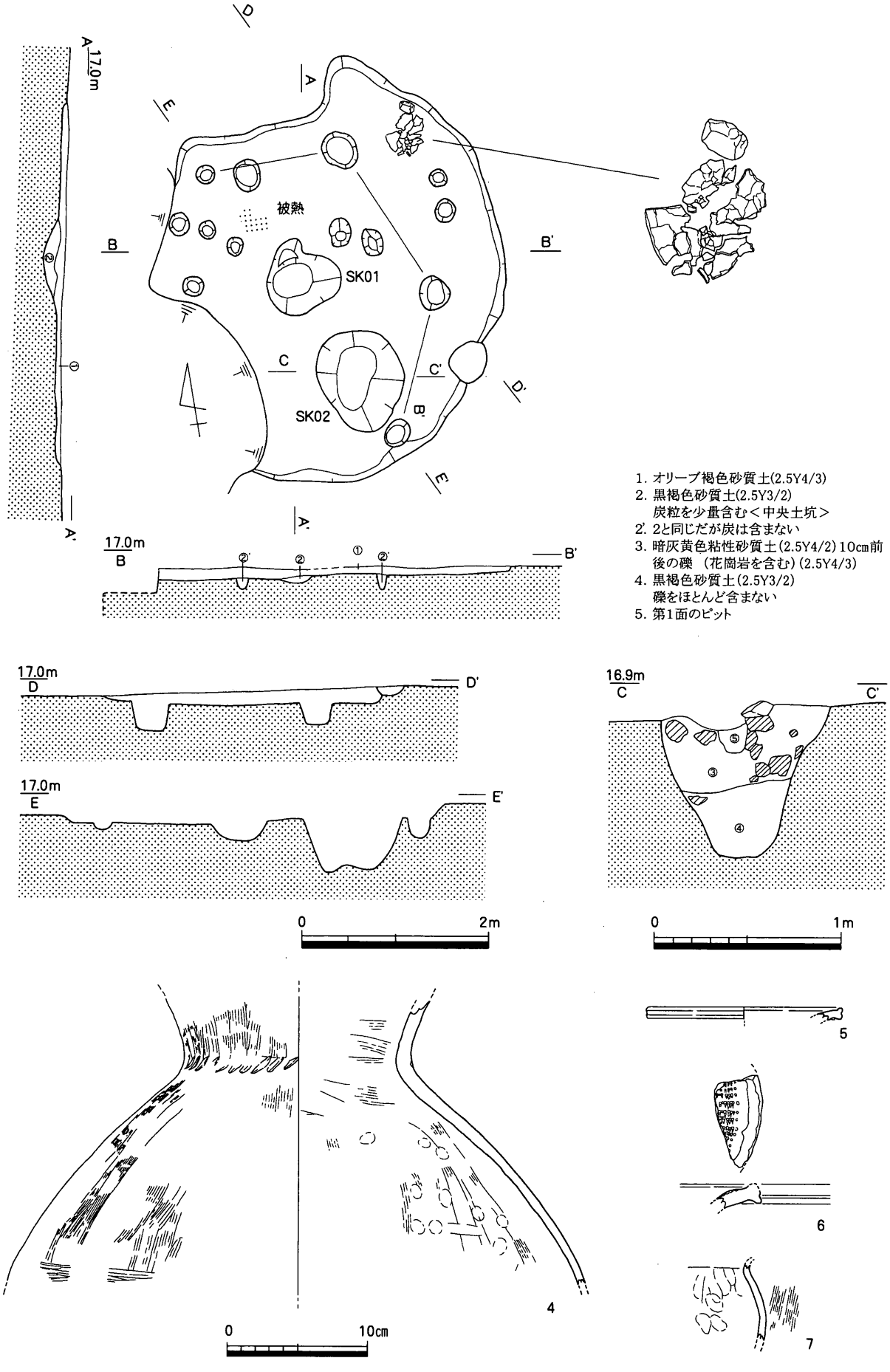
出土遺物は壺（4～6）、甕（7）、高杯（8）、底部（9、10）、砂岩製砥石（11）がある。4は頸部が緩く外反する。頸部と体部の境界外面に押圧を施す。体部上半の調整は縦ハケである。内面は頸部付近に横ハケ、体部に縦ハケを施す。5、6は口縁部外面に凹線文をもつ。6の口縁部内面には刺突による列点文が見られる。8は杯部外面にヘラミガキ、脚部内面にヘラケズリを施す。4～8は弥生時代中期中葉と考えられる。11は左側図で顕著な研磨痕が見られ擦り減っている。時期は4～8より弥生時代中期中葉と考えられる。



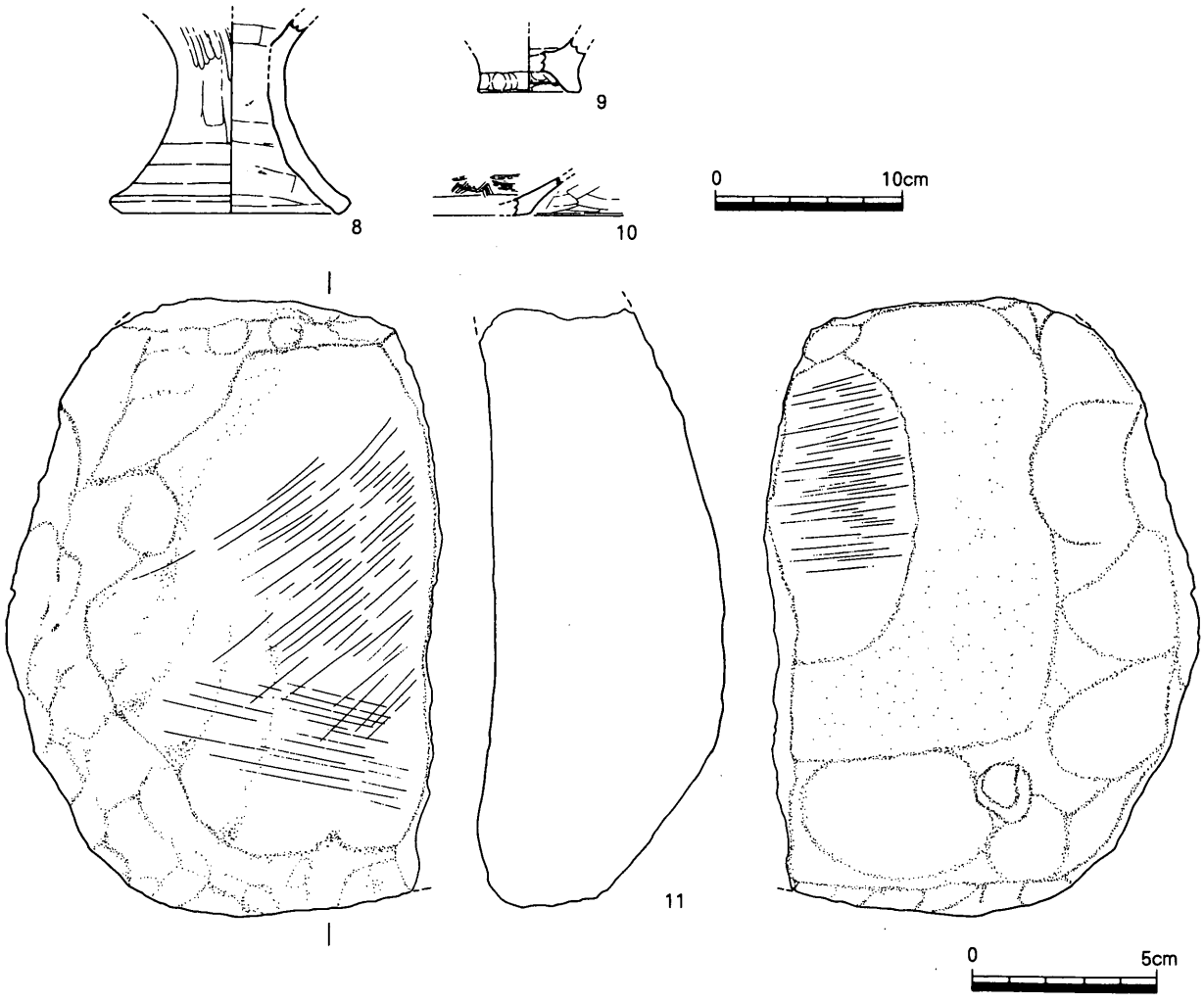
第13図　Ⅰ区遺構配置図（1/300）



第14図　Ⅰ区ＳＨ01，ＳＨ01内ＳＫ01平・断面図（1/60），出土遺物実測図（1/4）



第15図　Ⅰ区ＳＨ02・ＳＨ02内ＳＫ01・ＳＫ02平・断面図（1/60）（1/30），出土遺物実測図（1/4）



第16図　Ⅰ区ＳＨ02出土遺物実測図（1/2）（1/4）

(3)　中世の遺構・遺物

建物

ＳＢ01（第17図）

調査区の中央部で検出した側柱建物である。規模は梁間1間×桁行2間（1.48 m× 4.08 m）である。北東隅の柱穴を欠く。主軸方向はＮ－ 11．5°－Ｅである。柱穴の平面形はほぼ円形であり、深さ20～45㎝を測る。出土遺物はごく少量の土師器小片、土師質土器土鍋小片がある。これらより建物の時期は中世と考える。

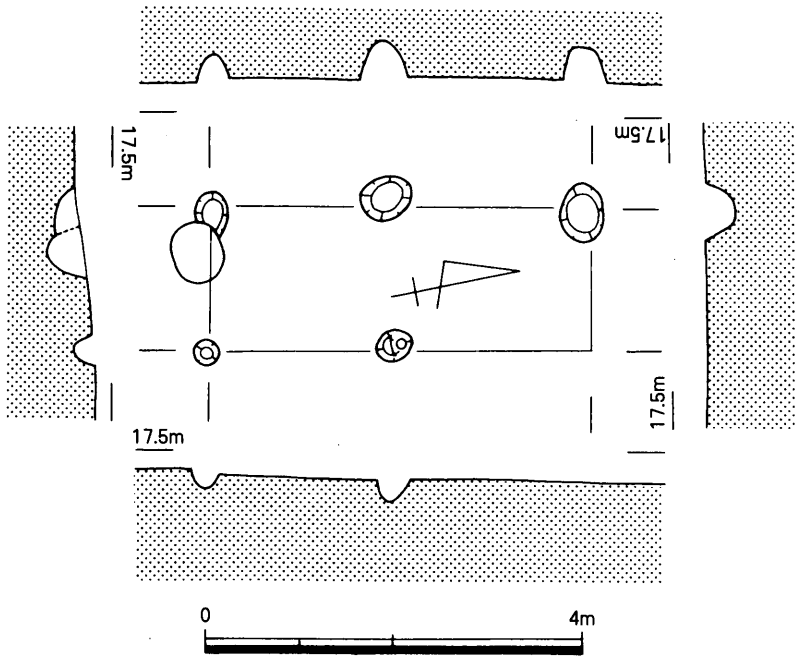
溝

ＳＤ01（第18図）

調査区北部で検出した溝である。東側に近接して同様な規模、主軸方向をもつSD02が位置する。平面系はＬ字形であり、北端で西側に屈曲する。断面形は浅い皿状を呈する。幅0.26～0.88 m、深さ6㎝を測る。主軸方向はＮ－30°－Ｅである。出土遺物は管状土錘（12）がある。時期は第1面で検出したことから中世と考える。

ＳＤ02（第18図）

調査区北部で検出した溝である。北端は撹乱により失われる。断面形はＵ字状を呈し、幅0.36～0.66 m、深さ11㎝を測る。主軸方向はＮ－27°－Ｅである。出土遺物はない。時期は第1面で検出したことから中世と考える。



第17図　Ⅰ区ＳＢ01平・断面図（1/80）

ＳＤ03（第18図）

調査区北部で検出した溝である。東側で２又に分岐し、西端は撹乱に、東端は予備調査トレンチにより失われる。断面形は浅い皿状、逆台形を呈する。幅0.22～0.48 m、深さ７㎝を測る。主軸方向はＮ－64°－Ｗである。出土遺物はごく少量の土師器杯小片、備前焼小片、青磁小片、鉄釘（13）、チップがある。これらから溝の時期は中世と考える。

ＳＤ04（第18図）

調査区北部で検出した溝である。断面形は逆台形を呈する。幅0.14～0.30 m、深さ９㎝を測る。主軸方向はＮ－45°－Ｅである。出土遺物はごく少量の土師器小片、土師質土器土釜（14、15）がある。14はきわめて小さいつばを持ち、内外面に板ナデを施す。15世紀後半～16世紀前半と考えられる。15は14よりさらにつばが痕跡化している。16世紀代と考えられる。14、15より時期は16世紀代と考える。

ＳＤ05（第18図）

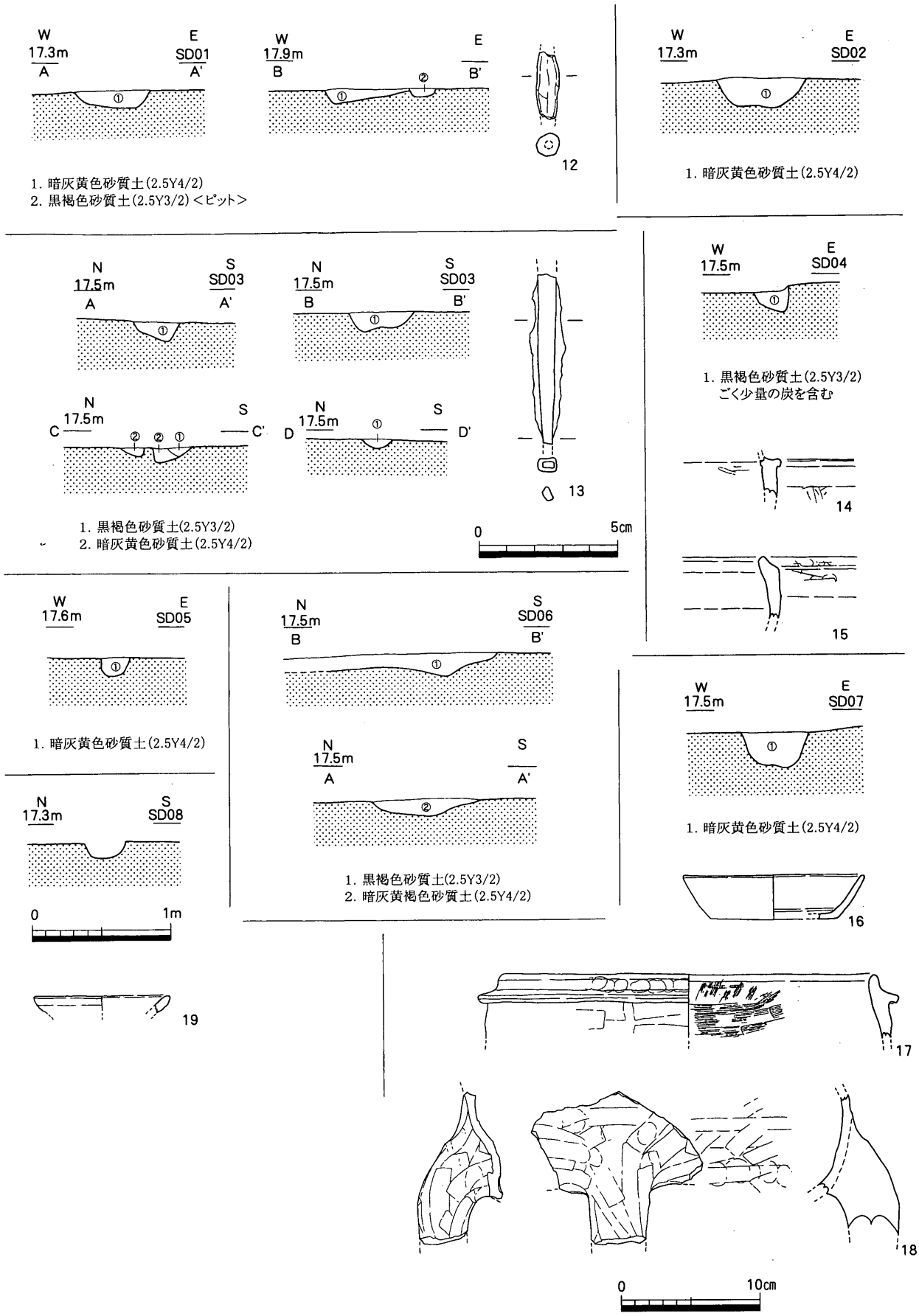
調査区中央部で検出した溝である。断面形はＵ字状を呈する。幅0.24～0.48 m、深さ９㎝を測る。主軸方向はＮ－31°－Ｅである。出土遺物はない。時期は第１面で検出したことから中世と考える。

ＳＤ06（第18図）

調査区中央部で検出した溝である。平面形はＬ字状であり、東側で北側に屈曲する。北端は撹乱により失われる。断面形は浅い皿状を呈する。幅0.40～1.25 m以上、深さ10㎝を測る。主軸方向はＮ－35°－Ｗである。出土遺物はごく少量の土師器杯小片がある。これより溝の時期は中世と考える。

ＳＤ07（第18図）

調査区中央部で検出した溝である。断面形は浅い皿状を呈する。幅0.32～0.50 m、深さ13㎝を測る。主軸方向はＮ－28°－Ｅである。出土遺物は土師器杯（16）、瓦器椀小片、土師質土器土釜（17、18）、土鍋小片がある。16は浅い皿状の器形であり、体部は直線的でやや外傾気味である。13世紀後半～14世紀代と考えられる。17は短いつばを持ち、口縁部はこれと同程度の長さである。外面に板ナデ、内面は上端で縦ハケ、下位で横ハケを施す。15



第18図　Ⅰ区ＳＤ01～ＳＤ08断面図（1/40），出土遺物実測図（1/2）（1/4）

世紀前半と考えられる。18 は脚であり、顕著な板ナデが見られる。時期は 17 から 15 世紀前半と考える。

ＳＤ 08（第 18 図）

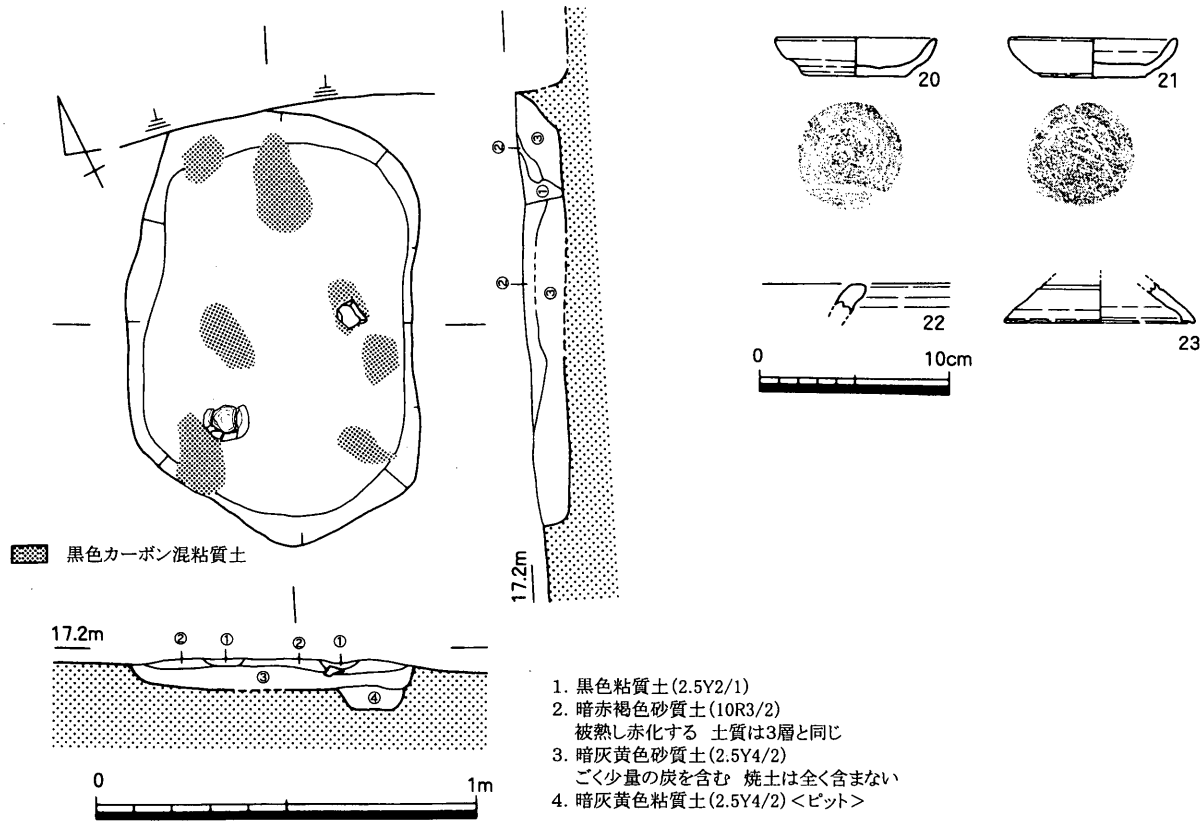
調査区北部で検出した溝である。断面形はＵ字状を呈する。幅 0.20 ～ 0.28 m、深さ 6 ㎝を測る。主軸方向はＮ－68°－Ｗである。出土遺物は土師器杯（19）がある。口径は推定 9.8 ㎝と小さく、器壁は分厚い。13 世紀後半～ 14 世紀代と考えられる。時期は 19 から 13 世紀後半～ 14 世紀代と考える。

土坑

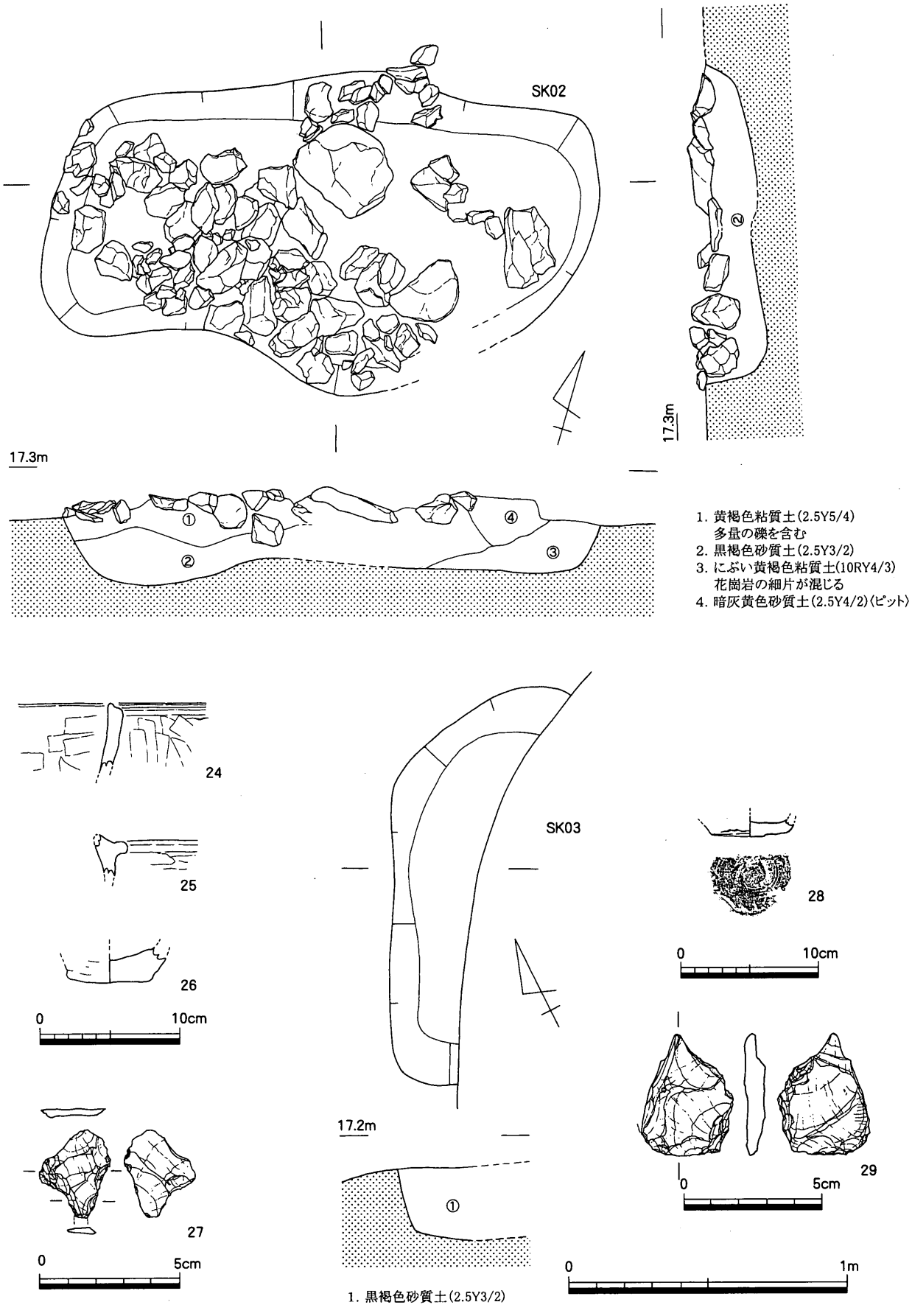
ＳＫ 01（第 19 図）

調査区の北端部で検出した土坑である。平面形は整った方形であり、断面形は壁がほぼ直に落ち、床面はほぼ平坦である。規模は長径 1.13 m、短径 0.75 m、深さ 9 ㎝を測る。主軸方向はＮ－ 27°－Ｅである。検出面である２層上面ではピット状の黒色粘質土（炭を多量に含む。）が７ヶ所に点在する。規模は 15 ～ 25 × 10 ㎝程度で、深さ３㎝前後のものが多い。だが、１ヶ所では深さ 10 ㎝を測り、南北断面を見ると小さく抉れる。埋土は上下２層（2、3 層）に大別されるが、２層は被熱により赤化する。ただ３層とは被熱の有無だけの差であり、土質などは同じである。土層断面から点在する小さな黒色粘質土部分はまきなどを地面に差していた痕跡と考えられ、被熱面が形成されていることから埋没しかかっていた土坑内で何らかの焼成行為が行われたと考えられる。

出土遺物は土師器杯（20、21）、土師質土器鉢、備前焼鉢（22）、弥生土器小片、チップ、須恵器高台付椀（23）がある。20 は検出面よりわずかに浮いているが、遺構に伴うと考えられる。21 はＳＫ 01 より東に１ｍほどの位置で出土しており、直接は伴わない。だが、20 と口径約８．５㎝、体部が外傾気味である、器壁が分厚い、底部を回転ヘラ切りするといった点で酷似するためここに掲載した。ともに 14 世紀代と考えられる。土坑の時期は 20、21 より 14 世



第 19 図　Ｉ区ＳＫ 01 平・断面図（1/20），出土遺物実測図（1/4）



第20図　Ⅰ区ＳＫ02，ＳＫ03平・断面図（1/20），出土遺物実測図（1/2）（1/4）

紀代と考える。

ＳＫ 02（第 20 図）

調査区の北部で検出した土坑である。平面形は南側で膨らむが、概ね整った方形であり、断面形は逆台形である。床面は凹凸がある。規模は長径 1.94 m、短径 1.13 m、深さ 33 ㎝を測る。主軸方向はＮ－ 71°－Ｅである。検出面で多量の砂岩礫が出土した。西側に集中しており、多くは 10 ～ 20 ㎝大であるが、中央部では 30 ㎝大のものも見られる。

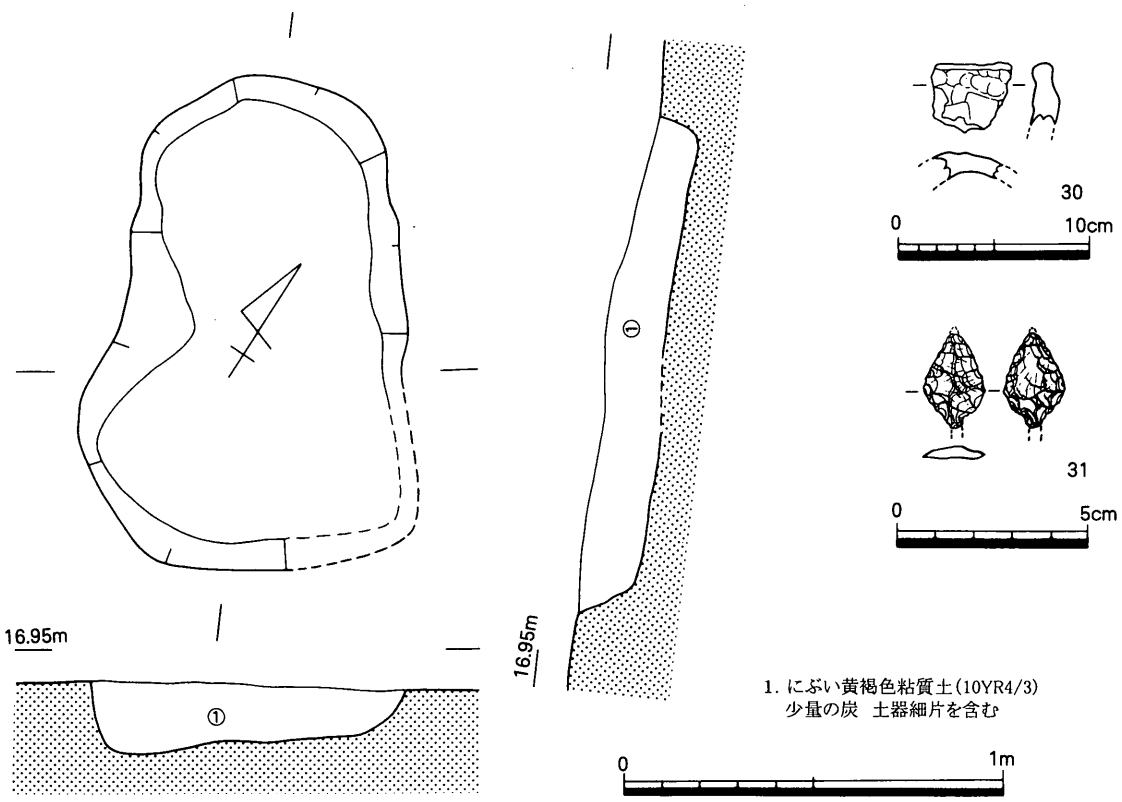
出土遺物は土師質土器土釜（24、25）、弥生土器底部（26）、石錐（27）、チップ、フレークがある。24 は口縁部上面を強くナデてごく小さく、つばを作っている。内外面とも板ナデする。16 世紀代と考えられる。25 は小さい断面方形のつばを持つ。15 世紀前半と考えられる。27 は先端部を欠損し、右図側にほとんど細部調整を行っていない。時期は 24 より 16 世紀代と考える。

ＳＫ 03（第 20 図）

調査区の北部で検出した土坑である。東側が撹乱により大きく失われるが、平面形は方形と推定される。断面形は逆台形を呈する。規模は長径 1.40 m、短径 0.65 m以上、深さ 26 ㎝を測る。主軸方向はＮ－ 26°－Ｅである。出土遺物は土師器小皿（28）、スクレイパー（29）がある。28 は底部をヘラ切りし、分厚い作りである。口縁部を欠くが口径 6.5 ㎝でごく短い口縁部が直立する器形と推定され、15 世紀代に下る可能性が高い。29 は右図側の刃部にやや丁寧な細部調整を行うが、全体的に作りは粗い。時期は 28 より 15 世紀代と考える。

ＳＫ 04（第 21 図）

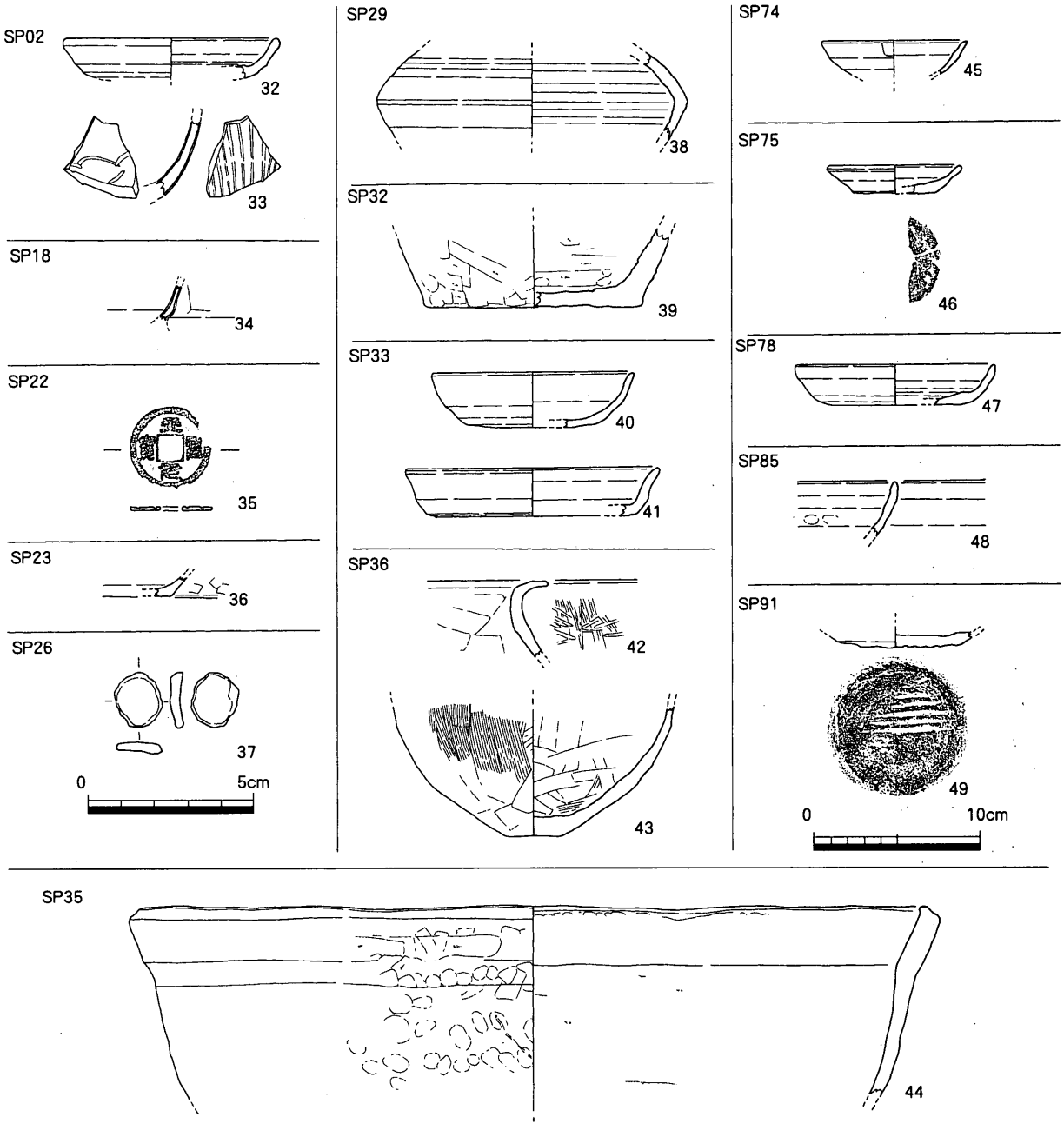
調査区の北部で検出した土坑である。平面形は南側で幅広くなるいびつな方形である。断面形は逆台形を呈する。規模は長径 1.28 m、短径 0.86 m、深さ 19 ㎝を測る。主軸方向はＮ－ 34°－Ｗである。出土遺物はふいごの羽口（30）弥生土器片、石鏃（31）、くさびがある。30 は内外面の上部に顕著な指オサエが見られる。被熱により全面的に赤化する。31 は有茎式であるが、茎はやや不明瞭である。時期は埋土より中世と考える。



第 21 図　Ｉ区ＳＫ 04 平・断面図（1/20），出土遺物実測図（1/2）（1/4）

柱穴（第22図）

Ⅰ区で検出した掘立柱建物、柵列を構成しない柱穴出土遺物を図化した。32は土師器杯である。器高が低く、浅い皿状の器形をもつ。器壁が厚い。33は青磁碗である。外面に線描蓮弁文が見られる。15世紀末～16世紀前半と考えられる。34は磁器の小杯である。近世に位置づけられる。35は銅銭である。「天聖元宝」であり、初鋳年は1023年である。36は土師器の小皿である。37は土製品である。土器片の加工でなく、円盤状に作り出している。包含層から分銅型土製品が出土していることや胎土より弥生時代に属すると考えられる。38は須恵器の長頸壺である。体部外面は回転ヘラケズリを施す。古代と考えられる。39は備前焼の壺の底部である。内外面とも横方向の板ナデを施し、指オサエが目立つ。40、41は土師器杯である。40は体部に丸味を帯び、器壁は薄い。41は器高が低く、外反する口縁部を持つ。底部をヘラ切りする。口径が15㎝あり、12世紀後半と考えられる。42、43は弥生土器である。42は前期の壺の口縁部で口縁部は水平気味である。体部外面はハケ目後ヘラミガキ、内面は板ナデ調整する。43は底部であるが、径が小さく、丸底化しかかっている。内外面ともハケ目、板ナデが見られる。44は土師質土器



第22図　Ⅰ区ＳＰ出土遺物実測図（1/2）（1/4）

土鍋である。口縁部上端を上方に少しつまみ出す。頸部から体部にかけて直線的な器形であり、ほとんど屈曲しない。体部外面には指オサエが顕著に見られる。45、46は土師器小皿である。45は丸味を帯びた体部をもち、口縁部上端に平坦面がある。46は強く外傾し、長い口縁部をもつ。底部をヘラ切りする。法量、器形的にⅠ区ＳＫ01の20と類似する。14世紀代と考えられる。47～49は土師器杯である。48は体部がほぼ直立し、箱形の器形を持つ。49は底部をヘラ切りする。また板目圧痕が見られる。

以上の遺物には弥生土器、土製品や、古代の長頸壺片、近世の小杯もごく少量含むが、大半は中世土器である。これはⅡ、Ⅲ区を合わせた平地部全体での遺構、遺物の分布状況と一致する

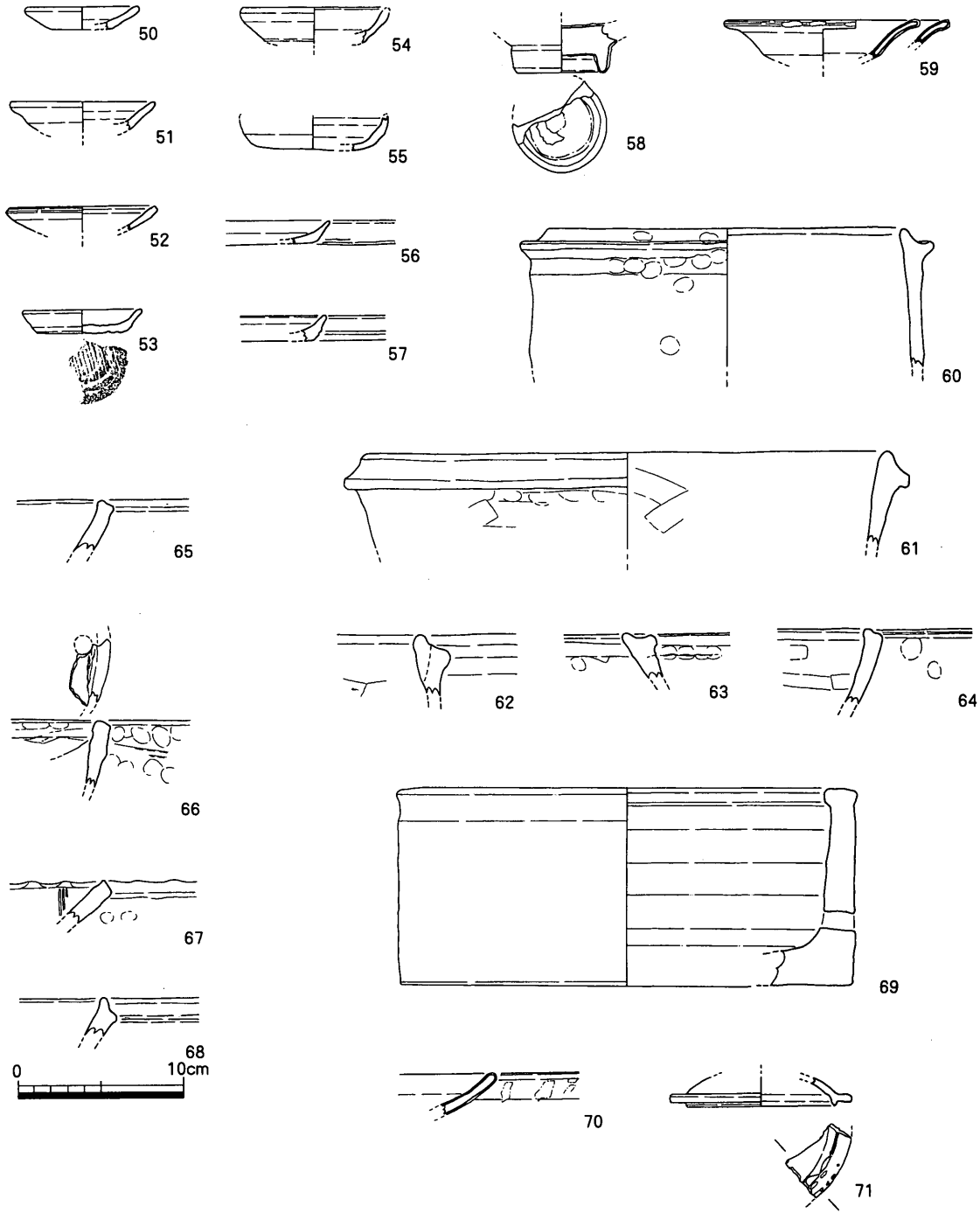
遺構外出土遺物（第23、24図）

50～82は第1面調査時にⅠ区の遺構外から出土した。50～68は中世土器、69～71は近世遺物、72～82は弥生時代の遺物である。50～57は土師器小皿である。50～52は体部が強く外傾し、長い。53は直立気味の短い口縁部をもち、底部をヘラ切りする。54、55は口縁端部が内側に屈曲し、ほぼ直立する。58は青磁碗である。高台内の釉をはぎ取っているが、窯詰め痕跡が残る。59は青磁皿である。口縁部端面に輪花が見られる。60～64は土師質土器土釜である。60は口縁部がつばと同程度の短い口縁部をもつ。15世紀前半と考えられる。61～63は60よりつばが小さく、不明瞭である。いずれも器面調整として板ナデを施す。61は外方に向かって開く器形である。15世紀後半から16世紀前半と考えられる。64は口縁部と矮小なつばが一体化している。16世紀代と考えられる。66は土師質土器の把手付鍋である。口縁部から体部にかけてほぼ直立し、内面に上位から穿孔する。67は土師質土器すり鉢である。3条の擂り目が残存する。68は土師質土器の鉢である。口縁部上端を上方につまみ上げ、拡張する。15世紀末～16世紀代初頭と考えられる。

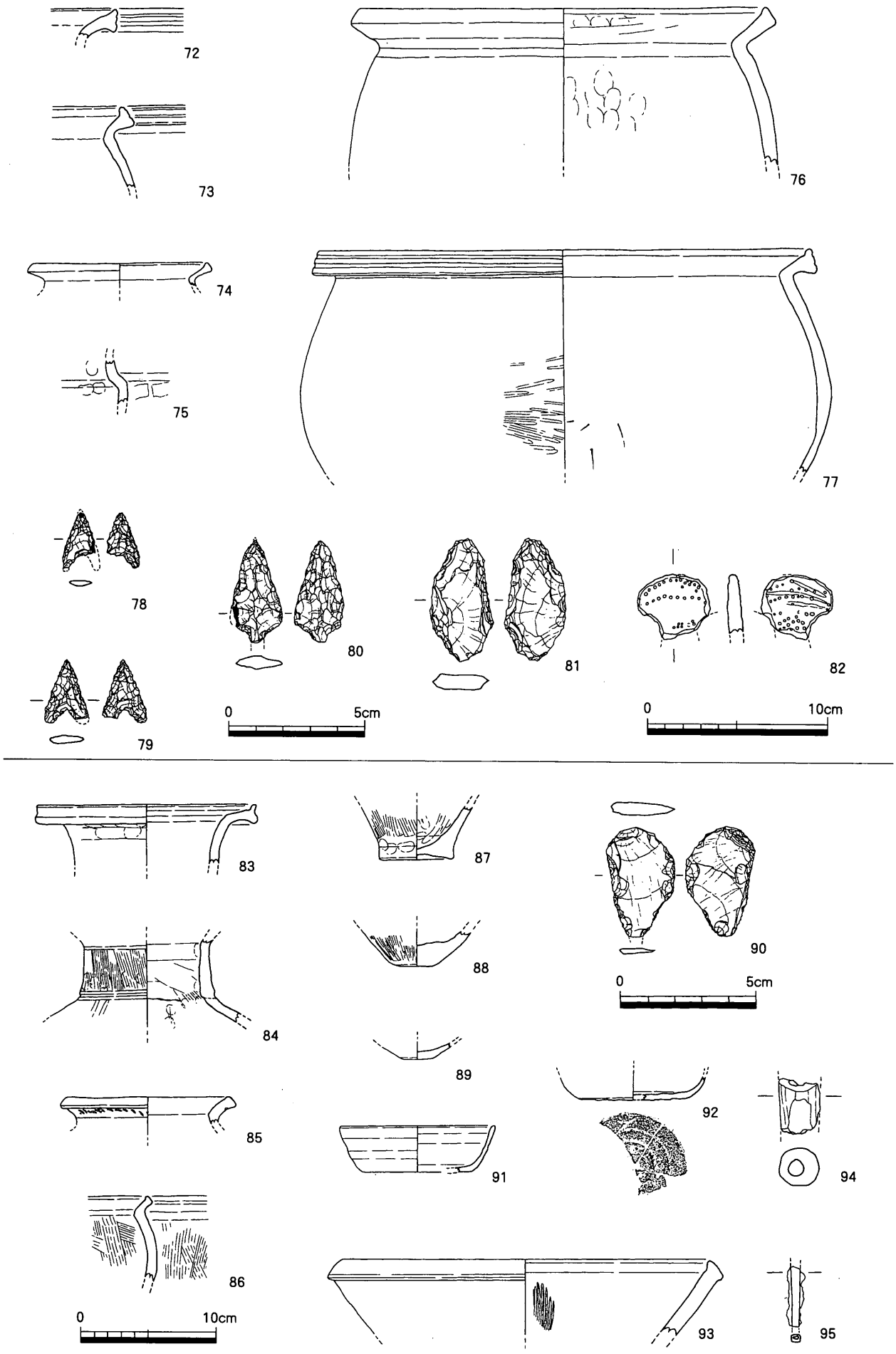
69～71は出土位置が不明であるが、Ⅳ区のＳＦ01関連遺物である。69はサヤ鉢（中）である。口縁端部を内側に大きく肥厚させる。体部下位には穿孔を施す。70は鉢？である。施釉、焼成を行っているが、釉が充分に溶けておらず発色不良である。71は土瓶の蓋である。口縁部下面に陶器片が付着している。重ね焼の痕跡と考えられる。

72は壺である。口縁端部を上下に拡張し、外面に凹線文を施す。73、74、76、77は甕である。73、76、77は肩の張りが弱く、口縁部を肥厚させる。77は外面の体部中央をヘラミガキ、内面をヘラケズリする。いずれも中期中葉と考えられる。78～81は石鏃である。78、79は凹基式であり、抉りの作りは比較的丁寧である。80は有茎式である。先端部に微細な剥離列も見られるものの全体的に粗い調整を施す。81は石鏃未製品である。横長剥片の縁辺部に調整を加えているが、先端部は未加工である。82は分銅型土製品である。両面とも上部に刺突による列点文が施される。2列の弧状をなす。また中央部にもランダムな刺突が見られる。

83～95は第2面調査時にⅠ区の遺構外から出土した。83～89は弥生土器、90は石器、91～95は中世遺物である。83～85は壺である。83は口縁部外面に凹線文を施す。84は頸部外面に縦ハケ、体部外面にヘラミガキ、内面に板ナデ調整する。85は頸部外面に爪形文が見られる。86は甕である。体部の内外面に丁寧なハケ目を施す。87～89は底部である。87は外面にハケ目、内面をヘラケズリする。88、89は底径が小さくなり、丸味を帯びている。90は石錐である。左図側の左縁辺には微細な調整が連続するため錐部の破損後、スクレイパーに転用された可能性がある。91、92は土師器杯である。ともに体部が直立気味で箱形の器形を呈する。92は器壁が薄く、底部をヘラ切りする。14世紀代と考えられる。93は備前焼のすり鉢である。口縁端部が器壁に直交し、上下に拡張する。間壁編年Ⅳ期前半に位置づけられ、15世紀前半と考えられる。94はふいごの羽口、95は鉄釘である。



第23図　Ⅰ区1面包含層出土遺物実測図（1/4）



第24図　Ⅰ区1面・2面包含層出土遺物実測図（1/2）（1/3）（1/4）

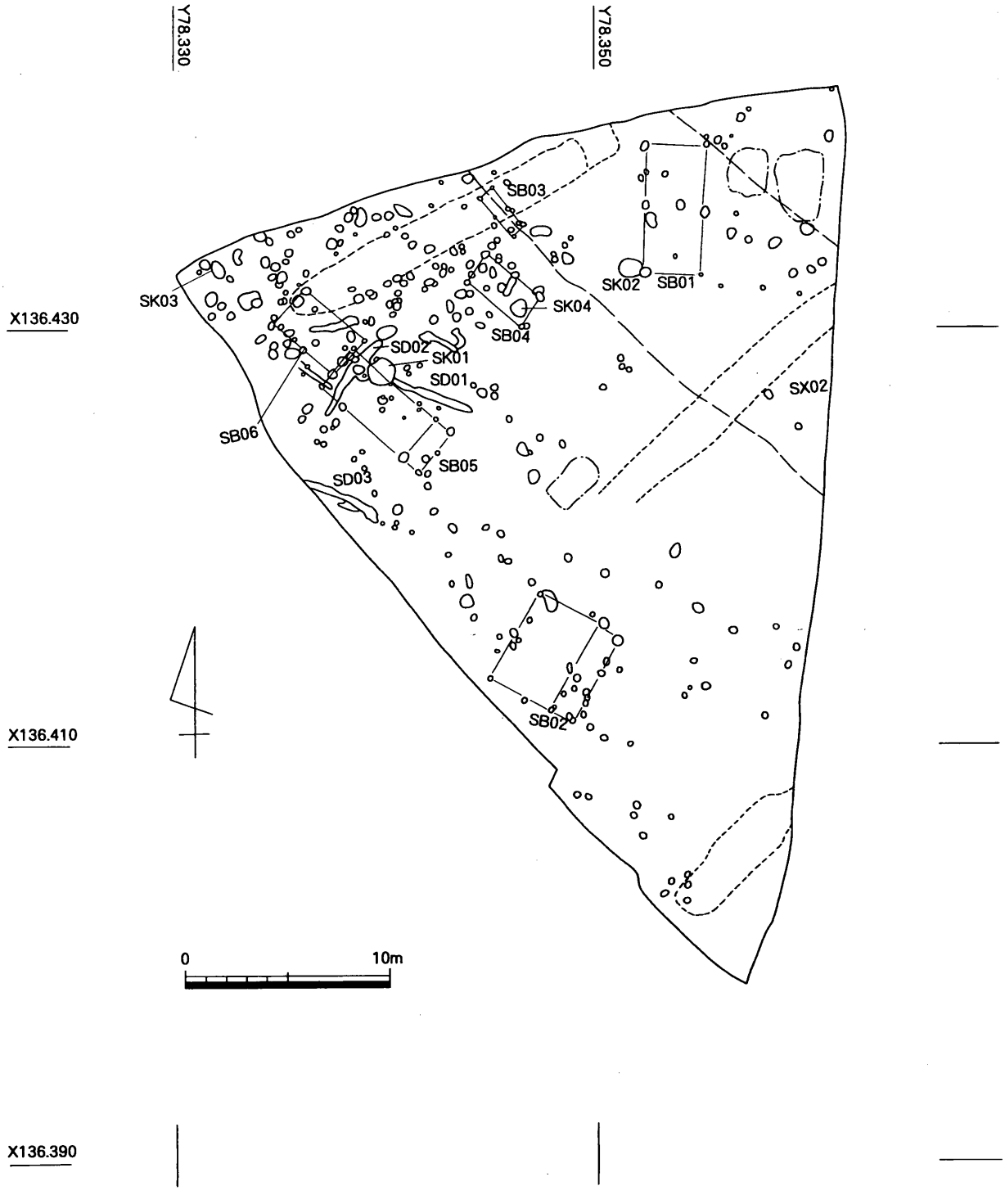
第３節 Ⅱ区の調査成果

(1) 調査区の概要（第25図）

Ⅱ区は調査対象地の北部に位置する三角形の調査区である。Ⅰ区と同様に南側の丘陵から延びる緩斜面にあたる。Ⅰ～Ⅲ区ＳＸ02は中央部に位置し、北西方向に広がる。遺構面はⅠ区と同様に丘陵際部分を除き、２面確認した。

遺構密度は高くないが、Ⅲ区寄りの西部で若干集中する。検出遺構は中世の掘立柱建物６基、溝３条、土坑４基、柱穴などである。柱穴には土師器杯、銅銭をセットにして納めた地鎮め遺構が３基ある。

以下のⅡ区の報告において遺構名称の前に調査区名を付けていないものは全てⅡ区の遺構である。



第25図　Ⅱ区　遺構配置図（1/300）

(2) 中世の遺構・遺物

建物

ＳＢ０１（第26図）

調査区の西部で検出した側柱建物である。ＳＫ02をＳＰ20が切る。規模は梁間１間×桁行２間(3.0 m× 6.28 m)である。主軸方向はＮ－４°－Ｅである。柱穴の平面形は円、楕円形であり、深さ18～40㎝を測る。出土遺物はごく少量の土師器小片、土師質土器土鍋小片がある。これらより建物の時期は中世と考える。

ＳＢ02（第27図）

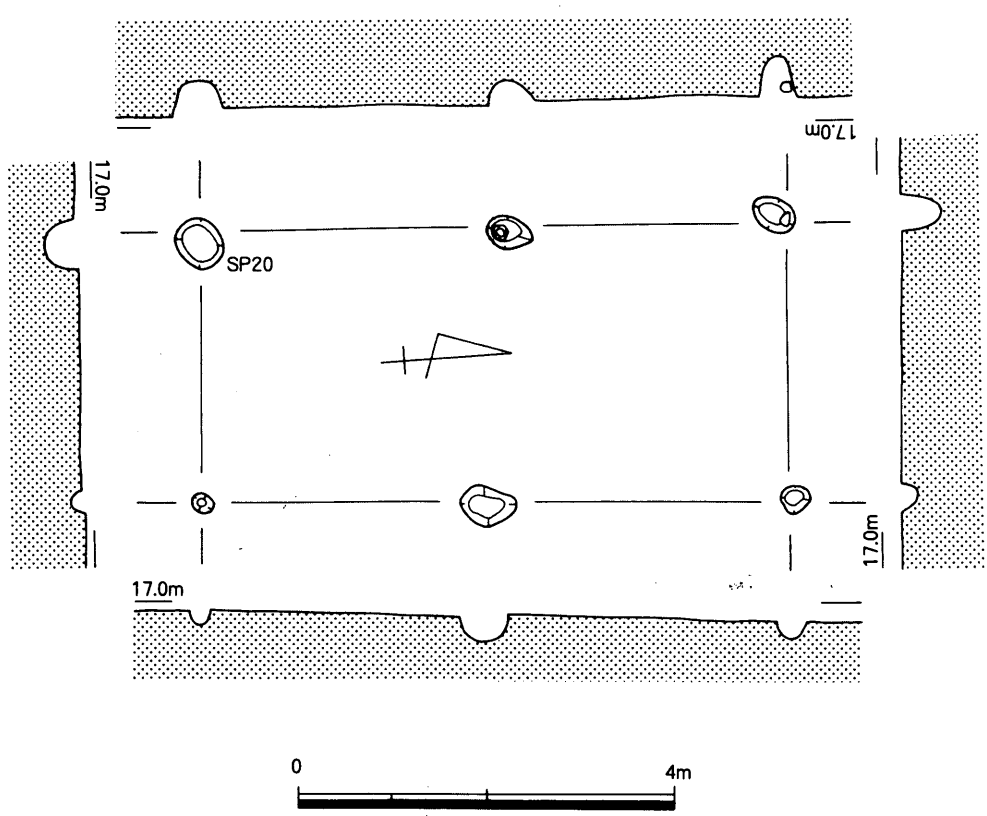
調査区の南部で検出した１面庇建物である。規模は梁間２間×桁行２間（3.20 m× 5.08 m）である。主軸方向はＮ－20°－Ｅである。柱穴の平面形は円、長楕円形であり、深さ８～46㎝を測る。出土遺物はごく少量の土師器小片、土師質土器土釜（96)、弥生土器小片がある。96は口縁部の先端を欠くが、つばと一体化している。内外面とも板ナデ調整する。15世紀後半～16世紀前半と考えられる。96より建物の時期は15世紀後半～16世紀前半と考える。

ＳＢ03（第28図）

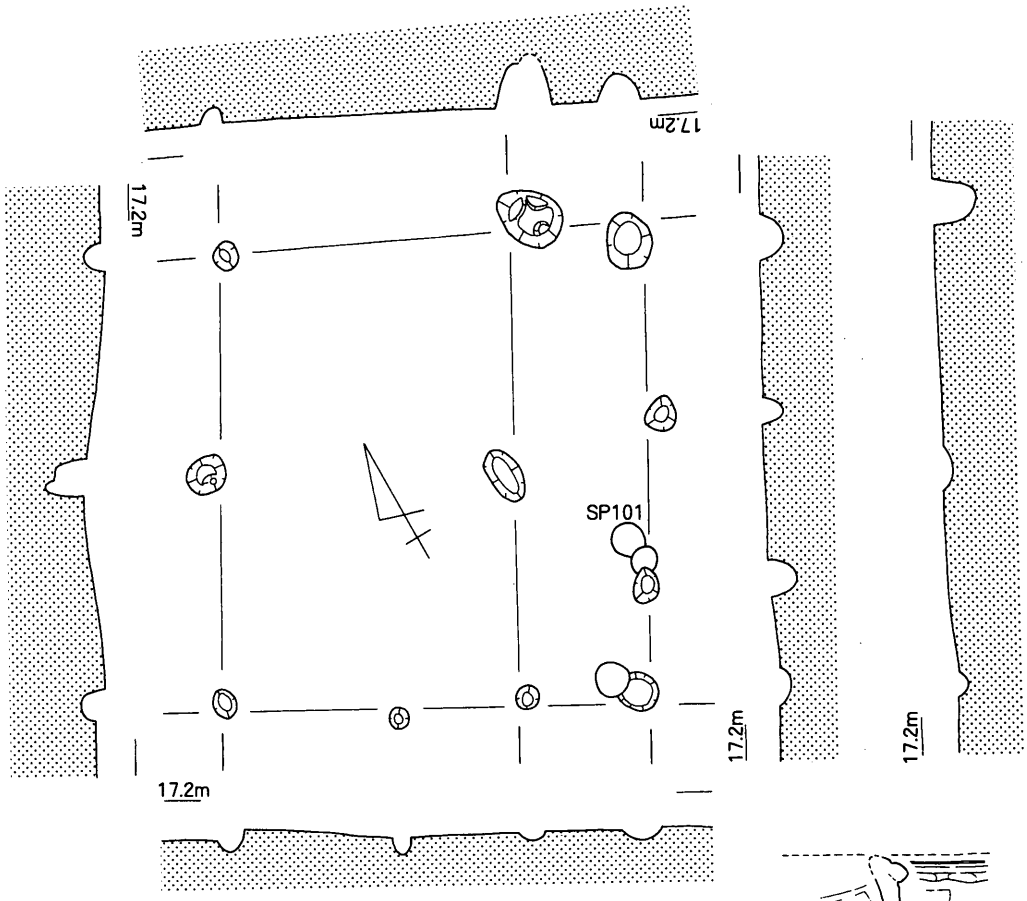
調査区の北部中央で検出した側柱建物である。規模は梁間１間×桁行２間（0.88 m× 2.44 m）である。主軸方向はＮ－41.5°－Ｗである。柱穴の平面形は円形であり、深さ８～16㎝を測る。出土遺物はない。主軸方向が類似し、南西部に近接するＳＢ04～06が中世に位置づけられるため建物の時期は中世と考える。

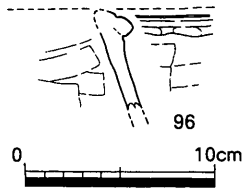
ＳＢ04（第29図）

調査区の北部中央で検出した側柱建物である。規模は梁間１間×桁行２間（1.68 m× 3.44 m）である。主軸方向はＮ－52°－Ｗである。柱穴の平面形は円形であり、深さ20～28㎝を測る。出土遺物はごく少量の土師器小片が

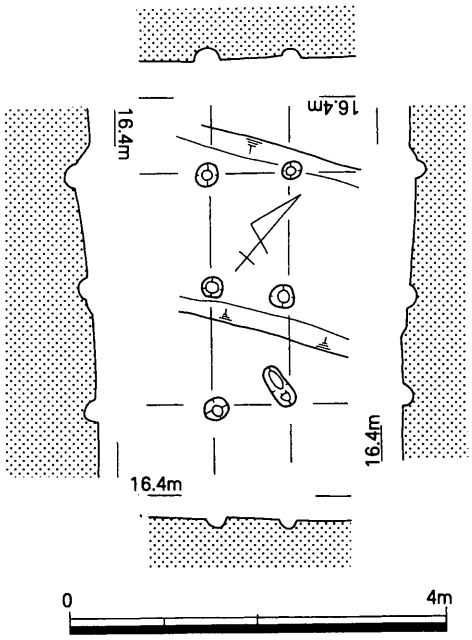


第26図　Ⅱ区ＳＢ01平・断面図（1/80）

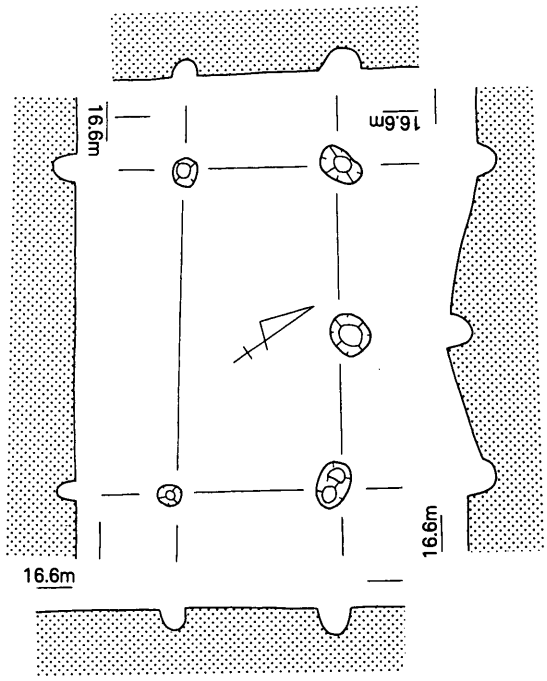




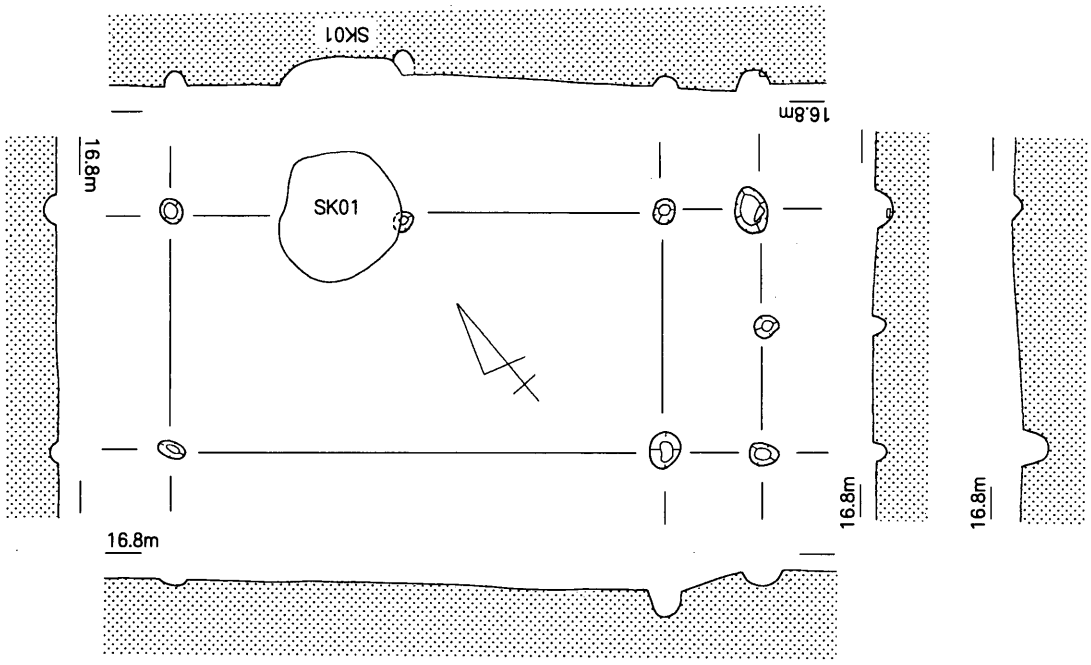
第27図　Ⅱ区ＳＢ02平・断面図（1/80），
出土遺物実測図（1/4）



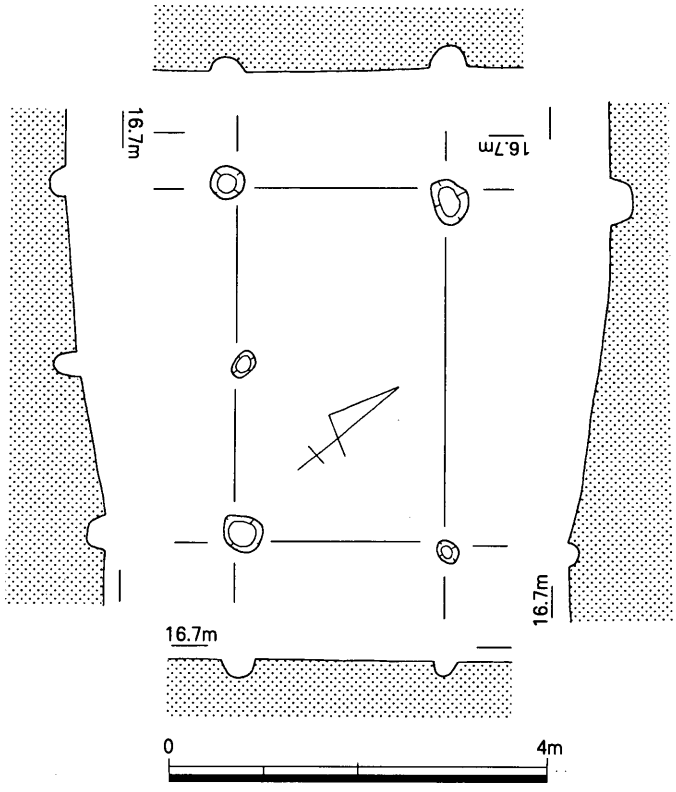
第28図　Ⅱ区ＳＢ03平・断面図（1/80）



第29図　Ⅱ区ＳＢ04平・断面図（1/80）



第30図　Ⅱ区ＳＢ05平・断面図（1/80）



第31図　Ⅱ区ＳＢ06平・断面図（1/80）

ある。これらから建物の時期は中世と考える。

ＳＢ05（第30図）

調査区の北西部で検出した1面庇建物である。構成する柱穴を13世紀後半～14世紀代のＳＤ01、15世紀～16世紀代のＳＫ01が切り、ＳＢ06と重複する。規模は梁間1間×桁行2間（2.52 m× 5.20 m）である。主軸方向はＮ－44°－Ｗである。柱穴の平面形は円、楕円形であり、深さ8～32㎝を測る。出土遺物はない。建物の時期はＳＤ01との切りあいから14世紀代以前と考える。

ＳＢ06（第31図）

調査区の北西部で検出した側柱建物である。ＳＢ05と重複する。規模は梁間1間×桁行2間（2.40 m× 3.72 m）である。主軸方向はＮ－50°－Ｗである。柱穴の平面形はほぼ円形であり、深さ12～28㎝を測る。出土遺物はごく少量の土師質土器の土鍋小片がある。これらより建物の時期は中世と考える。

溝

ＳＤ01（第32図）

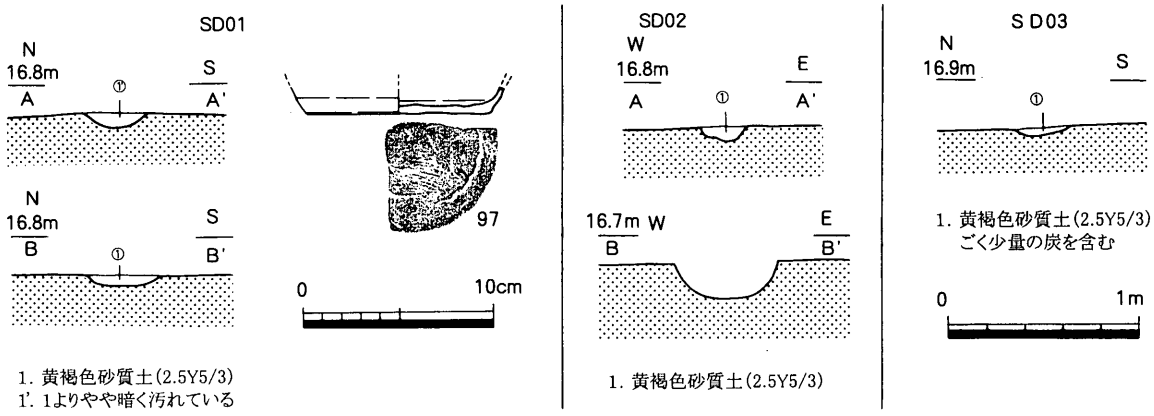
調査区北西部で検出した溝である。断面形は浅い皿状を呈する。幅0.16～0.40 m、深さ4㎝を測る。ＳＢ05を切り、15世紀～16世紀代のＳＫ01に切られる。主軸方向はＮ－68°－Ｗである。出土遺物は土師器杯(97)などがある。口縁部を欠くが、器形は箱型と推定される。器壁は薄めで底部を回転ヘラ切りする。13世紀後半～14世紀代と考えられる。時期は97から13世紀後半～14世紀代と考える。

ＳＤ02（第32図）

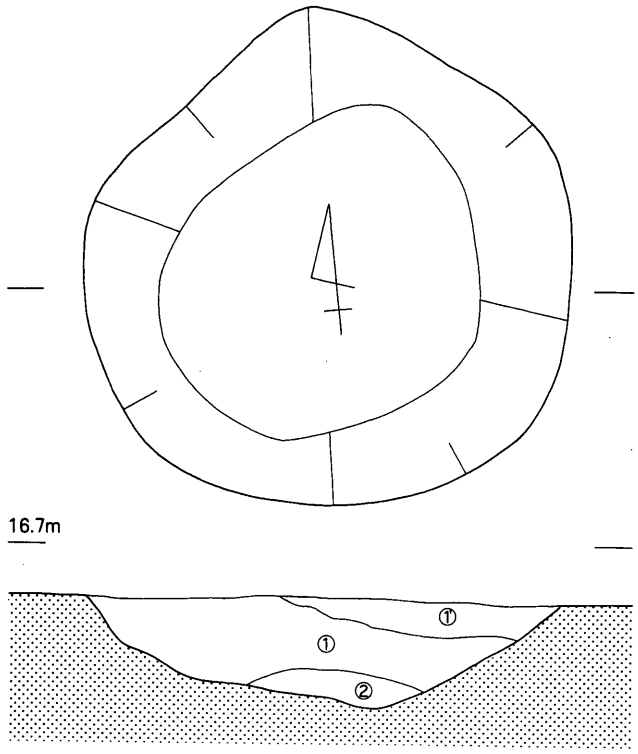
調査区北西部で検出した溝である。断面形はＵ字状を呈する。幅0.18～1.08 m、深さ10～20㎝を測る。15世紀～16世紀代のＳＫ01に切られる。この部分は土坑状に膨らんでおり、異なる遺構と切りあっているのかもしれない。主軸方向はＮ－37°－Ｅである。出土遺物はごく少量の土師器小片がある。時期はＳＫ01との切りあいから16世紀代以前と考える。

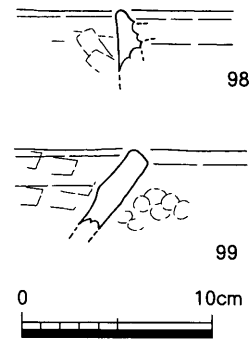
ＳＤ03（第32図）

調査区中央部西端で検出した溝である。断面形は浅い皿状を呈する。幅0.24～0.50 m、深さ3㎝を測る。方向はＮ－68°－Ｗである。出土遺物はごく少量の土師器小片がある。これらから時期は中世と考える。

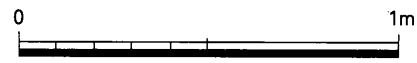


第32図　Ⅱ区ＳＤ01～03断面図（1/40），出土遺物実測図（1/4）

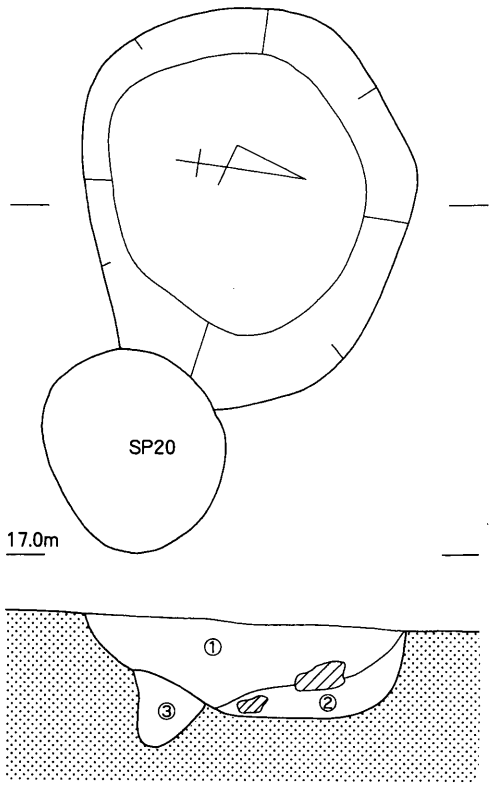




1. オリーブ褐色砂質土(2.5Y4/3)
少量の炭と小石を含む　また、黄褐色土ブロックを含む
1'. 1よりやや赤味を帯びる
2. オリーブ褐色微砂質土(2.5Y4/3)
少量の炭を含む

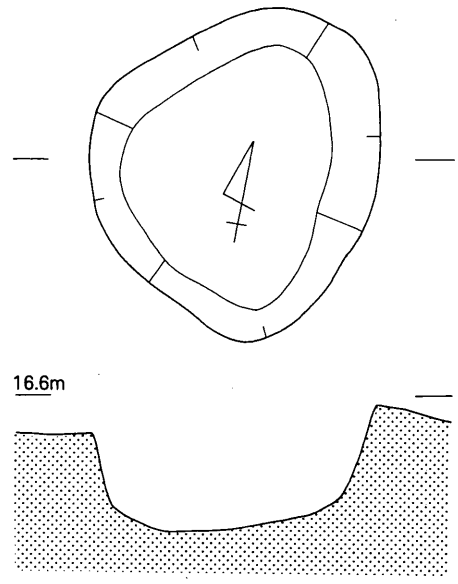


第33図　Ⅱ区ＳＫ01平・断面図（1/20），出土遺物実測図（1/4）

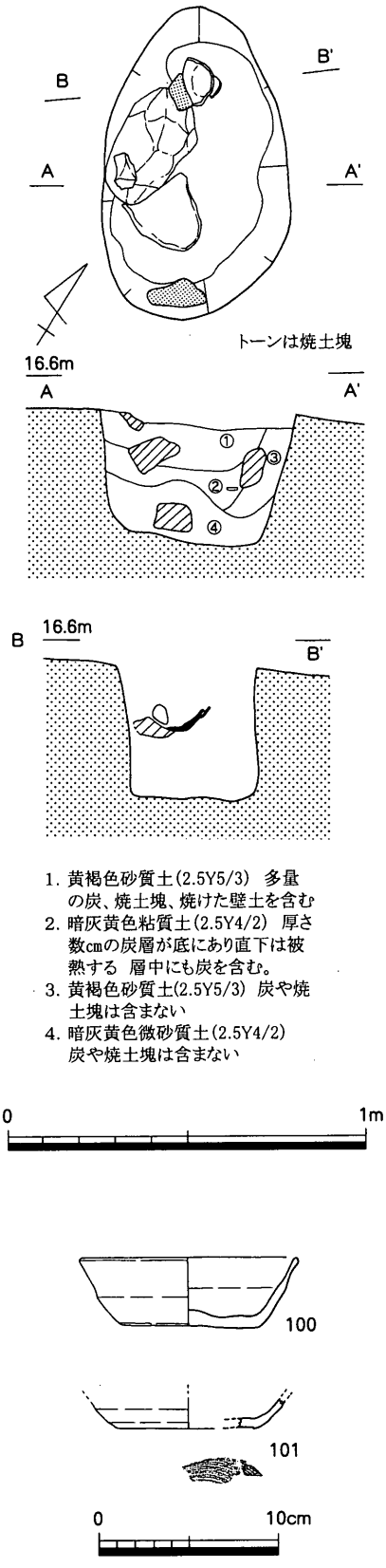


1. 灰黄褐色砂質土(10YR5/2)　多量の砂利、少量の拳大の礫、土器小片を含む
2. オリーブ褐色微砂質土(2.5Y4/3)
3. 暗灰黄色シルト(2.5Y4/2)＜ピット＞

第34図　Ⅱ区ＳＫ02平・断面図（1/20）



第35図　Ⅱ区ＳＫ04平・断面図（1/20）



第36図　Ⅱ区ＳＫ03平・断面図(1/20), 出土遺物実測図(1/4)

土坑

ＳＫ01（第33図）

調査区の北西部で検出した土坑である。平面形は北側の中央が突出する隅丸方形であり、断面形は壁がなだらかに下る。床面も丸みを帯び、小さい起伏がある。規模は長径1.27 m、短径1.26 m、深さ28 cmを測る。ＳＤ01、02を切る。出土遺物はごく少量の土師器小片、土師質土器土釜(98)、土鍋（99）がある。98はつばを欠損するが、口縁部が短く、先端にかけて細くなる。内面は板ナデする。15世紀～16世紀代と考えられる。99は口縁部から頸部にかけての形状が直線的で内面に小さく隆起するに留まる。外面の頸部付近には指押さえが集中し、内面には横方向の板ナデが見られる。中世後半と考えられる。時期は98より15世紀～16世紀代と考えられる。

ＳＫ02（第34図）

調査区の北東部で検出した土坑である。平面形は北側でやや膨らむが、整った方形である。南東部をSB01の柱穴に切られる。断面形は南側で一段高くなり、2段掘り状を呈する。下側では底面が平らである。規模は長径1.01 m、短径0.87 m、深さ27 cmを測る。出土遺物はごく少量の土師器小片がある。時期はこれらより中世と考えられる。

ＳＫ03（第36図）

調査区の北西部で検出した土坑である。平面形は北側ですぼまる楕円形である。断面形は箱型であり、壁がほぼまっすぐに落ち、底面は平らである。（Ｂ－Ｂ´断面ではややオーバーハング気味となる。）規模は長径0.85 m、短径0.53 m、深さ37 cmを測る。主軸方向はＮ－27°－Ｗである。埋土は4層に区分できるが、1、2層には炭、焼土塊などを含む。また2層最下面には炭層が見られ、直下は被熱している。これらの層中には礫を含むが、これも被熱している。以上から埋没しかけた土坑内で何らかの焼成行為がされている。また大きい礫の直上で破損した杯（100）が出土しているが、廃棄された可能性が高い。出土遺物は土師器杯（100、101）などがある。100はやや外傾気味の体部を持ち、器高は高く、器壁は厚めである。内外面とも回転ヨコナデによる凹凸が明瞭である。底部は糸切りする。101は体部が強く外傾し、底部を糸切りする。ともに14～15世紀代と考えられる。時期は100、101より14、15世紀代と考えられる。

ＳＫ04（第35図）

調査区の北部中央で検出した土坑である。平面形はいびつな円形であり、断面形はＵ字状を呈する。床面は西側でやや下がり気味である。規模は長径0.82 m、短径0.75 m、深さ33 cmを測る。出土遺物はごく少量の土師器小片がある。時期はこれらより中世と考えられる。

柱穴（第 37 ～ 39 図）

Ⅱ区で検出した掘立柱建物、柵列を構成しない柱穴出土遺物を図化した。

ＳＰ 01(第 37 図)

調査区の北西部で検出した柱穴である。平面形はやや角ばる円形であり、断面形はＵ字状を呈する。規模は径 0.38 m、深さ 23 ㎝を測る。柱穴の中央から北よりにかけて土師器杯 3 枚（102 ～ 104）が重ねられた状態で出土した。いずれも口縁部を上位に向ける。並びと杯の口縁端部に別の杯の底部が接している出土状況から 102、104 は傾いているものの、概ね本来の状況を保つと考えられる。よってまず 102 を柱穴中央に配し、その北側に半身ほどずらして 104 を置き、さらに 103 を少しずらして配置したと考えられる。また南側に 10 ㎝弱空けて同レベルより永楽通宝が出土した。銭は伴わないが同様な遺構としてＳＰ 67、72 がある。

出土遺物は上記の土師器杯、永楽通宝（105）がある。102 ～ 104 は口径約 13 ㎝、器高 4 ㎝強で、器壁は分厚く、体部は直立気味である。また底部を回転ヘラ切りし、体部外面下位にはこれに伴うと考えられるヘラ傷が見られる。このように法量、器形、製作技術で類似する。105 は初鋳年が 1408 年である。柱穴の時期は 105 より 15 世紀前半と考えられる。

106 は土師質土器土釜である。矮小化したつばとごく短い口縁部をもつ。外面のつばの下には指オサエ後板ナデが、内面には口縁部付近で横方向の板ナデが施される。15 世紀後半～ 16 世紀前半と考えられる。107 は土師質土器土鍋である。内外面とも横方向の板ナデ調整が行われる。口縁部から頸部にかけてはなだらかである。108、109 は土師質土器土釜である。108 は 106 と同様な特徴を持つが、109 はつばがさらに痕跡的になっている。109 は 16 世紀代と考えられる。110、114 は鉄釘である。どちらも断面が正方形に近く、L 字形の頭部を持つ。111 は土師器杯である。器形は浅い箱形であり、口縁部は弱く内湾する。体部はヘラ切りし、板目圧痕も見られる。13 世紀後半～ 14 世紀代と考えられる。112 は土師質土器鉢である。口縁端部がほぼ直立する。内外面とも板ナデを施す。113 は土師質土器土鍋である。直立する口縁端部は肥厚気味である。15 世紀～ 16 世紀代と考えられる。115 は土師器杯である。器壁はかなり薄く、口縁部は立ち上がりがきつい。14 世紀代と考えられる。116 ～ 118 は土師質土器土釜である。いずれも 106 と同じ特徴を持ち、時期も 15 世紀後半～ 16 世紀前半と考えられる。

ＳＰ 67（第 38 図）

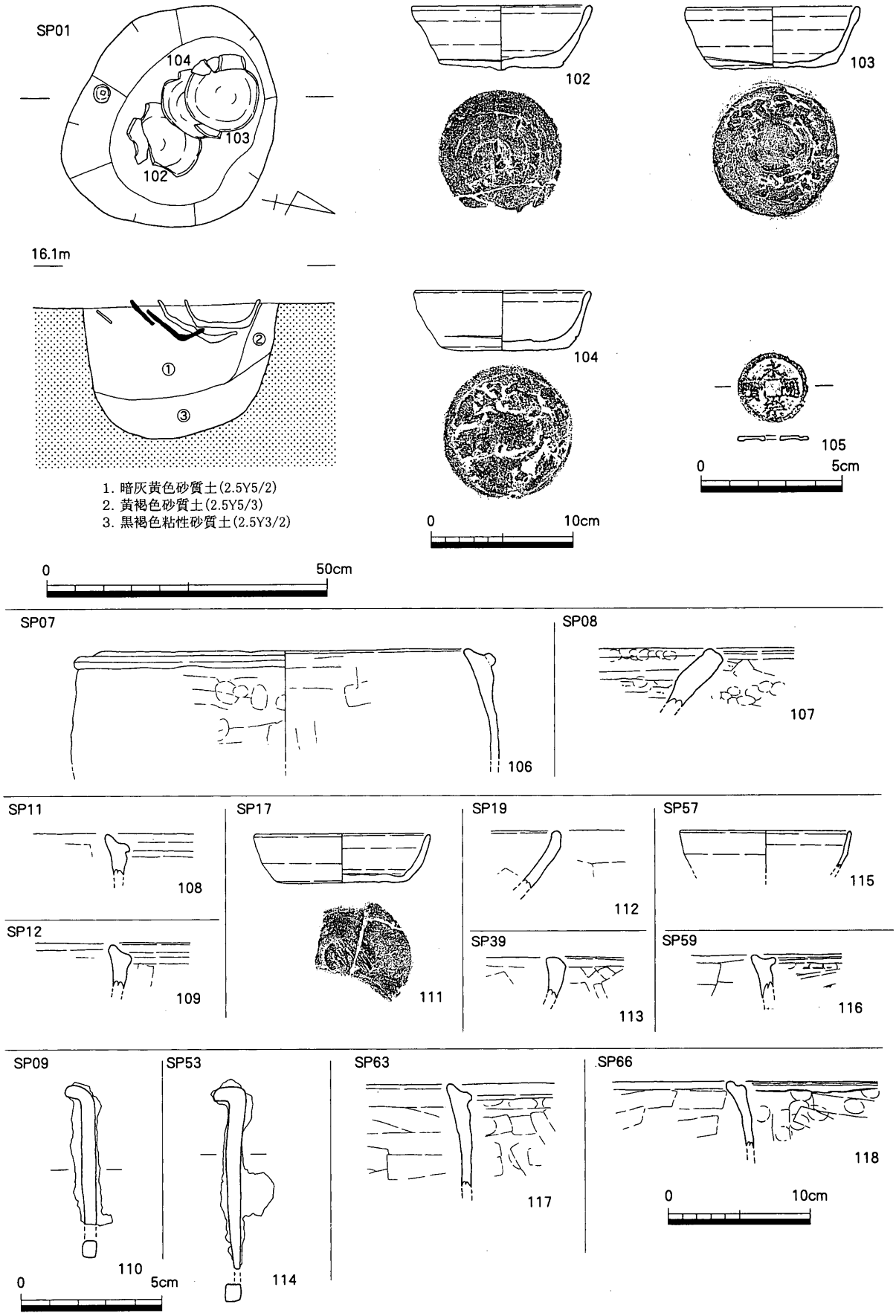
調査区の北部中央で検出した柱穴である。平面形はほぼ円形であり、断面形はＵ字状を呈する。規模は径 0.36 m、深さ 29 ㎝を測る。検出面で土師器杯 5 枚（119 ～ 123）が重なって出土した。いずれも口縁部を上位に向けており、中央上部にある 119 以外は中央に向かってななめに傾いている。これは南側にある樹痕によるかもしれない。杯の配置順序については出土レベルと相互の重複から以下の様に復元される。まず 121、123 を南北に並べて置く。次いでこれと十字になるようにそれぞれと半身程度ずらした位置に 120、122 を重ねる。最後に十字の真ん中に 119 を配する。

出土遺物は上記の土師器杯がある。119 ～ 123 は口径約 12 ㎝、器高約 3.5 ㎝を測る。全体的に薄作りで体部は底部との境界付近で小さく屈曲し、口縁部にかけて直立気味にたちあがる。また底部を回転ヘラ切りする。いずれも法量、器形、製作技術で類似する。14 世紀代と考えられる。柱穴の時期は 119 ～ 123 より 14 世紀代と考えられる。

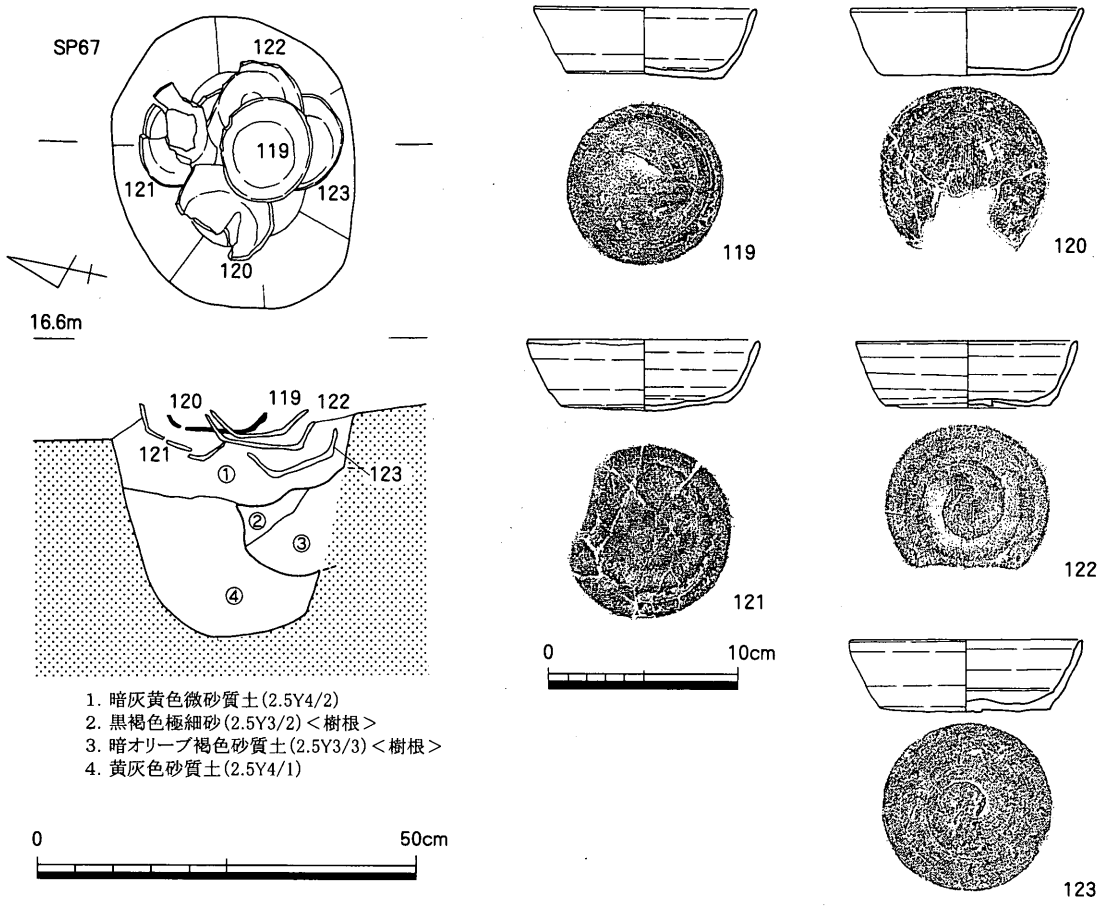
ＳＰ 72（第 38 図）

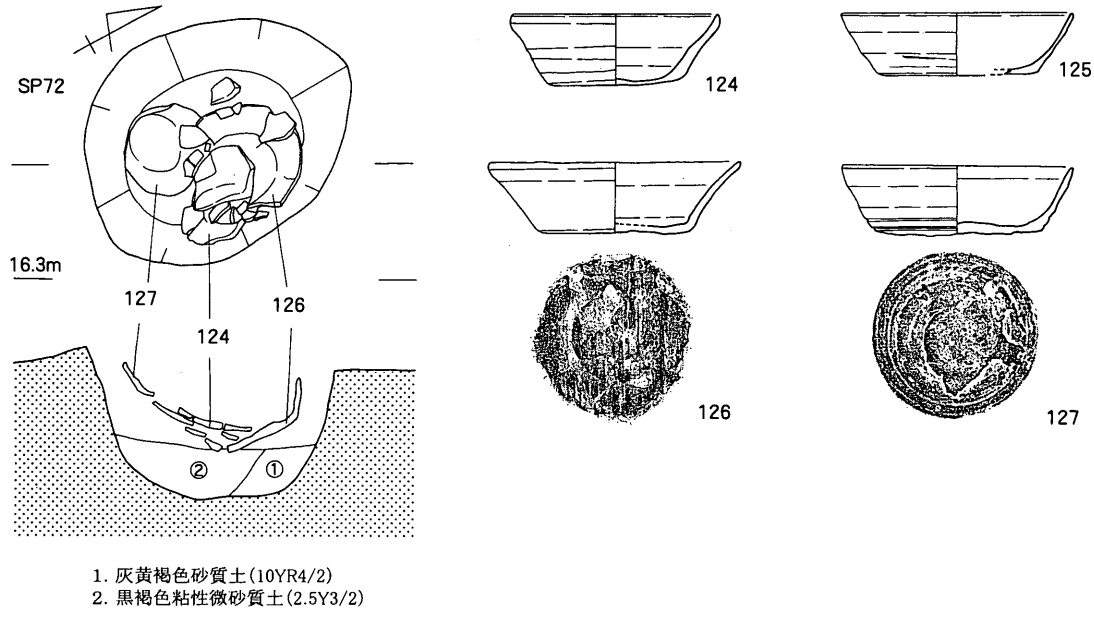
調査区の北部中央で検出した柱穴である。平面形は楕円形であり、断面形はＵ字状を呈する。規模は径 0.33 m、深さ 21 ㎝を測る。土師器杯 3 枚（124、126、127）がまとまって出土した。いずれも口縁部を上位に向けているが、124 と 127 はかなり斜めむきで出土した。また 124 は 126 の上に重なっている。本来は 3 枚の底を同レベルに平らに配置していたのかもしれないが、明らかでない。

出土遺物は土師器杯（124 ～ 127）がある。124 は口縁端部が直立し、やや分厚い作りである。125 は体部の器壁が薄く、底部をヘラ切りする。体部外面下位にもヘラ切りに伴うと推定される傷が見られる。126 は口縁部が強く外反し、器高が高い。底部はヘラ切りする。127 は他より体部がやや直立する。底部はやはりヘラ切りする。柱穴の

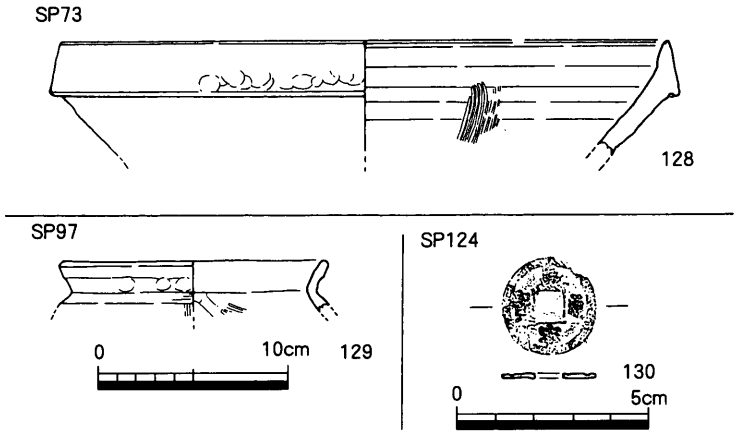


第37図　Ⅱ区ＳＰ01平・断面図（1/10），ＳＰ出土遺物実測図（1/2）（1/4）





第38図　Ⅱ区ＳＰ67，ＳＰ72平・断面図（1/10），出土遺物実測図（1/4）



第39図　Ⅱ区ＳＰ出土遺物実測図（1/2）（1/4）

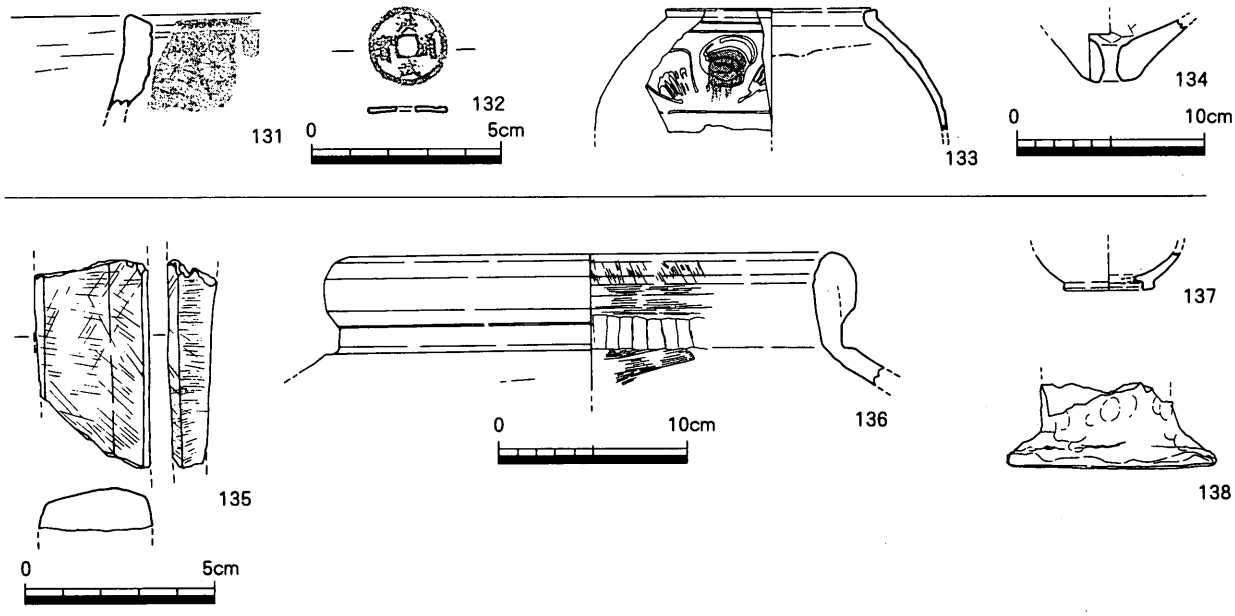
時期は125、127より13世紀後半～14世紀代と考えられる。

柱穴（第39図）

128は備前焼すり鉢である。口縁端部はやや内径するが、ほぼ直立し、上下に肥厚する。内面には9条のおろし目が見られる。間壁編年Ⅳ期後半に該当し、15世紀後半と考えられる。129は弥生土器の甕である。直立気味の短い口縁部を持ち、頸部の内外面にはハケ目を施す。130は皇宋通宝である。初鋳年は1039年である。

遺構外出土遺物（第40図）

131～134は第1面の、135～138は第2面の調査時に遺構外から出土した。ただ133、137、138は近世遺物であり、後の2つは窯があるⅣ区に接するⅡ区南壁の清掃で出土している。131は火鉢である。外面に菊花文のスタンプを施す。また外面の口縁部直下に1条の沈線をもつ。132は洪武通宝である。初鋳年は1368年である。133は土瓶である。外面にイッチン掛けによる文様が施される。谷の製品と比べると口縁部が分厚く、器高が高い。釉も薄緑色を呈し、胎土もきめ細かい。時期的には類似する可能性が高いが、他地域より持ち込まれたと思われる。134は弥生土器の甑である。平底であるが、小さくやや丸味を帯びている。135は緑泥片岩製の柱状片刃石斧である。基部、刃部を欠くが丁寧な研磨が行われている。136は備前焼の甕である。口縁部は折り曲げて製作しており、玉縁状をなす。間壁編年Ⅲ期に該当し、14世紀代と考えられる。137は丸碗である。素焼きであり、外面に回転ヘラケズリを施す。138はトチンである。全面に顕著な指オサエが見られる。



第40図　Ⅱ区第1面・2面包含層出土遺物実測図（1/2）（1/4）

第41図　Ⅲ区遺構配置図（1/300）

第４節 Ⅲ区の調査成果

(1) 調査区の概要（第 41 図）

Ⅲ区は調査対象地の北端に位置する台形状の調査区である。Ⅰ、Ⅱ区の平坦面が延びているが、東部では西側の谷地形へ向かってややきつい傾斜となる。Ⅰ～Ⅲ区ＳＸ 02 は調査区のやや西寄りにあり、Ⅰ、Ⅱ区の東西方向から南北方向へ向きを変える。遺構面は全面で２面を確認した。

遺構密度は希薄であるが、Ⅱ区のまとまりが延びてきており、南西部でやや多く見られる。検出遺構は中世の掘立柱建物１基、土坑７基、柱穴などである。

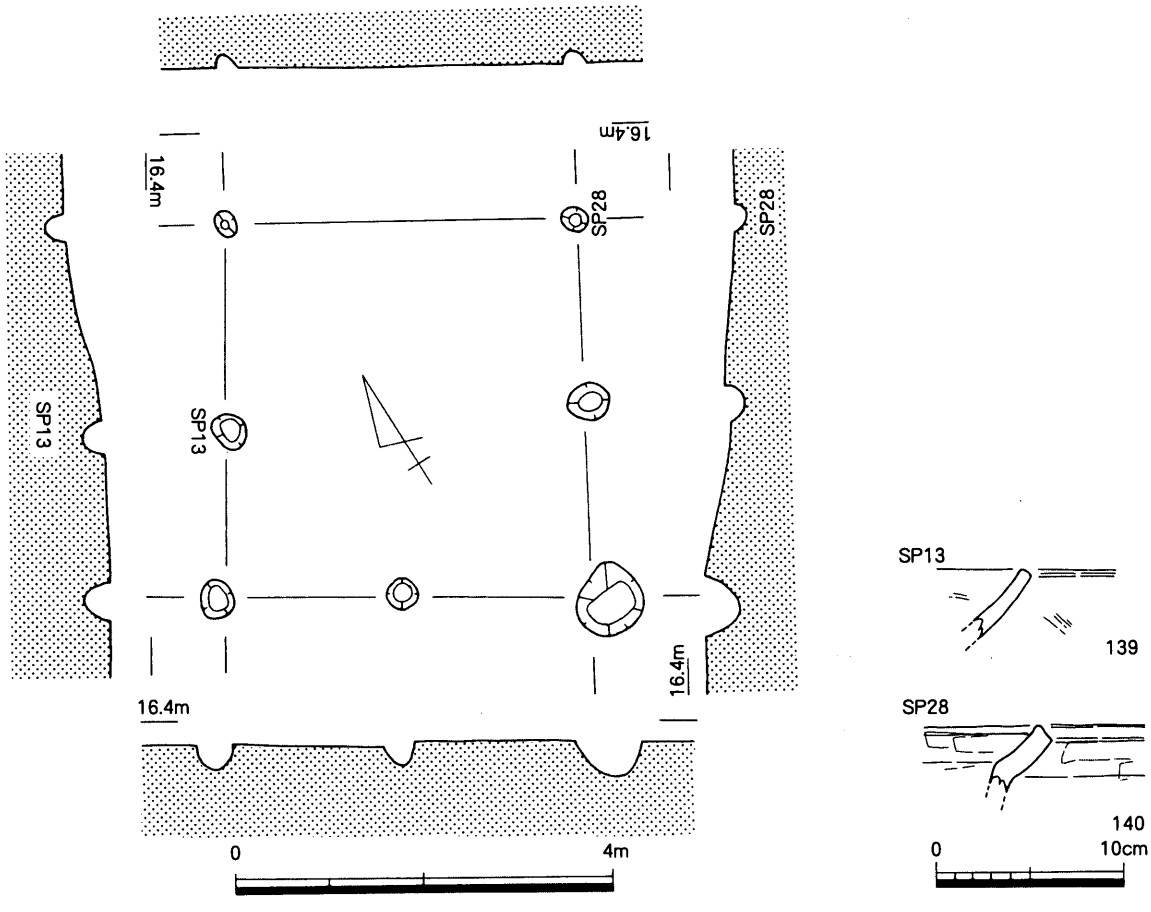
以下のⅢ区の報告において遺構名称の前に調査区名を付けていないものは全てⅢ区の遺構である。

(2) 中世の遺構・遺物

建物

ＳＢ 01（第 42 図）

調査区の北西部で検出した側柱建物である。規模は梁間２間×桁行２間（4.04 m× 4.16 m）である。北側梁間中央の柱穴を欠く。主軸方向はＮ－ 33°－Ｅである。柱穴の平面形はほぼ円形であり、深さ 16 ～ 38 ㎝を測る。出土遺物は土師質土器鉢（139）、土鍋（140）がある。139 は口縁端部が断面方形を呈し、内外面にハケメを施す。140 は口縁端部内面を上方へわずかにつまみ上げる。頸部の屈曲は強く、直立気味に体部が延びる。内外面はともに横方向の板ナデ調整する。これらより建物の時期は中世と考える。

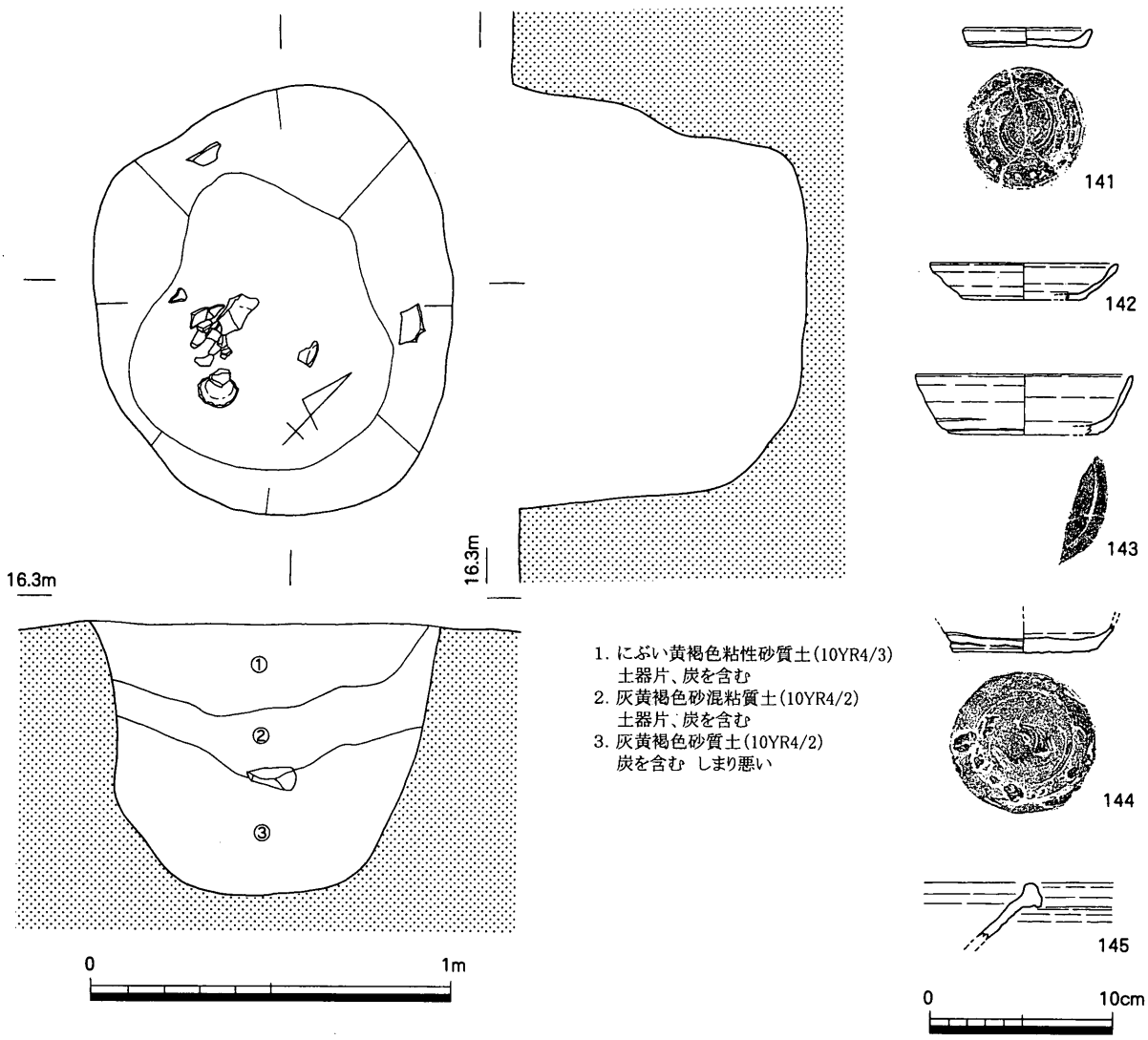


第 42 図　Ⅲ区ＳＢ 01 平・断面図（1/80），出土遺物実測図（1/4）

土坑

ＳＫ01（第43図）

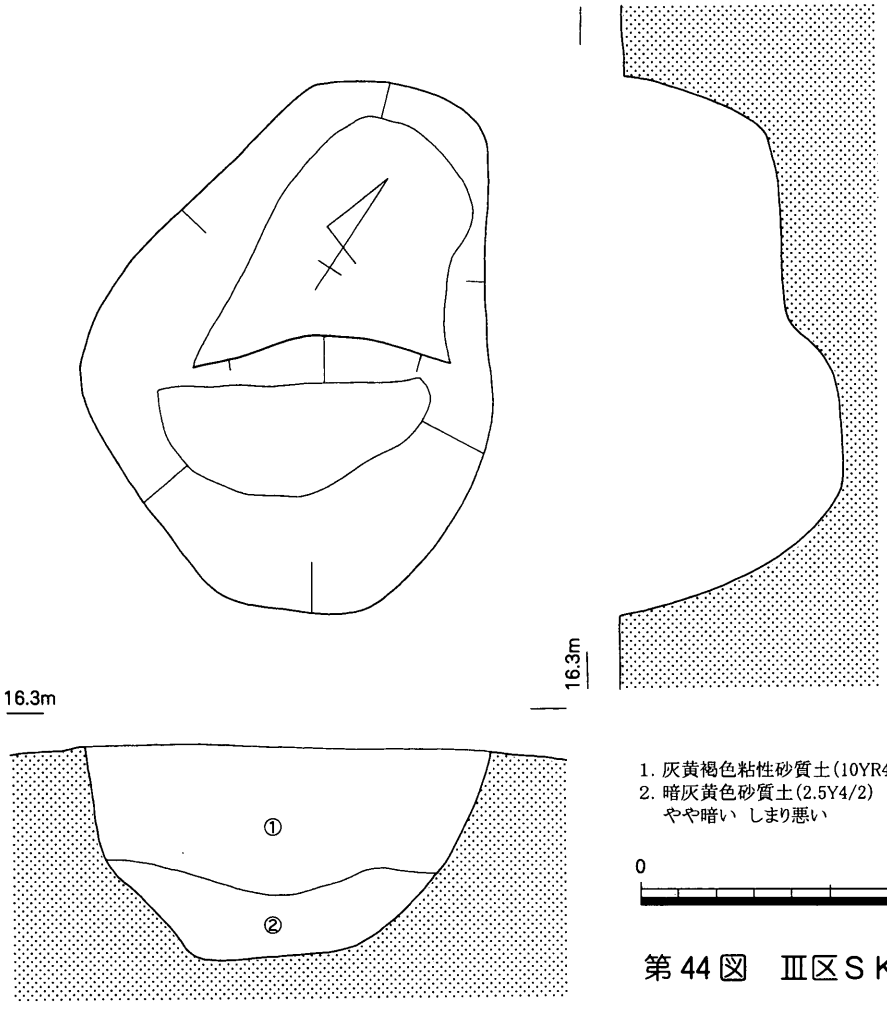
調査区の西部で検出した土坑である。平面形はいびつな楕円形である。断面形は壁がほぼまっすぐに落ち、床面はほぼ平坦である。規模は長径1.16 m、短径0.99 m、深さ88 ㎝を測る。少量の土師器杯、礫などが1、2層で散らばって出土した。出土遺物は土師器小皿（141）、杯（142～144）、土師質土器土鍋、東播系コネ鉢（145）がある。141は口縁部が短く直立し、器壁は分厚い。底部をヘラ切りするが、体部下端にこれに伴うと考えられるヘラ傷が見られる。13世紀後半～14世紀代と考えられる。142は体部が強く外傾し、浅い器形をもつ。器壁は薄く、底部をヘラ切りする。14世紀代と考えられる。143は直立気味で薄作りの直線的な体部をもつ。底部はヘラ切りするが、体部との境界は丸みを帯びる。14世紀代と考えられる。145の口縁端部は肥厚するが、上部はつぶれた様に丸くなっている。14世紀後半と考えられる。145より土坑の時期は14世紀後半と考えられる。



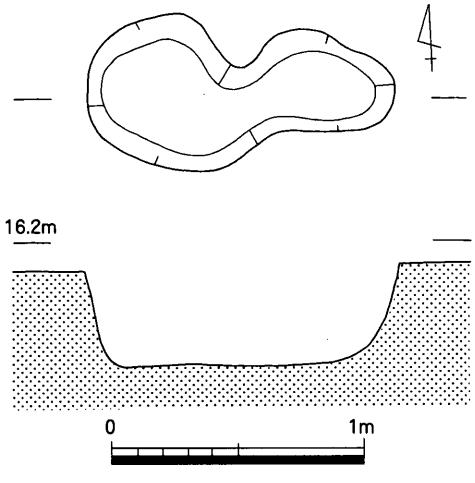
第43図　Ⅲ区ＳＫ01平・断面図（1/20），出土遺物実測図（1/4）

ＳＫ02（第44図）

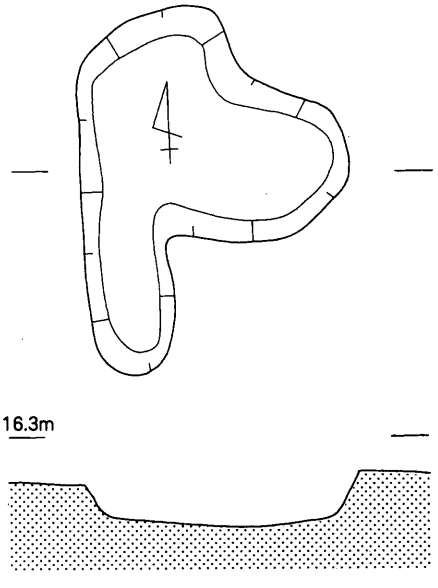
調査区の西部で検出した土坑である。平面形は西側でいびつに膨らむが、概ね楕円形である。断面形は壁がきつい傾斜で立ち上がる。また床面は2段になっている。北側より南側が一段下がり、2つの平坦面からなる。規模は長径1.38 m、短径1.07 m、深さ57 ㎝を測る。出土遺物はごく少量の弥生土器小片がある。時期は検出遺構面より中世と考え



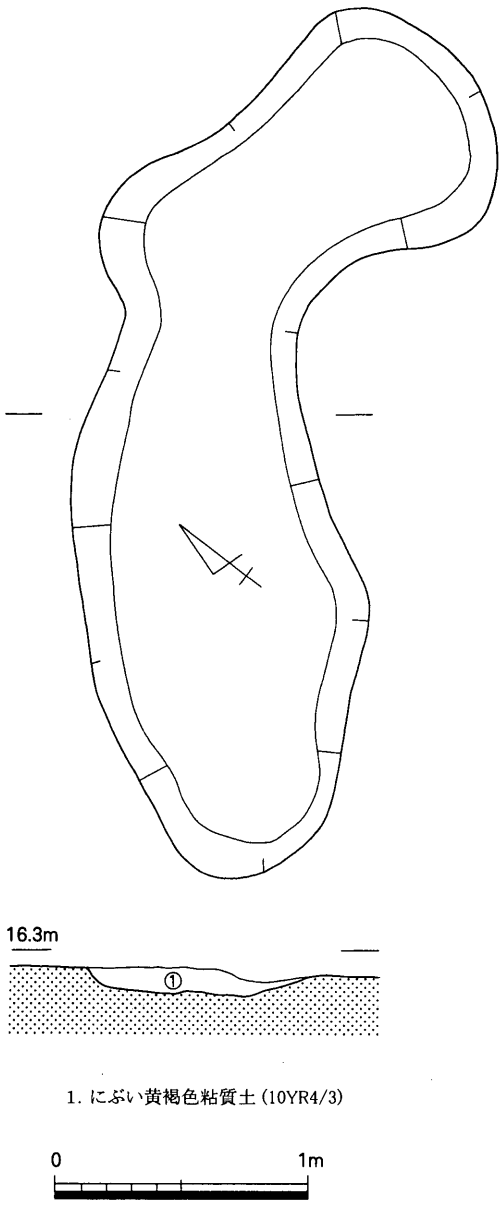
第44図　Ⅲ区ＳＫ02平・断面図（1/20）



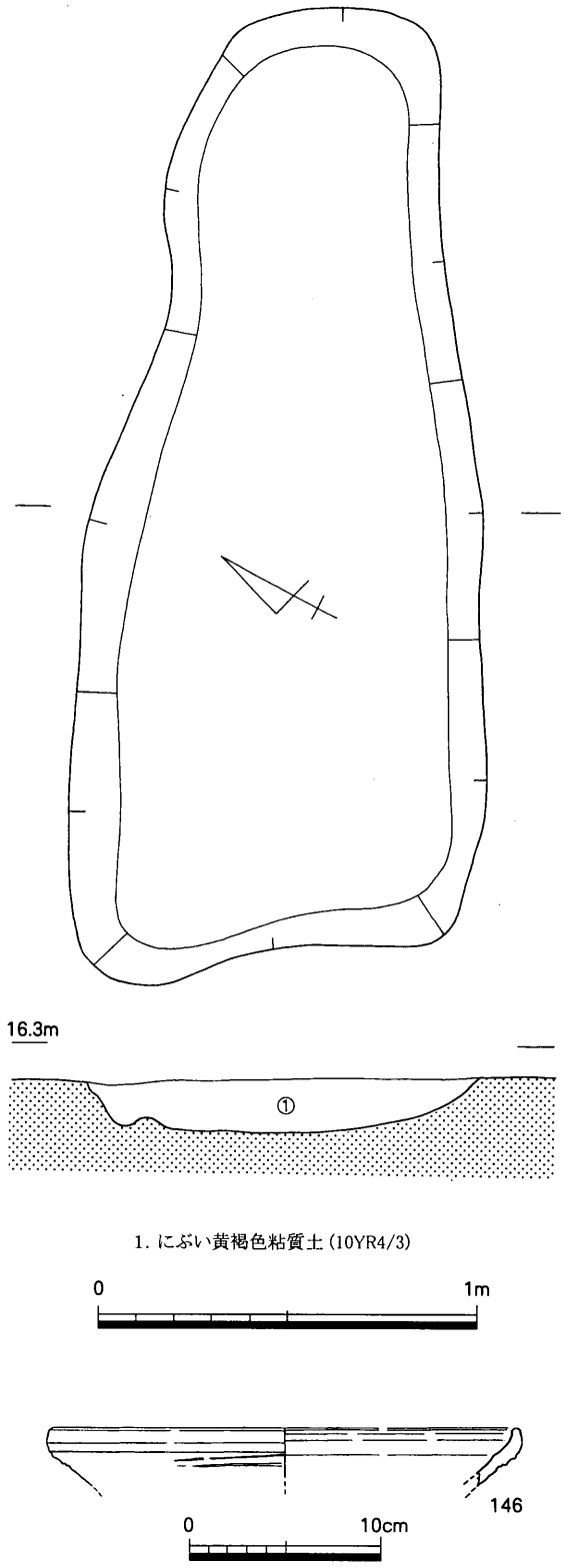
第45図　Ⅲ区ＳＫ03平・断面図（1/30）



第46図　Ⅲ区ＳＫ06平・断面図（1/30）



第47図　Ⅲ区ＳＫ04平・断面図（1/30）



第48図　Ⅲ区ＳＫ05平・断面図（1/20），
出土遺物実測図（1/4）

られる。

ＳＫ 03（第 45 図）

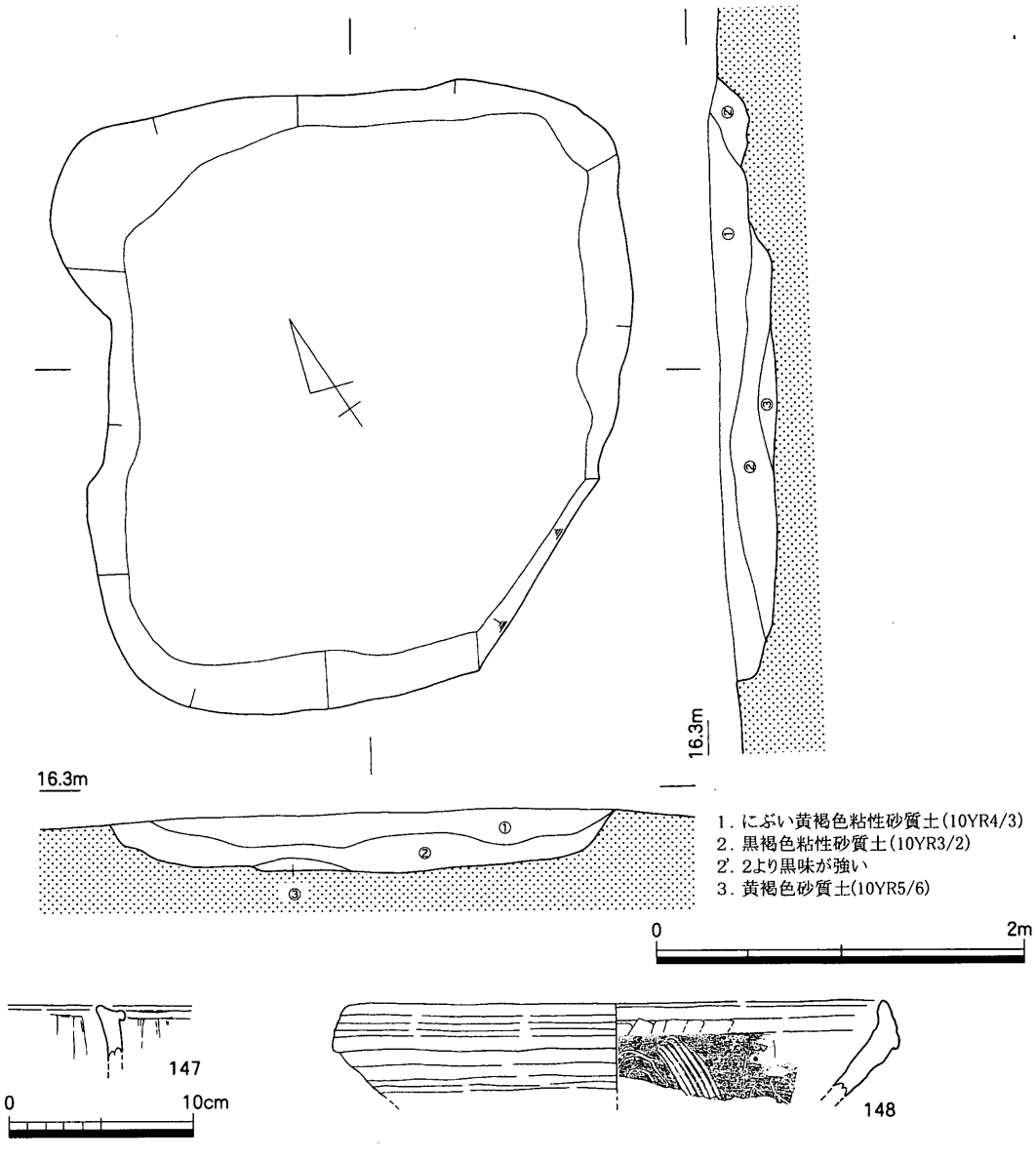
調査区西部で検出した土坑である。平面形は中央でくぼみ、いびつなひょうたん形を呈する。断面形は箱型であり、壁がほぼまっすぐに落ち、底面は平らである。規模は長径 1.24 m、短径 0.64 m、深さ 38 ㎝を測る。SB01 を切る。出土遺物はごく少量の土師器小片、弥生土器小片がある。土坑の時期は土師器片より中世と考えられる。

ＳＫ 04（第 47 図）

調査区の西部で検出した土坑である。南東部に規模、形状、主軸方向が類似する SK05 が隣接して位置する。平面形は細長く、溝状である。断面形は浅い皿状を呈する。規模は長径 3.0 m、短径 1.15 m、深さ 10 ㎝を測る。出土遺物はない。時期は検出遺構面より中世と考えられる。

ＳＫ 05（第 48 図）

調査区の西部で検出した土坑である。平面形は東側で狭まる細長い方形である。断面形は浅い皿状を呈する。規模



第 49 図　Ⅲ区ＳＫ 07 平・断面図（1/40），出土遺物実測図（1/4）

は長径 3.75 m、短径 1.65 m、深さ 22 cmを測る。主軸方向はN－58°－Eである。出土遺物は東播系コネ鉢（146）がある。146 は細長い口縁端部が直立する。また口縁部直下は直線的である。13 世紀後半～ 14 世紀初頭と考えられる。土坑の時期は 146 より 13 世紀後半～ 14 世紀初頭と考えられる。

ＳＫ 06（第 46 図）

調査区の西部で検出した土坑である。平面形は逆Ｌ字状の不整形である。断面形は浅いⅢ状を呈する。規模は長径 1.42 m、短径 1.08 m、深さ 14 cmを測る。出土遺物はない。時期は検出遺構面より中世と考えられる。

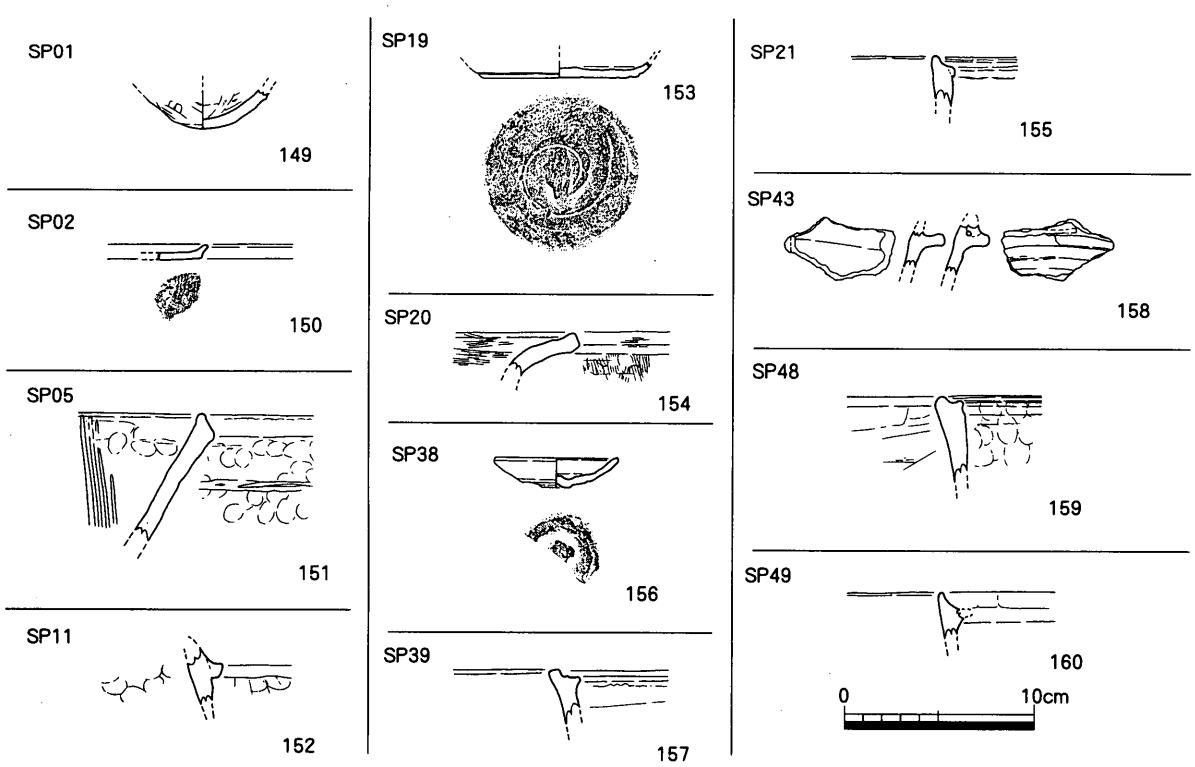
ＳＫ 07（第 49 図）

調査区の中央部で検出した土坑である。平面形は西側中央でややへこむが、整った方形である。断面形は浅いⅢ状を呈する。床面は北側で一段高くなった平坦面が見られるが、他の部分はほぼ平坦である。規模は長径 3.30 m、短径3.08 m、深さ 34 cmを測る。主軸方向はN－33°－Eである。出土遺物は土師質土器土釜(147)、備前焼すり鉢(148)がある。147 は断面方形のごく小さなつばをもつ。口縁部もこれと同程度で短い。内外面とも縦方向に板ナデを施す。15 世紀後半～ 16 世紀前半と考えられる。148 は口縁部が内径気味に直立する。内面には板ナデ後 6 条のすり目を施す。この左側には 2 重に楕円形状のヘラ書きが見られる。間壁編年Ⅳ期後半に該当し、15 世紀後半と考えられる。土坑の時期は 147、148 より 15 世紀後半～ 16 世紀前半と考えられる。

柱穴（第 50 図）

Ⅲ区で検出した掘立柱建物、柵列を構成しない柱穴出土遺物を図化した。

149 は弥生土器の底部である。丸底化しており、内外面に板ナデ調整を行う。150 は土師器小皿である。口縁部が小さく立ち上がり、底部を糸切りする。151 は瓦質土器すり鉢である。口縁端部は器面に直交するが、内面を上方につまみあげる。外面には指オサエが著しく見られ、内面にはおろし目が 4 条以上施される。15 世紀末～ 16 世紀初頭と考えられる。152 は土師質土器土釜である。断面台形の小さなつばをもつ。口縁部は欠損する。15、16 世紀代と考えられる。153 は土師器の杯である。底部をヘラ切りする。154 は土師質土器土鍋である。水平気味の口縁部に



第 50 図　Ⅲ区ＳＰ出土遺物実測図（1/4）

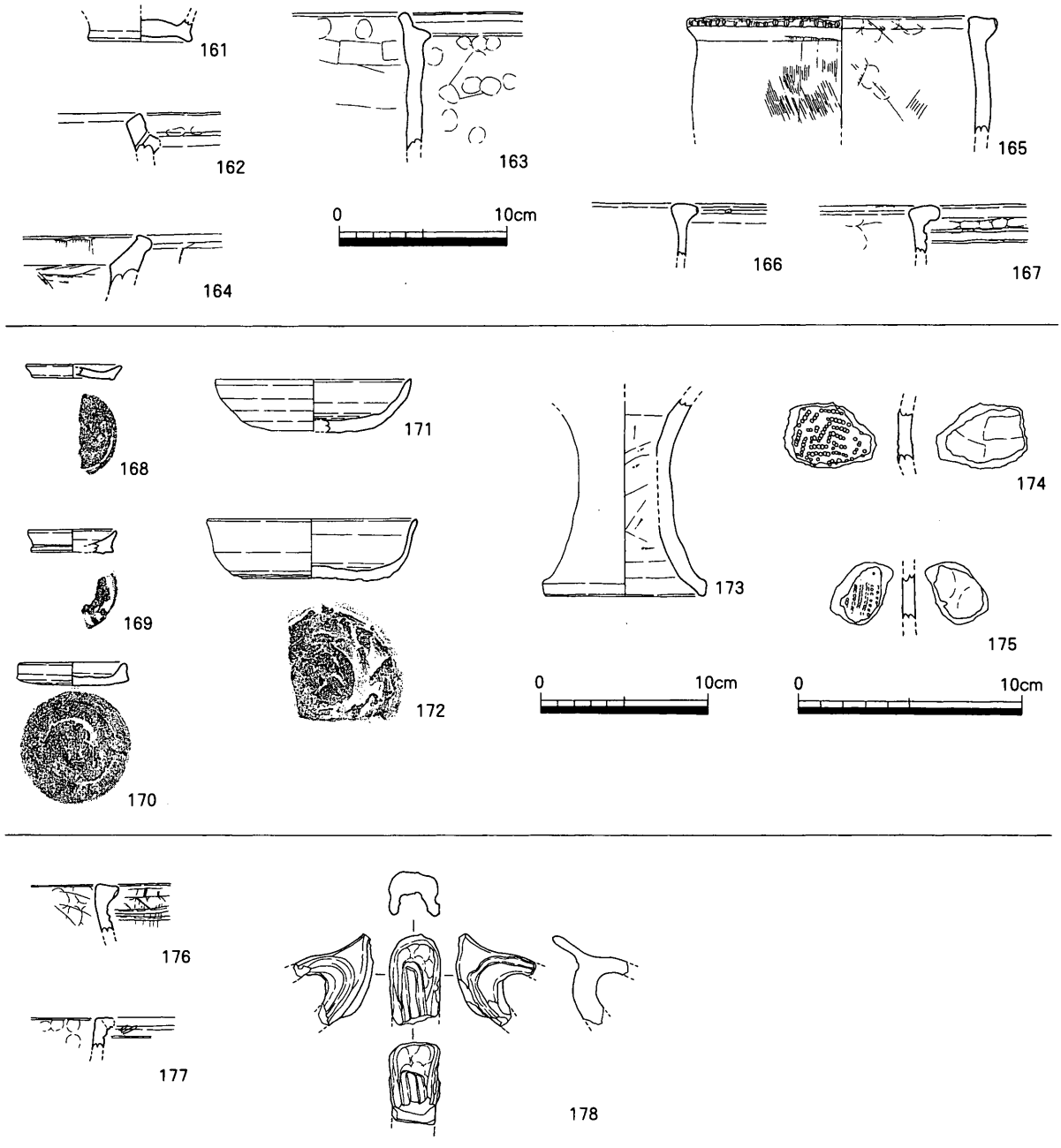
まっすぐ落ちる体部をもつ。外面には縦ハケ後板ナデ、内面には横ハケを施す。155、157 は土師質土器土釜である。155 は矮小で痕跡的なつばをもつ。157 も同様に断面三角形の小さいつばをもつ。つばの直下には貼りつけた際の指オサエが連続する。ともに 15 世紀後半～ 16 世紀代と考えられる。156 は土師器小皿である。体部は外傾度が強く、浅い形態であり、底部になだらかに連続する。底部はヘラ切りする。158 は瓦質土器の釜である。つばの上方から穿孔しているが、未貫通である。160 は土師質土器土釜である。口縁部は先端に向かって細くなる。また、つばを欠く。

遺構外出土遺物（第 51 図）

161 ～ 167 は Ⅰ ～Ⅲ区 SX02 からの出土遺物である。161 は土師器小皿？である。底部に高台状につまみだしている。器壁は分厚い。162、163 は土師質土器土釜である。162 は口縁部が方形を呈し、外面のつば直上から内面に向かって穿孔する。163 は口縁部より短いつばをもつ。外面はつばの下位に指押さえが顕著に、内面は横方向の板ナデが見られる。14 世紀後半から 15 世紀前半と考えられる。164 は土師質土器土鍋である。口縁端部が内外に小さく膨らむ。内面は頸部と体部の境界が屈曲する。165 ～ 167 は弥生前期後半の甕である。いずれも逆 L 字状口縁をもち、胴部がやや張る。165 は口縁端部に指頭による刻み目を施し、内外面を縦ハケする。刻み目は 166 にも見られる。167 は 2 条のヘラ描き沈線を加える。

168 ～ 175 は第 1 面調査時に遺構外から出土した遺物である。168 ～ 170 は土師器小皿である。いずれも底部はヘラ切りする。168 は外傾気味の短い口縁部をもつ。169 はほぼ直立する細く短い口縁部をもつ。外面下位にヘラ傷が見られる。170 は器壁が分厚く、口縁部は直立する。13 世紀後半～ 14 世紀代と考えられる。171、172 は土師器杯である。どちらも底部はヘラ切りする。171 は器高が低く、体部、底部境界に丸みが強い器形である。172 は体部が直立気味で箱形を呈する。13 世紀後半～ 14 世紀代と考えられる。173 は弥生中期の高杯脚部である。裾はあまり広がらない。内面はヘラケズリを施す。174、175 は分銅形土製品である。174 は表側に列点文を加え、中央では「W」字状になった部分がある。周囲もこれに近い列点が見られるが、乱れ気味である。175 は列点文により 6 条の右上がりの平行線を成している。

176 ～ 178 は第 2 面調査時に遺構外から出土した遺物である。176、177 は弥生前期後半の甕である。逆 L 字状口縁をもつ。177 は口縁端部に刻み目を、その下に 2 条のヘラ描き沈線を加える。178 は外面に 1 条のヘラ描き沈線、内面に指オサエが見られる。



第51図　Ⅰ～Ⅲ区ＳＸ02，Ⅲ区第１面・２面包含層出土遺物実測図（1/3）（1/4）

第５節 Ⅳ区の調査成果

(1) 調査区の概要（第 52 図）

Ⅳ区は調査対象地の南側にある三角形状の調査区で、丘陵斜面に位置する。遺構面は１面である。遺構は東部に集中し中央にＳＦ01とその間連施設（覆い屋、階段状遺構、排水溝であるＳＤ01）があり、他に溝３条、土坑 12 基、性格不明遺構６基が検出された。古代に位置づけられるＳＫ 12、ＳＸ01 以外は近世に属し、ＳＦ01 と関わる陶器、窯道具類が出土した。

以下のⅣ区の報告において遺構名称の前に調査区名を付けていないものは全てⅣ区の遺構である。

(2) 古代の遺構、遺物

土坑

ＳＫ 12（第 53 図）

調査区の東端部で検出した土坑である。南部が調査区外に延び東部はトレンチで破壊したため不明瞭であるが、平面形は隅丸方形と推定される。断面形は壁がほぼ直に落ち、２段掘りとなる。規模は長径推定 1.5 m、短径１m以上、深さ 71 ㎝を測る。ＳＸ01 を切り、出土遺物はない。埋土が灰色系砂質土でありＳＸ01 と類似するため土坑の時期は古代と考えられる。

性格不明遺構

ＳＸ01（第 53 図）

調査区東端部で検出した性格不明遺構である。南部が調査区外に延び、西部をＳＫ 12 に切られる。平面形は楕円形と推定される。断面形は壁が斜めに落ち、床面は東に向かって下る。規模は長径 3.04 m以上、短径 1.96 m以上、深さ 72 ㎝を測る。埋土のうち①、②層には炭を含み、汚れた色調を呈する。平面的にも楕円形プランを確認できたため異なる遺構が切っていた可能性が高い。出土遺物は①、②層以外の堆積土から出土した

須恵器壺（179）、甕（180）がある。179 より遺構の時期は古代と考えられる。

(3) 近世の遺構、遺物

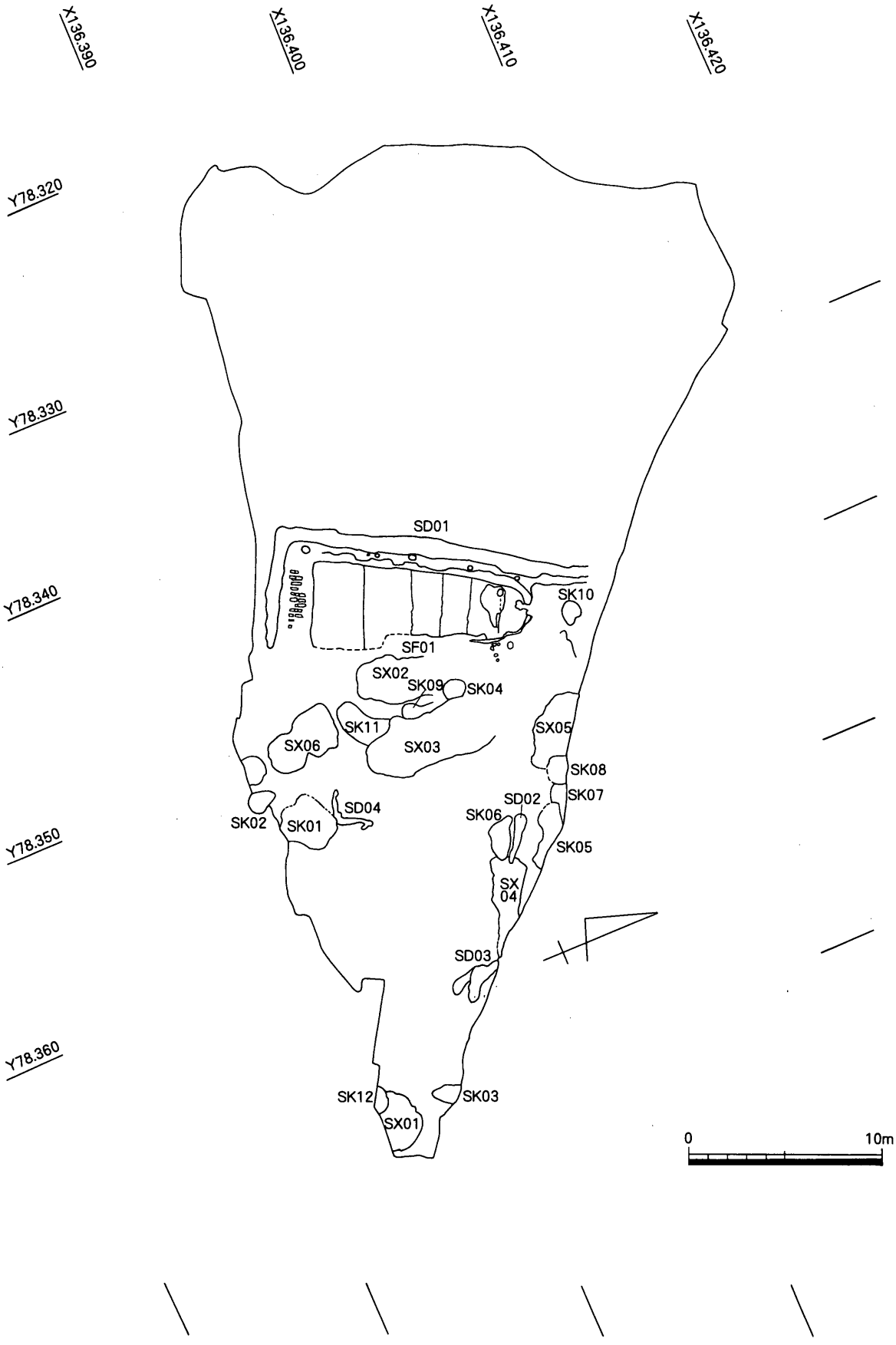
窯

ＳＦ01（第 54 ～ 89 図）

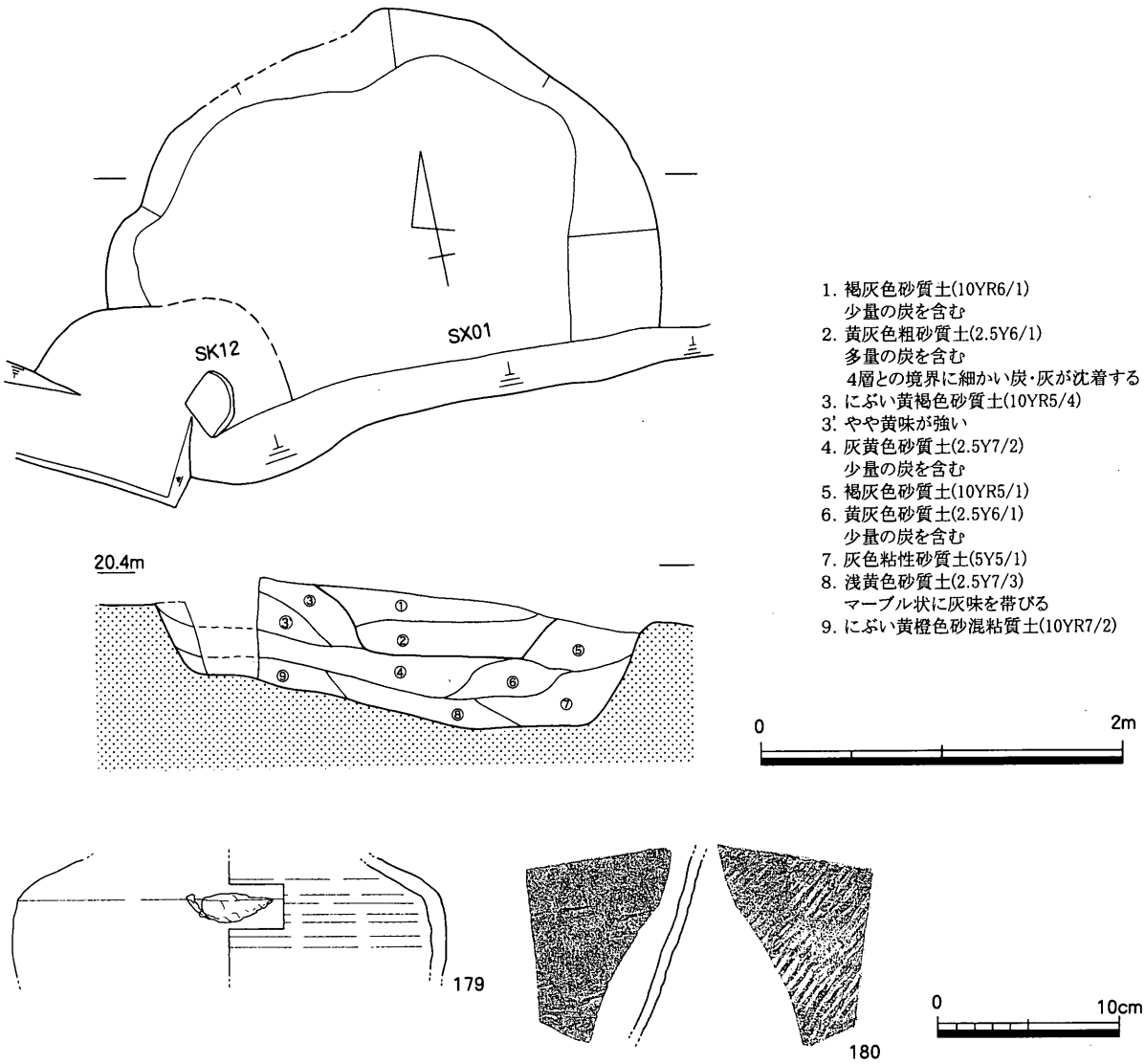
ａ．立地　窯体はⅣ区中央部で検出した。北向きの丘陵斜面の中腹から先端部にかけて位置する。調査前状況で確認したとおり窯のすぐ東側には谷地形があり、深く抉れている。西側は北西に向かって緩やかに傾斜する。このため窯の部分が周辺より小高くなっている。標高は 19.6（燃焼室床面）～ 23.7 m（煙出し床面）を測り、比高差が約４mある。

ｂ．構造　ＳＦ01 は陶器を焼成する 19 世紀前半の階段状連房式登窯である。窯室は全構造が確認でき、最下部に燃焼室、その上に５つの焼成室、最上部に煙出しがある。規模は全長で 12 mを測る。調査時に下位の焼成室から順に１～５室としたが、本報告でもこれを踏襲した。

窯体の遺存状況については天井が崩落し、２～５室の東側壁付近が破損しているものの、基底部に近い側壁



第52図　Ⅳ区遺構配置図（1/300）



第53図　Ⅳ区ＳＫ12・ＳＸ01平・断面図（1/40），ＳＸ01出土遺物（1/4）

と隔壁、床面が良好に残存していた。

〔燃焼室〕 平面形は半円形を呈し、焚口が北側に開口する。規模は奥行きが約1.2 m、最大幅が奥壁際で約2.4 mを測る。床面は焚口側で緩やかな傾斜であるが、奥壁側では急激に立ち上がる。また奥壁側は床面に粘土を貼っており、西部でははがれているものの東部では残存する。一方、焚口側ではこうした痕跡はなく、床面上には炭が堆積し、炭、灰の掻き出し痕跡と考えられるＴ字状の浅い落ち込みがある。粘土貼り部分の断ち割りでは青灰色に還元した層（ＳＦ01南北ベルト26、27層）が明黄褐色粘土（26´層）を挟み、上下に見られる。よって少なくとも1度床面を貼り替えている。

遺物は窯体崩落層（以下、堆積土）から多量に出土した。碗（181）、軟質施釉陶器の鍋蓋（182）、鉢（183）、鍋（184）、甕（185、186）、サヤ鉢（小）（187～193）、サヤ鉢（大）（194～196、198～202、204）、鋺（197）、敷き板（205～207）、ドーナツ状焼き台（208、209）、詰め具（210）、窯壁（211、212）土師質土器焙烙（213）などがある。窯壁の内面には竹の痕跡が211で1本、212で2本見られる。

これらは室の機能から見て流れ込みである。ただ操業時の堆積土である炭層（25層）直上での出土遺物は2次的な移動が少ないと考えられ、中央部で軟質施釉陶器蓋（182）、焚き口西側で近接する20～30㎝大の礫2点がある。礫は花崗岩、砂岩であり、付近で容易に採取できる。いずれも加工痕、被熱、自然釉、遺物の付着は見られない。被熱、自然釉の付着がないことは窯内で使用されていないことを示す。数ｋｇある重量からも2次

的な移動はほとんどないと想定される。

用途は焚口東側で10㎝大のトンバイ片が窯体内に埋まって出土していること、窯体（天井～側壁）ブロックの割れ面になめらかな丸味をもつ窪みが見られること、直上堆積土が窯体ブロックを多く含む層であることから本来は窯体の構築、補強のため窯体内に埋め込まれていたのが、天井の崩落に伴い落下したと考えられる。

〔焼成室〕

① **基本構造**　各焼成室はいずれも同様な構造を持つためその基本構造について触れておく。室は火床、砂床からなり、手前（北側）に追い焚きするための火床、奥側（南側）に陶器焼成を行う砂床がある。砂床には離れ砂が敷かれるがこれは、陶器と床面の接着防止、また窯道具を埋めて固定することを目的とする。離れ砂の下の床面と火床は、粘土を貼り形成している。室の奥には隣接する上位の室との間を隔てる隔壁がある。これはトンバイ、粘土で構築される。隔壁には燃焼室、火床からの火が通る通炎孔が造られている。また東側壁に接して階段が構築される。よって、こちら側に室への出入り口が存在したと想定される。なお、側壁には火床へまきを放り込む燃料投入口、陶器の焼成状況を確認する色見孔も設けられる。

② **規模**　平面形はいずれも逆台形を呈し、奥側で広くなる。規模は第4表の通りであり、上部の室ほど室面積が拡大する。また1～3室が約3～5㎡であるのに対し、4、5室は推定10㎡近くあり、格差が大きい。これについては藤原学氏より燃焼室に近い下部の焼成室では窯内の温度上昇が急激であるのに対し上部ではその速度が遅く温度を安定させやすい。また下部からの熱が継続的に伝わる、と言われている。そう考えれば、上部の焼成室の方が下部より高品質のものが焼けるためでないか、との教示を得た。

③ **火床**　4、5室では明確な火床が確認された。5室の火床は床面と火床境を区分して構築しており、幅約45㎝、深さ10㎝を測る。床面は粘土貼りで平坦である。これは砂床と共に作り替えられた火床であるが、作り替えその詳細は「5室の検討」で後述する。なお、床面と火床境では東、西端部が還元しているのに対し、中央部では弱い酸化しかしていない。還元範囲は現存する東端部で1.6ｍ、西端部で1ｍを測り、中央の弱い酸化部は1.4ｍを測る。これは燃料投入口から火床へ放り込まれたまきの焼けた範囲が還元した部分と考えられる。大橋康二氏より階段状連房式登窯では一般的に燃料投入口は窯の片側にあるとの教示を得たが、ＳＦ01では両方に存在した可能性がある。

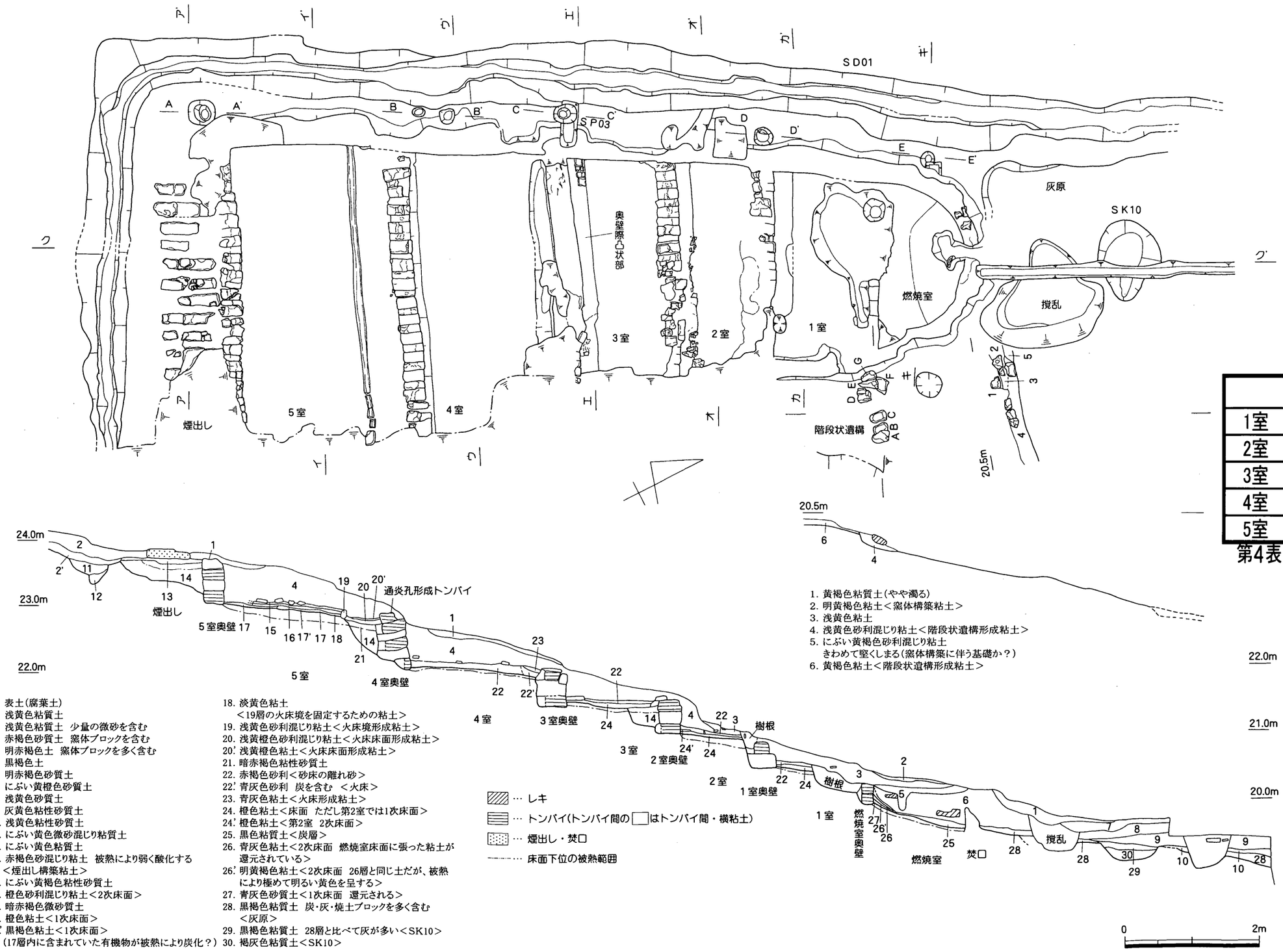
4室の火床は同位置の上下で新旧2つ確認できる。上位には離れ砂上に幅35㎝ほどの範囲で粘土を貼り、わずかに窪ませただけのもの（ＳＦ01南北ベルト23層）がある。残存状況が悪いため被熱状況は不明であるが、少なくとも東西両端部は還元している。下位には離れ砂が青灰色に還元した部分（22’層）がある。これには炭を含む。よってある時点では離れ砂上で直接追い焚きを行っていたが、最終操業のころには粘土を貼り、ごく簡易な火床を形成したことが窺える。

一方、1～3室では火床が検出されず、手前側に青灰色の還元部も見られなかった。ただ1室では樹根の撹乱により本来の状況が不明であるものの、2、3室のこの位置では離れ砂内に少量の炭を含む。4室火床下位の状況から見て追い焚きが行われたと考えられる。これらから燃焼室から離れ室温が下落する上、室面積が拡大した上部の焼成室ほど温度維持のため相対的に大規模な追い焚きが行なわれ、これに伴い火床も整備された可能性がある。

④ **砂床**　砂床に伴う離れ砂はどの焼成室でも見られた。ただ1～4室では厚さ2～10㎝を測るのに対し、5室では床面上で径30㎝ほどの範囲に釉着した部分があるのみである。窯体内の土層堆積状況、床面の傾斜に他の室と差がないことから人為的に除去されたと考えられる。その理由については「5室の検討」で後述する。

⑤ **床面**　1～3、5室で粘土を貼った床面を確認した。厚さは2㎝程度である。また断ち割りにより1、2、5室で2枚の床面を検出した。4室では離れ砂を地山上に直接敷いており、厚さ約10㎝を測る。層中にはしまりの良し悪しがあり、細分可能である。よって随時砂が追加されていると考えられる。なおこうした状況は先述の火床も同様である。

また3室床面の奥壁際では東西方向に粘土を幅約20㎝、厚さ5㎝で帯状に貼り、推定径5㎝の木槌で叩き締めた部分を確認した。（以下では奥壁際凸状部と仮称する。）検出状況では砂床から一段高くなっており、室内に露出する。東側ではほとんど破損しているが中央から西側では良好に残存している。また西端部では上面に



1. 表土(腐葉土)
2. 浅黄色粘質土
2' 浅黄色粘質土　少量の微砂を含む
3. 赤褐色砂質土　窯体ブロックを含む
4. 明赤褐色土　窯体ブロックを多く含む
5. 黒褐色土
6. 明赤褐色砂質土
7. にぶい黄橙色砂質土
8. 浅黄色砂質土
9. 灰黄色粘性砂質土
10. 浅黄色粘性砂質土
11. にぶい黄色微砂混じり粘質土
12. にぶい黄色粘質土
13. 赤褐色砂混じり粘土　被熱により弱く酸化する
＜煙出し構築粘土＞
14. にぶい黄褐色粘性砂質土
15. 橙色砂利混じり粘土＜2次床面＞
16. 暗赤褐色微砂質土
17. 橙色粘土＜1次床面＞
17' 黒褐色粘土＜1次床面＞
(17層内に含まれていた有機物が被熱により炭化？)
18. 淡黄色粘土
＜19層の火床境を固定するための粘土＞
19. 浅黄色砂利混じり粘土＜火床境形成粘土＞
20. 浅黄橙色砂利混じり粘土＜火床床面形成粘土＞
20' 浅黄橙色粘土＜火床床面形成粘土＞
21. 暗赤褐色粘性砂質土
22. 赤褐色砂利＜砂床の離れ砂＞
22' 青灰色砂利　炭を含む　＜火床＞
23. 青灰色粘土＜火床形成粘土＞
24. 橙色粘土＜床面　ただし第2室では1次床面＞
24' 橙色粘土＜第2室　2次床面＞
25. 黒色粘質土＜炭層＞
26. 青灰色粘土＜2次床面　燃焼室床面に張った粘土が還元されている＞
26' 明黄褐色粘土＜2次床面　26層と同じ土だが、被熱により極めて明るい黄色を呈する＞
27. 青灰色砂質土＜1次床面　還元される＞
28. 黒褐色粘質土　炭・灰・焼土ブロックを多く含む
＜灰原＞
29. 黒褐色粘質土　28層と比べて灰が多い＜SK10＞
30. 褐灰色粘質土＜SK10＞

	奥行	幅
1室	1.3m	2.8m
2室	1.1m	3.2m
3室	1.3m	3.2m以上
4室	2.1m	4.1m以上
5室	2.4m	4.4m以上

第4表　SF01焼成室の規模

第54図　Ⅳ区SF01平・南北断面図、階段状遺構平・立・断面図（1/60）

3枚の敷板が配置されている。奥壁際凸状部の前面は赤黒く被熱しているのに対し、上面は全く被熱していない。かつ幅がちょうど敷板2枚分に相当する。よって本来は上面に敷板を2列並べて使用した可能性がある。ただ残存していた敷き板が西側壁に接する部分では敷板痕（註）が見られるのに対し、奥側ではこれが見られない。こうした隆起部は4室の奥壁際トンバイ群と同様に焼成位置を一段高くすることにより窯内雰囲気が安定した場所で陶器焼成を行うことを目的にしたと考えられる。

（註）3室の西側壁と奥壁際敷板列について

3室の西側壁では幅約15㎝の帯状に被熱の弱い部分が見られる（第61図第3室西側壁の「弱弱弱」の範囲）。これは奥壁際凸状部が直下に位置する部分である。敷板は長、短側縁に粘土を貼り、直立させていた、すなわち第181図のように4枚の敷板を縦横に組み合わせたものを基本単位とし、これをいくつも組み合わせて使用したことが想定できる。よって側壁に見られる被熱弱部は敷板組みのうち支柱として縦に設置したものが付着した痕跡と考えられる。

同様な被熱弱部（幅12㎝程度で帯状を呈し、直立する。）は2室西側壁の奥側にも見られる。（第61図第2室西側壁の「やや弱」の範囲）またこれに対応する敷板（列の一部）も床面で検出された。

⑥ **奥壁**　どの室でも隣接する奥側の室の床面レベルまで遺存していた。奥壁はトンバイと粘土を用いて構築する。トンバイの大きさは16㎝×16㎝×32㎝と同規格である。詳細は「窯の構築方法と順序」で後述する。トンバイを置く向きについては燃焼室では横長に配置しており、焼成室で縦長にするのとは異なる。この上部が通炎孔になることを考えれば短い通炎孔を意図したと考えられる。（長い通炎孔は火を圧縮し、火力を強めるのでこの部分では必要なかったと推測される。）

なお、南北土層断面図を見ると奥壁構築のためカットされた地山直立面に対し、トンバイの位置が接したり離れたりしている。これは旧地形の起伏を整形したことに由来する部分が大きいと推測される。（旧地形を整形して床面となる平坦面を作ると意図する長さに満たない場合も生じる。だがトンバイによる奥壁構築は配置する位置により室の大きさをある程度自由に微調整できる。）

⑦ **通炎孔**　2、3室間と4、5室間の2ヶ所で見られる。4、5室間では奥壁と同じくトンバイで構築されている。通炎孔と判断したのはトンバイの側面が至近距離にある4室奥壁と同じく黒褐色に還元されており、火が連続して通ったと想定できるためである。6つが残存しており、幅は約10㎝である。2、3室間では通炎孔痕跡として黒褐色の還元面を確認した。やはり幅約10㎝を測る。

⑧ **天井、側壁**　天井は全て崩落していたが、側壁は1室～煙出しの東側以外では基底部付近が遺存していた。詳細は「窯の構築方法と順序」で後述する。

⑨ **遺物出土状況**　いずれの焼成室でも床面直上で陶器、窯道具片が散在している。だが細かい点では各室で異なる様相を見せ、窯詰め状況の一端を窺わせる。よって以下では1室ごとに状況を述べる。（遺物出土状況図（第56、57図）では第1、2室東半部が空白になっているが、これは調査時に砂床上の離れ砂を剥ぎ取ってしまったためである。ただ床面から浮いている遺物でも大きいものは残して調査しており、後に掘り下げた中央あぜの部分でもほとんど出土遺物がなかったため図の状況と大差ないと推定される。）

第1室：床面直上での出土遺物は行平鍋（214～217、219）、土瓶蓋（218）、サヤ鉢（小）（220）、サヤ鉢（大）（222～227）、敷板（228～230）、ワトチ、ピン、粘土塊が、堆積土の遺物には鉢（231）、行平鍋と鍋蓋（232）、香炉（233）、サヤ鉢（大）（234、235）、敷き板（236）、焼き台（237）、ドーナツ状焼き台（238）がある。220の内面には香炉が付着しており、これも焼成されたことが窺える。232の鍋蓋は鍋とセットで焼成されている。蓋は身の上に天地逆で載せているように見えるが、外面に施される沈線が見られるため焼けひずみにより鍋の内側におち込んだ状態を呈する。床面直上での遺物出土位置は先述の通り西側に偏り、サヤ鉢、敷板が目立つ（第56図）。敷板はワトチが上面中央に付着したⅢ類が奥壁際で2点出土した。これらは長軸が奥壁と平行し、ほぼ列状をなす。相互の距離は約25㎝を測る。敷板Ⅲ類の長さは約28㎝であるため229と230の間にもう1点配されていた可能性が高い。このように見れば、奥壁際に沿って敷板列が形成されていたと推定される。同様な奥壁際敷板列は2、3室でも見られる。

第2室：床面直上の出土遺物は鍋（239）、土瓶（240）、軟質施釉陶器蓋（241～247）、サヤ鉢（小）（248）、敷

き板（249～251）、ワトチ（253～260）、ピン、粘土塊などが、堆積土の遺物には鍋（264）、盃台（265）、サヤ鉢（大）（266）、ワトチ（267）、詰め具（268）などがある。床面直上での軟質施釉陶器の出土が目立つが遺跡内で桶窯の破片、窯道具なども出土している。また胎土分析ではＳＦ01での製作陶器と類似する。よってＳＦ01の操業時に工人が軟質施釉陶器も焼成しており、これを何らかの理由で窯の中に持ち込んだことを示す。先述の通り床面直上での遺物出土位置は西側に偏る。249の敷き板が西側壁に接し、長軸を奥壁と平行させて出土した。同様な敷板列は1、3室でも見られる。

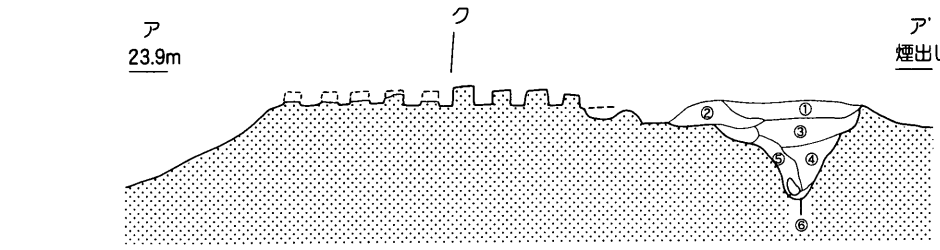
第3室：床面直上での出土遺物は碗（269、270）、鉢（271）、行平鍋（272～275）、鍋（276～278）、鍋蓋、土瓶、香炉（279）、甕（280）、サヤ鉢（小）（281～285）、サヤ鉢（大）（286～292）、敷き板（293～308）、焼き台（309）、ドーナツ状焼き台（310）、ワトチ（311～322）、ピン、トチン（323、324）、詰め具（325～329）、粘土塊などが、堆積土の遺物には土瓶蓋（333）、灯明皿（334）、ワトチ（336）などがある。281は底部内面にモミガラが付着する。床面直上での遺物出土位置は西側でまばらなのに対し、東側で密集する。サヤ鉢、敷板が目立つ状況は1、2室と同様である。既述の通り奥壁際凸状部西端上面に3枚の敷板列が見られるのは1、2室と同様である。またこれらは混在しており、器種ごとに分布の偏りは見られない。

第4室：床面直上での出土遺物は鉢（337、338）、行平鍋（340）、鍋蓋（339、341～347）、鍋（351～353）、蓋（348～350）、土瓶（355～361）、土瓶蓋（354）、香炉（362）、甕（363）、サヤ鉢（大）（364～366）、サヤ鉢（浅）（367）、敷き板（368～380）、ワトチ（381～386）、ピン、トチン（387～389）、焼き台（390～392）、ドーナツ状焼台（393、394）、粘土塊、型（395～397）、トンバイ（398～401）、礫が、堆積土の遺物には碗（403）、鉢（404、405）、行平鍋（409）、鍋蓋（406～408、410～412）、鍋（413～415）、土瓶蓋（416）、土瓶（417～420）、香炉（421～424）、甕（425）、合子（426～430）、サヤ鉢（小）（432、433）、サヤ鉢（大）（434～436）、ワトチ（439）、敷き板（442～446）、焼き台（447～449）、ドーナツ状焼台（450）、ピン（451～458）、型（459～461）、平瓦（462、463）がある。379では支柱として使用された敷き板の左面上位に鉄釉が帯状に付着する。第181図の530のように敷き板組み内で陶器焼成を行なった際、陶器が敷板に触れて溶着した可能性がある。395は内面に樹枝文を施す。426はみかんの上部とヘタ、葉を丁寧に模倣している。429、430の亀は甲羅の縁辺部がやや反る。432は底部外面に離れ砂がらせん状に付着する。444は敷き板の上面に行平鍋の口縁部が付着する。第181図の1282と同様に敷き板組み内での行平鍋焼成を反映する。459は底部内面が小さく隆起する。これは土瓶、鍋の底部縁辺部の形状と類似し、内面の傾きは土瓶と同程度であるため土瓶用の型と考えられる。なお出土陶器は一部発色不良のものも含むが、素焼きばかりである。5室が素焼き室と考えられるためここからの流れ込みである可能性もあるが、出土位置と量から見て不自然さがある。このため素焼きが行なわれた可能性もある。だが窯壁、使用された窯道具の被熱状況を見るとこれはイレギュラーな事態であったと推測される。窯道具の出土位置を見ると奥側にトンバイ、トチンが、手前側にサヤ鉢、敷板、ドーナツ状焼台があり、分布に偏りがある。これは窯詰め時の状況をある程度反映しているのであろう。

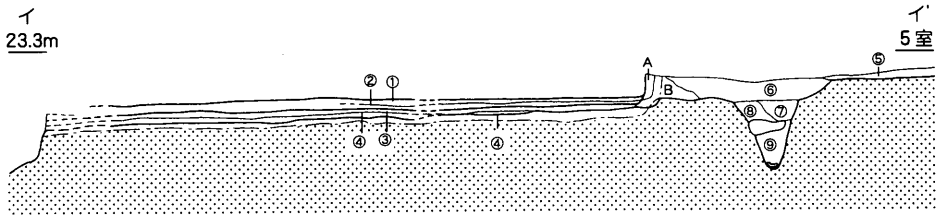
奥壁際のトンバイは細長いタイプ7個、小さいタイプ11個を数え、いずれも完存している。底面がななめに傾くものが2点あるが、概ね水平である。細長いタイプの長軸は全て窯の奥壁に対し平行する。分布は大小が不規則に混ざっており、東西方向に列状に並ぶ。相互の間隔は2～12㎝を測り、西側ではトンバイ列が3列ある。こうした状況から窯廃絶時の原位置を保ち、人為的な配置であると考えられる。

被熱状況についてはトンバイ間で差があり、橙色から黒褐色でガラス化しているものまで強弱の差がある。1つのトンバイでも面ごとの被熱度は異なり、出土時の上面と前面上部が橙色に被熱しているが、その他の面はほとんど焼けず、とくに底面は全く被熱していないもの（図版25－Ｋ12）、全面が焼けているもの（同Ｋ11）などがある。前者は被熱面、程度から出土位置で固定的に使用され、使用回数も少ない可能性が高い。後者は他の場所での使用後、再利用された可能性も含め、複数回の使用を示す。これは陶器ないし窯道具の設置痕が複数面で見られるものもあることから裏付けられる。

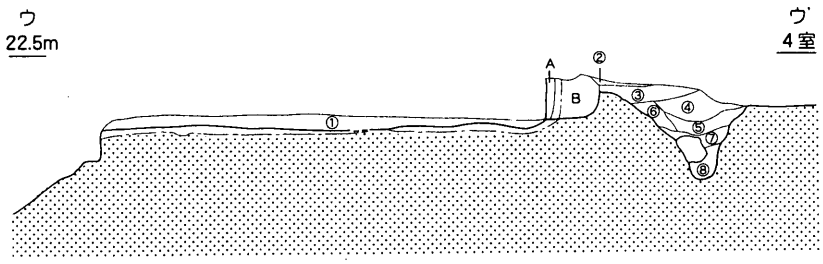
これらの用途であるが、小さいタイプではどの面でも陶器、窯道具を置いた円環状の痕跡（398、399）や周囲より弱く被熱した円形部（400）、扁平な粘土塊の付着（399、401）などを観察できるため窯道具で



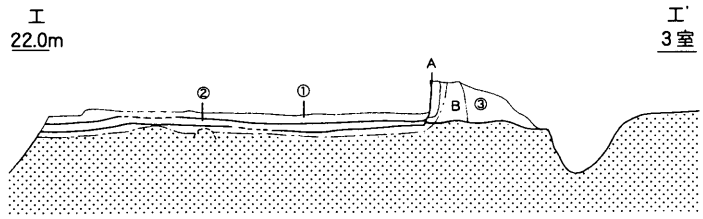
1. 浅黄色砂質土
   ＜第11図2層＞
2. 明黄褐色砂質土　窯体小片含む
3. 浅黄色粘土
4. 明黄褐色砂利混粘質土
5. 赤褐色粘質土　窯体片を含む
6. 黄褐色微砂質土　砂を多く含む



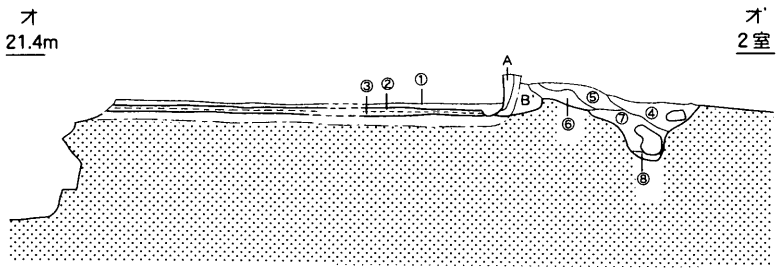
1. 橙色砂利混じり粘土(2次床面)
   ＜SF01南北断面15層＞
2. 暗赤褐色微砂質土
   ＜SF01南北断面16層＞
3. 橙色粘土(1次床面)
   ＜SF01南北断面17層＞
4. 黒褐色粘土(1次床面)
   ＜SF01南北断面17'層＞
5. 表　土　(腐葉土)
6. 浅黄色砂質土
   ＜煙出し東西断面1層＞
7. 明黄褐色微砂質土
8. 赤褐色微砂質土　土質は7層と似る
9. 黄褐色砂質土
   土器片・窯体小片を含む



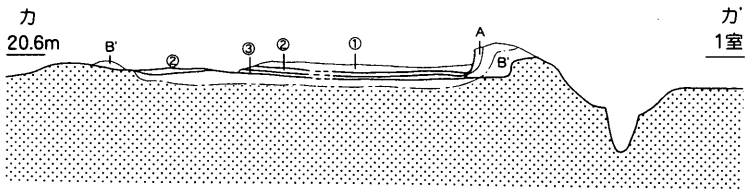
1. 赤褐色砂利(離れ砂)
   ＜SF01南北断面22層＞
2. 表　土(腐葉土)
3. 明黄褐色砂質土
   ＜煙出し東西断面2層＞
4. 浅黄色粘土
   ＜煙出し東西断面3層＞
5. 黄褐色砂利混粘質土
6. 赤褐色砂質土　窯体小片を含む
7. 明黄褐色粘土　窯体小片を含む
8. にぶい黄褐色砂混粘質土



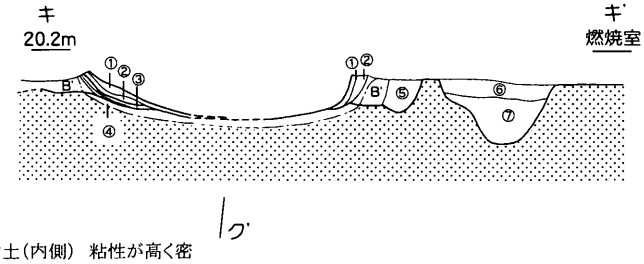
1. 橙色微砂混粘土＜奥壁際凸状部＞
2. 橙色粘土(床面)＜SF01南北断面24層＞
3. 浅黄色砂質土＜煙出し東西断面1層＞



1. 赤褐色砂利(離れ砂)
   ＜SF01南北断面22層＞
2. 橙色粘土(2次床面)
   ＜SF01南北断面24層＞
3. 橙色粘土(1次床面)
   ＜SF01南北断面24層＞
4. 暗黄褐色微砂質土　窯体片を含む
5. 赤褐色微砂
6. 赤褐色砂混砂質土
7. 赤褐色粘質土
   ＜煙出し東西断面5層＞
8. 黄褐色砂混粘質土



1. 赤褐色砂利(離れ砂)＜SF01南北断面22層＞
2. 橙色粘土(2次床面)＜SF01南北断面24層＞
3. 橙色粘土(1次床面)＜SF01南北断面24層＞



1. 青灰色粘土(2次床面)＜SF01南北土層26層＞
2. 明黄褐色粘土
   (2次床面　被熱により極めて明るい黄色を呈する)
   ＜SF01南北断面26'層＞
3. 青灰色砂質土(1次床面)＜SF01南北土層27層＞
4. 暗黄褐色粘土
   (1次床面　被熱により粘土内の有機物が炭化し黒ずむ)
5. にぶい黄褐色粘性砂質土　しまり悪い
   ＜覆い屋の柱穴埋土＞
6. 明黄褐色粘性砂質土　窯体小片を多く含む
7. 黄褐色砂質土　10～30cm大の窯体片を多く含む

A. 側壁粘土(内側)　粘性が高く密
   少量の砂利を含む　固くしまる
B. 側壁粘土(外側)　明黄褐色粘土で粘性が高いが
   Aよりやや粗　また砂利が多め　固くしまる
B'. 側壁粘土(外側)　黄褐色粘土で砂利をほとんど含まない
   極めて固くしまる

0　2m

※断面作製位置は第54図に記載
—·—·— は床面下位の被熱範囲

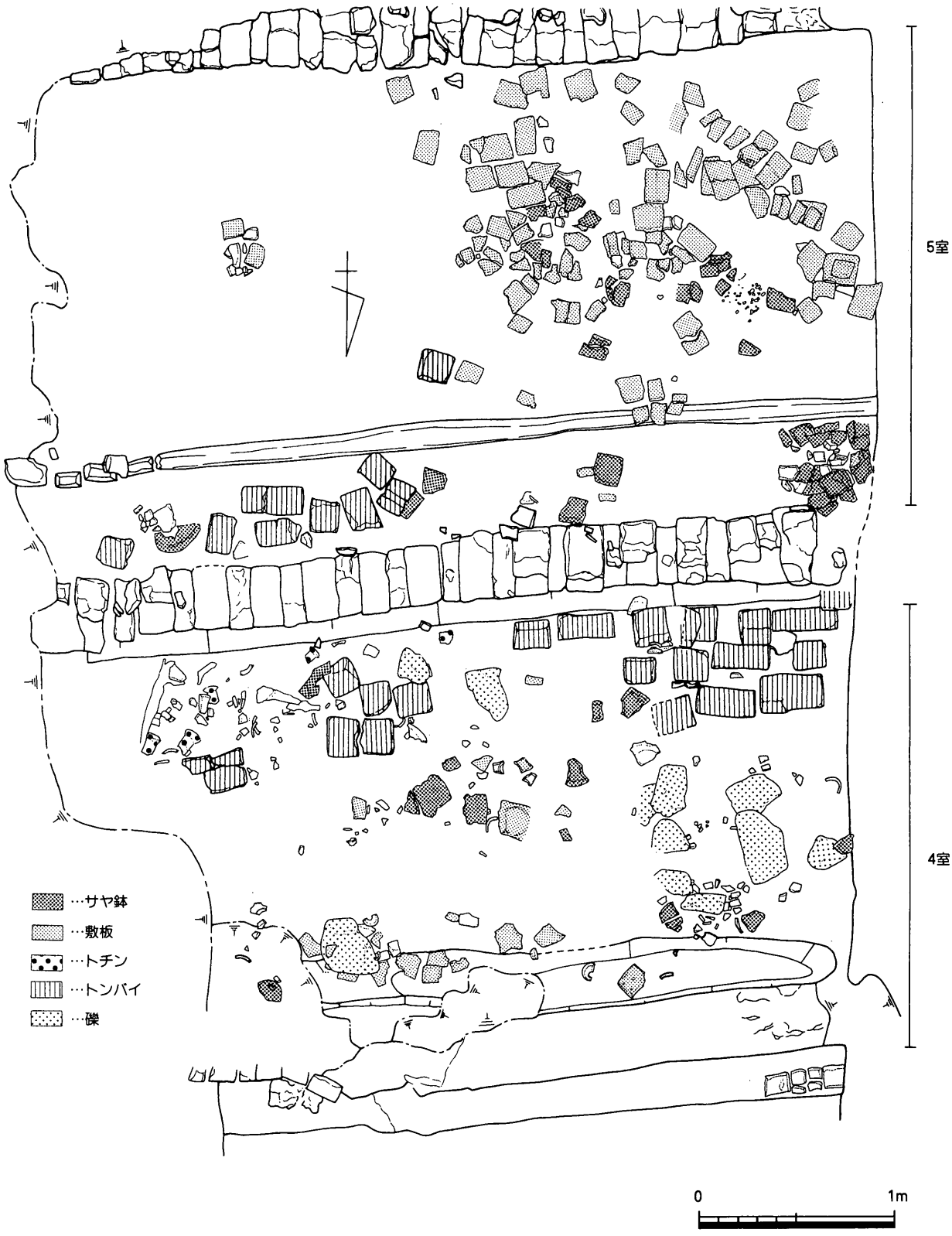
第55図　Ⅳ区ＳＦ01東西断面図，ＳＤ01断面図（1/60）

第56図　Ⅳ区ＳＦ01燃焼室・１・２・３室遺物出土状況（1/30）

あると考えられる。細長いタイプにはこうした痕跡は見られないが前者と合わせて列状に並べられて出土したため同様に使用されたと考えられる。こうしたトンバイ配置の目的は焼成室奥側の床面付近では上部より温度が低いため、床面から浮かせ、安定した窯内雰囲気に置くことと考えられる。

なお20～30㎝大の礫が11点出土している。分布は北西部に８個と偏り、６点が床直、２点は床直の遺物直上で出土している。数ｋｇの重量と出土位置から２次的な移動はほとんどないと考えられる。種類は花崗岩、砂岩である。いずれも加工痕、被熱、自然釉、遺物の付着は見られない。こうした出土状況、礫の属性は燃焼室のそれと共通するため窯体構築材として使用されたと考えられる。

第５室：火床の床面直上での出土遺物には甕（465）、合子（464）、サヤ鉢（小）（466）、サヤ鉢（中）（467～472）、サヤ鉢（大）（473・474・476・477）、サヤ鉢（台形）（479～481）、敷板（483）、トンバイが、砂床の床面直上の遺物には鍋、鍋蓋（484、485）、土瓶（488、489）、土瓶蓋（487）、香炉（486）、サヤ鉢（小）（490）、サヤ鉢（中）（491～495）、敷板（497～550）、トチン（551）が、堆積土の出土遺物には碗（552）、



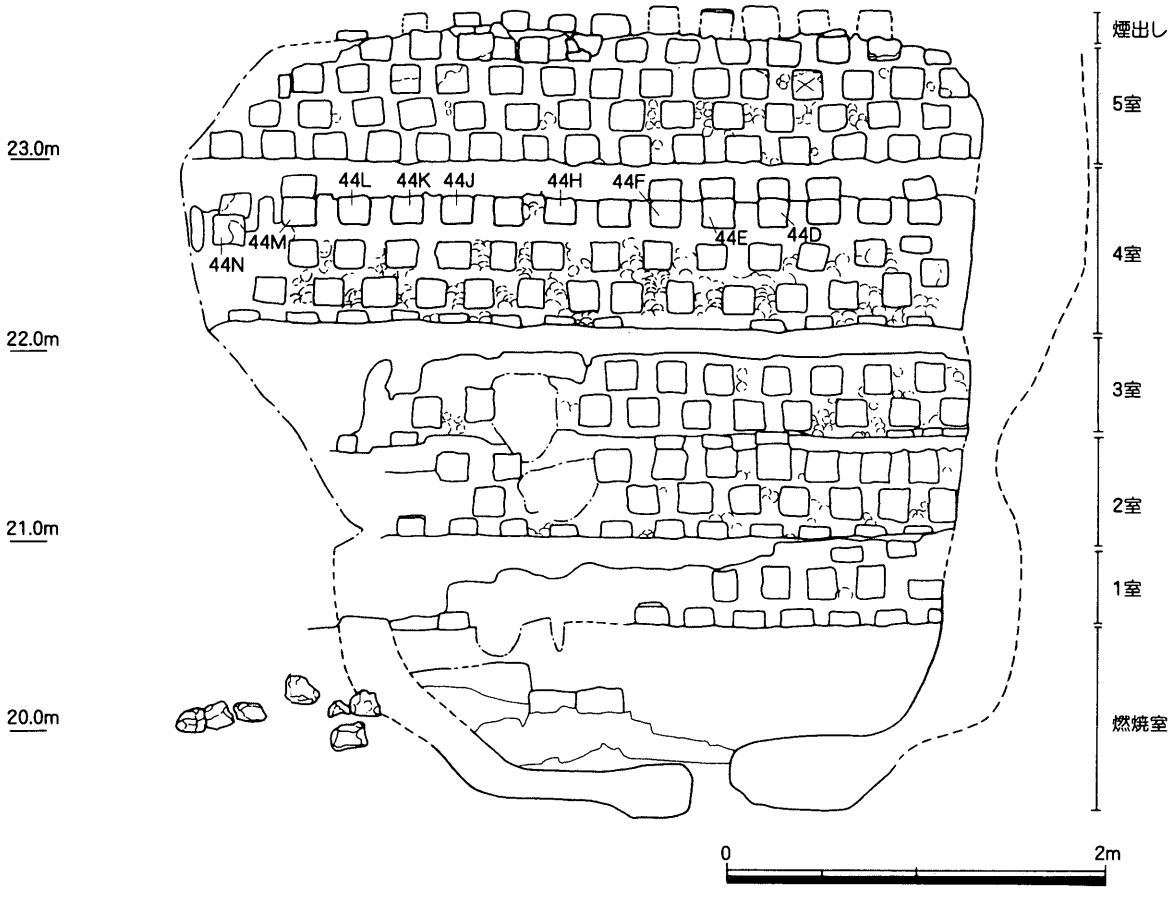
第57図　Ⅳ区ＳＦ01　4・5室遺物出土状況（1/30）

徳利（553、554）、鍋蓋（555、556）、行平鍋（557）、鍋（558、559）、土瓶（560～562）、蓋（564）、合子（565、566）、サヤ鉢（小）（568、569）、サヤ鉢（浅）（570）、サヤ鉢（台形）（573）、サヤ鉢（大）（574）、敷き板（575）、トチン（576、577）、ワトチ（578）、焼き台（579）、ピン、粘土塊がある。465の甕、467～469のサヤ鉢（中）は内外面に被熱した黄褐色粘土塊が付着している。同様な資料は他にも比較的多く見られるが、器種は甕とサヤ鉢（中）にほぼ限定される。内面の粘土をすくい取った際についたナデや粘土が外面に流れ落ちた痕跡が見られるため、液体状にした粘土を入れる容器であった可能性もあるが、被熱を説明できず用途は不明である。497の敷き板は上面に4つの陶器・窯道具痕が見られる。これらは被熱状況と配置から同時に焼成されたと考えられるが、2点は敷き板外部に飛び出すため別の敷き板が同じ高さに並行して配置されたことが窺える。また下面にはサヤ鉢の設置痕とその円周上にサヤ鉢の口縁部片が見られる。507は敷き板の上面に碗の口縁部？片が付着する。529～550は敷き板組み内で支柱として使用されたものである。531の左面上位で図化した粘土塊の中にはこの上に設置された敷き板の破片が付着している。534では左面上位で図化した粘土塊が断面図でわかるとおり直角をなす。

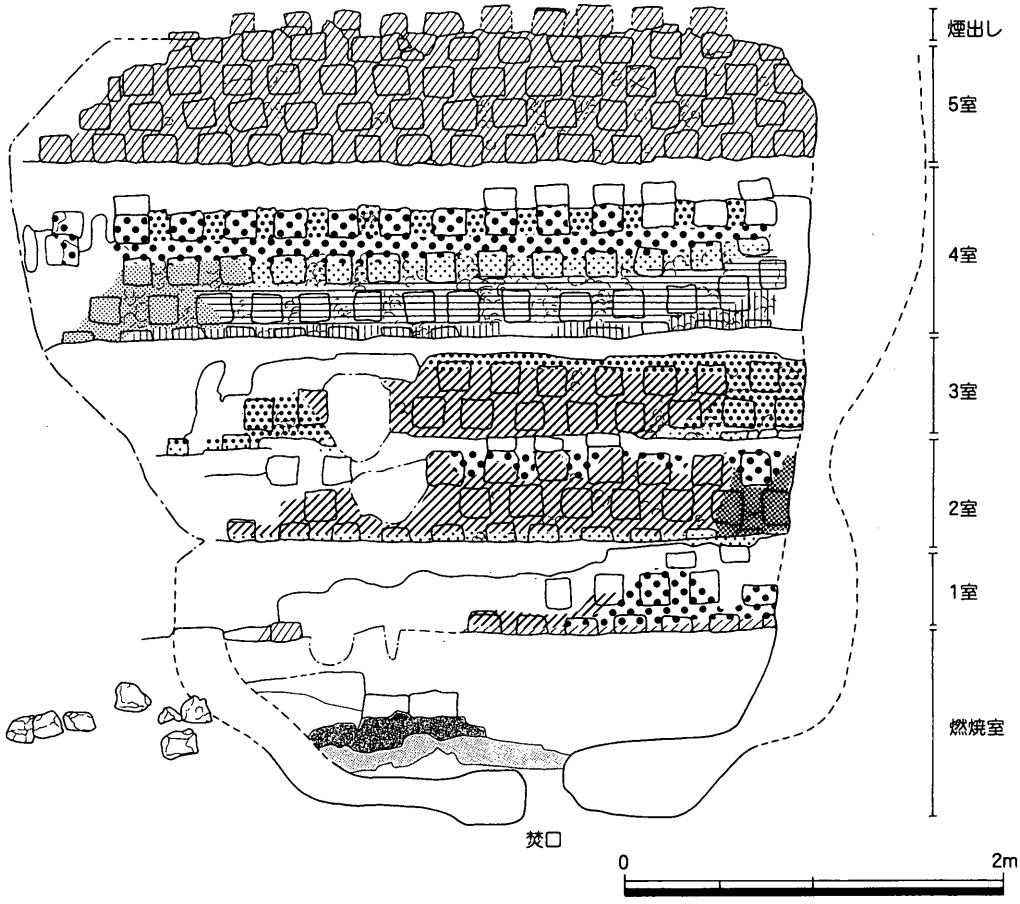
窯道具の出土位置を見ると砂床では西側でサヤ鉢、敷板が密集しているが、他の室と異なり敷き板が多い。火床では西端部で完形に近いサヤ鉢11点と甕の破片が、東側ではトンバイがかたまって出土している。

トンバイは9点出土した。火床から2㎝程度浮いているが、底面は平坦である。これらの直上は崩落天井で覆われていた。9点中8点が火床内に位置し、やや乱れているものの火床境に対し平行ないし直交気味に分布する。1点は完形であるが、他は約半身であり、相互に接合しない。床面よりやや浮いているが、分布状況と半身でも数ｋｇある重量から、窯が廃絶された時の状況をほぼ留めると考える。（分布の乱れは天井の崩落によると推定される。）

強く被熱する範囲は幅広で長い面であるものが多いが、被熱はいずれも弱く、よく焼けていても橙色に留まる。自然釉の付着も見られない。よって複数回使われたとしても他の室と比べ被熱が弱い焼成室（＝第5室）中心に使用された可能性が高い。これは第4室の奥壁際で出土したトンバイ列が著しく被熱していることか



第58図　Ⅳ区ＳＦ01奥壁立面図（1/40）



強強強　灰白色　著しいガラス化見られる
強強　ガラス化が見られる　黒色
強強　やや灰色味を帯びる　ガラス化していない　黒褐色
強　わずかにガラス化が見られる　黒褐色
強　極わずかにガラス化が見られる　赤紫色がかった黒褐色
やや強　ガラス化していない　黒ずんだ赤紫色
やや強　ガラス化していない　黒ずんだ赤紫色(やや赤みが強い)
やや弱　ガラス化していない　あずき色
弱弱弱　赤味帯びる肌色
やや弱い還元(やや薄い青灰色)
強い還元　青灰色

第59図　Ⅳ区ＳＦ01奥壁被熱状況（1/40）

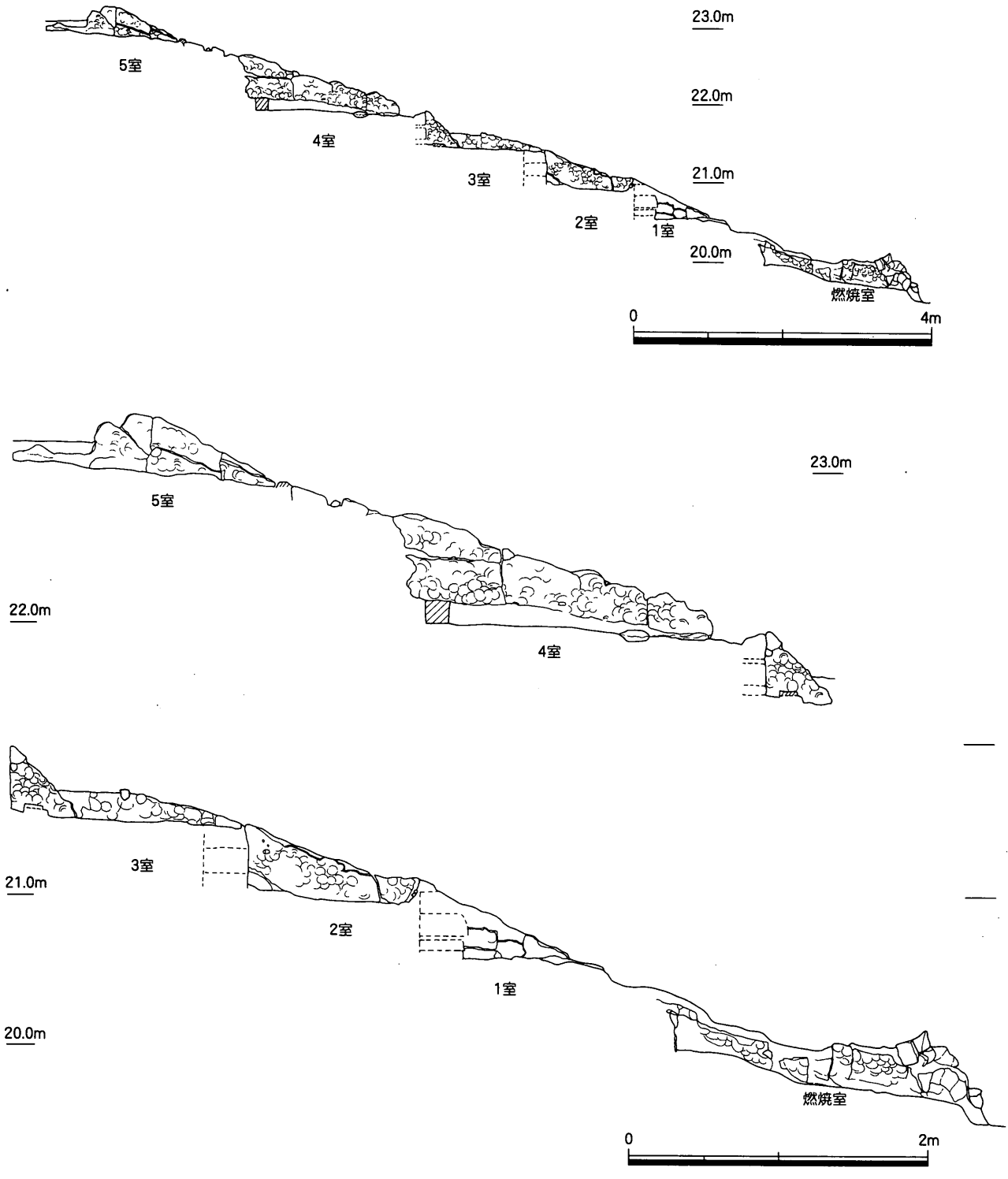
らも示唆される。

以上に基づいてトンバイ群の使用目的であるが、火床内で出土しているものの被熱面が床面に接しているものもあり、多くは通炎孔と正対しない。よってこの位置で使われたのでなく、片付けて置かれたと考える。これらの使用目的はトンバイに使用痕がないため不明である。しかし長い面が被熱しているものが多いので奥壁に対し平行する向きで配置したと考えられる。

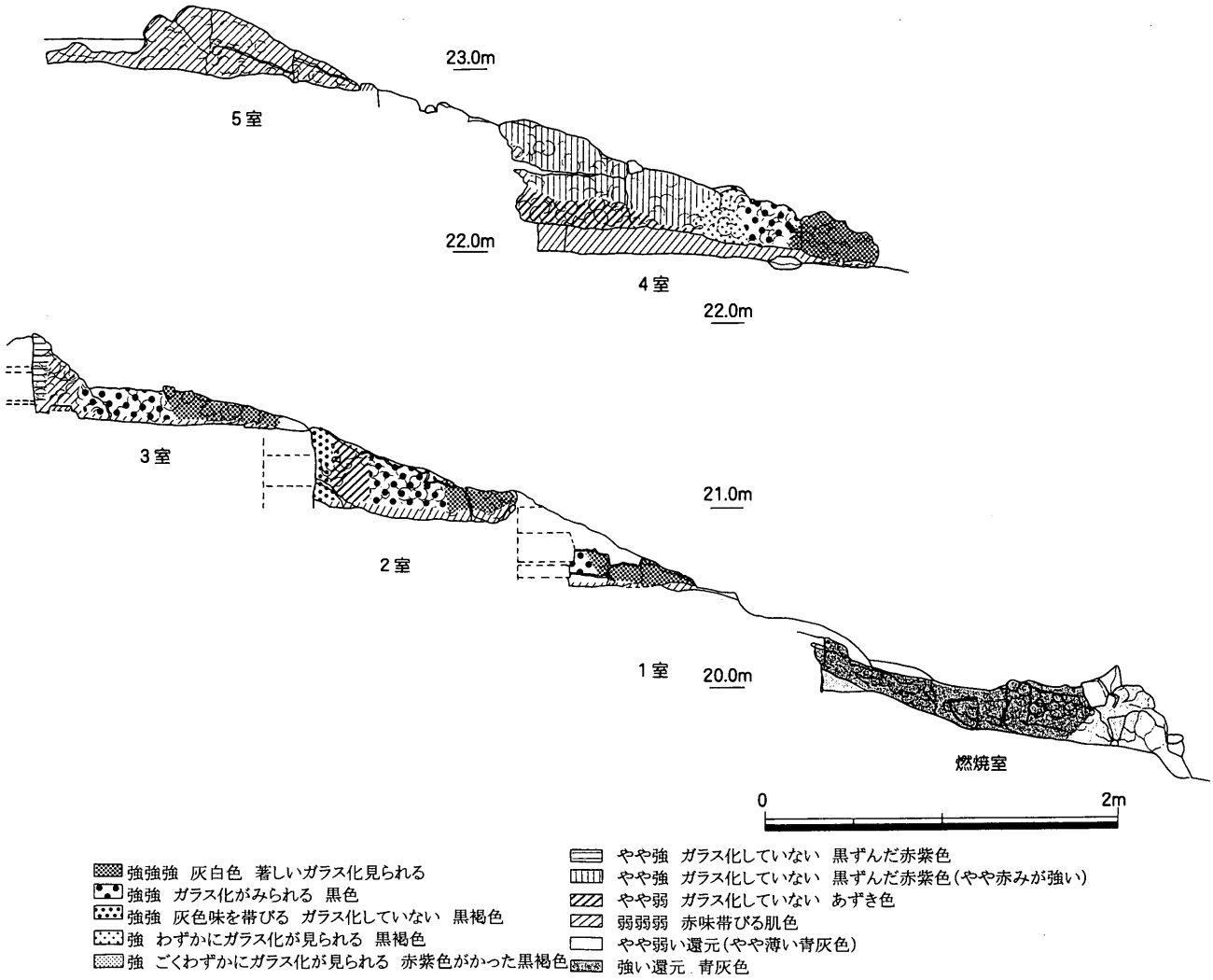
〈煙出し〉　直方体の粘土塊をほぼ等間隔に平行に並べ、この間を煙出しとしている。東側が崩落しているため粘土塊の正確な本数は不明であるが、11本が残存している。完存しているものはないが、残りのよい部分を合わせて考えると長さ1m、幅8～14㎝、高さ14㎝を測る。ＳＦ01南北断面図を見ると14層を地山上に盛った上に床面形成粘土（⑬層）を貼り、その上に煙出しの壁となる直方体粘土を配置している。地山には凹凸が見られ、傾斜角度も付近の丘陵と同程度であるためさほど地山整形していないと考えられる。

出土遺物は南端部を中心にほぼ床面直上で土瓶（580）、甕（581～583）、サヤ鉢（大）（584）、平瓦（585～594）がある。平瓦は約10～20㎝の破片であり、煙出しの閉塞に使用したと考えられる。

c．被熱状況　ＳＦ01の被熱状況は大別すると燃焼室、焼成室、煙出しという機能が異なる部位ごとに変化する。ここでは火床以外の被熱状況について説明する。



第60図　Ⅳ区ＳＦ01　1～5室西側壁立面図（1/40）（1/80）



第61図　Ⅳ区ＳＦ01西側壁被熱状況（1/40）

〈燃焼室〉 床面、側壁とも青灰色に還元している。どちらも第1室に近接する位置で青みが増し、表面のガラス化が顕著になる。このように奥側ほど被熱が強まる。

〈焼成室〉 第5室は他の室と異質な被熱状況を示すため「5室の検討」で後述し、ここでは1～4室について述べる。これらの室では基本的に暗赤褐色～黒褐色系の色調に還元している。全体を通して以下のような傾向がある。①奥壁、側壁を見ると燃焼室に近い室ほど被熱度が強い。②側壁では側壁の通炎孔寄りの部分が強く焼ける。③奥壁では上部と東西端部の焼けが強い。①、②は燃焼室、通炎孔、火床などの火元と近接することによる。③で上部が強く焼けるのは火が上昇する性質による。東西端部については中央の通炎孔から吹き出した炎が左右に拡散するのに対し、端部の炎は側壁で進行を妨げられるため相対的に炎が凝集され、火力が強まるためである。
ただ①について側壁はこうした状況を示すが、奥壁は第2、3室より第4室の方が床面から同レベルの位置についても被熱度が強い。燃焼室からの距離だけでなく、通炎孔から奥壁までの距離も短い第2、3室がこれより弱いのは窯詰め方法、火床での追い焚きの程度が関連した可能性がある。（なお、第2、3室奥壁を改修した痕跡は見られない。）とくに窯詰め方法については第2、3室とも側壁に接して奥壁際敷き板列が構築された痕跡が見られ、敷き板組みで奥壁がふさがれていたため被熱が弱まったと推定される。このことは第4室では西側壁奥側と

奥壁全体の被熱度が同程度であるのに対し、第2、3室側壁奥側は奥壁東西端部としか類似しない（奥壁中央部は弱い）ことからも示唆される。（4室でも奥壁際トンバイ群があるが、陶器、窯道具付着痕から見て積み上げても透き間が空く窯詰めが行われたと推測される。）

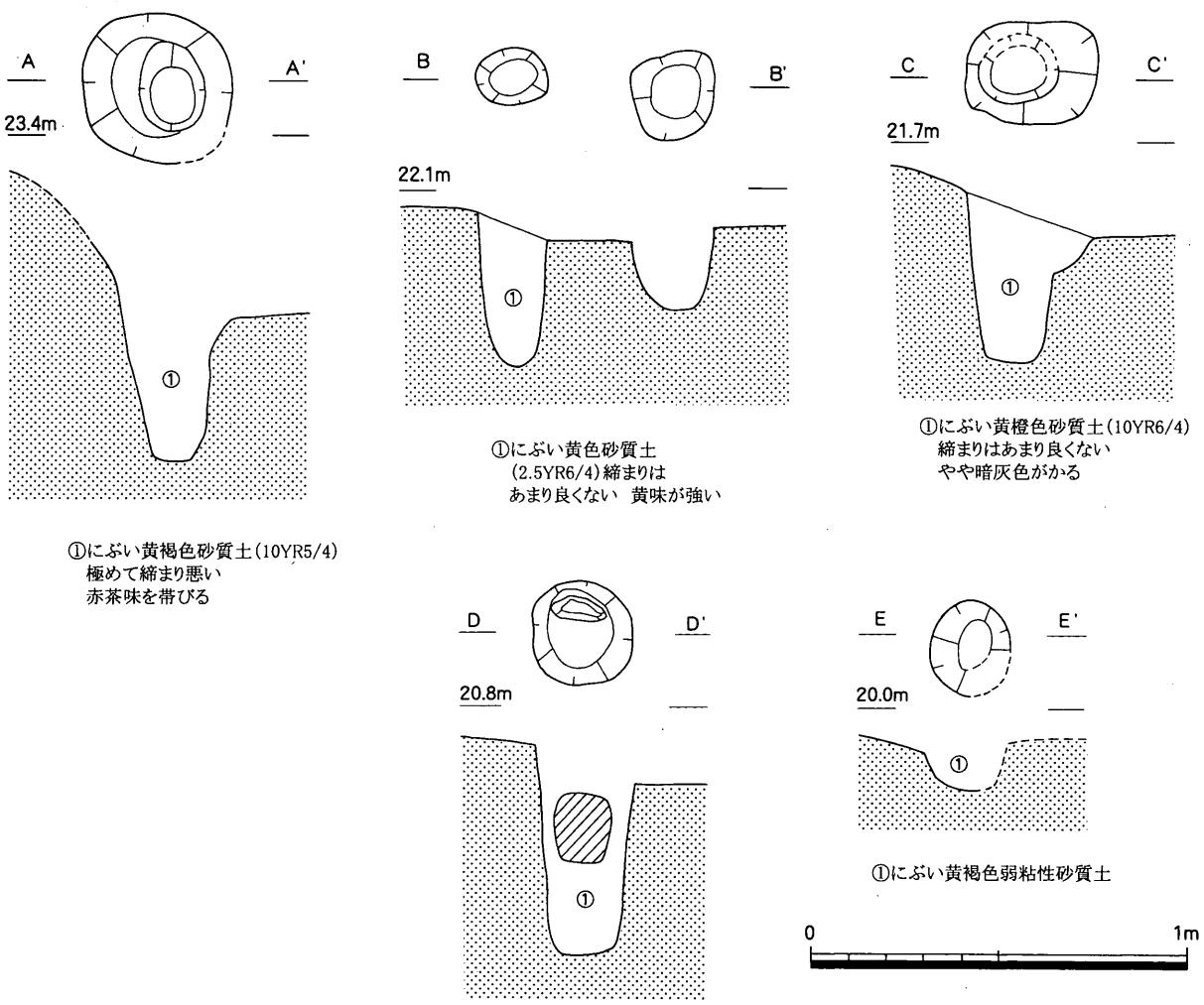
なお各焼成室については他にも個別に説明を要する事項があるが、関連性が強い部分で既述したためここでは触れない。

〈煙出し〉 煙出しを構成する直方体粘土の側面、床面とも赤褐色であり、弱く酸化している。また煙出しのすぐ外も幅30㎝ほどの範囲が薄い赤褐色を呈し、極めて弱く被熱している。これは炎が噴き出したためと想定される。

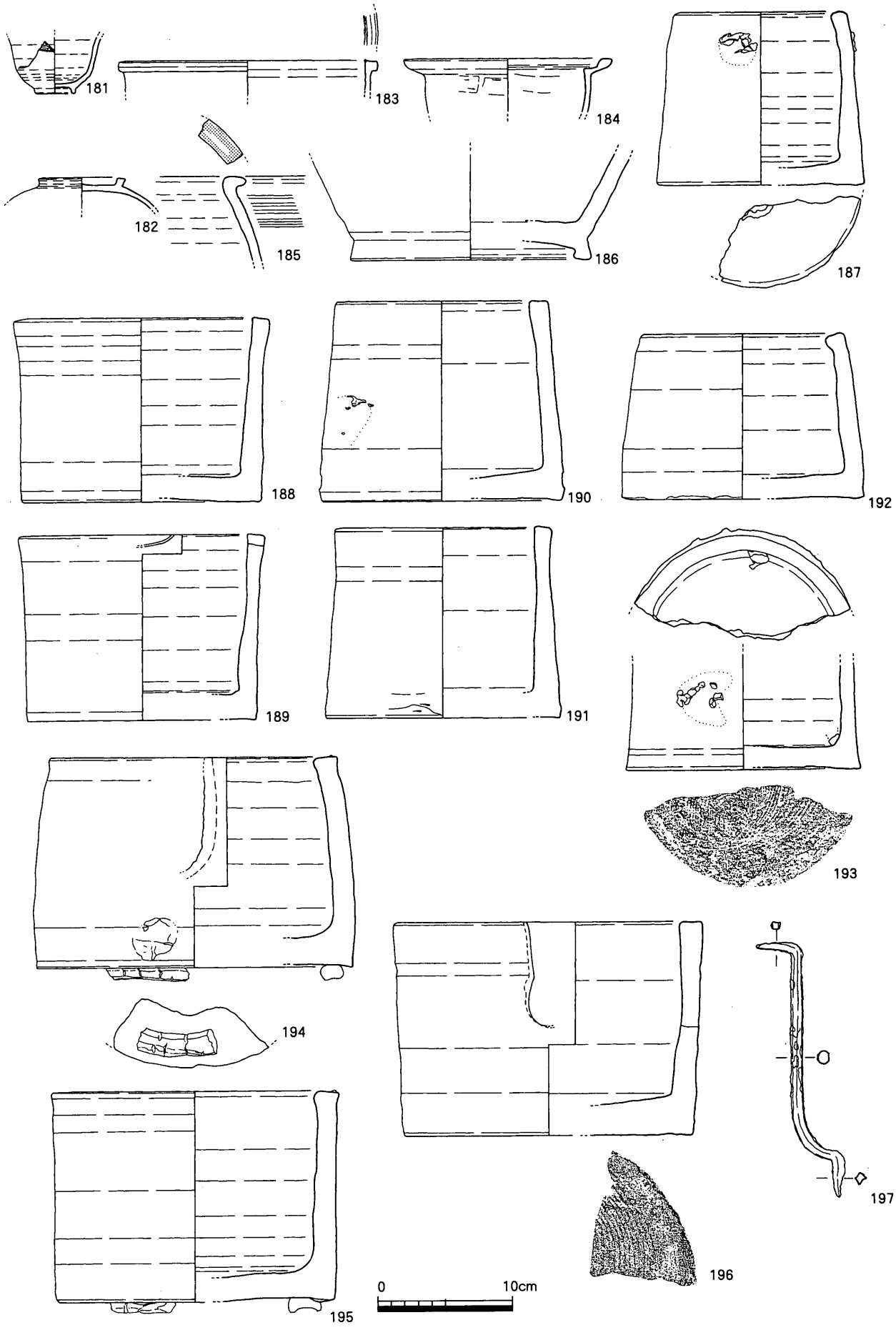
窯に付随する遺構

灰原（第54図）

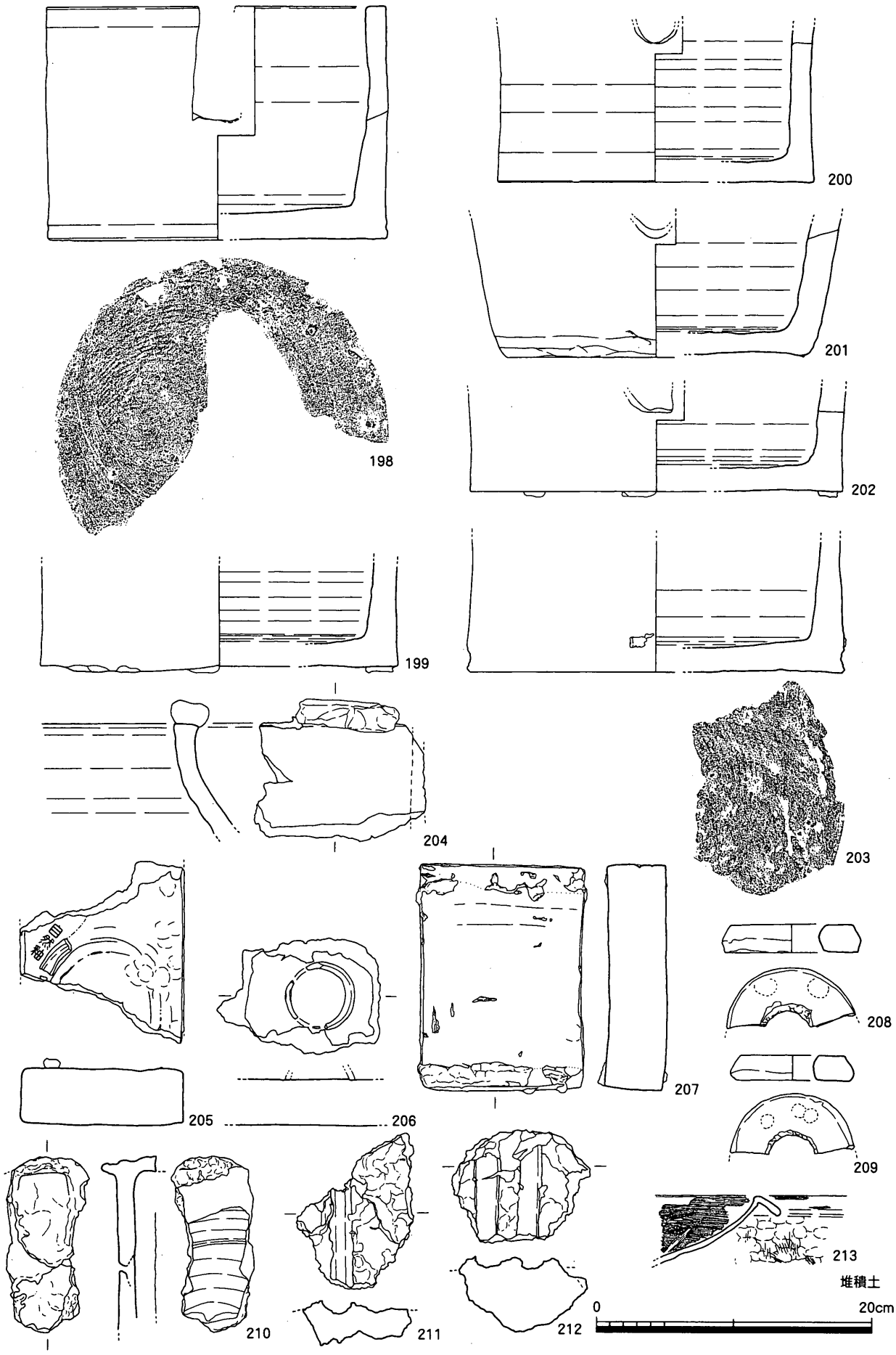
南東部を撹乱で、北側を宅地造成による削平で失われるが、平面形は不整な扇形である。焚き口から北に広がり、西側はＳＤ01に平行し、東側は北東へ向かって延びる。規模は南北2.7ｍ、東西3.7ｍ、深さ5㎝を測る。ＳＫ10と位置的に重複し、SK10が先行すると推測される。埋土は黒褐色粘質土である。炭、灰、焼土ブロックを含むのみで遺物は含まない。



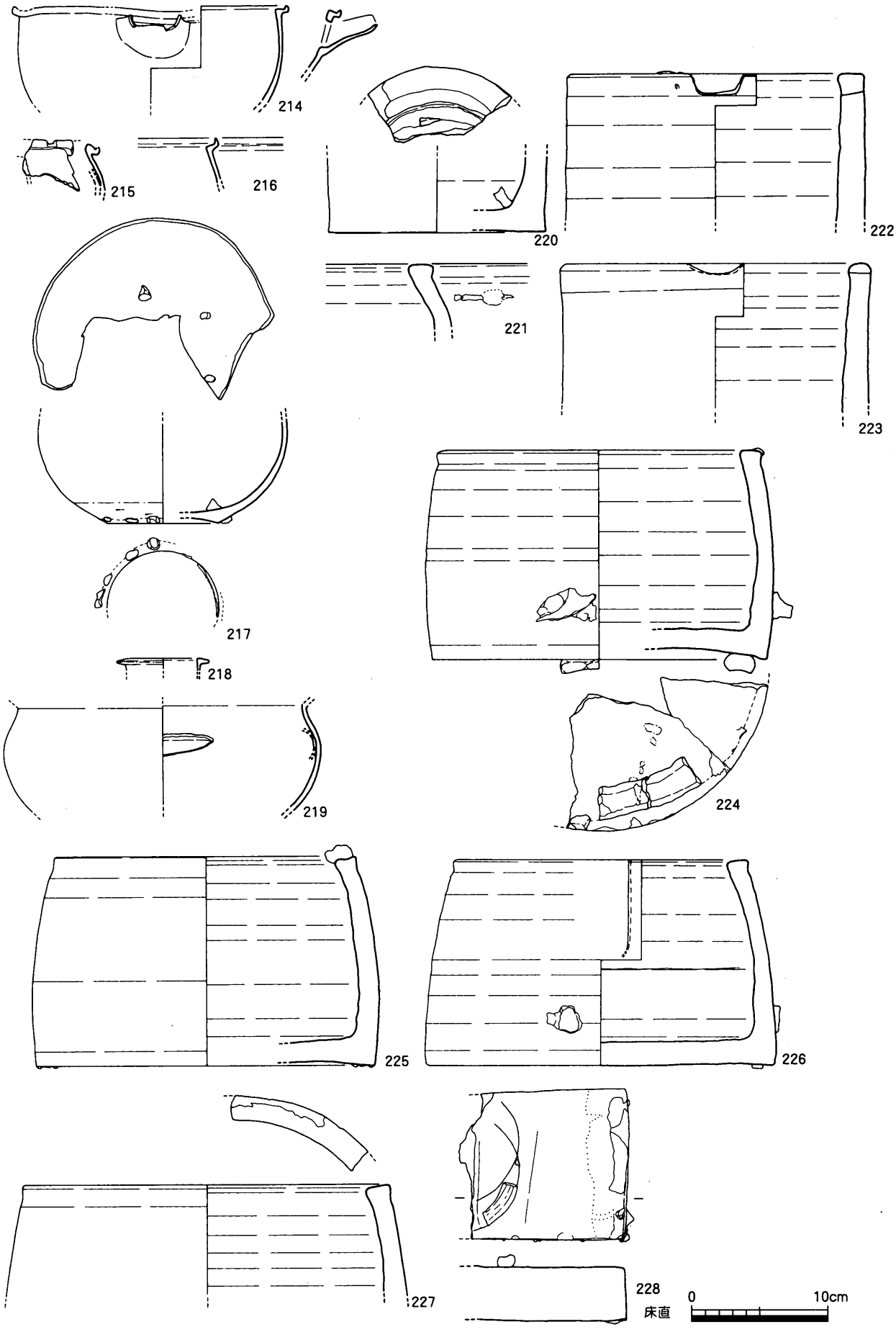
第62図　覆い屋ＳＰ平・断面図（1/20）



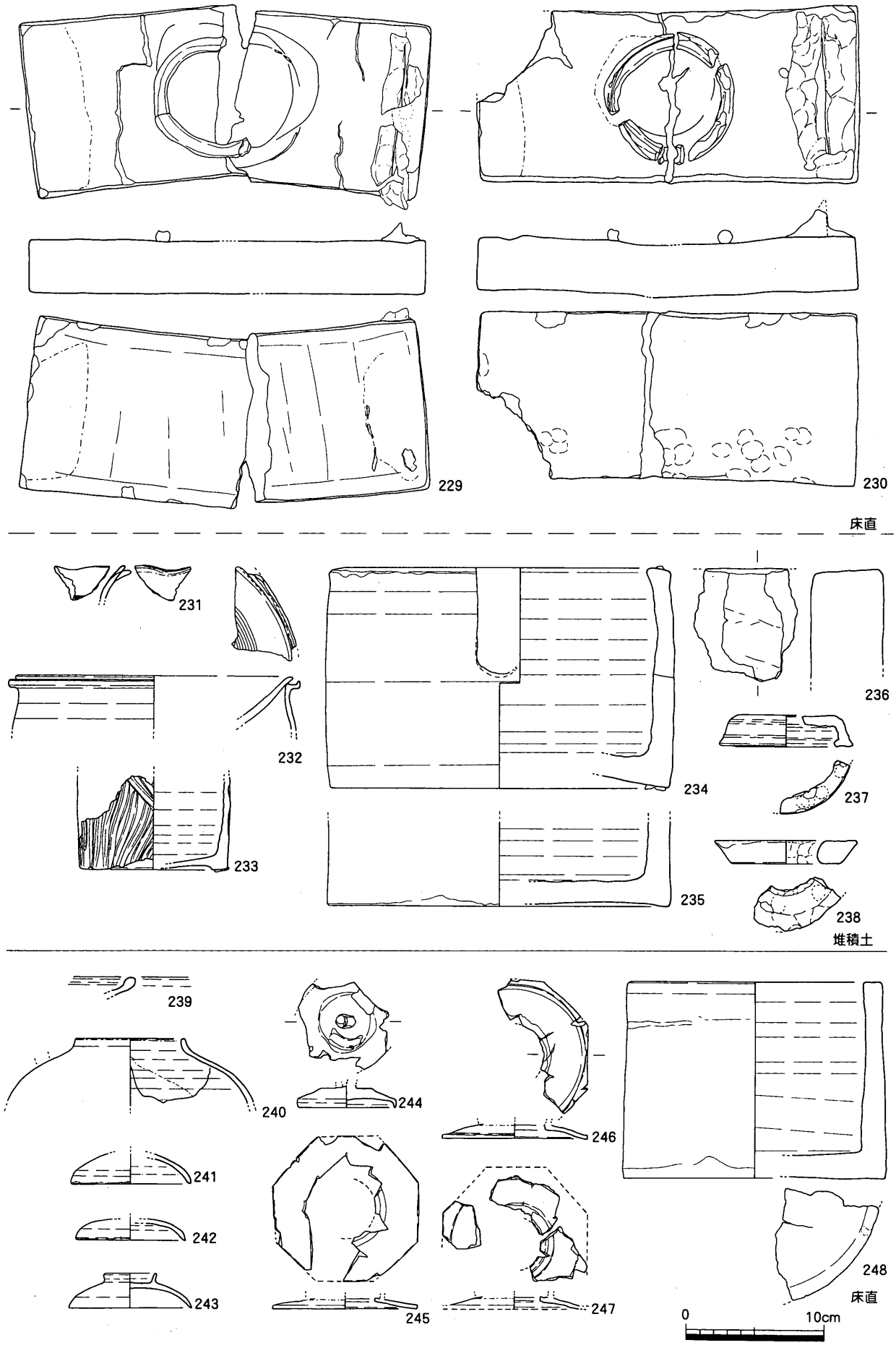
第63図　Ⅳ区ＳＦ01燃焼室出土遺物１（1/4）



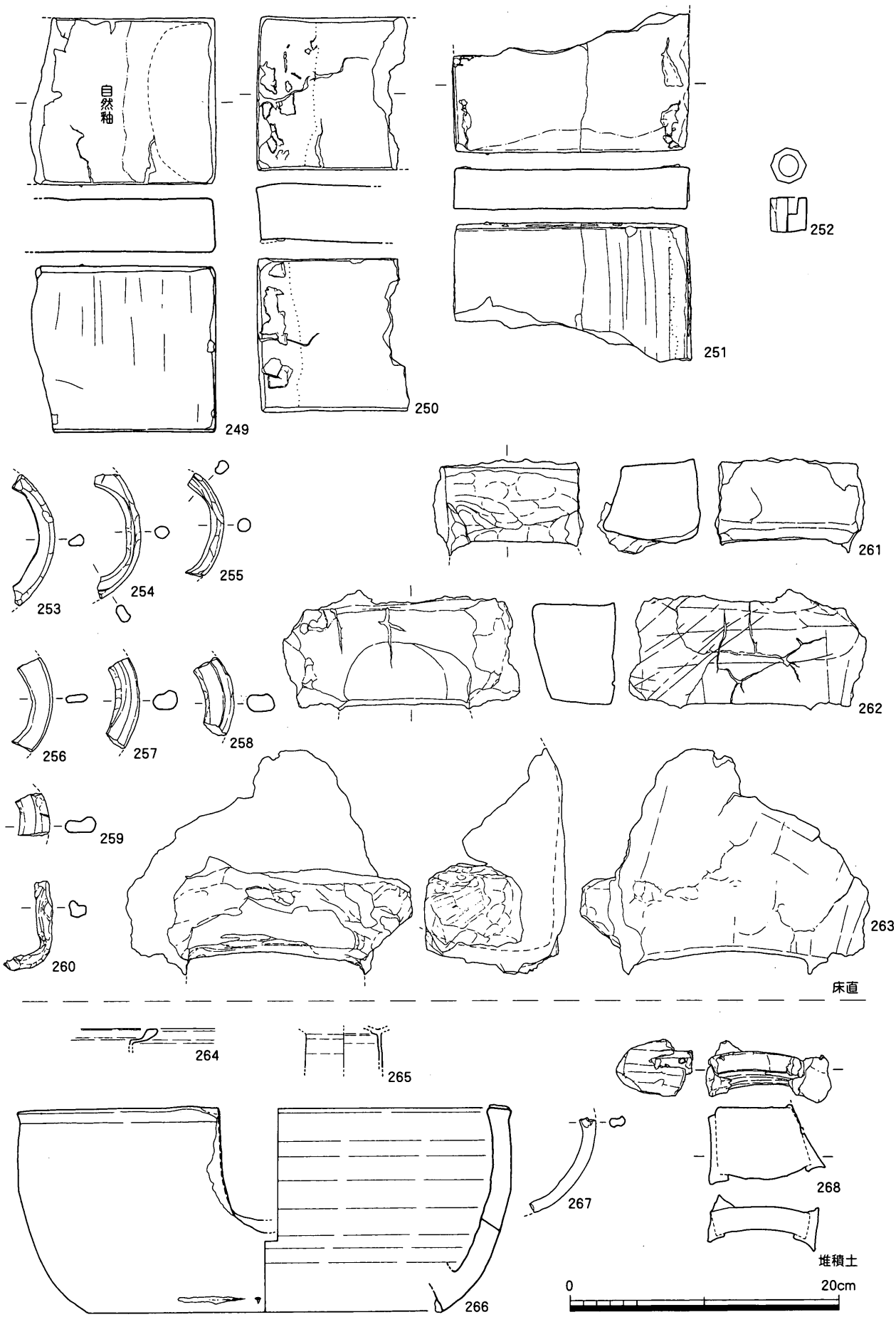
第64図　Ⅳ区ＳＦ01燃焼室出土遺物２（1/4）



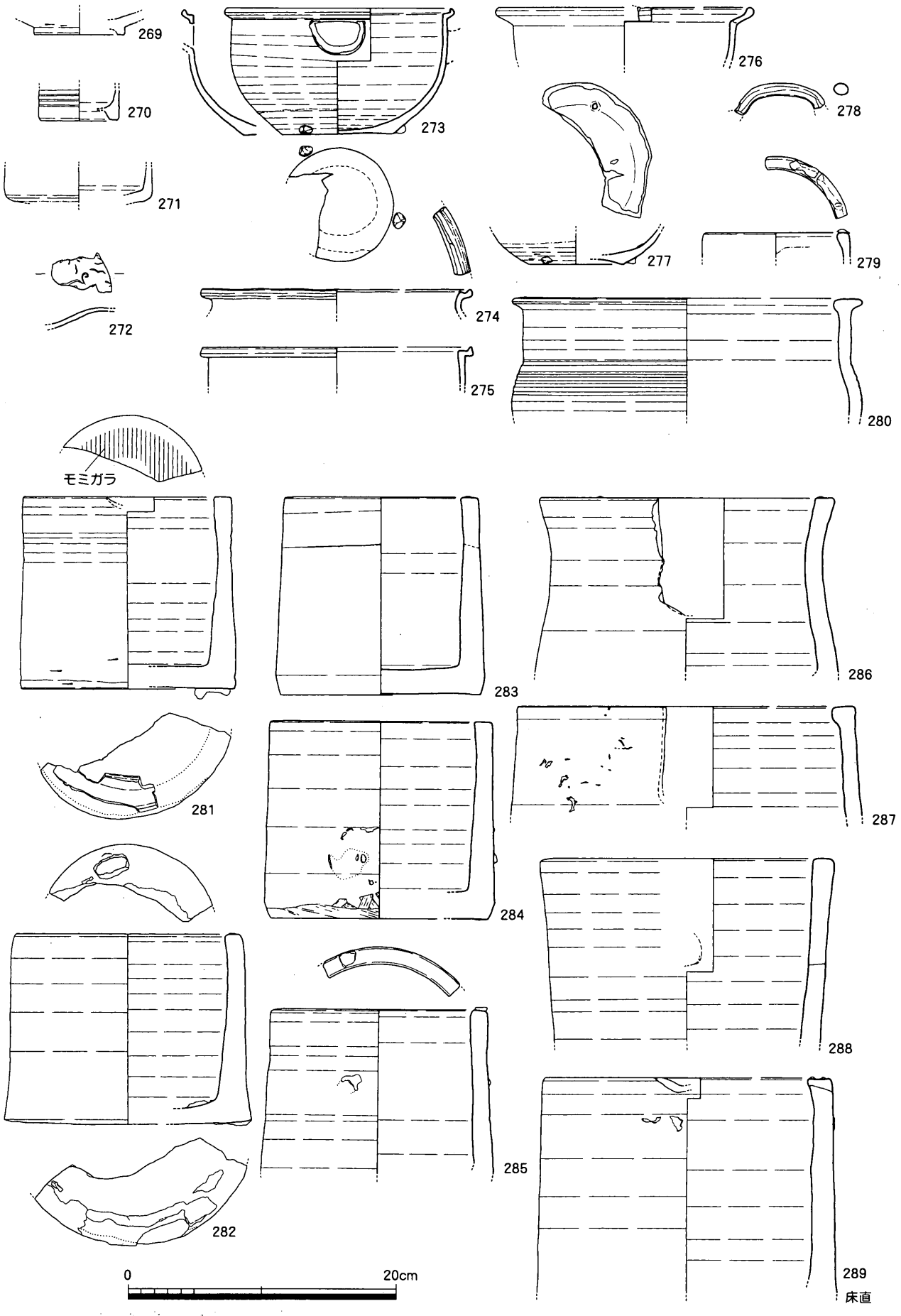
第65図　Ⅳ区ＳＦ01　１室出土遺物１（1/4）



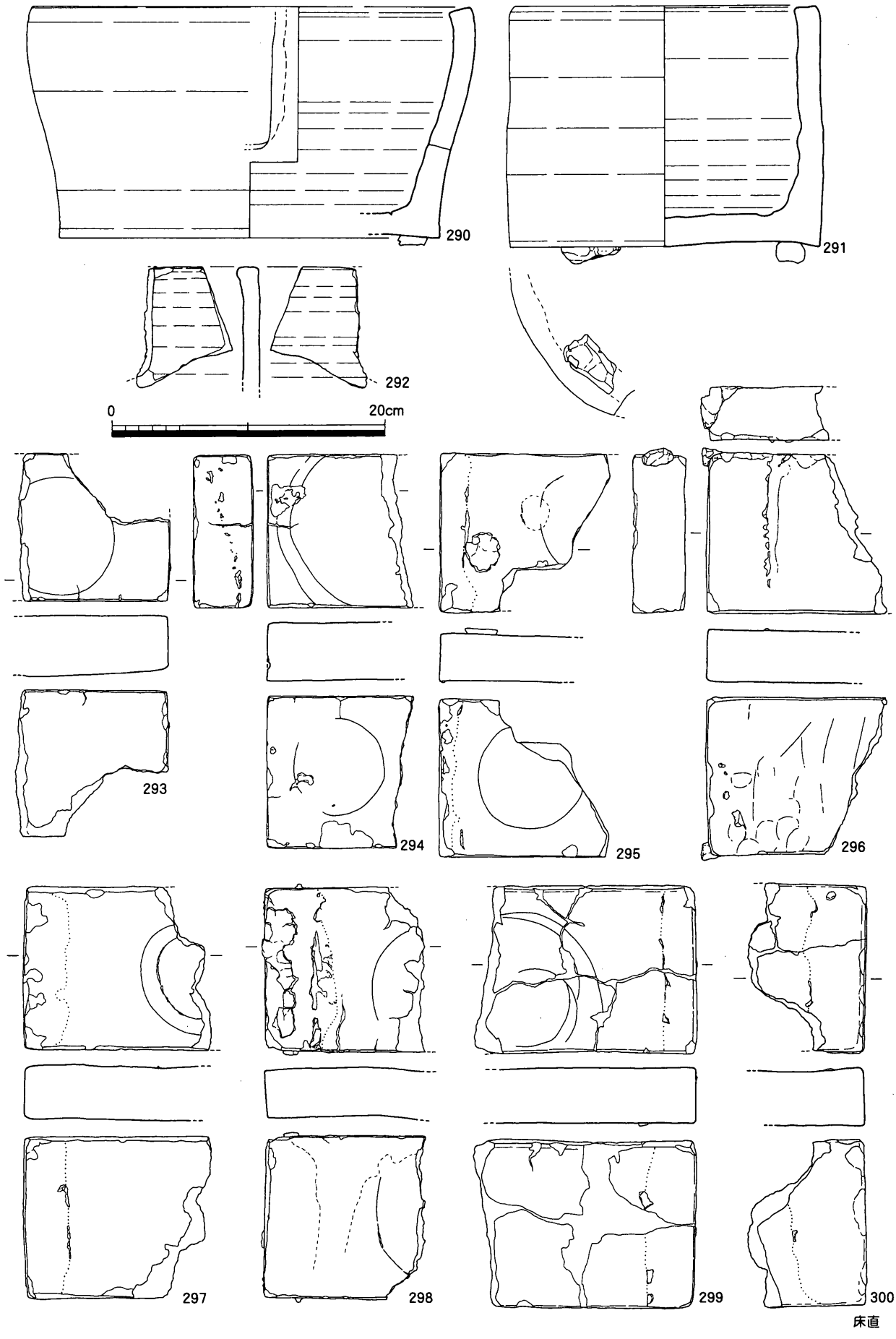
第66図　Ⅳ区ＳＦ01　１室出土遺物２，２室出土遺物１（1/4）



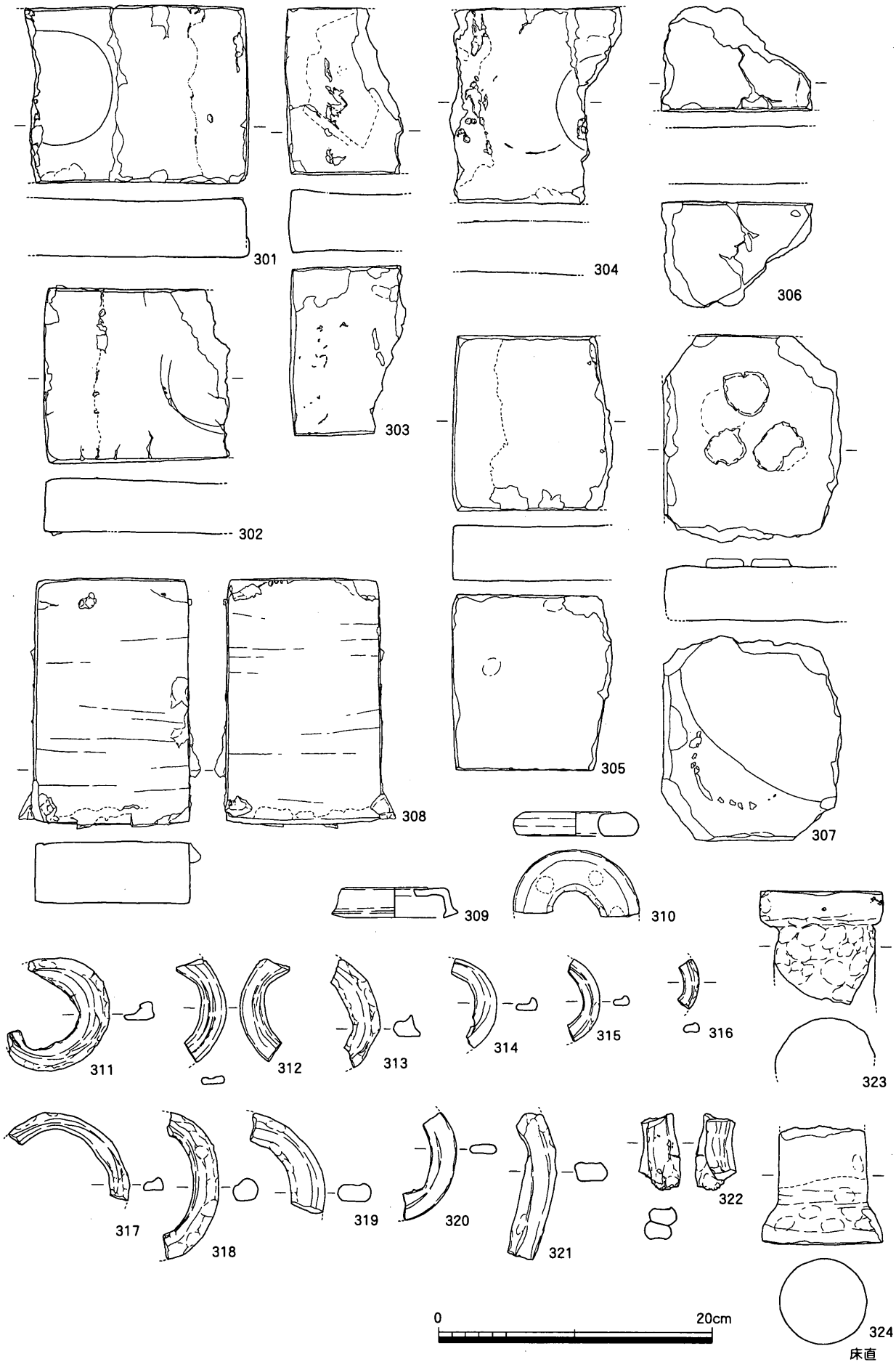
第67図　Ⅳ区ＳＦ01　２室出土遺物２（1/4）



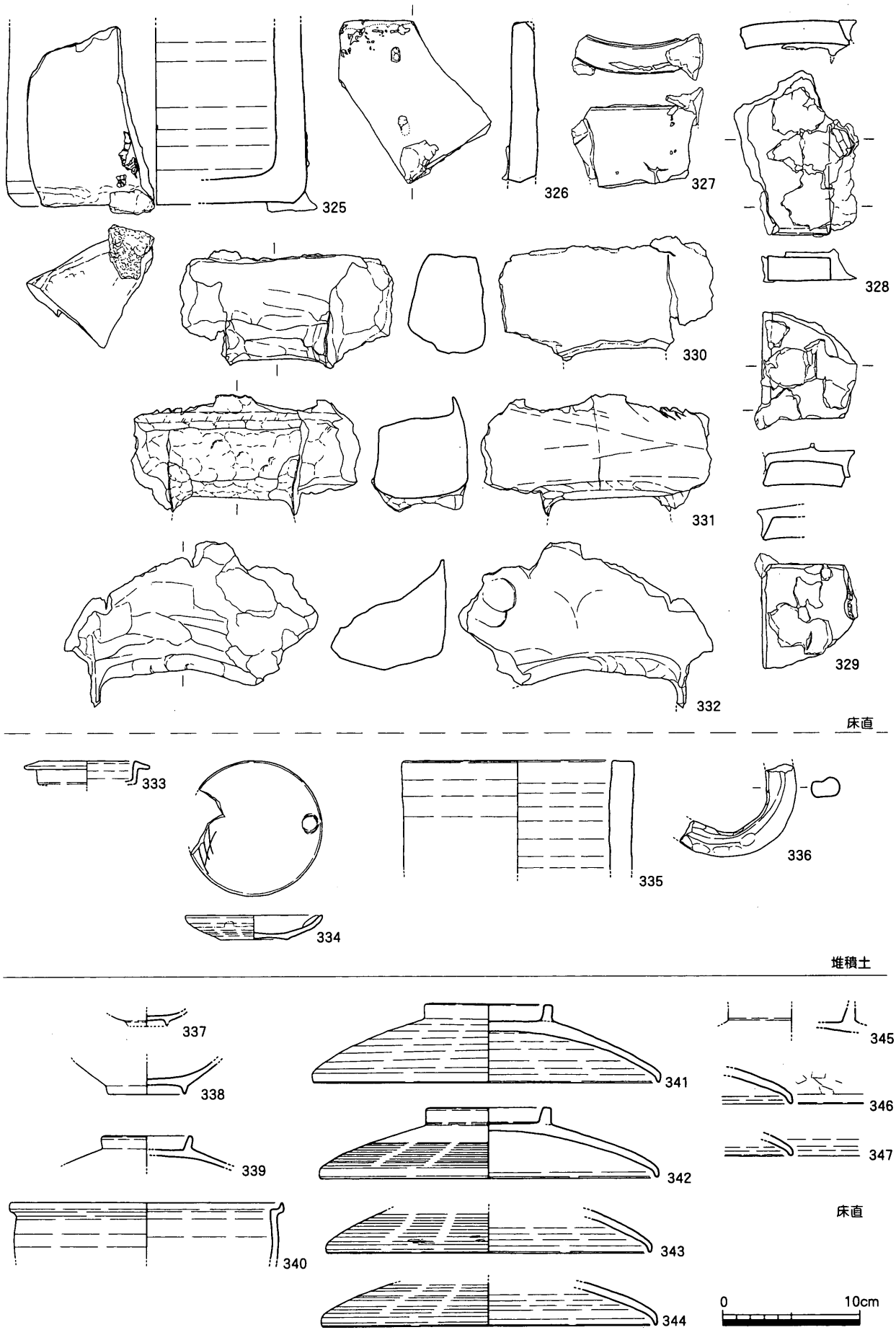
第68図　Ⅳ区ＳＦ01　３室出土遺物１（1/4）



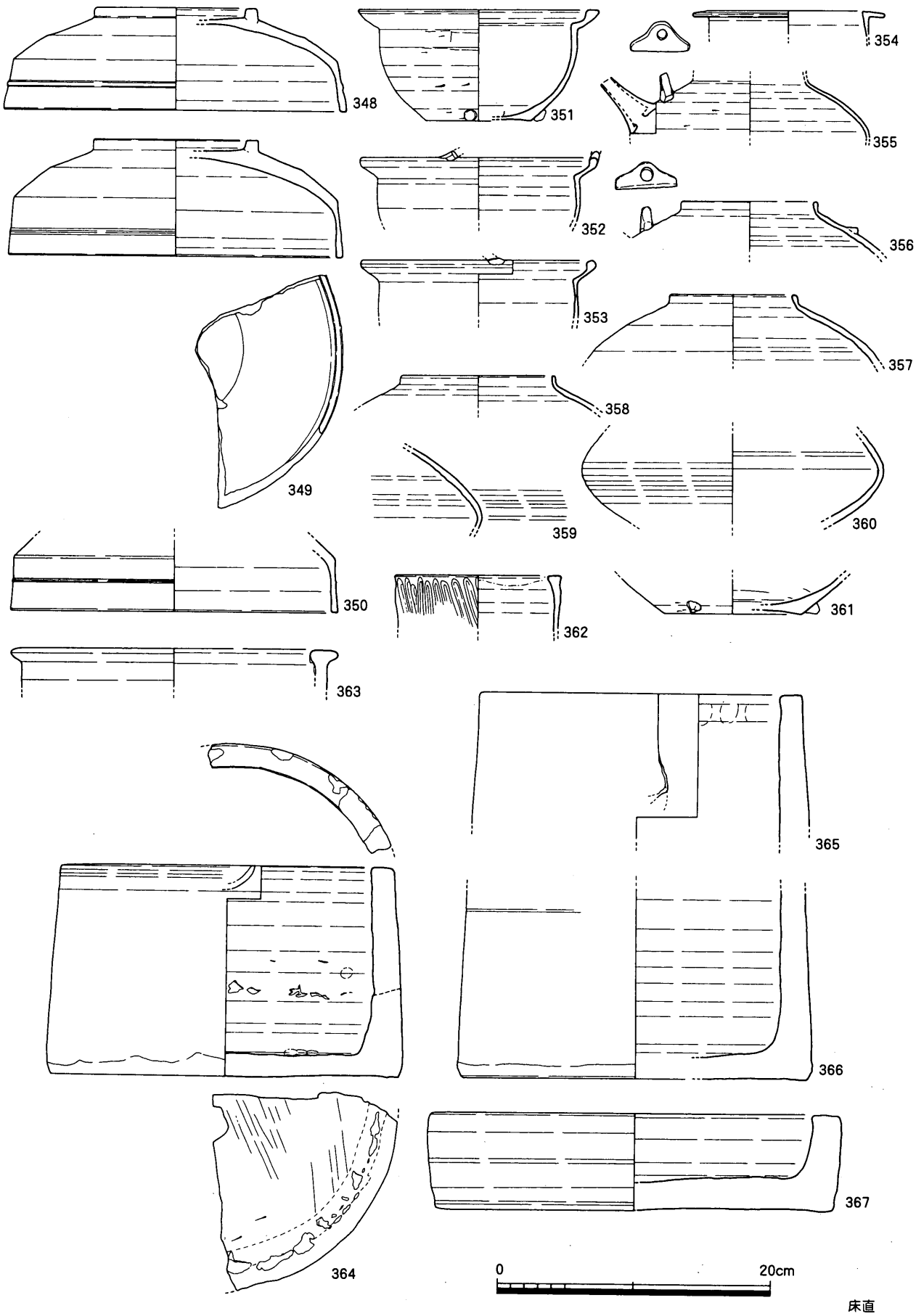
第69図　Ⅳ区ＳＦ01　３室出土遺物２（1/4）



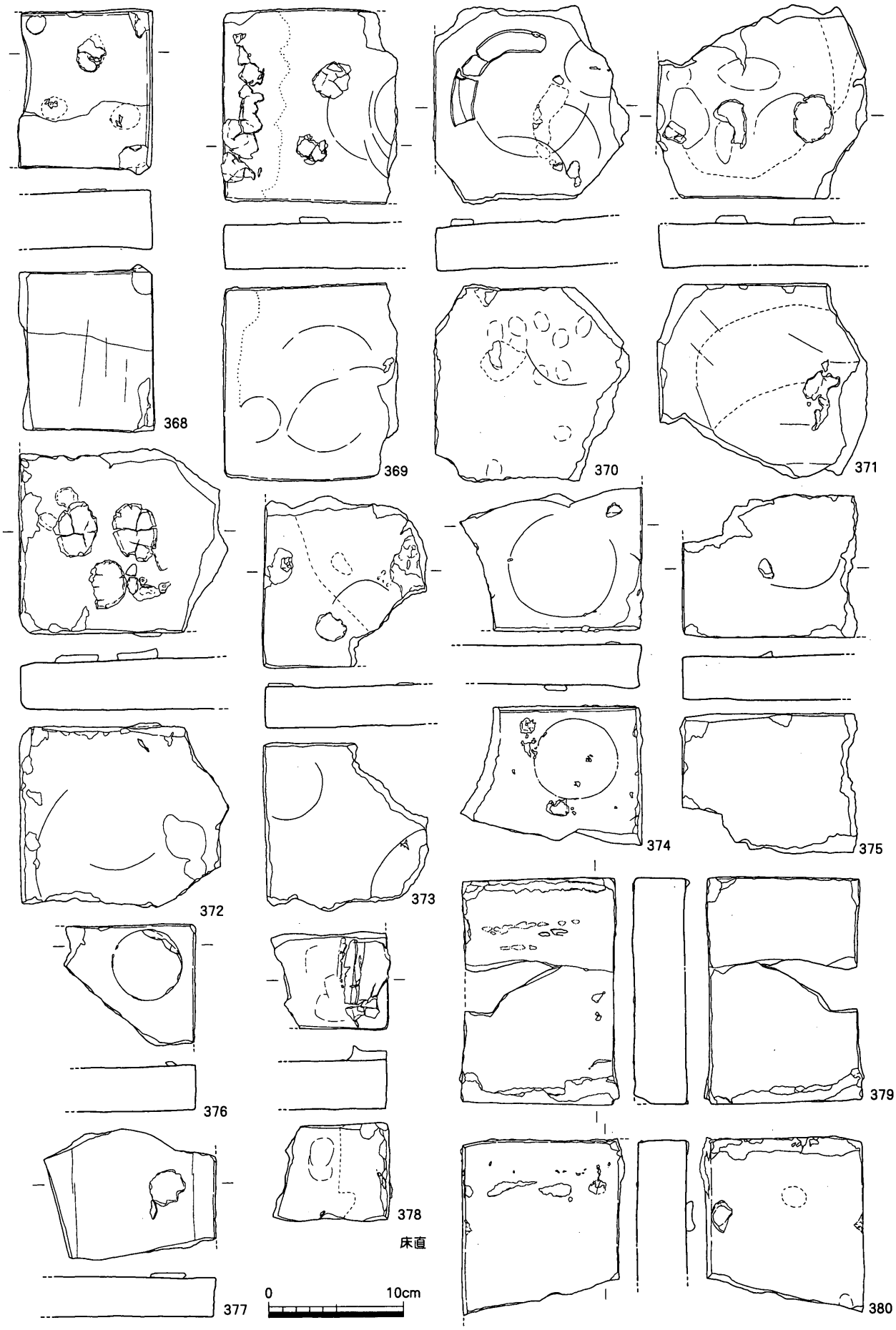
第70図　Ⅳ区ＳＦ01 3室出土遺物3（1/4）



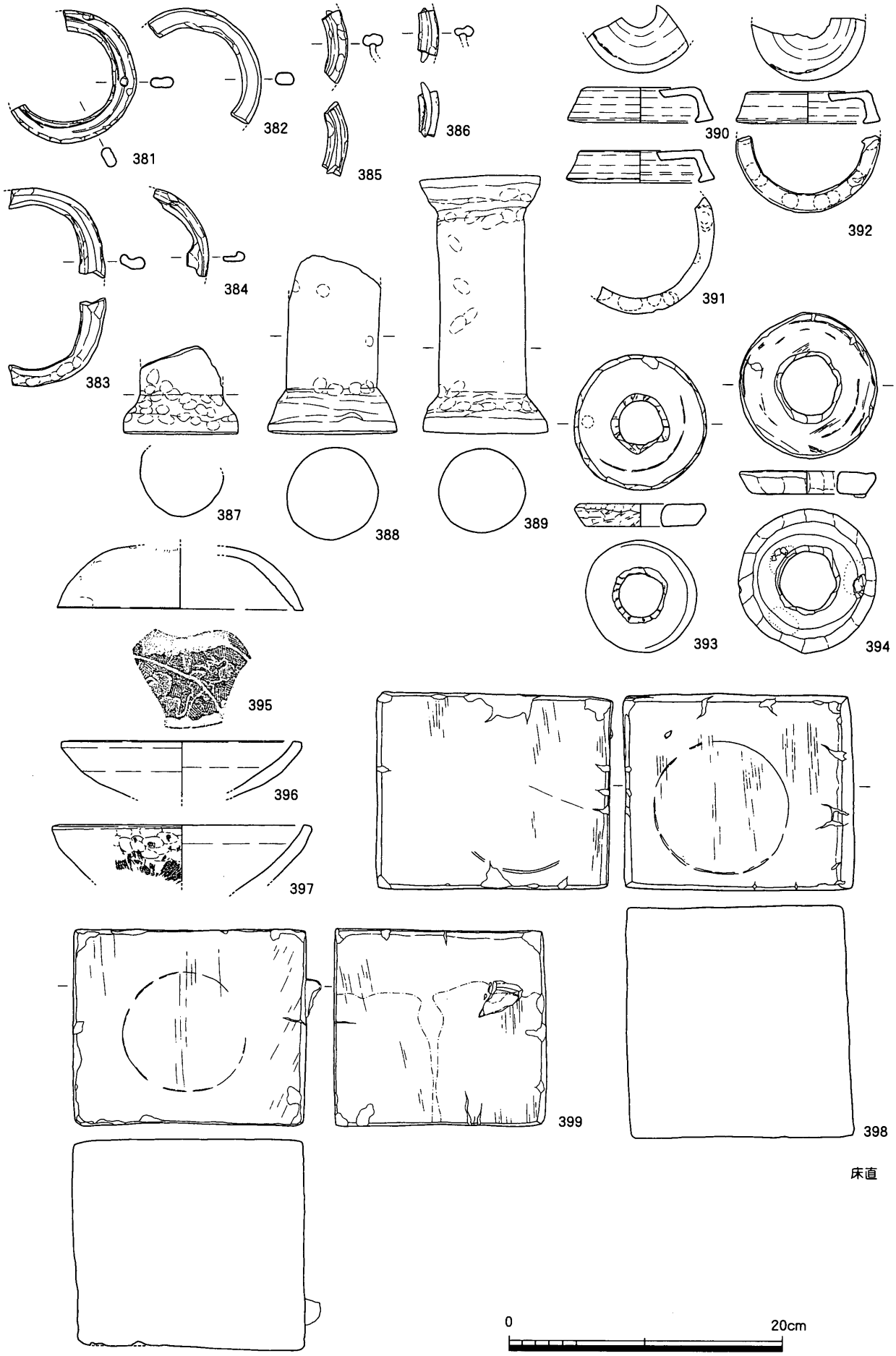
第71図　Ⅳ区ＳＦ01　３室出土遺物４，４室出土遺物１（1/4）



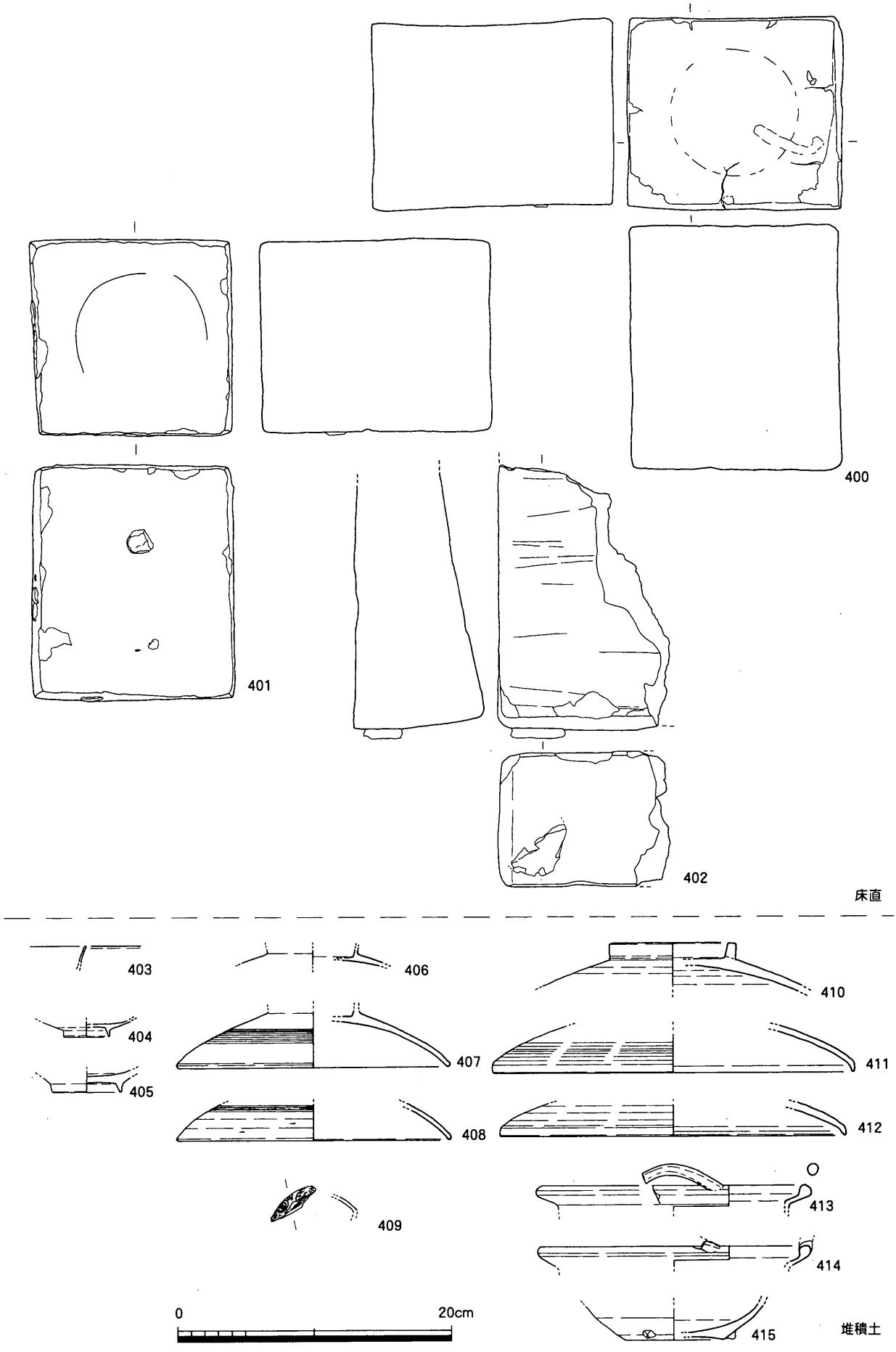
第72図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物２（1/4）



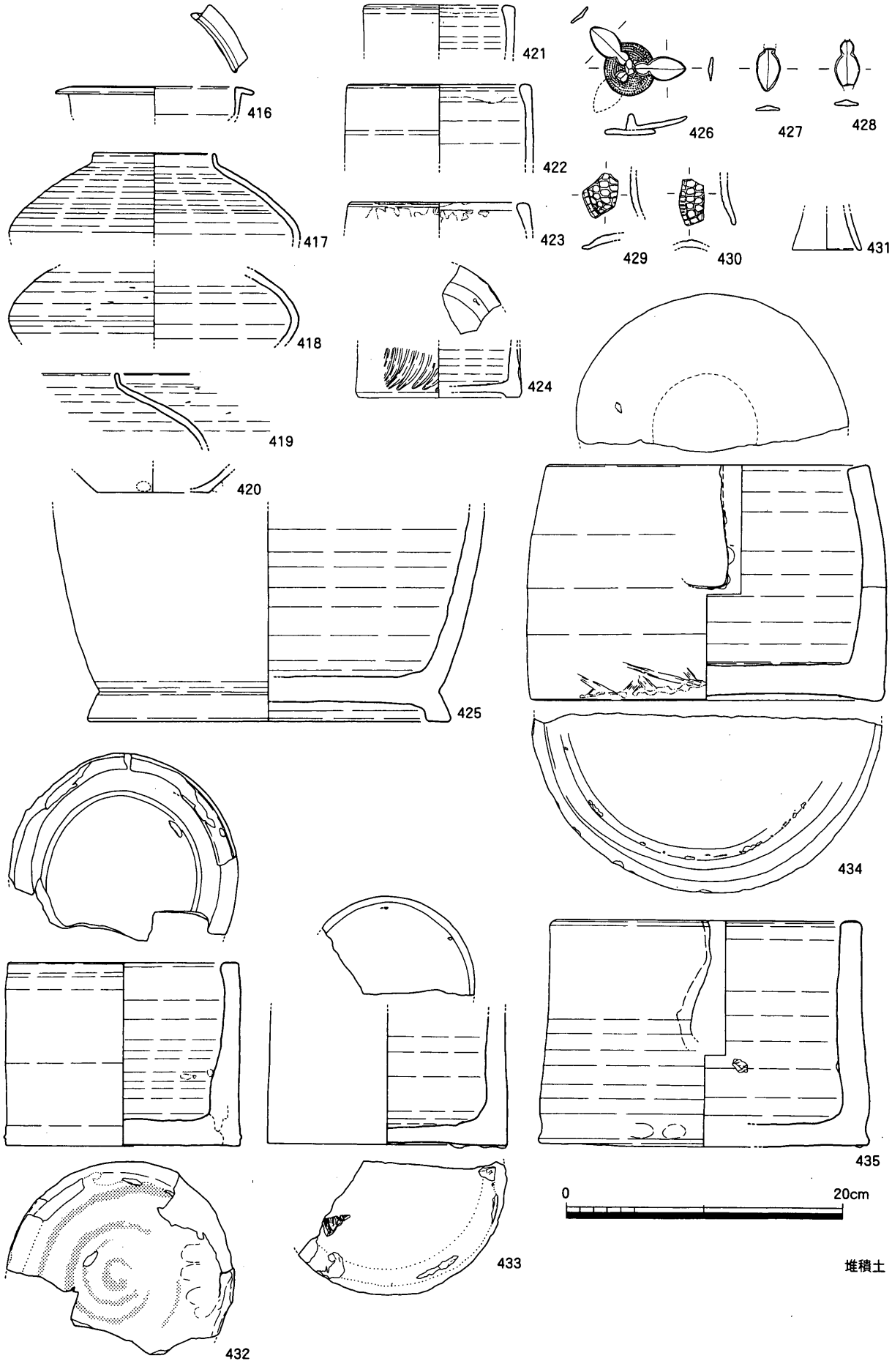
第73図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物３（1/4）



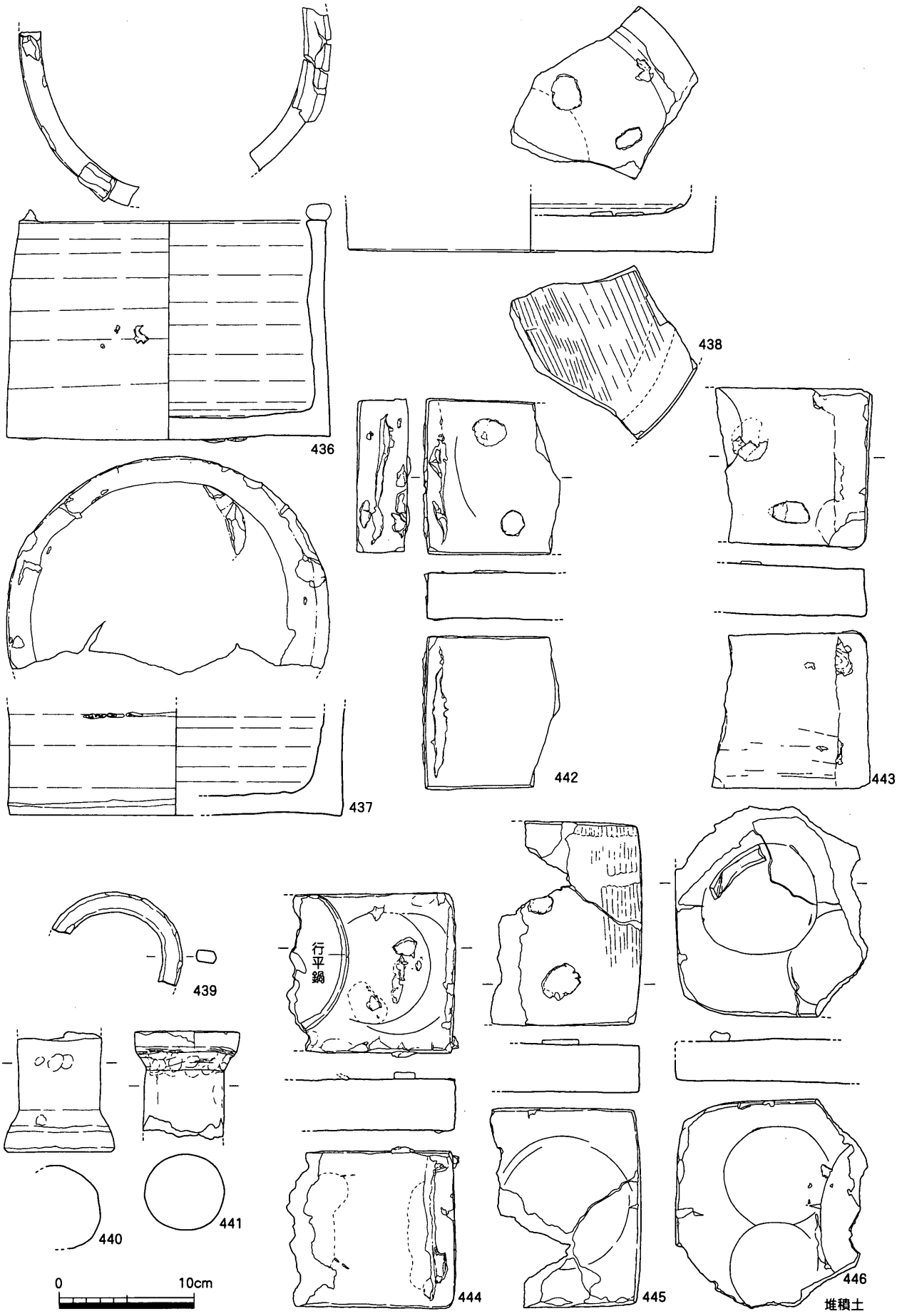
第74図　Ⅳ区ＳＦ01　4室出土遺物4（1/4）



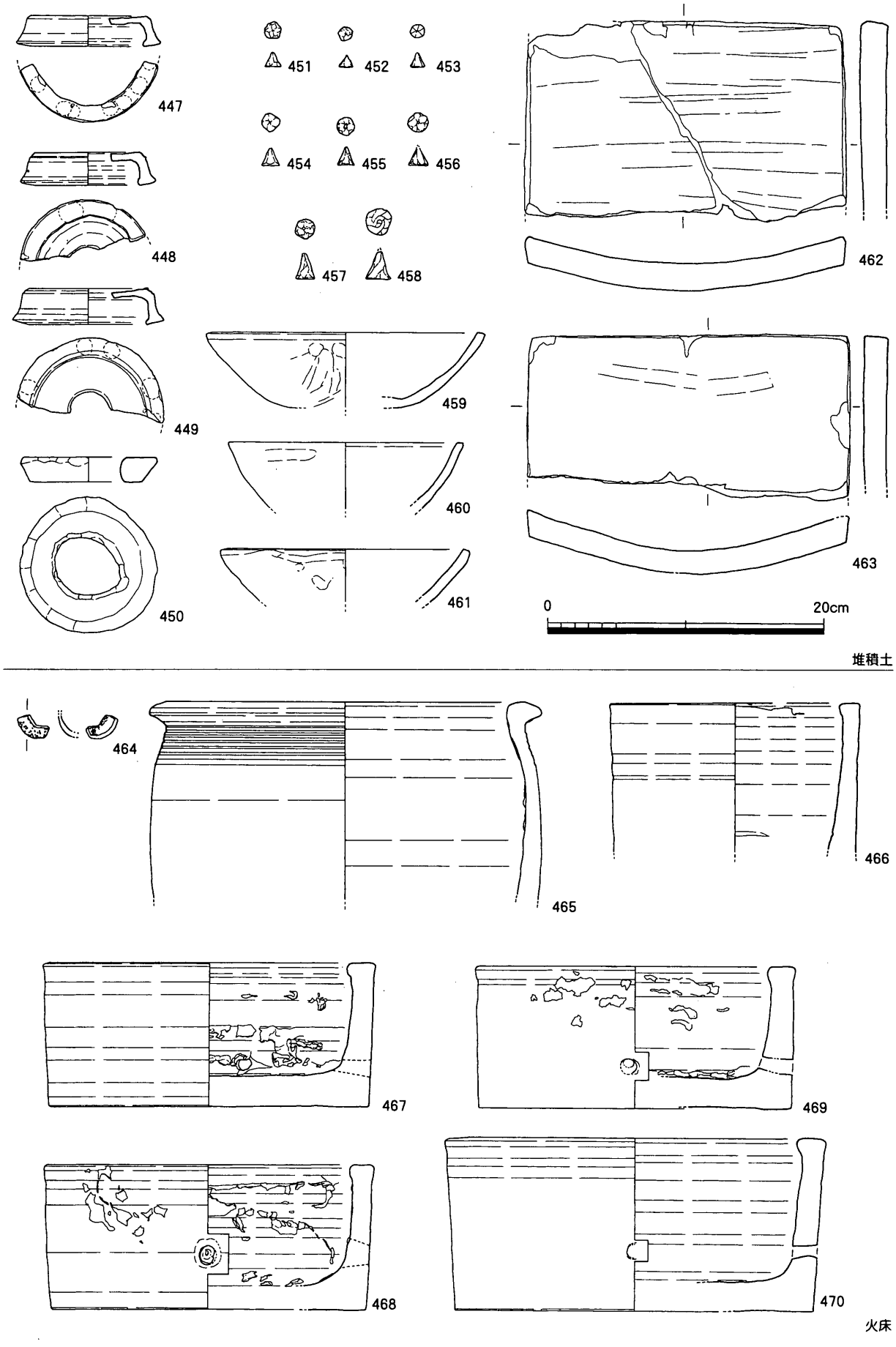
第75図　Ⅳ区ＳＦ01　4室出土遺物5（1/4）



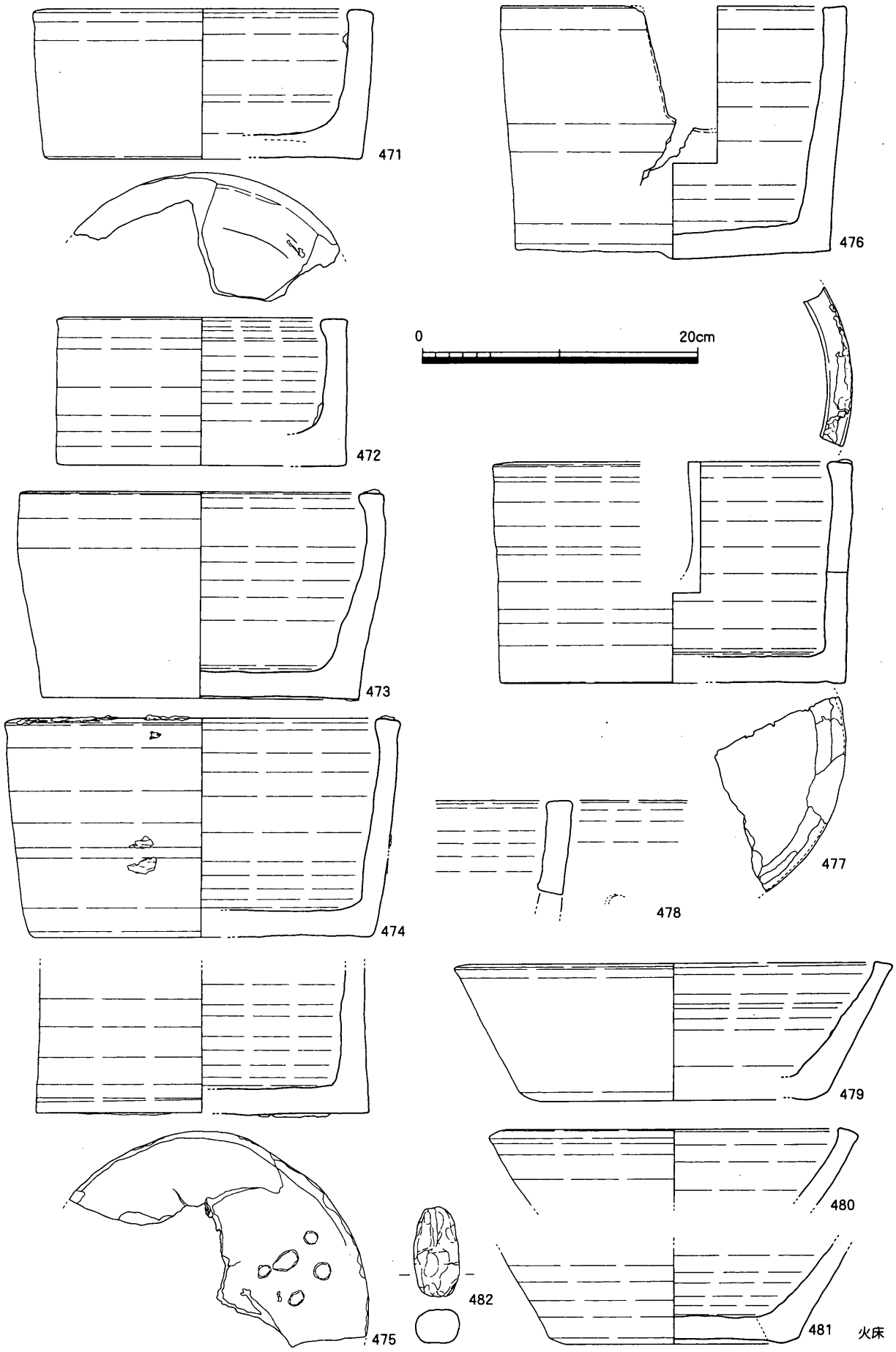
第76図　Ⅳ区ＳＦ01　4室出土遺物6（1/4）



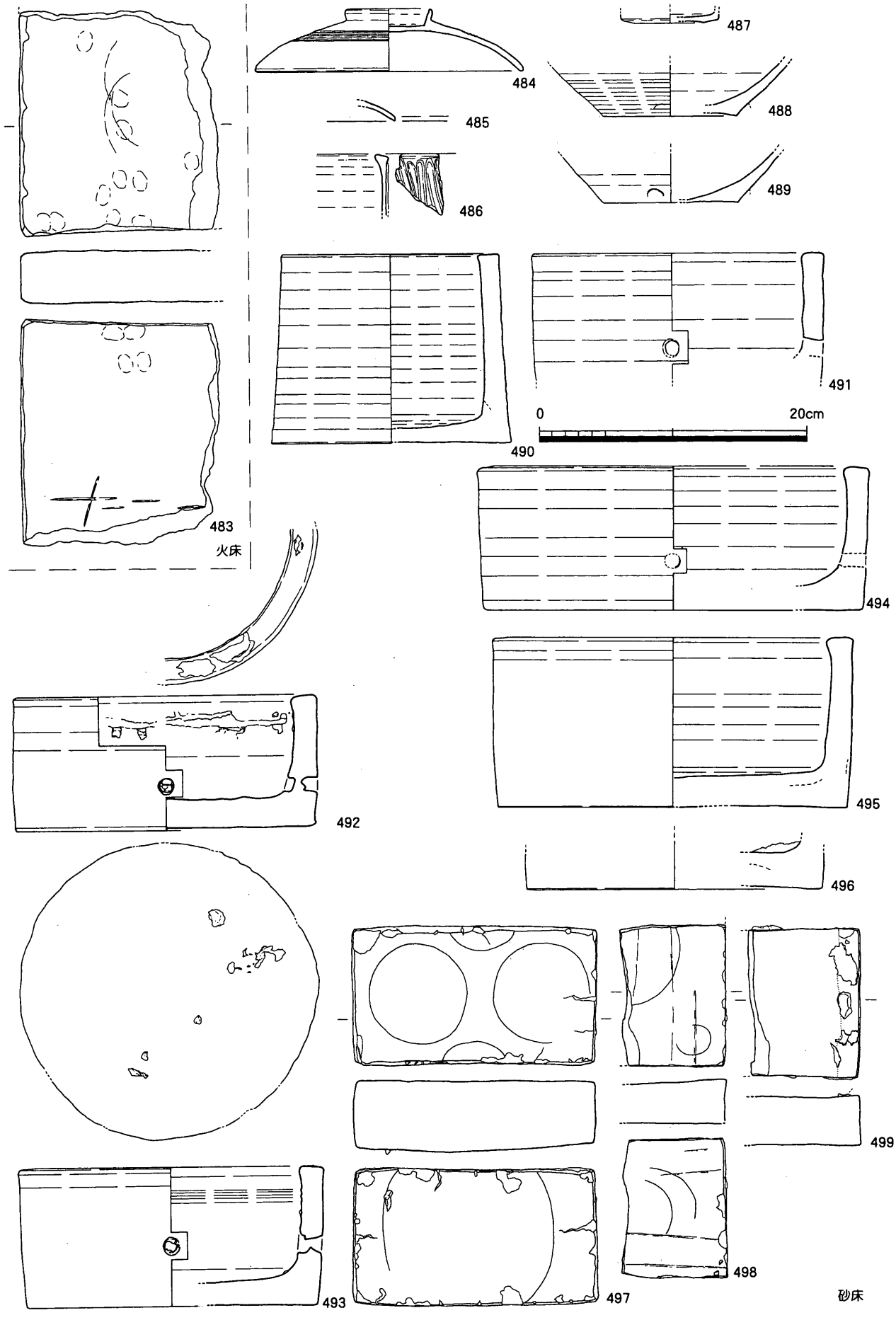
第77図　Ⅳ区ＳＦ01　４室出土遺物７（1/4）



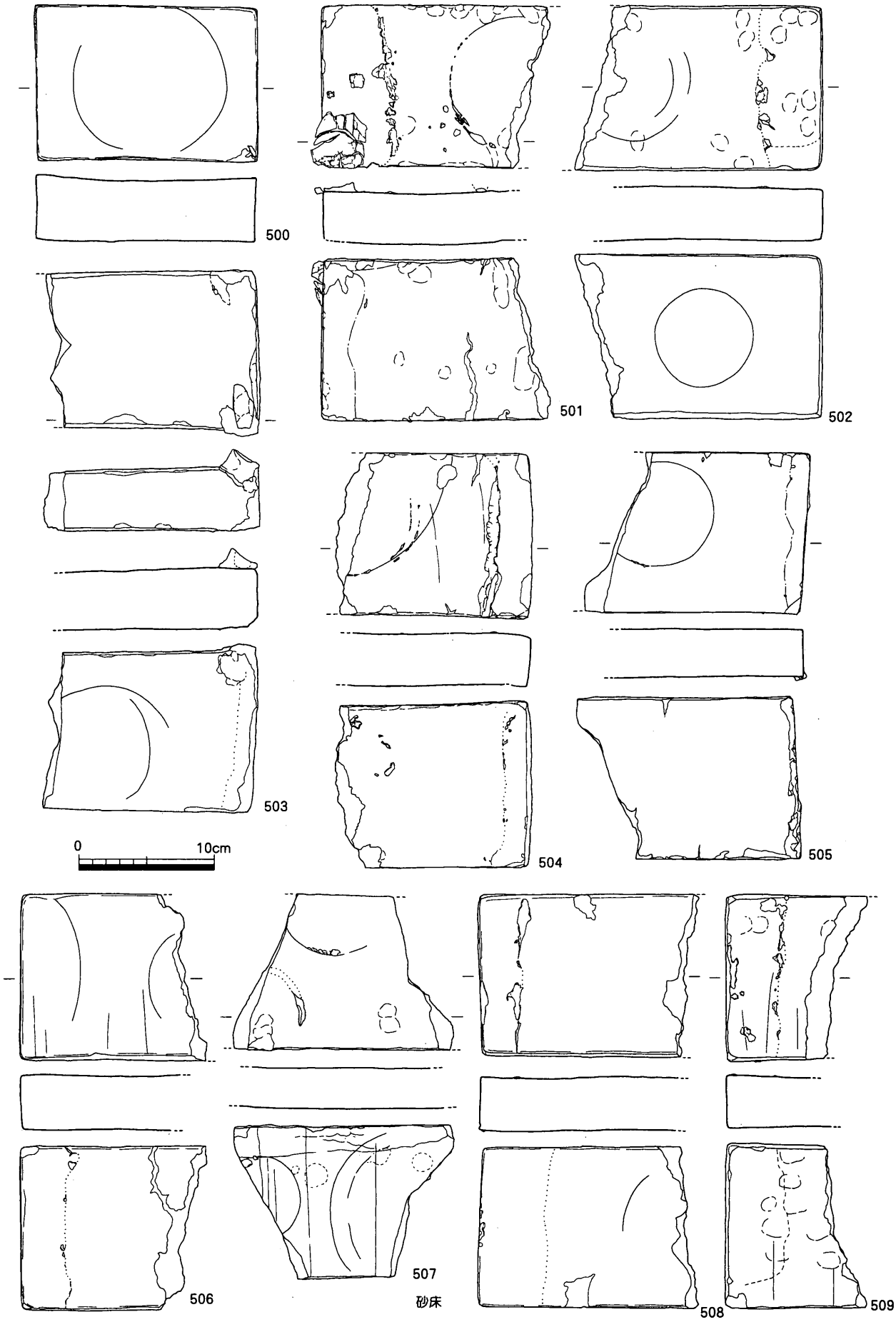
第78図　Ⅳ区ＳＦ01　4室出土遺物8，5室出土遺物1（1/4）



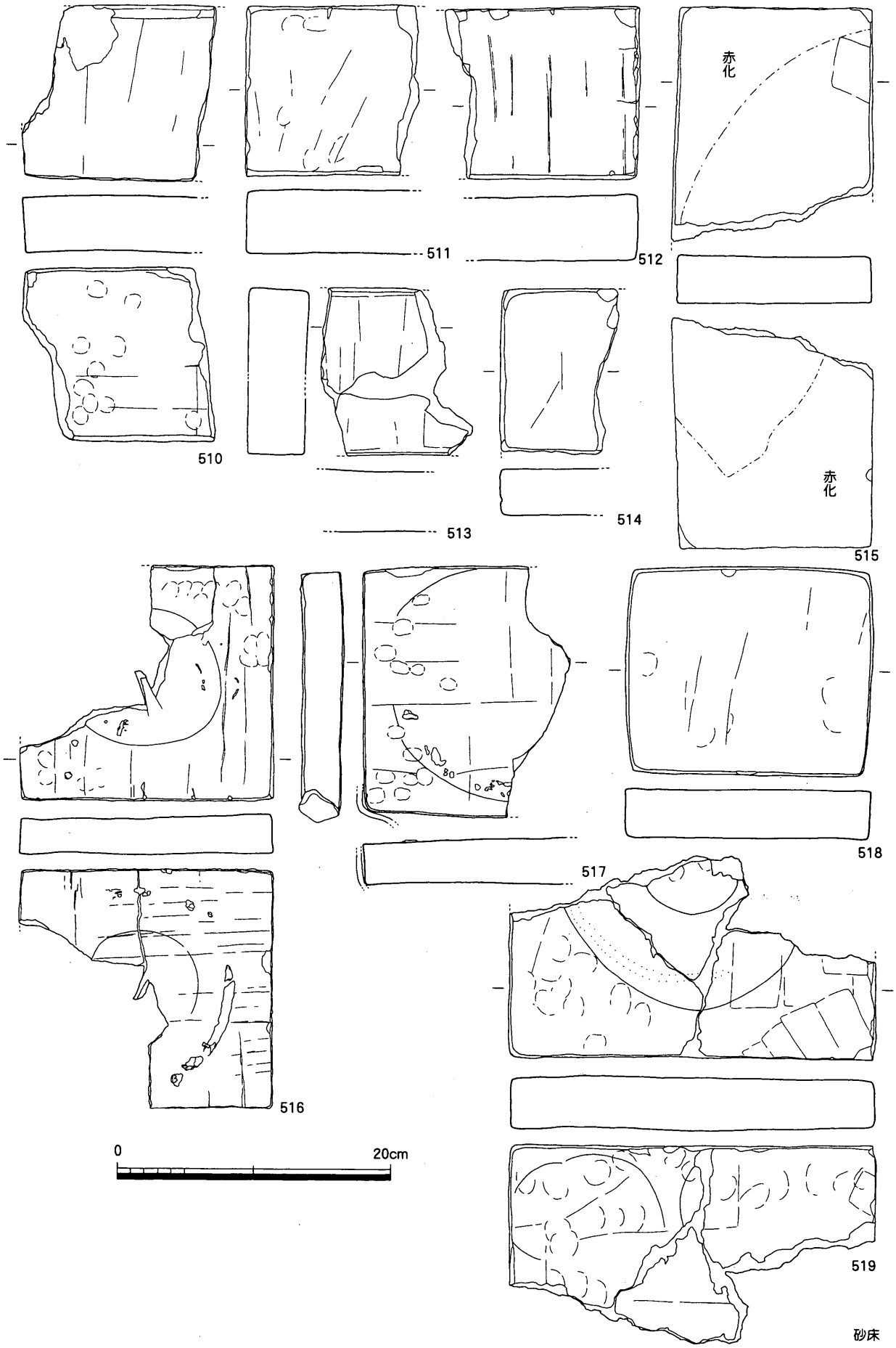
第79図　Ⅳ区ＳＦ01　5室出土遺物2（1/4）



第80図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物３（1/4）

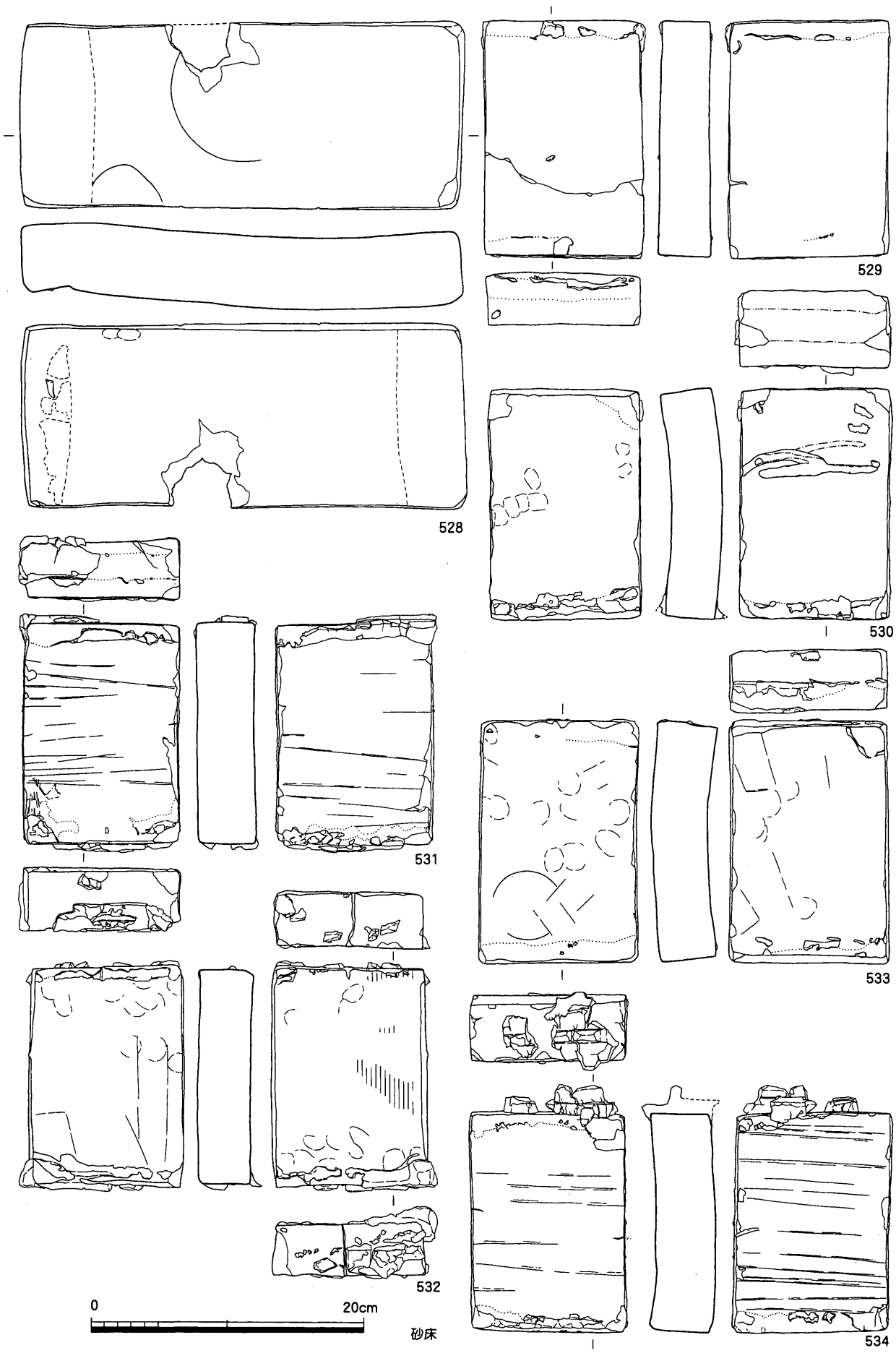


第81図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物４（1/4）

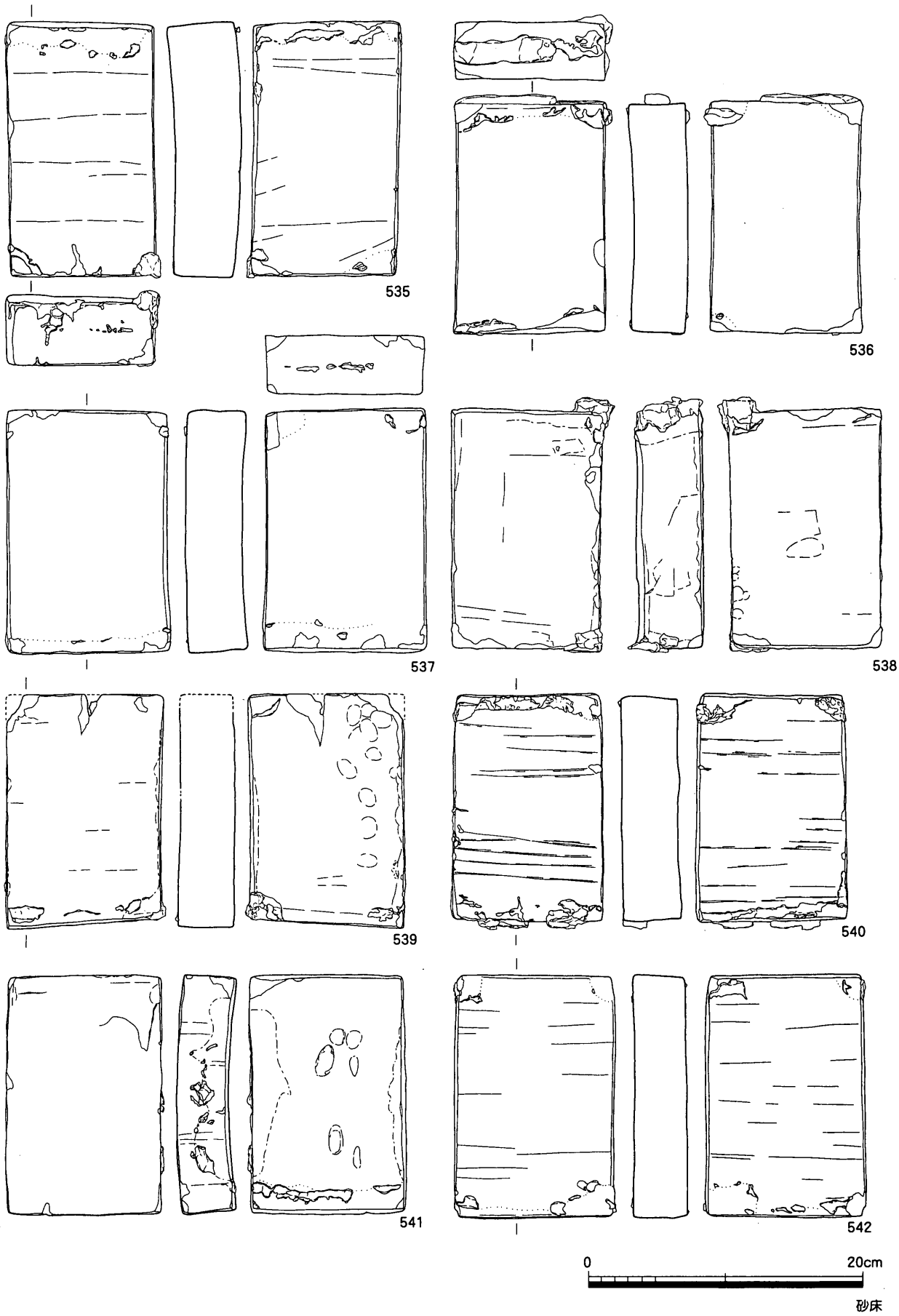


第82図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物５（1/4）

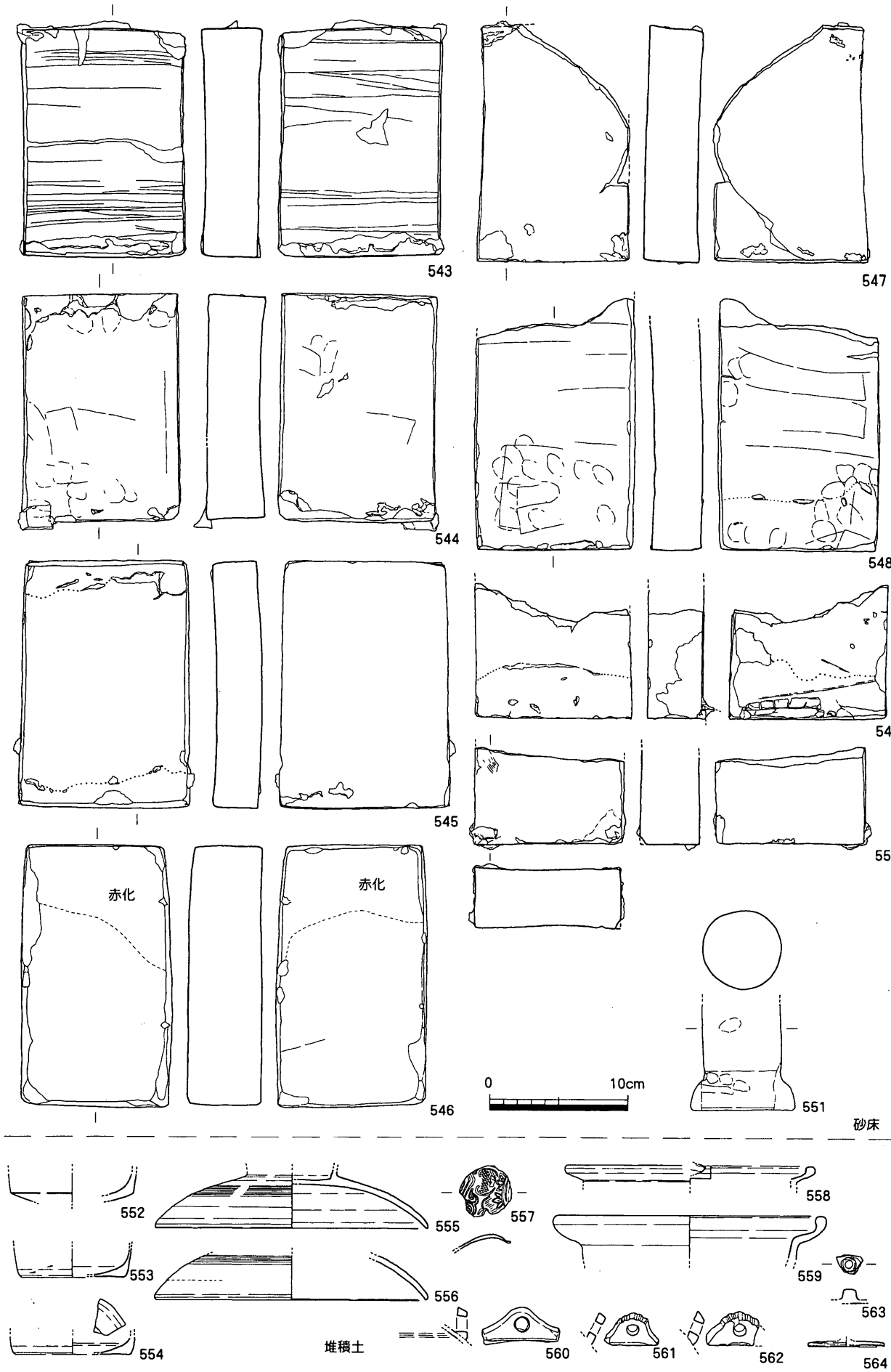
第83図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物６（1/4）



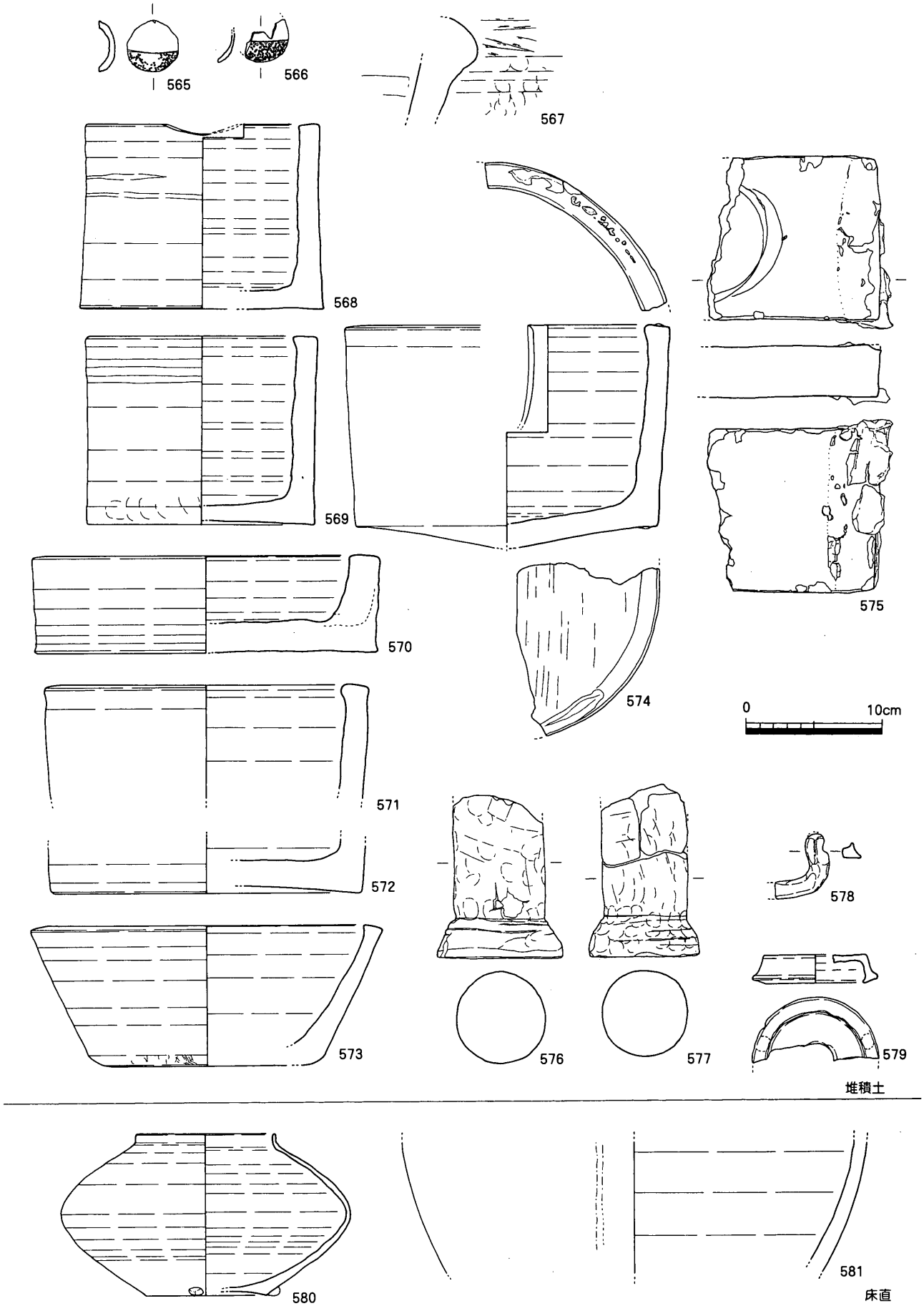
第84図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物７（1/4）



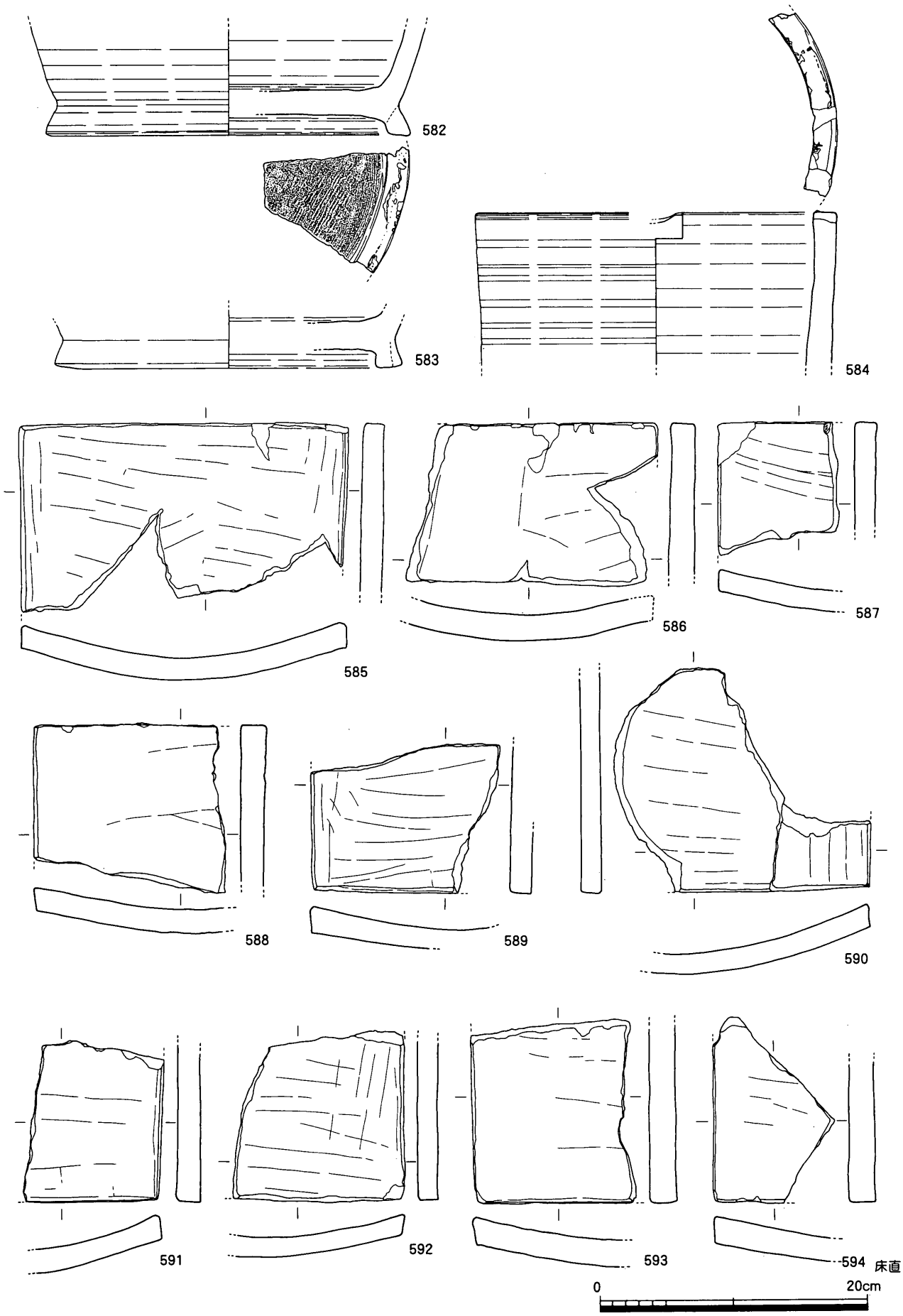
第85図　Ⅳ区ＳＦ01　5室出土遺物8（1/4）



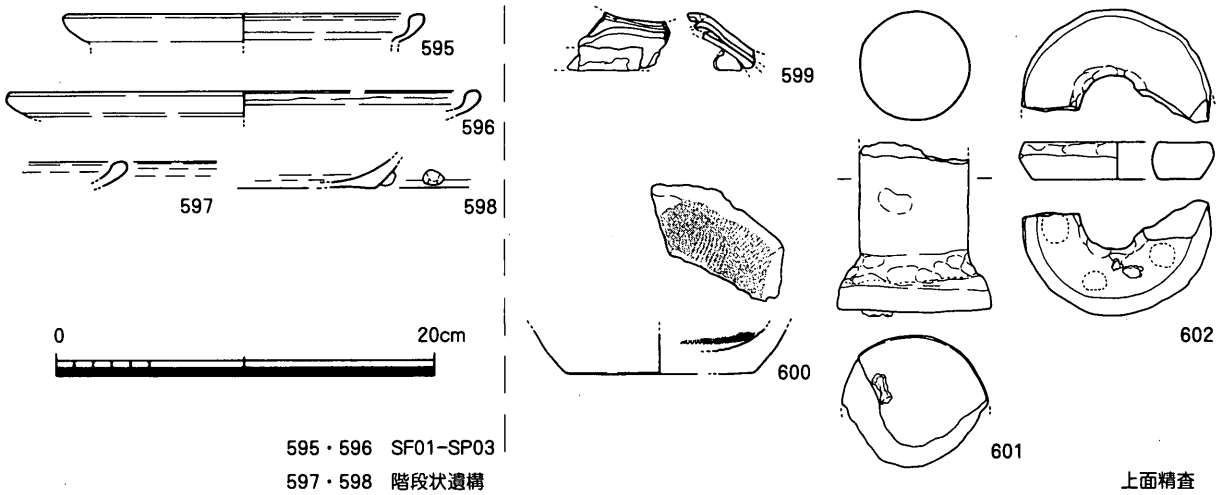
第86図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物９（1/4）



第87図　Ⅳ区ＳＦ01　５室出土遺物１０，煙出し出土遺物１（1/4）



第88図　Ⅳ区ＳＦ01 煙出し出土遺物２（1/4）



第89図 Ⅳ区ＳＦ01 関連遺構，上面精査出土遺物（1/4）

階段状遺構（第54図）

1室東側壁に接する位置で検出した石列を伴う遺構である。遺構北端には9点の礫からなる礫群があり、砂岩、花崗岩からなる。このうち礫Ａ～Ｃはどれも25㎝×15㎝×10㎝と同程度の大きさであり、直方体に近く、上面は平坦である。礫Ａ～Ｃ付近は以下のような状況を示す。①Ａ～Ｃは相互に接し、上面レベルを揃えて配置され、南側に接する遺構面とともに平坦面をなす。②この平坦面は第1室床面とほぼ同レベルであり、Ａ～Ｃの北側は一段低い。③Ａ～Ｃの北端は直線的であり、これは燃焼室奥壁の東西ラインと平行する。この3点から平坦面の性格は第1室に伴う階段であり、礫Ａ～Ｃは階段の破損防止を意図したと考える。

なお礫Ｅ～Ｇは亜角・円礫であり、整った形状ではない。このうち礫Ｇは窯体構築粘土内に埋まっており、これに隣接する礫Ｅ、Ｆとはレベル差があり、平坦面も形成しない。また礫Ｆの直下には図化していないが、重ねられた2石もある。下面に汚れた土が付着し、二次的な移動を受けた礫Ｄを除いても礫Ｆを中心として5石が上下に集中する状況は窯体維持のための根固めの可能性も示す。だが他の部分で複数の礫が窯体に接して出土した箇所はないため階段状遺構の一部と考えておきたい。

一段分の規模については東側で南西に切れ込むように平坦面が減少し、南側では撹乱に破壊されるため正確にはわからないが、南北（奥行き）1.8ｍ以上、東西（幅）0.8ｍ以上、高さ20㎝を測る。同様な例として畑ノ原窯跡（長崎県波佐見町。17世紀の階段状連房式登窯。）で奥行き2.3ｍ、幅3ｍ、高さ20㎝の階段状遺構がある。

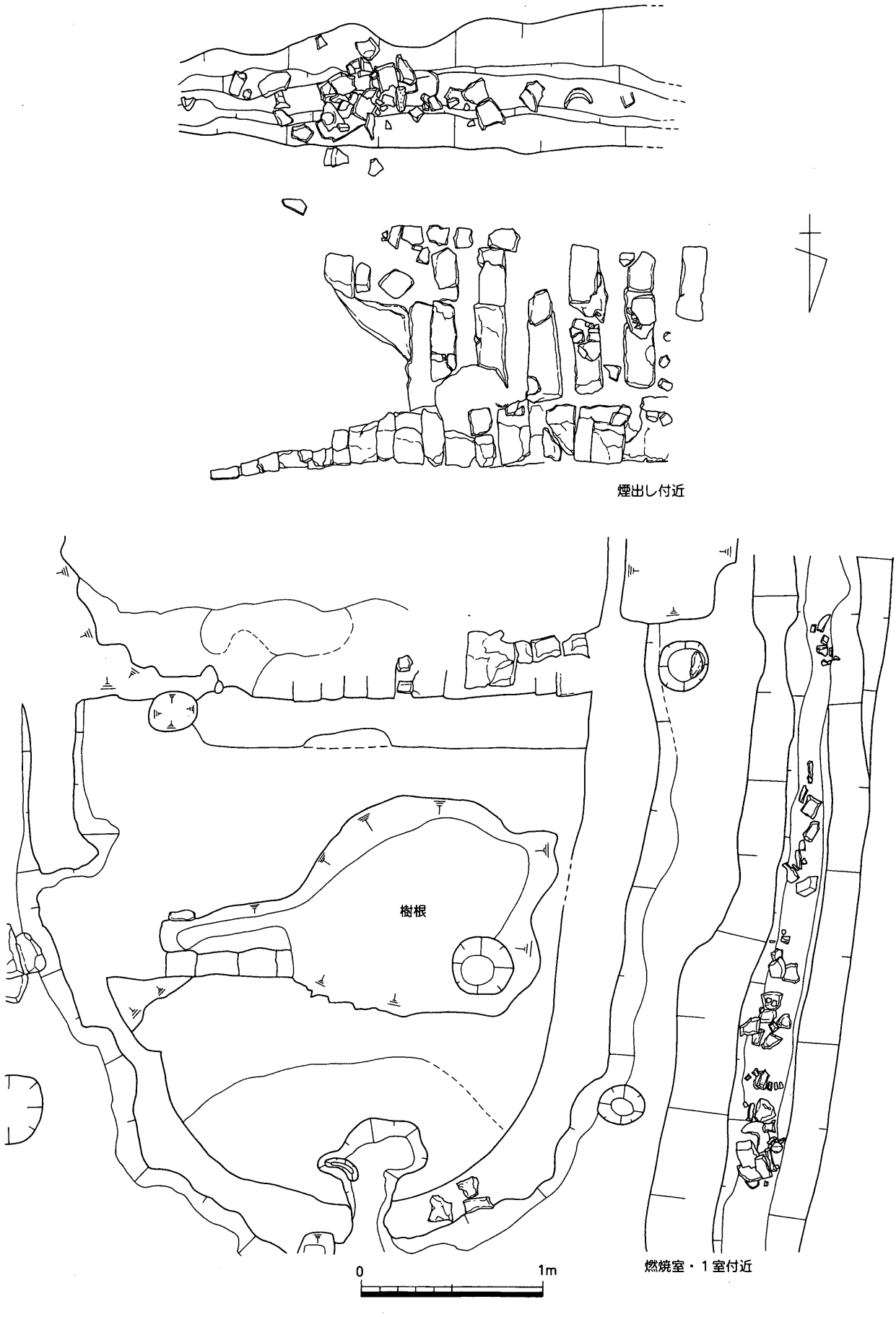
構築はまず地山をカットし、平坦部と段差を設ける。次に平坦部へ粘土を貼り、段境にも粘土を貼りながら礫の面を揃えて埋め込む。このように礫付近の粘土は間に詰め、礫を固定すると同時に上面を平坦に調整する役割を果たしている。なお窯体東側の破損により1室に伴う部分しか検出できなかったが、製品の出し入れという機能を考えれば本来は5室の隣まで存在したと考えられる。

出土遺物には鍋（597、598）がある。構築粘土内から出土しているため、操業中に補修や再構築が行われたと考えられる。

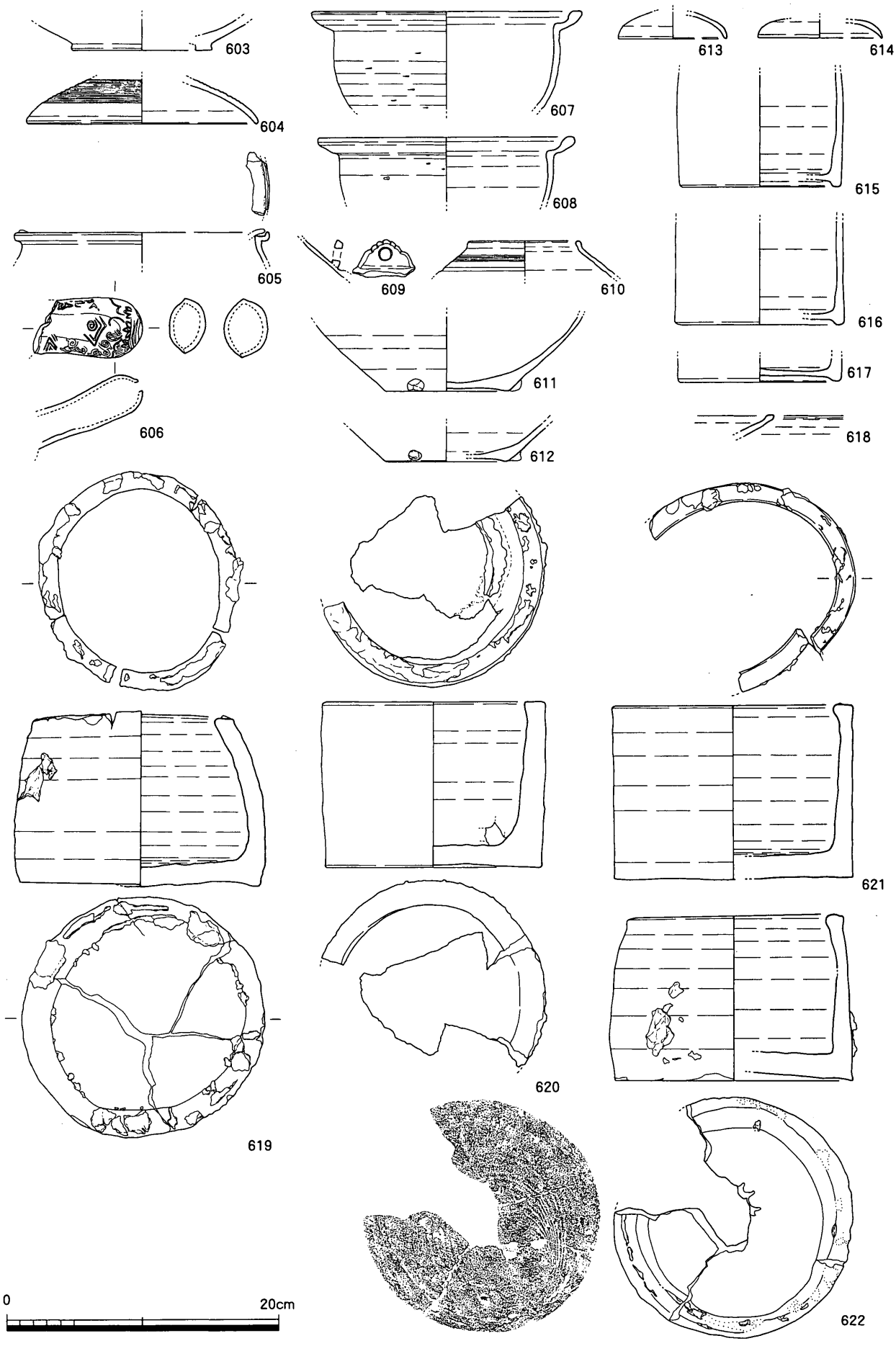
覆い屋 （第54、62、89図）

ＳＦ01西側では、燃焼室～煙出しの側壁に接する位置で6基、東側では燃焼室側壁より30㎝ほど開けて1基の柱穴を検出した。西側柱穴列のうち、4室南西の2基は隣接した位置にあるため建て替えと考えられる。よって規模は4間であり心々距離は2～3.5ｍを測る。構成柱穴は径18～40㎝、深さ12～56㎝を測り、埋土は全て黄褐色系砂質土である。

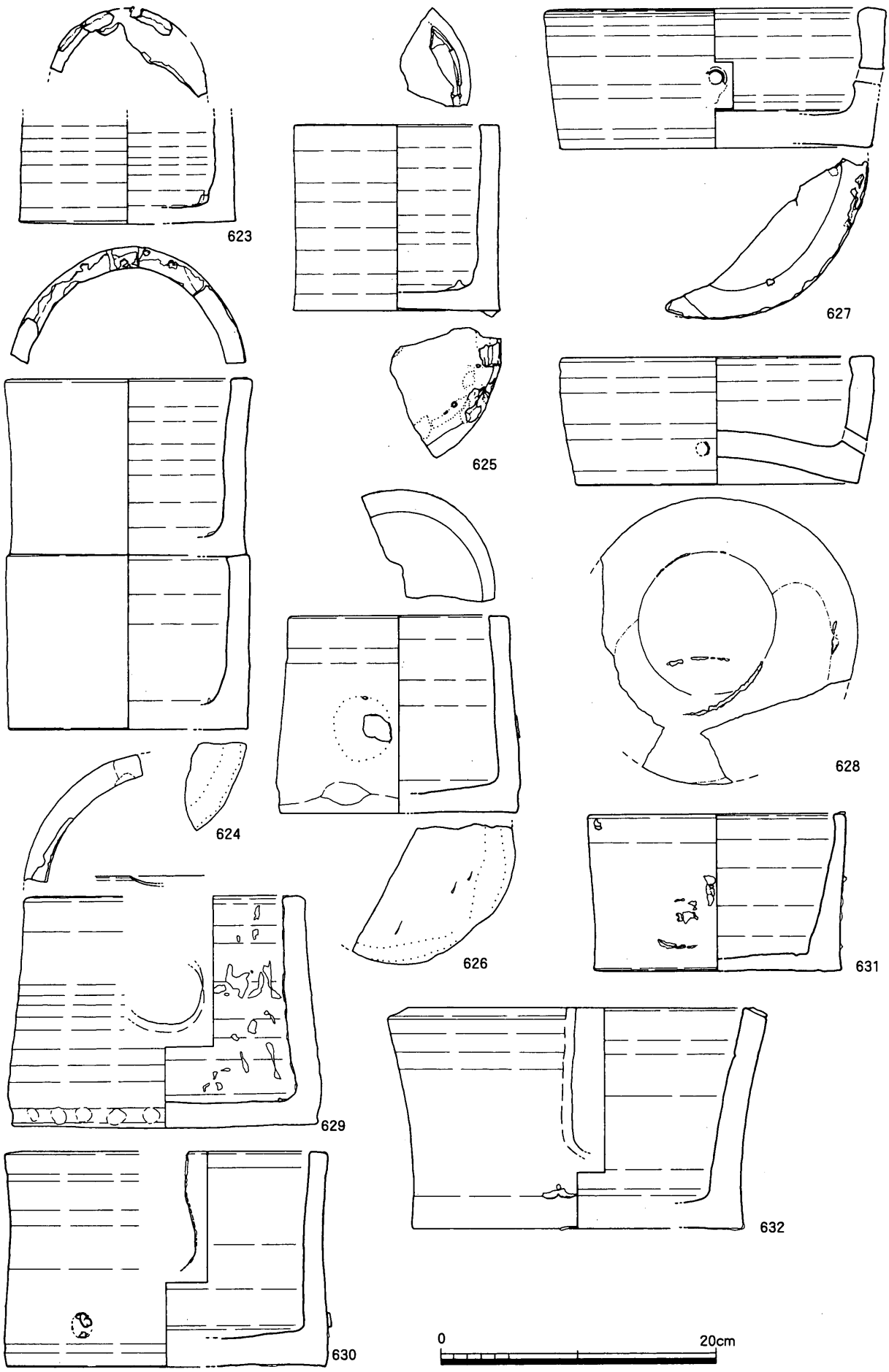
東側の1基は燃焼室を挟んで西側の柱穴と対になる位置で検出した。1基の検出にとどまったのは窯体東側壁付近以東が大きく破損しているためであり、本来の状況は不明である。だが、他遺跡の事例や近世の絵図などから階段の中に窯体に接して配置されたと推定される。



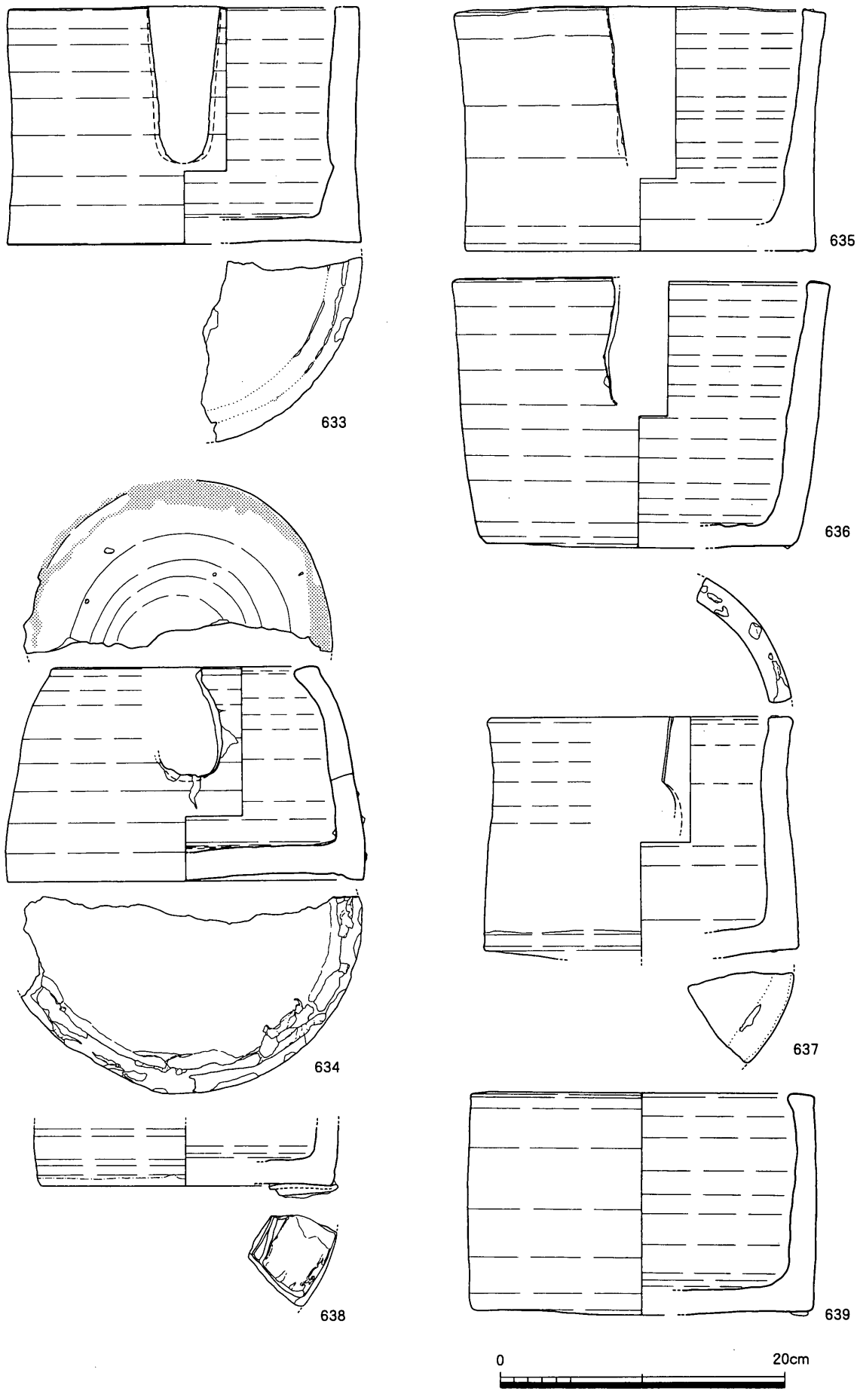
第90図　Ⅳ区ＳＤ01遺物出土状況（1/30）



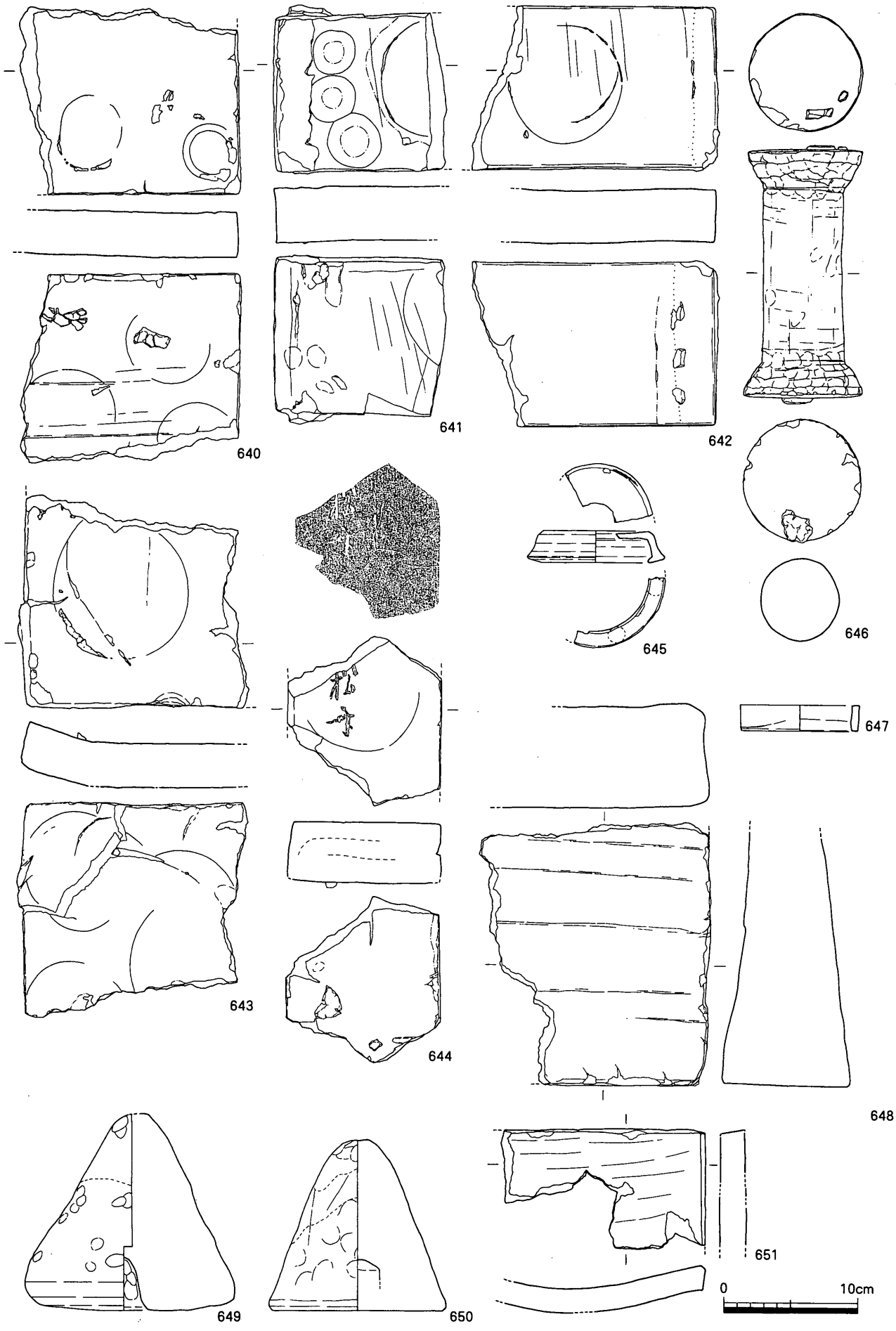
第91図　Ⅳ区ＳＤ01西側出土遺物１（1/4）



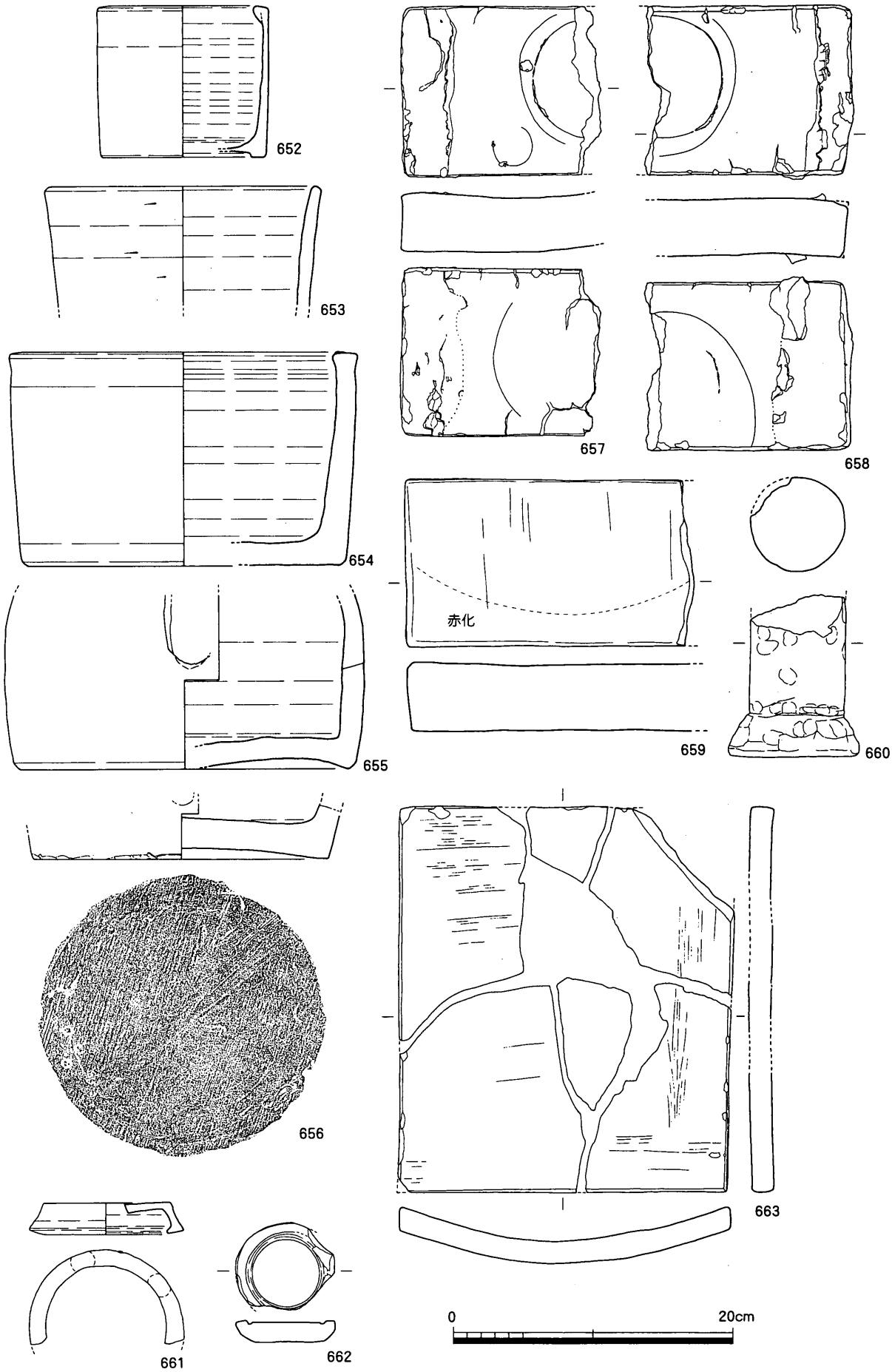
第92図　Ⅳ区ＳＤ01西側出土遺物２（1/4）



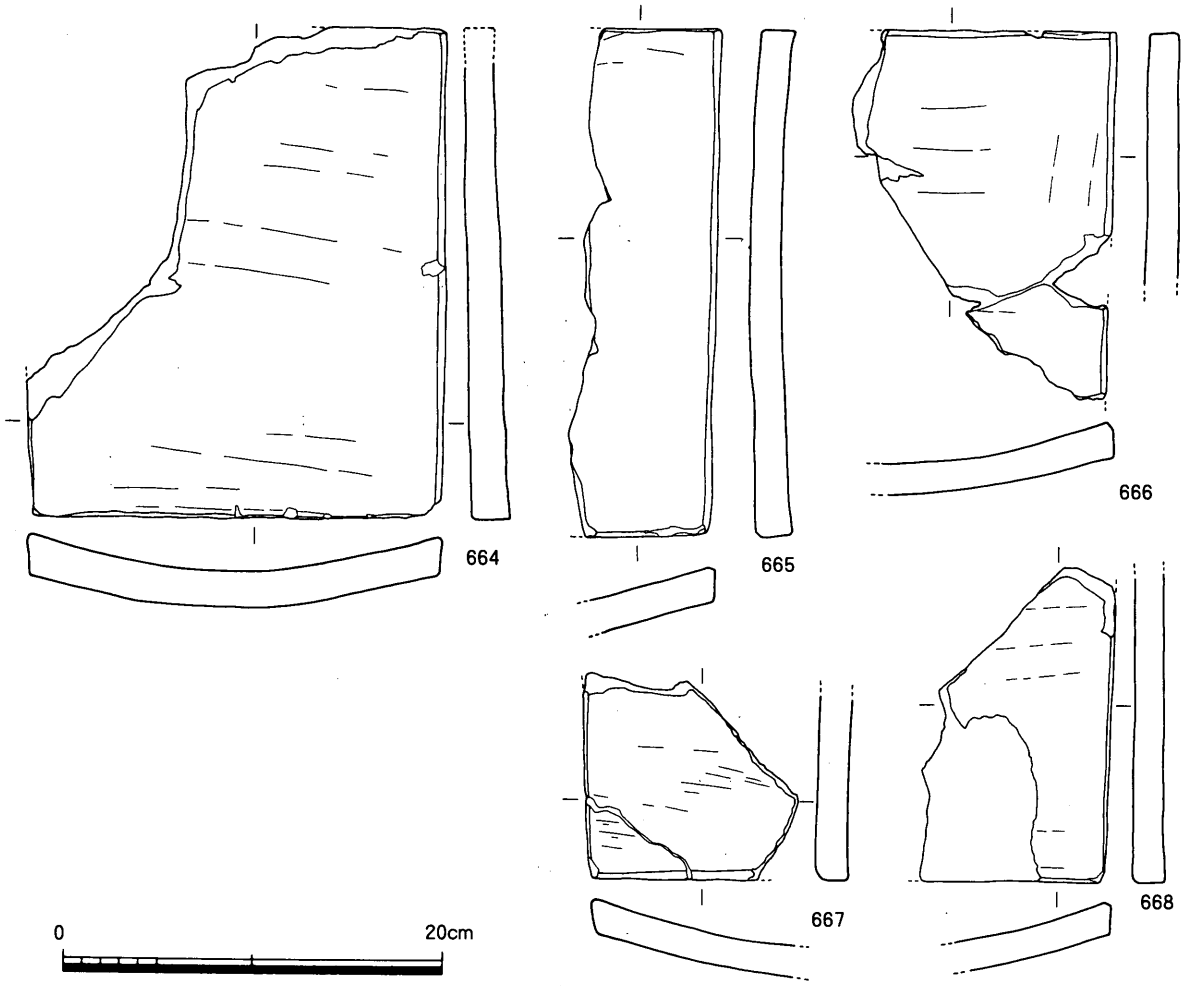
第93図　Ⅳ区ＳＤ01西側出土遺物３（1/4）



第94図　Ⅳ区ＳＤ01西側出土遺物４（1/4）



第95図　Ⅳ区ＳＤ01南側出土遺物１（1/4）



第96図　Ⅳ区ＳＤ01南側出土遺物２（1/4）

なおＳＦ01第２室西側での断ち割りで覆い屋の柱穴を検出したが、土層観察で柱穴が側壁に接する状況が見てとれる（第55図）。このため側壁、覆い屋構築の前後関係は判断できない。だが窯体構築時には防水などを目的として覆い屋が先行して形成された可能性が高い。ただ第２室面側壁は柱穴と接するので覆い屋の柱を柱穴に据えると同時に柱穴周囲だけを側壁粘土で固定して覆い屋を構築したと考えられる。そして引き続き残る側壁を形成したのであろう。

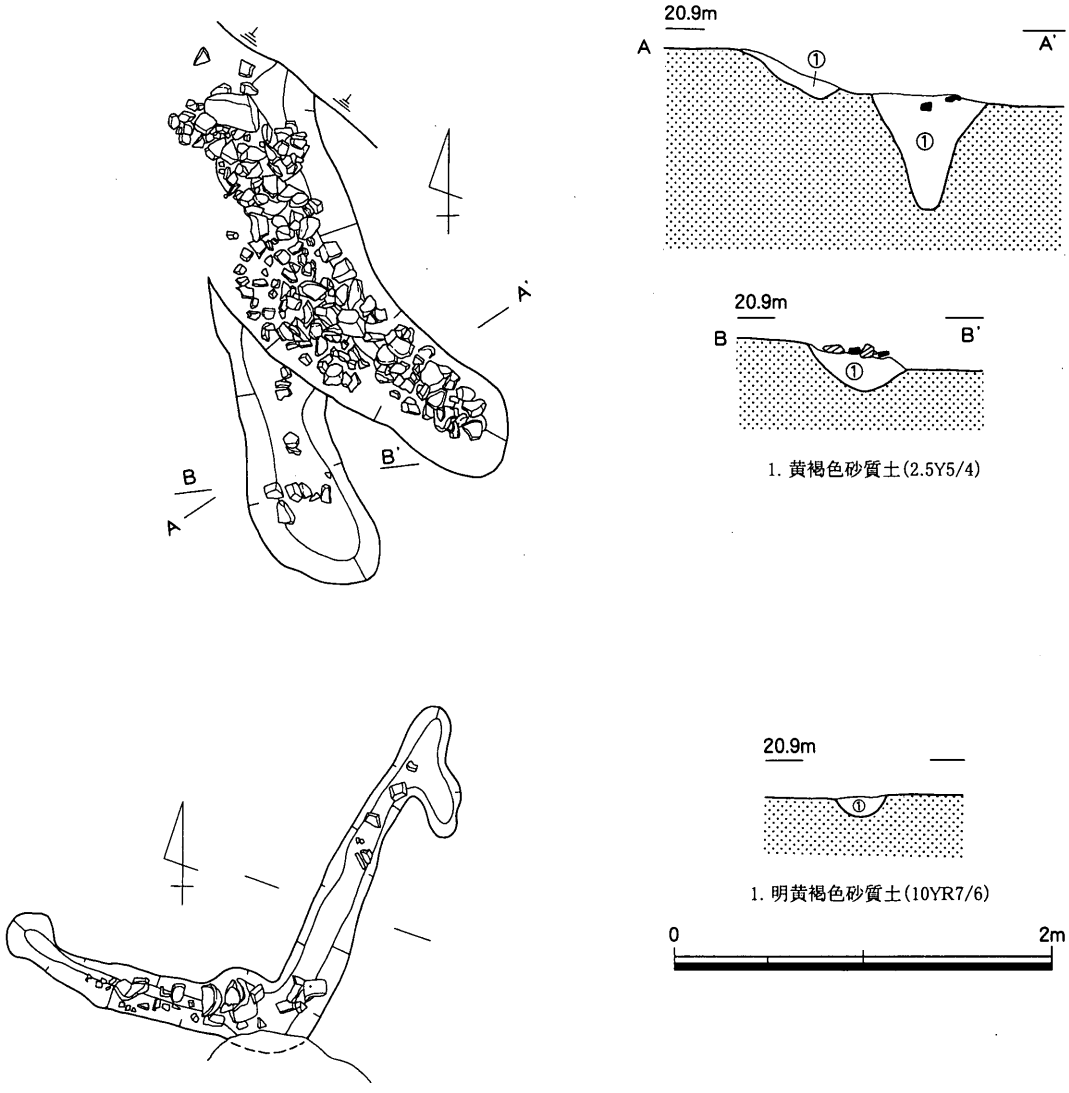
出土遺物にはＳＰ03で鍋（595、596）がある。建て替えに伴う柱穴は検出されなかったため廃絶後に混入したと考えられる。

溝

ＳＤ01（第54、55、90～96図）

調査区中央で検出した溝である。ＳＦ01の南、西側をＬ字形に取り囲む。南東端はＳＦ01東側と同様に失われ、北西端は撹乱により破壊される。断面形は２段掘りとなっている部分が多い。段は掘り込み面から15～20㎝下位で屈曲し平坦気味のテラス部分が見られる。これは溝の左右でほぼ同レベルとなり、幅10～20㎝を測る。幅は上面が52㎝～1.02ｍ、段の下部が25～50㎝、深さ40～75㎝を測る。深さは掘り込み面の起伏により数値の幅が生じている。このため底面に大きな起伏はなく、溝の高低は南側では西へ、西側では北へ下る。埋土は下位でも粘質土ないし粘性が強い砂質土であり、流水による砂の堆積は見られない。これは西側で勾配がきついことを反映していると見られる。

遺物は陶器、窯道具などが西側、南側の２ヶ所でまとまって出土した。西側は燃焼室、１室に隣接する位置でいずれも底からやや浮いている。南側は東寄りの部分でほとんどが上層から出土した。ここでは平瓦も含んでいる。煙出しに近接する位置なのでこれを閉塞したものが流入したと考えられる。



第97図　Ⅳ区ＳＤ03，ＳＤ04平・断面図（1/40）

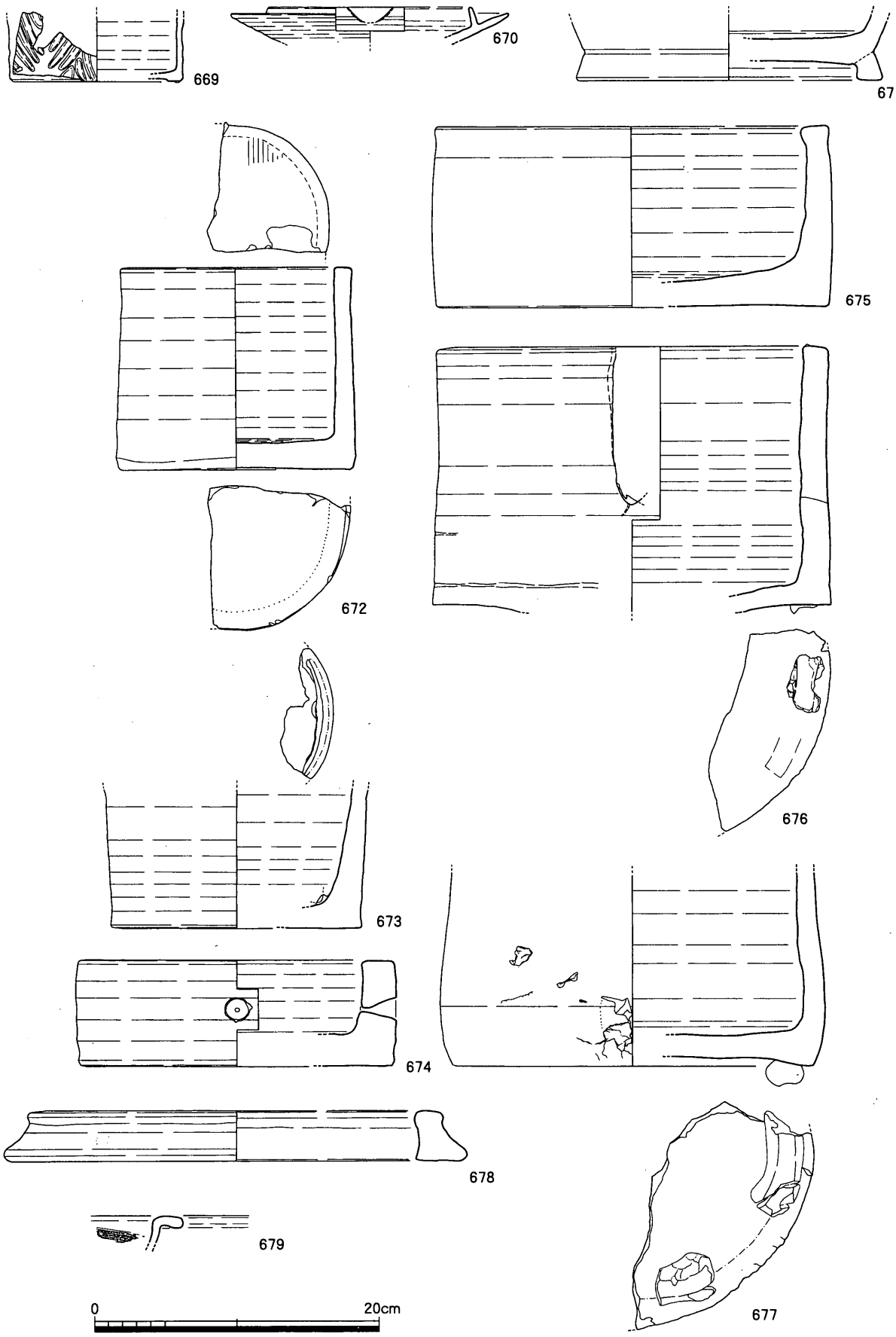
出土遺物は西側と南側で別々のまとまりがあるため区分して呈示する。西側では鉢(603)、鍋蓋(604)、行平鍋(605. 606)、鍋（607. 608)、土瓶（609～612)、軟質施釉陶器蓋（613. 614)、香炉（615～617)、仏花瓶（618)、サヤ鉢(小)(619～626. 631)、サヤ鉢(中)(627. 628)、サヤ鉢(大)(629. 630. 632～637. 639)、敷き板(640～644)、焼き台（645)、トチン（646)、円環状土製品（647)、色見孔塞ぎ（649. 650)、平瓦（651）を図化した。627はサヤ鉢（中）であり素焼き状態にあるが、底部外面縁辺部にサヤ鉢設置痕と見られる赤化が確認できる。628の底部外面には陶器・窯道具痕がある。

南側では香炉（652)、サヤ鉢（大）(654～656)、敷き板（657～659)、トチン（660)、焼き台（661)、型（662)、平瓦（663～668）を図化した。煙出しの閉塞に使用したと見られる平瓦の出土が目立つ。

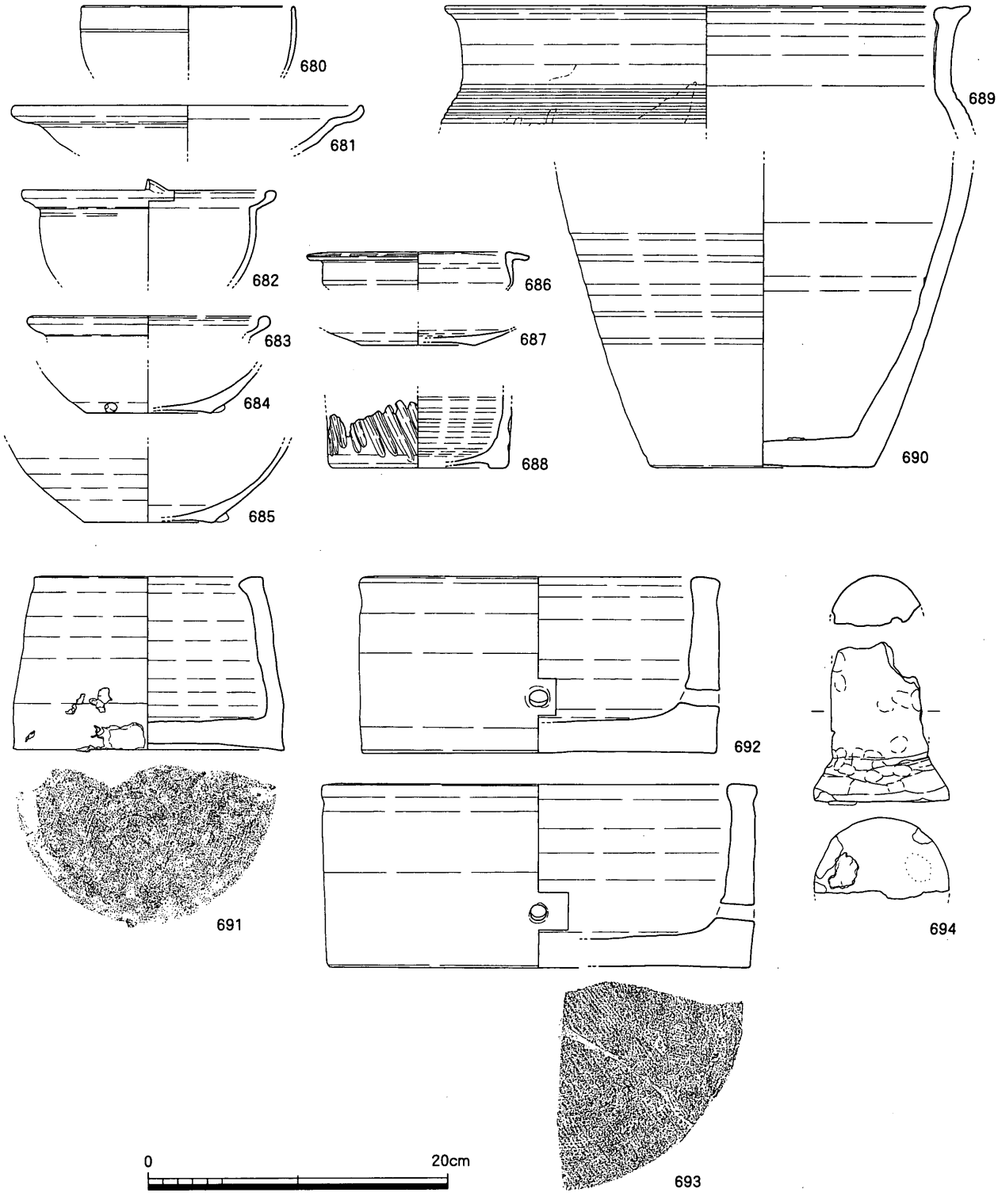
ＳＤ02（第107図）

調査区東部北端で検出した溝である。東側でＳＸ04を切り、南側に隣接してＳＫ06がある。ＳＫ06とは規模(長さ)、主軸方向、埋土が類似するため有機的な関係にあった可能性がある。断面形は南側で直立気味に落ち、北側で緩やかである。幅は24～60㎝を測る。主軸方向はＮ－56°－Ｗである。埋土はグライ化している。出土遺物はない。

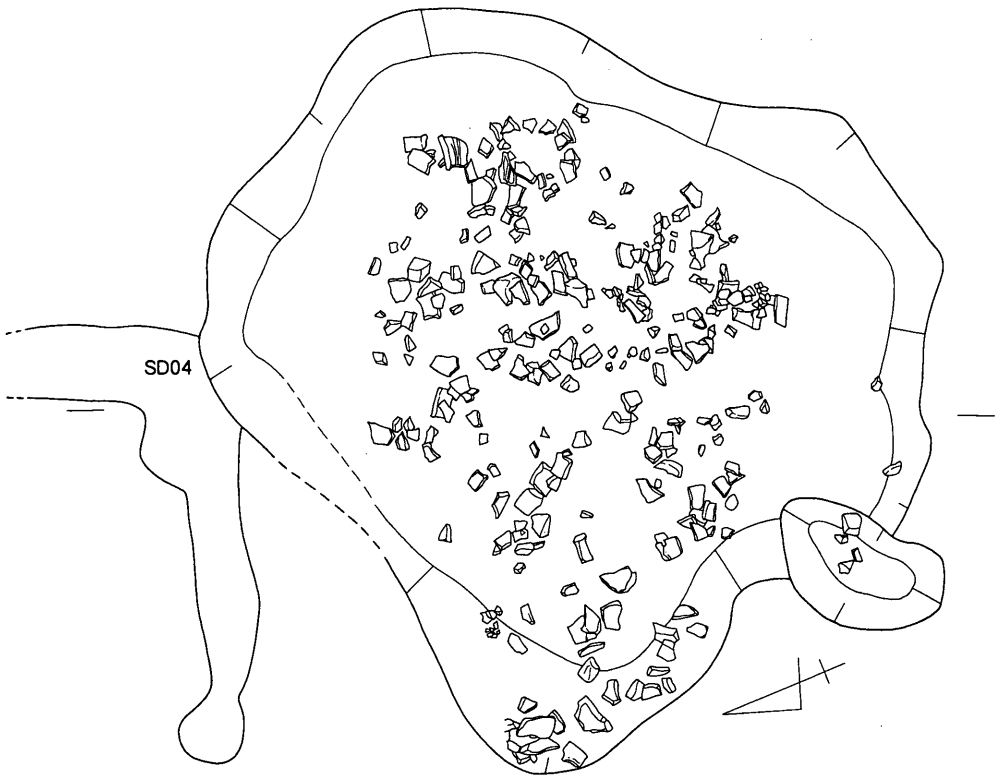
ＳＤ03（第97、98図）

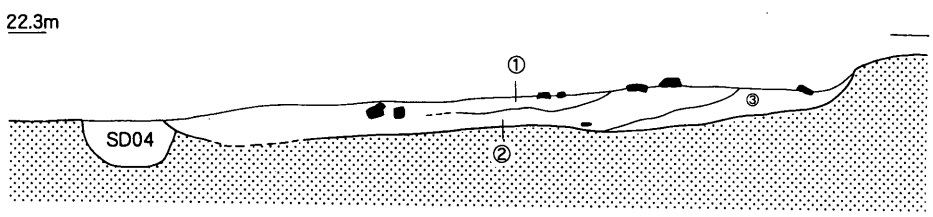


第98図　Ⅳ区ＳＤ03出土遺物（1/4）



第99図　Ⅳ区ＳＤ04出土遺物（1/4）





1. にぶい黄色微砂質土(2.5Y6/3)
陶器・窯道具片を多く含む
2. 明黄褐色粘質土(2.5Y7/6)地山と似る
3. 明黄褐色粘質土(2.5Y6/6)地山と似る

第100図　Ⅳ区ＳＫ01平・断面図（1/30）

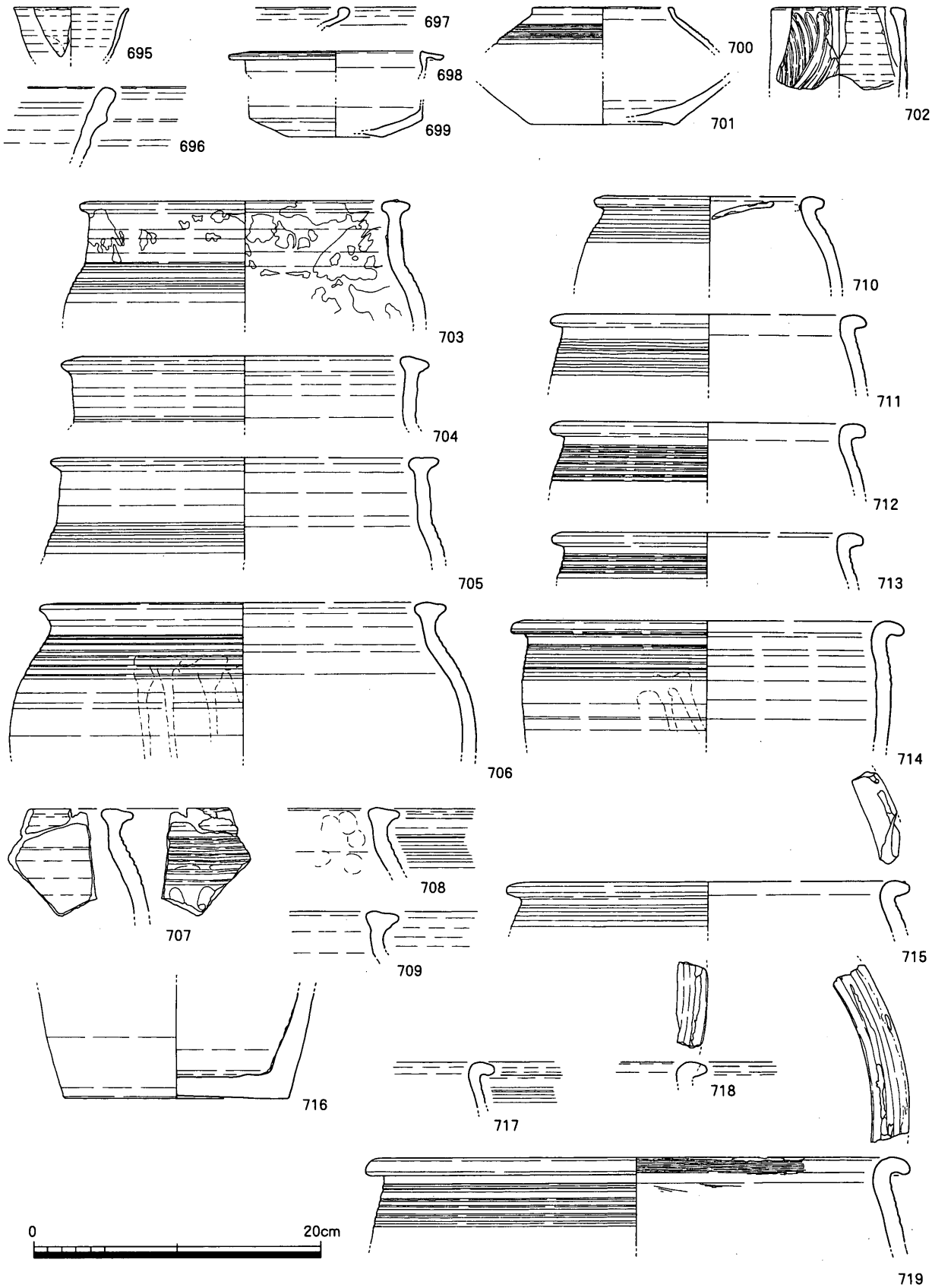
調査区東部北端で検出した溝である。北部は調査区外に延び、削平されている。南部で２又に分かれる。北側溝は断面形が直立気味に落ちる。幅は50～92㎝、深さは中央で60㎝を測る。ただし北端では10㎝と浅くなる。よって底場は中央で最も深く、両端で浅くなる。検出面全体で拳大の礫が多量に見られ、少量の陶器、窯道具も混じる。

南側溝は断面形が浅い皿状を呈する。幅は0.46～0.56ｍ、深さ24㎝を測る。底場は地形の傾斜に沿って北側に下る。北側溝と同様な礫、窯道具が検出面でまばらに出土している。南北溝の対照的な礫の出土状況は北側溝が深いため土で埋め戻した後、礫を投棄し地固めを行った可能性がある。埋土に地山ブロックを含まないため埋め戻しを示す根拠はないが、ＳＤ03付近は傾斜が緩くなっておりＳＦ01焚口付近から平坦部（東）へ移動する際、通路になった可能性があることからこのように見ておきたい。

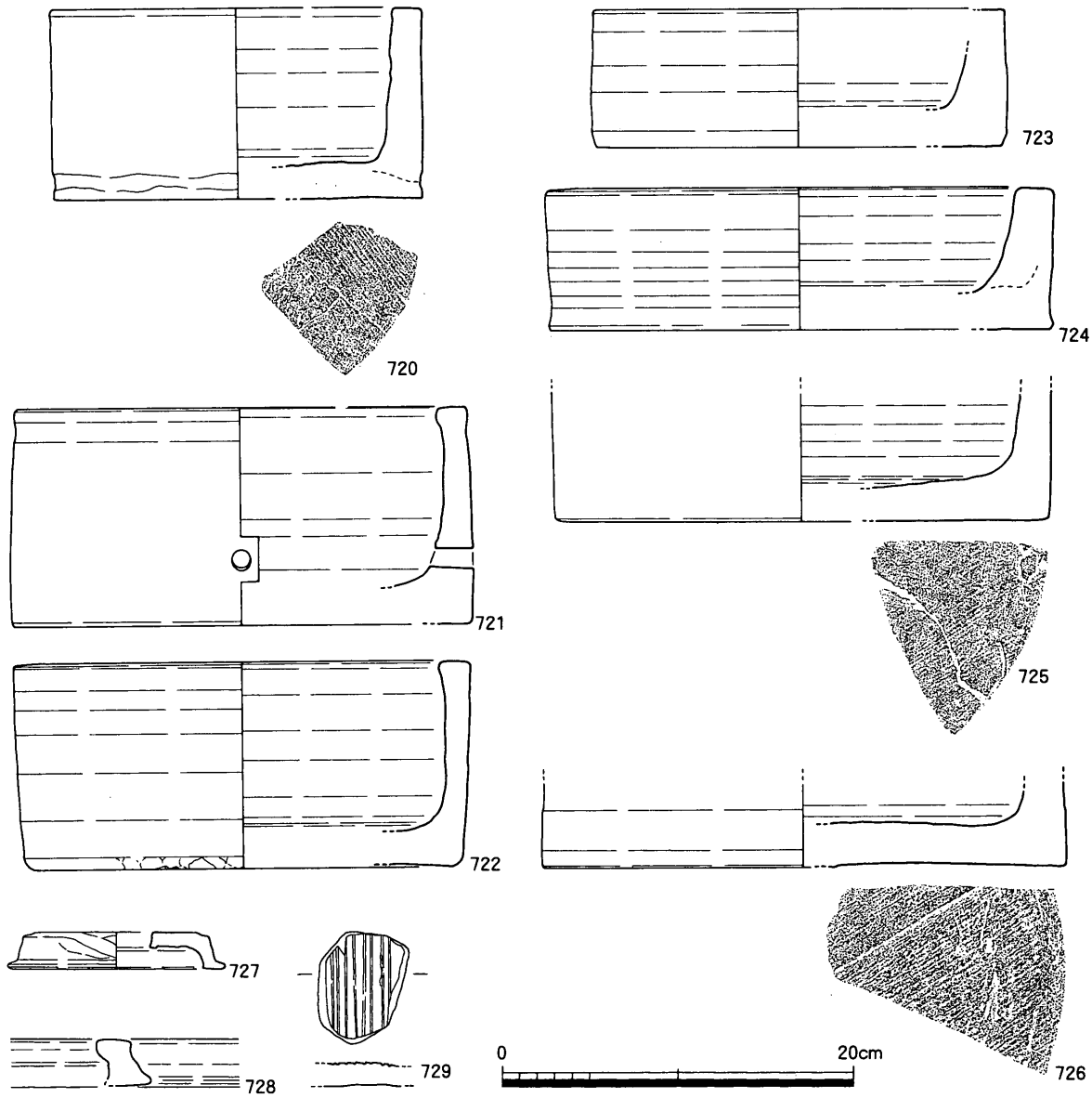
図化した出土遺物には香炉（669）、灯明皿（670）、甕（671）、サヤ鉢（小）（672．673）、サヤ鉢（浅）（674）、サヤ鉢（中）（675）、サヤ鉢（大）（676．677）、焼き台（678）、土師質土器焙烙（679）がある。673のサヤ鉢（小）内面には香炉片が付着する。

ＳＤ04（第97、99図）

調査区東部南端で検出した溝である。平面形はＬ字形を呈し、断面形はＵ字状を呈する。ＳＫ01に屈曲部を切られる。幅は18～38㎝、深さは10㎝を測る。陶器、窯道具、礫が南部でややまとまって出土している。



第101図　Ⅳ区ＳＫ01出土遺物１（1/4）



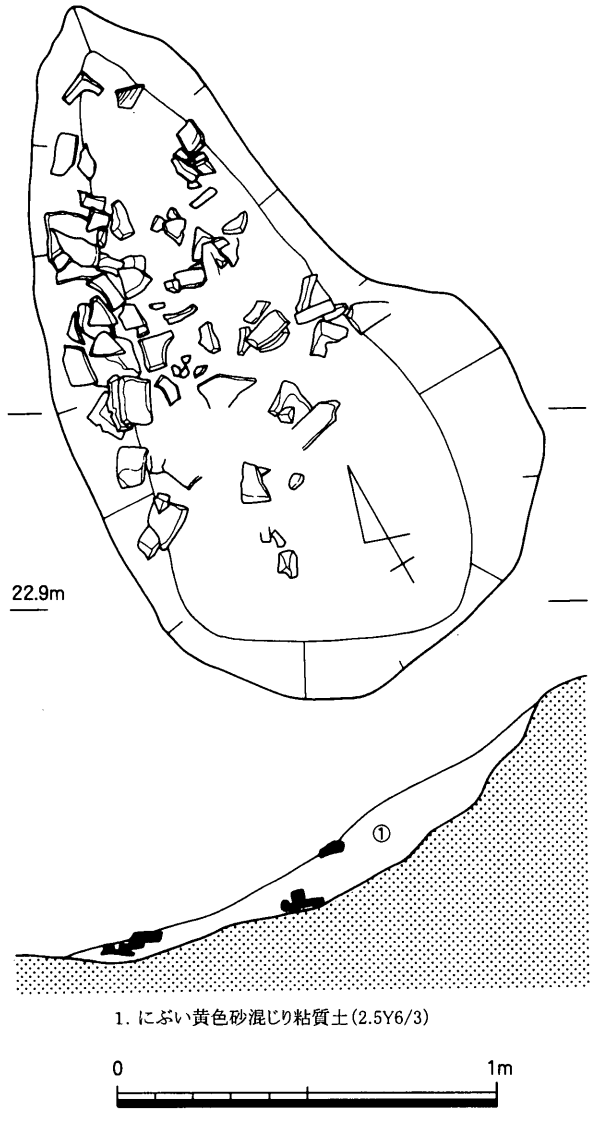
第102図　Ⅳ区ＳＫ01出土遺物２（1/4）

出土遺物は碗（680）、鉢（681）、鍋（682～685）、土瓶蓋（686. 687）、香炉（688）、甕（689. 690）、サヤ鉢（小）（691）、サヤ鉢（中）（692. 693）、トチン（694）がある。

土坑

ＳＫ01（第100～102図）

調査区の東部南端で検出した土坑である。北部でＳ D04を切る。平面形はややいびつな方形であり、断面形は浅い皿状を呈し、北に緩く下る。規模は長径2.88 m、短径2.85 m、深さ22.5 cmを測る。陶器、窯道具、少量の礫が中央部の埋土上位で出土した。出土遺物には碗（695）、鉢（696）、鍋（697）、土瓶蓋（698. 699）、土瓶（700. 701）、香炉（702）、甕（703～719）、サヤ鉢（中）（720～722）、サヤ鉢（浅）（723. 724）、焼き台（727. 728）がある。



第103図　Ⅳ区ＳＫ02平・断面図（1/20）

ＳＫ02（第103、104図）

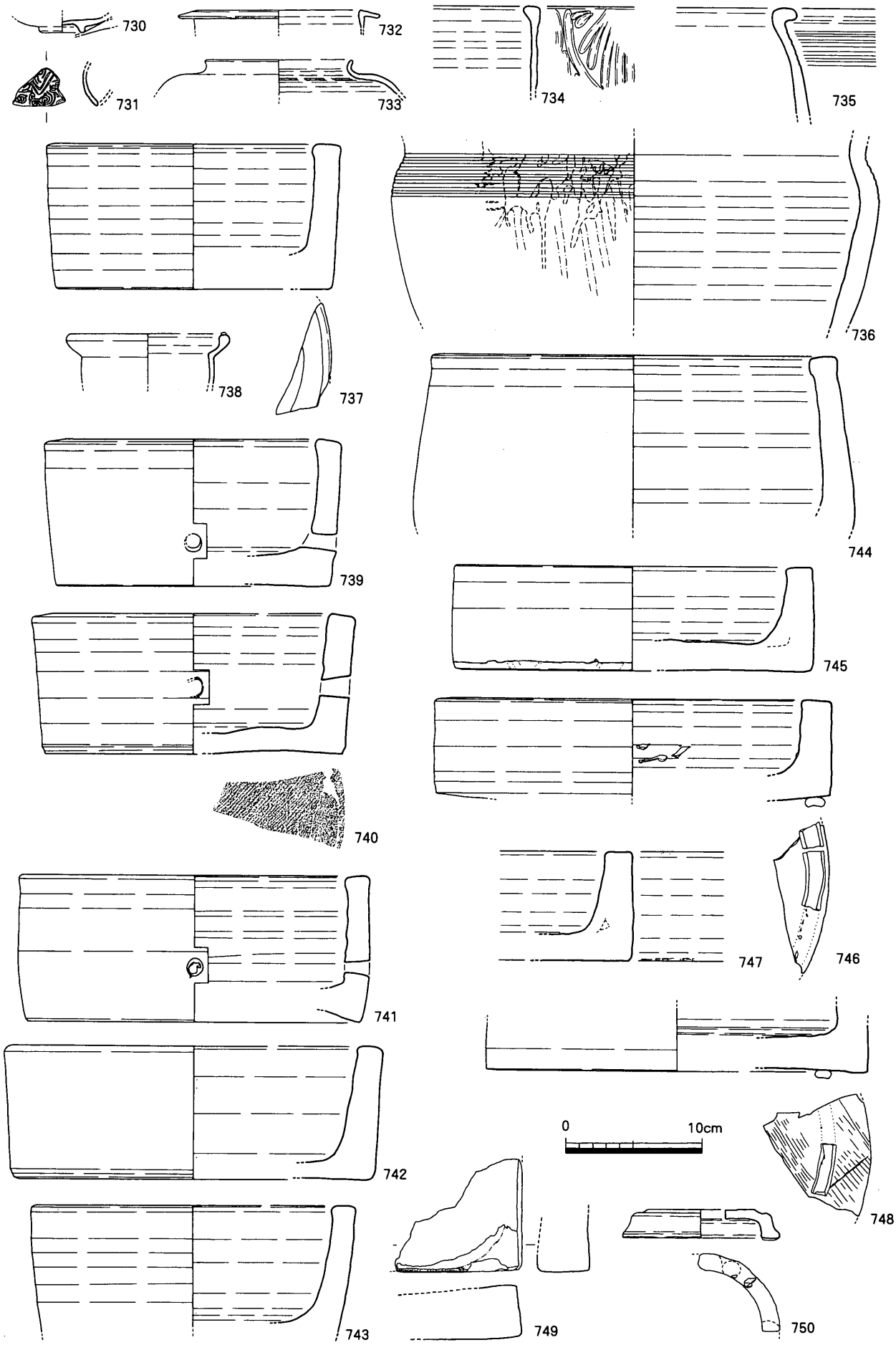
調査区の東部南端で検出した土坑である。平面形は北側で細く尖る楕円形であり、断面形は浅い皿状を呈する。東側では斜面をカットしているため直立気味になっているが、西側では平坦である。規模は長径1.92 m×短径1.12 m、深さ14 cmを測る。陶器、窯道具、少量の礫が西側の平坦部でまとまって出土した。

図化した出土遺物には碗（730）、行平鍋（731）、土瓶蓋（732）、土瓶（733）、香炉（734）、甕（735．736）、鍋（738）、サヤ鉢（中）（737．739～743）、サヤ鉢（大）（744）、サヤ鉢（浅）（745～747）、敷き板（749）、焼き台（750）がある。741はサヤ鉢（中）であるが自然釉が付着し、ガラス化している。このタイプで素焼きでないものはごくわずかである。

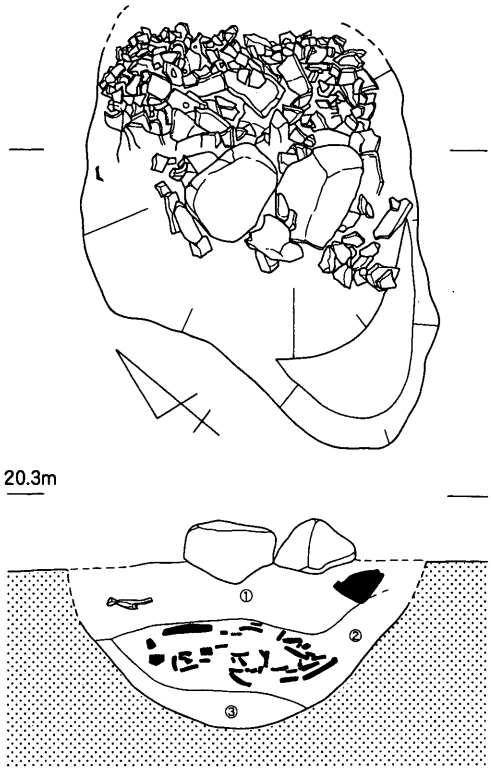
ＳＫ03（第105、108、109図）

調査区の東部東端で検出した土坑である。北部が削平されているが、平面形は西側で膨らむいびつな楕円形と推定される。断面形は浅い皿状を呈する。規模は長径1．1 m以上、短径85 cm、深さ42 cmを測る。中央部上面に30 cm程度の礫が、周囲に施釉された甕や自然釉が付着したサヤ鉢片が置かれている。これらは3層に区分できる埋土の1層から出土している。2層からは少量の窯道具も含むが、28リットル入りコンテナ2箱分もの多量の素焼き陶器片が折り重なって出土した。一括廃棄されたと考えられる。3層からの出土遺物はない。

図化した出土遺物には鉢（751．752）、鍋（753～756）、仏花瓶（757～767）、土瓶（768～774）、甕（775）、

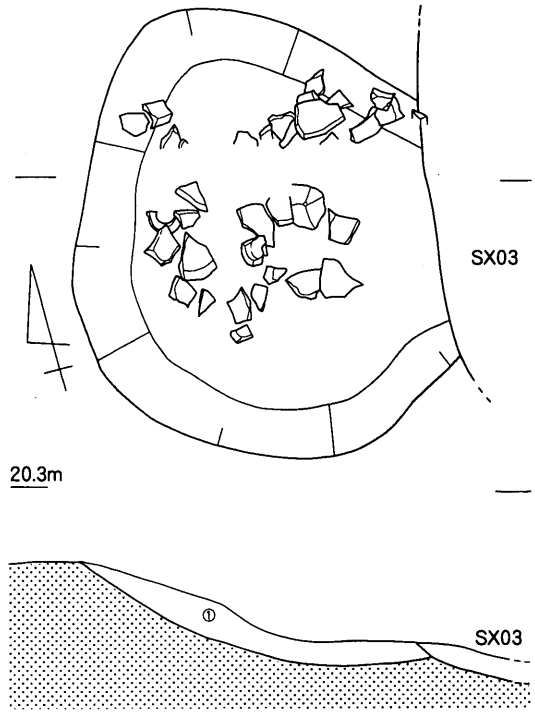


第104図　Ⅳ区ＳＫ02出土遺物（1/4）



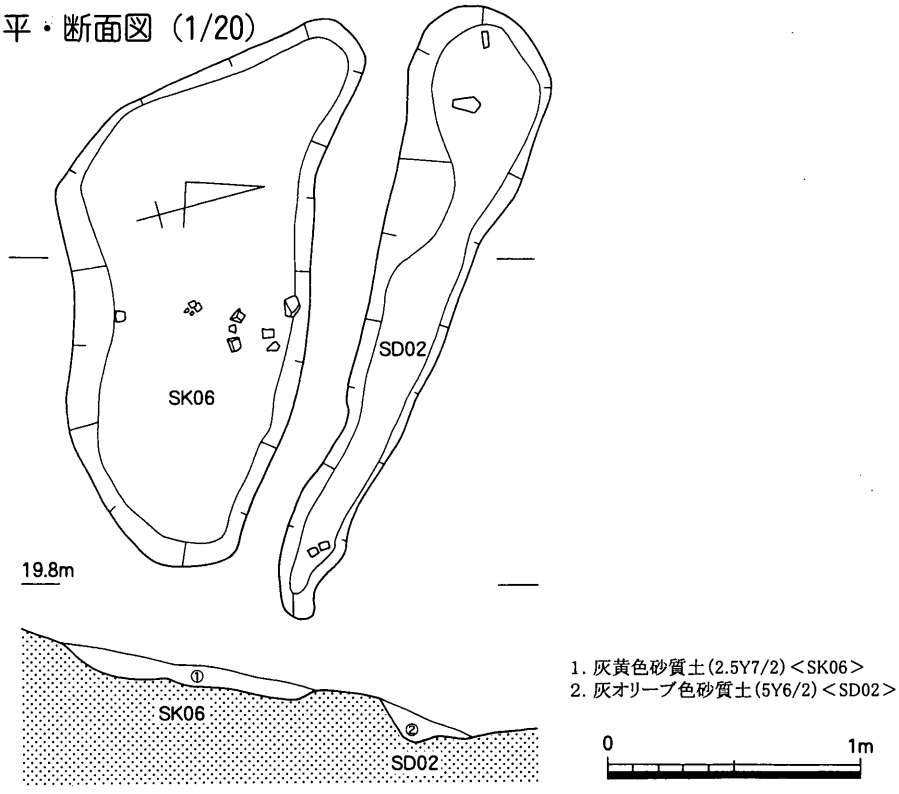
1. にぶい黄色砂利混じり粘質土(2.5Y6/4)
陶器片・窯道具を含む
2. にぶい黄色粘質土(2.5Y6/4) 1よりやや暗い色調を呈する 多量の素焼き陶器片を含む
3. にぶい黄色砂質土(2.5Y6/3)陶器などを含まない

第105図 Ⅳ区ＳＫ03平・断面図（1/20）



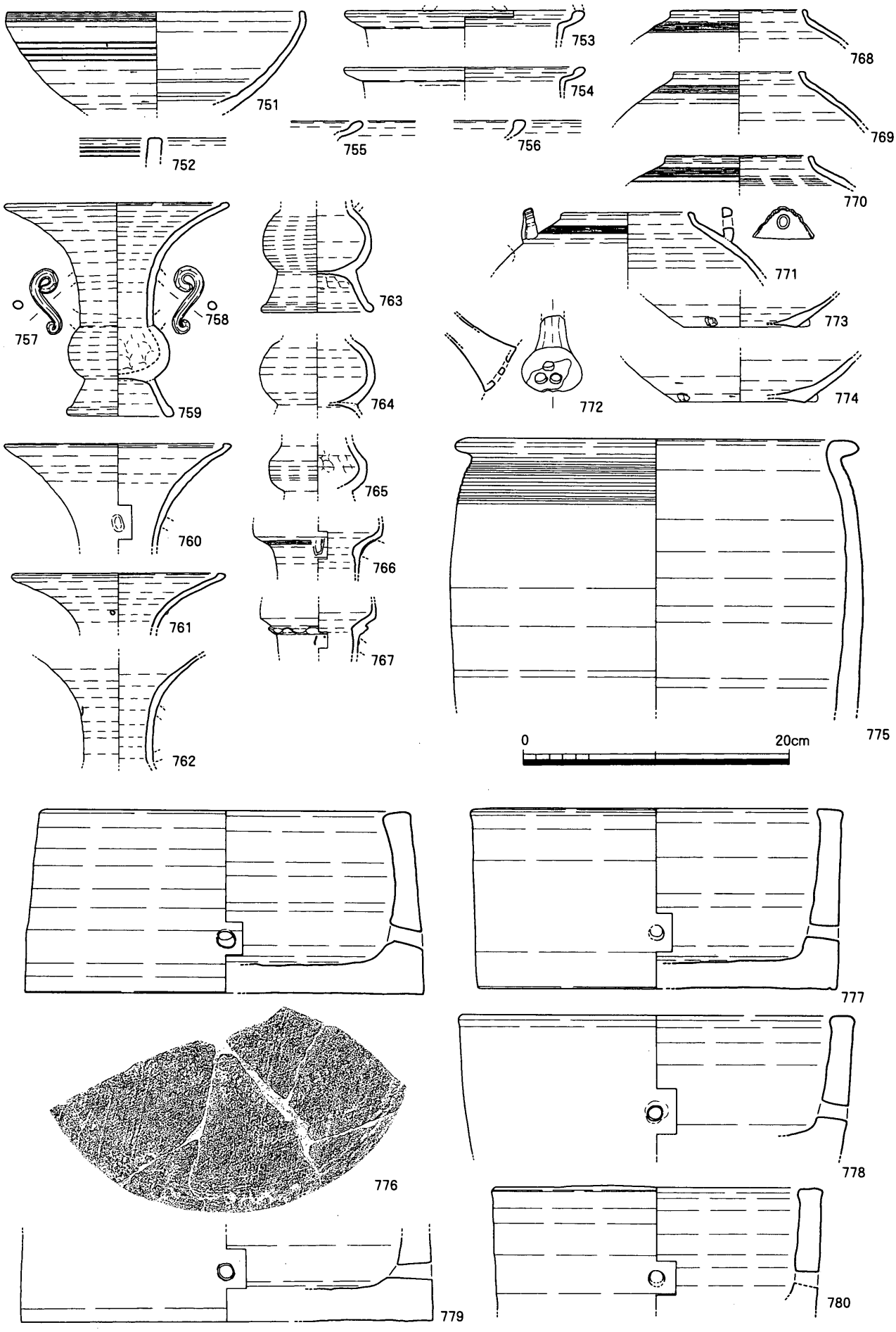
1. 黒褐色砂利混じり粘質土(10YR2/3)

第106図 Ⅳ区ＳＫ04平・断面図（1/20）

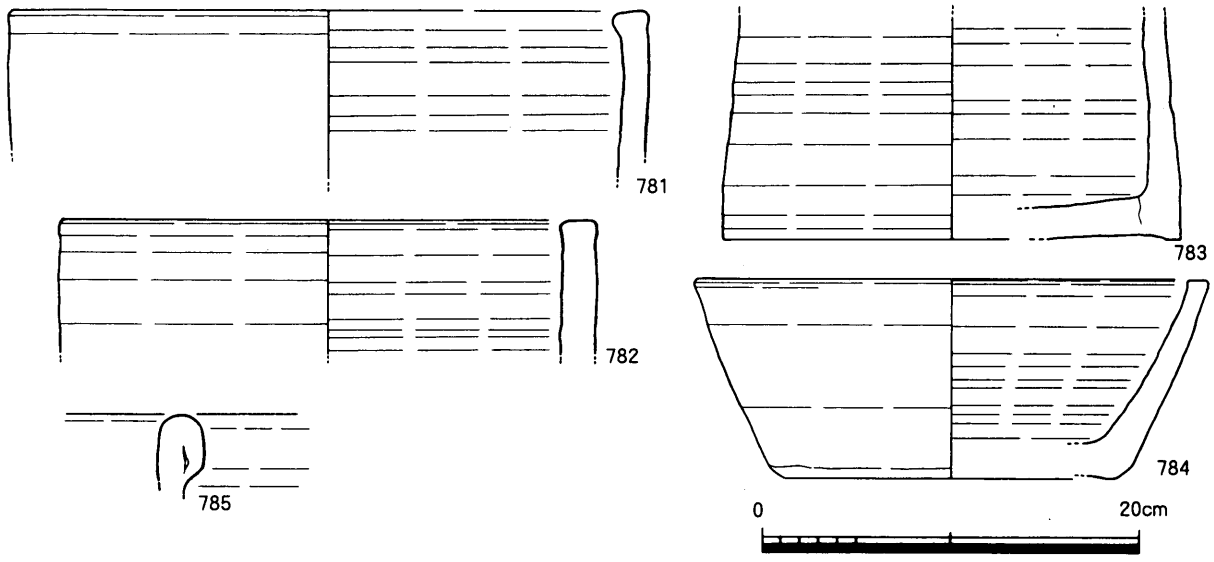


1. 灰黄色砂質土(2.5Y7/2)＜SK06＞
2. 灰オリーブ色砂質土(5Y6/2)＜SD02＞

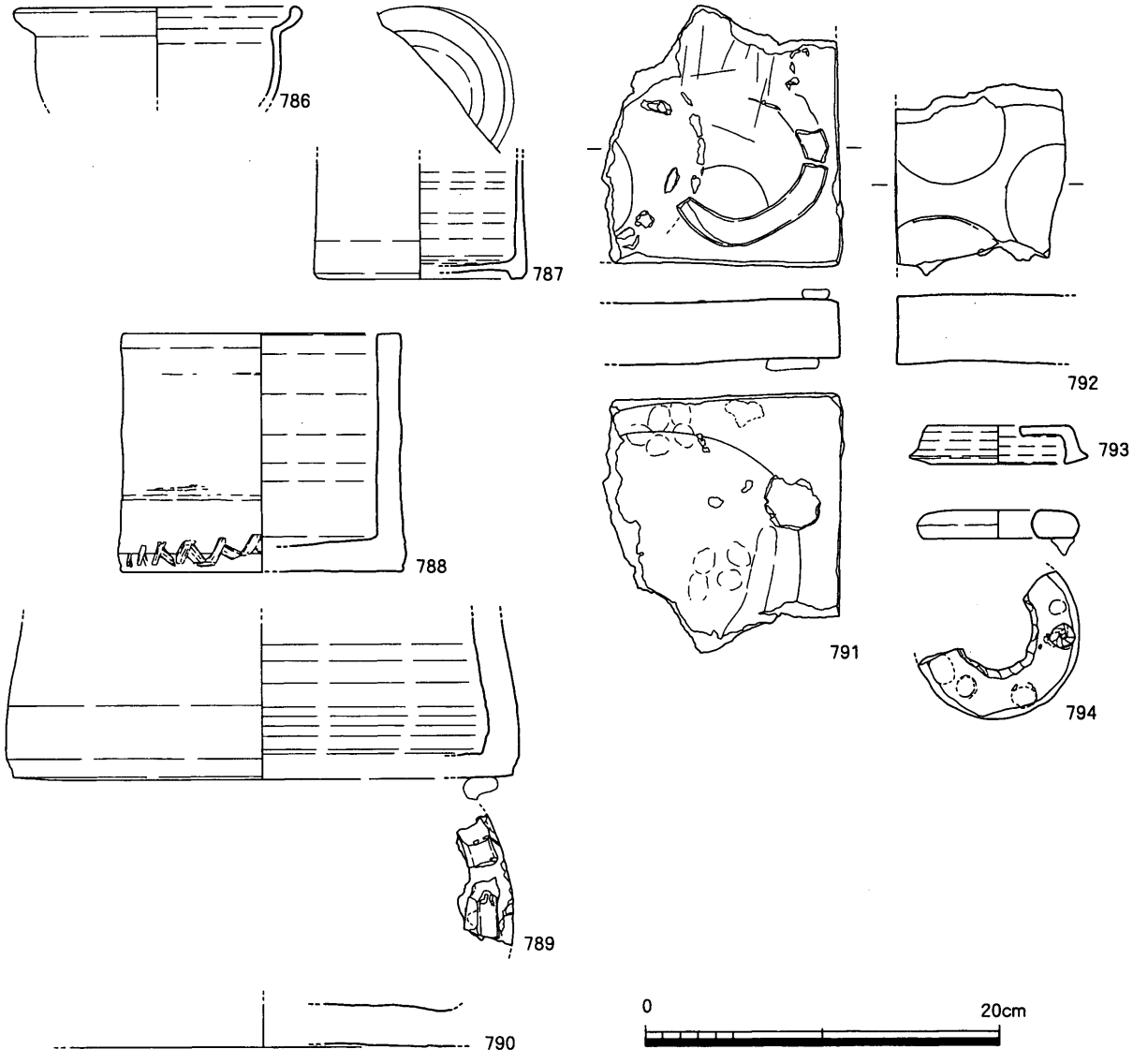
第107図 Ⅳ区ＳＫ06, ＳＤ02平・断面図（1/30）



第108図　Ⅳ区ＳＫ03出土遺物１（1/4）



第109図　Ⅳ区ＳＫ03出土遺物２（1/4）



第110図　Ⅳ区ＳＫ04出土遺物（1/4）

サヤ鉢（中）（776～780）、サヤ鉢（台形）（784）、備前焼甕（785）がある。仏花瓶の出土量が多い。また窯道具もサヤ鉢（中）という素焼きが多い点が注目できる。

ＳＫ04（第106、110図）

調査区の中央部で検出した土坑である。東側をＳＸ03に切られるが、平面形は隅丸方形である。断面形は浅い皿状を呈し、底場が東側に下る。規模は長径1．1ｍ、短径94㎝以上、深さ9㎝を測る。埋土はグライ化している。陶器、窯道具、少量の礫が中央部で出土した。

図化した出土遺物には鍋（786）、香炉（787）、サヤ鉢（小）（788）、敷き板（791．792）、焼き台（793）、ドーナツ状焼き台（794）がある。787の底部内面には陶器・窯道具痕が見られる。

ＳＫ05（第111～113、114図）

調査区の東部北端で検出した土坑である。西側でＳＫ07を切る。北側が削平されているが平面形は不整な長楕円形と推定される。断面形は浅い皿状を呈す。規模は長径3.4ｍ、短径1.23ｍ以上、深さ30㎝を測る。埋土は2層に分かれるが、地下水位が高い谷地形内にあるためグライ化している。西寄りと東端で陶器、窯道具、礫がかたまって出土した。

図化した出土遺物には鍋（795．796）、甕（797～803）、サヤ鉢（中）（804．805）、サヤ鉢（大）（807．808）、敷き板（809．810）、型（811）、円環状土製品（812．813）、平瓦（814）、トチン（815．816）、土師質土器甕（817）がある。811は底部内面の突出、傾き、法量から土瓶底部製作用の型と考えられる。

ＳＫ06（第107、115図）

調査区の東部北端で検出した土坑である。東側でＳＸ04を切る。北側に隣接するＳＤ02とは先述の通り有機的な関係にあった可能性がある。平面形はいびつな楕円形である。断面形は浅い皿状を呈し、底場が北側に下る。規模は長径2.21ｍ、短径1.05ｍ、深さ7.5㎝を測る。主軸方向はＮ－72°－Ｗである。埋土はグライ化している。陶器、窯道具、拳大の礫がごく少量出土した。

図化した出土遺物には甕（819）、トチン（820）、粘土塊（821）がある。

ＳＫ07（第111、116、117図）

調査区の東部北端で検出した土坑である。東側でＳＫ08に切られ、北側は削平されているが、平面形は楕円形と推定される。断面形は浅い皿状を呈する。規模は長径1.68ｍ以上、短径75㎝以上、深さ22.5㎝を測る。埋土はグライ化している。陶器、窯道具、拳大の礫が全面で出土した。

図化した出土遺物には土瓶（822）、香炉（823）、甕（824）、サヤ鉢（中）（825～827）、サヤ鉢（大）（828～829．831～834）、敷き板（835．836）、トチン（837）、焼き台（838）、土師質土器焙烙（839～841）がある。830はサヤ鉢（大 or 中）の底部外面に土瓶蓋が付着する。

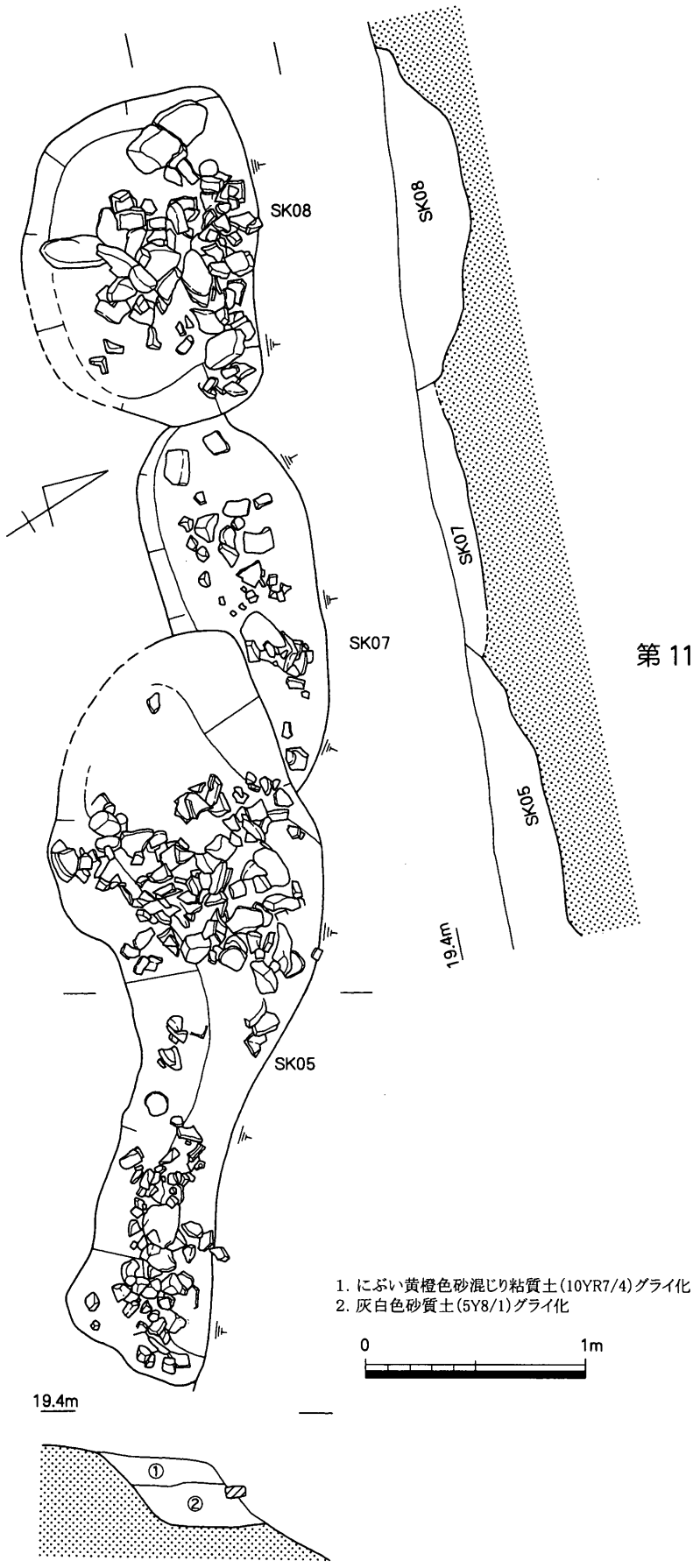
ＳＫ08（第112、118図）

調査区の東部北端で検出した土坑である。東側でＳＫ07を切る。北側が削平されているが、平面形は楕円形と推定される。断面形は浅い皿状を呈す。規模は長径1.35ｍ、短径1.08ｍ以上、深さ39㎝を測る。埋土はグライ化している。陶器、窯道具、拳～人頭大の礫が出土した。

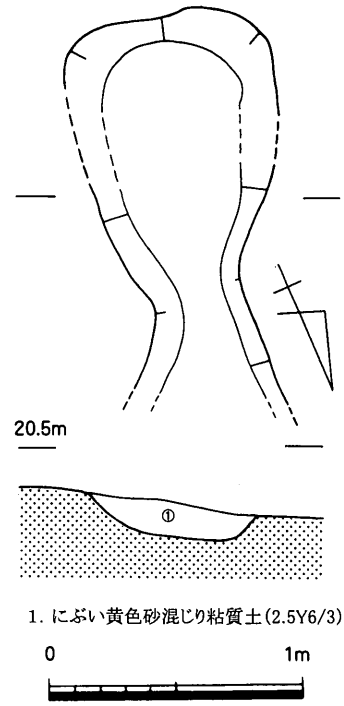
図化した出土遺物には軟質施釉陶器蓋（844）、鉢（845）、陶器鍋（846）、サヤ鉢（小）（847）、サヤ鉢（大）（848．849）、敷き板（850．851）、焼き台（852．853）、円環状土製品（854．855）、土師質土器焙烙（856）がある。847の底部外面には、鉄釉が付着する。これは下位のサヤ鉢に窯詰めされた香炉口縁部が接触したためと見られる。

ＳＫ09（第112、119図）

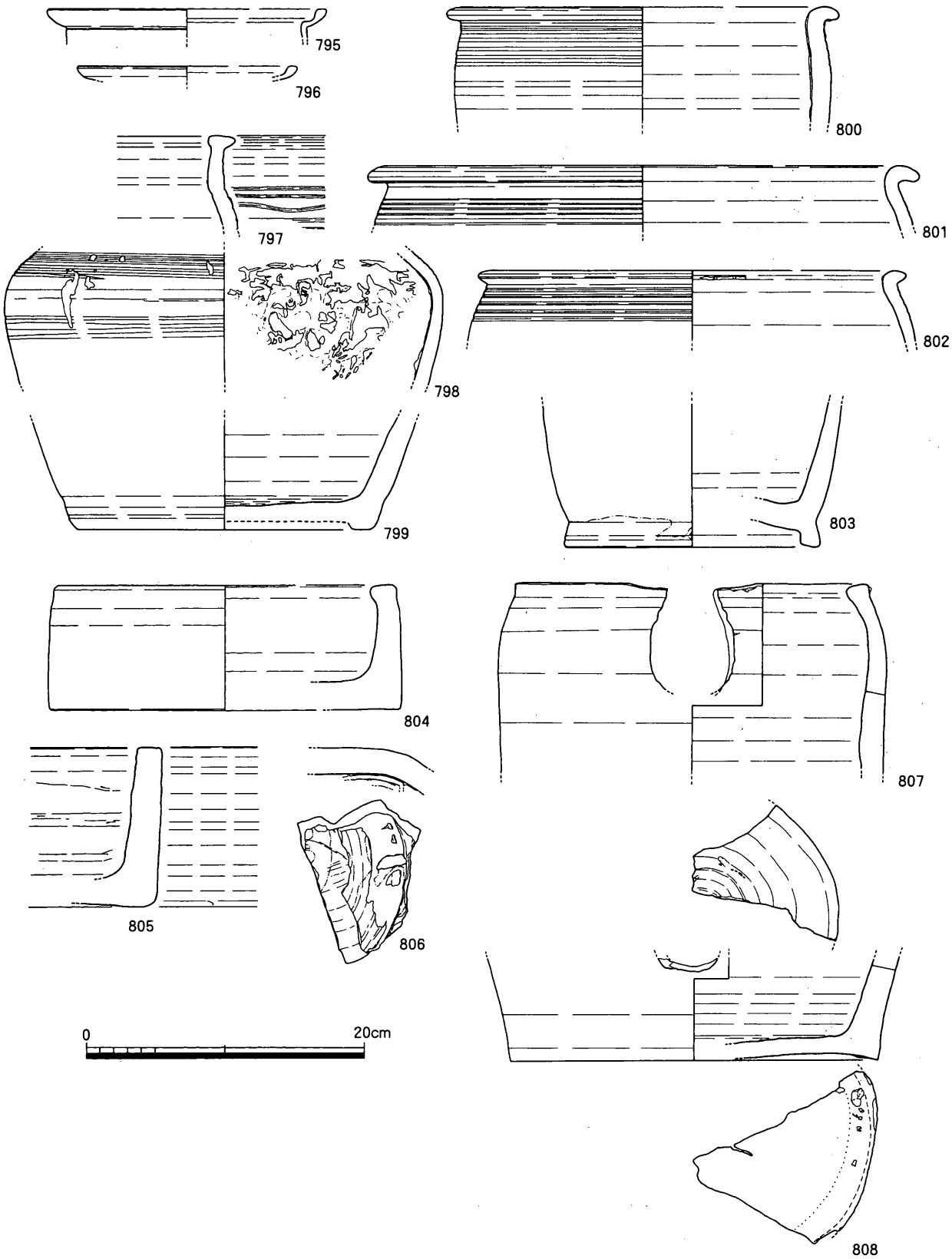
調査区の中央部で検出した土坑である。東側でＳＸ03を切る。平面形は中央でくびれ、バチ形である。断面形は逆台形を呈する。規模は長径1.5ｍ以上、短径84㎝以上、深さ19.5㎝を測る。埋土はグライ化している。陶器、窯道具が出土した。図化した出土遺物には陶器行平鍋（858）、サヤ鉢（小）（859）、敷き板（861）、平瓦（862）がある。



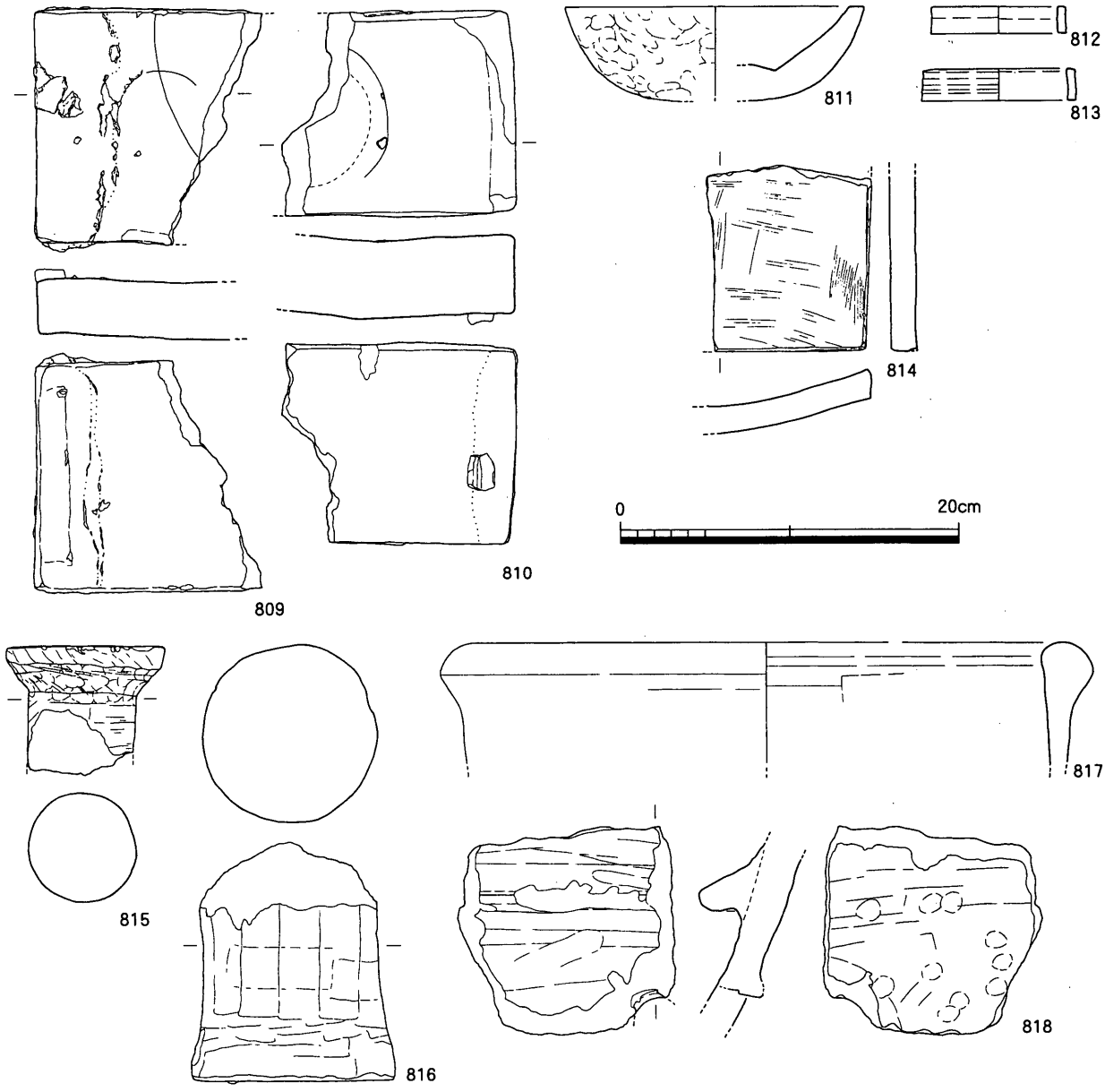
第111図　Ⅳ区ＳＫ05、ＳＫ07、ＳＫ08平・断面図（1/30）



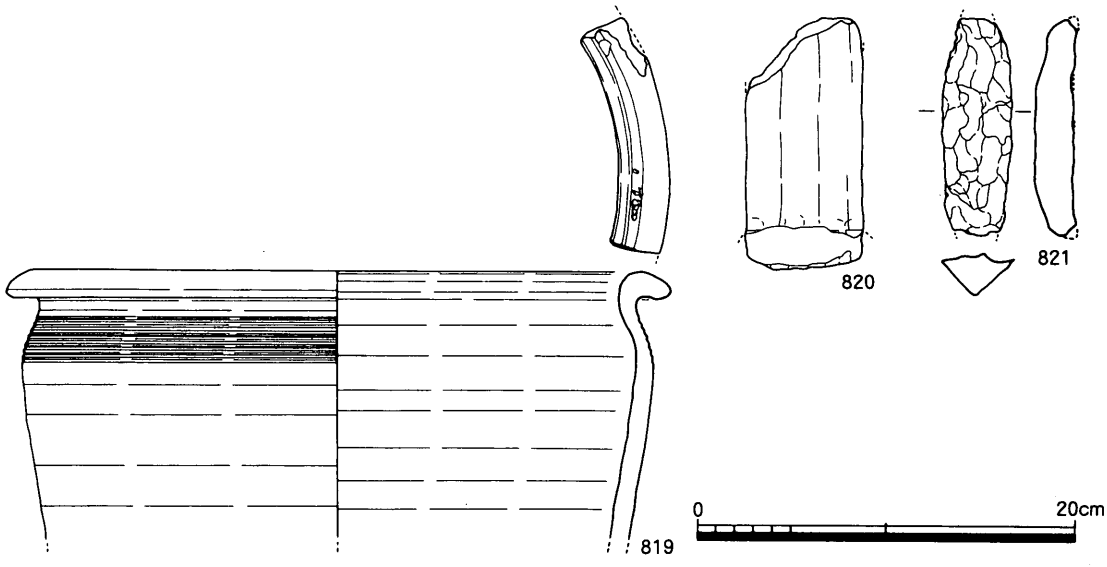
第112図　Ⅳ区ＳＫ09平・断面図（1/30）



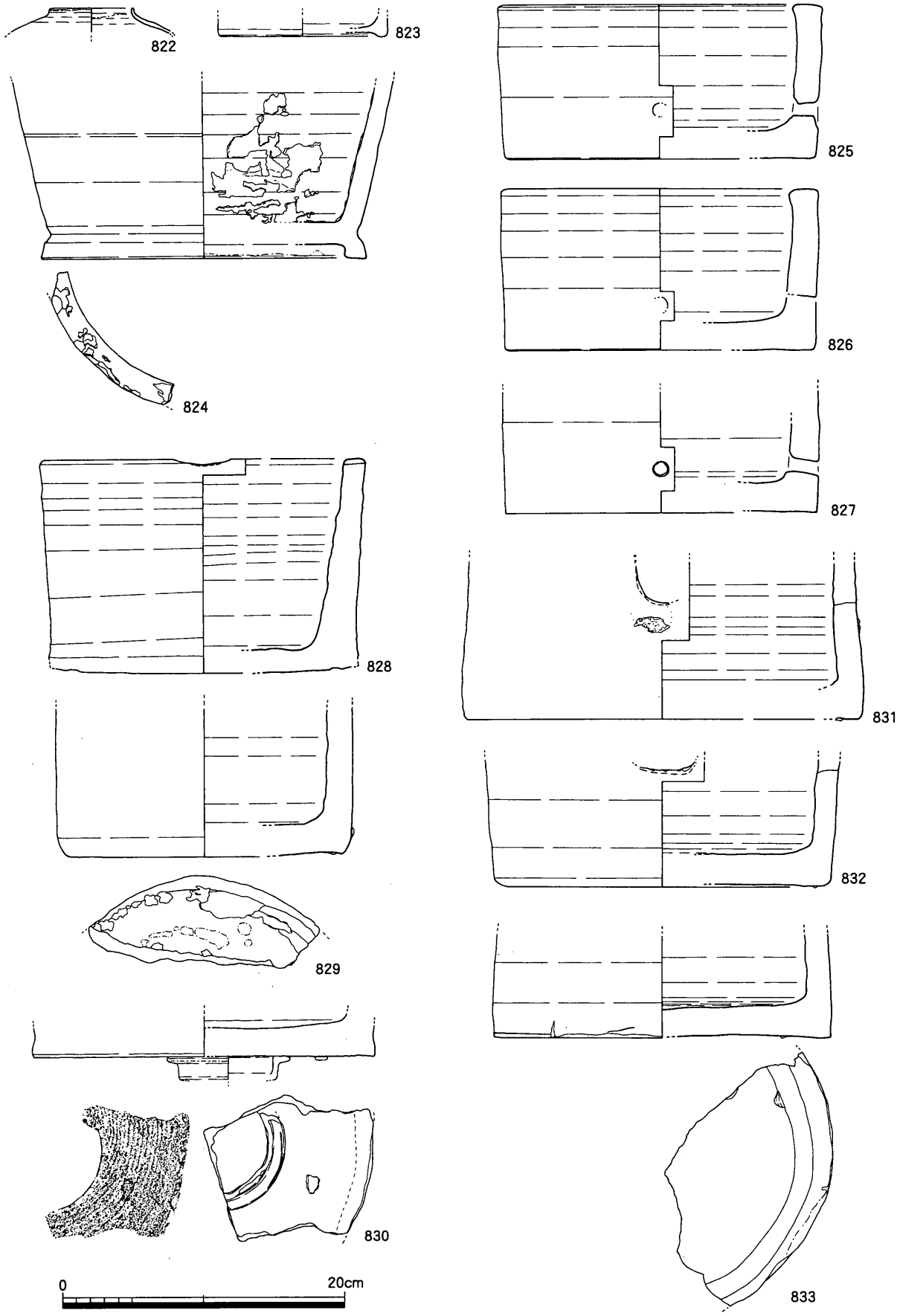
第113図　Ⅳ区ＳＫ05出土遺物１（1/4）



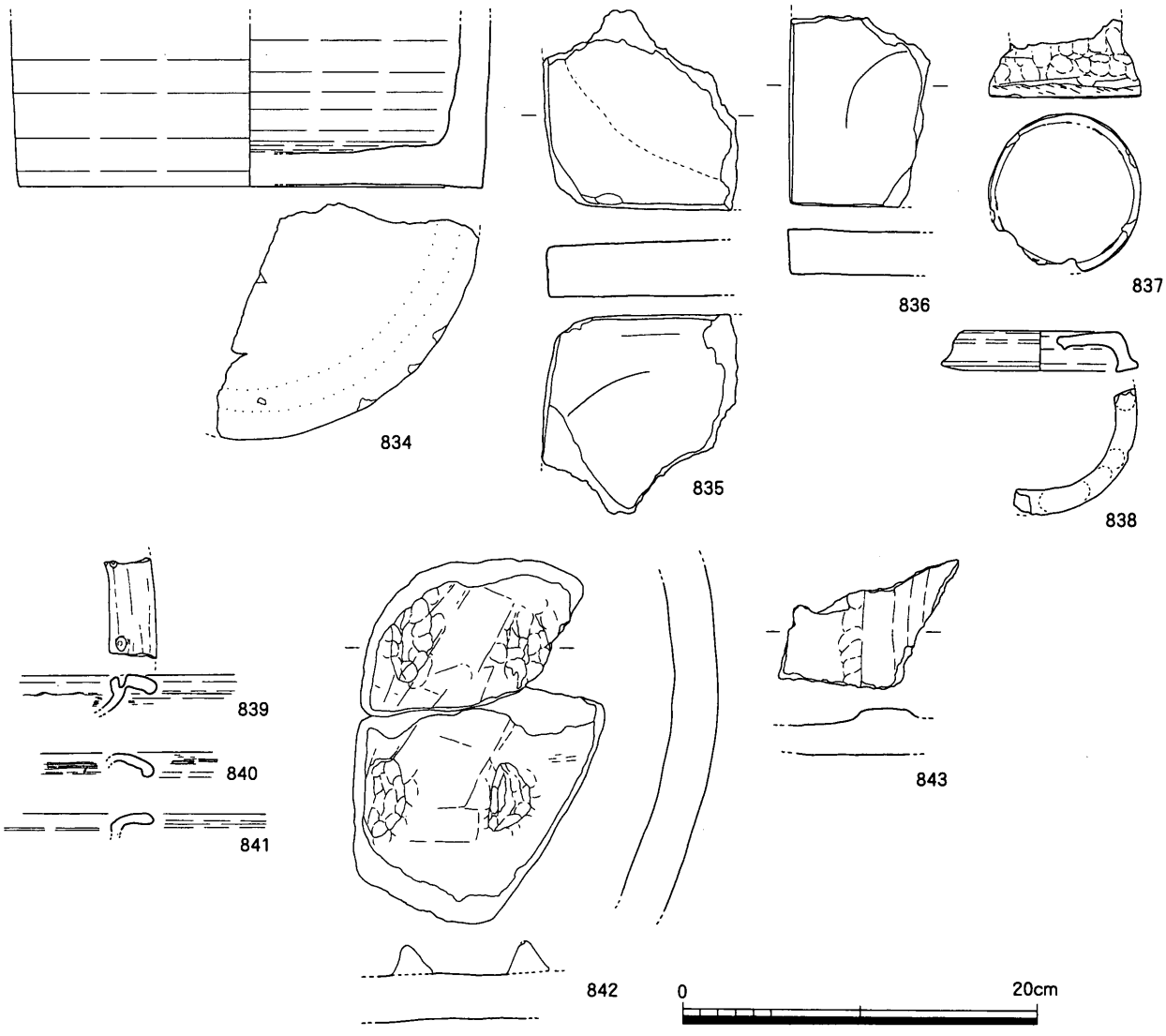
第114図　Ⅳ区ＳＫ05出土遺物２（1/4）



第115図　Ⅳ区ＳＫ06出土遺物（1/4）



第116図　Ⅳ区ＳＫ07出土遺物１（1/4）



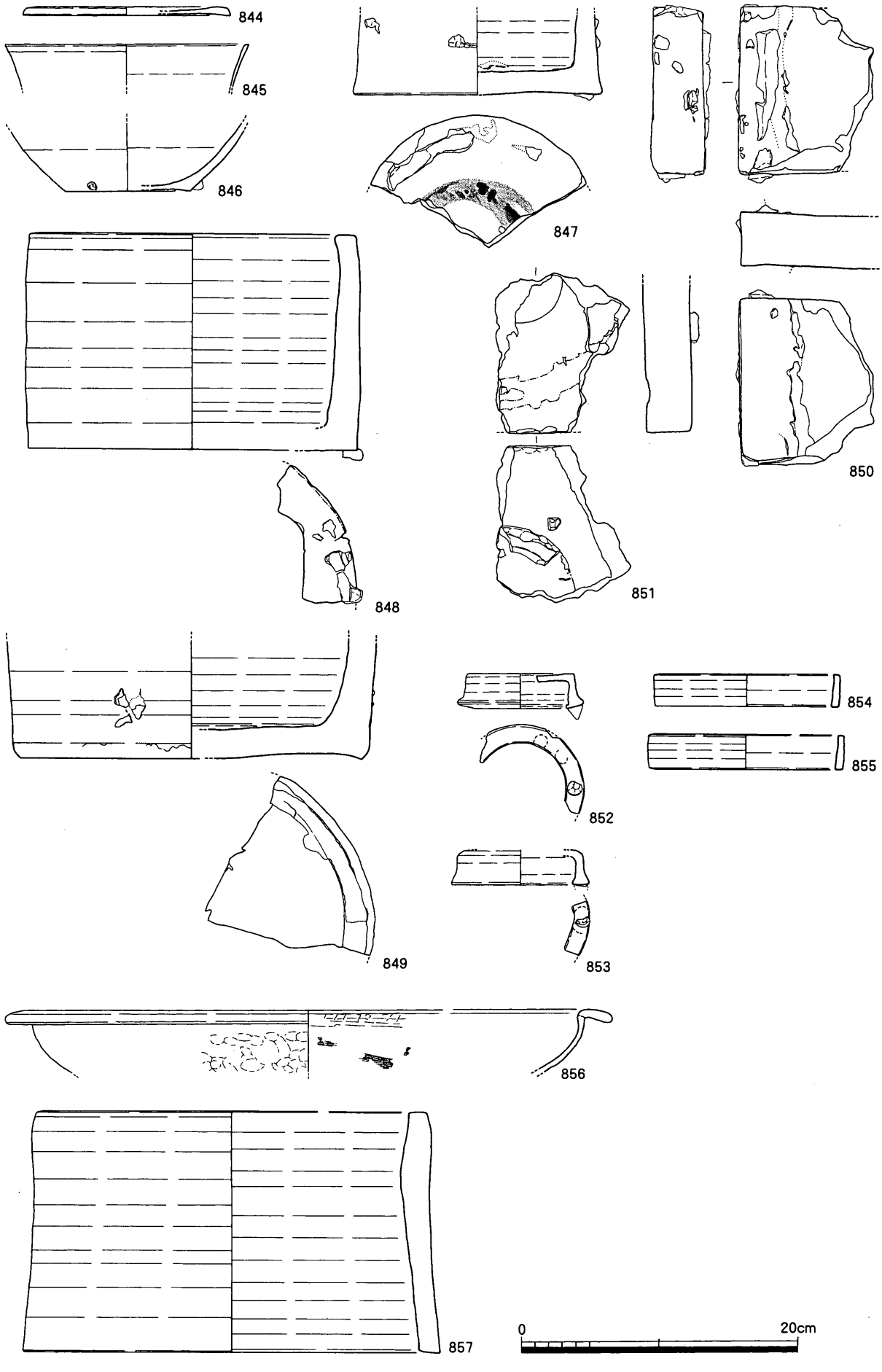
第117図　Ⅳ区ＳＫ07出土遺物２（1/4）

ＳＫ10（第54、119図）

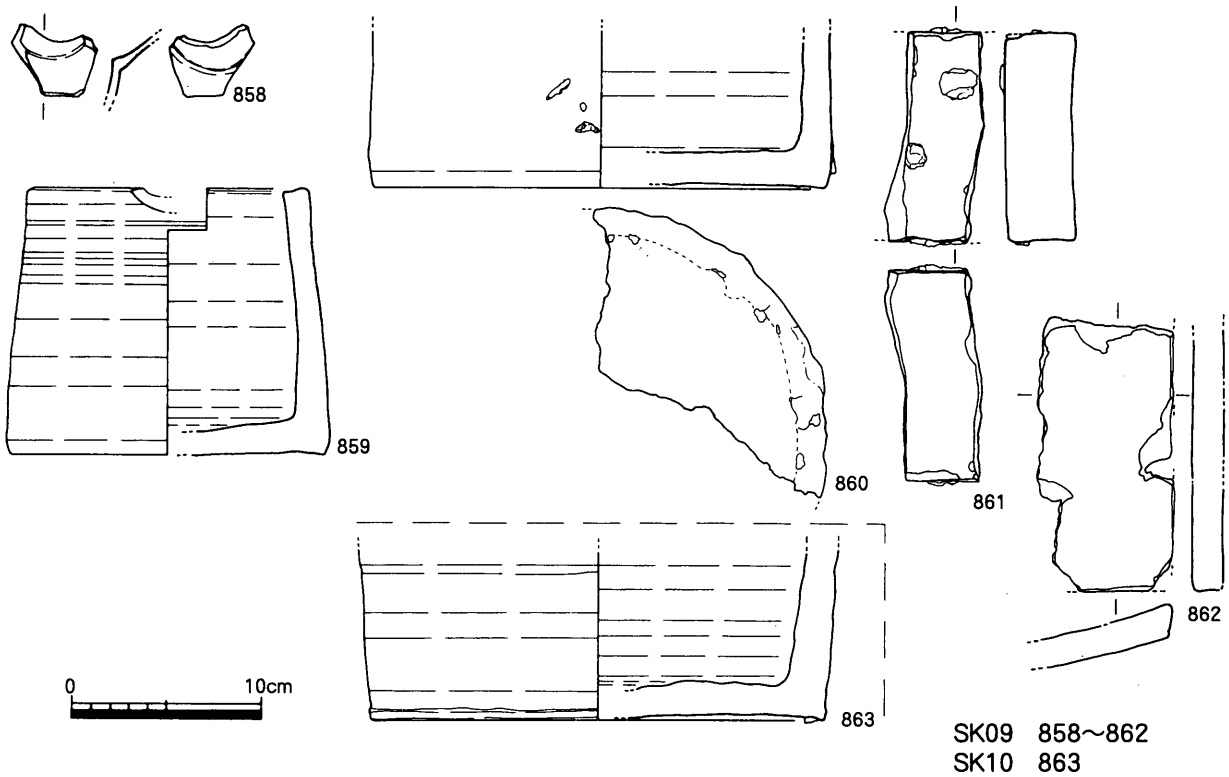
調査区の中央部北端で検出した土坑である。ＳＦ01焚口に近接し灰原と重複するが、これが削平された箇所で検出したため前後関係は不明である。平面形は東側で細くなる楕円形である。断面形は逆台形を呈する。規模は長径1.19 m、短径96 cm以上、深さ27 cmを測る。埋土は２層に区分でき多量の炭、灰を含む。これを焚口からの掻き出しに由来すると見れば灰原より先行する。サヤ鉢（大 or 中）（863）が出土した。

ＳＫ11（第120、121図）

調査区の中央部で検出した土坑である。北側にあるＳＸ03と埋土を共有し、同時併存している。平面形は北側で西に広がる長楕円形である。断面形は逆台形を呈する。２段掘り状となり、南側で小さい平坦部が見られる。規模は長径2.6 m以上×短径1.36 m以上、深さ56 cmを測る。埋土はグライ化する。少量の窯道具が出土した。図化した出土遺物には陶器甕（864）、サヤ鉢（浅）（865）、サヤ鉢（大）（866）、トチン（867）がある。



第118図　Ⅳ区ＳＫ08出土遺物（1/4）



第119図　Ⅳ区ＳＫ09，ＳＫ10出土遺物（1/4）

性格不明遺構

ＳＸ02（第122～124図）

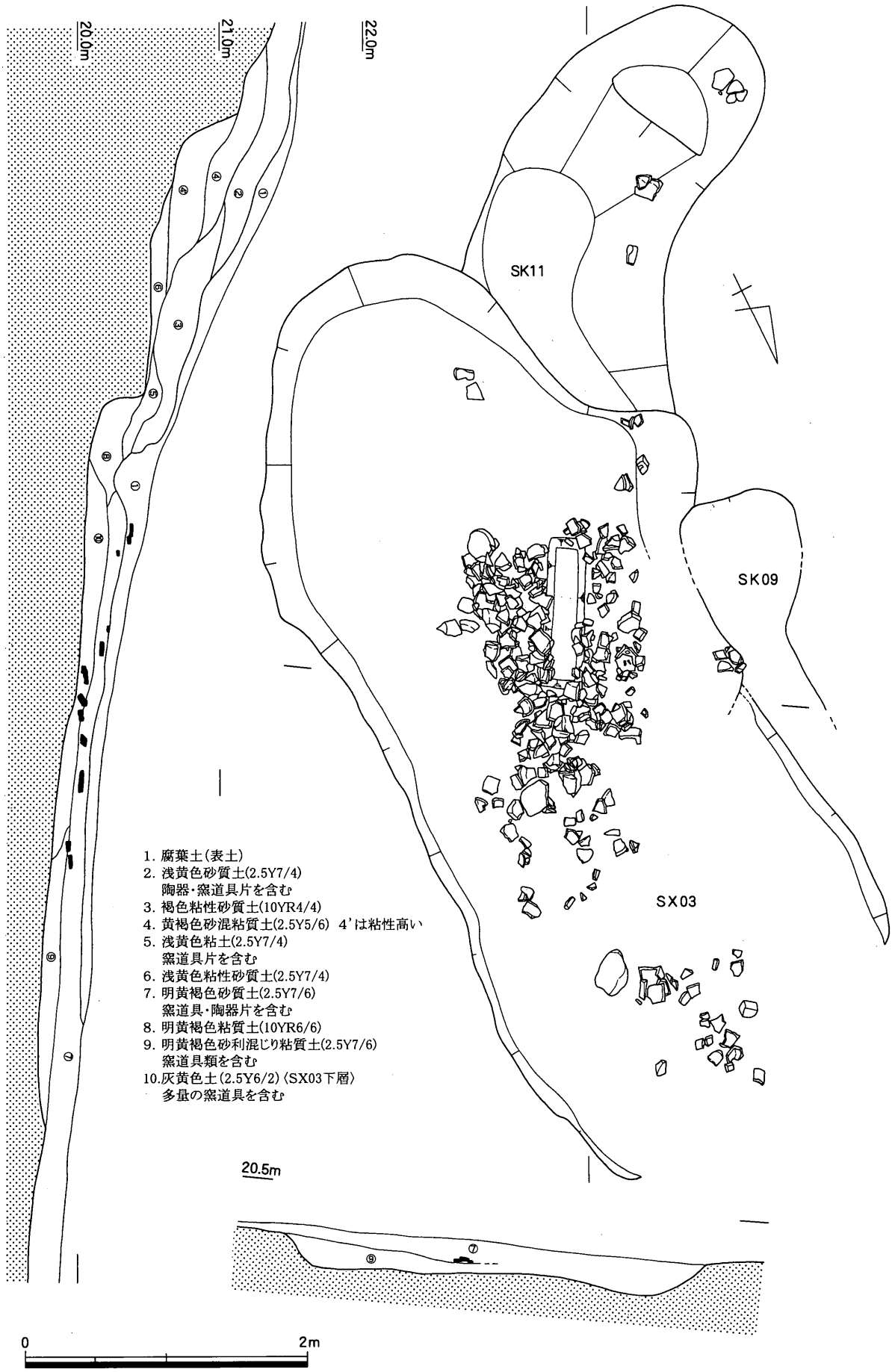
調査区の中央部で検出した遺構である。北西部を撹乱により破壊される。平面形は細長い隅丸方形である。断面形は浅い皿状を呈し、底場は地形に沿って北へ下る。規模は長径3.92 m以上、短径2.48 m、深さ28 cmを測る。中央部でまとまり、北部でまばらに陶器、窯道具、拳大の礫が出土した。この遺構の西側は本来存在したと推定されるＳＦ01に伴う階段と重複する。これに関し東西断面を見ると6層を5層が切るとも見える。よって6層が階段状遺構形成土、5層が階段状遺構に接して掘削された遺構と仮定するとこの部分で階段の東西幅は約1.2 mに復元できる。これは燃焼室東側で検出した階段状遺構の幅（80 cm以上）と矛盾しない。これが妥当であればＳＦ01操業以前に形成された階段状遺構形成土（ＳＸ02西側）で遺物が出土しない状況も説明できる。

図化した出土遺物には陶器植木鉢（868）、鍋蓋（869）、鍋（870．872）、サヤ鉢（小）（873～876）、サヤ鉢（中）（877）、サヤ鉢（浅）（878）、サヤ鉢（大）（879．880）、敷き板（881～883）、トチン（884）、ドーナツ状焼き台（885～887）がある。

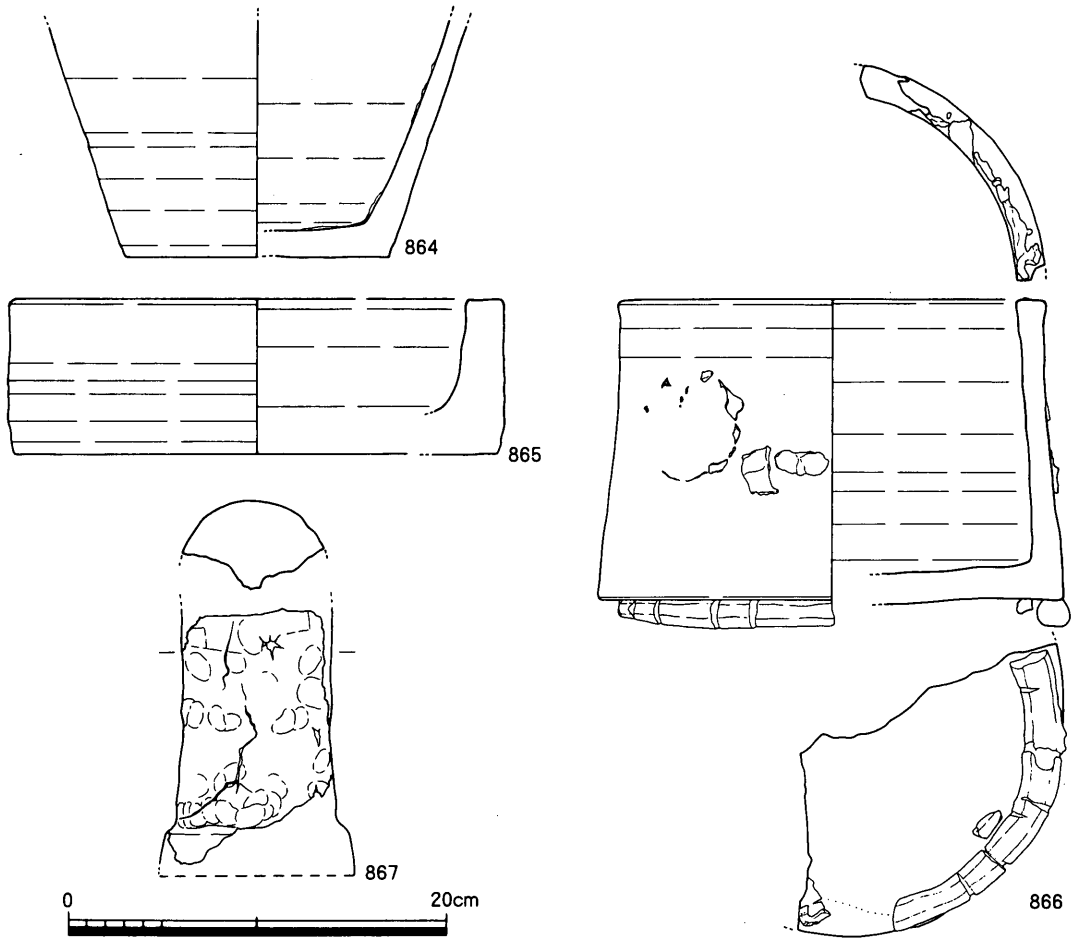
ＳＸ03（第120、125、126図）

調査区の中央部で検出した遺構である。平面形は細長い楕円形で溝状を呈する。断面形は浅い皿状を呈しほぼ平坦であるが、小さな起伏がある。規模は長径6.52 m以上、短径3.04 m、深さ18 cmを測る。埋土はグライ化している。東側中央部で多量の窯道具と少量の陶器、拳大の礫が出土した。

図化した出土遺物には陶器碗（888．889）、鉢（891．892）、行平鍋（893）、鍋（894．895）、土瓶（896）、茶入れ（897）、香炉（890．898～900）、植木鉢（901）、甕（902～904）、サヤ鉢（小）（905～907）、サヤ鉢（大）（908～910）、サヤ鉢（浅）（912）、敷き板（913～916）、焼き台（917～919）、平瓦（920）がある。888、889の碗は同一個体の可能性がある。



第120図　Ⅳ区ＳＫ11，ＳＸ03平・断面図（1/40）



第121図　Ⅳ区ＳＫ11出土遺物（1/4）

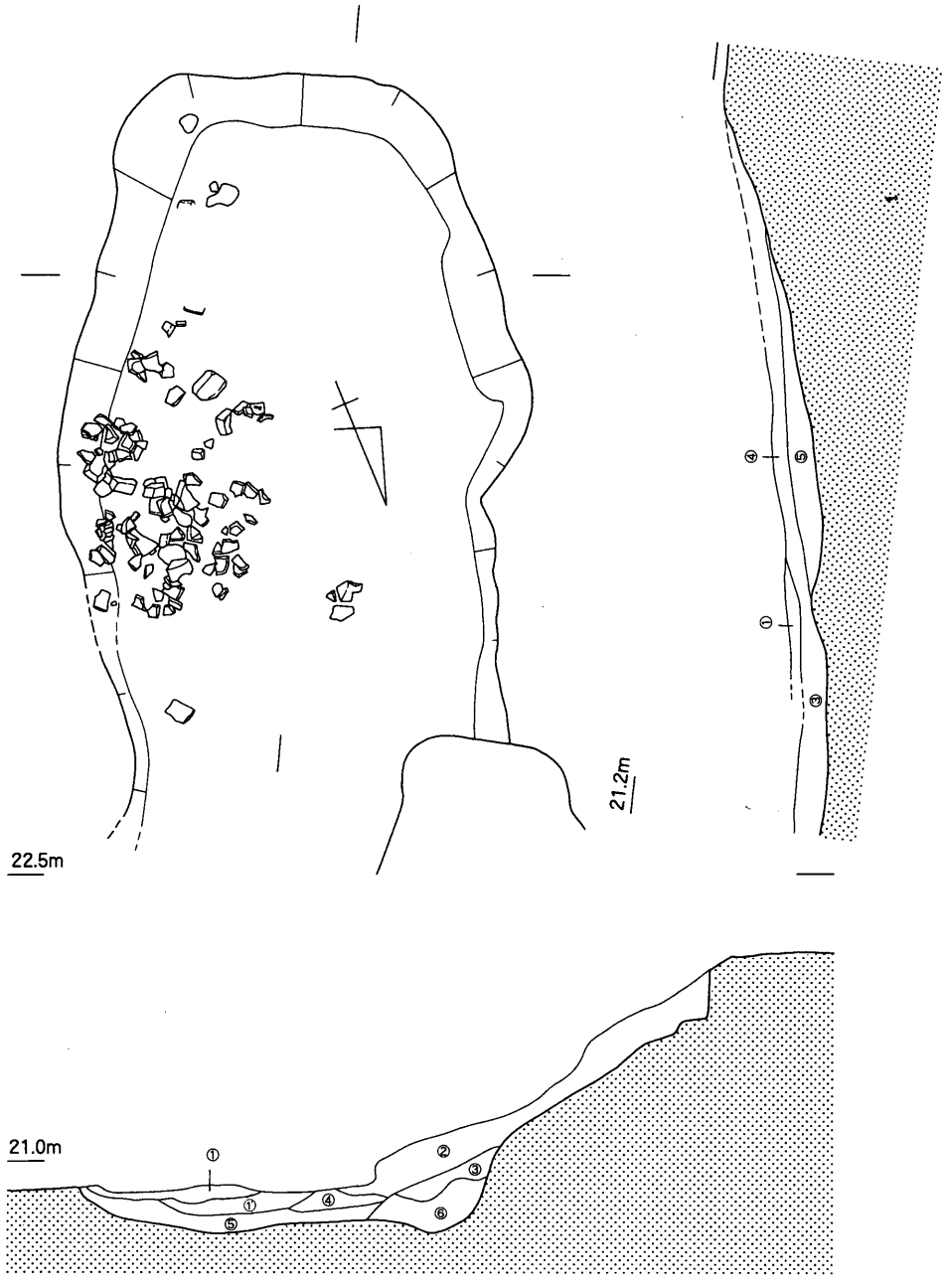
ＳＸ04（第127～132図）

調査区の東部北端で検出した遺構である。西側でＳＤ02、ＳＫ06に切られ、北側は削平を受けている。平面形は西側が方形の土坑状、東側が溝状である。土坑部は検出面でややいびつな方形であるが、下部では整った長方形を呈する。断面形は壁が斜めに落ち、底場はほぼ平坦である。規模は長径3.76 m以上、短径1.88 m、深さ40 cmを測る。土坑部で埋土は2層に区分でき、グライ化している。どちらも多量の陶器、窯道具を含む。またごく少量の磁器、礫も混じる。これらは一括して廃棄されたと考えられる。

図化した出土遺物には陶器鉢（921～928）、行平鍋（929）、鍋蓋（930）、鍋（931～935）、土瓶蓋（936. 937）、土瓶（938）、急須（939）、軟質施釉陶器蓋（940～942）、灯明皿（943～948）、香炉（949）、水滴（950）、甕（951～956）、サヤ鉢（小）（957. 958. 960）、サヤ鉢（大）（961～965）、敷き板（966～970）、焼き台（971）、トチン（972～974）、円環状土製品（975～981）、平瓦（982）、土師質土器甕（984～987）、焙烙（990）、鉢（988）、肥前系磁器徳利（989）、桶窯構築材？（991～993）、鉄斧（995）がある。959は底部外面に土瓶蓋が付着する。965の底部内面にはワトチ痕の可能性をもつ粘土塊が付着する。円環状土製品にはここで挙げた2タイプの法量が見られる。これらには低火度釉が付着しており、桶窯で使用された窯道具である。994は規則的な配置で穿孔する。

ＳＸ05（第133～139図）

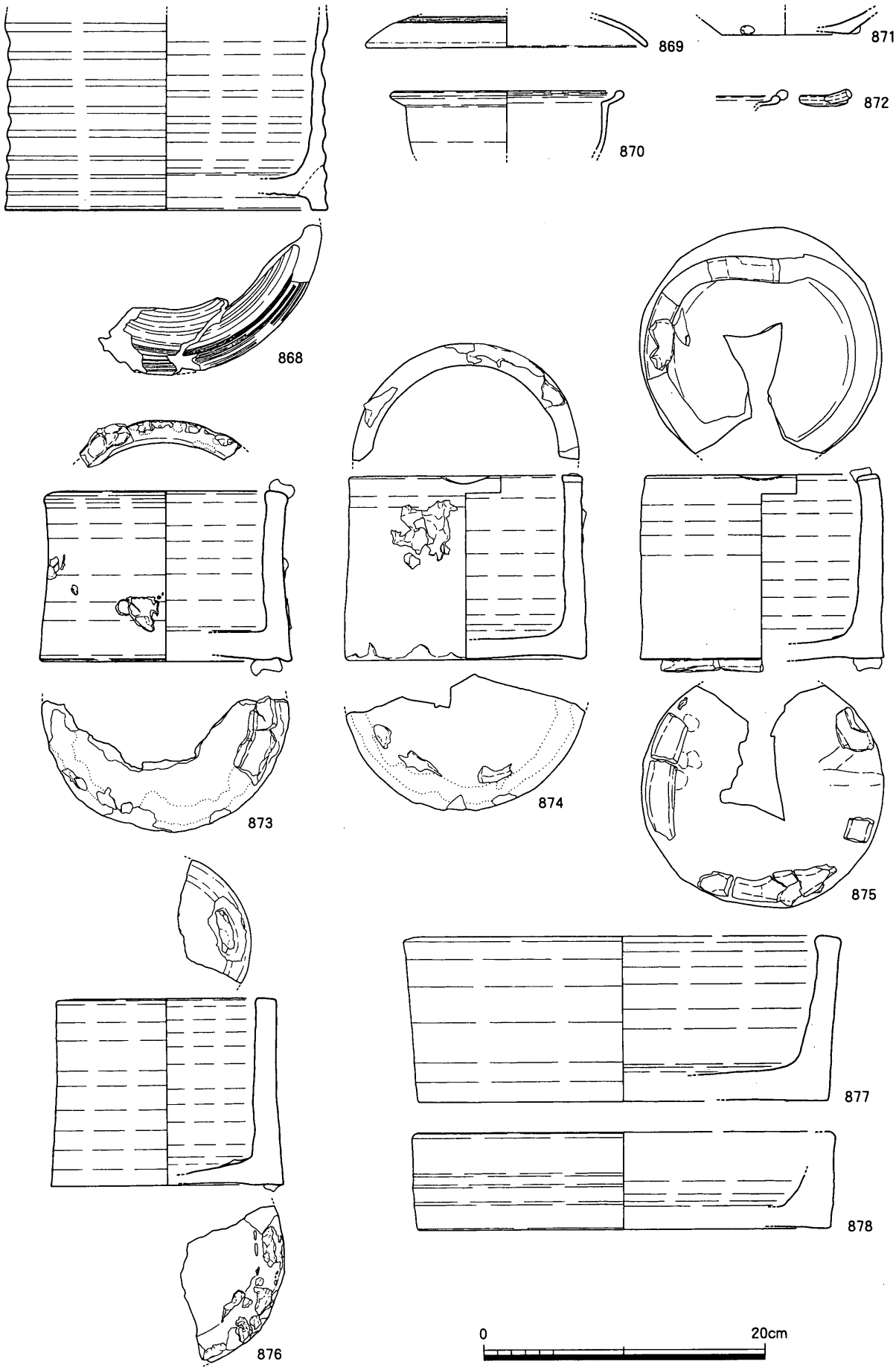
調査区の中央部北端で検出した遺構である。東側でＳＫ08に切られ、北側は削平を受けている。平面形は楕円ないし円形と推定される。断面形は浅い皿状を呈する。規模は長径4.08 m以上、短径1.89 m以上、深さ12 cmを測る。縁辺部では周溝状に幅40 cm前後の溝が巡る。陶器、窯道具、拳大の礫が溝内、中央部西寄りでかたまって出土した。埋土に地山ブロックは見られないものの溝内に偏って遺物が出土していることから廃絶後、人為的に埋め戻したと考



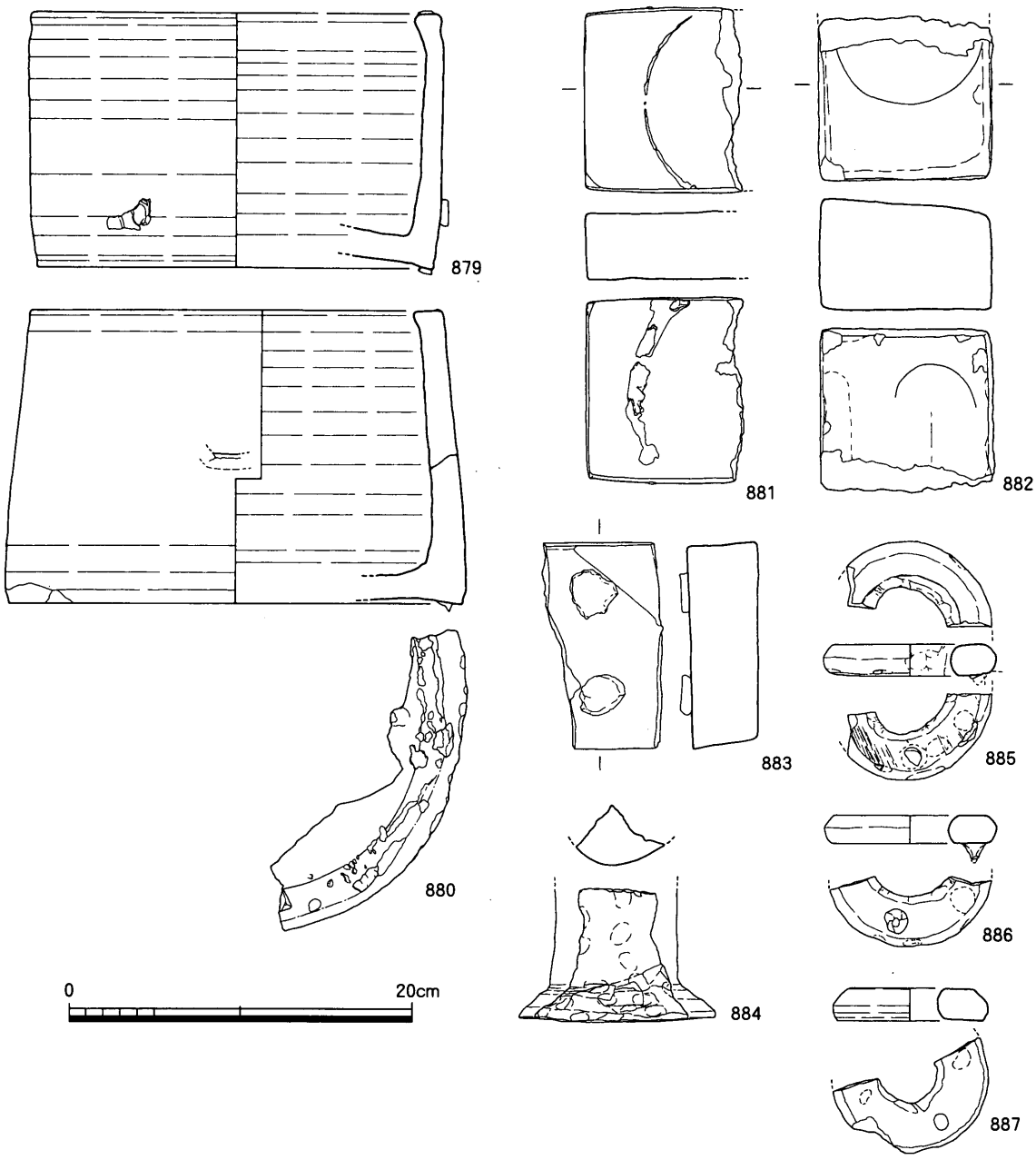
1. 腐葉土(表土)
1'. 砂を多く含む
2. 黄褐色微砂混じり粘質土(2.5Y5/6)
多量の窯体片を含む〈窯体崩壊後の堆積土〉
3. 明黄褐色粘性砂質土(2.5Y6/6)
ごく少量の窯道具・窯体小片を含む
4. 浅黄色砂混じり粘質土(2.5Y7/3)〈SX02〉
5. にぶい黄色砂質土(2.5Y6/4)
3より暗い陶器・窯道具片を含む〈SX02〉
6. 灰黄色砂利混粘質土(2.5Y6/2)

0 2m

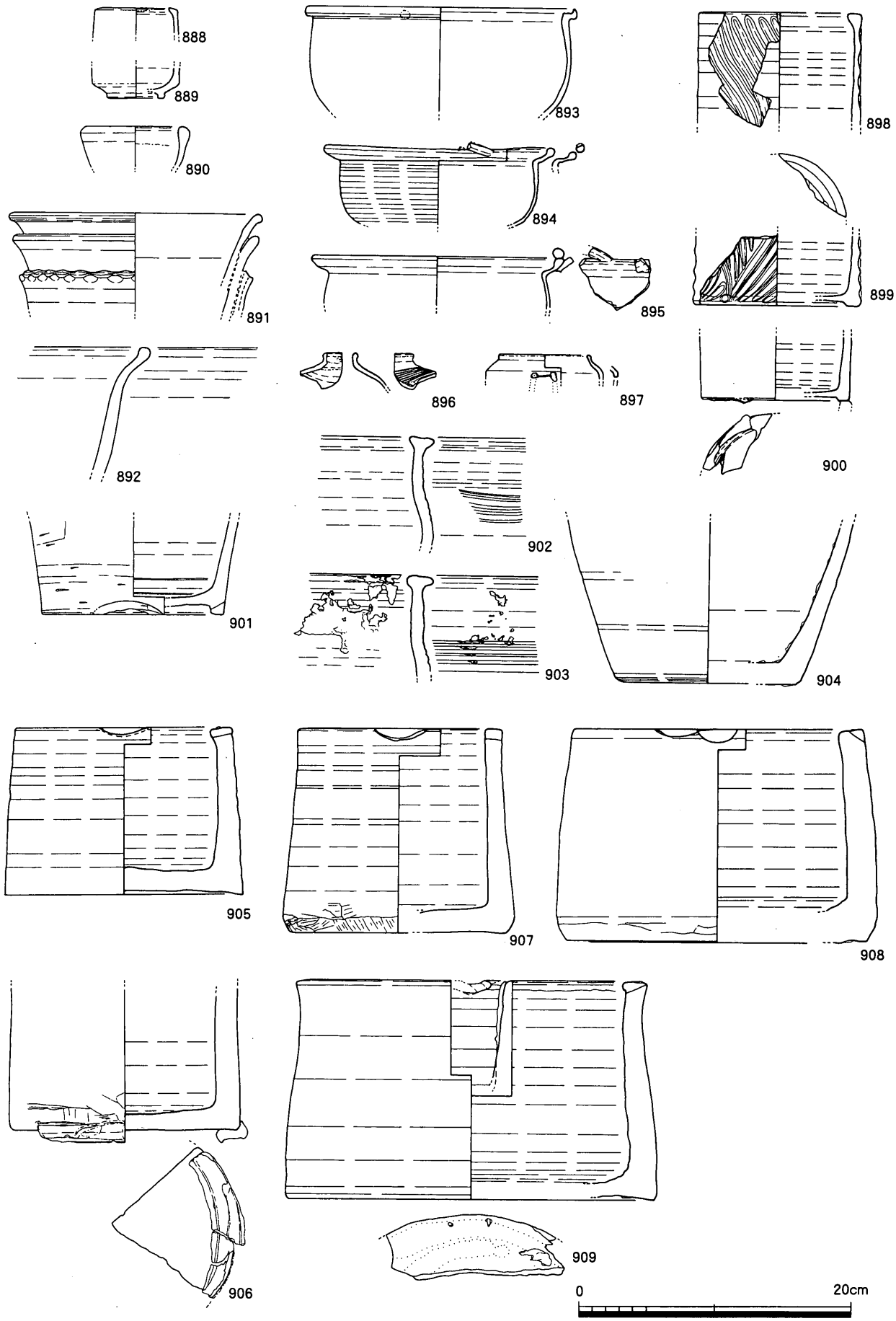
第122図　Ⅳ区ＳＸ02平・断面図（1/40）



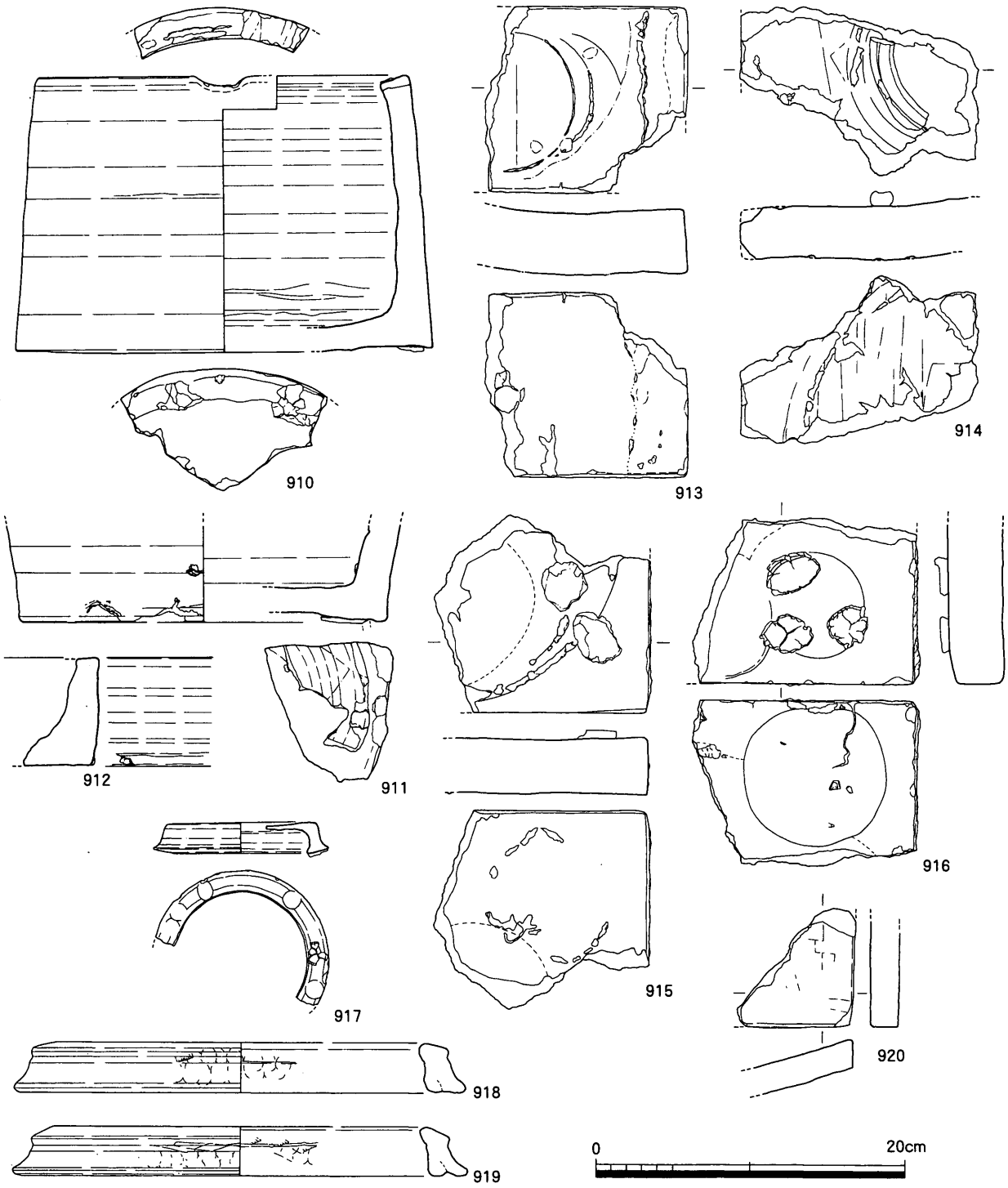
第123図　Ⅳ区ＳＸ02出土遺物１（1/4）



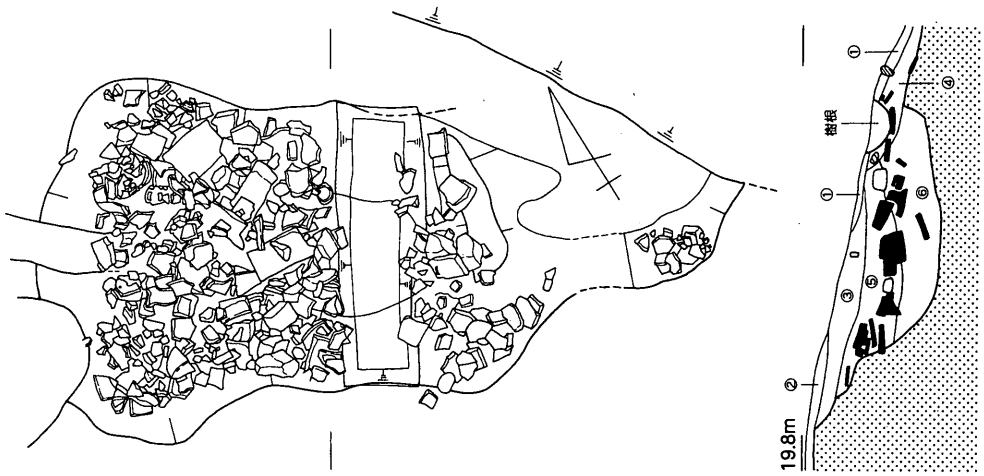
第124図　Ⅳ区ＳＸ02出土遺物２（1/4）



第125図　Ⅳ区ＳＸ03出土遺物１（1/4）

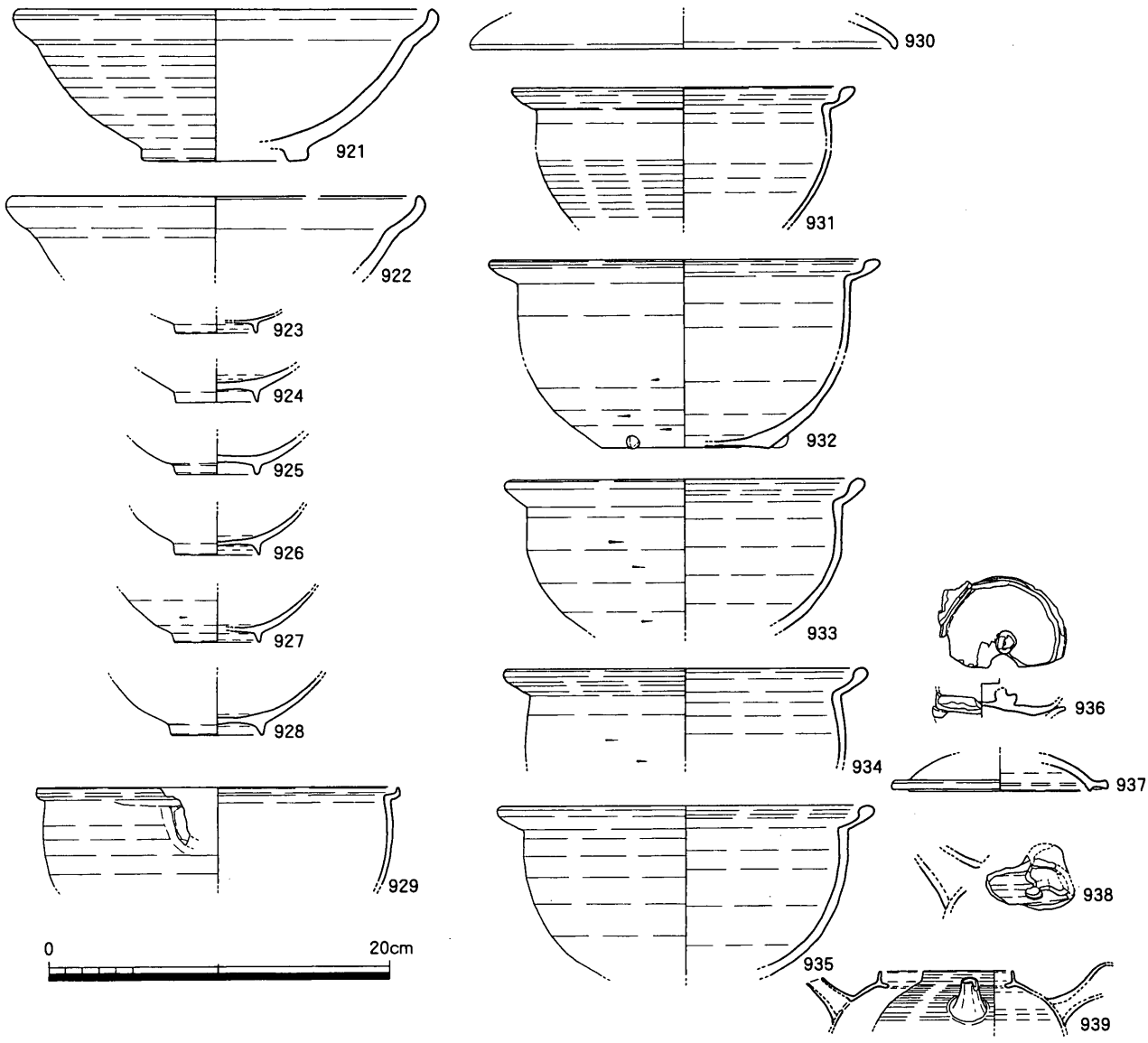


第126図　Ⅳ区ＳＸ03出土遺物２（1/4）

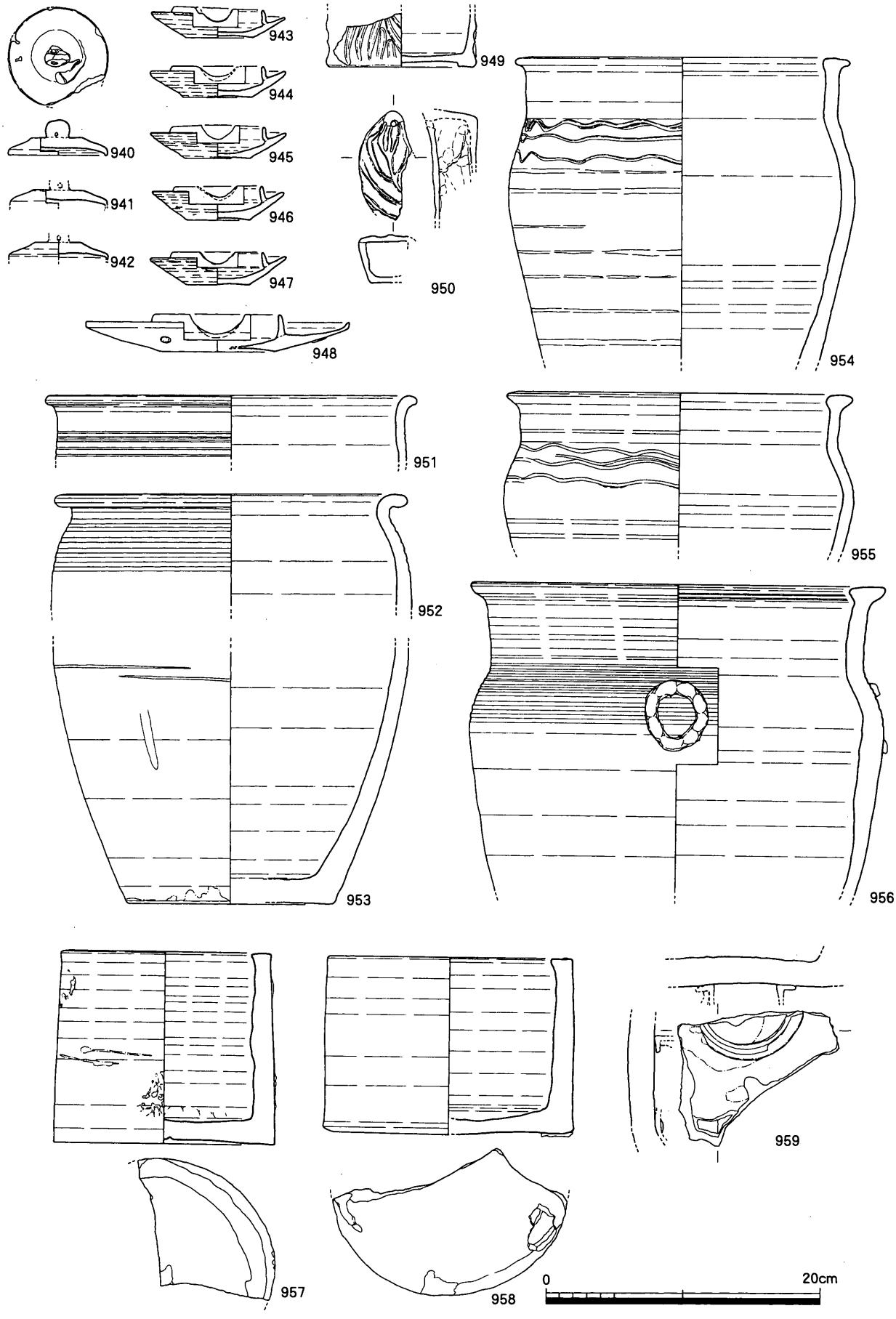


1. 腐葉土
2. 灰白色砂質土 (5Y7/1)ｸﾞﾗｲ化
3. 黄色砂質土 (2.5Y7/8)
4. にぶい黄色砂質土 (2.5Y6/3) ＜撹乱?＞
5. 明黄褐色砂質土 (2.5Y7/6) ＜SX04上層＞
6. 灰白色砂混じり粘土 (2.5Y7/1) ＜SX04下層＞

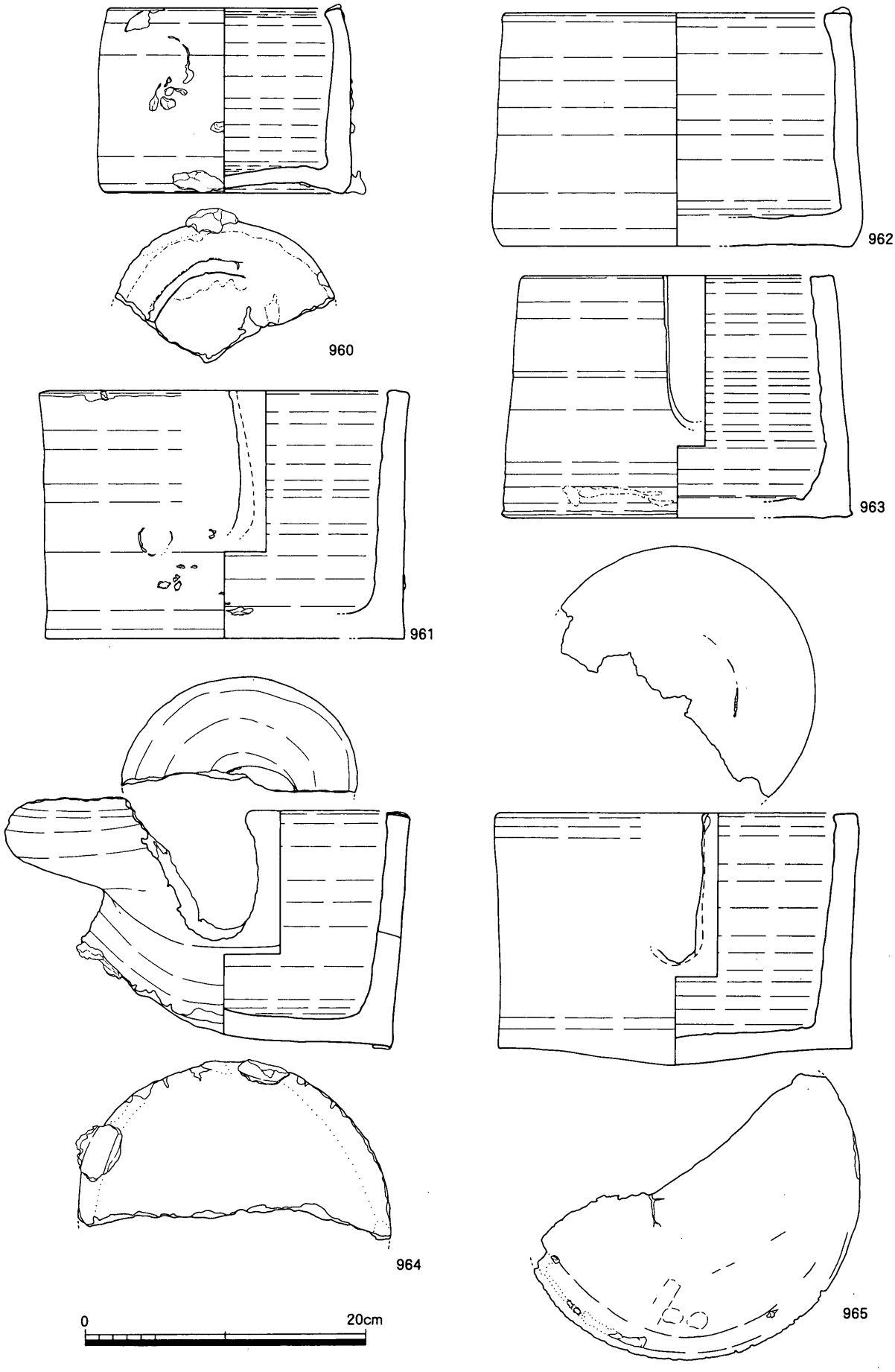
0 2m



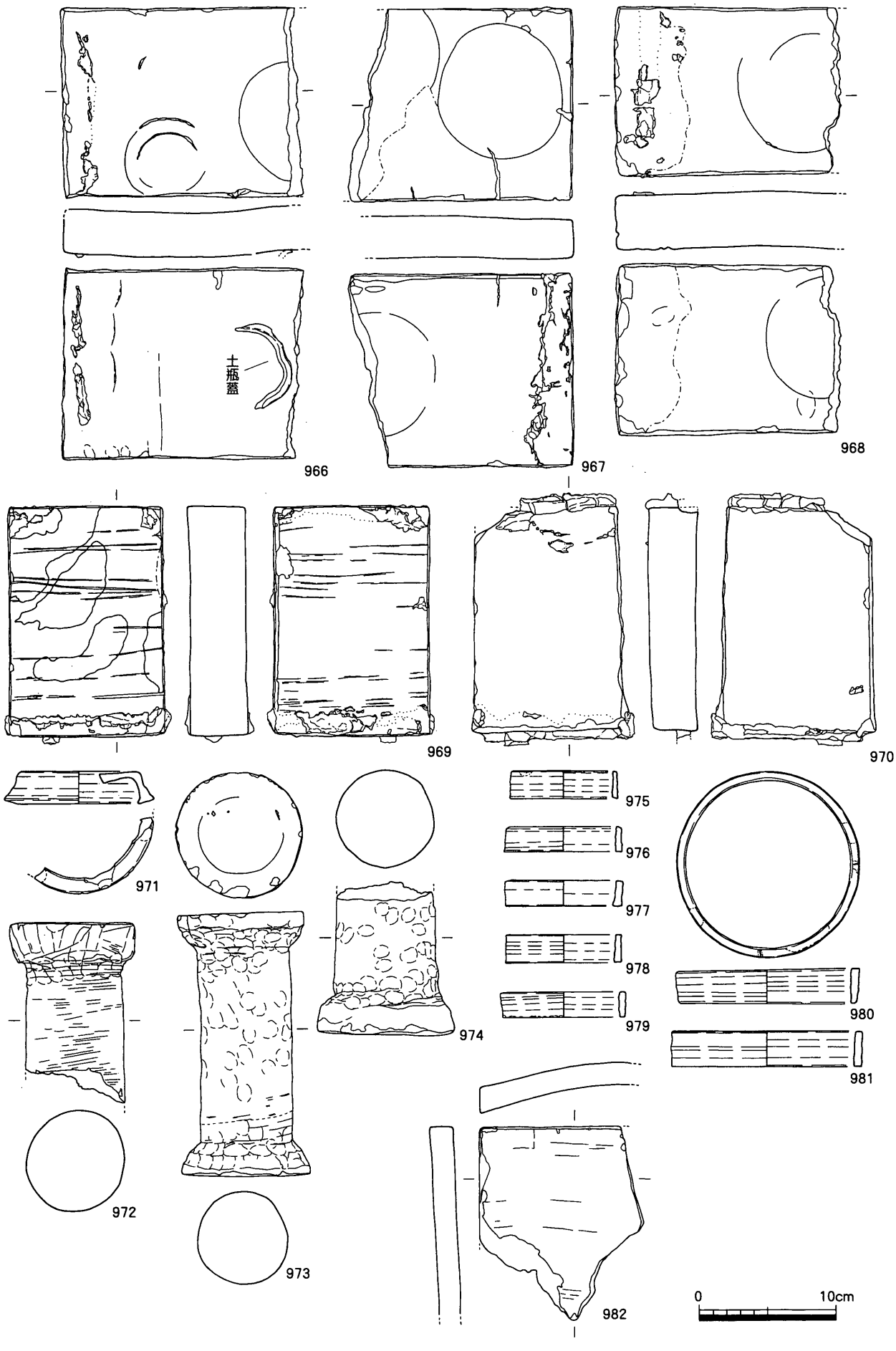
第127図　Ⅳ区ＳＸ04平・断面図（1/40），ＳＸ04出土遺物１（1/4）



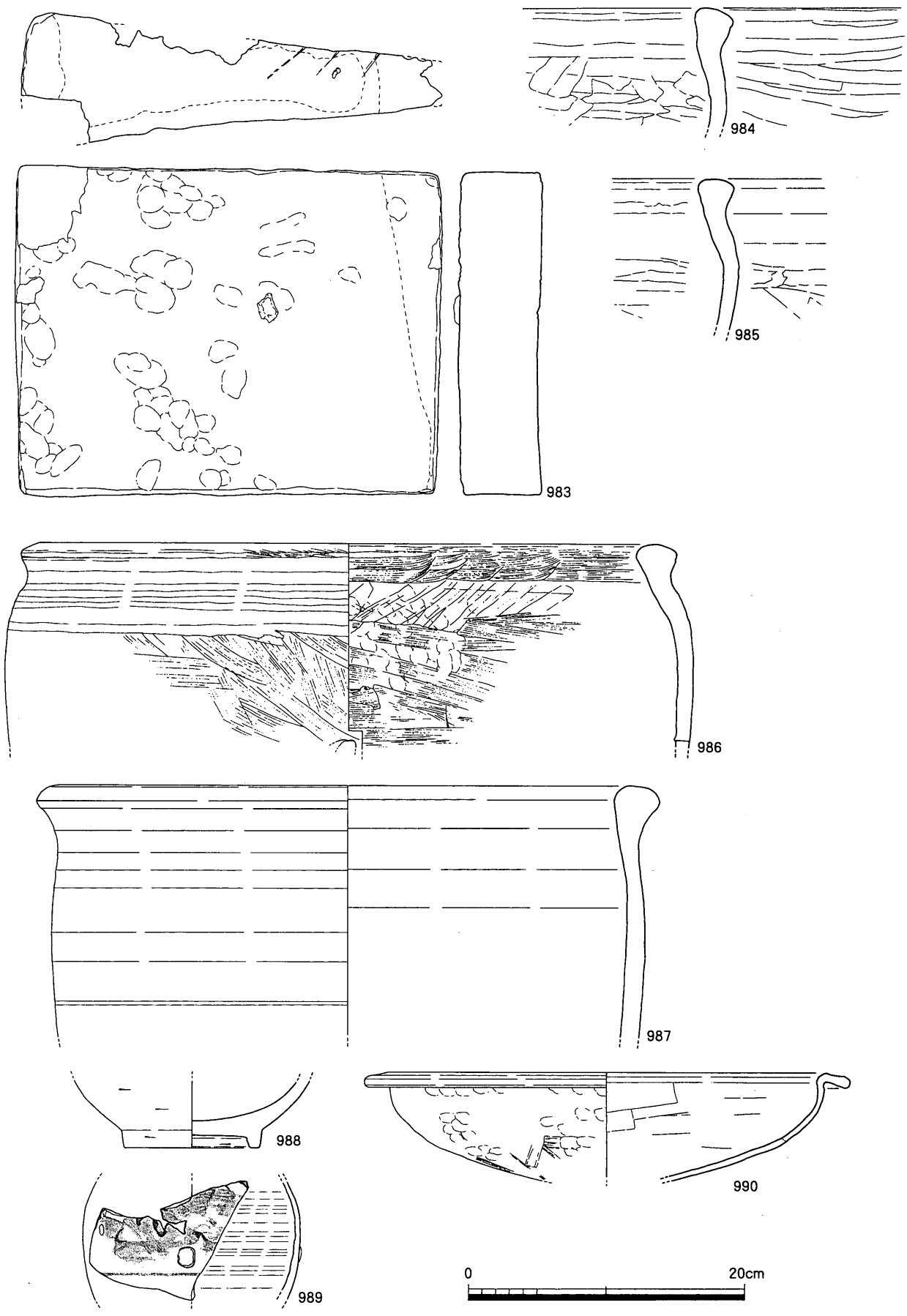
第128図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物２（1/4）



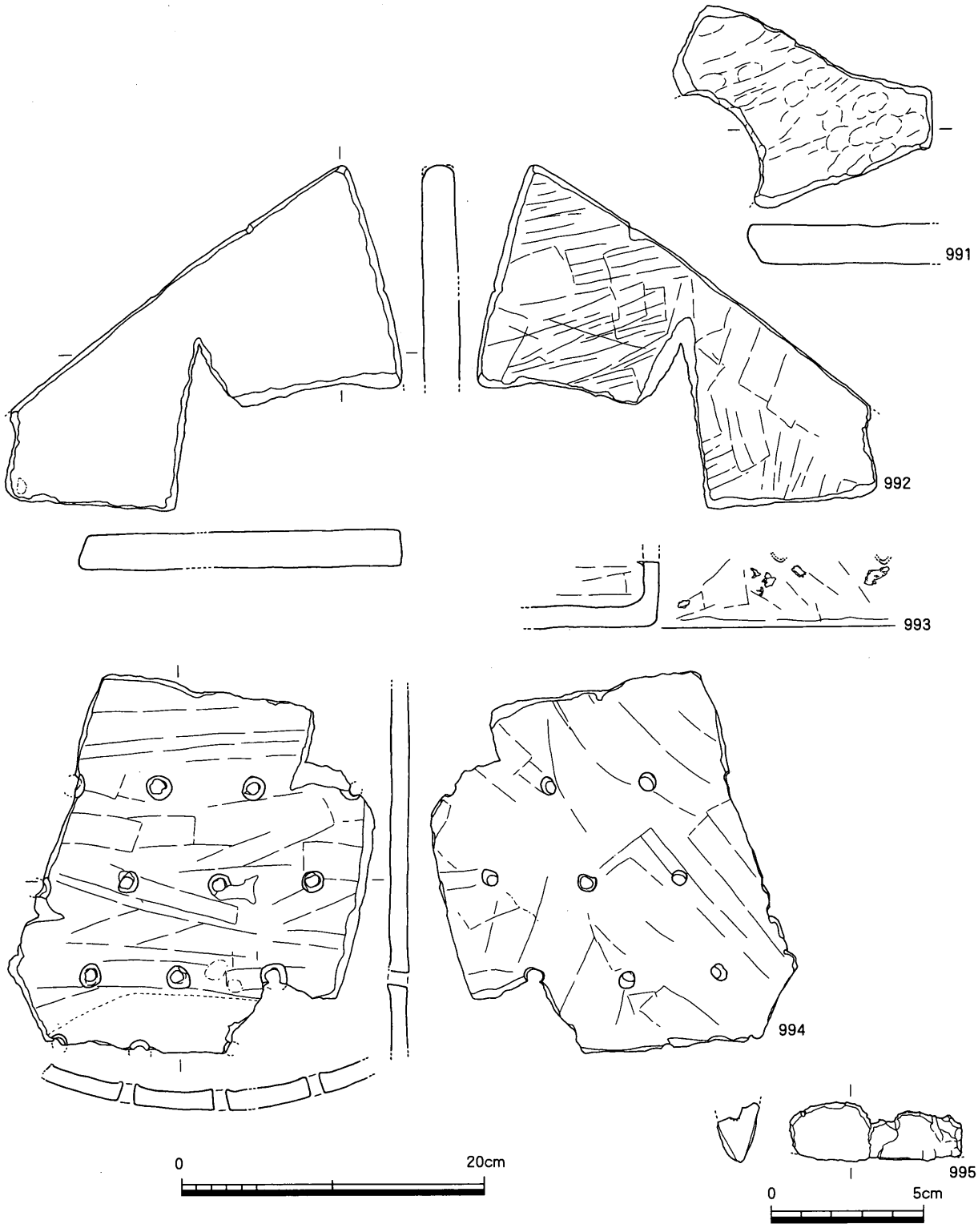
第129図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物３（1/4）



第130図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物４（1/4）

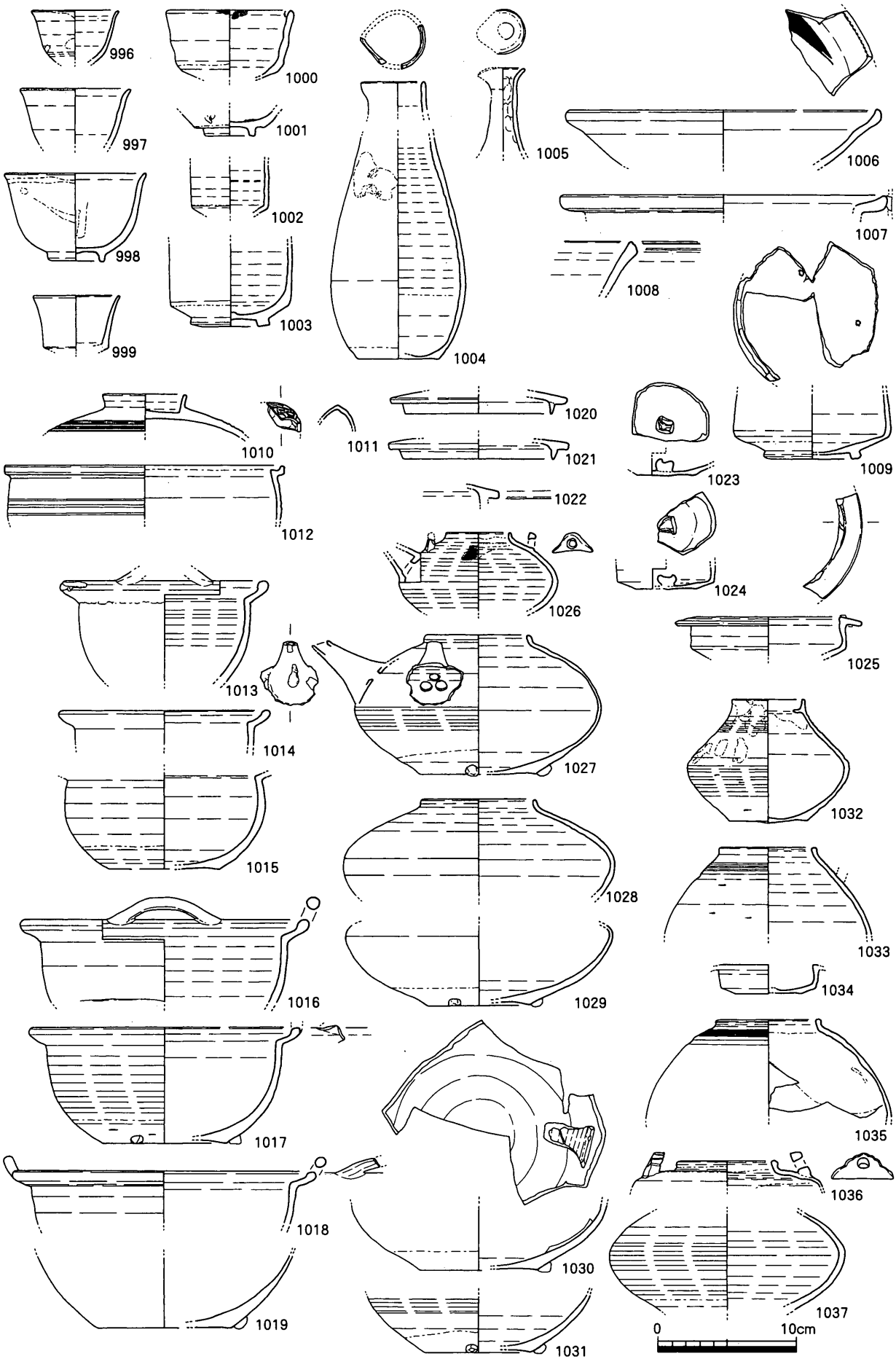


第131図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物５（1/4）

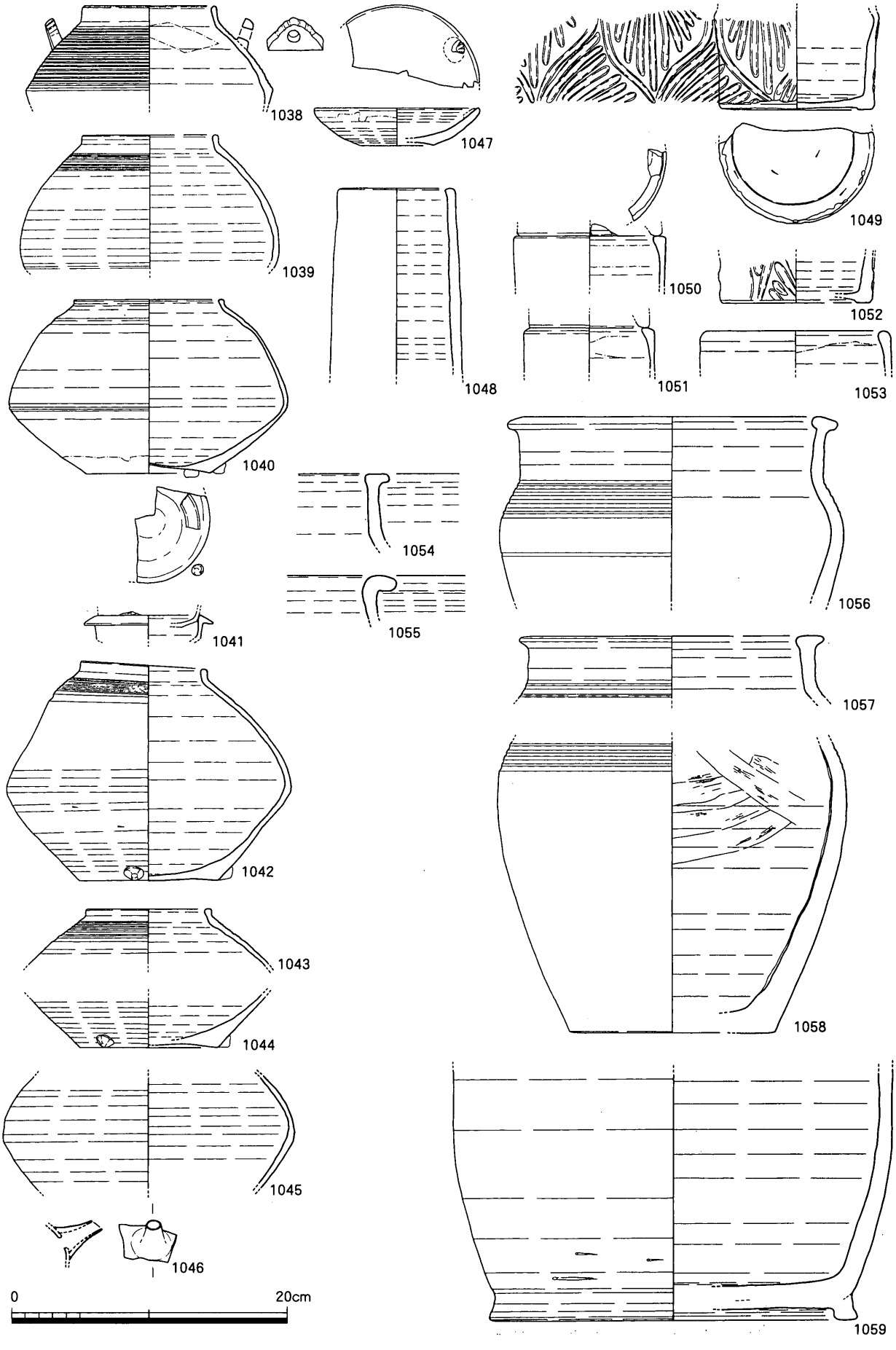


第132図　Ⅳ区ＳＸ04出土遺物6（1/4, 1/2）

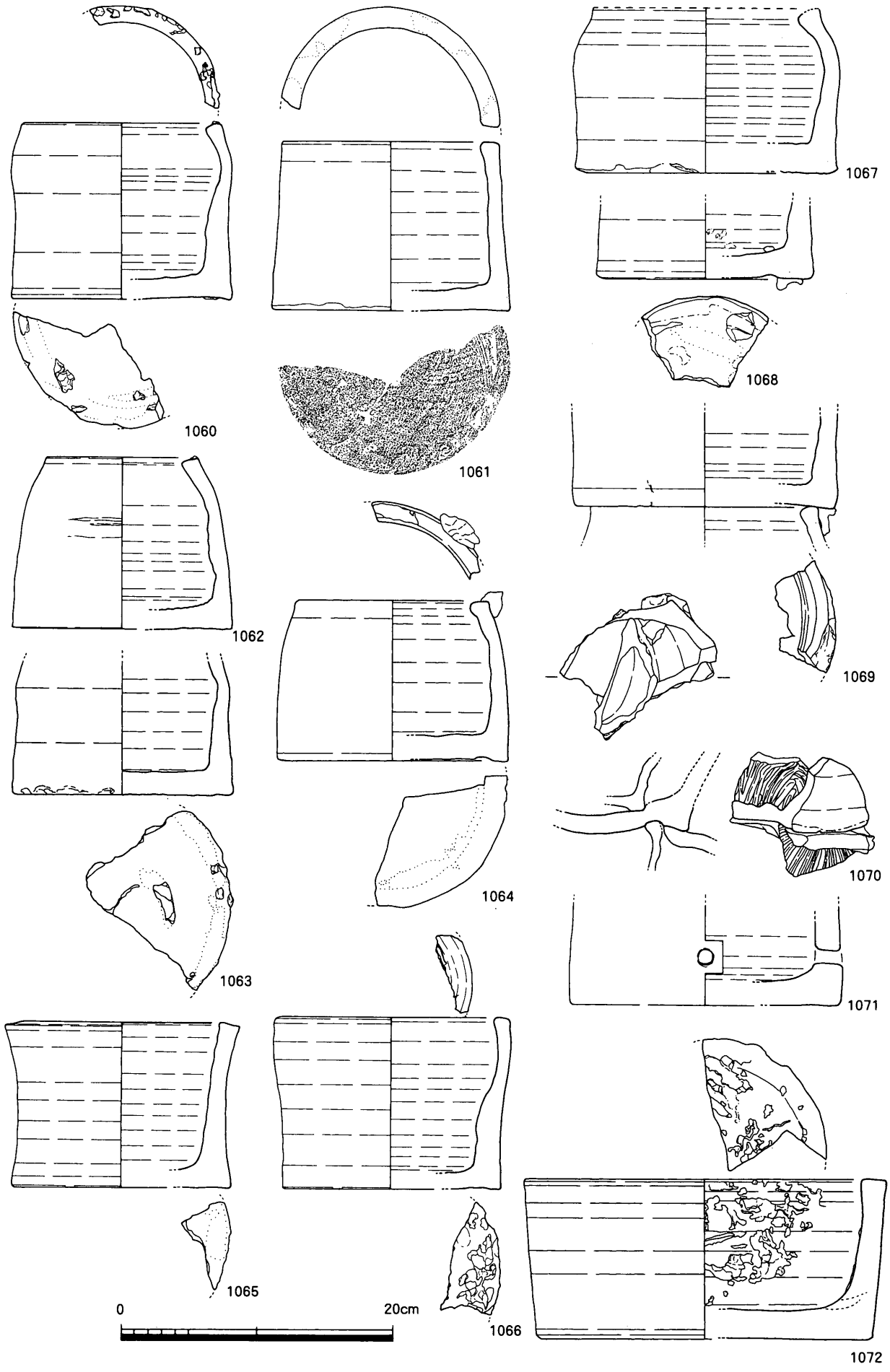
第133図　Ⅳ区ＳＸ05平・断面図（1/30）



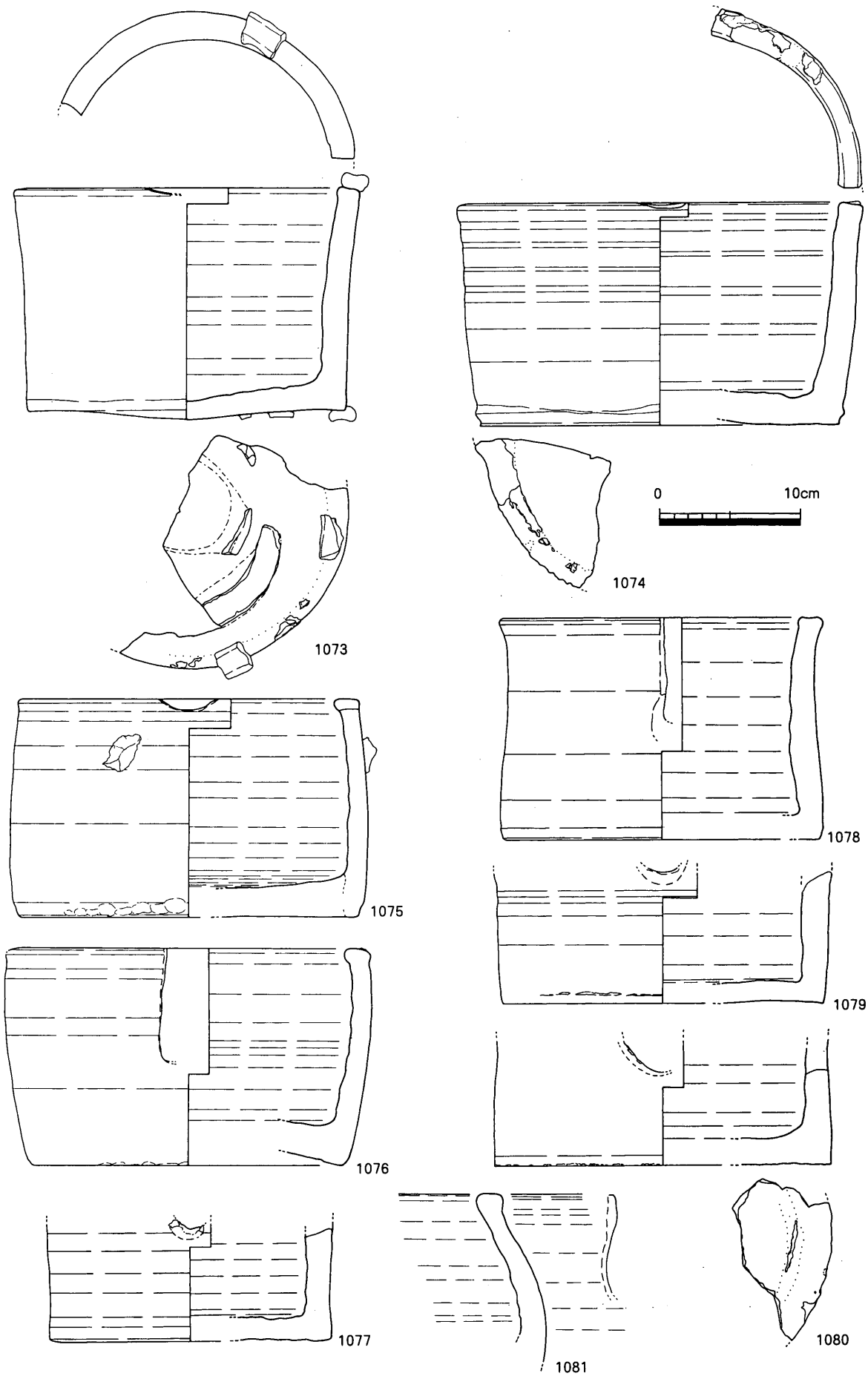
第134図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物１（1/4）



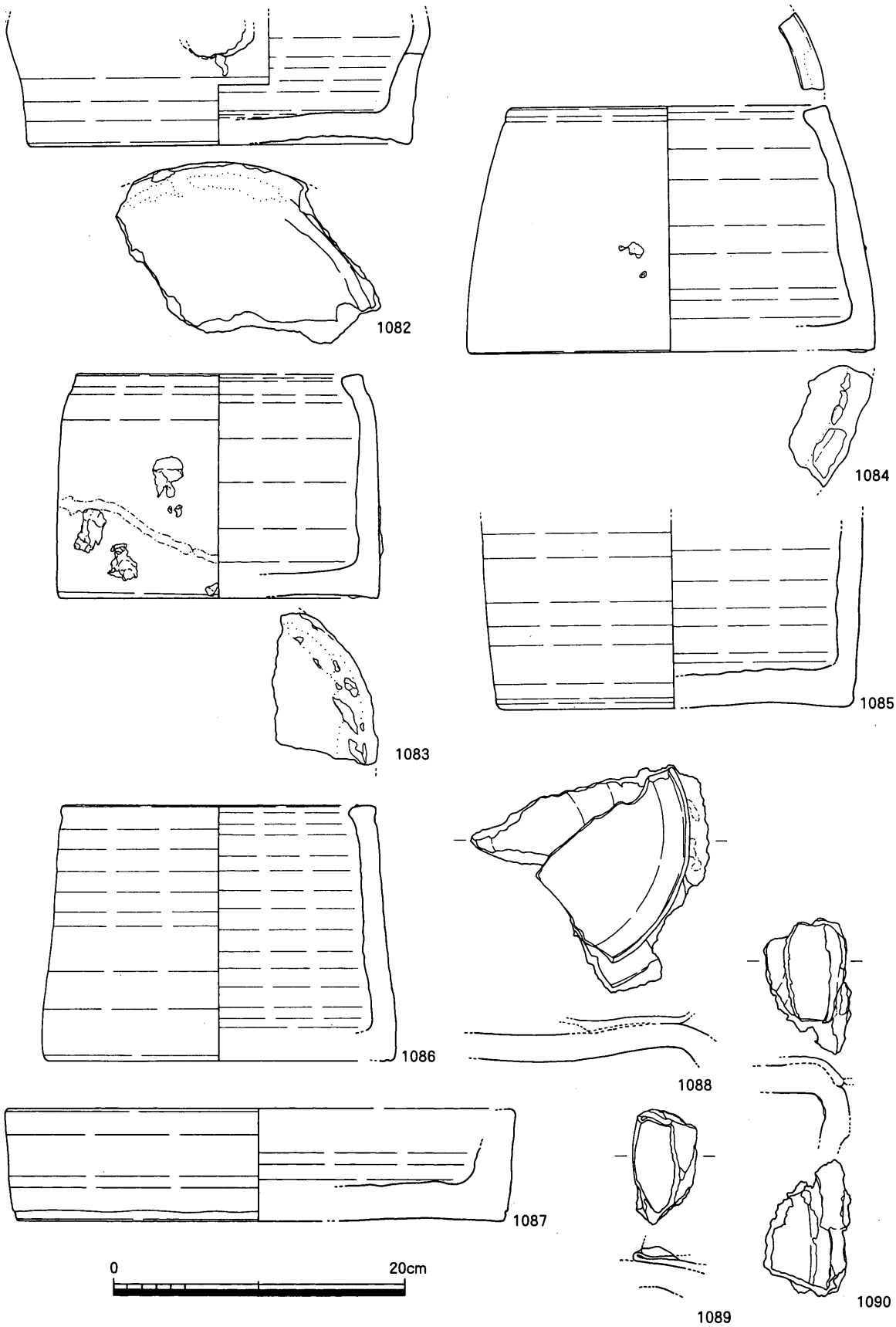
第135図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物２（1/4）



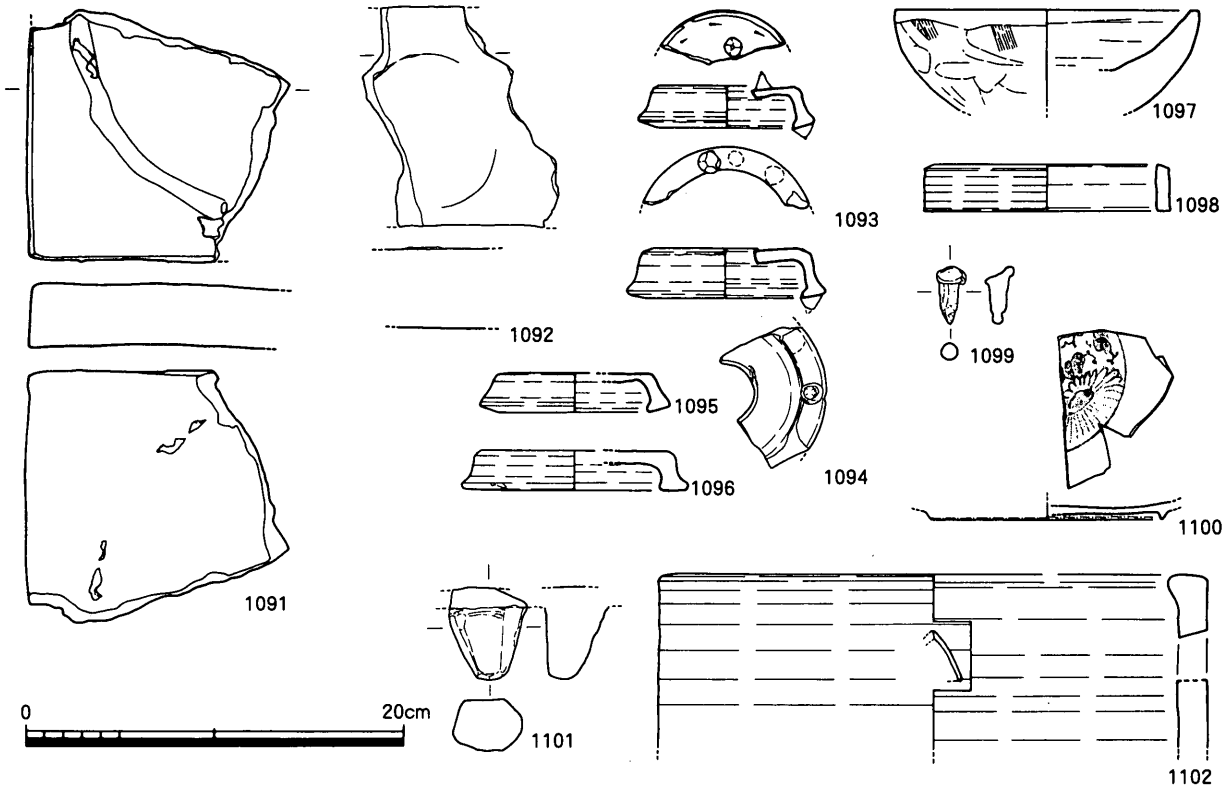
第136図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物３（1/4）



第137図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物４（1/4）



第138図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物５（1/4）



第139図　Ⅳ区ＳＸ05出土遺物６（1/4）

えられる。なお溝に集中する理由は地固めを行った推定される。

図化した出土遺物には陶器碗（996～1003）、徳利（1004．1005）、鉢（1006～1009）、鍋蓋（1010）、行平鍋（1011．1012）、鍋（1013～1019）、土瓶蓋（1020～1025．1034．1041）、土瓶（1026～1033．1035～1040．1042～1046）、灯明皿（1047）、花生（1048）、香炉（1049～1053）、甕（1054～1059）、サヤ鉢（小）（1060～1069）、サヤ鉢（中）（1071．1072）、サヤ鉢（大）（1073～1086）、サヤ鉢（浅）（1087）、敷き板（1091．1092）、焼き台（1093～1096）、型（1097）、円環状土製品（1098）、磁器皿（1100）がある。1030の土瓶底部内面には碗が付着する。おそらく土瓶内で焼成されたと考えられる。1047は菊花の浮文をもつ。1088～1090のサヤ鉢底部内面には土瓶が付着する。1097の型の底部内面は上方に小さく突出する。体部の傾きから見て土瓶用と考えられる。1102のサヤ鉢には推定三角形の抉りを加える。

ＳＸ06（第140図）

調査区の中央部南端で検出した遺構である。平面形は中央でくびれるいびつな隅丸方形である。規模は長径3.76ｍ、短径2.4ｍ、深さ25㎝を測る。断面形は３段の階段状になっており、北側で土坑状に小さくくぼむ。

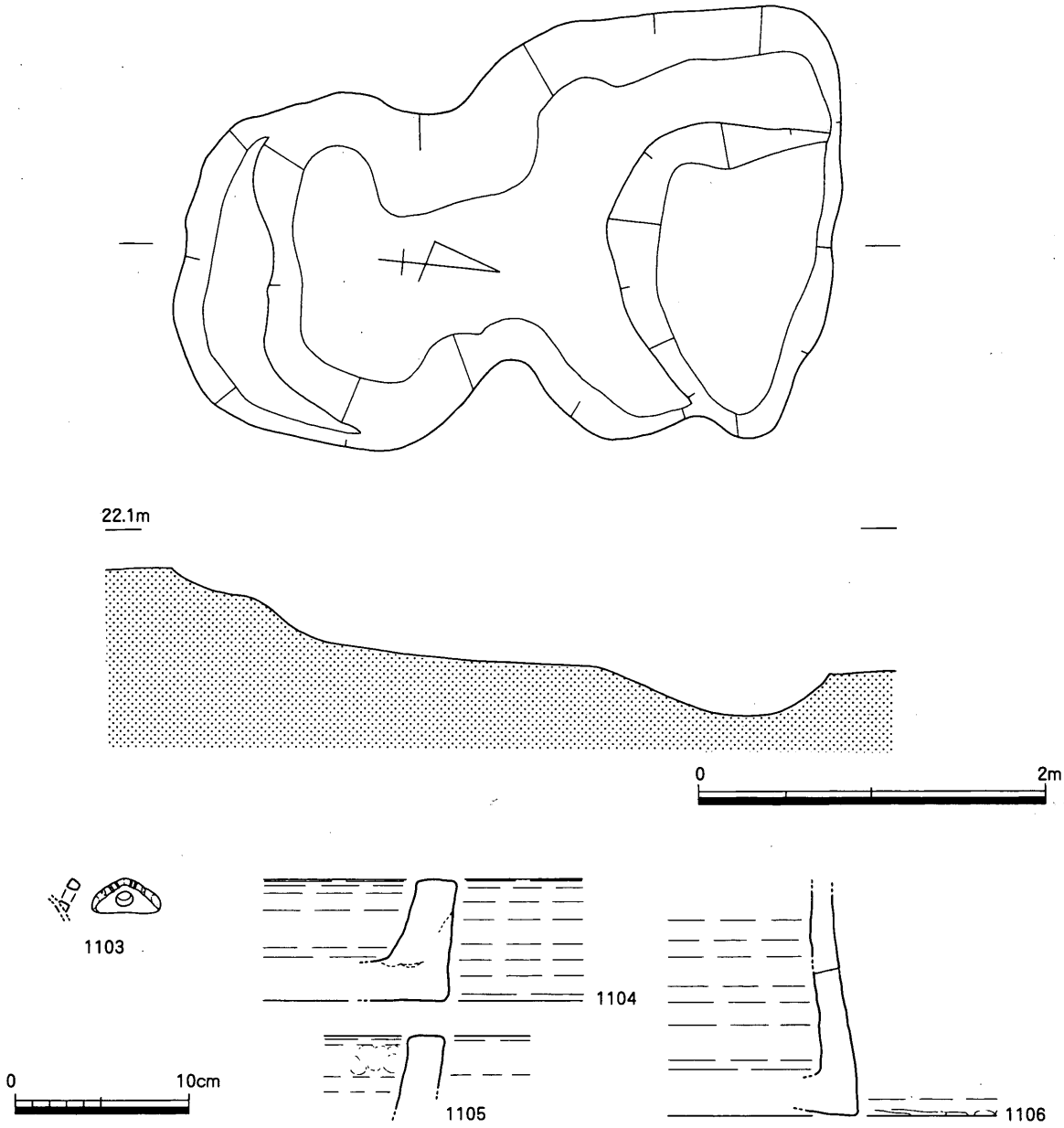
図化した出土遺物には土瓶（1103）、サヤ鉢（浅）（1104）、サヤ鉢（大）（1106）がある。

遺構外出土遺物（第141～156図）

先述のグリッドごとに区分して出土遺物を説明する。

〈Ａ１ａ、Ａ１ｂ〉

図化した出土遺物には陶器鉢（1107）、鍋（1108）、土瓶蓋（1109）、土瓶（1110）、甕（1111～1113）、焼き台（1114．1115）、磁器徳利（1116）がある。1111の甕の底部外面には離れ砂が付着しており床面に直置きされたことが窺える。



第140図　Ⅳ区ＳＸ06平・断面図（1/40），出土遺物（1/4）

〈Ａ２ａ、Ａ２ｂ〉

図化した出土遺物には陶器碗（1118～1120）、鉢（1121）、土瓶（1122）、灯明皿（1123）などがある。1119は胎土的には谷の陶器と見られるが貼り付け高台であり内面をミガく。

〈Ａ２ｃ、Ａ３ｃ、Ａ３ｄ〉

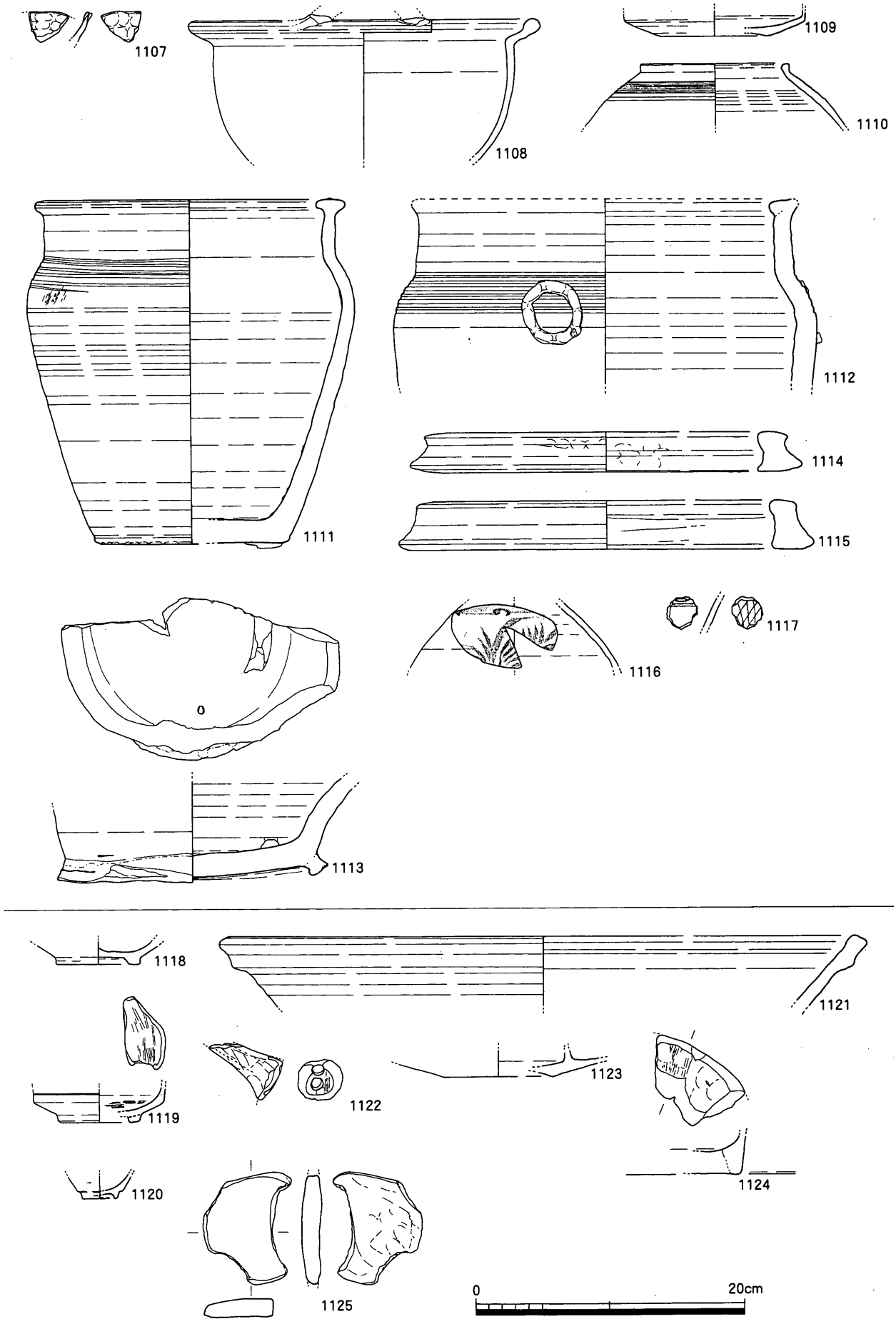
図化した出土遺物には堺・明石産すり鉢（1126）、サヤ鉢（1127）、型（1128）、陶器碗（1129）、磁器碗（1130）、桶窯の矢（1131）がある。

〈Ａ３ａ、Ａ３ｂ〉

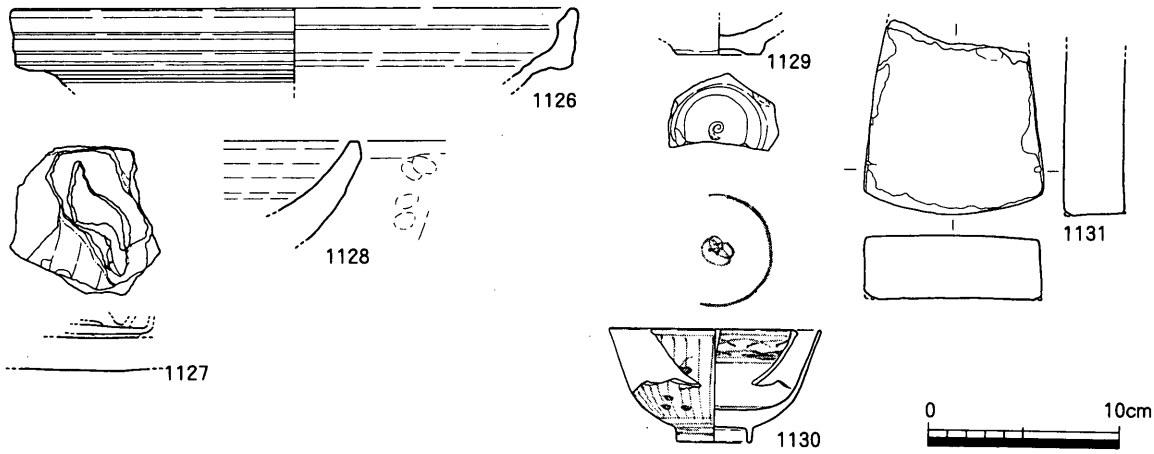
図化した遺物には陶器灯明皿（1132）、すり鉢（1133）、サヤ鉢（小）（1134. 1135. 1137）、また他地域産の碗（1138、1139）、鉢（1140）、土師質土器甕（1141）、砥石（1142）がある。1142は下面に研磨痕が顕著である。

〈Ａ3b、Ａ4a、Ａ4b、撹乱2〉

図化した遺物には鉢（1143）、土瓶蓋・土瓶（1144）、灯明皿（1146）、甕（1147. 1148）、サヤ鉢（小）（1149. 1150）、敷き板（1151）、焼き台（1152）、型（1153. 1154）、京・信楽系陶器碗（1155）、陶器碗（1156）磁器碗（1159）、土瓶蓋（1157）、土瓶（1158）、皿（1160. 1161）、桶窯の矢（1162～1164）がある。1164は左面に軟質施釉陶器の付着痕が見られる。182の鍋蓋と法量、釉の色調は類似する。



第141図　Ⅳ区包含層 A1a・A1b, A2a・A2b 出土遺物 (1/4)



第142図　Ⅳ区包含層 A2c・A3c・A3d 出土遺物（1/4）

〈B 1〉

図化した遺物には陶器土瓶（1165）、サヤ鉢（大）（1166）、トチン（1167. 1168）がある。

〈B 1・C 1〉

図化した遺物には陶器甕（1169. 1170）がある。1170の高台下面には粘土塊が付着する。

〈B 2〉

図化した遺物には陶器行平鍋（1171）、鍋蓋（1172）、鍋（1173. 1174）、茶入れ（1175）、碗（1177）サヤ鉢（小）（1178）、サヤ鉢（大）（1179）、敷き板（1181. 1182）、焼き台（1183）がある。

〈B 3〉

図化した出土遺物には軟質施釉陶器蓋（1186）、陶器鍋（1184）、土瓶蓋（1185. 1187）、茶入れ（1188）、甕（1189）、サヤ鉢（小）（1190. 1192）、敷き板（1193～1197）、ワトチ（1198）、ドーナツ状焼き台（1199）、焼き台（1200. 1201）、型（1202）、ロクロ軸受け（1203）、堺・明石産すり鉢（1204）、他地域産陶器皿（1205）などがある。1193の敷き板は外部に陶器・窯道具痕が延びる。1199のドーナツ状焼き台の下面には陶器片、ピンが付着する。

〈B 4〉

図化した出土遺物には軟質施釉陶器鍋蓋（1238）、陶器碗（1207～1213）、汁次（1214）、徳利（1215）、鉢（1216～1224）、行平鍋（1225）、鍋（1226～1235）、茶入れ（1236. 1237）、蓋（1239～1241. 1246）、土瓶蓋（1242～1244）、土瓶（1245. 1248～1251）、花生（1247）、香炉（1252～1260）、仏花瓶（1261. 1262）、合子（1263）、水注？（1264）、甕（1266～1268）、サヤ鉢（小）（1269～1272）、サヤ鉢（中）（1273）、サヤ鉢（大）（1274. 1275. 1277）、敷き板（1280～1285）、トチン（1286）、焼き台（1287）、型（1288～1290）、他地域産陶器碗（1291）、肥前系陶器鉢（1292）、磁器皿（1293）、土師質土器甕（1295）、土師器皿（1296）、桶窯の矢（1300）、鉄鋸（1301）などがある。1290は亀の合子用の型である。

〈B 4・C 4〉

図化した遺物にはサヤ鉢（小）（1308. 1309）、サヤ鉢（大）（1310～1312）、敷き板（1314）、トチン（1315. 1316）がある。

〈C 1〉

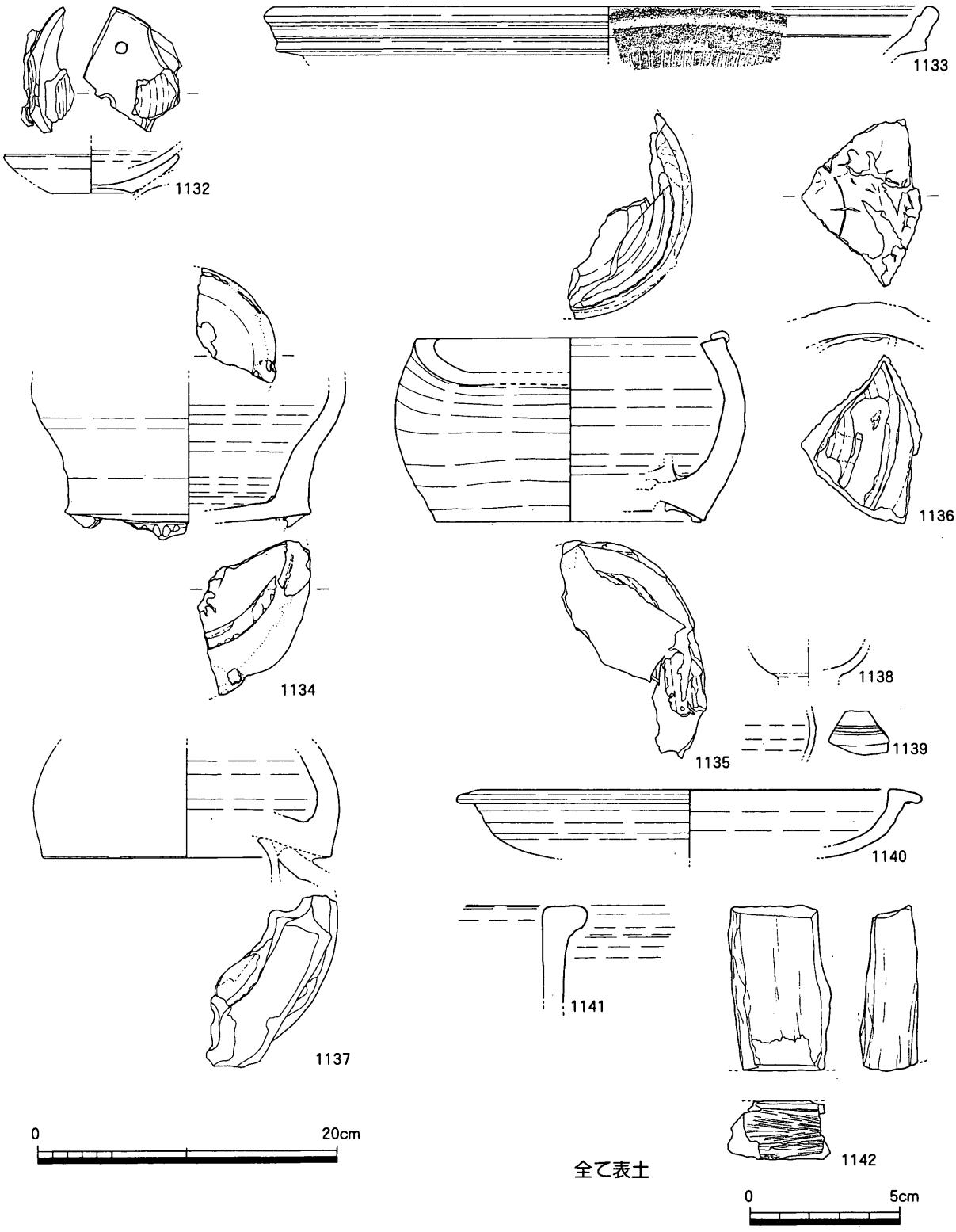
図化した遺物には陶器鉢（1317）、サヤ鉢（小）（1319）、敷き板（1320）などがある。

〈C 2〉

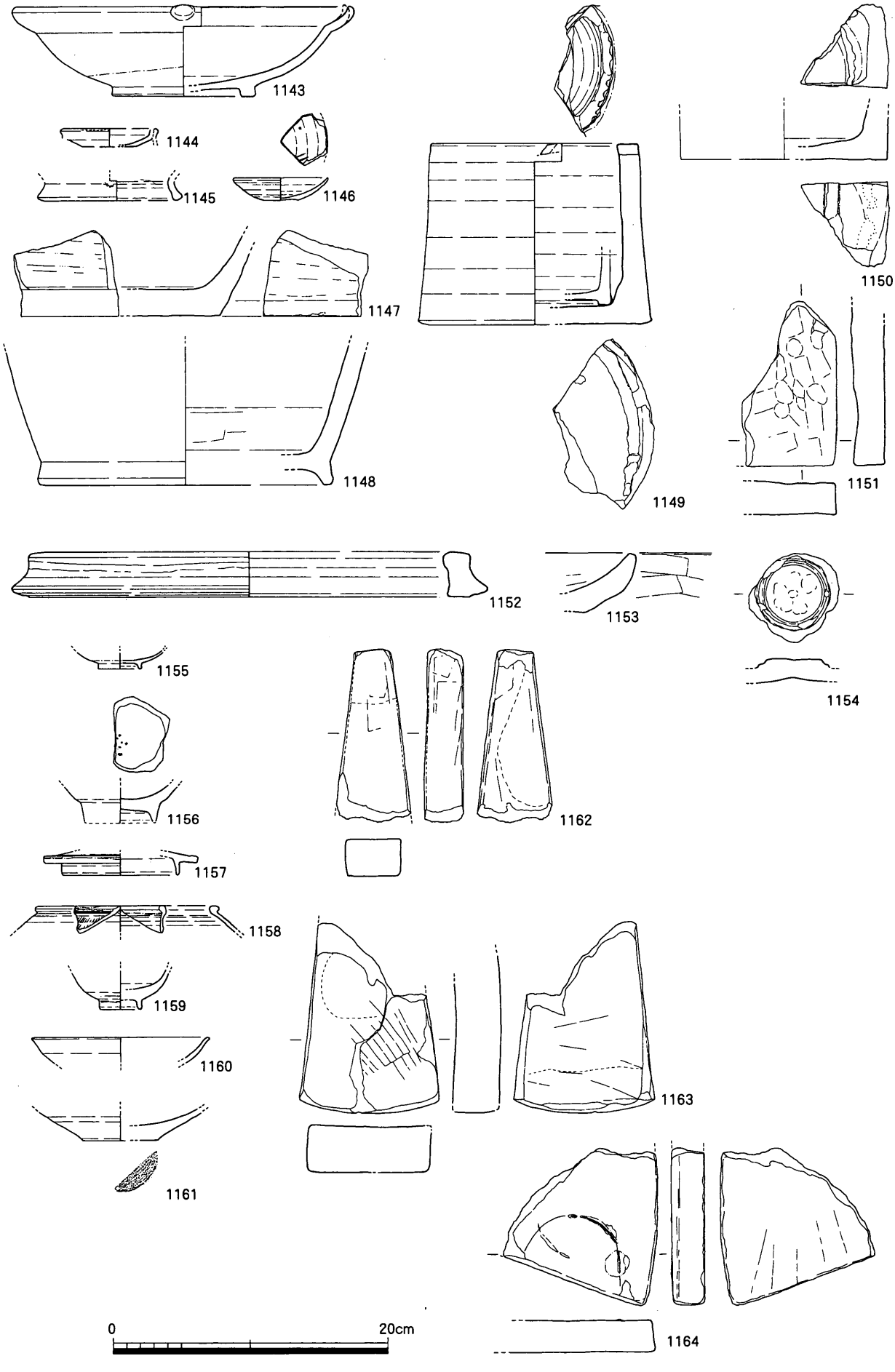
図化した遺物には須恵器杯（1322）、壺（1323）、色身穴塞ぎ（1324）、サヤ鉢（大）（1325）がある。

〈C 3、C 4〉

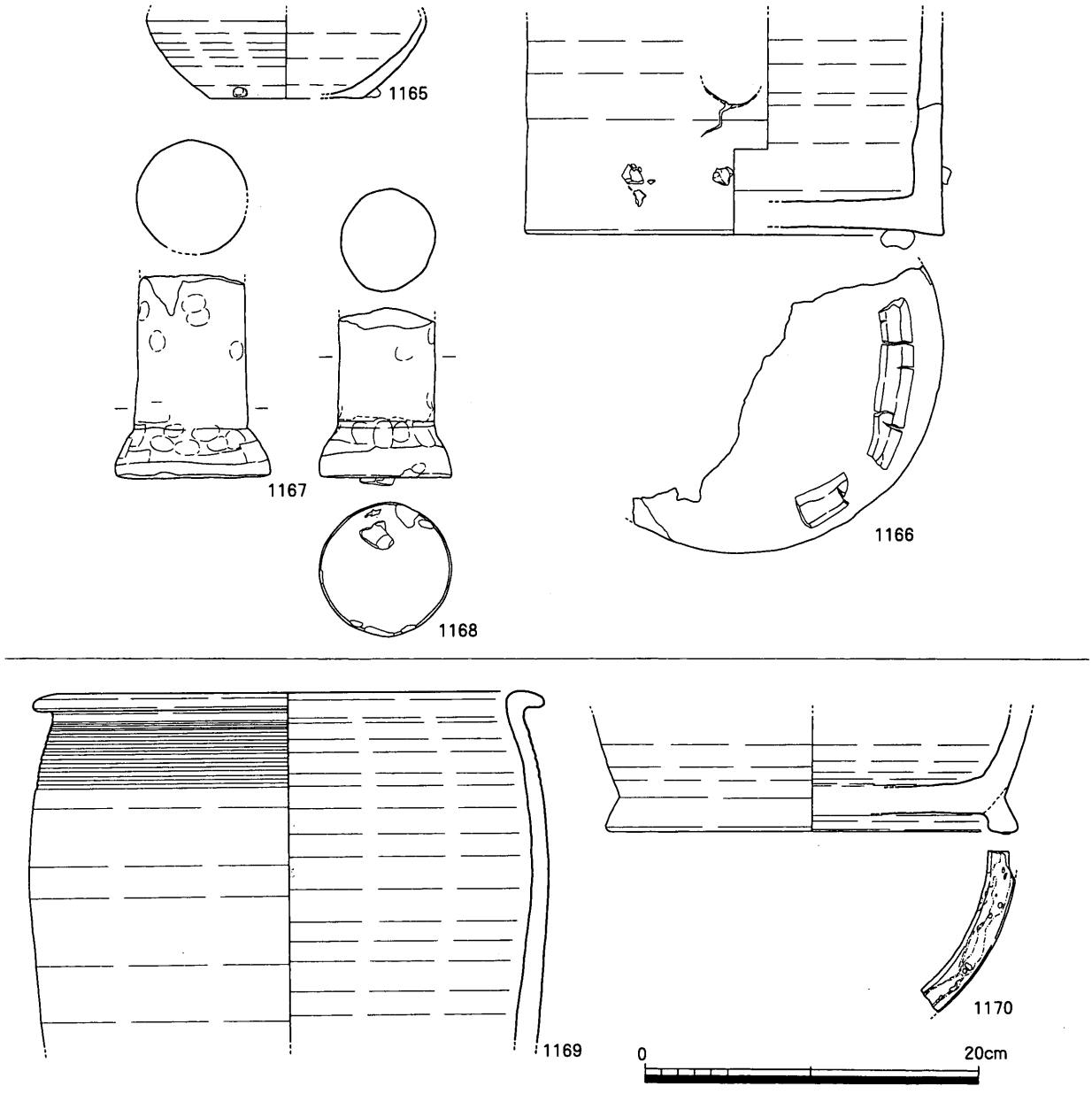
図化した遺物には陶器甕（1337. 1338）、サヤ鉢（大）（1339）、トチン（1340）、他地域産磁器碗（1341）などがある。



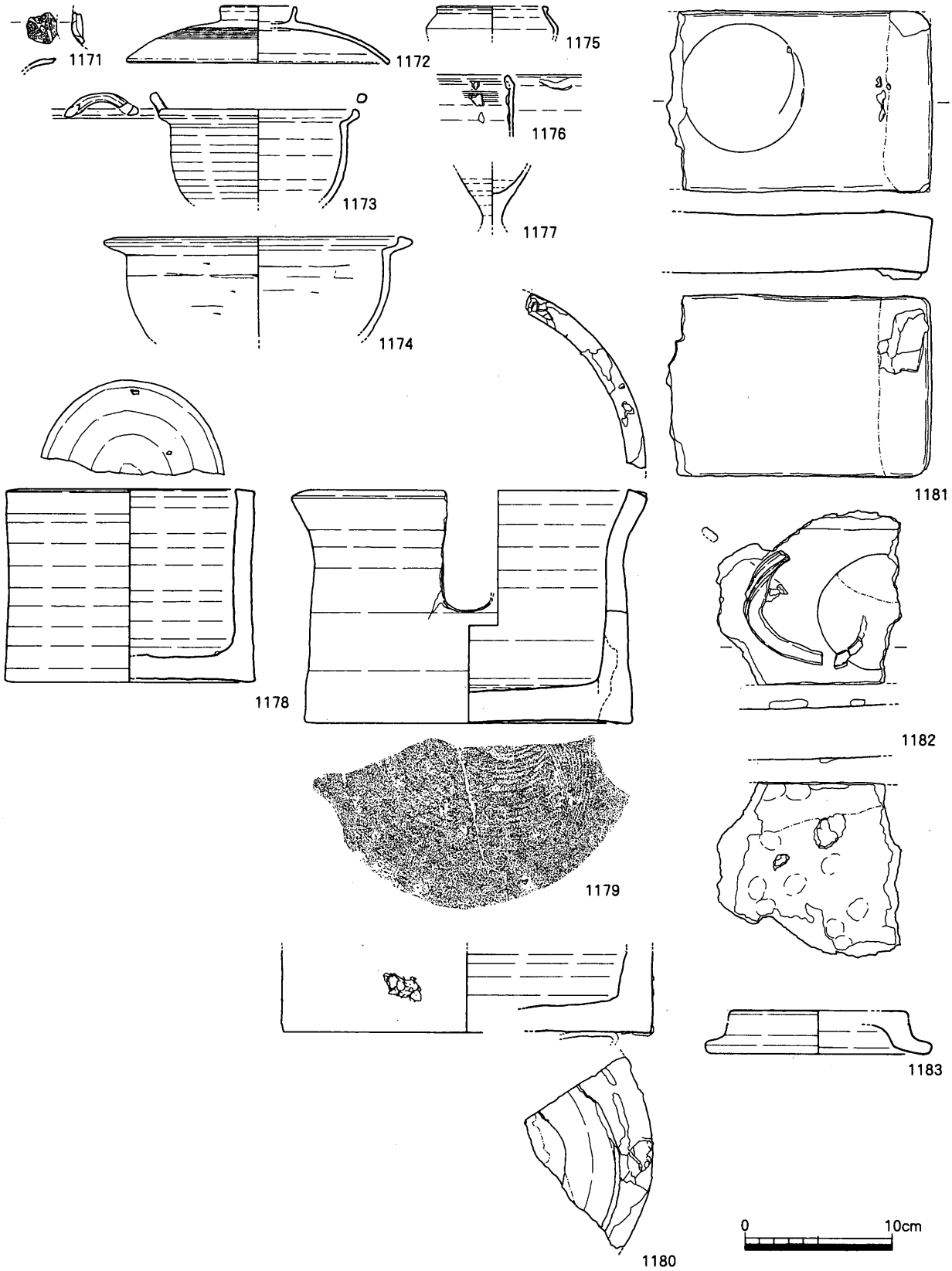
第143図　Ⅳ区包含層 A3a・A3b 出土遺物（1/4, 1/2）



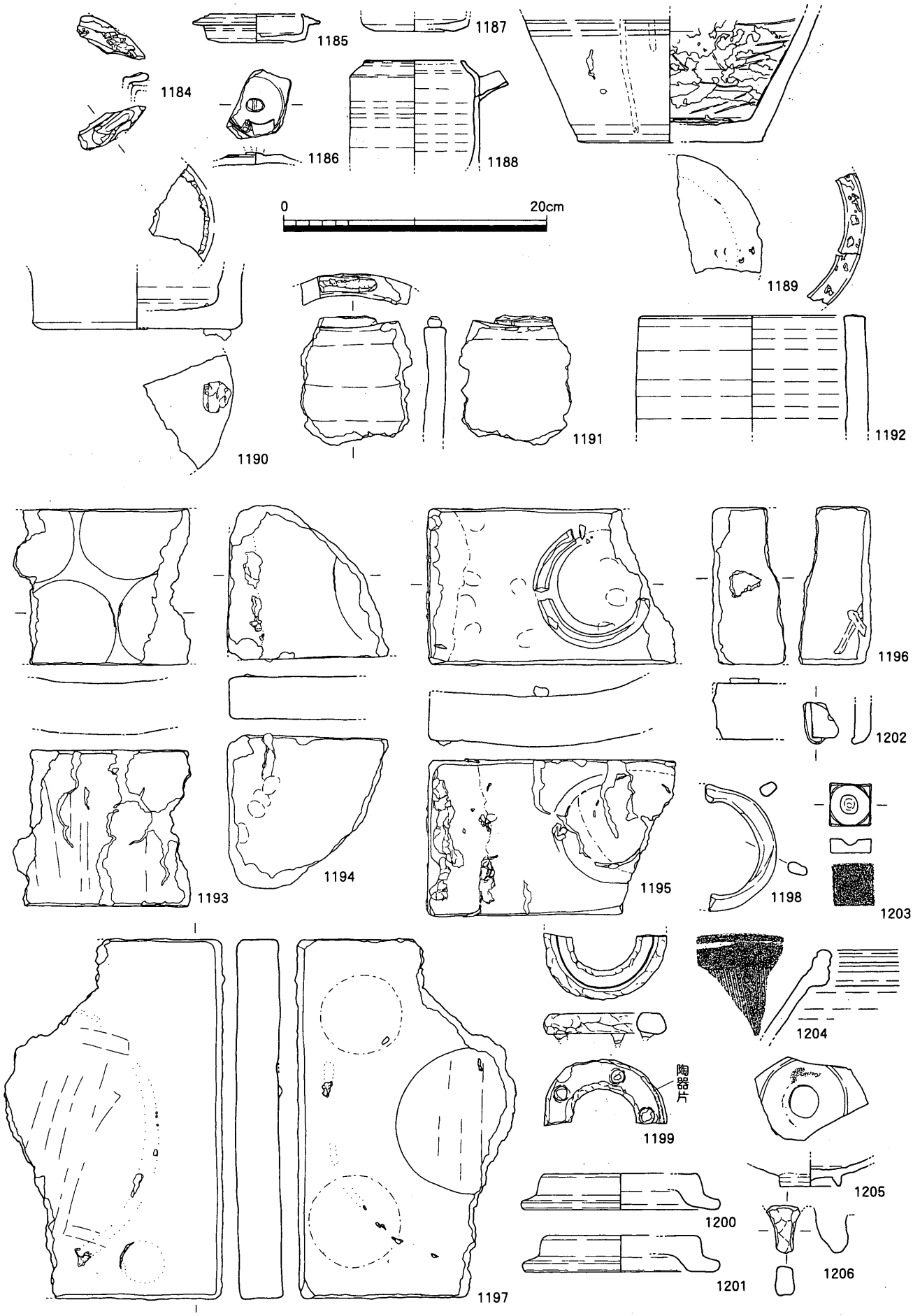
第144図　Ⅳ区包含層 A3b, A4a・A4b, 撹乱2出土遺物（1/4）



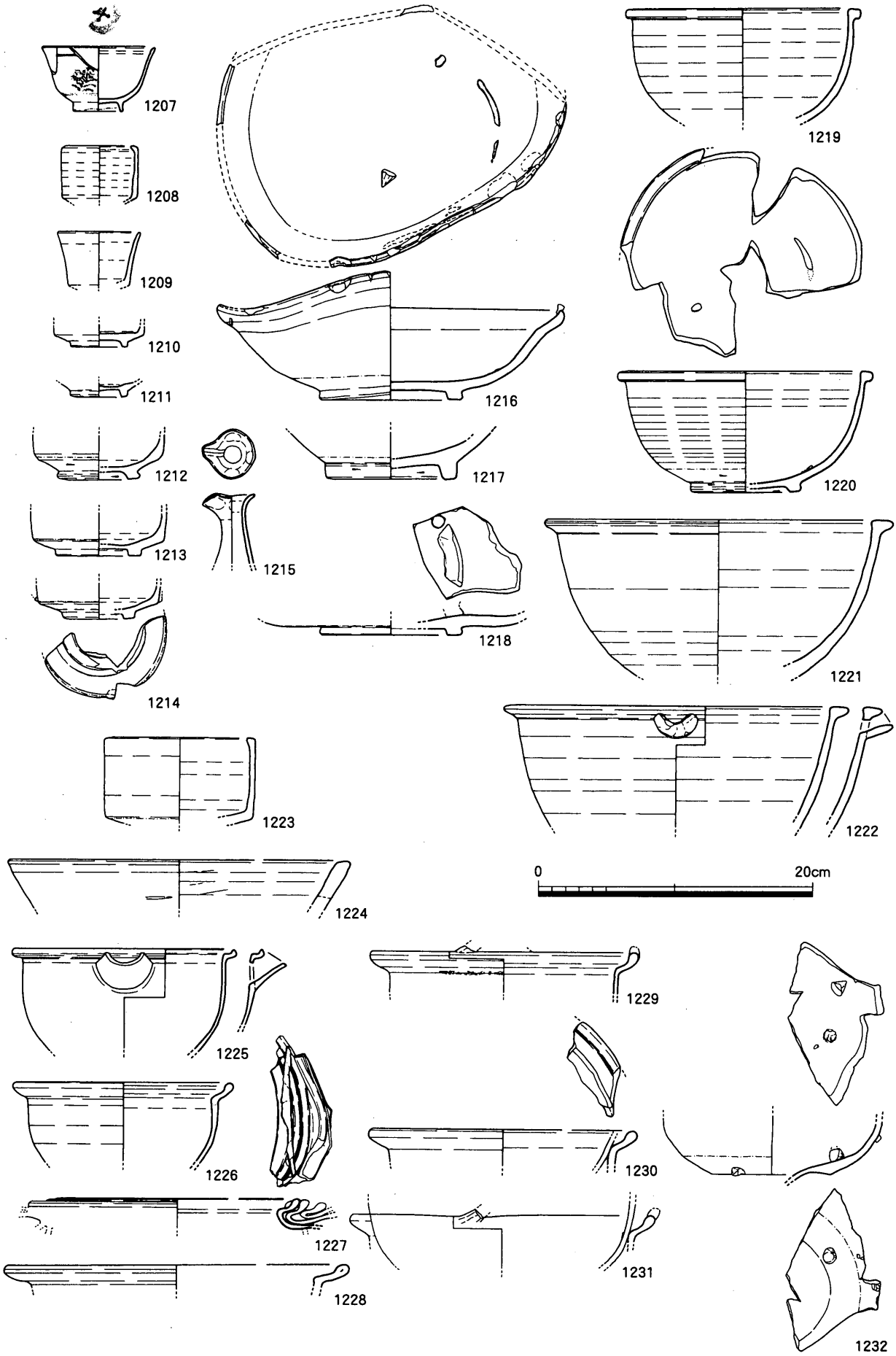
第145図　Ⅳ区包含層B1，B1・C1出土遺物（1/4）



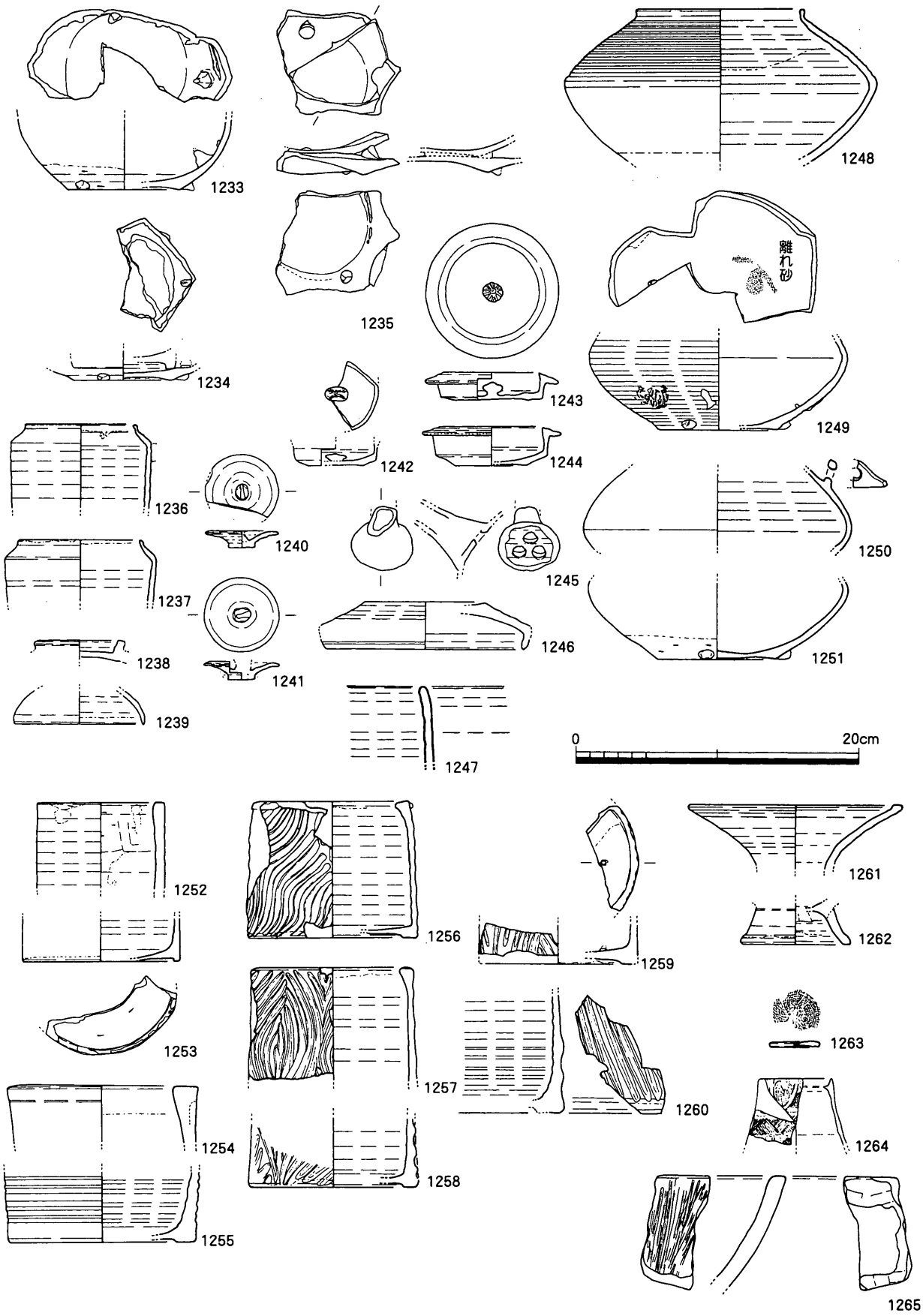
第146図　Ⅳ区包含層B2出土遺物（1/4）



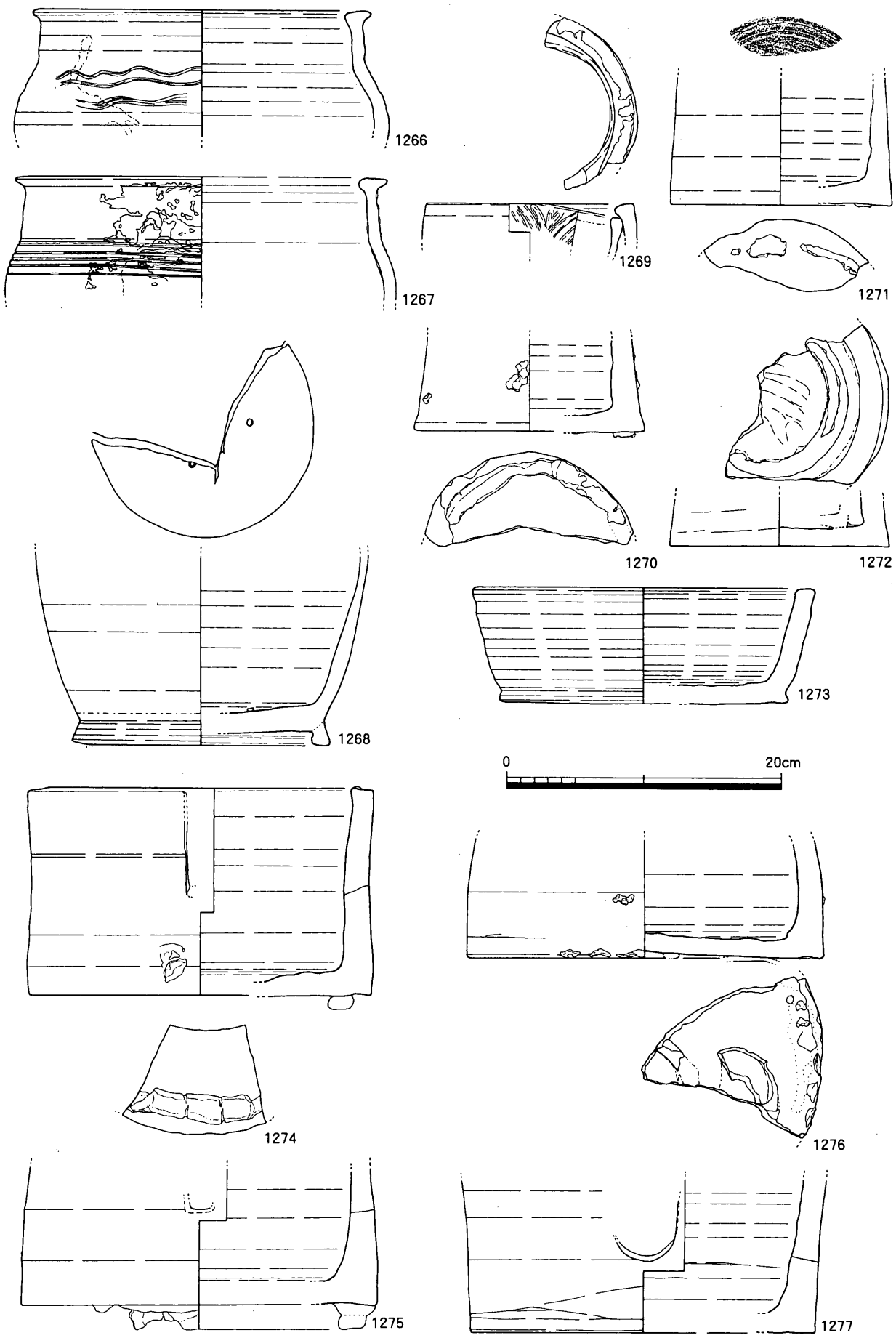
第147図　Ⅳ区包含層B3出土遺物（1/4）



第148図　Ⅳ区包含層B4出土遺物1（1/4）

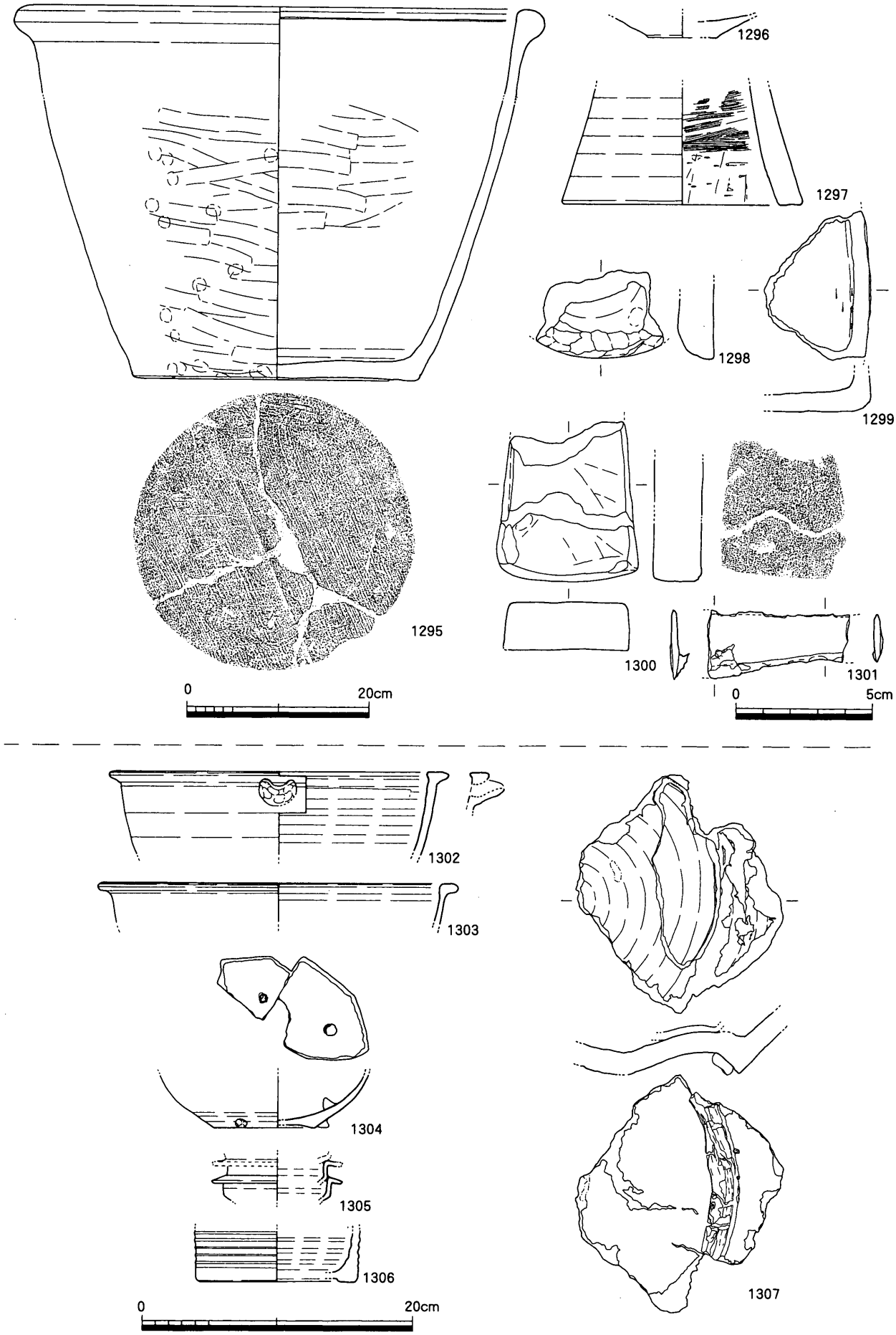


第149図　Ⅳ区包含層B4出土遺物2（1/4）

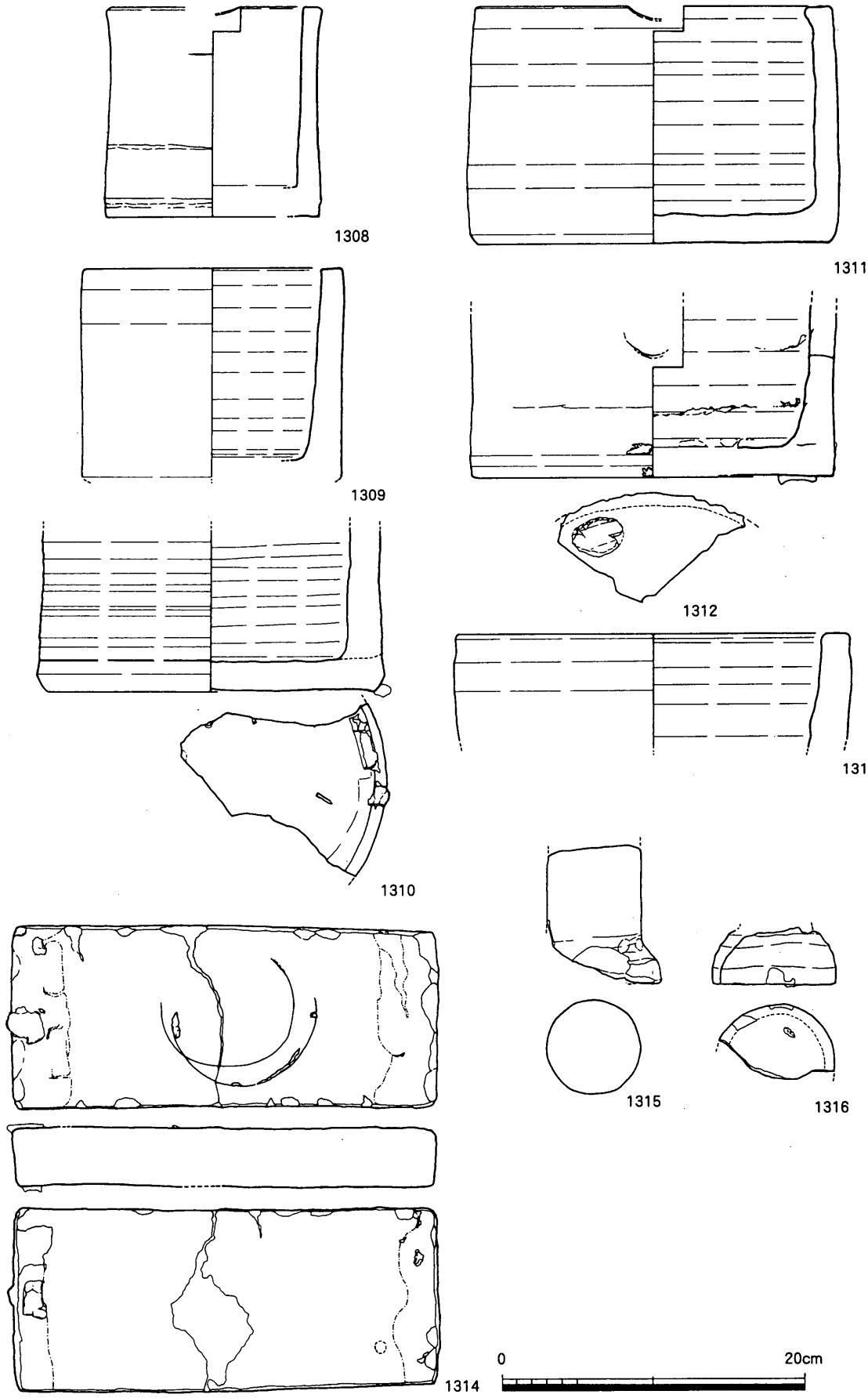


第150図　Ⅳ区包含層B4出土遺物3（1/4）

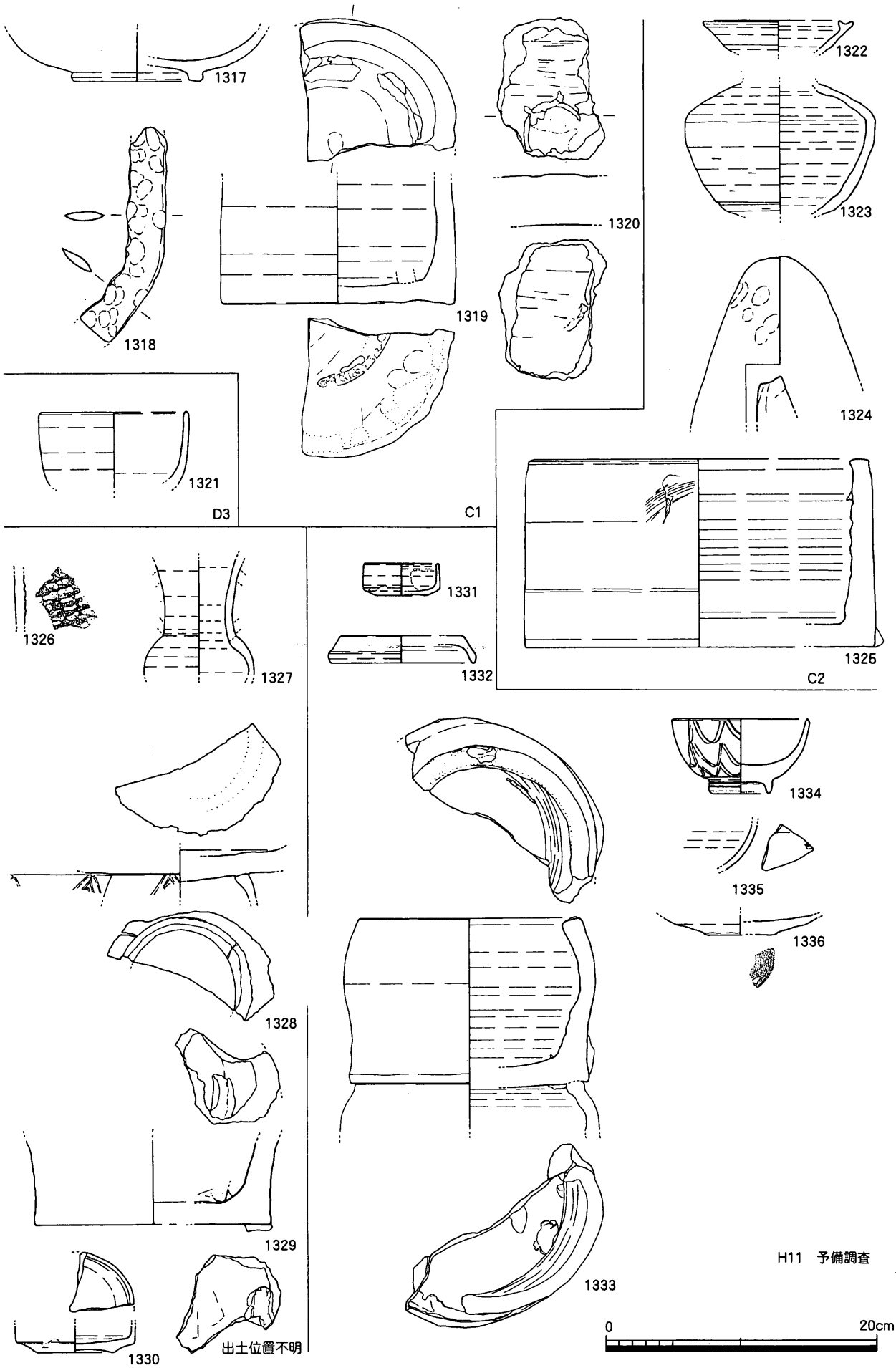
第151図　Ⅳ区包含層B4出土遺物4（1/4）



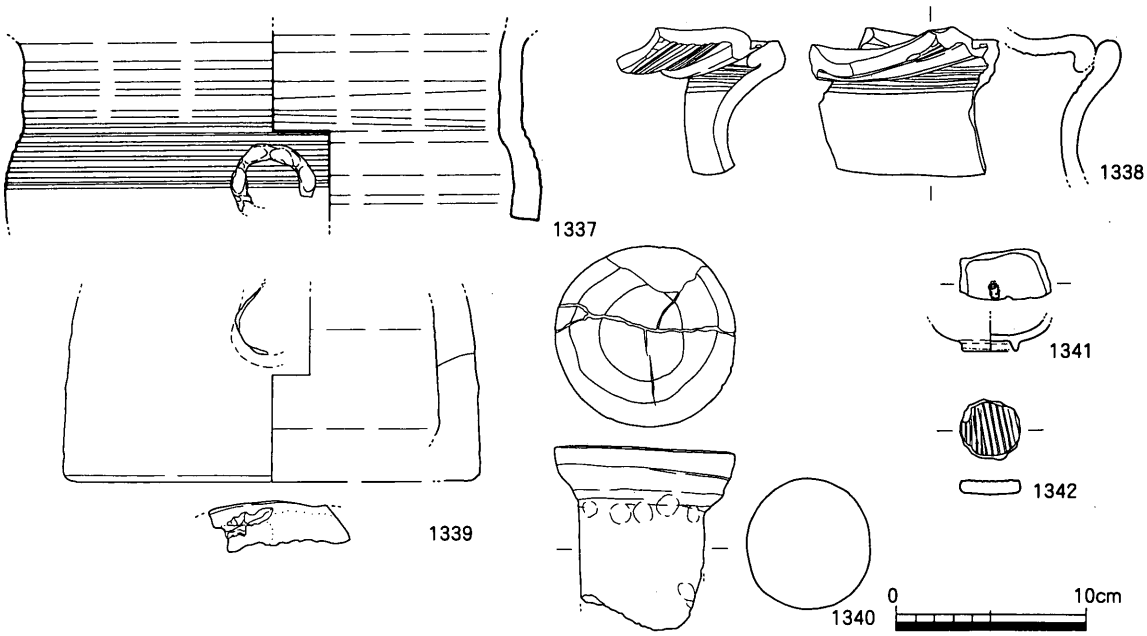
第152図　Ⅳ区包含層B4出土遺物5（1/6, 1/4, 1/2）



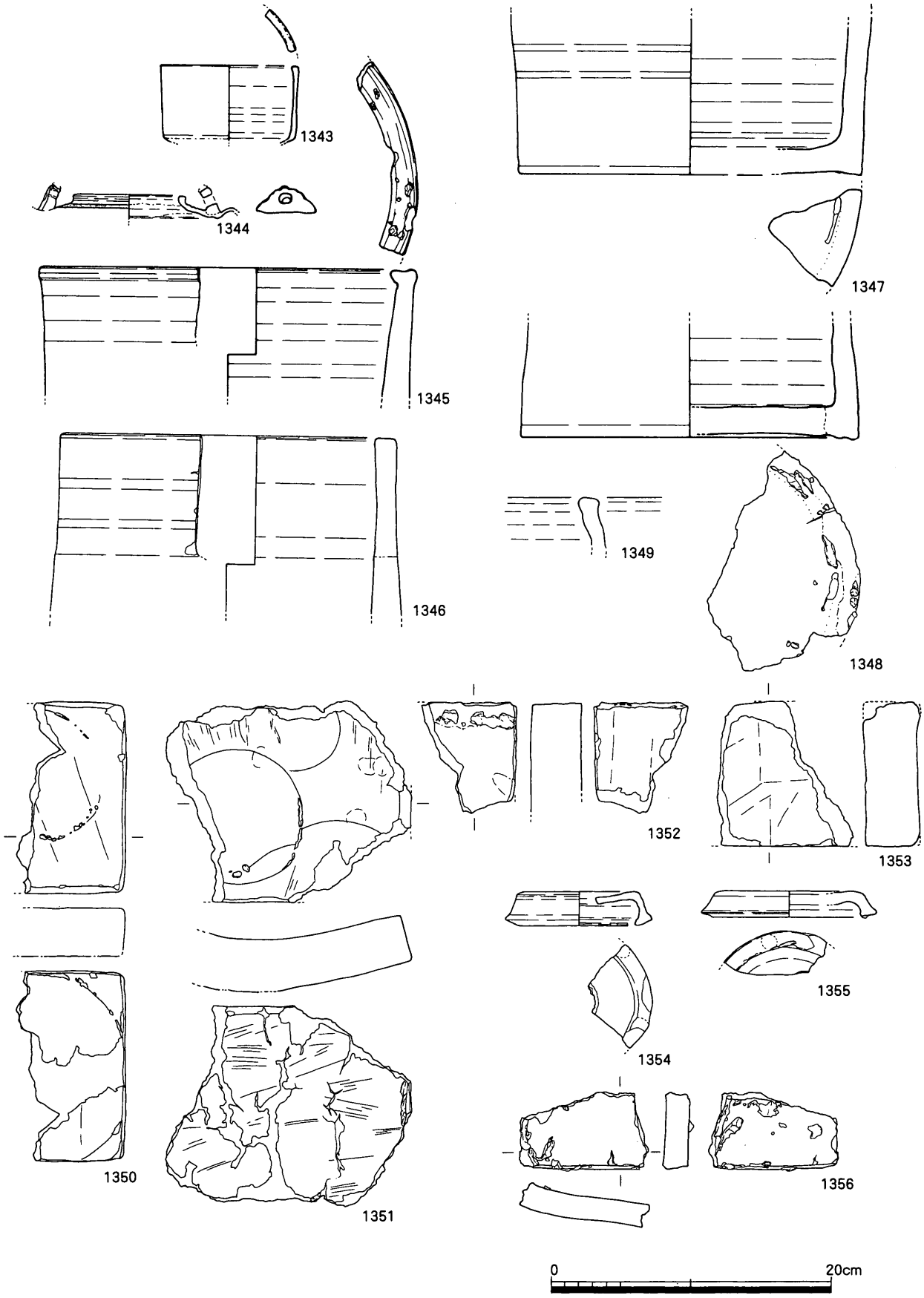
第153図　Ⅳ区包含層B4・C4出土遺物（1/4）



第154図　Ⅳ区包含層 C1・C2・D3，出土位置不明，予備調査出土遺物（1/4）



第155図　Ⅳ区包含層C3，C4出土遺物（1/4）



第156図　Ⅳ区撹乱出土遺物（1/4）

第４章　自然科学的分析

谷遺跡出土遺物の胎土分析

白石　純（岡山理科大学自然科学研究所）

1. 分析の目的

谷遺跡では、19 世紀前半の階段状連房式登窯１基および窯跡関連の遺構などが確認されている。

この胎土分析では、この窯跡で焼成された陶器・窯道具と窯の構築材などを理化学的な手法（蛍光Ｘ線分析法）を用いて分析し、以下の点について調査した。

(1)　谷窯跡内から出土している陶器や窯道具が器種別に胎土に差異や類似があるかどうか。また、同窯出土の軟質施釉陶器が他の陶器と比較して胎土に差がみられるか。

(2)　窯の構築材 (窯壁など) ・粘土が陶器や窯道具と胎土的に類似するかどうか。

(3)　谷窯跡と同時期に操業していた吉金窯跡 (さぬき市富田) の陶器や窯道具は考古学的な検討で、形態・技法的に類似している。そこで胎土的でどうなのか検討した。また消費地遺跡の空港跡地遺跡Ｄ地区（註）から出土した陶器と比較した。

2. 分析方法

蛍光Ｘ線分析装置は、エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析計（セイコーインスツルメンツ社製 SEA2010L）を使用し、胎土中の成分（元素）量を調べた。測定した成分は、13 元素でそのうちＫ（カリウム）、Ca（カルシウム）、Zr（ジルコニウム）、Sr（ストロンチウム）などの成分に顕著な違いがあることから、これらの成分を用いて、XY 散布図を作成し検討した。

分析した陶器、窯道具は、第５表に示した 100 点である。器種としては碗・鉢・鍋・土瓶・灯明皿・香炉・甕・サヤ鉢・敷き板・トチン・焼き台・円環状土製品などである。

3. 分析結果

第 157 図Ｋ－Ca、第 158 図 Zr － Sr の散布図では、谷窯跡内での陶器・窯道具の器種ごとで胎土に違いがあるかどうか検討した。その結果、両散布図とも器種ごとで胎土に差違みられず、むしろ陶器と窯道具の分布域は重なり分析値は類似していた。

第 159 図Ｋ－Ca、第 160 図 Zr － Sr の散布図では、軟質施釉陶器が他の陶器と比較して胎土に差がみられるか検討した。しかし、胎土的には分布域は重なり判別はできなかった。

窯の構築材 (窯壁など)、トンバイが陶器や窯道具と胎土的に類似するかどうかの検討では、第 157・158 図の散布図から陶器・窯道具と西側壁・トンバイ・トンバイ横粘土の２つに分類できた。散布図でみると、第 157 図では Ca 量が約 0.3％以上、Ｋ量が約３％以上に窯壁やトンバイが分布し、それより少ないところに陶器や窯道具が分布している。また、第 158 図では Zr 量が約 300ppm 以下に窯壁やトンバイが分布し、それ以上に陶器や窯道具が分布している。

第 161 図Ｋ－Ca、第 162 図 Zr － Sr の散布図では、谷窯跡と同時期に操業していた吉金窯跡 (さぬき市富田) や、消費地遺跡の空港跡地遺跡Ｄ地区から出土した陶器と比較した。その結果、谷窯跡と吉金窯跡は胎土的にほぼ類似していた。また吉金窯は、第 161 図で Ca 量の違いで２つに分類が可能であった。しかし、第 162 図では分類できなかった。

空港跡地遺跡D地区出土の陶器は、第161図では谷窯跡とは一部が重なっているものの明らかに識別できた。また、第162図では、No.94・95(碗)以外は谷窯跡および吉金窯跡の分布域に分布した。

4. まとめ

谷窯跡出土の陶器、窯道具、窯構築材の蛍光X線分析法による胎土分析を実施した結果、以下のことが明らかになった。

(1) 谷窯跡内での陶器・窯道具の器種別で胎土に違いがあるかどうかでは、器種ごとで胎土に差異がみられず、逆に陶器と窯道具の分布域は重なり分析値は類似していた。つまり、胎土の分析値に違いはみられなかった。また軟質施釉陶器の胎土は他の陶器と胎土的には分布域が重なり判別できなかった。

(2) 窯の構築材（西側壁）・トンバイと陶器・窯道具の比較では、2つの胎土に分類できた。つまり窯壁・トンバイと陶器・窯道具の2種類である。

(3) 谷窯跡と同時期に操業していた吉金窯跡(さぬき市富田)や、消費地遺跡の空港跡地遺跡D地区の比較では、谷窯跡と吉金窯跡は胎土的にほぼ類似していた。しかし消費地遺跡の空港跡地遺跡D地区から出土した陶器は、谷や吉金の分布域とは異なり、空港跡地の陶器でまとまる傾向がみられた。つまり、今回の分析結果では、これらの陶器は別に生産地を求める必要がある。また、吉金窯跡は2つの胎土に分類できる可能性があるものの分析データを増やして再検討する必要がある。

この分析の機会を与えていただいた長井博志氏をはじめ、香川県埋蔵文化財調査センターの職員の方々には、いろいろご教示いただいた。末筆ではありますが記して感謝いたします。

胎土分析に対するコメント　（長井）

白石氏の分析によりＳＦ01で焼成された様々な陶器だけでなく、主要な窯道具類についても胎土差がないことが指摘された。陶器では法量差、窯道具は陶器との性格差により胎土的に異質性が見られると予測していたためこの斉一性は興味深い。

またこれらと吉金窯跡出土陶器の類似性が示される一方で、ＳＦ01構築材との異質性が判明した。このため谷遺跡での陶器生産に当たってはＳＦ01周辺の地山粘土ではなく、吉金窯跡との結びつきで入手した粘土が使用された可能性が高い。これは「第5章　まとめ」で後述する同窯跡との強固な関係性と矛盾しない。

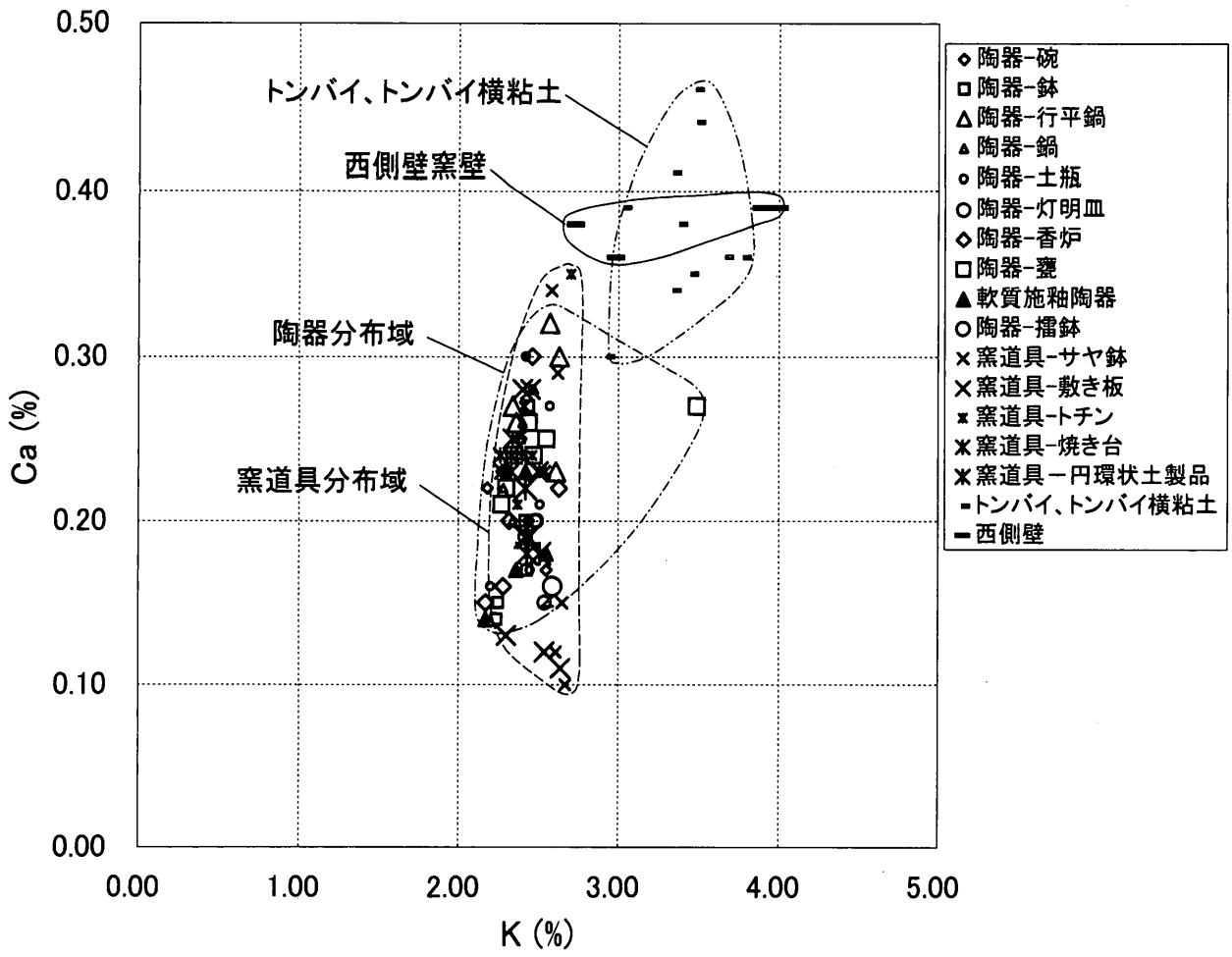
なお桶窯で製作された軟質施釉陶器と使用された窯道具（円環状土製品）についてもＳＦ01焼成陶器、窯道具と類似する。これらの出土位置はＳＦ01、ＳＸ04など同時期の遺構である。よって谷遺跡では異なる2タイプの陶器を同じ粘土を用いて製作していたことが窺える。ＳＦ01による陶器生産形態の特徴としての多品種少量生産が挙げられるが、軟質施釉陶器の製作は異なる風合いをもつ商品を加えることにより更なる需要獲得を狙った販売戦略と評価できよう。

(註) 西岡達哉『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第7冊 空港跡地遺跡Ⅶ』2004 香川県埋蔵文化財センター

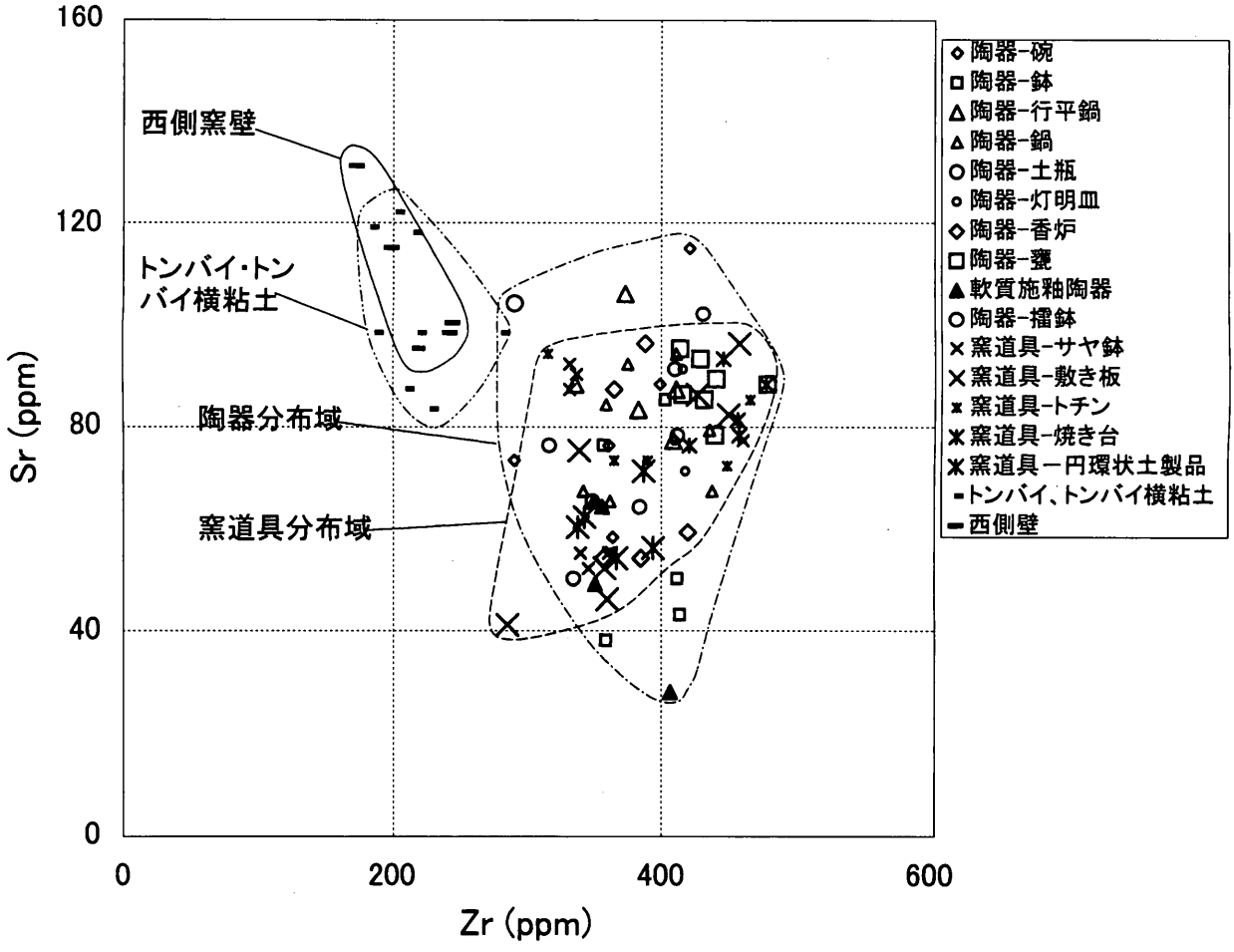
第5表　谷遺跡出土土器の胎土分析一覧表（%）　ただし、Rb・Sr・Zrはppm

試料番号	報文番号	遺構名	試料名	Si	Ti	Al	Fe	Mn	Mg	Ca	Na	K	P	Rb	Sr	Zr
1	999	Ⅳ区　SX05	陶器　碗	73.35	0.65	16.34	3.28	0.03	1.32	0.25	2.16	2.39	0.02	255	88	399
2	137	Ⅱ区　2面　包含層	陶器　碗	71.27	0.76	18.33	3.00	0.02	1.36	0.20	2.02	2.44	0.01	200	58	364
3	1212	Ⅳ区　包含層　B4	陶器　碗	74.19	0.64	15.48	2.61	0.01	1.49	0.17	2.58	2.55	0.08	246	76	361
4	1213	Ⅳ区　包含層　B4	陶器　碗	69.23	0.66	17.33	3.07	0.02	1.90	0.22	5.23	2.18	0.02	206	73	291
5	1321	Ⅳ区　包含層　D3	陶器　碗	73.12	0.92	15.29	3.87	0.06	1.29	0.23	2.75	2.27	0.03	223	115	421
6	1317	Ⅳ区　包含層　B4・C4	陶器　鉢	75.20	0.64	14.55	2.62	0.02	1.43	0.27	2.66	2.44	0.03	236	85	403
7	603	Ⅳ区　SD01　西側	陶器　鉢	73.83	0.72	17.45	2.85	0.02	1.21	0.14	1.35	2.24	0.01	204	50	412
8	681	Ⅳ区　SD04	陶器　鉢	72.26	0.67	17.80	2.91	0.02	1.34	0.15	2.35	2.25	0.02	204	43	414
9	926	Ⅳ区　SX04	陶器　鉢	70.83	0.66	18.50	3.45	0.01	1.26	0.20	2.45	2.42	0.03	221	76	357
10	923	Ⅳ区　SX04	陶器　鉢？	70.13	0.64	18.86	3.68	0.02	1.17	0.17	2.71	2.43	0.05	164	38	359
11	216	Ⅳ区　SFO1　1室　床直	陶器　行平鍋	72.69	0.67	16.00	3.00	0.02	1.40	0.30	3.04	2.63	0.08	236	88	336
12	858	Ⅳ区　SK09	陶器　行平鍋	73.40	0.71	15.96	3.36	0.02	1.43	0.26	2.29	2.36	0.05	239	83	383
13	1012	Ⅳ区　SX05	陶器　行平鍋	72.68	0.69	16.96	3.01	0.02	1.28	0.23	2.30	2.61	0.06	276	87	411
14	929	Ⅳ区　SX04	陶器　行平鍋	72.14	0.66	17.44	2.64	0.02	1.45	0.27	2.87	2.34	0.01	203	77	409
15	1219	Ⅳ区　包含層　B4	陶器　鉢	74.86	0.61	15.27	2.91	0.01	1.24	0.32	1.96	2.57	0.11	233	106	373
16	559	Ⅳ区　SFO1　5室　堆積土	陶器　鍋	75.52	0.57	14.90	2.16	0.02	1.48	0.22	2.62	2.28	0.06	233	79	436
17	1174	Ⅳ区　包含層　B2	陶器　鍋	72.38	0.62	17.04	2.98	0.01	1.44	0.25	2.05	2.39	0.03	202	67	438
18	1165	Ⅳ区　包含層　B1	陶器　土瓶	72.00	0.68	17.25	2.97	0.03	1.42	0.24	2.79	2.41	0.05	210	65	362
19	682	Ⅳ区　SD04	陶器　鍋	71.80	0.70	17.87	3.07	0.02	1.35	0.20	2.41	2.34	0.01	215	67	342
20	786	Ⅳ区　SK04	陶器　鍋	75.21	0.63	14.85	2.38	0.02	1.36	0.26	2.69	2.40	0.09	224	84	359
21	1014	Ⅳ区　SX05	陶器　鍋	75.77	0.58	14.90	2.39	0.01	1.26	0.28	2.06	2.47	0.07	233	92	375
22	1017	Ⅳ区　SX05	陶器　鍋	76.40	0.56	14.49	2.44	0.02	1.27	0.28	1.67	2.46	0.15	251	94	411
23	359	Ⅳ区　SFO1　4室　床直	陶器　土瓶	72.39	0.68	17.05	3.01	0.02	1.32	0.21	2.61	2.51	0.05	231	78	412
24	357	Ⅳ区　SFO1　4室　床直	陶器　土瓶	71.26	0.78	18.58	3.53	0.02	1.21	0.16	2.09	2.20	0.06	199	50	335
25	700	Ⅳ区　SK01	陶器　土瓶	70.65	0.75	18.92	2.75	0.02	1.30	0.30	2.70	2.42	0.04	218	76	317
26	733	Ⅳ区　SK02	陶器　土瓶	75.24	0.69	15.46	2.90	0.02	1.21	0.28	1.48	2.44	0.09	252	102	431
27	1035	Ⅳ区　SX05	陶器　土瓶	73.30	0.71	16.27	3.58	0.01	1.30	0.24	1.91	2.40	0.10	240	65	349
28	1029	Ⅳ区　SX05	陶器　土瓶	73.28	0.71	16.59	3.19	0.03	1.24	0.27	1.87	2.57	0.11	256	91	410
29	1033	Ⅳ区　SX05	陶器　土瓶	74.22	0.68	16.15	2.76	0.02	1.35	0.17	1.99	2.45	0.06	221	64	384
30	334	Ⅳ区　SFO1　3室　堆積土	陶器　灯明皿	73.72	0.67	15.99	2.94	0.02	1.31	0.15	2.32	2.54	0.12	249	77	410
31	670	Ⅳ区　SD03	陶器　灯明皿	71.39	0.65	18.44	3.35	0.02	1.37	0.20	1.91	2.49	0.03	200	71	418
32	1047	Ⅳ区　SX05	陶器　灯明皿	72.84	0.63	16.51	2.99	0.02	1.27	0.20	2.78	2.48	0.11	258	91	416
33	1123	Ⅳ区　包含層　A2a	陶器　灯明皿	68.95	0.75	19.97	3.77	0.04	1.43	0.19	2.33	2.42	0.02	219	55	363
34	617	Ⅳ区　SD01　西側	陶器　香炉	71.90	0.73	18.35	2.81	0.02	1.38	0.16	2.18	2.28	0.06	175	54	385
35	616	Ⅳ区　SD01　西側	陶器　香炉	71.24	0.69	18.40	2.80	0.02	1.35	0.15	2.94	2.17	0.07	203	54	357
36	652	Ⅳ区　SD01　南側	陶器　香炉	73.05	0.58	17.01	3.02	0.02	1.23	0.20	2.35	2.32	0.06	202	59	420
37	787	Ⅳ区　SK04	陶器　香炉	73.81	0.65	15.79	2.84	0.02	1.29	0.30	2.61	2.46	0.07	258	96	388
38	1053	Ⅳ区　SX05	陶器　香炉	72.63	0.68	16.50	3.10	0.02	1.44	0.22	2.56	2.63	0.05	278	87	365
39	1267	Ⅳ区　包含層　B4	陶器　甕	74.90	0.54	15.30	2.35	0.02	1.37	0.24	2.53	2.47	0.10	253	86	416
40	719	Ⅳ区　SK01	陶器　甕	73.78	0.54	14.99	2.55	0.01	1.34	0.27	2.76	3.49	0.10	273	78	440
41	712	Ⅳ区　SK01	陶器　甕	76.29	0.63	14.55	2.47	0.02	1.17	0.24	1.40	2.35	0.07	235	88	479
42	704	Ⅳ区　SK01	陶器　甕	74.00	0.58	16.57	2.61	0.01	1.32	0.26	1.99	2.44	0.04	236	95	414
43	735	Ⅳ区　SK02	陶器　甕	74.93	0.56	15.20	2.62	0.01	1.42	0.22	2.42	2.30	0.08	209	89	441
44	1054	Ⅳ区　SX05	陶器　甕	74.71	0.61	15.53	2.57	0.01	1.29	0.25	2.19	2.55	0.15	247	93	429
45	1057	Ⅳ区　SX05	陶器　甕	74.10	0.54	15.28	2.91	0.01	1.43	0.21	2.97	2.27	0.07	223	85	432
46	845	Ⅳ区　SK08	軟質施釉陶器　鉢	69.70	0.72	19.98	3.58	0.03	1.36	0.17	1.93	2.36	0.00	219	49	351
47	1238	Ⅳ区　包含層　B4	軟質施釉陶器　蓋	71.73	0.58	17.76	2.99	0.02	1.41	0.18	2.56	2.55	0.04	214	65	350
48	1186	Ⅳ区　包含層　B3	軟質施釉陶器　蓋	69.92	0.67	19.20	3.28	0.02	1.37	0.23	2.70	2.42	0.05	223	64	356
49	242	Ⅳ区　SFO1　2室　床直	軟質施釉陶器　蓋	70.89	0.62	17.81	3.58	0.02	1.38	0.16	2.73	2.59	0.06	291	104	291
50	1133	Ⅳ区　包含層　表土層　A3b	陶器　すり鉢	63.36	0.71	26.94	2.72	0.01	1.29	0.14	2.42	2.17	0.10	244	28	407
51	203	Ⅳ区　SFO1　燃焼室	サヤ鉢	76.68	0.58	14.18	2.76	0.02	1.28	0.12	1.54	2.61	0.08	234	52	346
52	187	Ⅳ区　SFO1　燃焼室	サヤ鉢	74.40	0.56	14.96	3.17	0.03	1.34	0.23	2.57	2.54	0.07	241	87	332
53	227	Ⅳ区　SFO1　1室　床直	サヤ鉢	76.16	0.64	13.79	2.44	0.02	1.51	0.10	2.49	2.67	0.06	232	55	340
54	222	Ⅳ区　SFO1　1室　床直	サヤ鉢	74.95	0.65	15.15	2.92	0.02	1.25	0.34	1.89	2.58	0.07	264	92	332
55	287	Ⅳ区　SFO1　3室　床直	サヤ鉢	77.77	0.60	14.05	2.41	0.02	1.11	0.23	1.04	2.51	0.11	245	77	461
56	365	Ⅳ区　SFO1　4室　床直	サヤ鉢	75.35	0.53	14.47	3.28	0.05	1.35	0.15	1.91	2.65	0.06	230	55	361
57	435	Ⅳ区　SFO1　4室　堆積土	サヤ鉢	73.60	0.61	16.04	2.77	0.02	1.39	0.29	2.42	2.62	0.09	249	90	337
58	250	Ⅳ区　SFO1　2室　床直	敷き板	74.07	0.62	14.83	3.28	0.03	1.30	0.25	3.07	2.34	0.06	224	75	339
59	301	Ⅳ区　SFO1　3室　床直	敷き板	74.42	0.64	15.81	2.74	0.03	1.37	0.12	2.12	2.54	0.06	228	52	358
60	303	Ⅳ区　SFO1　3室　床直	敷き板	73.94	0.60	15.26	2.95	0.01	1.36	0.11	2.85	2.64	0.10	249	46	360
61	375	Ⅳ区　SFO1　4室　床直	敷き板	72.87	0.53	14.63	2.61	0.02	1.86	0.13	4.84	2.30	0.09	188	41	286
62	378	Ⅳ区　SFO1　4室　床直	敷き板	75.73	0.63	14.79	2.88	0.03	1.25	0.28	1.70	2.45	0.09	269	96	458
63	498	Ⅳ区　SFO1　5室　砂床	敷き板	76.62	0.45	13.91	2.12	0.01	1.30	0.23	2.49	2.50	0.07	223	82	450
64	549	Ⅳ区　SFO1　5室　砂床	敷き板	75.11	0.55	14.40	2.43	0.01	1.47	0.28	3.06	2.40	0.09	236	86	427
65	1286	Ⅳ区　包含層　B4	トチン	75.80	0.55	14.15	2.83	0.02	1.36	0.24	2.41	2.37	0.08	241	85	466
66	1315	Ⅳ区　包含層　C1	トチン	74.18	0.55	16.29	2.31	0.01	1.41	0.24	2.36	2.46	0.06	196	73	390
67	324	Ⅳ区　SFO1　3室　床直	トチン	74.14	0.61	16.30	2.88	0.02	1.33	0.27	1.80	2.41	0.04	217	72	449

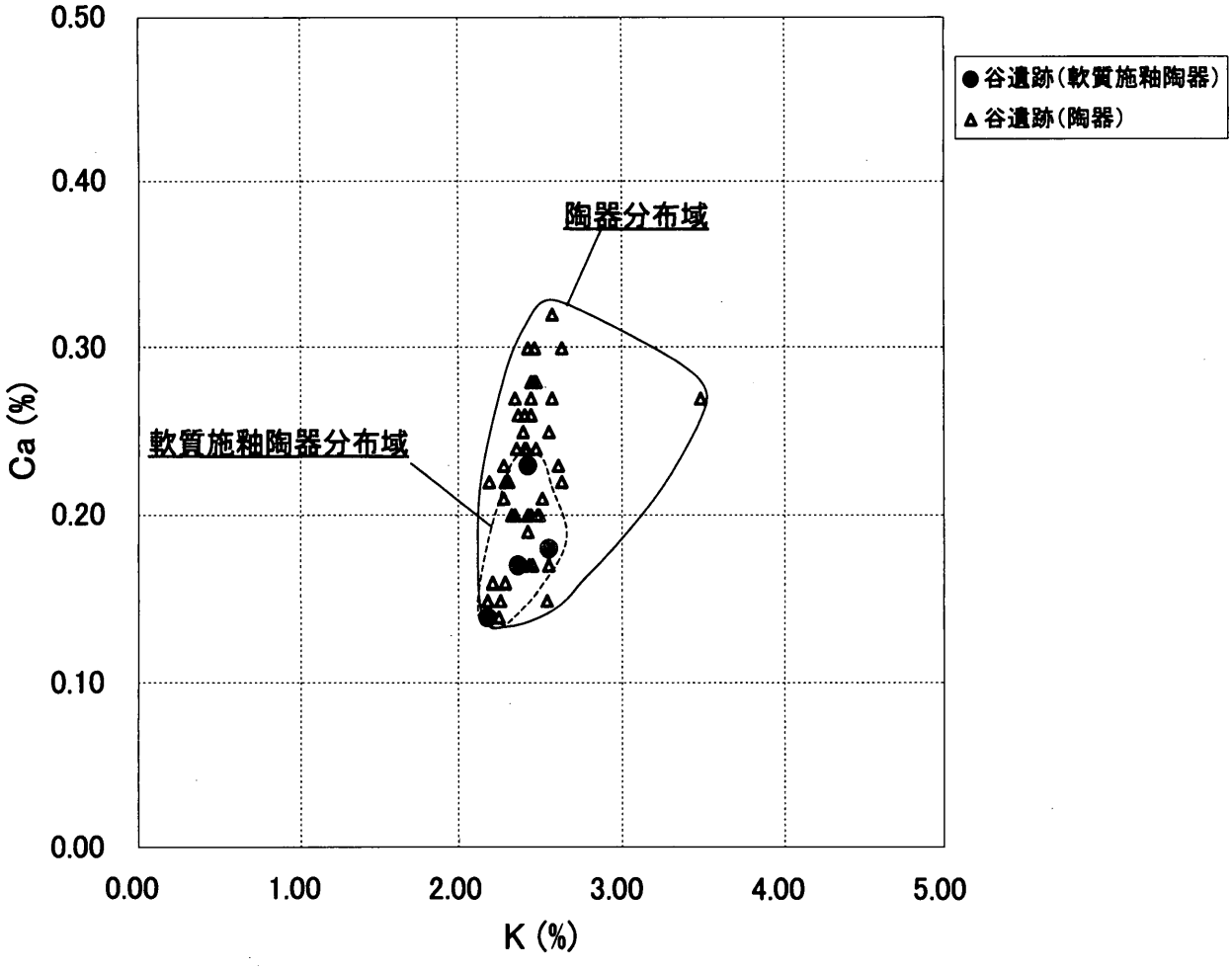
試料番号	報文番号	遺構名	試料名	Si	Ti	Al	Fe	Mn	Mg	Ca	Na	K	P	Rb	Sr	Zr
68	323	Ⅳ区 SFO1 3室 床直	トチン	73.46	0.69	16.56	2.57	0.02	1.30	0.35	2.03	2.70	0.15	236	94	316
69	551	Ⅳ区 SFO1 5室 砂床	トチン	74.44	0.56	15.82	2.39	0.02	1.41	0.21	2.53	2.37	0.08	205	73	365
70	1287	Ⅳ区 包含層 B4	焼き台	76.61	0.62	14.19	2.63	0.01	1.27	0.23	1.80	2.33	0.16	228	76	421
71	237	Ⅳ区 SFO1 1室 堆積土	焼き台	76.82	0.56	13.93	2.13	0.01	1.28	0.24	2.36	2.33	0.13	232	88	478
72	309	Ⅳ区 SFO1 3室 床直	焼き台	76.44	0.54	13.78	2.42	0.02	1.33	0.24	2.56	2.26	0.10	228	93	446
73	448	Ⅳ区 SFO1 4室 堆積土	焼き台	76.56	0.61	14.12	2.55	0.01	1.21	0.25	2.10	2.34	0.09	215	81	457
74	579	Ⅳ区 SFO1 5室 堆積土	焼き台	76.53	0.50	13.89	2.36	0.01	1.36	0.23	2.47	2.27	0.13	221	78	458
75	647	Ⅳ区 SD01 西側	円環状土製品	71.19	0.62	18.11	3.44	0.03	1.33	0.19	2.29	2.42	0.08	221	60	338
76	855	Ⅳ区 SK08	円環状土製品	70.41	0.70	18.81	3.57	0.02	1.25	0.19	2.36	2.44	0.10	202	54	367
77	854	Ⅳ区 SK08	円環状土製品	70.82	0.64	18.65	3.85	0.03	1.27	0.18	1.79	2.51	0.06	236	56	394
78	1098	Ⅳ区 SX05	円環状土製品	69.72	0.66	19.08	3.71	0.03	1.48	0.22	2.48	2.42	0.04	211	71	387
79	978	Ⅳ区 SX04	円環状土製品	71.81	0.61	17.71	3.40	0.03	1.23	0.18	2.15	2.43	0.08	221	62	343
80		SF01 4室奥壁41A	トンバイ	68.91	0.31	18.64	3.87	0.05	1.38	0.39	3.18	3.03	0.06	253	118	216
81		SF01 4室奥壁41A	ﾄﾝﾊﾞｲ横粘土	68.19	0.47	19.12	3.81	0.06	1.48	0.41	2.88	3.34	0.04	271	98	282
82		SF01 4室奥壁41B	トンバイ	69.58	0.26	17.99	3.21	0.06	1.37	0.36	2.90	3.78	0.10	292	119	184
83		SF01 4室奥壁41B	ﾄﾝﾊﾞｲ横粘土	70.22	0.44	18.23	3.43	0.08	1.23	0.44	2.19	3.49	0.13	251	83	229
84		SF01 4室奥壁44A	トンバイ	72.16	0.33	17.17	2.77	0.05	1.13	0.38	2.35	3.38	0.13	218	95	219
85		SF01 4室奥壁44A	ﾄﾝﾊﾞｲ横粘土	70.11	0.32	17.67	4.40	0.07	1.33	0.30	2.64	2.93	0.09	236	98	220
86		SF01 5室奥壁52B	トンバイ	66.13	0.26	18.66	2.75	0.04	1.96	0.36	5.82	3.67	0.08	260	122	203
87		SF01 5室奥壁52B	ﾄﾝﾊﾞｲ横粘土	70.26	0.35	18.00	2.94	0.10	1.36	0.46	2.77	3.48	0.09	263	95	216
88		SF01 5室奥壁52L	トンバイ	71.87	0.35	16.66	2.66	0.04	1.34	0.34	3.13	3.34	0.12	239	98	188
89		SF01 5室奥壁52L	ﾄﾝﾊﾞｲ横粘土	71.75	0.24	16.91	2.83	0.04	1.37	0.35	2.78	3.45	0.09	252	87	211
90		SF01 4室西側壁(南部)	4室西側壁(南部)	70.95	0.27	17.35	3.30	0.06	1.29	0.38	3.43	2.73	0.11	216	115	199
91		SF01 4室西側壁(北部)	4室西側壁(北部)	70.74	0.29	16.59	2.95	0.06	1.42	0.39	3.35	3.89	0.12	243	98	243
92		SF01 5室西側壁	5室西側壁	68.89	0.35	18.80	3.51	0.06	1.39	0.36	3.41	2.98	0.05	241	100	245
93		SF01 5室西側壁	5室西側壁	70.41	0.26	17.50	2.65	0.05	1.28	0.39	3.00	4.03	0.09	289	131	173
94	1195	空港跡地遺跡D地区	陶器 碗	71.16	0.87	17.15	4.00	0.04	1.37	0.38	2.26	2.48	0.13	202	135	388
95	1205	空港跡地遺跡D地区	陶器 碗	71.01	0.86	16.99	3.92	0.03	1.45	0.36	2.52	2.48	0.12	205	129	414
96	947	空港跡地遺跡D地区	陶器 鉢	72.84	0.82	17.11	2.64	0.02	1.43	0.31	2.37	2.14	0.17	285	49	353
97	746	空港跡地遺跡D地区	陶器 鉢	73.14	0.70	17.11	2.93	0.03	1.20	0.32	1.96	2.25	0.14	230	63	313
98	1324	空港跡地遺跡D地区	陶器 鉢	71.81	0.63	16.96	2.82	0.03	1.52	0.26	3.22	2.40	0.16	228	50	370
99	956	空港跡地遺跡D地区	陶器 土瓶	70.37	0.73	18.81	2.66	0.03	1.35	0.34	2.81	2.61	0.13	317	79	333
100	1173	空港跡地遺跡D地区	陶器 灯明皿	68.88	0.90	20.62	2.57	0.05	1.32	0.32	2.45	2.63	0.05	275	83	464



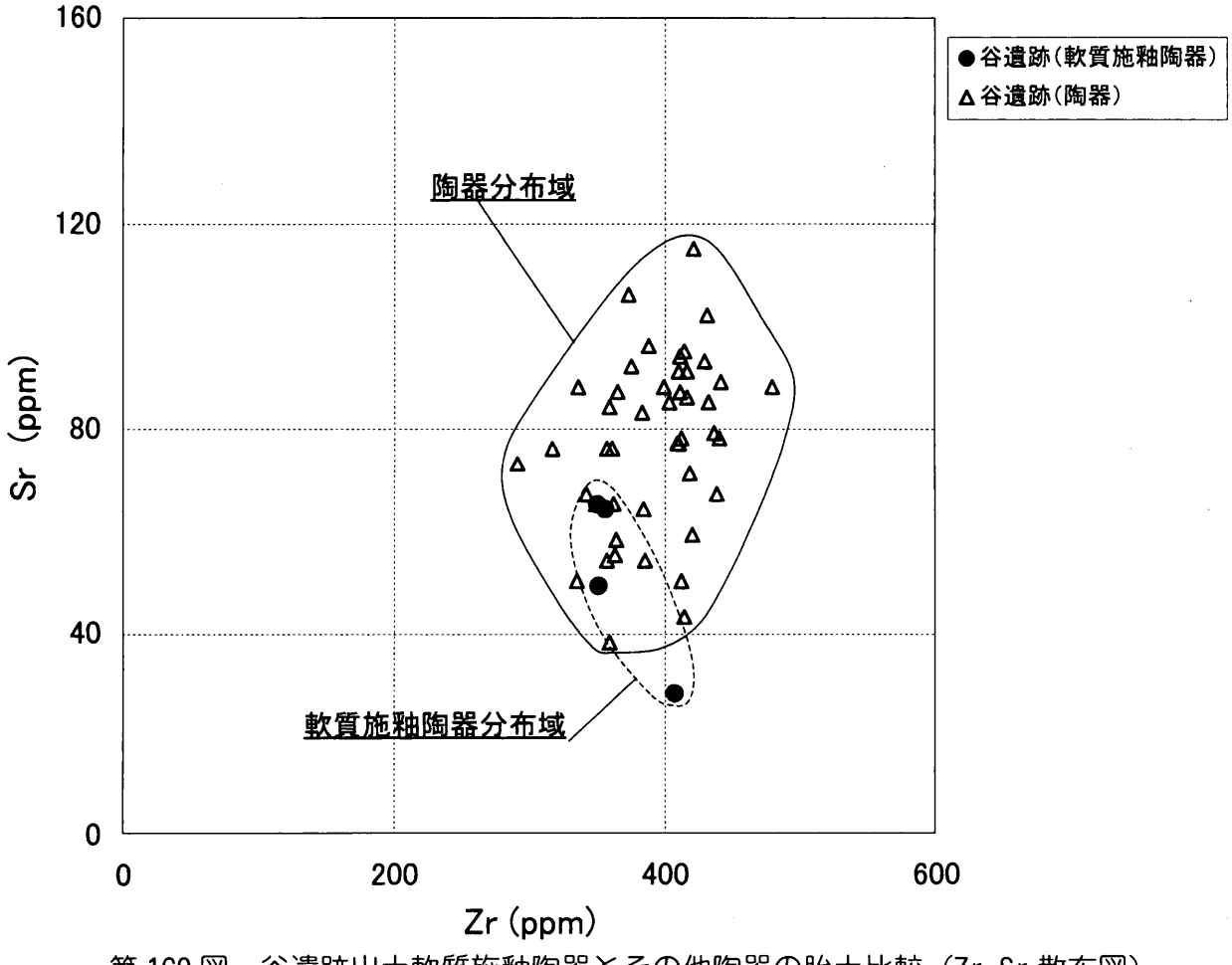
第 157 図　谷窯跡内での胎土比較（K-Ca 散布図）



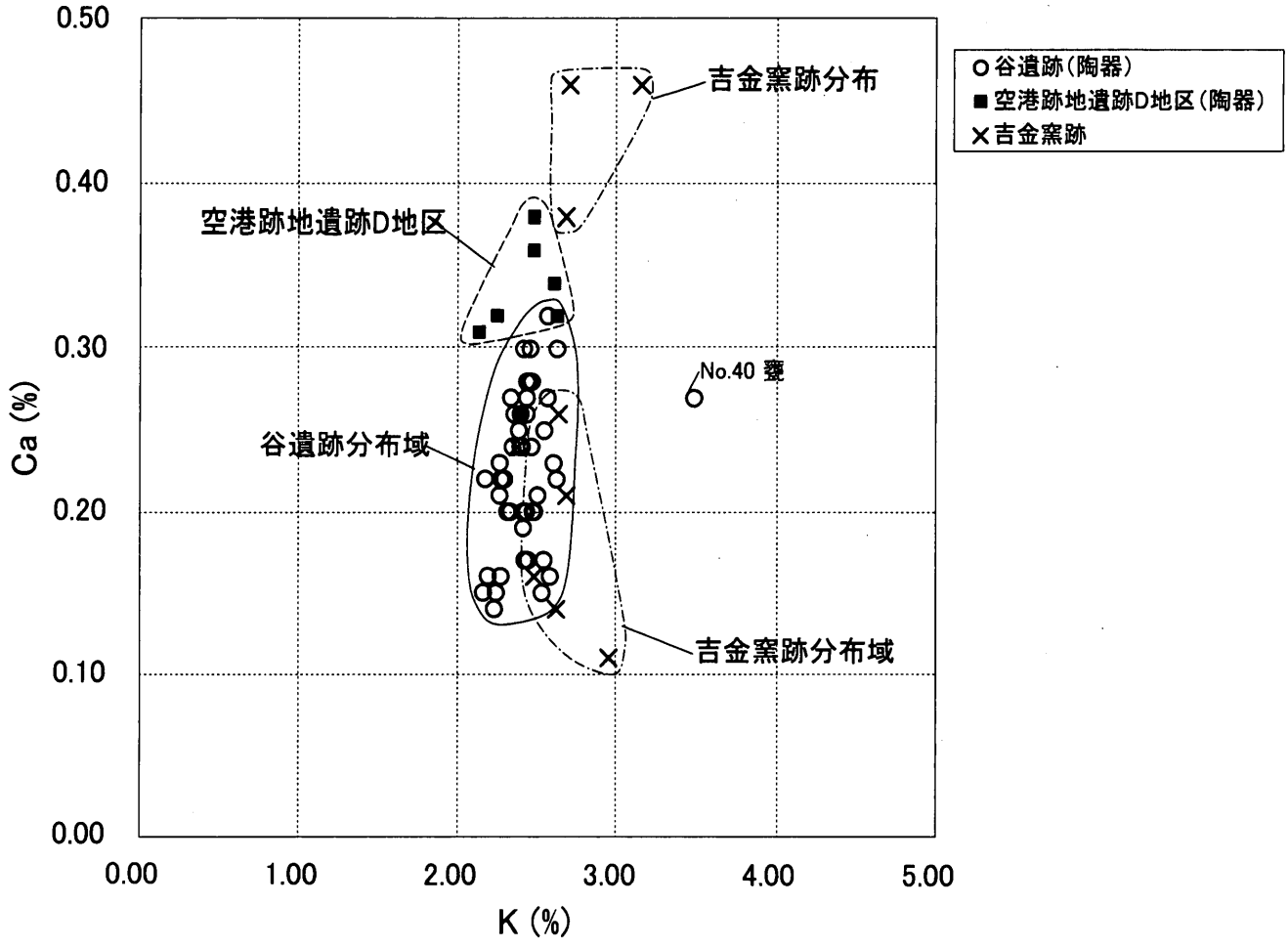
第 158 図　谷窯跡内での胎土比較（Zr-Sr 散布図）



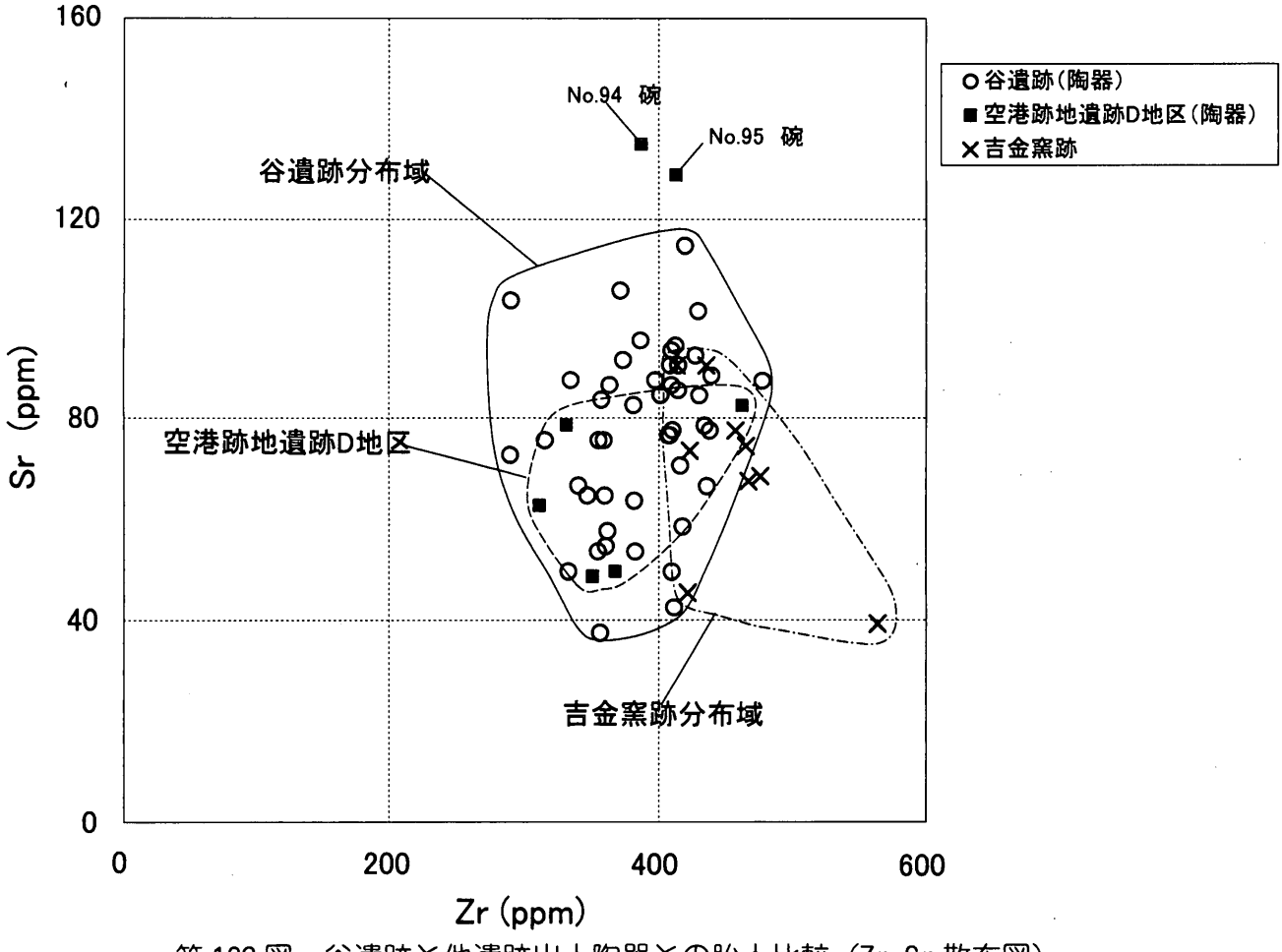
第 159 図　谷遺跡出土軟質施釉陶器とその他陶器の胎土比較（K-Ca 散布図）



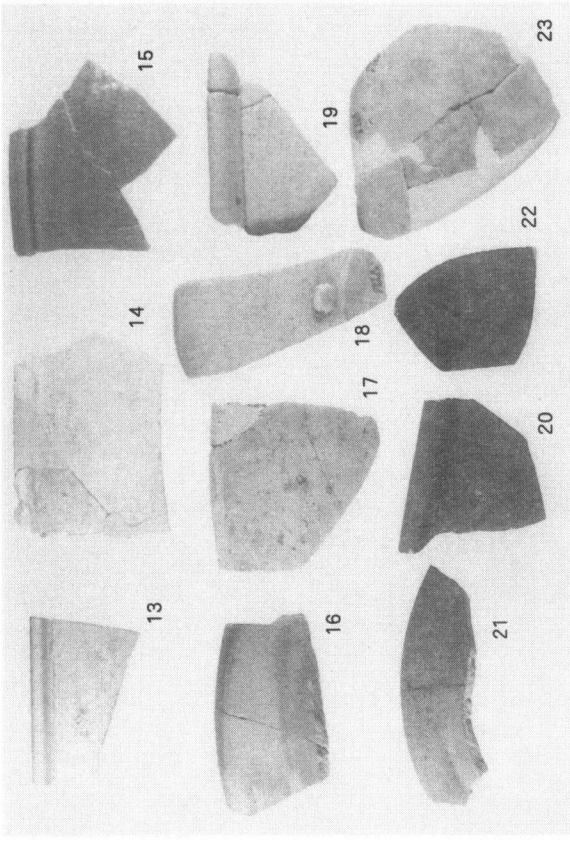
第 160 図　谷遺跡出土軟質施釉陶器とその他陶器の胎土比較（Zr-Sr 散布図）

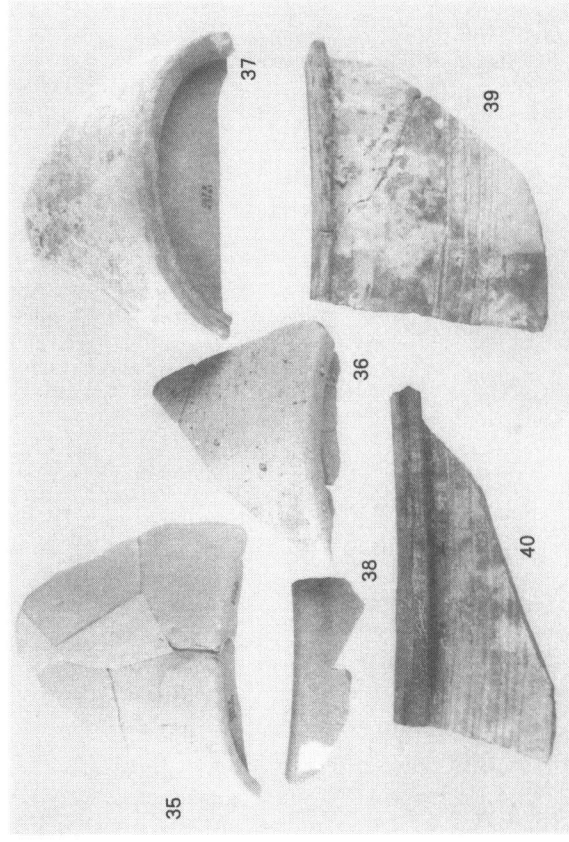


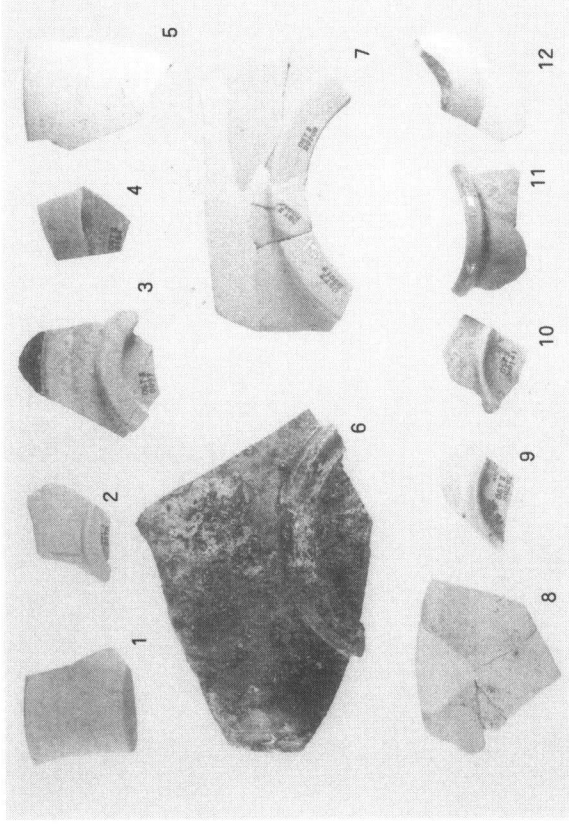
第 161 図　谷遺跡と他遺跡出土陶器との胎土比較（K-Ca 散布図）

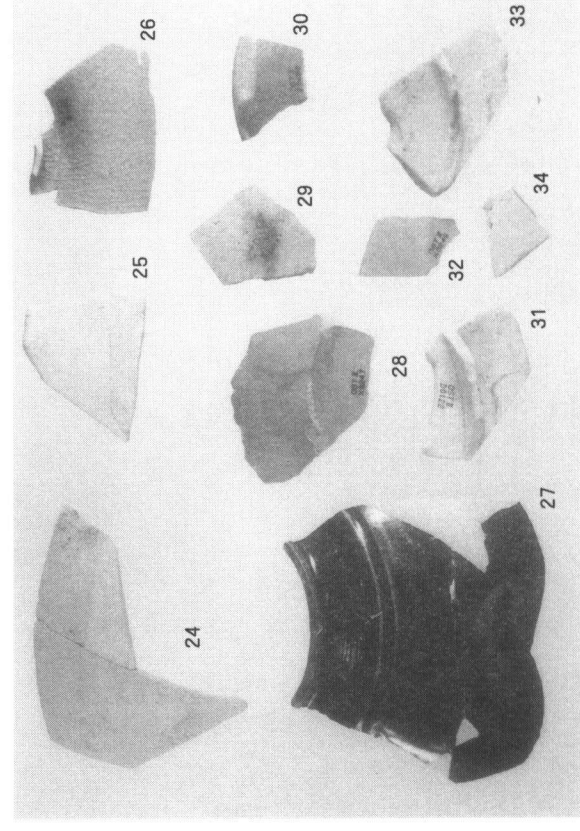


第 162 図　谷遺跡と他遺跡出土陶器との胎土比較（Zr-Sr 散布図）

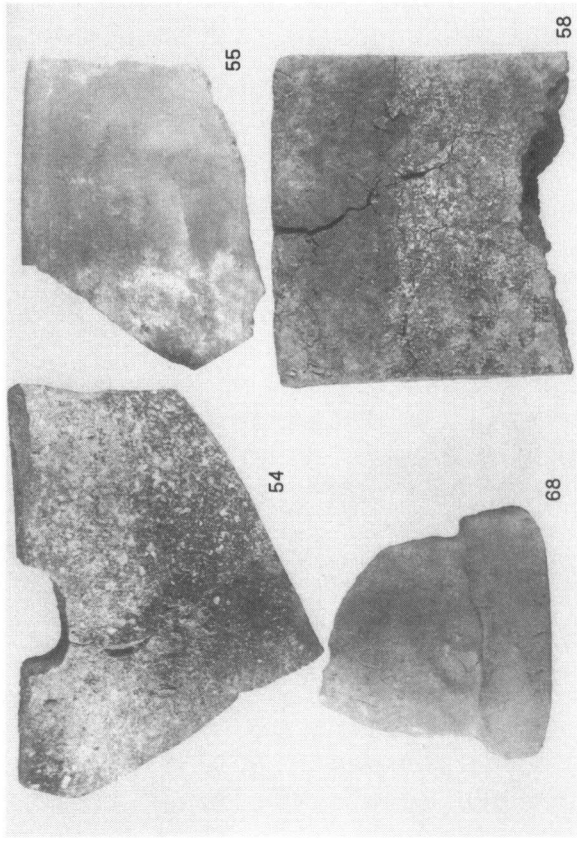


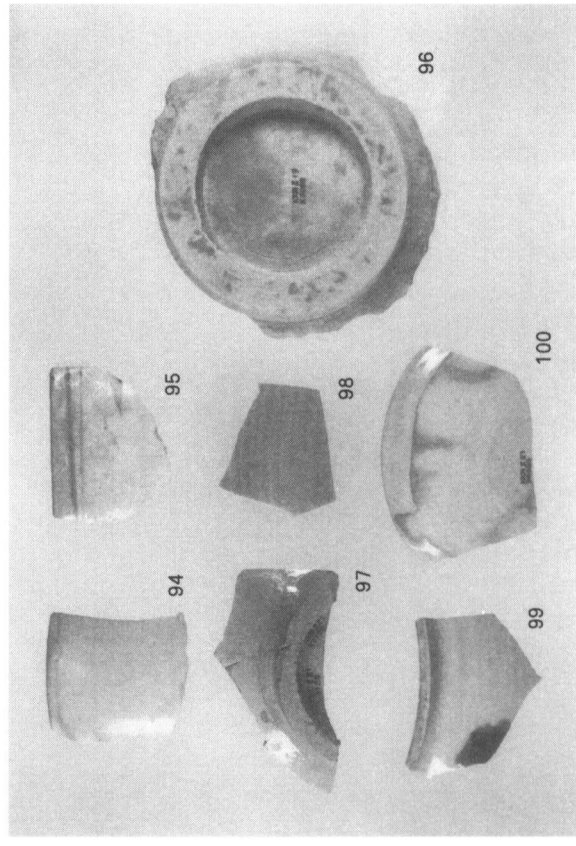


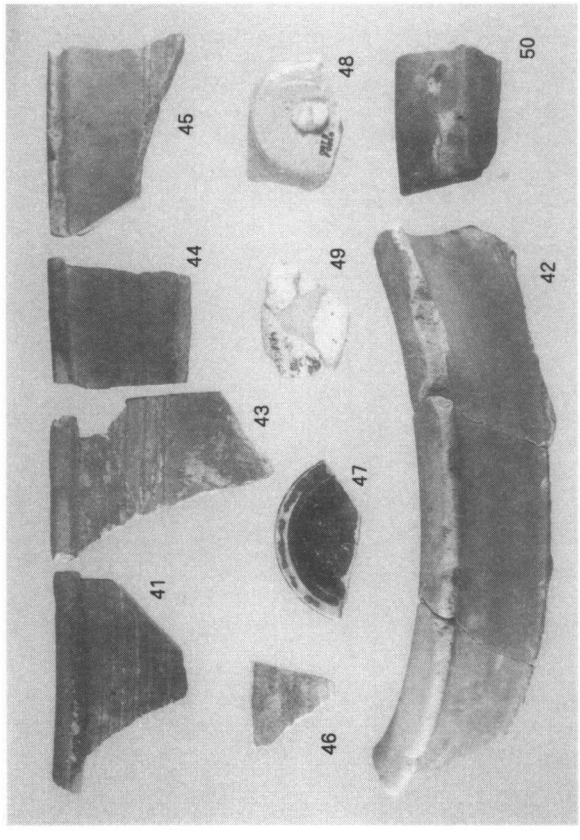


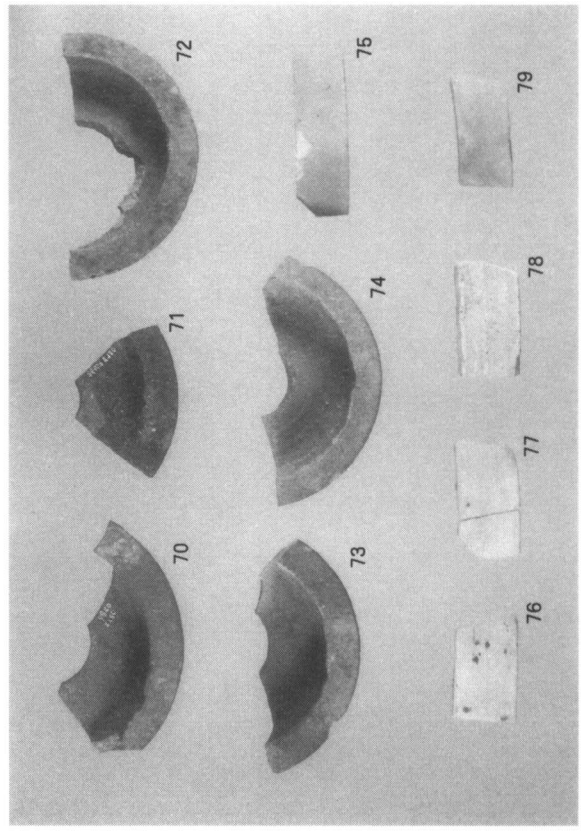


第 163 図　胎土分析遺物写真（1）

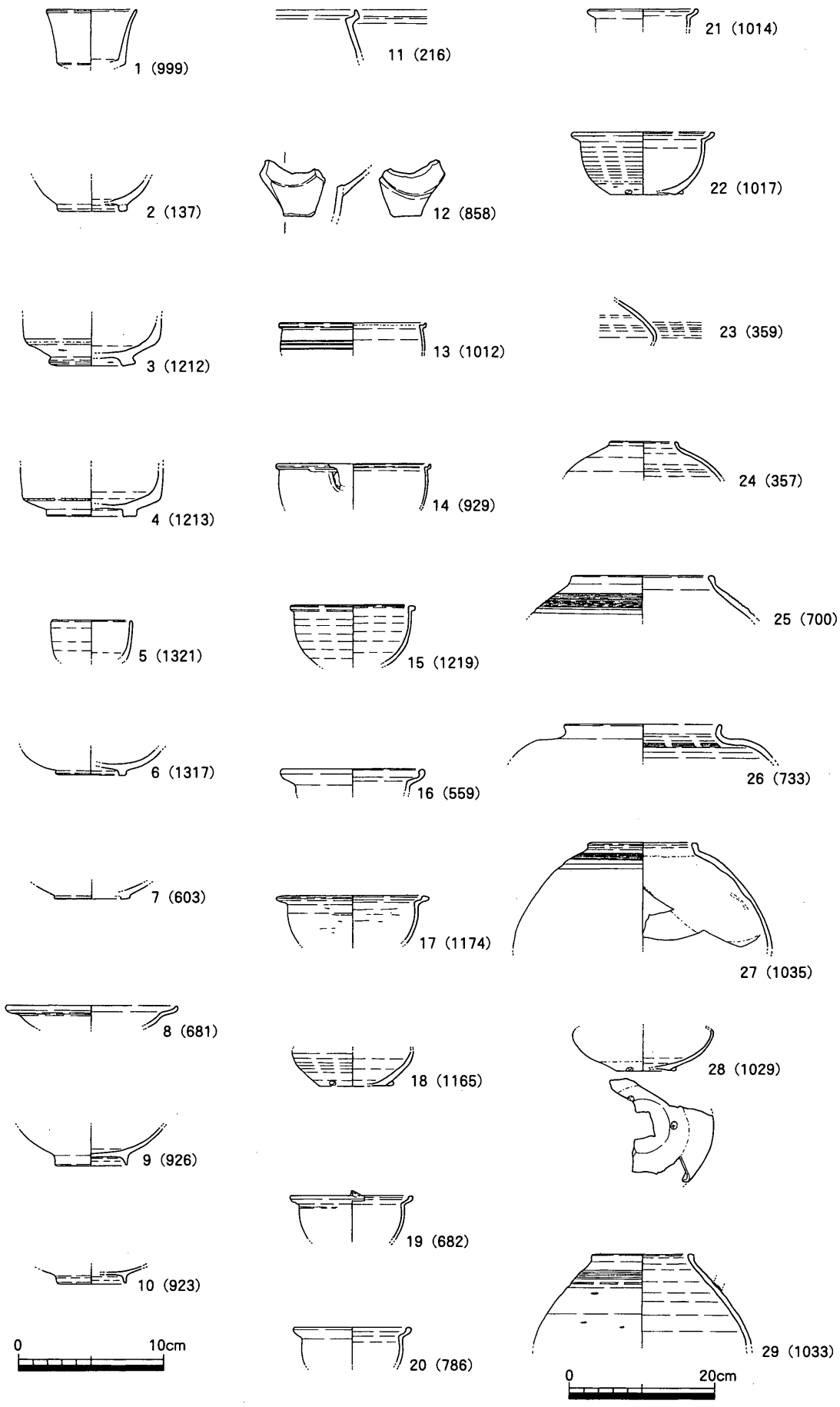




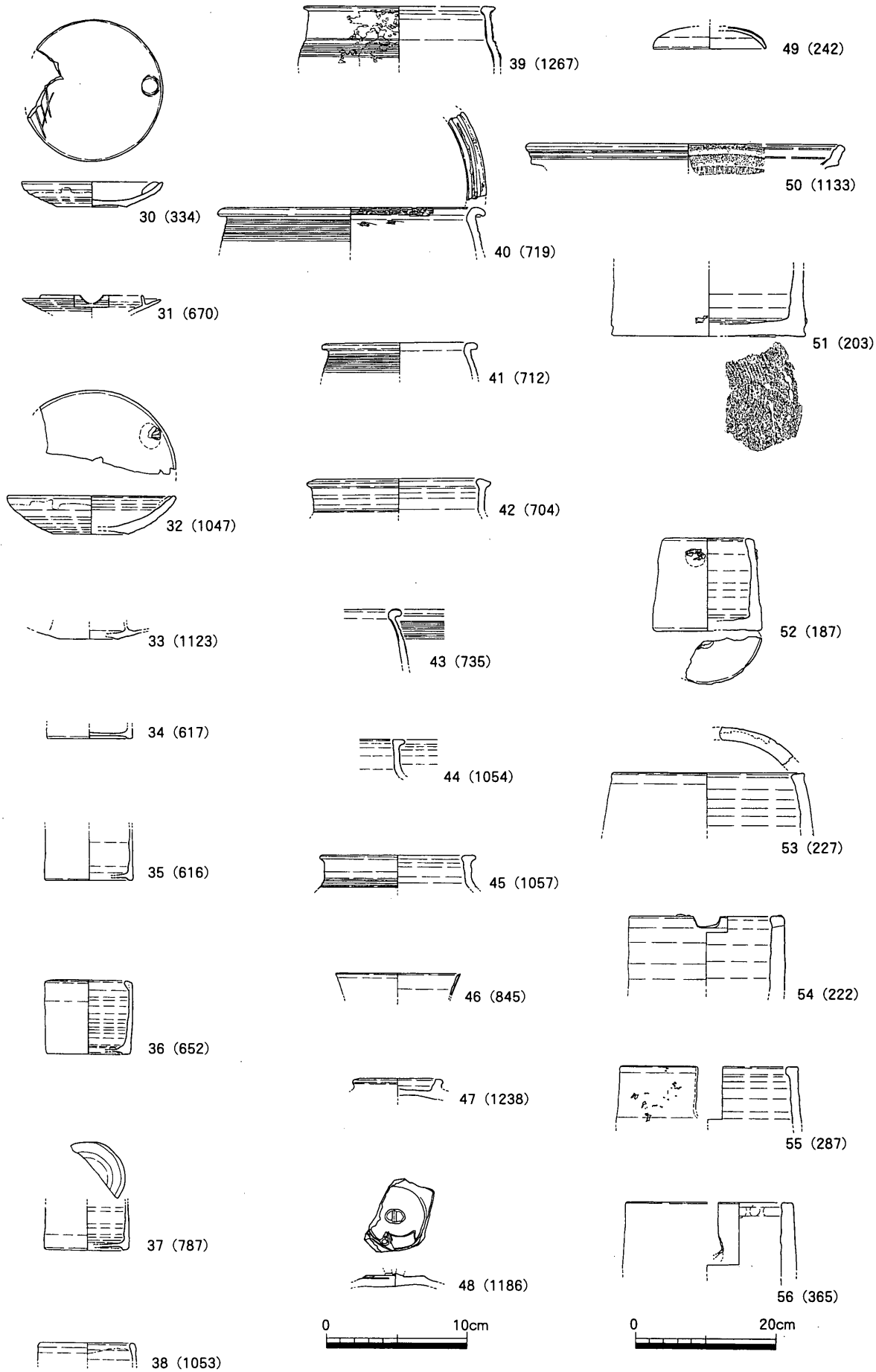




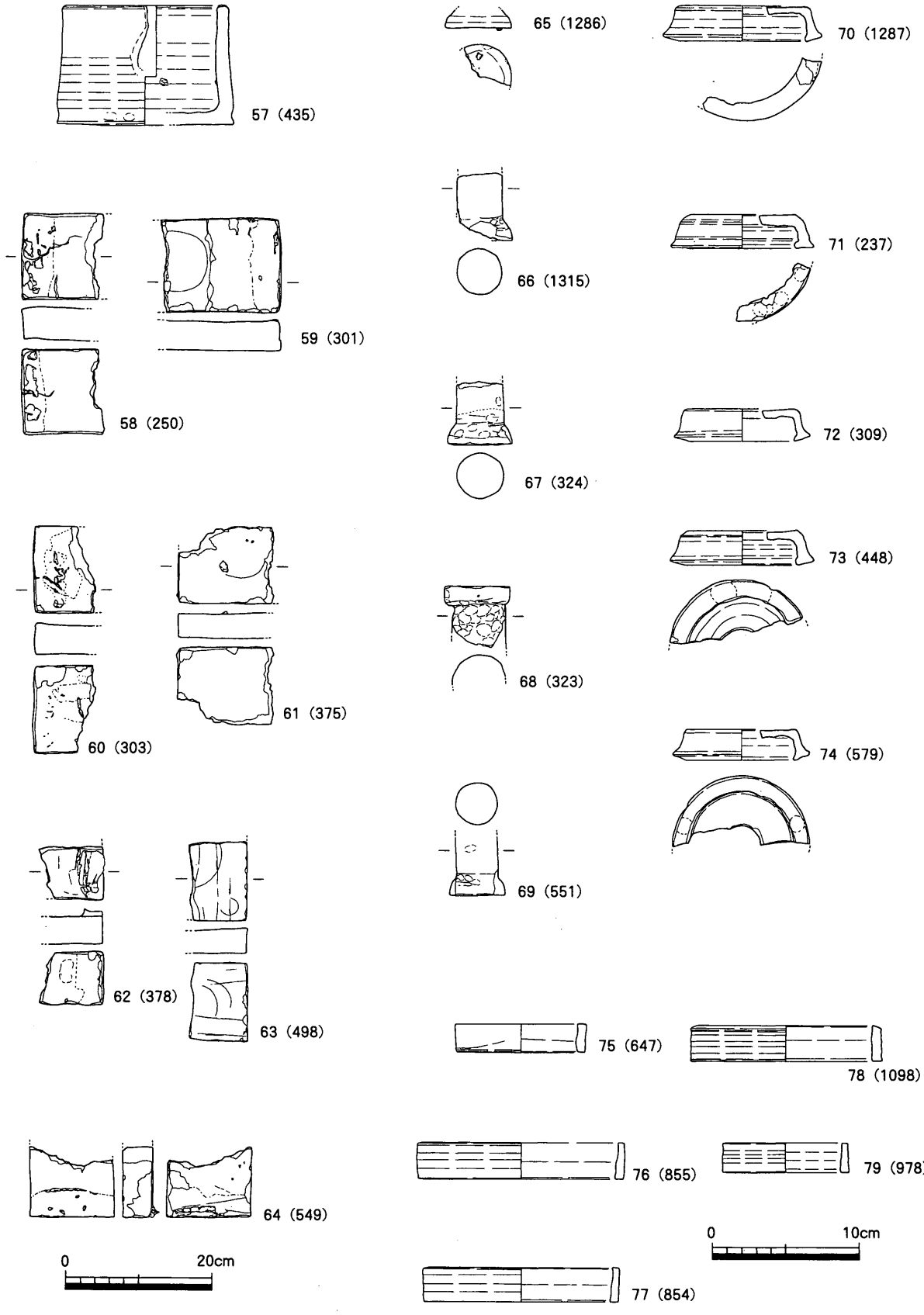
第 164 図　胎土分析遺物写真（2）



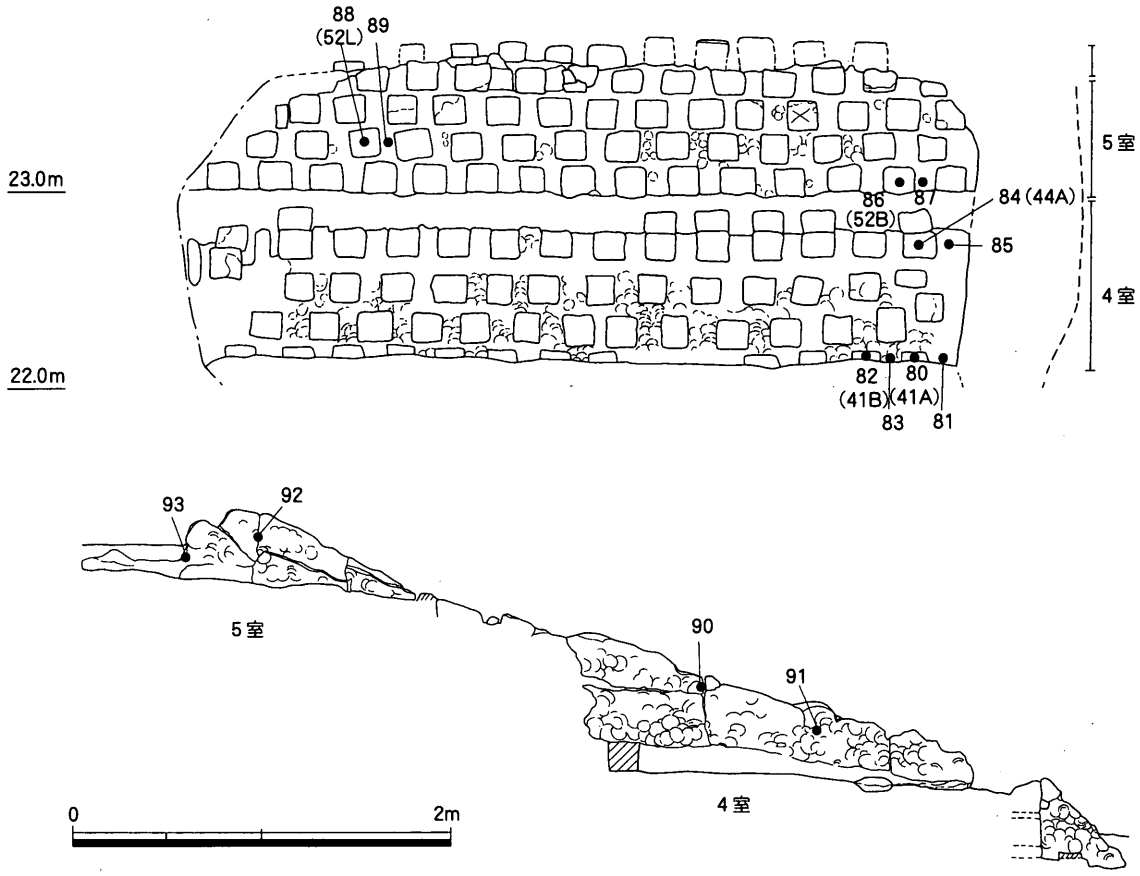
第165図　谷遺跡　胎土分析遺物1　(S=1/4, 1/8)



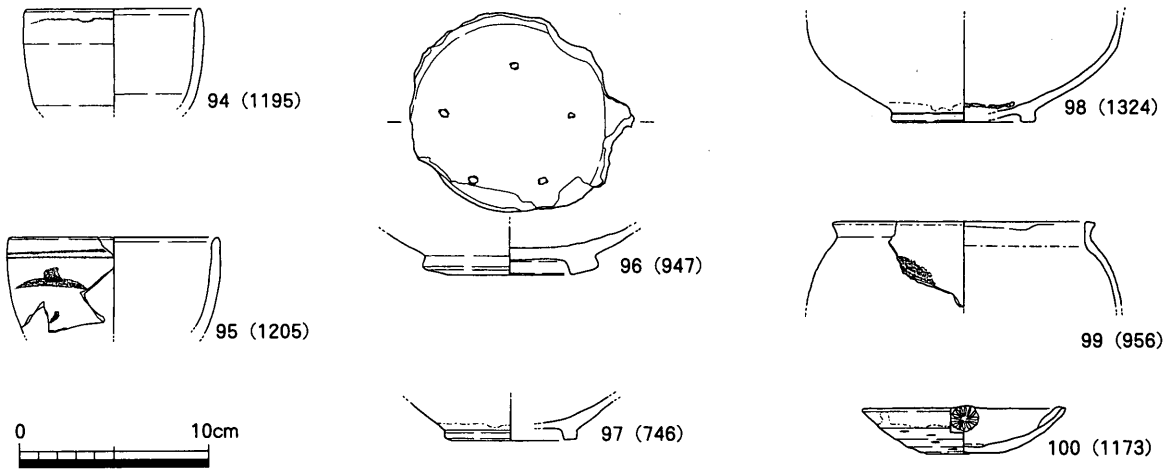
第166図　谷遺跡　胎土分析遺物2（1/4, 1/8）



第167図　谷遺跡　胎土分析遺物3（1/4, 1/8）



第168図　谷遺跡Ⅳ区　SF01　胎土分析試料採取位置図（1/40）



第169図　空港跡地遺跡D地区胎土分析遺物（1/4）

第５章　まとめ

第１節　遺構の変遷

谷遺跡では弥生時代～近世にかけての遺構、遺物を確認した。以下ではこれらの遺構、遺物を時期ごとに説明する。なおⅠ～Ⅲ区では中世遺構がⅠ～Ⅲ区ＳＸ02に規制された分布を示すためこれについても触れる。

弥生時代

この時期の遺構にはⅠ区で検出した中期中葉の竪穴住居２棟がある。近接して位置し、ともに径約４ｍである。またベッド状遺構を有し、主柱穴を６本配する点で類似する。よって同時併存である可能性が高い。

また遺構は検出されなかったが、前期後半の壺、甕と後期末頃の甕がごく少量出土した。前期の土器は東西に隣接する善門池西遺跡、成重遺跡でもわずかに見られる。なお所属時期は不明であるが、分銅形土製品も３点出土した。

古墳時代

この時期に属する遺構は検出されていない。遺物はⅠ区ＳＫ01（14世紀代）に混入した須恵器高台杯碗（23）が見られるのみである。

古代

この時期の遺構には性格不明のⅣ区ＳＫ12、ＳＸ01がある。ＳＸ01では、埋土上位で炭、灰を多量に含む層が見られる。

中世Ⅰ期（13世紀後半～14世紀代）

出土遺物からこの時期に比定できる遺構はⅡ、Ⅲ区西部で丘陵際にあるⅡ区ＳＢ05、ＳＤ01、Ⅲ区ＳＫ01、05とⅠ区北東隅のＳＤ08、ＳＫ01に限定される。この時期、Ⅰ～Ⅲ区ＳＸ02は深さ10～20ｃｍを測る。Ⅱ区ＳＢ03、04はこれに近接し、主軸方向も一致するため規制されていると考えられる。この主軸は、丘陵際にあり重複するⅡ区ＳＢ05、06と近似し、位置的にも近いため類似した時期に属する可能性がある。なおⅢ区ＳＫ04はⅢ区ＳＫ05との配置、主軸方向、埋土の類似から同時期の遺構である可能性が高い。

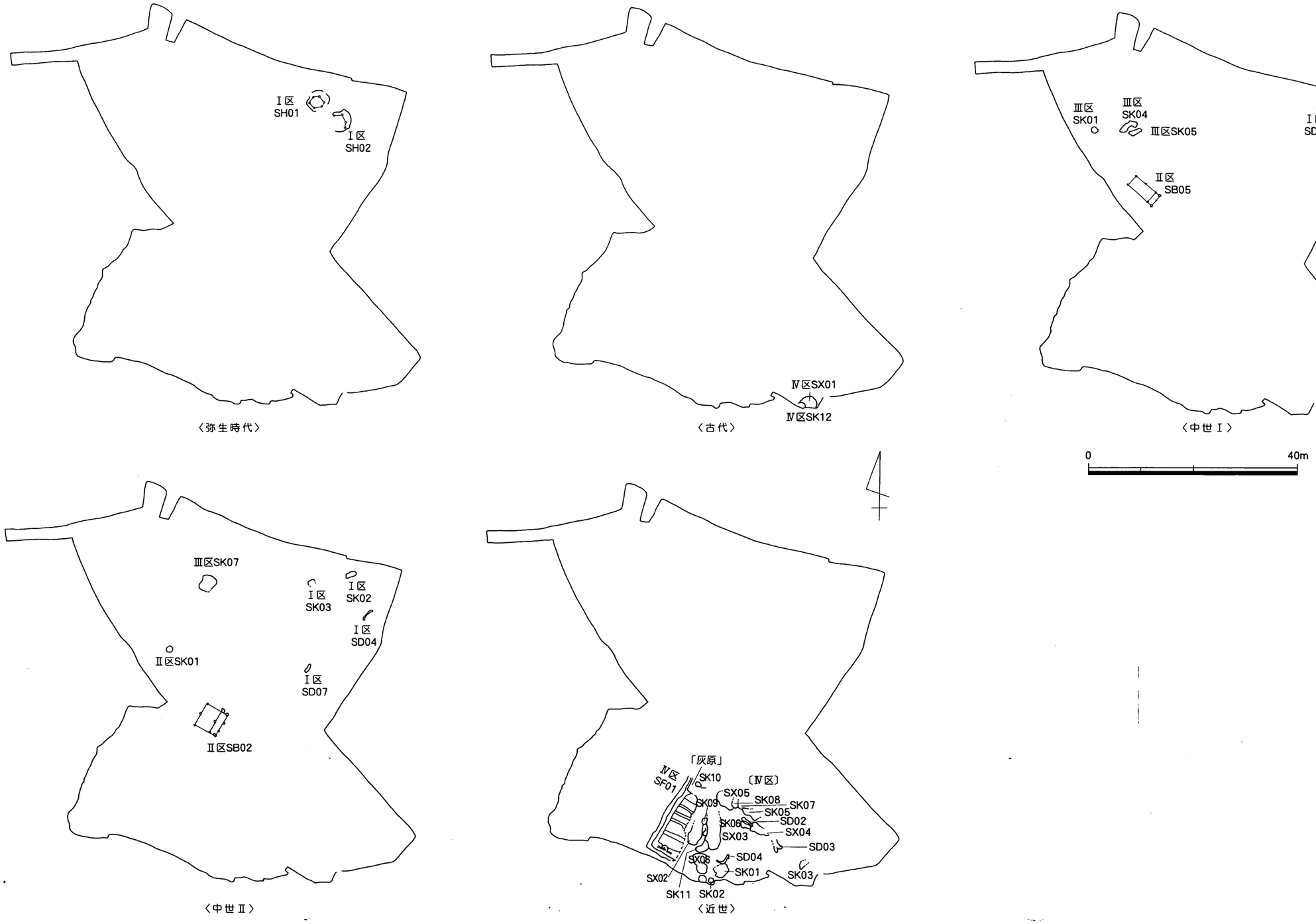
以上からⅡ～Ⅲ区西部に谷と丘陵に挟まれ、限定された空間において同時期に最大でも小型建物３棟という建物群が形成された状況を復元できる。谷地形の北側には時期比定できない建物もあるが、これが同時期であるとしても５棟しかなく小規模な集落状況を示す。

中世Ⅱ期（15世紀～16世紀代）

出土遺物よりこの時期に比定できる遺構はⅡ区ＳＢ02、Ⅰ区ＳＤ04、07、ＳＫ02、03、Ⅲ区ＳＫ07がある。

Ⅰ～Ⅲ区ＳＸ02の埋没状況については不明であるが、この部分で検出した中世遺構にⅠ区ＳＢ01、Ⅱ区ＳＢ01がある。これらは掘り込み面を確定できないが、中世Ⅰ期ではⅠ～Ⅲ区ＳＸ01が建物を規制していたことからほぼ埋没を終えた段階の所産と推定され、この時期に属する可能性が高い。

よって時期不明のⅡ区ＳＢ06、Ⅲ区ＳＢ01が同時併存するとしても最大５棟しかない建物が散在して、Ⅰ期と同様に小規模な集落を形成していたと考えられる。



第170図　谷遺跡　遺構変遷図（1/800）

近世

Ⅳ区でSF01に伴って南側と西側にSD01、西側と東側に覆い屋を構成する柱穴列、東側に階段状遺構があり、焚き口の北側に灰原が広がる。またSF01東側の谷地形は物原と考えられる。ただ付近で工房などの作業関連施設は検出されなかった。詳細は出土遺物の分布で後述するが、調査区南東部でコンターが広くなっている部分は緩斜面であり、縁辺部に土坑や溝が見られたためその可能性をもつ。なおＳＫ03は事実報告で述べたとおり素焼き陶器、窯道具にほぼ限定される遺物が大量に投棄がされている。素焼き室と判断される5室からやや外れ、東側には物原も形成されているためここで生じた廃棄物とは考えにくい。集落、工房が形成されたと考えられる北側の平地部と5室を往来するルートからも外れるため素焼き品を扱う作業場が付近に存在した可能性を示す。

第２節　SF 01 の検討

1. 窯体構築材について（図版 23 ～ 26）

遺跡内からは極めて多量の窯体構築材が出土したが、中には窯体の厚さ、構築方法や燃料投入口、出入り口、色見孔の旧状について窺いうる資料を含む。以下で順に説明する。

《厚さ》内外面が残存し、厚さがわかる資料が５室で４点（うち１点が図版 24 － K3)、３室では１点出土している。厚さは前者がいずれも約 25 ｃｍ、後者が 14 ｃｍを測る。また本来の厚さが判明しない大きな窯体ブロックを見ると 20 ｃｍ前後の厚さをもつものが多い。よって概ね 25 ｃｍ程度であったと推測される。

《窯体構築方法》出土した窯体構築材には積み上げるための接合面と見られる平坦面がある。よってブロック状のパーツを積み上げ、構築したことが想定できる（K3（右)、K1-9)。５室で 14 点、３室で３点を数える。なお K6 は幅１ｃｍほどの溝を連続して平坦面に刻む。構築時の横滑りを防止するためにこうした方法も取られたことが窺える。

《窯体の孔（色見孔、燃料投入口、出入り口)》

窯体構築材には孔を空けたものがあり、大きさと形状から３タイプに区分できる。以下の径についての記載はいずれも窯体内側のそれである。

①類　報文番号 261 ～ 263、330 ～ 332 が該当する。上ないし下の縁辺部とその付近しか残存していないが、孔の形状は方形と推定される。径 7.5 ～ 9.5 ｃｍを測る。窯の内面側はいずれも暗赤褐色でガラス化している。それ以外の部分は赤褐色になるのみで、被熱度に差がある。出土位置は２室、３室であり、形状と大きさから燃料投入口の可能性がある。

②類　図版 25 － K9 などがある。孔の形状が L 字形を呈するため方形と推定される。径 20 ｃｍ以上を測る。内面が地面に対し直立していたと仮定すると穿孔された面は斜めになり、外面に向かって狭まる。孔の形状と大きさから出入り口のコーナー部である可能性が高い。

③類　図版 24 － K7、8 などがある。孔の形状は円形であり、径が３種類ある。(14 ｃｍ、17 ｃｍ、22 ｃｍ。いずれも１、２例ずつ。）内面が地面に対し直立していたと仮定すると穿孔面が斜めになり、外側に向かって狭まる。出土した色見孔塞ぎは外側に向かって大きくなり、径も対応しないので③類とはセットにならないが、形状、大きさから色見孔の可能性が高い。

2. 窯の構築方法と順序（第 171 図）

窯の構成パーツとして大きくは側壁、奥壁、天井、床面の４つがある。構築方法を述べるに当たってまず、これらの前後関係を確認する。(煙出しは燃焼室、焼成室とやや異なるため P181 の「(6)」で別記する。)

まず側壁と奥壁の関係であるが、次の２点を観察できる。ａ．各室で奥壁、側壁が接触する南西部において奥壁構築トンバイの横に側壁構築粘土が見える。特に４室では図版４－⑫のように側壁が奥壁の破損部（遺存していれば４室奥壁がある部位。）に延びており、この状況が明確である。よって窯体構築のため掘削した地山へ直にトンバイを配置していないこと、側壁は奥壁部分ごとで途切れるのでなく窯全体に連続することが窺える。ｂ．トンバイ横粘土はどの室でも側壁に接している。(この粘土は構築時の充填材であるため先行して形成された部分に押しつけられたと考えられる。）以上から側壁構築後奥壁が形成されたと考えられる。(側壁→奥壁　①)

次に側壁と天井の関係であるが、側壁は、内外面の２層に大別できる（第 55 図Ａ、Ｂ、Ｂ’層)。これらは砂粒の含有量、粘性に違いがある。また窯の内側には著しい木槌痕跡が見られ、かなり叩き締められている。このように構築粘土が細分できることや木槌の叩き締め痕が顕著に残る構築方法は後述する天井の特徴と異なる。また先述のとおり天井を含む窯体構築粘土は平坦面をもつブロック状になっており、これらを組み上げて構築する。よって側壁形成は天井構架の土台作りとして工程的に区分できる。また天井の土台という点では奥壁も同様であり、側壁・奥壁→天

井という構築順序が推定できる（②）。なお、SF01 東西土層断面（第 55 図）および採取した側壁の観察により、A層は最下端でB層の上に乗り、その接合部を覆うように床面が貼られる。よって側壁（外面）→床面である。（③）

次に奥壁と床面の関係であるが、南北土層断面（第 54 図）を見ると奥壁構築トンバイに床面形成粘土を貼っている。よって奥壁→床面（④）と言える。

残るのは天井と床面の関係であるが直接の切り合いなどがなく、不明である。ただ後述するように天井構架のため窯内に木の支柱を立てたり、作業を行ったりすることを考えれば、天井→床面（⑤）であった可能性が高い。

以上の①、②、⑤より側壁→奥壁（①）→天井（②）→床面（⑤）と考えられ、③、④はこれと矛盾しない。以下ではここまでの事実報告と上記の検討を基に構築方法の復元案を提示する。

(1) 構築位置、各室配置の決定

構築位置は北へ向かって下る斜面で、東西に対しては小高く隆起する。前面には丘陵から延びる緩傾斜面があり、作業場、集落の形成が可能である。付近の丘陵全体から見るとやや奥まった位置にあり、西側には北へ向かってせり出す丘陵がある。この選地は季節風の影響回避を意識した可能性がある。

(2) 階段と SD01 の掘削

積極的な根拠は提示できないが階段は構築作業用の通路として、SD01 は構築位置への水の浸入を防ぐため先行して掘削された可能性が高い。

(3) 地山整形と覆い屋構成柱穴の掘削

奥壁、側壁ともに壁面は垂直～ななめに、床面は平坦にカットし、階段状にする。また覆い屋用の柱穴を掘削する。

(4) 覆い屋の設置、側壁の構築

覆い屋を建てる。その後側壁を地山の壁面に沿って貼る。２層に大別されるが内側には厚さ５～10ｃｍの粘土を貼り、木槌で叩き締める。

(5) 奥壁の構築

奥壁は階段状にカットした段の奥部に①トンバイを並べ、その間にトンバイ横粘土を詰め、上面を平坦にする。②次いでその平坦面上に厚さ５～10ｃｍ程度で粘土を敷く。やはり平坦になるように敷く。以後①、②を繰り返す。この工程に合わせ、裏込めとして粘土や粘性砂質土を入れる。

（以上のようにトンバイ横とトンバイ上で工程を分けたと考えるのは第 58 図では区分して提示できていないが、トンバイ横粘土および奥壁トンバイに厚さ約４ｃｍの上下面で平坦面を持つトンバイ上粘土が付着（例として図版 23 － K1、26 － K18）していること、その他のトンバイ横粘土も高さがトンバイと同じ 16 ｃｍで、上下端に平坦面があることによる。）

(6) 各室の通炎孔および煙出しの形成。

奥壁上に通炎孔としてトンバイを並べる。なお煙出しは側壁、奥壁がないため地山上に盛り土（第 54 図 14 層）し、床面形成のため粘土（同 13 層）を貼り付け、直方体粘土を並べれば、天井を架けるのみである。

(7) 天井構架

4、5 の行程で構築した側壁、奥壁の上に天井を架ける。註１文献によると１室ごとの内部に木の支柱を立て、この上に室の形に編んだ竹をおく。竹の上に粘土を貼り、叩き締めて、天井を形成する。（窯体構築材内面に竹痕跡をもつものとして 211、212 がある。また竹の上に粘土を貼る工程は SF01 の場合、ブロック状の窯体を積み上げる。）叩き締めは内外面とも木槌で行っている。他にハケ状工具の痕跡もあるが、ほとんどナデ消され、きれいに平坦にしている。これは窯の重量がかかることによる亀裂や、風雨にさらされての劣化を防ぐことを意図していると考えられる。

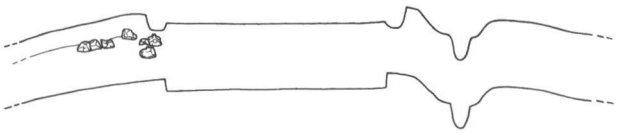
(8) 乾燥、床面構築

註１文献によると完成したら１ヶ月以上乾燥させ、内部の支柱や竹を取りだし、修正をして乾燥焚きを行うという。床面はおそらくこの後で貼ると考えられる。

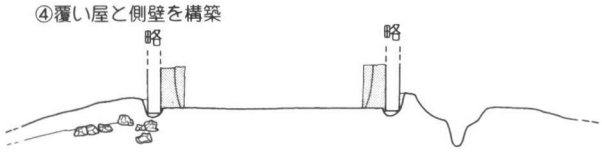
①構築位置の決定

②階段設置とSD01の掘削

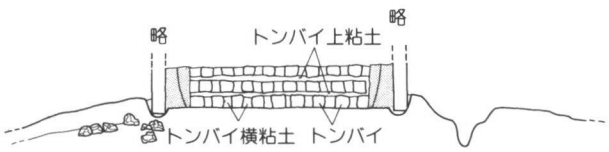
③地山を階段状に整形　覆い屋の柱穴を掘削



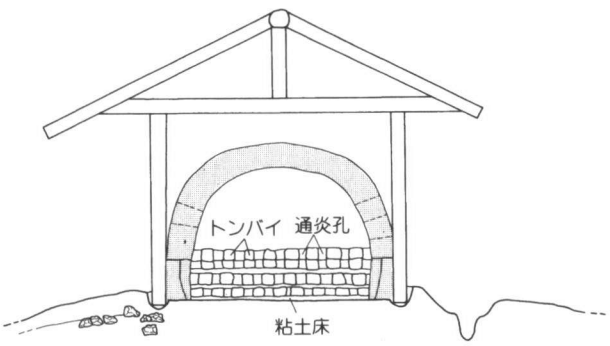
④覆い屋と側壁を構築

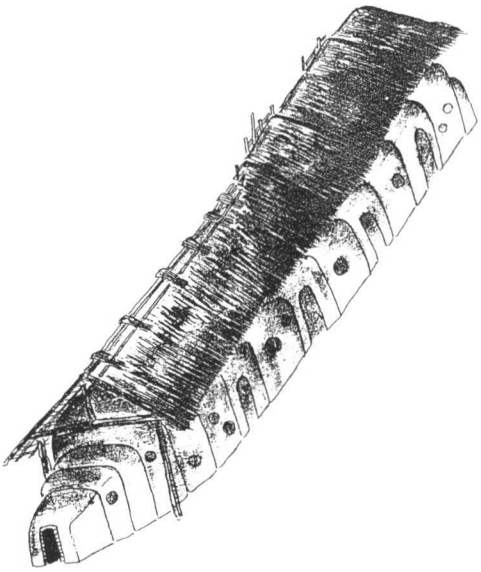


⑤奥壁の構築



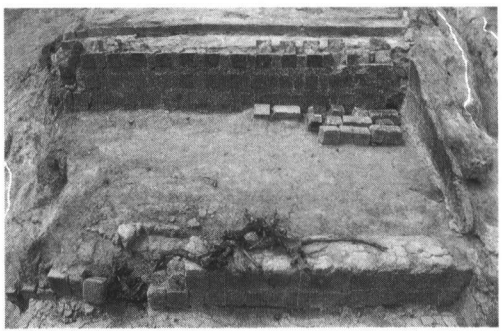
⑥通炎孔と煙出しの構築　⑦天井構架　⑧床面構築





登窯と覆い屋（内藤東甫「張州雑誌」註１文献より抜粋）

SF01全景（左に階段・右にSD01）



SF01　第４室の奥壁（上端に通炎孔）

第 171 図　SF01 構築順序図

3. 改築について

窯の改築については既に燃焼室、1、2、5室で2枚の床面が見られ、張り替えが行われことを述べた。

ここではこれより大掛かりな改築として4室奥壁の通炎孔嵩上げ、5室火床、砂床床面の再構築を取り上げる。まず4室であるが、いずれの室でも奥壁構築に使用されているトンバイの大多数は火表側が強く焼ける。だが、奥側に行くにつれ被熱度は弱まり、調査時には半身以上が粘土に還っていた。このため日干し状態で使用されたことが想定され、谷遺跡内での製作が推定される。これは胎土分析でSF01西側壁との類似性が指摘されたことにより裏付けられる。だが第4室のトンバイには火裏も被熱しているものが44列（第59図）で9点（44D、44E、44F、44H、44J、44K、44L、44M、44N）見られる。被熱状況は小口面が最も強いが、薄黒くなる程度である。これは奥壁の火表側の被熱状況とは異質であり、ある地点での奥壁構築トンバイを別地点での再構築に使用し、旧来の火裏を火表に回したとは考えられない。（なお解体時の経験であるが日干し状態で使用しているため窯の解体時には壊れる可能性が高い。）

これに類似した被熱状況は45列にある通炎孔形成トンバイの火裏側（＝火床での追い焚きによる被熱）に見られる。こうした被熱状況と位置が44列に限定され、検出した44列トンバイの9／14個を占めることから当初の4、5室間通炎孔は44列にあったが、これをトンバイ横粘土で埋めて嵩上げし、新たに45列を通炎孔にしたと想定できる。このことは44列のトンバイ横粘土が同列のトンバイより被熱度が弱く、被熱機会に差があったと見られることからも裏付けられる。

なお44列の旧通炎孔に伴う5室1次火床は断ち割り土層断面でも観察できない。2次火床構築に伴い壊されたと考えられる。

次に5室であるが、床面の張替えに火床の整備が伴う。ＳＦ01南北土層断面図（第54図）を見ると1次床面（17、17'層）上に暗赤褐色微砂質土（16層）を敷き、その上に2次床面（15層）を貼っており、2枚の床面を確認できる。（検出状況から）2次床面に伴う2次火床は19、20層で構築される。火床境である19層を設置し、床面である20層を貼る。1次床面は火床境の上面より下位にあり伴わないため1次砂床→2次火床・2次砂床となる。1次砂床は4室の44列旧通炎孔に対応していた可能性もあるが、積極的な根拠はない。

なお、Ⅳ区ＳＫ07（図版24－K14）、ＳＸ04（同24-K15）では、被熱状況、粘土塊の付着状況から見て奥壁を構築していたと考えられるトンバイが1点ずつ出土している。ともに1／4程度の残存率である。量的には少ないが奥壁の作り替えを示唆する。

4. 5室の用途について

既述のとおり5室は他の焼成室といくつかの内容について様相が異なる。以下では具体的な状況と異質性を確認し、その性格、機能について検討する。

① 追い焚き用の施設は4室で幅35ｃｍほどの範囲に粘土を貼った簡易な火床があるが、1～3室では砂床の離れ砂上で直接追い焚きを行うのみである。これに対し5室の火床は幅約45ｃｍ、深さ10ｃｍと大きく、火床境と床面を分けて構築し、作りが丁寧である。多量の陶器を焼成できる室面積の大きさと対応し、整備された可能性が考えられる。

② 5室内は全体（火床、砂床床面、奥壁、側壁、天井（註））的に赤みを帯びた肌色を呈し、被熱は弱い。作り替えされている火床、砂床床面だけでなく、構築順序からこれに先行する5室側壁、奥壁についてもほとんど被熱せず、むしろ火床より弱い。これは4、5室間の通炎孔、5室に隣接する4室奥壁では強い被熱が見られる状況に対し、大きな差がある。

断ち割りで旧窯体の残存部などは確認できず、積極的な根拠は呈示できないが、ごく弱い被熱が全体的に見られる状況は、2つの可能性を示す。1つは5室奥壁・側壁も2次火床・床面と近接した時期に作り替えられた可能性である。2つめは操業期間中ほとんど被熱しない温度で焼成が継続された可能性である。

（註）サンプルとして持ち帰った資料の窯体（31点）内側の被熱状況を見ると黒褐色であるがガラス化していないものがほとんどである。被熱度は5室火床と同程度であり、これには出土位置、出土状況から天井部が直下に

落下したと想定される部分も含む。この部分は火元である通炎孔からの距離が火床と同程度であり、被熱機会が同程度であれば被熱状況も類似すると考えられる部分である。

(数点はやや強い被熱によりガラス化している。30ｃｍ前後の大きさであるため流れ込みとは考えにくい。部位による差と考えておきたい。)

③　5室では砂床にほとんど砂が見られない。これについては先述のとおり人為的に除去されたと考えられる。

④　出土遺物のうち陶器は素焼きばかりである。窯道具では他の室で見られる輪トチ、ピン、サヤ鉢固定用？の粘土塊がほとんど見られない。また陶器、窯道具とも強い被熱を受けておらず、自然釉の付着、ゆがみが生じたものもない。これは焼成室内がほとんど被熱していない状況と一致する。他の焼成室でも素焼き陶器は砂床内を中心に見られるが、それに限定されることはない。こうした遺物の状況、器種組成は砂床に砂を敷かないことと合わせて5室での作業が他の焼成室とは異質であったことを示す。

以上の②～④より5室のあり方が他の焼成室と大きな差があることがわかる。諸々の部位の素焼き状態と離れ砂がなくても使用できる室の用途を考慮すると素焼き室として利用されたと考えられる。

ただ①のように室面積が大きいだけでなく改修されて火床が整備されていること、③のように砂は敷かれた時期もあることを考えれば、改修は本来陶器焼成を意図していたと見られる。

第３節　SF 01 関連遺物の検討

1.　陶器の器種と類型（文中の陶器を示す数字は第 172 ～ 177 図のもの。）

出土した近世陶器には遺跡内でＳＦ 01、桶窯により焼成されたもの、他地域産のものがある。このうち SF01 で製作された器種（註）には碗、汁次、徳利、鉢、すり鉢、行平鍋、鍋、土瓶、急須、茶入れ、蓋、灯明皿、花生、香炉、水注？、水滴、仏花瓶、合子、甕、植木鉢などがある。以下ではこれらを形態、法量などにより類型区分し提示する。（註）桶窯で製作された軟質施釉陶器は蓋しか判明していない。よって以下で報告する陶器には桶窯での焼成器種を含む可能性がある。ただ軟質施釉陶器の胎土はやや粗いため素焼きしか出土していない小型器種について緻密な胎土をもつものはＳＦ 01 製品と判断した。こうした状況にあるため素焼き品しか出土していない小型器種、類型についてはその旨を記載する。

〈器種分類〉

《碗》

碗Ⅰ－ａ類　口縁端部から体部がほぼ直立し底部にかけて丸味をもって屈曲する。いわゆる丸碗。

碗Ⅰ－ｂ類　器形はⅠ－ａ類に類似するが、強いナデにより体部に凹凸が見られる。

碗Ⅱ類　体部が直線的で器高が高い。いわゆる半球碗。

碗Ⅲ類　底部外面で鋭く屈曲し体部に延びる。いわゆる小杉碗。

碗Ⅳ－ａ類　体部が外上方に開き、口縁端部が外反する。いわゆる端反碗。

碗Ⅳ－ｂ類　口縁端部が外反するが底部にかけて明確な稜をもって屈曲する。（2 点の素焼きのみ出土。）

碗Ⅴ類　口縁部から体部にかけて直立し底部にかけて強く屈曲する。口縁端部が残る資料では内側に折り曲げたり肥厚させたりしている。内外に施釉するが外面では高台付近より下位は無釉である。

碗Ⅵ類　法量、形状から盃と見られるもの。（14 は盃台。また 12 ～ 14 は 1 点ずつ。素焼き。）

《汁次》　碗Ⅴ類と同様な形状、法量、施釉状況である。

《徳利》

徳利Ⅰ類　口縁部が鳶口を呈する。口縁部付近で内外に指オサエが顕著。

徳利Ⅱ類　口縁部が直線的で頸部も太い。

《鉢》

鉢Ⅰ類　全体形状は不明であるが体部下半が大きく開く。高台は先端に向かって細長く尖る。（10 点強の素焼きのみ出土。）

鉢Ⅱ類　口縁部から体部にかけて直立し底部にかけて強く屈曲する。口縁端部が残る資料では内側に小さく肥厚させる。内外に施釉するが外面では高台付近より下位は無釉である。（碗Ⅴ類と形状、施釉状況は類似するが法量で器種を区別した。碗Ⅴ類の大型が口径８ｃｍであるのに対し鉢Ⅱ類は約 11、５ｃｍを測る。）

鉢Ⅲ類　扁平な体部から延びる口縁部を外側に屈曲させその先端を直立気味に折り曲げる。口縁部は輪花状を呈し、高台は断面方形で大きい。

鉢Ⅳ類　口縁部外面を強くナデて、すり鉢のように小さく突出させる。

鉢Ⅴ－ａ類　半球形を呈するが、やや腰が張る。体部からほぼ水平に延びる、断面方形の短い口縁部を持つ。

鉢Ⅴ－ｂ類　底部まで遺存する資料がないが器形はⅤ－ａ類と類似する。（報文番号 1217、1221 が同一個体の可能性が高いことによる。）口縁部は体部からほぼ水平に延び、先端にかけて細くなり、直下に片口をもつ。

鉢Ⅴ－ｃ類　体部から水平に延びる口縁部を先端で上方に肥厚させる。

鉢Ⅵ類　体部が直立気味で器高が高い形状を呈し、口縁部が先端で弱く外反する。ｂ類では輪花状を呈する。

（c、d類は1点ずつの出土で素焼きのみ。）

鉢Ⅶ類　　扁平な形状であり、口縁端部を直立させる。1点の素焼きのみ出土。

《すり鉢》

拡張された口縁部が外上方に延びる。口縁部内面には強いヨコナデを加えるがすり目の上端が消されきらずに残存する。

《行平鍋》　形態に違いはないが、法量で2分できる。

行平鍋Ⅰ類　　口径約17ｃｍ×器高9ｃｍ

行平鍋Ⅱ類　　口径約20ｃｍ×推定器高10ｃｍ

《鍋蓋》

鍋蓋Ⅰ類　　口径約17ｃｍ（行平鍋Ⅰ類、鍋Ⅲ類に対応）

鍋蓋Ⅱ類　　口径約20ｃｍ（行平鍋Ⅱ類、鍋Ⅳ類に対応）

鍋蓋Ⅲ類　　口径約24ｃｍ（鍋Ⅳ類に対応）鍋蓋Ⅰ、Ⅱ類がつまみを削り出すのに対し、貼り付ける。また口縁端部を小さく垂下させる。

《鍋》　　基本的に形態差はないが、法量で4区分した。ただし図化した40例だけを見てもⅡ．Ⅲ類間、Ⅲ．Ⅳ類間には中間的な法量を持つもの（41）が多く見られ厳密な法量区分は意識されていない。形態差は口縁部と器高で見られる。口縁部は丸味を持つものだけでなく41のように上面を平坦に仕上げるものが一定量ある。器高は報文番号894のように浅いものもある。口径は12～23ｃｍ、器高は把手まで含めて推定8．5～12ｃｍの範囲に収まる。

鍋Ⅰ類　　口径約12ｃｍ

鍋Ⅱ類　　口径約15ｃｍ×推定器高8ｃｍ

鍋Ⅲ類　　口径約20ｃｍ×器高約9ｃｍ

鍋Ⅳ類　　口径約23ｃｍ×器高約11ｃｍ

《土瓶》　　ソロバン玉型土瓶のⅠ～Ⅳ類、扁平形土瓶のⅤ、Ⅵ類に大別でき、さらに法量、胴部形状で細分した。胴部最大径は約12～22ｃｍ、器高は6．5～15ｃｍの範囲に収まる。

土瓶Ⅰ類　　口径約5．5ｃｍ。胴部最大径約11．5ｃｍ×器高9ｃｍ

土瓶Ⅱ類　　口径約7ｃｍ。胴部最大径約15cm

土瓶Ⅲ類　　口径8．5～10ｃｍ。胴部最大径18～20ｃｍ×器高12～15ｃｍ

土瓶Ⅳ類　　口径約10～12ｃｍ。胴部最大径18～22ｃｍ×推定器高12ｃｍ。Ⅰ～Ⅲ類は器高が高いのに対しⅣ類は扁平気味の形状であり胴部最大径で強く屈曲する。扁平気味である点は扁平形土瓶に類似するが肩の張りがなだらかなこと、口縁部先端を小さく肥厚させること、体部上半で沈線を施すことがソロバン玉型土瓶と共通するためこちらに加えた。

土瓶Ⅴ類　　口径約5ｃｍ。胴部最大径約11．5cm×推定器高6．5ｃｍ。

土瓶Ⅵ類　　口径約8～11ｃｍ。胴部最大径約18～21cm×器高10～12ｃｍ。

《急須》　　確実に急須とできる資料は1点のみであるが土瓶として分類した中には急須も含まれると推定される。

《土瓶蓋》　　ソロバン玉型土瓶蓋のⅠ～Ⅲ類、扁平形土瓶蓋のⅣ類に大別でき、法量や体部、つまみ形状で細分した。

土瓶蓋Ⅰ類　　口径約7ｃｍ。（土瓶Ⅱ類に対応。）

土瓶蓋Ⅱ－ａ類　菊花つまみをもつ。口径約9．5ｃｍ。（土瓶Ⅲ、Ⅳ類に対応。）

土瓶蓋Ⅱ－ｂ類　アーモンド状のつまみをもつ。推定口径約9．5ｃｍ。（土瓶Ⅲ、Ⅳ類に対応。）

土瓶蓋Ⅲ類　　口径約13～15ｃｍ。（土瓶Ⅲ、Ⅳ類に対応。）
土瓶蓋Ⅳ－ａ類　体部がつまみに向かって扁平に延びる。口径約13ｃｍ（土瓶Ⅵ類に対応。）
土瓶蓋Ⅳ－ｂ類　体部がつまみに向かって隆起し延びる。口径約13ｃｍ（土瓶Ⅵ類に対応。）

《茶入れ》　直線的な体部から内傾する口縁部をもつ。口縁端部の釉は内外とも剥ぎ取る。

《灯明皿》　仕切をもつⅠ類、持たないⅡ類に大別し、Ⅰ類は法量、形態で細分した。
灯明皿Ⅰ－ａ類　口径約10ｃｍ。体部は直線的である。（10点ほどの素焼きのみ出土。）
灯明皿Ⅰ－ｂ類　口径約19．5ｃｍ。口縁部が長く、端部で上方に小さくつまみあげる。（3点の素焼きのみ出土。）
灯明皿Ⅱ類　口径約7ｃｍと10～12ｃｍのものがある。また内面には菊花の浮文、ボタン状浮文を貼り付ける。

《花生》　筒状の直線的な形状を呈する。

《蓋》　形態、法量にいくつかのバリエーションがある。いずれも素焼きである。60は皿の可能性もあるが頂部のつまみを高台と見ると矮小で安定感に欠くため蓋と考えた。ただこれを受ける身は不明である。

《香炉》　無文のⅠ類、外面に凹線を加えるⅡ類、しのぎを施すⅢ類に分類した。Ⅲ類は文様で細分したが、意匠が不明なものもある。口縁部内面はいずれも肥厚させる。法量的には口径10～12ｃｍに収まるものが大部分である。器高は判明する2点で約10ｃｍを測る。
香炉Ⅰ類　口径9～13ｃｍ。口縁部を内側に折り曲げて肥厚させたもの（報文番号652）が見られる。
香炉Ⅱ類　推定口径12～15ｃｍ。
香炉Ⅲ－ａ類　木葉文を施す。口径10～12ｃｍ。
香炉Ⅲ－ｂ類　波状文を施す。口径約12ｃｍ。
香炉Ⅲ－ｃ類　口縁部付近で直線的な文様を施す。口径約12ｃｍ。

《仏花瓶》　口縁部から球形の体部にかけてのラインが72のようになだらかなものが多いが、73のように屈曲させるものもわずかにある。また体部も74のように角張るものがごく少量見られる。

《水滴》　木の葉をモチーフとしたものが1点ある。

《水注？》　外面に芭蕉の葉などを描いたものが1点ある。

《合子》　下面を丁寧にナデており剥がれた痕跡がないため合子と判断した。ミカン、クリ、亀をモチーフとしたものがある。

《甕》　口縁部、頸部の形態で2つに大別し、施文などで細分した。Ⅰ類は口縁端部を内外面に突出させ、直立気味の長い頸部をもつ。Ⅱ類は口縁部を外面に折り曲げて作りだし、頸部はごく短い。またⅡ類よりⅠ類の方が肩の張りがやや強い。
甕Ⅰ－ａ類　口径約24ｃｍ、35ｃｍの2タイプ。肩部外面に指オサエが連続する環状粘土紐を貼り付けるものが見られ、丹波焼の甕を模倣していると考えられる。
甕Ⅰ－ｂ類　他のタイプでは肩部外面に沈線を加えるが、数条の波状文を施す。口径約25ｃｍ。
甕Ⅰ－ｃ類　頸部はごく短いが口縁端部を内面にも突出させ、肩が張る。このためⅠ類の範疇とした。図化したものしか確認できていないが口径約28ｃｍ。
甕Ⅱ類　口径は約20ｃｍ、25～28ｃｍ、35～38ｃｍの3タイプ見られる。
底部　高台を持つ底部が一定量出土している。釉の色調、胎土、法量と合わせてみると甕Ⅱ類の底部である

可能性が高い。

《植木鉢》　外面に凹線を施すもの（89）、下端に抉りを加えるもの（90）が見られる。ただし底部の穿孔は確認していないため別器種である可能性もある。

〈時期比定〉

これらの遺物のうち碗Ⅳ－ａ類（端反碗）、行平鍋（報文番号1158の他地域産ではトビガンナを施すものも見られる）、徳利Ⅰ類（鳶口の燗徳利）、鉢Ⅴ－ａ類、灯明皿などから時期は19世紀前半（中葉に近い時期か？）と考えられる。なお遺物による時期幅の推定は難しいが窯壁の被熱はさほど強くないため比較的短期間の操業であったと見られる。

2. 窯道具の器種と類型（第178～180図）

出土した窯道具は桶窯で使われた円環状土製品、用途不明の焼き台Ⅱ．Ⅲ類以外は確実にＳＦ01で使用されている。器種としてサヤ鉢、敷き板、焼き台Ⅰ類、ドーナツ状焼き台、トチン、ピン、ワトチがある。以下ではこれらを形態、法量などにより類型区分し提示する。

《サヤ鉢》　多くの個体は強度の被熱により器表面が溶融し、黒ずんでいる（ガラス化）。また自然釉が付着するものも目立つ。これはＳＦ01の窯壁で見られるのと同様な状況である。サヤ鉢を窯詰めする際にはサヤ鉢の上に別のサヤ鉢を直重ねするか、間に粘土紐を挟むかして積み上げている。このためほとんどの個体で口縁部上面と底部外面縁辺部に①粘土塊の付着ないし②剥がれた痕跡が見られる。また体部外面にも③粘土塊やそれが剥がれた痕跡がある。これは窯詰めした際に隣接するサヤ鉢同士が接着するのを防ぐため貼り付けたと考えられる。（観察表ではこれらを①「サヤ鉢接合粘土」、②「サヤ鉢設置痕」、③「サヤ鉢間粘土」と表記した。なお②はサヤ鉢の直重ね痕跡、粘土紐付着痕跡と見分けがつかないため両方の内容を含む。）

図180のグラフでは遺跡で出土したサヤ鉢のうち口径、器高が判明するものを全て提示した。これを見ると法量的に大きく4区分できる。また形態的に台形状を呈するものを別類型として加え、以下の5類型を設定した。

サヤ鉢（小）　内径10～17ｃｍ、器高9～13ｃｍ。口縁部上端に空気孔を施すものが見られる。

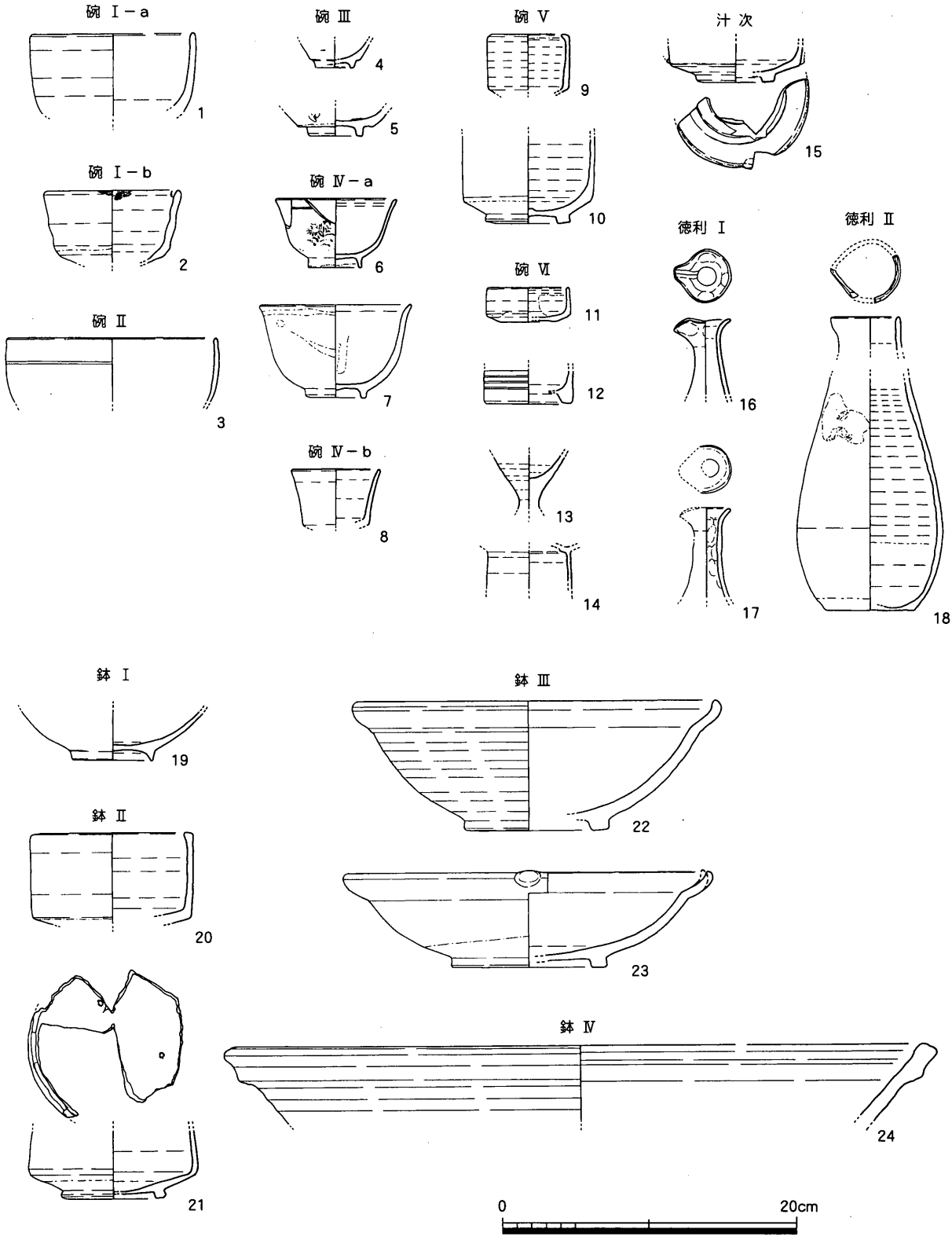
サヤ鉢（中）　内径16～27ｃｍ、器高6.5～10ｃｍ。体部下位に穿孔をもつものはこの類型に限定できる。大部分が素焼きでありごくわずかに見られる赤黒く被熱したものもガラス化に至らず、火元と近接した距離を反映したと考えられる。ＳＦ01での出土位置が5室に偏ることから素焼き室と考えられる同室に限定して使用されたと考えられる。

サヤ鉢（大）　内径16～24ｃｍ、器高12～17.5ｃｍ。口縁部から体部にかけて抉りを加えるものは1点を除き、この類型に限定できる。抉りは土瓶や行平鍋の注口、把手をサヤ鉢の外部に出すために設けられたことが指摘されている（註）（図版10下部の中央上段にあるサヤ鉢と土瓶参照）。また口縁部上端に空気孔を施すものが見られる。内径はサヤ鉢（中）、（浅）と重なる範囲が大きいがこれらは素焼きに限定されるためガラス化している器高不明品はサヤ鉢（大）として見てまず間違いない。

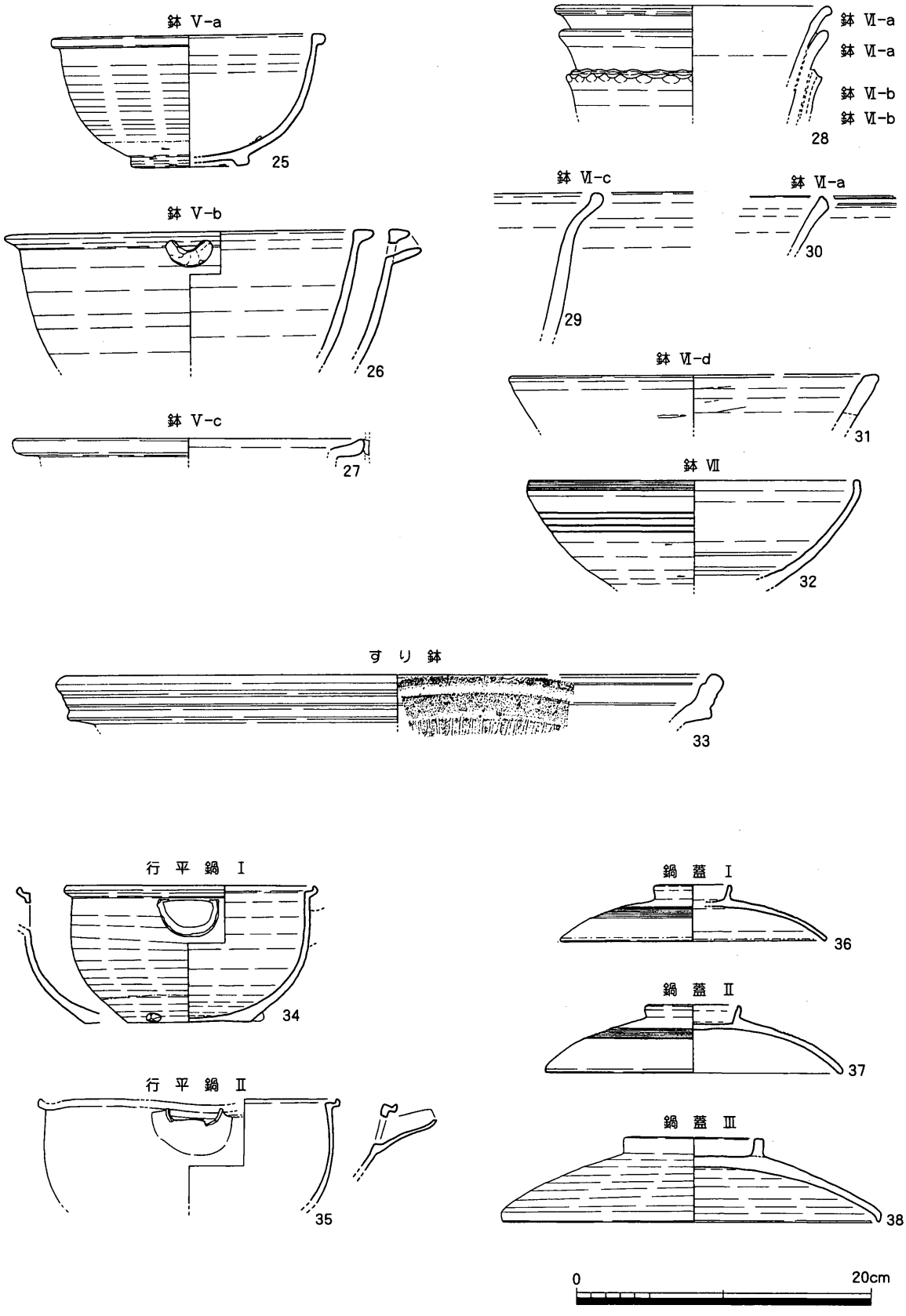
サヤ鉢（浅）　内径21～27.5ｃｍ、器高4～5.5ｃｍ。サヤ鉢（中）、（台形）と同様に素焼きばかりである。出土位置も同じく5室に偏り、同室専用で使用されたと考えられる。

サヤ鉢（台形）内径13～25ｃｍ、器高8～9ｃｍ。サヤ鉢（中）、（浅）と同様に素焼きばかりである。出土位置もやはり5室に偏り、同室専用で使用されたと考えられる。

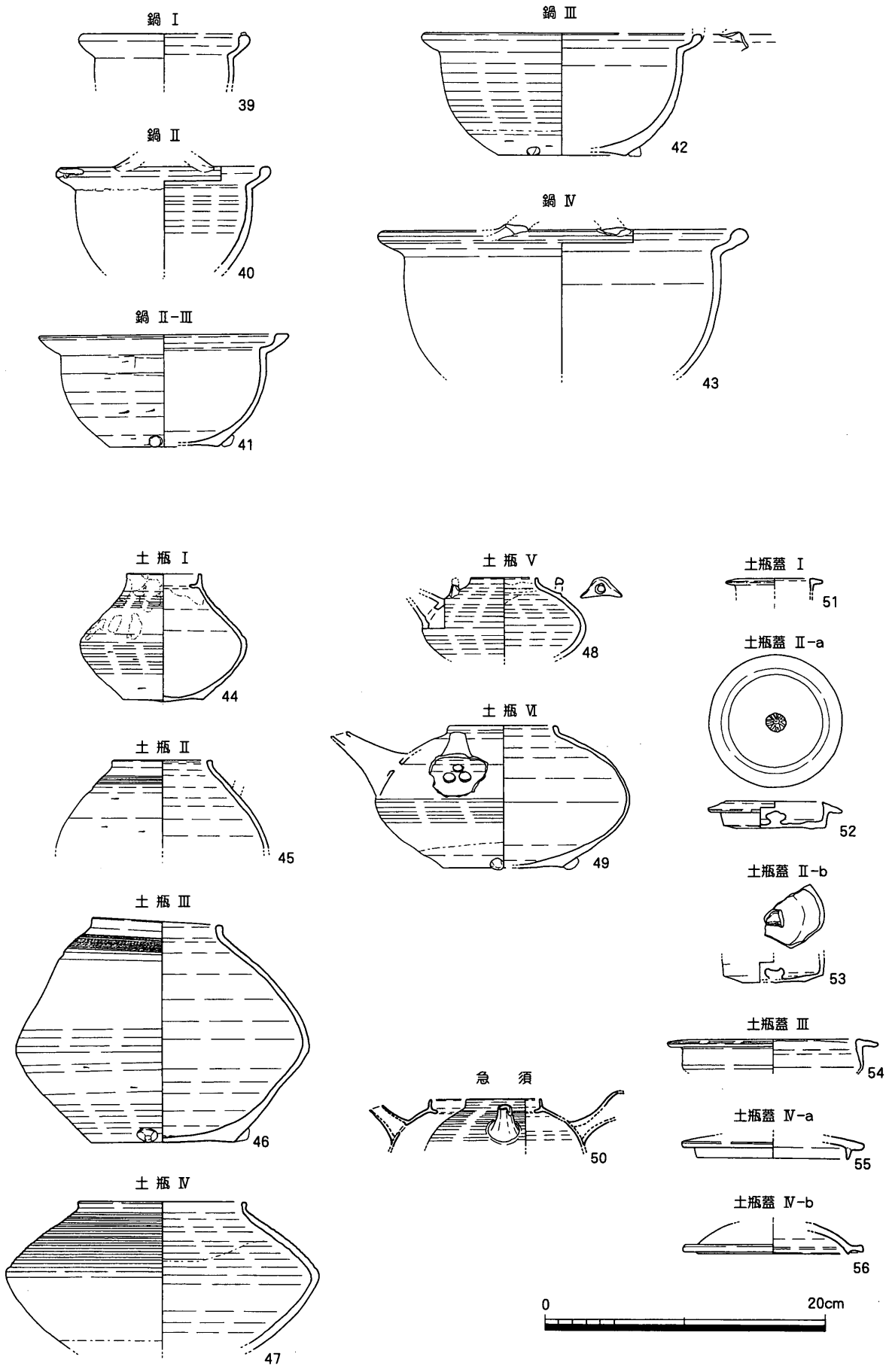
《敷き板》　サヤ鉢と同様に多くの個体がガラス化したり、自然釉が付着したりしている。法量的に7類に大別できる。ただ大型のⅢ～Ⅵ類は陶器や窯道具の設置痕や被熱状況が類似するため破片になるとどのタイプが判断できない。このことは各類型に対し特定の陶器や窯道具を設置するという個別的固定的な使用方法が採られるのでなくある程度流動的、臨機応変な使用がなされることにも関わる。



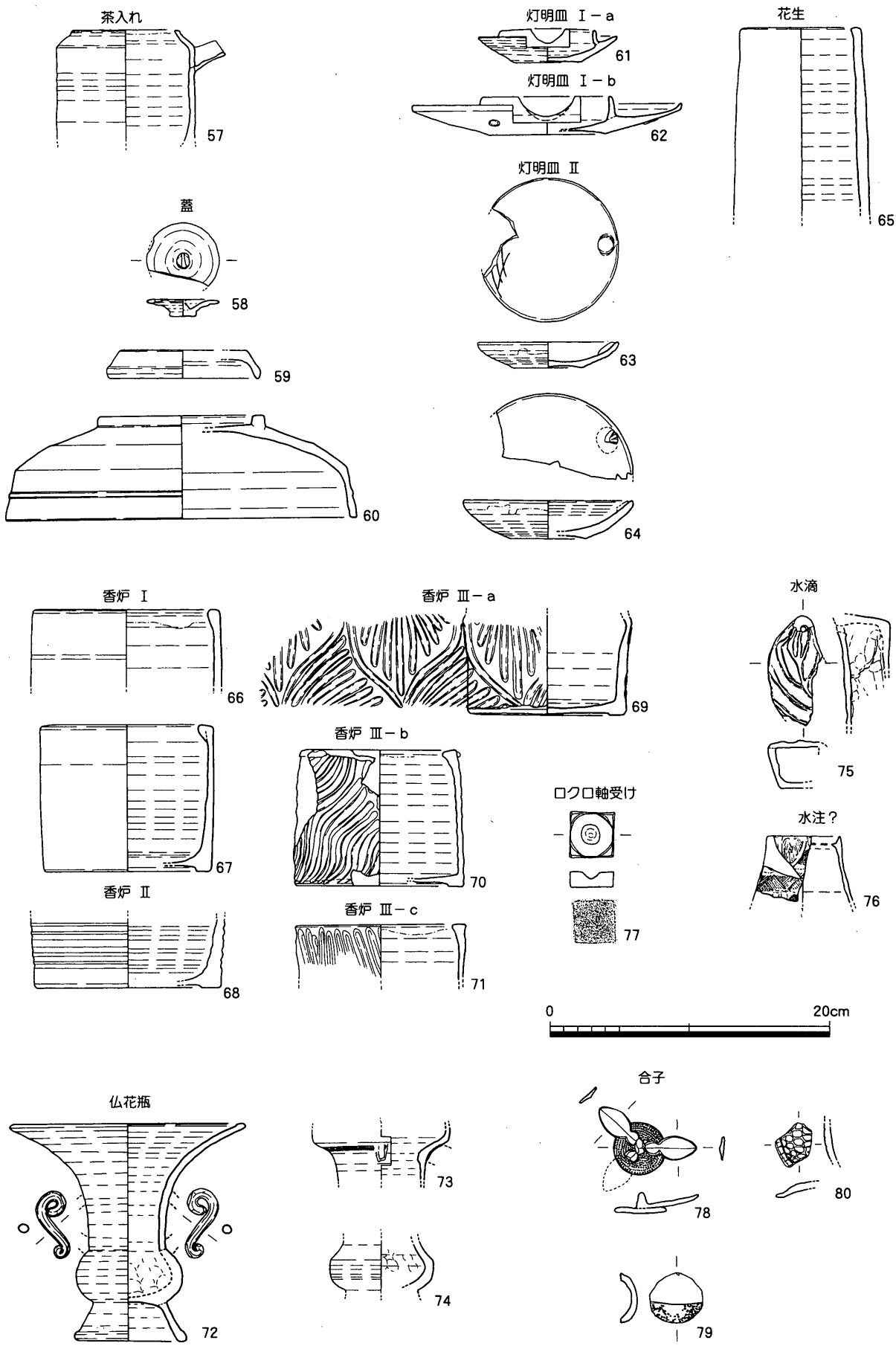
第172図　陶器器種分類図（1）　碗・汁次・徳利・鉢（1/4）



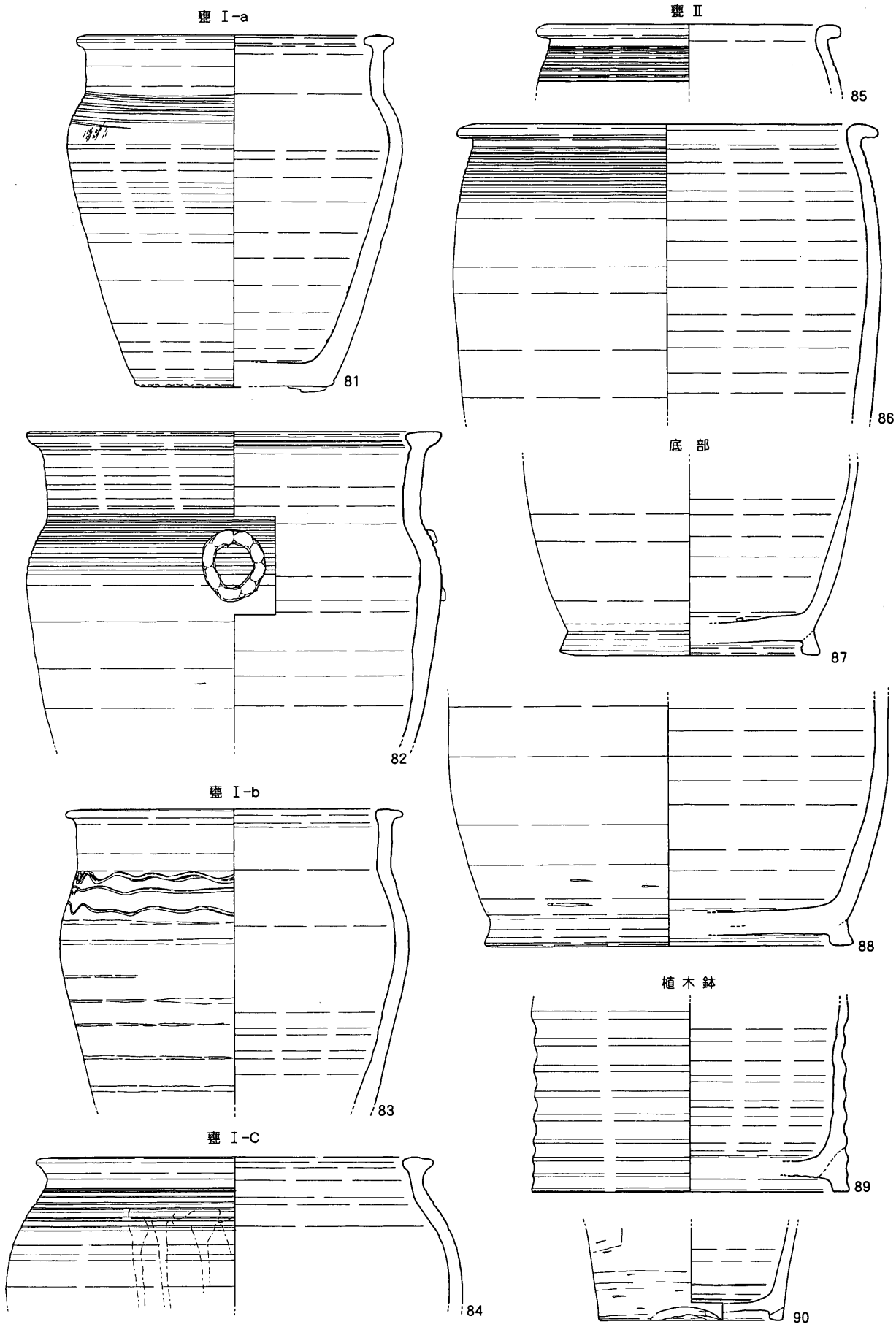
第173図　陶器器種分類図（2）　鉢・すり鉢・行平鍋・鍋蓋



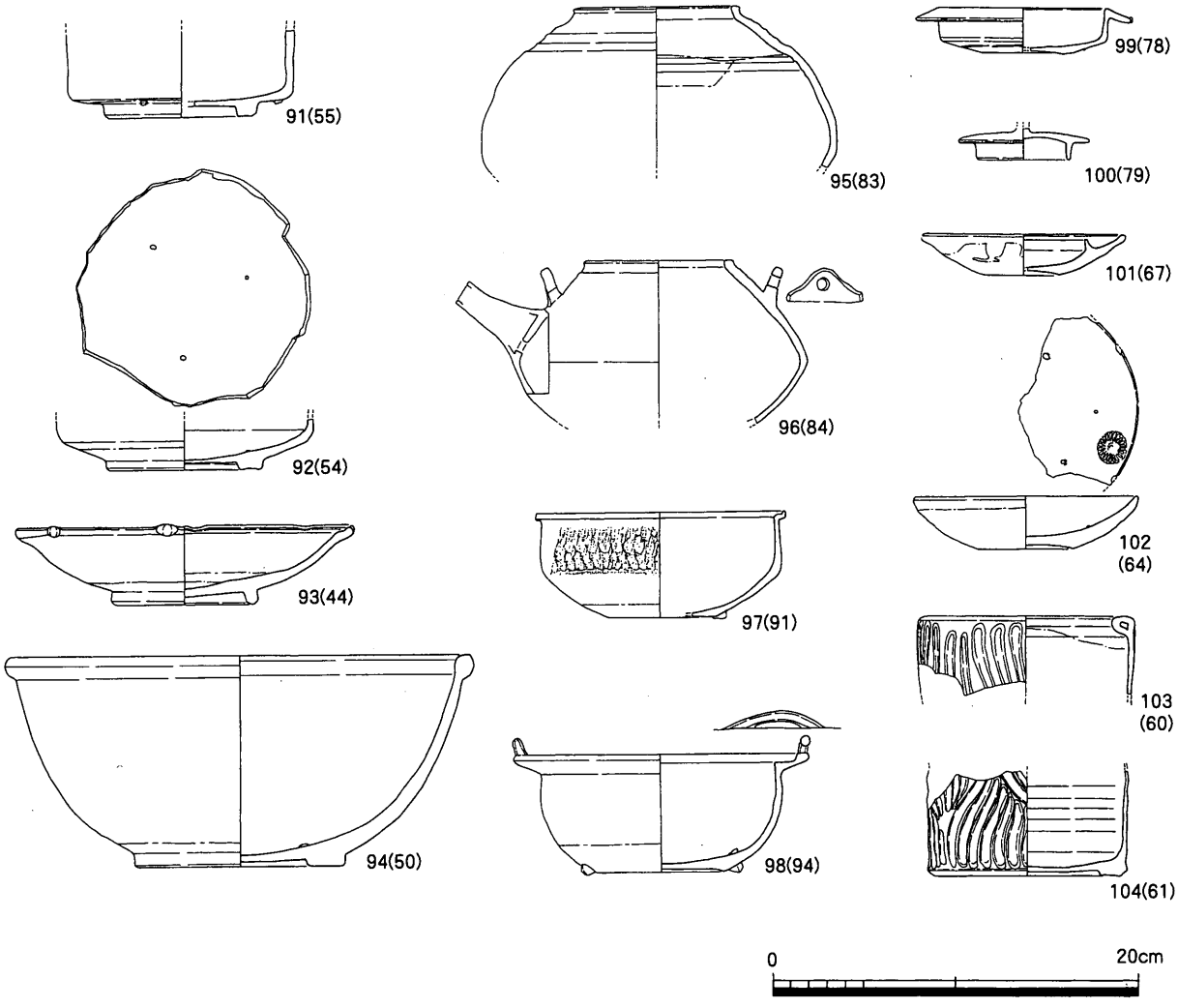
第174図　陶器器種分類図（3）　土鍋・土瓶・急須・土瓶蓋（1/4）



第175図　陶器器種分類図（4）　茶入れ・蓋・灯明皿・花生・香炉・仏花瓶
水注・ロクロ軸受け・合子・水滴（1/4）



第176図　陶器器種分類図（5）　甕・底部・植木鉢　(1/4)



第177図　吉金窯跡出土陶器（1/4）　※（　）内数字は註2の遺物番号

敷き板Ⅰ類　18×10×5ｃｍ。出土資料はごくわずかしかないが例示したものでは上面に①陶器ないし窯道具の設置痕、下面に②サヤ鉢の設置痕が見られる。（観察表ではこれらを①陶器・窯道具痕、②サヤ鉢設置痕と表記した。）よって下面をサヤ鉢の蓋として使用し、上面に陶器や窯道具を設置したことが窺える。このように上下面に陶器、窯道具を設置した使用方法を採る敷き板を総称して観察表では「敷き板（台）」と表記した。下記でも用途として「台として使用」と表現する。なお、おそらくⅢ類のように敷き板組みを構成する窯詰めにも利用されたと考えられるが、図化資料では確認できない。

敷き板Ⅱ、Ⅲ類　Ⅲ類は約30×12×3．5ｃｍ。完存するものはごくわずかであるが中央でワトチやその設置痕である可能性が高い陶器・窯道具痕が見られる。Ⅱ類は破損しており本来の形状は不明であるが幅12ｃｍ×厚さ3．5ｃｍ程度であり、Ⅲ類と類似する。またワトチや陶器・窯道具痕が見られる個体が多数あるが、これらは敷き板の左右端部から陶器・窯道具痕までの距離がⅡ類のそれと類似する。よってⅢ類の破片を含むと考えられる。ただこうした痕跡がないものやⅠ類で見られる陶器・窯道具痕を持つ例がある。このためⅠ類の長さでⅡ類の厚さをもつ未分類の敷き板が存在する可能性もあり、Ⅱ、Ⅲ類として区別した。

なおこの2つの類型では上下面の左右端部に①粘土塊や②粘土塊が剥がれた痕跡が見られ、中には粘土塊に敷き板片が据えられた状態を観察できるもの、粘土が直交する平坦面をなすものが見られる。（観察表では①、②をまとめて「敷き板設置痕」と表記。）こうした状況から第181図のように敷き板を縦横に組み、その隙間に陶器を設置したと考えられる。Ⅲ類は2室奥壁での出

土状況、陶器・窯道具痕より横方向に敷いたと見られるので台である。

敷き板Ⅳ類　18×14．5～16×3～3．5ｃｍ。出土資料はごくわずかしかないが破損したものに陶器・窯道具痕が見られるもの（369、445）があり、369では上下面左端で敷き板設置痕が確認できる。よって台として使用されている。

敷き板Ⅴ類　約16～18×約16～18×3～3．5ｃｍ。このタイプと認定できる資料はわずかであるが上下面にサヤ鉢の設置痕が見られる。よってサヤ鉢の蓋とするだけでなくこの上にさらにサヤ鉢を載せて使用した可能性がある。また上下面右端に敷き板設置痕と見られる粘土塊の付着痕跡が見られるもの（251）があるため敷き板組みも構成したと考えられる。用途としては台である。

敷き板Ⅵ類　26ｃｍ×14ｃｍ以上×3．5ｃｍ。報告資料では例示資料1点のみ確認した。上面にサヤ鉢設置痕、下面に陶器・窯道具痕が見られる。よってⅠ類と同様に下面をサヤ鉢の蓋として、上面に陶器や窯道具を設置して使用されたことが窺え、台である。

敷き板Ⅶ類　約16×12×3．5～4ｃｍ。左右面の上下端部に①粘土塊や②粘土塊が剥がれた痕跡が見られ、中には粘土塊に敷き板片が据えられた状態を観察できるもの、粘土が直交する平坦面をなすものが見られる。（観察表では①、②をまとめて「敷き板設置痕」と表記。）また台に転用されたもの以外では陶器・窯道具痕がなく、左右面に自然釉が付着していない。後者は台のように降灰が溜まらない状況にあったことを示す。こうした状況から第181図のように敷き板を縦横に組む際、縦方向の支柱として使用されたと考えられる。（これを受けて観察表では「敷き板（支柱）」と表記。）

《焼き台》　ガラス化というほどの強い被熱を受けたり、自然釉が付着したりしている個体はない。法量、形態から3類に区分した。Ⅰ類は信楽系の窯道具として鍋、土瓶用とされる。ただⅡ、Ⅲ類は形態がある程度類似するため焼き台としたが類例は未確認である。用途も不明であるがいずれも素焼き状態である。出土量が極めて乏しいため確定できないが陶器内で使用されたⅠ類でもある程度被熱していることから素焼きに伴う窯道具の可能性がある。

焼き台Ⅰ類　下面径10～12.5ｃｍ。基本的に下面にピン（痕跡）、上面に陶器設置痕が見られる。

焼き台Ⅱ類　下面径15．5ｃｍ。

焼き台Ⅲ類　下面径29～34ｃｍ。

《ドーナツ状焼き台》　焼き台と同様に被熱しているがガラス化までは至らず、自然釉が付着するものもない。形態的には断面不整六角形のもの（Ⅰ類）、逆台形のもの（Ⅱ類）がある。どちらの形態でも例示図のように上下面に陶器設置痕や陶器片の付着が見られるため上下は固定されず、陶器に応じて設置されたと考えられる。なお設置痕の中には鍋、土瓶の底部縁辺のように中央から外側に向かって下る凹みが見られ、径も鍋、土瓶の底径と一致する。よってこれらの下に敷かれたものが含まれる。

ドーナツ状焼き台Ⅰ類　径9～10ｃｍ。

ドーナツ状焼き台Ⅱ類　径約10ｃｍ

《トチン》　多くは強い被熱を受けている。法量、形態から2つに大別できる。

トチンⅠ類　上下面径9～10ｃｍ、高さ18～19ｃｍ。例示図のように粘土塊が上下面に付着するもの、ワトチ痕が見られるもの（1340）がある。

トチンⅡ類　下面径12ｃｍ、高さ14ｃｍ以上。1点のみの出土である。

《ワトチ》　陶器や敷き板に付着するものが多く見られる。中には土瓶、鍋の三足痕跡が見られるものもある。

《ピン》　第78図451～458で示したように3タイプほどの法量差がある。多くの陶器、窯道具に付着痕が見られる。

3. 窯詰めについて（第181、182図）

ここでは窯詰め方法を直接示す陶器、窯道具の溶着例、設置痕およびこれらの法量の対比を行い、窯詰め方法について陶器の器種ごとに復元する。

〈碗〉

730、1234は土瓶か鍋の底部内面中央に高台（1234ではピンも）が付着する。小片であるが配置的に窯詰め状況を留めると見られる。実際に同時期の滋賀県石塔窯跡（註３）でも土瓶内で筒碗を焼成した事例がある。206、640、641、1320では敷き板に碗の設置痕が見られる。206は未分類の碗が付着している。碗の形状、敷き板の被熱状況からは窯詰めにおける碗の天地は不明である。641は敷き板上面右端の陶器・窯道具痕の左側に接して碗の設置痕が3つ見られる。敷き板の被熱状況、ワトチ痕との配置から見て中央部に陶器が窯詰めされた際、同時に設置されたと考えられる。3つの痕跡は相互に接していること、中央のワトチ痕ともほとんど隙間がないことから口縁部を下にして焼成されたと考える。

〈鉢〉

1218（鉢Ⅲ類）は内面の高台直上に該当する位置に同タイプの鉢の高台、ピン1が付着する。よって第181図のようなピンを用いた鉢の重ね焼きを想定できる。891はⅥ－ａ、ｂタイプの鉢が2個体ずつ重なる。ピンの有無は不明だがやはり重ね焼きである。1216（鉢Ⅲ類）、1220（鉢Ⅴ－ａ類）でも1218と類似した状況で陶器片、ピンが付着する。同様な重ね焼きが行われた可能性が高い。1009（鉢Ⅱ類）でも底部内面にピン痕跡が2ヶ所見られる。筒状の器形であるためこれに収納できる小型陶器が焼成されたと見られる。

〈行平鍋、鍋蓋〉

232、605は行平鍋Ⅱ類の口縁部内面に鍋蓋が付着している。また273（行平鍋Ⅰ類）は釉の発色不良により赤褐色を呈するがこれと酷似する色調をもつ鍋蓋（Ⅰ類。604）がある。こうした色調の陶器は他に出土していないこと、法量的にもセットになることから組み合わせて焼成したと想定できる。

1282（敷き板「Ⅱ」類）の下面で鍋蓋の口縁部下位に行平鍋の口縁部片が付着しているのはこうしたセットの痕跡と考えられる。敷き板への付着を偶然でないと考えるのは上面左端のワトチ付着、上下面右端の敷き板設置痕から台として使用が窺え、陶器片の付着が意図的な行為に由来する可能性が高いことによる。そして上面にのみ自然釉が付着すること、土瓶と行平鍋の天地はこれと揃うこと、復元図の状態で窯詰めされた敷き板が1282のように折れた場合、2つの陶器片の溶着位置に違和感がないことはこれを裏づける。このように捉えると行平鍋、土瓶を窯詰めできる敷き板はⅢ類と言え、第181図のように復元できる。なお行平鍋下位のワトチ設置を復元したのは273の底部外面にワトチ痕が見られることによる。

また谷遺跡では直接的な溶着例が出土していないが、滋賀県石塔窯など信楽系の窯で見られるサヤ鉢の抉りは行平鍋の注口、把手および土瓶の注口に対応させたとされている。谷遺跡でも法量的に収納可能であるため同様に使われたと考えられる。

〈鍋〉

鍋も敷き板組みに窯詰めされたことが窺える資料がある。530では敷き板Ⅶ類の右面上位で鍋の把手の形状に釉が付着している。復元図でわかるとおりこの位置は敷き板（台）からの把手位置の高さと一致する。なお鍋の上に蓋を重ねた復元を提示したが空きスペースからの推測であり、出土遺物からは裏付けられない。

また重ね焼きを示す資料もある。1184では鍋２つ、1227では鍋３つが重なる。どちらも焼けひずみが強いため鍋が同法量か、否かは不明である。1235は三足が見られるので鍋と判断できるが、底部にピンを挟んで別個体の鍋を重ね焼きしている。（上位にある個体を土瓶としないのは底径から見て上下の個体が類似した法量であると判断されるため注口が邪魔になり重ねられないことによる。）鍋の内面にピンが見られるのは他に1232、1304などがある。

信楽系の窯で鍋を焼成する際には焼き台を使用することが指摘されており、吉金窯跡でも鍋の中に焼き台、ピンが付着する例がある。また谷遺跡ではドーナツ状焼き台で鍋、土瓶の設置痕が見られる。よって焼き台、ドーナツ状焼き台にピンを併用した同法量の鍋の窯詰めを復元すると第181図のようになる。このように相互に接することなく窯詰めできることがわかる。

後述する陶器器種組成でわかるとおり、鍋はＳＦ01の焼成陶器で最も多い。またサヤ鉢は窯道具で圧倒的多数を

占め、このうち（大）は最も多い。直接的な溶着例は見られないがこうした数量のバランス、吉金窯跡ではサヤ鉢への窯詰め例があることから谷遺跡でも（大）に収納されたと考える。これを前提とすると鍋三個体の重ね焼き図示例は高さ約16ｃｍを測り、サヤ鉢（大）の内部に収納可能である。

〈土瓶、土瓶蓋〉

先の行平鍋に関する報告で1282に見られる土瓶が敷き板Ⅲ類を使用した敷き板組みに窯詰めされたものであることを述べた。この土瓶に蓋が伴うと復元したのは966で敷き板Ⅱ類の右端で蓋が付着しており、位置的にⅢ類の中央であることによる。なお土瓶底部外面へのワトチ付着は1040でも見られる。ただこれは敷き板で見られるワトチより径が小さいため異なる使用方法に伴う可能性がある。

異なる方法の窯詰め痕跡はサヤ鉢（大）への付着として見られる。1307では土瓶胴部の丸味がサヤ鉢内部の丸味と同心円をなすため偶然の付着でなくサヤ鉢内へ収納されたことを示す。1088、1180も同様な資料である。また830ではサヤ鉢の底部外面中央に土瓶蓋が付着する(類似例として959、1278、1279)。1144では土瓶と土瓶蓋が溶着しており、1073、1276では同じ色調の釉をかけた土瓶と土瓶蓋がサヤ鉢の底部外面に付着する。よって蓋と身をセットにしてサヤ鉢内に収めたことがわかる。ただ蓋については936、1305のように直重ねした例も見られる。なお385はワトチ下位で扁平形土瓶の口縁部が付着しており、上位に陶器の設置痕が見られる。これについては径と痕跡の形状から蓋を置いた可能性が高い。(類似例として386)

〈蓋〉

349では内面中央に赤化部分がある。つまみ径と類似するためこの部分にワトチなどを置き、重ね焼きしたと考えられる。

〈灯明皿〉

1132、1146では内面にピン（痕跡）が見られ、ピンを用いた重ね焼きが行われている。

〈甕〉

1338は別個体の口縁部同士が溶着しているため口縁部を重ねた焼成方法を想定できる。口縁部上面を釉剥ぎ取りした個体が多く見られることはこうした直重ねの窯詰め方法を反映すると推定される。また1113、1268では底部内面にピン痕跡（1113では鉢？の高台も付着。）があり甕内部での陶器焼成を想定できる。

〈香炉〉

サヤ鉢（小）への付着資料が比較的多く出土した。1269ではサヤ鉢の口縁部内面に香炉口縁部が付着する。1070では直重ねされたサヤ鉢（上位）の底部内面に香炉底部、底部外面に香炉口縁部が付着する。なお1135、1149は収納状況がよくわかる。

また1051では香炉の口縁部上面に別の香炉底部が付着し、重ね焼きされたことがわかる。900も同様な例である。

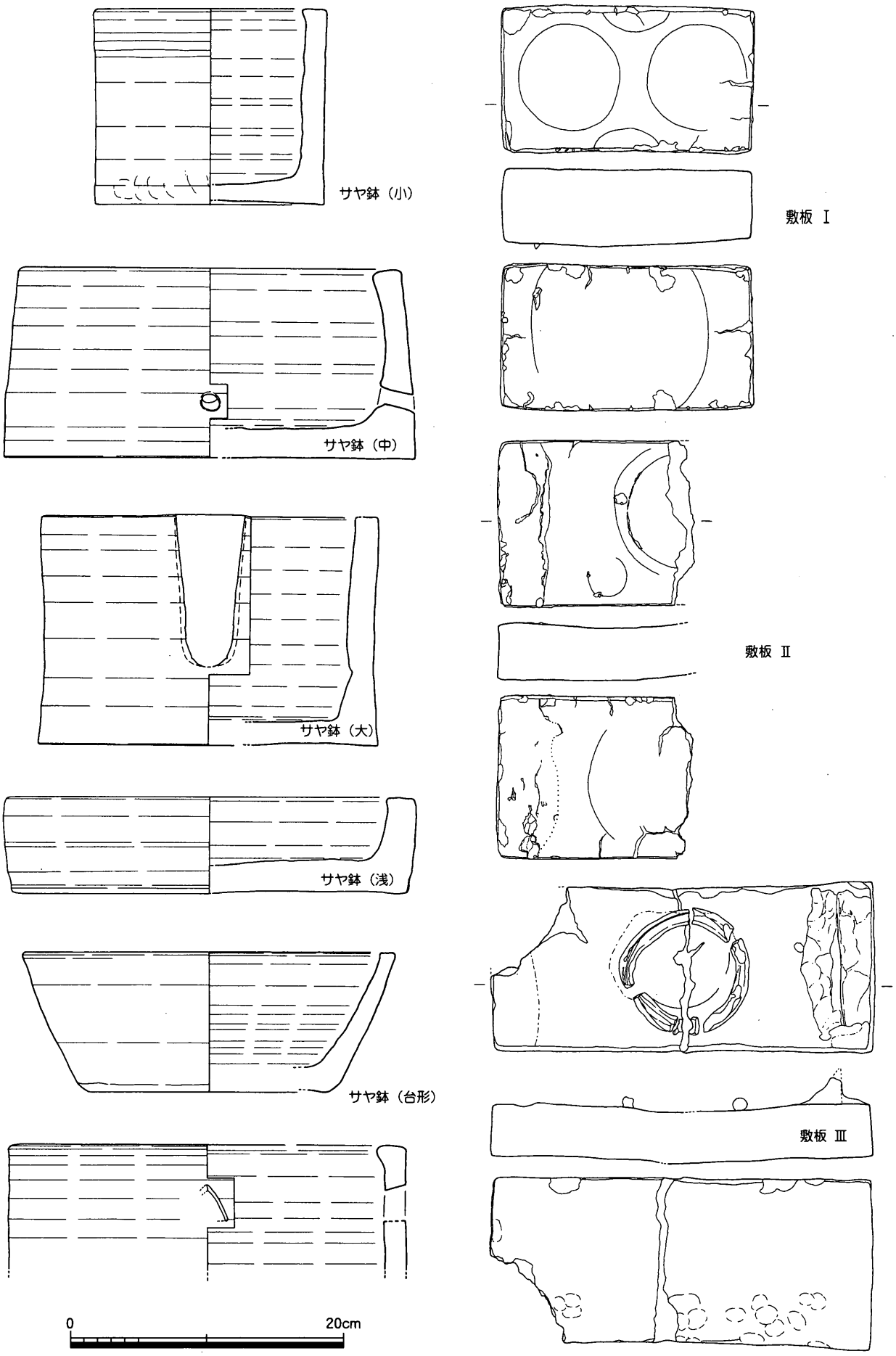
4. 陶器、窯道具の器種組成について

口縁部数計測による谷遺跡の出土陶器器種組成を見ると器種分類でも窺えた通り多様な日常雑器が焼かれていることがわかる。その中で総点数を見ると鍋、土瓶が多く、特に鍋が突出することがわかる。このように多品種少量生産＋少品種集中生産という形態が特徴である。

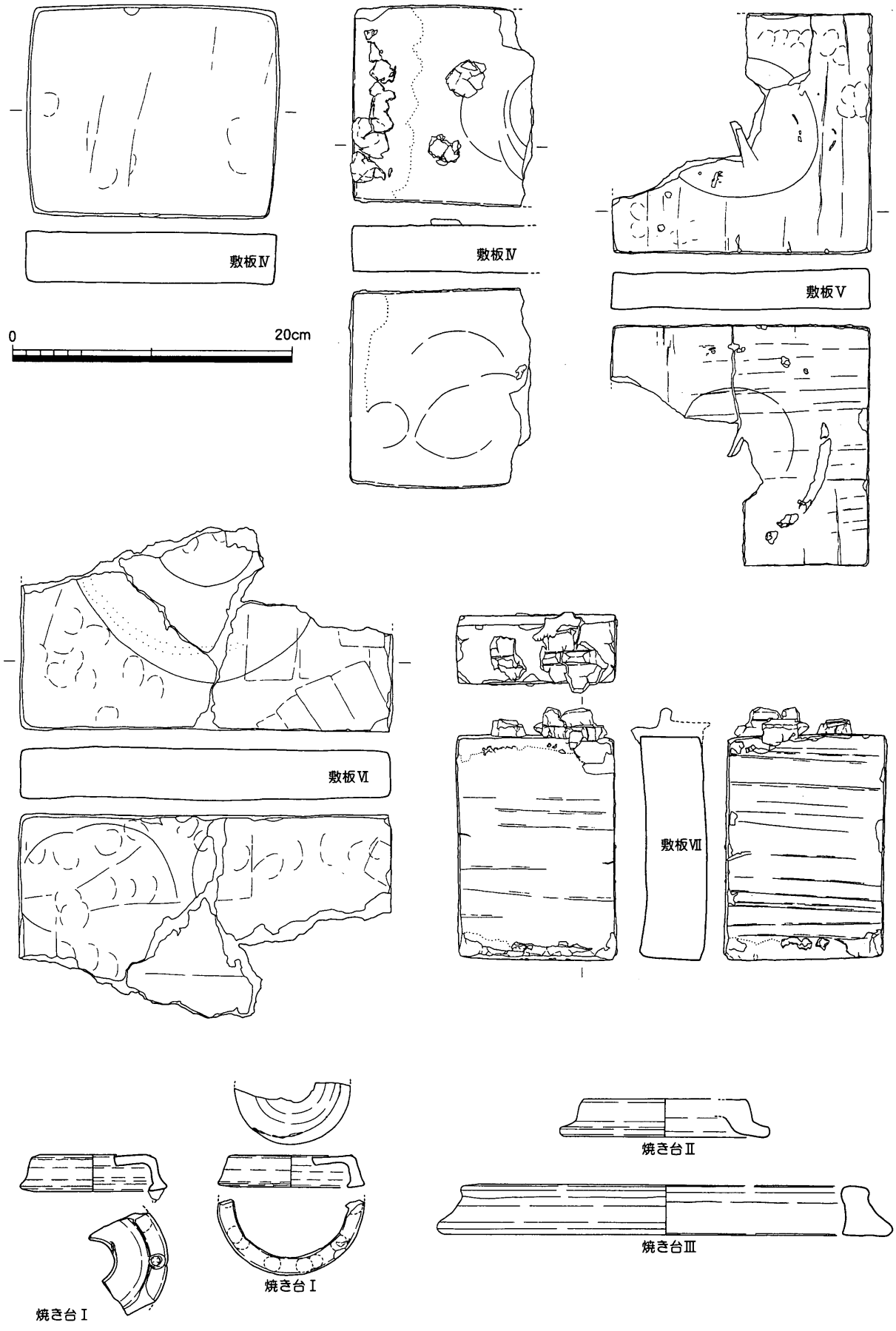
窯道具についてはサヤ鉢が口縁部数計測、敷き板が隅数計測を行うなど、器種ごとで計測方法にばらつきがあるため単純に比較できないがサヤ鉢が極めて多量、敷き板も多数を占めることが指摘できる。器種ごとの耐久性は不明であるが、どちらもガラス化したものが多く、一定期間に亘り使用されたと見られる。よって窯詰めではこの2器種を中心に使用されたと考えられる。これはＳＦ01での床面直上遺物出土状況とも違和感はない。

遺跡内での出土遺物分布状況を見ると谷地形（東）があるＡ１ａ、Ａ２ａ、Ａ３ａ、Ａ４ａ、Ｂ２、Ｂ３、Ｂ４グリッドで遺物が多く出土した。Ｂ４で特に遺物が集中する状況は北へ傾斜する地形であるがゆえの二次堆積である点は考慮せねばならないが、遺物が付近で集中すること自体は窯に伴う階段と隣接する谷地形にあることから物原が形成されたためと考えられる。

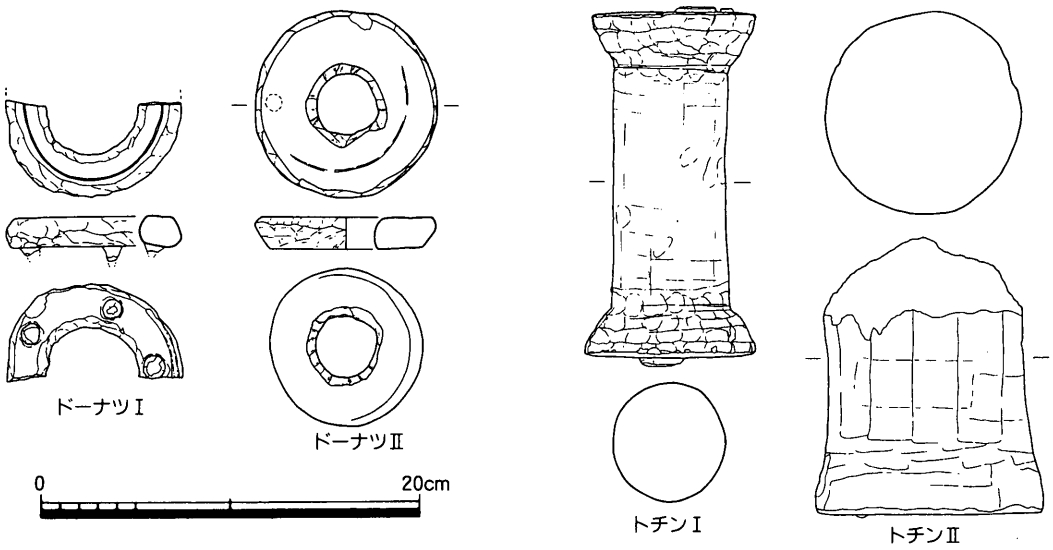
一方、その東側に位置する平坦面（東）付近に当たるＡ１ｂ、Ａ２ｂ、Ａ３ｂ、Ａ２ｃ、Ａ３ｃ、Ａ３ｄのうち Ａ３ｂ以外ではほとんど遺物がない。また遺構も確認されていない。ただこの平坦面の縁辺部で土坑(ＳＫ03、12)、溝(Ｓ



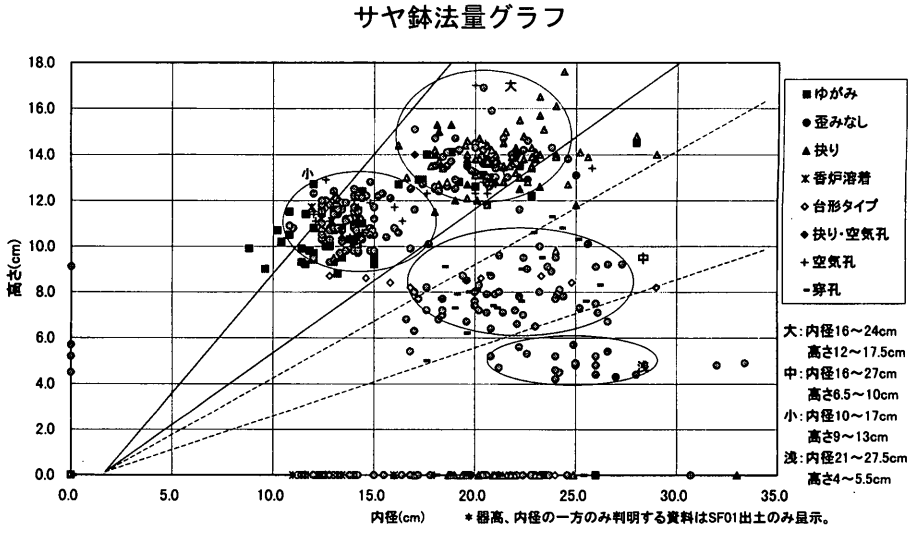
第178図　窯道具器種分類図　(1)　サヤ鉢・敷板（1/4）



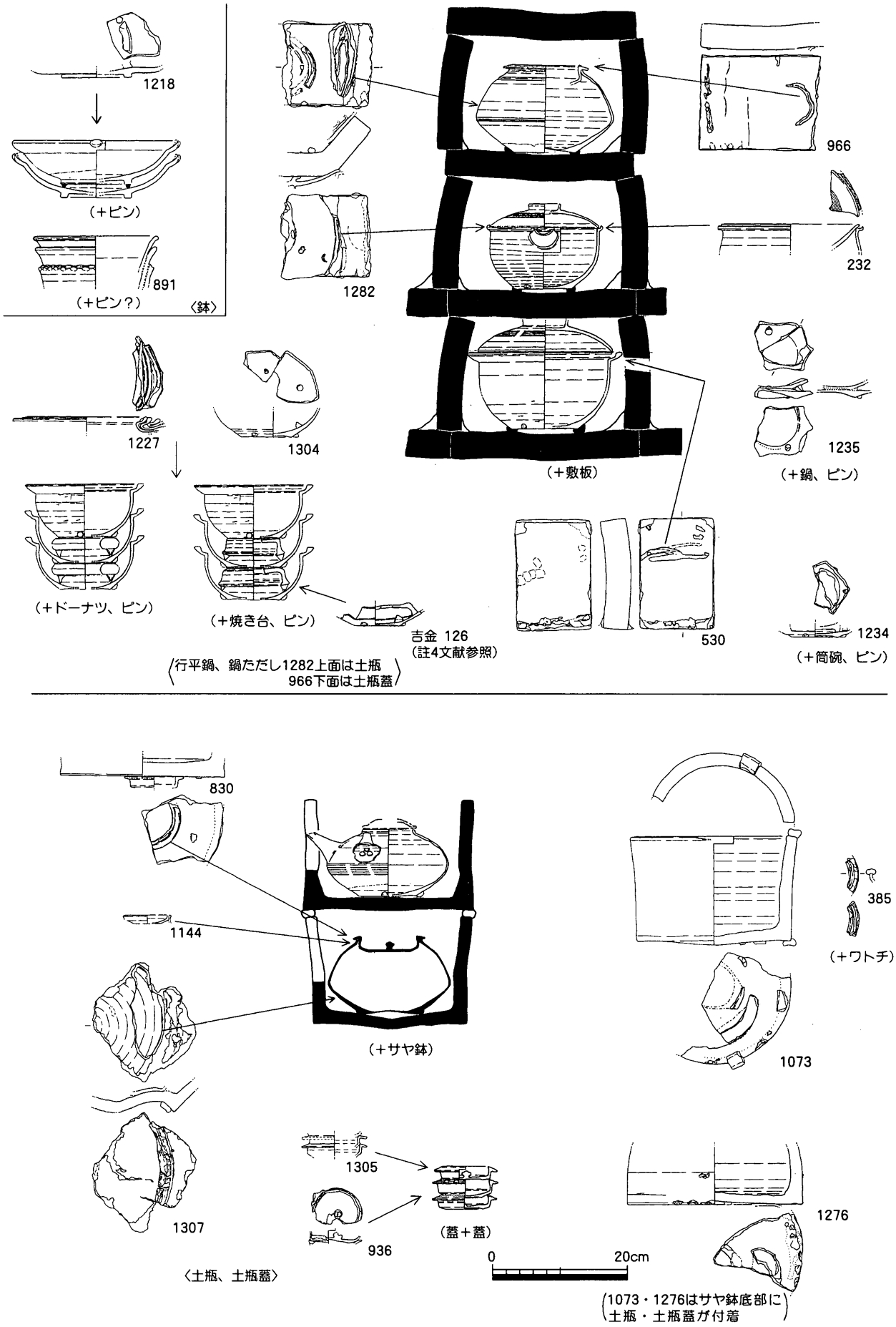
第179図　窯道具器種分類図（2）　敷板・焼き台（1/4）



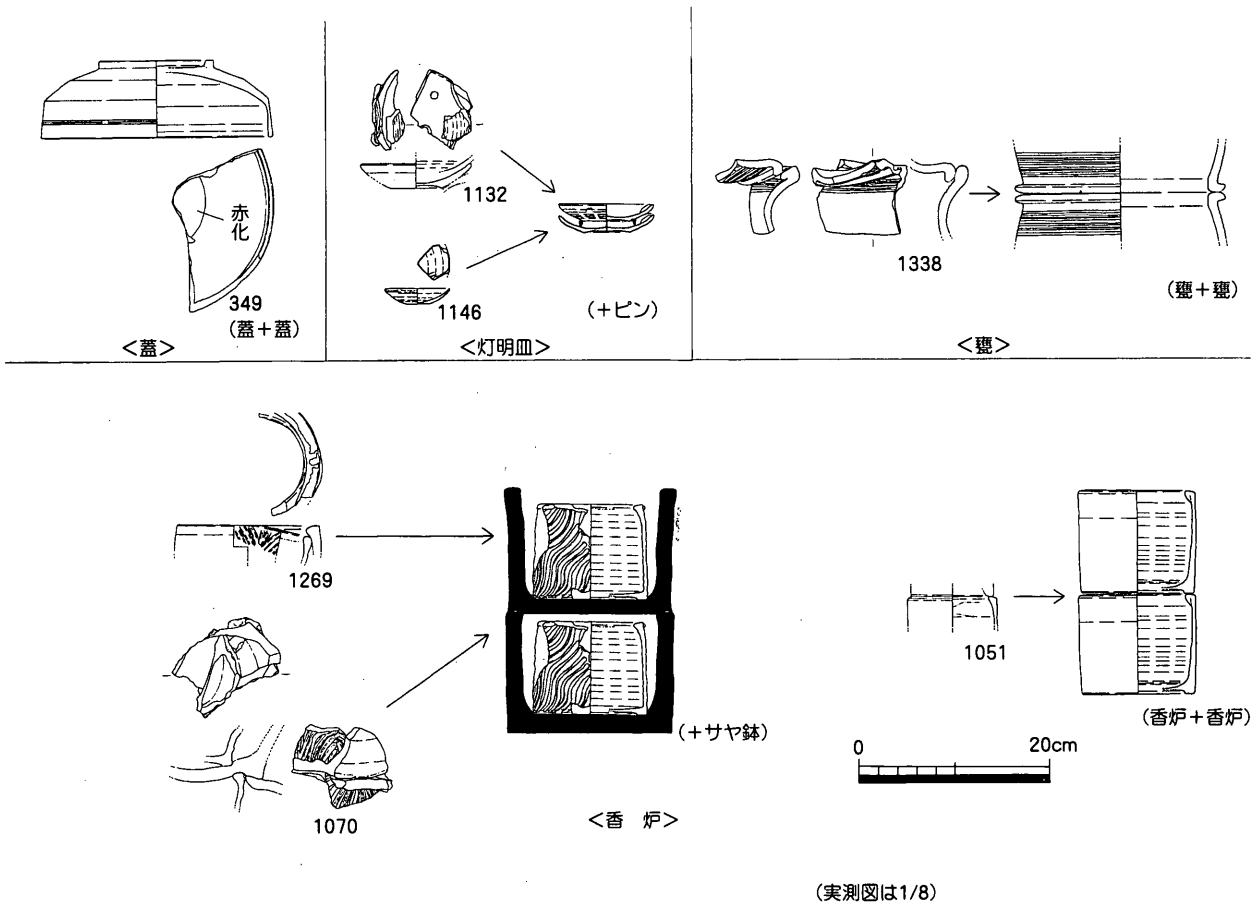
第180図　窯道具器種分類図（3）　ドーナツ状焼き台・トチン（1/4）



D 03、04）が検出された。よって平坦面で何らかの作業が行なわれていたため縁辺部を選択してこれらの遺構を形成したのかもしれない。なおC、Dグリッドでは出土遺物が極めて希薄である。地形的にも斜面であり、遺構も見られないため作業に使用されていないと考えられる。



第181図　Ⅳ区 SF01 窯詰め方法（1）



(実測図は1/8)

第182図　Ⅳ区 SF01 窯詰め方法 (2)

遺構名・層位	ｸﾞﾘｯﾄ	碗	徳利	鉢	行平鍋	鍋	鍋蓋	土瓶	土瓶蓋	茶入れ	不明蓋	灯明皿	花生	香炉	仏花瓶	すり鉢	甕	植木鉢	不明	陶器計	サヤ鉢	敷き板	トチン	焼台	ﾄﾞｰﾅﾂ	円環	窯道具計	皿	碗	磁器計
SF01 燃焼室 堆積土		1		2	1	12	1	4						1			2		9	33	78	28		4	4	1	115			0
SF01 1室 床直・付近					5				1											6	22	17					39			0
SF01 1室 堆積土				1	1		1													3	15	9		2	2		28			0
SF01 2室 床直・付近						1		1			5									7	6	10					16			0
SF01 2室 堆積土						2					5								4	11	6	1					7			0
SF01 3室 床直・付近		3			3	2	2	2						1			1		3	17	38	45	4	2	2		91			0
SF01 3室 堆積土						3	1		1			2								7	4	3					7			0
SF01 4室 床直・付近					1	10	17	6	1		3			1			1		1	41	12	36	5	3	5		61			0
SF01 4室 堆積土		1	1		3	36	94	8	5					3					1	152	22	43	4	8	3		80			0
SF01 5室 床直・付近						2	2	2	1					1			1			9	37	197	2				236			0
SF01 5室 堆積土					1	21	4	9	1		2						1		2	41	29	22	7	2			60			0
SF01 煙出し 床直・付近								1												1	2						2			0
SF01 煙出し 堆積土					1			3	1											5	2						2			0
SF01 燃焼室 東焚き口付	近窯体構築粘土内																			0			0							0
SF01 階段状遺構(北)	整地土(黄褐色粘土)					3														3			0							0
SF01-SP03						1														1			0							0
SF01 床直・付近合計		3	0	0	9	15	21	12	3	0	8	0		3	0		3	0	4	81	117	305	11	5	7	0	445	0	0	0
SF01 堆積土 合計		2	1	3	7	74	101	24	8	0	7	2		4	0		3	0	16	252	156	106	11	16	9	1	299	0	0	0
SF01 上面精査																				0			1		1		2			0
SF01合計		**5**	**1**	**3**	**16**	**93**	**122**	**36**	**11**	**0**	**15**	**2**	**0**	**7**	**0**	**0**	**6**	**0**	**20**	**337**	**273**	**411**	**23**	**21**	**17**	**1**	**746**	**0**	**0**	**0**
SD01					1	15	3	1	1					2	3		1			27	40	13	5	1		5	64			0
SD02																				0	1						1			0
SD03												1							2	3	8	1		1		2	12			0
SD04		1		1		2		1	1								1			7	4	1	1				6			0
SD合計		**1**	**0**	**1**	**1**	**17**	**3**	**2**	**2**	**0**	**0**	**1**		**2**	**3**		**2**	**0**	**2**	**37**	**53**	**15**	**6**	**2**	**0**	**7**	**83**	**0**	**0**	**0**
SK01		1		1	3	21	1	5	1		2			1	4		25		4	69	93	4		2			99			0
SK02						5		1	1					2			2		1	12	16	1		1			18			0
SK03				5		10		58			1		3		32		1			110	9						9			0
SK04						1														1	7	1		1	1		10			0
SK05						2											4			6	21	6	2			6	35			0
SK06						1											1			2	2						2			0
SK07								1	1										3	5	4	7	1	2		7	21			0
SK08																			1	1	5	2		3		3	13			0
SK09																				0	4						4			0
SK10																				0	3						3			0
SK11																				0	5		1				6			0
SK合計		**1**	**0**	**6**	**3**	**40**	**1**	**65**	**3**	**0**	**3**	**0**		**3**	**36**		**33**	**0**	**9**	**206**	**164**	**21**	**3**	**9**	**1**	**16**	**214**	**0**	**0**	**0**
SX01											1			1													0			0
SX02						3	1	2			1								1	8	42	20	1		3	1	67			0
SX03		1		4	1	3		1		1				2			3		3	19	37	10		3			50			0
SX04				7	5	45	4	6	3		4	6		1			11		3	95	97	87	5	4		48	241			0
SX05		6	2	9	17	58	5	43	25	3	10	1	1	21	1		9		11	222	37	6		16		7	66		1	1
SX06																				0	2						2			
SX合計		**7**	**2**	**20**	**23**	**109**	**10**	**52**	**28**	**4**	**15**	**7**		**24**	**1**		**23**	**0**	**18**	**344**	**215**	**123**	**6**	**23**	**3**	**56**	**426**	**0**	**1**	**1**

第６表　出土陶磁器、窯道具　器種組成表（1）

遺構名・層位	ｸﾞﾘｯﾄ	碗	徳利	鉢	行平鍋	鍋	鍋蓋	土瓶	土瓶蓋	茶入れ	不明蓋	灯明皿	花生	香炉	仏花瓶	すり鉢	甕	植木鉢	不明	陶器計	サヤ鉢	敷き板	トチン	焼台	ﾄﾞｰﾅﾂ	円環	窯道具計	皿	碗	磁器計
	グリット																													
表土層	A1			1	1	5		1									2			10	12	2					14			0
表土層	A1b																			0			0							0
表土層	A2					1											1			2	10			1			11			0
表土層	A2.B2																			0	4			1			5			0
表土層	A2a				1												1			2	7				1		8			0
表土層	A2b																			0	1						1			0
表土層	A3																			0	4						4			0
表土層	A3a			1	2	9			2		3						8		2	27	73	26	1	9		1	110	1	2	3
表土層	A3a.b					1											1		1	3	6	4				2	12			0
表土層	A3b					8										1	4			13	22	5		1		1	29			0
表土層	A3c					1									1		1			3	6	8	1	1			16	1		1
表土層	A3d																			0			0						1	1
表土層	B					4		1						1			1			7	18	1				2	21			0
表土層	B1																1			1	2	1					3			0
表土層	B2					1														1	2						2			0
表土層	B2.B3																			0	3				1		4			0
表土層	B3				1						1			1						3	6	5		3			14			0
表土層	B4			4	2	21	1	8	3		1			5			10		2	57	100	16		5		10	131			0
表土層	C					4		1	1								2			8	1					2	3			0
表土層	C1																			0		1					1			0
表土層	C3					1			1					1			1			4	7	2					9			0
表土層	SF01																			0	2						2			0
																				0										
グリット判明　表土層　合計		**0**	**0**	**6**	**7**	**56**	**1**	**11**	**7**	**0**	**5**	**0**		**8**	**1**		**33**		**5**	**141**	**286**	**71**	**2**	**21**	**2**	**18**	**400**	**2**	**3**	**5**
堆積土層	A1																1			1	3						3			0
堆積土層	A1a		1	4	21	70	1	23	4					3	11		26		3	167	156	7	2	4			169	1	1	2
堆積土層	A1b																1			1	8						8			0
堆積土層	A2.B2				1									1						2							0			0
堆積土層	A2a			1		4	2			2							1			10	38	7		1			46			0
堆積土層	A2b					2														2			0							0
堆積土層	A3					1			2	1	1									5	19					2	21			0
堆積土層	A3a									1							1		1	3	18	6		1	1	1	27			0
堆積土層	A3a.A4																			0		1					1			0
堆積土層	A3a.b																			0	2					1	3			0
堆積土層	A3b					6					2						2			10	22	8		2		4	36			0
堆積土層	A3c																			0	2						2			0
堆積土層	A3d					3		1							2					6	3						3			0
堆積土層	A4.B4																			0	7						7			0
堆積土層	A4a					1			1								1			3	6	1				1	8			0
堆積土層	A4b							1						1			5			7	39	6			1	1	47			0
堆積土層	B1					2		1							1		2			6	4	4	2				10			0
堆積土層	B1.B2						1										1			2	1	3				1	5			0
堆積土層	B1.C1					1											2			3	5	2	3				10			0
堆積土層	B2					4	1			1										6	28	5	1	2			36			0
堆積土層	B3			1	4	12			5	1	1			3	1		2		4	34	99	28	1	10		10	148			0
堆積土層	B3.B4			1		1		1	1										3	7						2	2			0
堆積土層	B4	3	1	23	22	173	12	45	22		4	4	1	53	9		28		19	419	546	74	10	58	5	26	719			0
堆積土層	B4.C4																				4	4	2				10			0

第６表　出土陶磁器、窯道具　器種組成表（2）

遺構名・層位	ｸﾞﾘｯﾄ	碗	徳利	鉢	行平鍋	鍋	鍋蓋	土瓶	土瓶蓋	茶入れ	不明蓋	灯明皿	花生	香炉	仏花瓶	すり鉢	甕	植木鉢	不明	陶器計	サヤ鉢	敷き板	トチン	焼台	ﾄﾞｰﾅﾂ	円環	窯道具計	皿	碗	磁器計
堆積土層	C1																			0		2		1			3			0
堆積土層	C1.C2						1													1	2						2			0
堆積土層	C2																			0	3	1					4			0
堆積土層	C2.C3																			0	2					1	3			0
堆積土層	C3																			0		1					1			0
堆積土層	C4							1									4			5	5	4					9			0
堆積土層	D3	1																		1	5	1					6			0
																				0										
グリット判明　堆積土層　合計		4	2	30	48	280	18	73	35	6	8	4		61	24		77	0	30	701	1027	165	21	79	7	50	1349	1	1	2
																				0										
土層不明	A										1			1							3						3			0
土層不明	A1.B1																			0	2						2			0
土層不明	A1a.B1																			0	4						4			0
土層不明	A2.B2																			0	11						11			0
土層不明	A2a																			0	2						2			0
土層不明	A3.B3					1		1						1	1					4	8					1	9			0
土層不明	A3a				1	1											5		1	8	50	24		1		1	76			0
土層不明	A3a.b																			0	1						1			0
土層不明	A3c																			0	11	1					12			0
土層不明	A4a				1			2						2			5			10		8	1	3	1		13		1	1
土層不明	A4a.A																			0	1						1			0
土層不明	B								1					2						3	8	2					10			0
土層不明	B2																1			1	5						5			0
土層不明	B3					15		3	2					4						24	19	10		4	1	5	39		1	1
土層不明	B4				6	24	1	8	2		5			8			3		2	59	77	14	1	11		1	104			0
土層不明	B4.C4																			0	3	9					12			0
土層不明	C																			0	5						5			0
土層不明	C3					5											1			6	1	3					4			0
土層不明	C4			1																1	5	5	3				13			0
土層不明	SF01																			0		3					3			0
グリット判明　層位不明		0	0	1	8	46	1	14	5	0	6	0		17	1		15	0	3	117	216	79	5	19	2	8	329	0	2	2
グリット不明　表土層																			1	1	14	8	1				23			0
グリット不明　堆積土層					1	13		1						1						16	14	1		1			16			0
グリット・層位　不明		1		2		9		3	1					1	3		2		1	23	30	11	1	3		3	48			0
合　　計		19	5	69	107	663	156	257	92	10	52	14		124	69		191	0	89	1923	2292	905	68	178	32	159	3634	3	7	10

註　1．陶器、サヤ鉢、磁器は口縁部数、敷板は隅数、トチンは上（下）面の縁辺部数、焼台、ドーナツ状焼き台、円環状土製品は破片数を計数。

2．組成表（2）、（3）のグリッド名のみを記載しているものは包含層出土遺物である。このうち「表土」は腐葉土層、「堆積土」はその下位から遺構面までの自然堆積土である。なお、ＳＦ０１内の堆積土は腐葉土直下から床面付近までに堆積した土層を示す。

第６表　出土陶磁器、窯道具　器種組成表（3）

第4節 吉金窯跡との比較

1. はじめに

吉金窯跡はさぬき市富田西吉金に所在する18世紀後半～幕末の陶磁器窯であり、丘陵の東斜面に位置する。大川町教育委員会（現さぬき市）により昭和43年に発掘調査が行われた。窯は全長40ｍの階段状連房式登窯で、焼成室は8室を数える。天井は崩落しているが窯体の奥壁、側壁下部は残存している。側壁は粘土で奥壁はトンバイを積み上げて構築されている。通炎孔は損壊が著しいが、残存部分の被熱状況から横狭間式と見られる。谷遺跡からは約20ｋｍ離れている。

出土遺物はコンテナ30箱程度の陶磁器、窯道具があり、磁器も焼成されている。正式な報告書が刊行されておらず詳細は不明であるが、森下氏により遺物を中心とした検討が行われている。以下ではいくつかの要素について谷遺跡との比較を行い、両者の関係について検討する。なお遺物については森下氏の論考（註５）に基づく。

2. 窯体の構築方法

吉金窯跡の第6焼成室（燃焼室側から数えて。以下「○室」と表記。）奥壁は図版45－写真73でわかるようにトンバイとトンバイ横粘土、トンバイ上粘土を組み合わせて構築されている。使用されたトンバイは約15×15×32ｃｍであり、トンバイ横粘土内には窯道具（円盤）が混じっている。よって再構築されていることがわかる。また3室でも同様にトンバイを使用した奥壁構築が観察できる。その他の焼成室奥壁では粘土が面的に塗られており、その裏側でのトンバイ使用については不明である。

上記のトンバイを用いた奥壁構築方法およびトンバイの規格は谷遺跡ＳＦ01のそれと類似する。その他の室での方法は不明であるが、異なるとしても長期に及ぶ操業期間内で複数の方法が採られた可能性はある。

3. 陶器（第177図）

出土陶器のうち谷遺跡でも出土しているものとして碗、汁次、行平鍋、鍋、土瓶、鉢、甕、徳利、灯明皿、香炉・火入れ、植木鉢がある。吉金窯跡では他に皿、灯明受け台、ひょうそく、六角壺もある。このように同様な器種の日常雑器を焼成していることがわかる。

次にいくつかの器種について個別に形態、施釉状況を比較する。第172図20、21（谷遺跡鉢Ⅱ類）は第177図91、92と高台形状は異なるが、全体形状、法量、外面の釉を底部境界で止める点で類似する。同図23（鉢Ⅲ類）は93と法量、高台形状で異なるが全体形状、外面の施釉範囲で類似する。第173図25(鉢Ⅴ－ａ類)は94と同タイプであるが、法量、高台形状、口縁端部で異なる。土瓶は95のソロバン玉形、96の扁平形のどちらも谷遺跡のものより肩が張る。99、100土瓶蓋は類似する。行平鍋は97が谷遺跡のものより浅い。またトビガンナを加えるものがある。鍋は98がやや扁平であるものの谷遺跡のものに近い。灯明皿は形態、法量、外面の施釉範囲が類似する。ただ101で仕切りが口縁部より突出しない点は異なる。香炉は口縁部、高台形状が異質であるが103、104で同様にしのぎを加える。103はⅢ－ｃ類、104はⅢ－ａ類に相当すると見られる。このように土瓶蓋、灯明皿などは類似性が高いが、その他の製品はある程度の形態、法量差が見られる。

胎土的にはともにやや青みがかる灰色・緻密・黒色の極細砂粒を小量含む、という点で類似するものがある。この所見は胎土分析でも裏付けられた。

釉については①緑がかった灰釉が谷遺跡では鉢Ⅱ類、行平鍋、土瓶、灯明皿Ⅱ類などに、②緑黄褐色の鉄釉が鉢Ⅲ類、急須、香炉Ⅲ類などに、③灰白色釉が行平鍋、香炉Ⅰ類、仏花瓶などに施される。これと類似したものが吉金窯跡でも見られ、①には鉢、鍋、土瓶、灯明皿が、②には鉢が、③には灯明皿がある。

4. 窯道具

出土窯道具のうち谷遺跡でも見られるものとしてサヤ鉢、敷き板、輪トチ、焼き台、トチン、ピンがある。吉金窯跡では他に陶器焼成用として円盤、環状円盤、足付き環状円盤が、磁器焼成用として逆台形ハマ、タコハマ、チャツ、シノがある。また谷だけにあるのは焼き台Ⅱ、Ⅲ類、ドーナツ状焼き台である。よって陶器と同様に谷遺跡で見られるほぼ全ての器種が吉金窯跡でも使用されていることがわかる。またサヤ鉢には抉りをもつものが、敷き板にはサヤ鉢の蓋とするものが見られるのは谷遺跡と同様である。

5. 窯詰め方法

窯詰め状況が判明する器種について谷遺跡と対比しながら説明する。

〈碗〉

吉金ではサヤ鉢に入れた焼成、ピンを用いた重ね焼き例がある。谷では未確認。

〈行平鍋〉

ともに底部内面にピン（痕跡）が見られるが、谷では身と蓋をセットにした焼成が行われている。よって内部に、異なる器種を設置して焼成した可能性がある。またどちらにも溶着例はないがサヤ鉢に抉りをもつものが見られるためサヤ鉢での焼成が行われたと考えられる。

〈鍋〉

吉金ではサヤ鉢に入れた焼成例があるが、谷では未確認。ただ出土量の多さ、法量的な整合から谷でも同様であった可能性が高い。

〈土瓶、土瓶蓋〉

ともに身と蓋をセットにしてサヤ鉢内で焼成する例がある。また土瓶底にワトチが付着するものがある。

〈鉢〉

ともにピンを用いた重ね焼きが見られる。吉金では足つき環状円盤や団子状粘土塊を挟んだ重ね焼きおよび鉢ないし皿をサヤ鉢に入れた焼成もなされる。これらは谷では未確認。

〈甕〉

吉金では団子状粘土塊を挟んで重ね焼きが見られるが、谷では未確認。

〈香炉〉

ともにサヤ鉢に入れた焼成例がある。

〈灯明皿〉

ともにピンを用いて重ね焼きするものがある。吉金ではサヤ鉢に入れた焼成例がある。

以上のように個別の器種の状況を見ると未確認や相違点が目立つ。だが今回提示できたのは出土資料から窺いうる2つの窯跡での窯詰め方法の一端に過ぎない。また吉金窯跡の資料は時間幅があることも考慮する必要がある。よって吉金窯跡でもサヤ鉢に窯詰めされた陶器が多く見られ、主要な窯道具であること、土瓶と土瓶蓋はセットにして、香炉は単独でサヤ鉢に入れるという類似性を評価したい。

6. 結論

以上、4つの項目について谷遺跡と吉金窯跡の比較を行った。結果、いずれについても類似性と異質性を見出せる。だが異質性については上記したとおり吉金窯跡の操業期間の長さに由来する部分も大きいと考える。一方、類似性のうち特に陶器の胎土、釉薬が類似することは陶器製作の素材を共有するという両者の密接な関係を、円盤系を除く陶器焼成用窯道具が谷遺跡で揃うことは同じ陶器製作の技術系譜にあることを示す（註）。こうした状況から奥壁構築方法の類似も築窯技術について深い関わりがあったことを反映すると見られる。よって時期的に先行する吉金窯跡の工人が谷遺跡での操業に全面的に関与したと考えられる。

（註）森下氏は吉金窯跡で小物をサヤ鉢に入れて重ね焼きすること、窯道具で焼き台、円盤、ワトチ、ピンを使用することが信楽系の技術であると述べているが、谷遺跡にも概ね当てはまる内容である。だが胎土、釉薬の類似性と吉金、谷のどちらも製品に信楽系陶器を模倣したものが見られることから谷遺跡へは吉金窯跡を経由し、信楽系の技術が間接的に導入されたと考える。

（註1）『肥前古陶磁窯跡基礎調査・基本方針策定報告書（第2分冊）』1999　佐賀県肥前古陶磁窯跡保存対策連絡会

（註2）森下友子「近世の富田焼―吉金窯跡出土遺物―について」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要X』（2002）財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

（註3）稲垣正宏『竹ノ鼻遺跡』（1999）滋賀県教育委員会他

（註4）（註2）に同じ

（註5）（註2）に同じ

	溝状遺構(SD)		土坑(SK)		不明遺構(SX)		柱穴(SP)		カクラン	
	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧
Ⅰ区			SK04	2面SK01			SP35	2面SP01		
							SP36	2面SP02		
Ⅱ区							SP72	2面SP01		
							SP73	2面SP02		
Ⅲ区			SK07	SX01			SP27	2面SP01		
							SP28	2面SP02		
Ⅳ区	SD01	SD02			SX01	SX02			カクラン	SX03
	SD02	SD05	SK05	SX05	SX02	SX01			カクラン	SX06
			SK11	SX07	SX03	SX08				
					SX05	SX10				
					SX06	SX11				

第7表　谷遺跡遺構番号変更一覧表

報文番号	図版番号	出土位置		層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調(外面)	色調(内面)	色調(断面)	遺存度	備考
3		Ⅰ区	SH01		弥生	壺	-	-	-	横ナデ・刻目	横ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・普	普通	明赤褐 2.5YR5/8	明赤褐 2.5YR5/8	明赤褐 2.5YR5/8	破片	
4	46	Ⅰ区	SH02	床直 南床直	弥生	壺	-	-	-	ハケ目・刻み目・ハケ目→ヘラミガキ	ハケ目・指オサエ→ハケ目	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)微・少	普通	橙5YR6/6	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	頸部2/8	
5		Ⅰ区	SH02内SK01	②層	弥生	壺	13.8	-	-	横ナデ	横ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	褐灰 10YR4/1	破片	
6		Ⅰ区	SH01		弥生	壺	-	-	-	横ナデ・ナデ	横ナデ・列点文	密 (長石・石英)細・普	良好	にぶい橙 7.5YR6/4	黒褐 10YR3/1	にぶい黄橙 10YR6/3	破片	
7		Ⅰ区	SH02		弥生	甕	-	-	-	板ナデ→ハケ目	横ナデ→指ナデ・指オサエ→指ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少	普通	橙5YR6/6	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	破片	
8	46	Ⅰ区	SH02		弥生	高杯	-	-	11.8	板ナデ→ヘラミガキ→横ナデ	板ナデ・ヘラケズリ→板ナデ・横ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	普通	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	明黄褐 10YR7/6	脚部3/8	
9		Ⅰ区	SH02		弥生	(底部)	-	-	5.5	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普	良好	灰黄褐 10YR4/2	黒褐 10YR3/1	黒褐 10YR3/1	底部2/8	
10		Ⅰ区	SH02		弥生	(底部)	-	-	-	板ナデ・ナデ	ヘラミガキ	密 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・普	良好	にぶい橙 7.5YR6/4	黒褐 10YR3/1	にぶい褐 7.5YR6/3	破片	
12		Ⅰ区	SD01 北部		土師質土器	管状土錘	4.7	1.6	1.6	板ナデ・ナデ	／	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (褐色粒子)微・少	良好	褐灰 10YR4/1	褐灰 10YR4/1	灰黄褐 10YR6/2	一部欠損	
14		Ⅰ区	SD04		土師質土器	土釜	-	-	-	板ナデ・横ナデ・板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	破片	
15		Ⅰ区	SD04		土師質土器	土釜	-	-	-	指オサエ→横ナデ・板ナデ・マメツ	板ナデ・マメツ	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい橙 7.5YR7/4	橙7.5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
16		Ⅰ区	SD07		土師器	杯	13.0	3.2	9.0	回転ナデ・マメツ	回転ナデ・マメツ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少	普通(やや軟)	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい褐 7.5YR6/3	暗灰黄 2.5Y5/2	底部2/8	
17		Ⅰ区	SD07		土師質土器	土釜	26.6	-	-	指オサエ・板ナデ	ハケ目	粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・普	良好	黒褐 7.5YR3/2	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	口縁部1/8	
18		Ⅰ区	SD07		土師質土器	土釜	-	-	-	指オサエ→板ナデ・板ナデ	板ナデ・指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (雲母)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	にぶい黄橙 10YR6/4	灰褐 7.5YR4/2	破片	外面:煤付着。
19		Ⅰ区	SD08		土師器	杯	(9.6)	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)微・少	良好	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	破片	
20		Ⅰ区	SK01 №1		土師器	杯	8.4	2.0	5.3	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少	普通	橙2.5YR7/6	橙2.5YR7/8	浅黄橙 7.5YR8/3	7/8	
21		Ⅰ区	SK01より東へ1m		土師器	杯	8.6	2.0	5.5	回転ナデ・回転ヘラ切り→板目状圧痕	回転ナデ・ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	普通	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	口縁部3/8 底部完存	
22		Ⅰ区	SK01		備前焼	鉢	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	灰白 10YR7/1	灰白 10YR7/1	破片	
23		Ⅰ区	SK01東		須恵器	高台付碗	-	-	10.0	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)・微・普(黒色粒子)・微・普	良好	灰N5/	灰N6/	灰N6/	破片	
24		Ⅰ区	SK02 №12		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・板ナデ・マメツ	板ナデ・マメツ	粗 (長石・石英)粗・多 (赤色粒子)中・少	良好	橙7.5YR7/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	破片	
25		Ⅰ区	SK02 東西トレンチ		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・指オサエ→指ナデ・板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)細・普	良好	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	橙5YR7/6	破片	
26		Ⅰ区	SK02 南トレンチ		弥生	(底部)	-	-	6.1	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (褐色粒子)細・多	普通	赤橙 10YR6/6	橙5YR7/6	褐灰 7.5YR4/1	底部5/8	
28		Ⅰ区	SK03		土師器	小皿	-	-	5.5	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (石英)中・普 (黒色粒子)細・普(金雲母)微・少	良好	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR6/3	底部完存	
30		Ⅰ区	SK04南西部		土師質土器	鞴羽口	-	-	-	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (シャーモット)細・少	良好	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい橙 5YR7/4	破片	
32		Ⅰ区	SP02		土師器	杯	(12.9)	-	(10.6)	回転ナデ・ナデ	回転ナデ・ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	普通	灰褐 7.5YR5/2	灰黄褐 10YR6/2	灰黄褐 10YR6/2	破片	
33		Ⅰ区	SP02		青磁	碗	-	-	-	蓮弁文→白化粧→施釉	ヘラ状工具による施文→白化粧→施釉	精良 (褐色粒子)細・普	良好	明緑灰 10GY7/1	明緑灰 10GY7/1	灰白N8/	破片	
34		Ⅰ区	SP18		磁器	小杯	-	-	-	ヘラケズリ?→施釉	回転ナデ?→施釉	精良 (黒色粒子)微・極少	良好	灰白10Y8/1	灰白10Y8/1	灰白N8/	破片	外面貫入。
36		Ⅰ区	SP23		土師器	小皿	-	-	-	板ナデ・ナデ	横ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
37		Ⅰ区	SP26		円盤状土製品		3.3	2.8	0.7	刺突文	／	密 (長石・石英)中・普	普通	橙7.5YR6/6	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	完存	図の上端:刺突文を列状に施す。
38		Ⅰ区	SP29		須恵器	長頸壺	-	-	-	回転ナデ→回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	灰黄2.5Y7/2	灰N5/	灰5Y6/1	破片	

第8表 Ⅰ～Ⅲ区 土器観察表 (1)

報文番号	図版番号	出土位置	層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調(外面)	色調(内面)	色調(断面)	遺存度	備考
39		Ⅰ区 SP32		備前焼	壺?	-	-	13.2	板ナデ・指オサエ	指オサエ→板ナデ	密 (長石・石英)粗・普	良好	灰N5/	灰褐5YR5/2	にぶい赤褐2.5YR/4	底部2/8	
40		Ⅰ区 SP33		土師器	杯	12.2	3.2	7.8	マメツ	マメツ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	赤橙10R6/6	赤橙10R6/6	赤橙10R6/6	底部2/8	
41		Ⅰ区 SP33		土師器	杯	15.4	2.9	11.8	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙10YR8/3	底部1/8(破片)	
42		Ⅰ区 SP36		弥生	壺	-	-	-	横ナデ・ハケ目→ヘラミガキ	横ナデ・指オサエ→板ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・普	良好	橙5YR6/6	橙5YR6/6	灰褐5YR4/2	破片	
43		Ⅰ区 SP36 №1		弥生	(底部)	-	-	3.3	ハケ目・ハケ目→ナデ・ハケ目	板ナデ・ハケ目→ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	普通	明赤褐2.5YR5/6	褐7.5YR4/3	褐7.5YR4/3	底部4/8	
44		Ⅰ区 SP35		土師質土器	土鍋	(47.4)	-	-	板ナデ→横ナデ・指オサエ→板ナデ	板ナデ→横ナデ	粗 (黒色粒子)微・少	良好	橙2.5YR6/8	橙2.5Y7/8	橙2.5YR7/8	破片	
45		Ⅰ区 SP74		土師器	小皿	8.9	-	-	回転ナデ→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少 (シャーモット)細・普	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	口縁部2/8	
46		Ⅰ区 SP75		土師器	小皿	8.0	1.6	5.2	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ・回転ナデ→指ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・多	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	口縁部3/8	
47		Ⅰ区 SP78		土師器	杯	12.0	2.4	7.6	回転ナデ・回転ヘラ切り→ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい黄褐10YR5/3	褐灰10YR4/1	浅黄橙10YR8/4	底部2/8	
48		Ⅰ区 SP85		土師器	杯	-	-	-	マメツ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・少	普通	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	破片	
49		Ⅰ区 SP91		土師器	杯	-	-	8.0	ナデ→ヘラ切り→板目状圧痕	指オサエ→ナデ	密 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)微・少	普通	灰黄2.5Y6/2	浅黄2.5Y7/3	黄灰2.5Y5/1	底部完存	
50		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出(北部)	土師器	小皿	(6.6)	(1.3)	(3.7)	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・普 (赤色粒子)微・普	良好	橙7.5YR7/6	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	破片	
51		Ⅰ区 第1面 包含層	上面精査	土師器	小皿	8.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (赤色粒子)微・少	普通	オリーブ黒5Y3/1	橙5YR7/8	灰白5Y7/1	口縁部1/8	
52		Ⅰ区 第1面 包含層	上面精査	土師器	小皿	8.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (赤色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	口縁部1/8	
53		Ⅰ区 第1面 包含層	機械掘削 南部	土師器	小皿	7.1	1.4	5.4	回転ナデ・回転ヘラ切り・板目状圧痕	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	普通	浅黄橙7.5YR8/6	浅黄橙7.5YR8/6	浅黄橙7.5YR8/6	底部2/8	
54		Ⅰ区 第1面 包含層	SK02の東1mあたり	土師器	小皿	8.6	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	口縁部5/8	
55		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	土師器	小皿	-	-	7.4	横ナデ・マメツ	横ナデ・マメツ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	普通	褐灰10YR5/1	橙7.5YR6/6	暗灰N3/	口縁部1/8	
56		Ⅰ区 第1面 包含層	上面精査	土師器	小皿	-	-	-	マメツ	マメツ	密 (長石・石英)細・少	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	破片	
57		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出(北部)	土師器	小皿	-	1.4	-	マメツ	マメツ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	普通	橙5YR7/6	橙5YR7/6	浅黄橙7.5YR8/4	破片	
58		Ⅰ区 第1面 包含層	側溝掘り	青磁	碗	-	-	5.4	施釉・輪状に高台内剥取り	施釉	精良 (黒色粒子)細・少	良好	明緑灰10GY7/1	明緑灰10GY7/1	灰白7.5Y8/1	底部4/8	高台内:窯道具痕付着。
59		Ⅰ区 第1面 包含層	側溝掘り	青磁	皿	11.3	-	-	指オサエ・施釉	施釉	精良 (長石・石英)微・極少	良好	灰白10Y7/2	灰白10Y7/2	黄灰2.5Y5/1	口縁部1/8	
60		Ⅰ区 第1面 包含層	機械掘削 南部	土師質土器	土釜	21.5	-	-	指オサエ	マメツ	やや粗 (長石・石英)細・普 (赤色粒子)細・少	良好	にぶい褐7.5YR6/3	浅黄橙10YR8/4	褐灰10YR5/1	口縁部1/8	
61		Ⅰ区 第1面 包含層	機械掘削 南部	土師質土器	土釜	31.5	-	-	横ナデ・指オサエ→板ナデ・板ナデ	横ナデ・板ナデ(マメツ)	やや粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)微・少	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	橙7.5YR7/6	破片	
62		Ⅰ区 第1面 包含層	SX01南西部	土師質土器	土釜	-	-	-	マメツ	マメツ・板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	橙7.5YR7/6	破片	
63		Ⅰ区 第1面 包含層	SX01南西部3cm落とし	土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・指オサエ→横ナデ	横ナデ・板ナデ・指オサエ	粗 (長石・石英)中・多	良好	にぶい赤褐5YR5/3	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	破片	外面:煤付着。
64		Ⅰ区 第1面 包含層	SX01	土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・指オサエ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・普	良好	にぶい黄橙10YR6/4	橙5YR6/6	橙5YR6/6	破片	
65		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	土師質土器	把手付鍋	-	-	-	ハクリ	ハクリ	粗 (長石・石英)中・普 (シャーモット)細・普	良好	浅黄橙7.5YR8/4	橙5YR7/8	橙5YR7/8	破片	
66		Ⅰ区 第1面 包含層	上面精査 北部 北端部	土師質土器	把手付鍋	-	-	-	指オサエ→板ナデ	板ナデ→横ナデ	粗 (長石・石英)中・多	良好	灰褐7.5YR4/2	にぶい黄橙10YR7/4	橙2.5YR7/8	破片	
67		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	土師質土器	すり鉢	-	-	-	横ナデ・マメツ・指オサエ	指オサエ・すり目3条以上	密 (長石・石英)細・普 (赤色粒子)細・普	良好	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	破片	
68		Ⅰ区 第1面 包含層	上面精査 北部 北端部	土師質土器	鉢	-	-	-	横ナデ	横ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・普	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	破片	
69		Ⅰ区 第1面 包含層	上面精査		サヤ鉢(中)	28.0	11.9	27.4	横ナデ	横ナデ	やや粗(長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少	良好	橙2.5YR6/6		にぶい橙7.5YR7/4	破片	素焼き

第8表 Ⅰ～Ⅲ区 土器観察表 (2)

報文番号	図版番号	出土位置	層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調(外面)	色調(内面)	色調(断面)	遺存度	備考
70		Ⅰ区 第1面 包含層	上面精査	陶器	鉢	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・極少	良好	灰白2.5Y8/2	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい橙 5YR7/4	破片	白い隆起。
71		Ⅰ区 第1面 包含層	上面精査	陶器	土瓶蓋	9.0	-	-	体部合わせ部のみ無釉・他は施釉	施釉	密 (長石・石英)微・極少 (雲母)微・極少 (黒色粒子)微・極少	良好	オリーブ灰 10Y6/2	黄褐2.5Y5/3	灰白5Y7/1	口縁部1/8	体部組合せ部:陶器片付着。
72		Ⅰ区 第1面 包含層	SX01南西部	弥生	壺	-	-	-	横ナデ・マメツ	マメツ	密 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・普	良好	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
73		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	弥生	甕	-	-	-	横ナデ・マメツ	横ナデ・マメツ	密 (長石・石英)中・普	良好	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	黄灰2.5Y4/1	破片	
74		Ⅰ区 第1面 包含層	SX01 3cm落とし	弥生	甕	(13)	-	-	マメツ	マメツ	密 (長石・石英)細・普 (シャーモット)細・少	良好	橙7.5YR6/6	橙7.5YR6/6	橙7.5YR6/6	破片	
75		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	弥生	高杯	-	-	-	ナデ・板ナデ	指オサエ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	普通	橙5YR6/6	灰褐5YR4/2	灰褐5YR4/2	破片	
76		Ⅰ区 第1面 包含層	機械掘削	土師器	甕	30.0	-	-	指オサエ・板ナデ・マメツ	指オサエ→板ナデ・マメツ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/4	黒褐 10YR3/1	口縁部1/8	
77		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	弥生	甕	36.2	-	-	横ナデ・ヘラミガキ	マメツ・ヘラケズリ	密 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・普	普通	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	黒褐2.5Y3/1	破片	
82	46	Ⅰ区 第1面 包含層	SX01	分銅型土製品		3.4	4.0	0.8	マメツ・刺突文	マメツ・刺突文・沈線	密 (長石・石英)中・普	普通	褐灰 10YR5/1	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	4/8	裏面:弧状に3本の沈線。
83		Ⅰ区 第2面 包含層	遺構検出	弥生	壺	16.2	-	-	指オサエ→横ナデ	横ナデ	(長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	灰5Y4/1	口縁部1/8	
84		Ⅰ区 第2面 包含層	南西部ｶﾞﾘｶｹ	弥生	壺	-	-	-	横ナデ・指オサエ→ハケ目・横ナデ・ヘラミガキ	指オサエ→板ナデ・ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	普通	にぶい橙 7.5YR7/4	オリーブ黒 5Y3/1	暗灰黄 2.5Y5/2	頸部3/8	
85		Ⅰ区 第2面 包含層	遺構検出	弥生	壺	12.0	-	-	マメツ・爪形文	マメツ	やや粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・普	普通	にぶい赤褐 2.5YR4/4	にぶい赤褐 2.5YR4/4	赤10R5/8	口縁部1/8	
86		Ⅰ区 第2面 包含層	遺構検出	弥生	甕	-	-	-	横ナデ・ハケ目	横ナデ・ハケ目	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	普通	黄灰2.5Y4/1	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	破片	
87		Ⅰ区 第2面 包含層	2ﾄﾚﾝﾁ下層確認	弥生	(底部)	-	-	4.9	指オサエ・ハケ目	指オサエ→ヘラケズリ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	普通	褐灰 10YR4/1	にぶい黄橙 10YR6/4	褐灰 10YR4/1	底部完存	
88		Ⅰ区 第2面 包含層	南西部ｶﾞﾘｶｹ	弥生	(底部)	-	-	2.7	ハケ目(マメツ)	ハクリ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・普	普通	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	灰褐 7.5YR5/2	底部8/8	
89		Ⅰ区 第2面 包含層	上面精査	弥生	(底部)	-	-	2.6	マメツ	マメツ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少	良好	橙7.5YR6/6	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	底部4/8	
91		Ⅰ区 第2面 包含層	遺構検出	土師器	杯	11.4	3.4	8.2	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (雲母)微・少	良好	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	口縁部1/8 底部3/8	
92		Ⅰ区 第2面 包含層	遺構検出	土師器	杯	-	-	7.9	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・少	普通	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	灰5Y6/1	底部3/8	
93		Ⅰ区 第2面 包含層	南西部ｶﾞﾘｶｹ	備前焼	すり鉢	(27.4)	-	-	回転ナデ	回転ナデ・すり目6条以上	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少	良好	灰5Y4/1	灰黄褐 10YR4/2	にぶい橙 2.5Y6/4	破片	
94		Ⅰ区 包含層	2ﾄﾚﾝﾁ下層確認	土師質土器	鞴羽口	-	-	-	ナデ・一部ハクリ		やや粗 (長石・石英)中・多	良好	にぶい褐 7.5YR6/3	灰黄褐 10YR4/2	灰黄褐 10YR4/2	破片	
96		Ⅱ区 SB02 -SP101		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・指オサエ・マメツ・板ナデ	マメツ・板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)細・普	良好	灰褐 7.5YR6/2	灰褐 7.5YR6/2	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	
97		Ⅱ区 SD01		土師器	杯	-	-	9.8	回転ナデ・回転ヘラ切り→板目状圧痕	ハクリ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい橙 5YR7/4	褐灰 7.5YR4/1	底部2/8	
98		Ⅱ区 SK01 北ベルト		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (赤色粒子)微・少	良好	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	橙5YR7/6	破片	
99		Ⅱ区 SK01		土師質土器	土鍋	-	-	-	横ナデ・指オサエ→板ナデ→ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)細・普	良好	橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/8	破片	
100		Ⅱ区 SK03		土師器	杯	12.1	3.8	7.9	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少 (シャーモット)細・少	普通	橙5YR7/6	赤橙 10R6/6	赤橙 10R6/6	口縁部7/8 底部完存	
101		Ⅱ区 SK03		土師器	杯	-	-	8.1	マメツ・回転ナデ	マメツ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・普(赤色粒子)微・少	普通	浅黄橙 7.5YR8/3	浅黄橙 7.5YR8/3	浅黄橙 7.5YR8/3	1/8	
102	46	Ⅱ区 SP01		土師器	杯	12.7	4.5	8.7	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少 (シャーモット)細・多	普通	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部4/8 底部6/8	

第8表 Ⅰ～Ⅲ区 土器観察表 (3)

報文番号	図版番号	出土位置	層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調(外面)	色調(内面)	色調(断面)	遺存度	備考
103	46	Ⅱ区 SP01		土師器	杯	12.2	4.2	9.1	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普(黒色粒子)細・普 (金雲母)微・普 (シャーモット)細・普	普通	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部7/8 底部8/8	
104	46	Ⅱ区 SP01		土師器	杯	12.4	4.2	9.2	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (シャーモット)中・多	普通	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	7/8	
106		Ⅱ区 SP07		土師質土器	土釜	26.0	-	-	横ナデ・板ナデ→指オサエ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	良好	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
107		Ⅱ区 SP08		土師質土器	鍋	-	-	-	指ナデ→板ナデ	指ナデ→板ナデ→横ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (赤色粒子)微・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙7.5YR7/6	破片	
108		Ⅱ区 SP11		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ→板ナデ	横ナデ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多(金雲母)微・多	良好	暗褐7.5YR3/3	褐7.5YR4/3	褐7.5YR4/3	破片	
109		Ⅱ区 SP12		土師質土器	土釜	-	-	-	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)細・少	良好	にぶい黄橙10YR7/4	にぶい黄橙10YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	破片	
111		Ⅱ区 SP17		土師器	杯	12.4	3.4	9.4	回転ナデ・回転ヘラ切り→板目状圧痕	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (雲母)微・少	普通	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	口縁部3/8	
112		Ⅱ区 SP19		土師質土器	鉢	-	-	-	横ナデ・板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普(黒色粒子)細・少 (金雲母)微・多	良好	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	にぶい黄橙10YR6/3	破片	
113		Ⅱ区 SP39		土師質土器	鍋	-	-	-	横ナデ・板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・普	良好	黒褐7.5YR3/1	橙7.5YR7/6	明赤褐2.5YR5/6	破片	
115		Ⅱ区 SP57		土師器	杯	12.0	-	-	マメツ	マメツ	やや粗 (長石・石英)細・少(黒色粒子)微・少	良好	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	にぶい橙5YR7/4	破片	
116		Ⅱ区 SP59		土師質土器	土釜	-	-	-	指オサエ→横ナデ・指オサエ→板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	破片	
117		Ⅱ区 SP63		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・指オサエ→横ナデ・指オサエ	横ナデ・板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	褐7.5YR4/3	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	破片	外面:煤付着。
118		Ⅱ区 SP66		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・指オサエ→板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (シャーモット)細・少	普通	褐7.5YR4/3	橙5YR6/6	橙5YR6/6	破片	外面:煤付着。
119	46	Ⅱ区 SP67		土師器	杯	11.7	3.6	8.3	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普(黒色粒子)微・少	良好	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	7/8	
120	46	Ⅱ区 SP67		土師器	杯	12.2	3.5	8.8	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少(黒色粒子)細・少	普通	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	5/8	
121	46	Ⅱ区 SP67		土師器	杯	12.2	3.6	8.9	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普(赤色粒子)微・少	普通	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	4/8	
122	46	Ⅱ区 SP67		土師器	杯	11.5	3.5	8.7	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	普通	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	5/8	
123	46	Ⅱ区 SP67		土師器	杯	12.3	3.7	9.0	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普(黒色粒子)微・少	普通	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	完存	
124		Ⅱ区 SP72		土師器	杯	10.9	3.7	7.1	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・普 (赤色粒子)微・普	普通	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部3/8 底部ほぼ完存	
125		Ⅱ区 SP72		土師器	杯	12.2	3.2	8.4	回転ナデ・マメツ・回転ヘラ切り	回転ナデ・マメツ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・多	良好	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部1/8	
126		Ⅱ区 SP72		土師器	杯	13.3	3.7	8.1	回転ナデ・回転ヘラ切り→板目圧痕	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普 (赤色粒子)細・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	ほぼ完存	底部外面:煤付着。
127		Ⅱ区 SP72		土師器	杯	12.2	3.7	8.8	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (赤色粒子)中・普	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	ほぼ完存	
128		Ⅱ区 SP73		備前焼	すり鉢	32.0	-	-	指オサエ・回転ナデ	回転ナデ・すり目9条	やや粗 (長石・石英)細・普	良好	褐灰10YR4/1	褐灰10YR4/1	橙2.5YR6/6	破片	
129		Ⅱ区 SP97		弥生	甕	13.7	-	-	横ナデ・ハケ目	横ナデ・ハケ目	密 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・多 (金雲母)微・少(赤色粒子)微・少	普通	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	にぶい黄橙10YR7/4	頸部1/8	
131		Ⅱ区 第1面 包含層	ガリカケ	土師質土器	火鉢	-	-	-	沈線1条	板ナデ・マメツ	やや粗 (長石・石英)粗・少(金雲母)細・少	良好	橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/8	破片	外面:菊花文のスタンプ。
133		Ⅱ区 第1面 包含層	出土位置不明	陶器	土瓶	11.0	-	-	回転ナデ・施釉・イッチンガケ	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・普 (赤色粒子)微・少	良好	オリーブ黄5Y6/4・灰白10Y8/1・ふかい青紫6PB2.5/7	灰オリーブ5Y5/3	灰白2.5Y8/1	破片	
134		Ⅱ区 第1面 包含層	側溝掘り	弥生	甑	-	-	2.8	マメツ	板ナデ・穿孔1カ所	密 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・少 (シャーモット)細・普	良好	黒褐10YR3/1	橙7.5YR7/6	にぶい黄橙10YR4/3	底部7/8	外→内へ焼成前穿孔。

第8表 Ⅰ～Ⅲ区 土器観察表(4)

報文番号	図版番号	出土位置	層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調(外面)	色調(内面)	色調(断面)	遺存度	備考
136		Ⅱ区 第2面 包含層	北壁切り	備前焼	甕	(25.6)	-	-	指オサエ・横ナデ	横ナデ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・普 (シャーモット)粗・普	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/3	にぶい赤褐 2.5YR5/3	灰褐 7.5YR6/2	破片	
137		Ⅱ区 第2面 包含層	南壁清掃(西部)近世窯の灰原露出部分	陶器	丸椀	-	-	4.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい橙 5YR7/4	浅黄橙 10YR8/3	にぶい橙 5YR7/4	底部2/8	素焼き。
138		Ⅱ区 第2面 包含層	南壁清掃(西部)近世窯の灰原露出部分		トチン	-	-	11.2	指オサエ		やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	橙2.5YR6/6		橙5YR7/6	下面部4/8	
139		Ⅲ区 SP13		土師質土器	鉢	-	-	-	板ナデ	ハケ目	密 (石英)中・多 (赤色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐 5YR4/3	橙5YR6/6	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	
140		Ⅲ区 SP28		土師質土器	土鍋	-	-	-	横ナデ・板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・多	良好	褐灰 7.5YR4/1	黒褐 7.5YR3/1	黒7.5YR2/1	破片	
141		Ⅲ区 SK01 西半部 遺構検出		土師器	小皿	6.9	1.0	6.3	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい橙 10YR6/3	にぶい橙 10YR6/3	にぶい橙 10YR6/3	ほぼ完存	
142		Ⅲ区 SK01 東半部		土師器	杯	10.4	2.0	7.0	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普	良好	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	口縁部1/8	
143		Ⅲ区 SK01 №2		土師器	杯	11.9	3.2	8.3	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	浅黄橙 7.5YR8/6	破片	
144		Ⅲ区 SK01 №3		土師器	杯	-	-	8.0	回転ナデ・回転ヘラ切り	マメツ	密 (長石・石英)中・少 (赤色粒子)中・少	良好	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	底部完存	
145		Ⅲ区 SK01			東瀧系コネ鉢	-	-	-	横ナデ	横ナデ	やや粗 (石英)細・少 (赤色粒子)微・少	良好	灰7.5Y4/1	灰7.5Y4/1	灰7.5Y4/1	破片	
146		Ⅲ区 SK05			東瀧系コネ鉢	(24.5)	-	-	回転ナデ・自然釉	回転ナデ	やや粗 (長石)細・少 (黒色粒子)細・普	良好	灰7.5YR6/1	灰7.5YR6/1	灰7.5YR6/1	破片	外面:重ね焼痕。自然釉付着。
147		Ⅲ区 SK07北西部		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・板ナデ	横ナデ・板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	破片	
148		Ⅲ区 SK07 ベルトはずし		備前焼	すり鉢	30.8	-	-	横ナデ・指オサエ→横ナデ	板ナデ→横ナデ・すり目6条	密 (長石・石英)中・少 (赤色粒子)粗・多	良好	灰褐5YR4/2	褐灰 7.5YR4/1	褐灰 7.5YR4/1	破片	
149		Ⅲ区 SP01		土師器	(底部)	-	-	-	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (片岩)中・少 (金雲母)微・普	良好	橙5YR6/6	橙5YR6/6	橙5YR6/6	底部8/8	
150		Ⅲ区 SP02		土師器	小皿	-	-	-	横ナデ・回転糸切り	マメツ	密 (石英)中・少 (金雲母)微・少(赤色粒子)中・少	良好	橙5YR7/6	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	破片	
151		Ⅲ区 SP05		瓦質土器	すり鉢	-	-	-	横ナデ・指オサエ→ナデ	指オサエ→板ナデ・すり目4条以上	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・普	良好	灰N4/	灰N4/	灰白2.5Y8/2	破片	
152		Ⅲ区 SP11		土師質土器	土釜	-	-	-	マメツ・指オサエ→板ナデ	指オサエ→ナデ	粗 (長石・石英)中・普	普通	褐灰 7.5YR6/1	浅黄橙 7.5YR8/3	浅黄橙 7.5YR8/3	破片	
153		Ⅲ区 SP19		土師器	杯	-	-	8.2	回転ヘラ切り→板目状圧痕	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・普	良好	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	底部完存	
154		Ⅲ区 SP20		土師質土器	土鍋	-	-	-	横ナデ・指オサエ→ハケ目→板ナデ	ハケ目→横ナデ・ハケ目	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	灰褐5YR4/2	灰褐 7.5YR4/2	にぶい黄橙 10YR7/2	破片	
155		Ⅲ区 SP21		土師質土器	土釜	-	-	-	マメツ・横ナデ	ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (シャーモット)細・普	良好	橙5YR6/6	橙5YR6/6	橙5YR6/6	破片	
156		Ⅲ区 SP38		土師器	小皿	6.5	1.5	4.0	回転ナデ・回転ヘラ切り→板目状圧痕	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	口縁部2/8	
157		Ⅲ区 SP39		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ	マメツ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)細・少	良好	橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/8	破片	
158		Ⅲ区 SP43		瓦質土器	釜	-	-	-	指オサエ・横ナデ・板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普	良好	灰N4/	灰N4/	灰白5Y8/1	破片	口縁部と鍔部との間に穿孔がある。
159		Ⅲ区 SP48		土師質土器	土釜	-	-	-	指オサエ・横ナデ・ナデ	横ナデ・指オサエ→板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)細・普 (シャーモット)中・普	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	破片	
160		Ⅲ区 SP49		土師質土器	土釜	-	-	-	マメツ	マメツ	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)細・少	良好	赤10R5/6	赤10R5/6	赤10R5/6	破片	
161		Ⅰ～Ⅲ区 SX02		土師器	小皿	-	-	5.9	マメツ	マメツ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・普 (赤色粒子)細・普	良好	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	底部7/8	
162		Ⅰ～Ⅲ区 SX02		土師質土器	土釜	-	-	-	マメツ・ナデ・指オサエ・穿孔	マメツ・ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	破片	
163		Ⅰ～Ⅲ区 SX02		土師質土器	土釜	-	-	-	横ナデ・指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	灰赤 2.5YR4/2	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	破片	外面:煤付着。

第8表 Ⅰ～Ⅲ区 土器観察表 (5)

報文番号	図版番号	出土位置	層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調(外面)	色調(内面)	色調(断面)	遺存度	備考
164		Ⅰ～Ⅲ区 SX02		土師質土器	土鍋	-	-	-	横ナデ・板ナデ	横ナデ・板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・少 (赤色粒子)細・少	良好	橙2.5YR7/6	橙2.5YR7/6	にぶい赤褐2.5YR5/4	破片	
165		Ⅰ～Ⅲ区 SX02		弥生	甕	(15.7)	-	-	横ナデ・刻み目・ハケ目	指オサエ→ハケ目	やや粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・普 (赤色粒子)細・普	良好	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	破片	
166		Ⅰ～Ⅲ区 SX02		弥生	甕	-	-	-	マメツ・刻み目	マメツ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・普	良好	灰黄褐10YR4/2	橙5YR6/8	橙5YR6/8	破片	
167		Ⅰ～Ⅲ区 SX02		弥生	甕	-	-	-	マメツ・指オサエ→ナデ・ヘラ描き沈線2条以上	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・多	良好	浅黄橙7.5YR8/4	黄灰2.5Y4/1	暗灰黄2.5Y5/2	破片	
168		Ⅲ区 第1面 包含層	1	弥生	小皿	5.8	0.8	4.9	マメツ・回転ヘラ切り	マメツ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母) 微・普	普通	にぶい褐7.5YR6/3	にぶい褐7.5YR6/3	にぶい褐7.5YR6/3	3/8	
169		Ⅲ区 第1面 包含層	遺構検出	土師器	小皿	5.2	1.3	4.8	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (赤色粒子)微・少	普通	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	黄褐2.5Y5/3	底部2/8	
170		Ⅲ区 第1面 包含層	樹根1検出面	土師器	小皿	6.3	1.3	6.7	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (シャーモット)中・少	良好	橙5YR7/6	橙5YR7/6	-	完存	
171		Ⅲ区 第1面 包含層	遺構検出	土師器	杯	11.6	3.0	7.2	回転ナデ・回転ヘラ切り→板目状圧痕	回転ナデ→ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・普	良好	橙5YR7/6	橙5YR7/6	浅黄橙10YR8/4	口縁部4/8 底部5/8	
172		Ⅲ区 第1面 包含層	遺構面ベース土	土師器	杯	12.4	3.5	9.6	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・少	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	底部3/8	
173		Ⅲ区 第1面 包含層	遺構検出	弥生	高杯	-	-	9.4	マメツ	ヘラケズリ	密 (長石・石英)粗・多	普通	にぶい黄橙10YR7/4	にぶい黄橙10YR7/4	褐灰10YR4/1	脚部6/8	
174		Ⅲ区 第1面 包含層 西部		分銅型土製品		-	-	-	刺突文	板ナデ	密 (長石・石英)中・普	良好	にぶい黄橙10YR7/4	にぶい黄橙10YR7/4	褐灰10YR5/1	破片	
175		Ⅲ区 第1面 包含層 西部		分銅型土製品		-	-	-	マメツ・刺突文	ナデ	密 (長石・石英)微・少	良好	橙5YR7/6	褐灰10YR6/1	褐灰10YR6/1	破片	
176		Ⅲ区 第2面 包含層	遺構検出	弥生	甕	-	-	-	指オサエ→横ナデ・刻み目・ハケ目・ヘラ描き沈線2条	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	破片	
177		Ⅲ区 第2面 包含層	遺構検出	弥生	甕	-	-	-	横ナデ・ヘラ描き沈線1条	指押さえ→板ナデ→ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	普通	橙5YR6/6	橙5YR6/6	橙5YR6/6	破片	
178	46	Ⅲ区 第2面 包含層	ガリカケ	不明		-	-	-	マメツ	マメツ	やや粗 (長石・石英)・中・多 (金雲母)・微・普 (黒色粒子)・細・多	良好	にぶい黄褐10YR5/3	-	黄灰2.5Y4/1	破片	上面/左右側面:沈線あり。

第8表 Ⅰ～Ⅲ区 土器観察表 (6)

報文番号	図版番号	出土位置	層位	器種	現存長(cm)	最大幅(cm)	最大圧(cm)	重量(g)	残存率	材質	形態・手法の特徴	備考
1		Ⅰ区 SH01	検出面	砥石	25.3	24.5	10.1	1855		砂岩		
11		Ⅰ区 SH02	被熱(床直)	砥石	16.1	11.5	6.2	1180	欠損	砂岩		
27		Ⅰ区 SK02 トレンチ		石錘	3.1	2.6	0.4	2.01	先端部欠損	サヌカイト		
29		Ⅰ区 SK03		スクレイパー	3.3	4.4	0.8	10.19	破片	サヌカイト		
31		Ⅰ区 SK04	①層	石鏃	2.5	1.6	0.3	1.08	先端部・基部欠損	サヌカイト	有茎式	
78		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	石鏃	2.0	1.2	0.2	0.43	先端部・左右脚部欠損	サヌカイト	凹基式	
79		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	石鏃	2.3	1.6	0.3	0.83	右脚部欠損	サヌカイト	凹基式	
80		Ⅰ区 第1面 包含層	北部上面精査	石鏃	3.6	1.8	0.5	2.57	先端部・基部欠損	サヌカイト	有茎式	
81		Ⅰ区 第1面 包含層	遺構検出	石鏃未製品	4.4	2.3	0.6	7.12		サヌカイト		
90		Ⅰ区 第2面 包含層	確認トレンチ (東西トレンチ遺構面から50cm下げ)	石錘	4.1	2.6	0.5	4.67	先端部欠損	サヌカイト		
135		Ⅱ区 第2面 包含層	掘削	扁平片刃石斧	5.5	3.0	1.1	33.42	破片	緑泥片岩		全面的に研磨が見られる

第9表　Ⅰ～Ⅲ区　石器観察表

報文番号	図版番号	出土位置	層位	器種	現存長(cm)	最大幅(cm)	最大圧(cm)	重量(g)	残存率	材質	形態・手法の特徴	備考
35		Ⅰ区 SP22		銭	－	2.5	0.1	1.96	一部欠損	銅		天聖元宝1023
105		Ⅱ区 SP01 №4		銭	－	2.6	0.1	2.60	完存	銅		永楽通宝1408
130		Ⅱ区 SP124		銭	－	2.5	0.1	1.79	完存	銅		皇宋通宝1039
132		Ⅱ区 第1面 包含層	ガリカケ	銭	－	2.2	0.2	2.51	完存	銅		洪武通宝1368

第10表　Ⅰ～Ⅲ区　銭観察表

報文番号	図版番号	出土位置	層位	器種	現存長(cm)	最大幅(cm)	最大圧(cm)	重量(g)	残存率	材質	形態・手法の特徴	備考
13		Ⅰ区 SD03		釘	6.0	－	－	10.60	頭部先端部欠損	鉄		
95		Ⅰ区 第2面 包含層	遺構検出	釘	4.5	－	－	6.16	頭部先端部欠損	鉄		
110		Ⅱ区 SP09		釘	4.9	－	－	7.94	先端部欠損	鉄		
114		Ⅱ区 SP53		釘	6.8	－	－	11.44	先端部欠損	鉄		

第11表　Ⅰ～Ⅲ区　鉄製品観察表

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
179		SX01 上		須恵器	壷	-	-	-	回転ナデ	回転ヘラケズリ・回転板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・普	良好	オリーブ黒10Y3/2	灰黄2.5Y7/2	灰黄2.5Y7/2	体部1／8	壷B1 9c後～10c前。
180		SX01 (南)		須恵器	甕	-	-	-	回転ナデ・タタキ目	回転ナデ・当て具痕	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰5Y6/1	灰5Y5/1	褐灰10YR4/1	破片	
181	11	SF01 燃焼室・B4	堆積土	陶器	碗	-	-	2.9	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい橙7.5YR7/3・赤褐10R4/3	にぶい橙5YR6/4	橙5YR7/6	底部4／8	
182	11	SF01 燃焼室 南北ﾍﾞﾙﾄ	堆積土(床上炭層直上)	軟質施釉陶器	鍋蓋	-	-	6.5	回転ヘラケズリ・回転ナデ・施釉	回転ヘラケズリ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	普通	藍海松茶10G3/2	浅黄橙7.5YR8/6	浅黄橙10YR8/4	つまみ部完存	
183		SF01 燃焼室	堆積土	陶器	鉢	17.8	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (金雲母)微・極少 (黒色粒子)微・極少	良好	灰オリーブ5Y6/2	灰オリーブ5Y6/2	灰白5Y7/1	口縁部1／8	口縁部上端:陶器片付着。
184		SF01 燃焼室 東焚き口付近	窯体構築粘土内	陶器	鍋	15.5	-	-	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ→ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (シャーモット)細・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	にぶい橙7.5YR6/4	橙5YR7/6	口縁部1／8	
185		SF01 燃焼室	堆積土	陶器	甕	-	-	-	施釉	施釉	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	褐灰5YR5/1	褐灰5YR5/1	灰白2.5Y7/1	破片	口縁部上端:離れ砂付着。体部外面:沈線5条。
186		SF01 燃焼室	堆積土	陶器	甕	-	-	(17.8)	回転ナデ・施釉	施釉	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好	黒褐10YR3/1	にぶい赤褐5YR5/3	灰黄褐10YR6/2	破片	高台部外面:粘土塊付着。
213		SF01 燃焼室 東西ﾍﾞﾙﾄ(東)・O 東	堆積土(焼土層)	土師質土器	焙烙	-	-	-	板ナデ→横ナデ・指オサエ→ハケ目	ハケ目	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい黄橙10YR6/3	灰黄褐10YR5/2	浅黄橙7.5YR8/6	口縁部破片	
214	11	SF01 1室 北部樹根・樹根・砂床・(西)・南北ﾍﾞﾙﾄ・No.105・No.111・No.112・No.113	床面直上	陶器	行平鍋	(20.0)	-	-	施釉	施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	オリーブ黄7.5Y6/3	オリーブ黄7.5Y6/3	灰白7.5Y7/1	口縁部4／8	焼け歪み。
215		SF01 1室(西)・B4	堆積土・床面直上	陶器	行平鍋	-	-	-	施釉	施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰10Y6/2	オリーブ灰10Y6/2	灰白N7/	破片	焼け歪み。
216		SF01 1室 砂床・南北ﾍﾞﾙﾄ	床面直上・堆積土	陶器	行平鍋	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰10Y6/2	オリーブ灰10Y6/2	灰白N7/	破片	焼け歪み。
217	11	SF01 1室 北部樹根・樹根・砂床・床・南北ﾍﾞﾙﾄ・No.019・No.023	堆積土・床面直上	陶器	行平鍋	-	-	8.2	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ7.5Y6/2	灰オリーブ7.5Y6/2	灰白7.5Y7/1	4／8	底部外面:ワトチ片付着。底部内面:ピン痕3。
218		SF01 1室 北部樹根・砂床	堆積土・床面直上	陶器	土瓶蓋	5.0	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ黄7.5Y6/3	オリーブ黄7.5Y6/3	灰白7.5Y8/1	口縁部2／8	
219		SF01 1室 砂床	床面直上	陶器	行平鍋	-	-	-	施釉	施釉	密 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰10Y6/2	オリーブ灰10Y6/2	灰白N8/	胴部1／8	焼け歪み。内面:陶器片付着。
231		SF01 1室	堆積土	陶器	鉢	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	(長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ7.5Y5/2	灰オリーブ7.5Y5/2	灰白N8/	破片	口縁部:輪花状。口縁部上面:釉剥ぎ取り。体部内面:沈線1条以上。
232	47	SF01 1室 樹根・南北ﾍﾞﾙﾄ	堆積土	陶器	行平鍋・鍋蓋	21.2	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ灰10Y6/2	オリーブ灰10Y5/2	灰白7.5Y7/1	口縁部破片	蓋付着。体部外面:沈線7条。
233		SF01 1室 北部樹根	堆積土	陶器	香炉(しのぎ)	-	-	10.9	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	浅黄5Y7/4	灰オリーブ5Y6/2	灰白5Y7/1	底部2／8	高台端部:釉だまり。
239		SF01 2室 No.053	床面直上	陶器	鍋	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・発色不良	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部破片	
240		SF01 2室 No.024	床面直上	陶器	土瓶	8.0	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	灰白7.5Y7/2	灰白7.5Y7/2	灰白N8/	口縁部2／8	
241	12	SF01 2室・(西)・No.086・No.096・No.206	堆積土・床面付近・床面直上	軟質施釉陶器	蓋	8.6	-	-	施釉	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・普	良好	灰白2.5Y8/2	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	4／8	
242		SF01 2室・No.028・No.041・No.048	床面付近・床面直上	軟質施釉陶器	蓋	8.0	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	灰白2.5Y8/2	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	口縁部1／8	
243	12	SF01 2室・No.017・No.052・No.056・No.081・No.082?・No.090	堆積土・床面直上	軟質施釉陶器	蓋	(9.0)	(2.5)	3.6	施釉	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (角閃石)細・少	良好	灰白7.5Y8/1	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/3	つまみ部4／8	
244	12	SF01 2室・南北ﾍﾞﾙﾄ	床面付近・堆積土	軟質施釉陶器	蓋	7.1	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ	密 (長石)微・少 (角閃石)細・少	良好	明黄褐2.5Y7/6	浅黄橙7.5YR8/6	浅黄橙10YR8/4	7／8	
245	12	SF01 2室(西)・No.002・No.030・3室(南西)	床面付近・床面(砂床)付近	軟質施釉陶器	蓋	10.6	-	-	回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰黄緑5GY4.5/1	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/3	口縁部7／8	
246	12	SF01 2室・No.036・3室(南西)	床面(砂床)付近	軟質施釉陶器	蓋	10.6	-	-	回転ヘラケズリ→施釉	ヘラ切り・回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰青緑2.5BG5/2	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/3	口縁部3／8	
247		SF01 2室(西)・2室・3室(南西)	床面付近・床面(砂床)付近	軟質施釉陶器	蓋	-	-	-	回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	灰青緑2.5BG5/2	浅黄橙7.5YR8/6	浅黄橙7.5YR8/6	破片	
252	47	SF01 2室 No.207	床面直上	土製品	器種不明	2.5	2.6	2.4	ナデ・ヘラケズリ・指オサエ	ヘラケズリ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	／	完存	
264		SF01 2室(東)	堆積土	陶器	鍋	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部破片	
265		SF01 2室(西)	堆積土	陶器	盃台	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ・ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	普通・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	橙5YR7/6	体部2／8	
269		SF01 3室	床面付近	陶器	碗	-	-	6.7	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい橙7.5YR6/4	浅黄5Y7/3	灰白2.5Y7/1	底部1／8	

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表 (1)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
270		SF01 3室	床面付近	陶器	碗	-	-	6.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	淡橙5YR8/4	底部1／8	外面:沈線4条。
271		SF01 3室 No.018	床面直上	陶器	鉢	-	-	-	回転ヘラケズリ・施釉	施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	オリーブ黄5Y6/3	オリーブ黄5Y6/3	灰白2.5Y7/1	体部1／8	
272		SF01 3室	床面付近	陶器	行平鍋の把手	-	-	-	指ナデ・施釉	指ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ7.5Y6/2	灰オリーブ7.5Y6/2	黄灰2.5Y6/1	破片	
273	12	SF01 3室 No.134・No.142・(西)・SD01 0・1,2室横	床面直上	陶器	行平鍋	16.6	9.2	8.2	回転ナデ・回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい橙7.5YR7/3	にぶい橙5YR6/4	浅黄橙7.5YR8/6	底部5／8・口縁部1／8	底部外面:ワトチ設置痕。
274		SF01 3室 No.006	床面直上	陶器	行平鍋	19.9	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白7.5Y7/2	灰白7.5Y7/2	灰白N8/	口縁部破片	焼け歪み。
275		SF01 3室	床面付近	陶器	行平鍋	20.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい橙7.5YR7/4	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
276		SF01 3室	床面付近	陶器	鍋	(18.6)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐2.5YR5/3	にぶい赤褐2.5YR5/3	にぶい橙7.5YR7/3	破片	
277		SF01 3室	床面付近	陶器	鍋	-	-	7.0	回転ヘラケズリ・施釉	施釉	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少	良好	灰褐5YR4/2	にぶい赤褐2.5YR4/3・灰オリーブ5Y5/2 ・灰オリーブ5Y5/3	にぶい橙5YR6/4	底部3／8	底部内面:ピン痕1。
278		SF01 3室 No.035	床面直上	陶器	鍋の把手	6.7	0.9	1.1	指オサエ・指ナデ・施釉	／	(長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	褐灰5YR5/1	褐灰5YR5/1	橙5YR7/6	把手ほぼ完存	
279		SF01 3室	床面付近	陶器	香炉(無文)	10.8	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰オリーブ5Y6/2	灰オリーブ5Y6/2	にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1／8	口縁部上端:陶器片付着。
280		SF01 3室	床面付近	陶器	甕	(24.2)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好・発色不良	灰白7Y5/1	灰白7Y5/1	灰黄褐10YR6/2	破片	外面:沈線5条。内外面:黄褐色粘土付着。
333		SF01 3室南北ﾄﾚﾝﾁ(南)	堆積土	陶器	土瓶蓋	7.0	-	7.1	回転ヘラケズリ	施釉	密 (長石)細・少 (金雲母)微・少	良好	灰褐5YR4/2	灰7.5Y6/1	灰黄褐10YR5/2	1／8	
334	13	SF01 3室(西)・B4	堆積土	陶器	灯明皿	10.0	1.8	4.9	回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい褐7.5YR6/3	にぶい褐7.5YR6/3	浅黄橙7.5YR8/4	ほぼ完存	
335		SF01 3室(西)	堆積土	―	器種不明	17.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・普	良好	灰褐7.5YR4/2	/	橙2.5YR6/6	口縁部2／8	
337		SF01 4室 砂床	床面付近	陶器	鉢	-	-	3.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙7.5YR8/3	浅黄橙10YR8/4	高台部2／8	
338		SF01 4室 No.078・No.082	床面直上	陶器	鉢	-	-	5.3	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・普	良好・素焼き	橙7.5YR7/6	にぶい黄橙10YR6/4	橙7.5YR7/6	高台部5／8	
339		SF01 4室 No.215	床面直上	陶器	蓋	6.6	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	にぶい橙7.5YR7/4	灰白2.5Y8/2	浅黄橙7.5YR8/4	つまみ部2／8	
340		SF01 4室 No.007	床面直上	陶器	行平鍋	20.0	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙7.5YR7/4	浅黄橙7.5YR8/6	橙7.5YR7/6	口縁部1／8	
341	48	SF01 4室(南西)・(北西) 砂床・(北西)・南北ﾍﾞﾙﾄ	堆積土・床面直上・堆積土	陶器	鍋蓋	25.3	6.7	8.2	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	つまみ部5／8	
342		SF01 4室 No.203	床面直上	陶器	鍋蓋	24.8	5.2	8.0	回転ヘラケズリ・回転ナデ・回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	つまみ部2／8	
343		SF01 4室 No.035・No.036・No.204	床面直上	陶器	鍋蓋	23.6	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ→ヘラミガキ状の強いナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部3／8	
344		SF01 4室(南西)・砂床	堆積土・床面付近	陶器	鍋蓋	24.4	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	口縁部2／8	
345		SF01 4室 No.036	床面直上	陶器	鍋蓋	-	-	-	ナデ・マメツ	マメツ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	つまみ部1／8	
346		SF01 4室 No.051	床面直上	陶器	鍋蓋	-	-	-	板ナデ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	橙5YR7/6	破片	
347		SF01 4室 砂床付近	床面直上	陶器	鍋蓋	-	-	-	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
348	48	SF01 4室(南西)・(北西)・南北ﾍﾞﾙﾄ・No.038(径20cm以内)・No.048	堆積土・床面直上	陶器	蓋	25.0	7.2	-	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部2／8	口縁部外面:凸線1条。
349	48	SF01 4室(南西)・No.125	堆積土・床面直上	陶器	蓋	24.3	8.0	11.9	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙7.5YR7/6	浅黄橙10YR8/4	橙5YR7/6	2／8	口縁部外面:凸線1条。
350		SF01 4室(南西)・砂床付近・南北ﾍﾞﾙﾄ	堆積土・床面直上	陶器	蓋	23.9	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少	普通・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	口縁部1／8	口縁部外面:凸線1条。
351	48	SF01 4室(北東)・(東)・No.007・No.056(周辺径20cm)・No.083・No.084・No.124(4室No.039の直)	堆積土・床面直上	陶器	鍋	17.4	7.8	7.6	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)細・普 (黒色粒子)細・少 (シャーモット)中・普 (金雲母)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	4／8	

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表 (2)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
352		SF01 4室 №122(径20cm以内)	床面直上	陶器	鍋	17.0	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・普 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	口縁部 2/8	
353		SF01 4室 砂床付近・№056(周辺径20cm)	床面直上	陶器	鍋	16.8	-	-	回転ナデ・マメツ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部 2/8	
354		SF01 4室 №060	床面直上	陶器	土瓶蓋	10.9	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部 2/8	
355	48	SF01 4室 №203	床面直上	陶器	土瓶	-	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
356		SF01 4室 №124(4室№039の直)	床面直上	陶器	土瓶	(9.8)	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	橙5YR7/6	口縁部 破片	
357		SF01 4室 №122(径20cm以内)・№124(4室№039の直)	床面直上	陶器	土瓶	9.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	普通・素焼き	橙7.5YR7/6	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	口縁部 2/8	
358		SF01 4室 №070	床面直上	陶器	土瓶	(13.2)	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部 破片	
359		SF01 4室 №059・№060・№066・№067・№068・№069	床面直上	陶器	土瓶	-	-	-	回転ヘラケズリ→回転ナデ	板ナデ・回転ナデ	密 (長石)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・普	普通・素焼き	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	破片	
360		SF01 4室 №007・№074・№076	床面直上	陶器	土瓶	-	-	-	回転ヘラケズリ→回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	普通・素焼き	橙7.5YR7/6	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	破片	
361		SF01 4室 №010	床面直上	陶器	土瓶	-	-	10.0	回転ヘラケズリ	板ナデ	密 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部 2/8	
362		SF01 4室(北東)・№105・№107	堆積土・床面直上	陶器	香炉(しのぎ)	12.0	-	-	施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	橙5YR6/6	橙5YR7/6	橙7.5YR7/6	口縁部 2/8	
363		SF01 4室 砂床付近	床面直上	陶器	甕	(24.0)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・多(シャーモット)中・稀 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰褐 7.5YR4/2	褐灰 7.5YR4/1	黄灰2.5Y6/1	口縁部 破片	内外面:黄褐色粘土付着。
395	48	SF01 4室 №041・№043	床面直上	―	型	(18.0)	-	-	指ナデ	-	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	普通	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	樹枝文を陰刻。
396		SF01 4室 №043・№046	床面直上	―	型	16.3	-	-	指オサエ	ナデ	密 (長石・石英)微・普 (金雲母)微・普	普通	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	口縁部 2/8	
397		SF01 4室 №043・№046	床面直上	―	型	17.9	-	-	指オサエ→ナデ	ナデ	密 (長石)微・少 (雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	口縁部 2/8	
403		SF01 4室(南西)	堆積土	陶器	碗	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	橙7.5YR7/6	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	
404		SF01 4室(南東)	堆積土	陶器	鉢	-	-	3.2	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/6	浅黄橙 10YR8/3	高台部 3/8	
405		SF01 4室(北東)	堆積土	陶器	鉢	-	-	4.8	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	浅黄橙 7.5YR8/3	橙5YR7/6	高台部 2/8	
406		SF01 4室(南東)	堆積土	陶器	行平鍋蓋	-	-	-	回転ヘラケズリ・施釉	マメツ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・発色不良	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	つまみ部 2/8	
407	49	SF01 4室(南東)・南北ベルト	堆積土	陶器	鍋蓋	19.8	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	普通・発色不良	浅黄橙 7.5YR8/3	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	口縁部 2/8	体部外面:沈線8条。
408		SF01 4室(南東)	堆積土	陶器	鍋蓋	19.7	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	口縁部 1/8	外面:沈線3条以上。
409		SF01 4室(南東)	堆積土	陶器	行平鍋・把手	-	-	-	指ナデ	指ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	橙2.5YR6/8	橙2.5YR7/8	破片	蓮華文など陰刻。
410		SF01 4室(南西)	堆積土	陶器	鍋蓋	-	-	8.2	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	つまみ部 2/8	つまみ部:凹線1条。
411		SF01 4室 №201	堆積土	陶器	鍋蓋	26.0	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)細・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	
412		SF01 4室(南西)・(北西)・(北東)・南北ベルト	堆積土	陶器	鍋蓋	25.0	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	にぶい橙 7.5YR7/4	橙5YR7/6	口縁部 2/8	
413		SF01 4室(南東)・奥壁沿い	堆積土	陶器	鍋	19.1	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙7.5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部 2/8	
414		SF01 4室(東)・奥壁沿い	堆積土	陶器	鍋	19.4	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	普通・素焼き	橙7.5YR7/6	黄橙 7.5YR8/8	橙5YR7/6	口縁部 3/8	
415		SF01 4室(南東)	堆積土	陶器	鍋	-	-	7.2	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部 6/8	
416		SF01 4室(東)	堆積土	陶器	土瓶蓋	14.2	-	-	回転ナデ(マメツ)・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	
417		SF01 4室 奥壁沿い	堆積土	陶器	土瓶	8.7	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ→回転ケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	胴部 1/8	
418		SF01 4室 奥壁沿い	堆積土	陶器	土瓶	-	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表 (3)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
419		SF01 4室 奥壁沿い	堆積土	陶器	土瓶	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・普(金雲母)微・少(黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	
420		SF01 4室(南西)	堆積土	陶器	土瓶?	-	-	8.1	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	3/8	
421		SF01 4室(北東)	堆積土	陶器	香炉(無文)	(10.0)	-	-	施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	灰白7.5Y8/1	灰白7.5Y8/1	橙2.5YR6/6	破片	
422	13	SF01 4室(南東)・(南西)・(北西)・南北ベルト	堆積土	陶器	香炉(無文)	12.6	-	-	施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・発色不良	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	橙5YR7/6	口縁部5/8	
423		SF01 4室(南西)	堆積土	陶器	香炉(無文)	12.7	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	黄灰2.5Y6/1	にぶい黄橙10YR7/2	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8	
424		SF01 4室 奥壁沿い	堆積土	陶器	香炉(しのぎ)	-	-	11.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/8	底部1/8	底部内面:遺物設置痕?。
425		SF01 4室(南西)	堆積土	陶器	甕	-	-	25.6	回転ナデ・板ナデ→回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・発色不良	灰褐5YR5/2	にぶい赤褐5YR5/4	浅黄橙10YR8/4	底部1/8	
426	49	SF01 4室(南) トンバイ群の西敷き砂中	床面直上	陶器	合子	7.5	1.5	3.6	指オサエ・指ナデ	指オサエ・指ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	7/8	みかんをモチーフ。上面:刺突文。
427		SF01 4室(南西)	堆積土	陶器	合子	3.0	1.7	0.3	ナデ	指オサエ・指ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	橙7.5YR7/6	破片	みかんをモチーフ。
428		SF01 4室(南西)	堆積土	陶器	合子	3.1	1.7	0.4	指ナデ	指オサエ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	破片	みかんをモチーフ。葉の部分:7/8。
429	47	SF01 4室(北東)	堆積土	陶器	合子	3.1	2.6	0.5	型押し	指ナデ	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普 (金雲母)微・普	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	亀をモチーフ。
430	47	SF01 4室(北東)	堆積土	陶器	合子	3.2	1.8	0.5	型押し	指オサエ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	破片	亀をモチーフ。
431		SF01 4室(南西)	堆積土	陶器	器種不明	-	-	5.0	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	脚部3/8	
459	49	SF01 4室(南西)	堆積土	—	型	20.2	-	-	ナデ・指オサエ	マメツ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	普通	にぶい黄橙10YR7/4	橙5YR7/6	橙5YR7/6	3/8	土瓶(底径8.2cm)用?
460		SF01 4室(南東)	堆積土	—	型	17.0	-	-	ヘラケズリ・指ナデ	ナデ	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部1/8	
461		SF01 4室(南東)	堆積土	—	型	17.0	-	-	ナデ・指ナデ	ナデ	密 (長石・石英)微・少 (角閃石)細・普 (金雲母)微・普	良好	灰白10YR8/2	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	破片	
464		SF01 5室 火床	床面直上	陶器	合子	1.7	2.2	1.1	刺突文	ハケ目	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	栗をモチーフ
465		SF01 5室 火床No.003・火床No.004・火床No.006・火床No.007・火床No.008・火床No.011・火床No.020	床面直上	陶器	甕	25.8	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐2.5YR4/4	にぶい赤褐2.5YR4/4	橙5YR7/6	口縁部2/8	肩部外面:沈線7条。体部内外面:黄褐色粘土付着。
484		SF01 5室 床直No.069	床面直上	陶器	鍋蓋	20.0	4.6	6.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	つまみ部4/8	体部外面:沈線8条。
485		SF01 5室 砂床	床面直上	陶器	鍋蓋	-	-	-	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	破片	
486		SF01 5室(東)・4室 南北ベルト	床面付近	陶器	香炉(しのぎ)	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好・発色不良	橙5YR6/6	橙2.5YR6/6	浅黄橙10YR8/4	破片	
487		SF01 5室(東)	床面付近	陶器	土瓶蓋?	-	-	7.3	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	体部2/8	
488		SF01 5室 No.064	床面直上	陶器	土瓶	-	-	10.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	(長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	底部2/8	
489		SF01 5室(南東)	床面付近	陶器	土瓶	-	-	10.0	回転ヘラケズリ	マメツ	密 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/3	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	底部1/8	
552		SF01 5室(北西)	堆積土	陶器	碗	-	-	-	回転ヘラケズリ→ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	灰褐7.5YR4/2	浅黄橙10YR8/4	橙5YR6/6	体部1/8	
553	13	SF01 5室(北西)	堆積土	陶器	徳利	-	-	7.4	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい橙5YR6/3	にぶい黄2.5Y6/3	橙2.5YR7/6	底部2/8	
554		SF01 5室 南北ベルト	堆積土	陶器	徳利	-	-	(8.3)	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい黄橙10YR7/3	橙5YR6/6	浅黄橙10YR8/4	底部破片	底部内外面:粘土塊付着。(調整に伴う?)
555		SF01 5室(西)	堆積土	陶器	鍋蓋	19.8	-	-	回転ヘラケズリ・回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)細・普	普通・素焼き	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	体部外面:沈線8条。
556		SF01 5室 東西ベルト(東)	堆積土	陶器	鍋蓋	19.6	-	-	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	体部外面:沈線6条、焼きムラ?。
557		SF01 5室(南西)	堆積土	陶器	行平鍋の把手	-	-	-	指ナデ→陰刻	指ナデ	密 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	蓮華文など陰刻。
558		SF01 5室 南北ベルト	堆積土	陶器	鍋	(18.0)	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい黄橙10YR7/4	灰白7.5Y8/2	破片	

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表(4)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
559		SF01 5室(西)	堆積土	陶器	鍋	19.1	－	－	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR6/6	橙7.5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部1／8	
560		SF01 5室 東西ﾍﾞﾙﾄ(東)	堆積土	陶器	土瓶の把手	5.6	2.4	0.8	ナデ	ヘラケズリ・回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	淡橙5YR8/4	把手完存	
561		SF01 5室(東)	堆積土	陶器	土瓶の把手	3.9	2.3	0.6	ナデ	ヘラケズリ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	／	橙5YR7/6	把手完存	型による成形。
562		SF01 5室(東)	堆積土	陶器	土瓶の把手	－	2.0	0.8	ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)細・普	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	／	橙5YR7/6	把手完存	型による成形。
563		SF01 5室 南北ﾍﾞﾙﾄ	堆積土	陶器	蓋つまみ	1.9	1.1	－	指ナデ・施釉	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	浅黄2.5Y8/3	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	破片	
564		SF01 5室(東)	堆積土	陶器	蓋?	5.5	－	－	回転ナデ・施釉	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰N6/	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	2／8	
565	49	SF01 5室(西)	堆積土	陶器	合子	3.6	3.8	1.2	ナデ・刺突文	指オサエ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	にぶい赤褐2.5YR4/4	／	完存	栗をモチーフ
566		SF01 5室 南北ﾍﾞﾙﾄ	堆積土	陶器	合子	3.0	3.3	1.2	ナデ・刺突文	指オサエ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	破片	栗をモチーフ
567		SF01 5室(西)	堆積土	土師質土器	甕	－	－	－	指オサエ→板ナデ・指オサエ→回転ナデ・ナデ	板ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・普 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・少	良好	橙5YR6/6	にぶい黄橙10YR6/4	にぶい黄橙10YR6/4	口縁部破片	
580		SF01 煙出し(西)・東西ﾄﾚﾝﾁ(西)	堆積土	陶器	土瓶	10.1	11.8	8.9	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・普	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部3／8	
581		SF01 煙出し No.012	床面直上	陶器	甕	－	－	－	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	にぶい橙7.5YR6/4	橙5YR7/8	浅黄橙7.5YR8/6	破片	
582		SF01 煙出し No.016	床面直上	陶器	甕	－	－	26.8	回転ナデ→施釉・板目状圧痕	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	にぶい赤褐2.5YR4/3	橙2.5YR6/6	浅黄橙10YR8/4	底部1／8	
583		SF01 煙出し(東)	堆積土	陶器	甕	－	－	25.8	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙5YR7/6	底部破片	
595		SF01-SP03		陶器	鍋	18.8	－	－	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部1／8	SF01西SP群
596		SF01-SP03		陶器	鍋	24.6	－	－	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部破片	SF01西SP群
597		SF01 階段状遺構(北)	整地土層(黄褐色粘土)	陶器	鍋	－	－	－	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR6/4	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	
598		SF01 階段状遺構(北)	整地土層(黄褐色粘土)	陶器	鍋?	－	－	－	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (シャーモット)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部破片	
599		SF01	堆積土	陶器	土瓶	－	－	－	施釉	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ7.5Y5/3	にぶい褐7.5YR6/3	灰白N7/	破片	ワトチ片付着。
600		SF01	堆積土	陶器	すり鉢	－	－	10.0	回転ナデ・板ナデ	すり目	やや粗 (長石・石英)粗・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	1／8	産地不明。
603		SD01 1室横		陶器	鉢	－	－	10.2	マメツ	マメツ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	底部2／8	
604	49	SD01 燃焼室横・No.01・No.09・No.14		陶器	鍋蓋	16.6	－	－	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい褐7.5YR6/3	にぶい橙5YR6/3	橙5YR7/6	口縁部7／8	体部外面:沈線12条。
605		SD01 0 延長		陶器	行平鍋	18.4	－	－	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ7.5Y6/2	灰オリーブ7.5Y6/2	灰白5Y7/1	破片	行平鍋蓋付着。
606	14	SD01 No.40		陶器	行平鍋の把手	8.0	4.3	5.3	指ナデ・施釉	指ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい黄2.5Y6/3	にぶい黄橙10YR6/3	にぶい黄橙10YR7/2	破片	外面上部:型による文様。
607	50	SD01 0・No.16		陶器	鍋	19.8	－	－	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少	普通・発色不良	橙5YR6/6	橙5YR6/6	橙5YR7/6	2／8	
608		SD01 No.38		陶器	鍋	18.8	－	－	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・普	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部1／8	
609		SD01 2室横 調査区東西ベルト(北)		陶器	土瓶の把手	－	－	－	ナデ	ナデ	密 (長石)微・多 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	にぶい橙5YR7/4	灰白10YR8/2	灰白10YR7/1	破片	
610		SD01 2室横 調査区東西ベルト(北)		陶器	土瓶	8.0	－	－	回転ナデ(マメツ)	回転ナデ(マメツ)	密 (長石)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	褐灰7.5YR5/1	橙5YR7/6	口縁部1／8	肩部外面:沈線6条＋1条。
611		SD01 No.47		陶器	土瓶	－	－	9.0	回転ヘラケズリ(マメツ気味)・回転ヘラケズリ	マメツ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部ほぼ完存	
612		SD01 1室横・2室横 調査区東西ベルト(北)		陶器	土瓶?	－	－	8.7	回転ナデ(マメツ)・回転ヘラケズリ	回転ナデ(マメツ)	密 (長石)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	黄灰2.5Y4/1	浅黄橙7.5YR8/3	底部3／8	底部内面:炭素吸着。
613		SD01 2室横 調査区東西ベルト(北)		軟質施釉陶器	蓋	7.8	－	－	回転ナデ(マメツ)	回転ナデ	密 (長石)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	口縁部1／8	
614		SD01		軟質施釉陶器	蓋	9.0	－	－	回転ナデ・マメツ・施釉	回転ナデ・マメツ	密 (長石・石英)微・少	普通	灰白2.5Y8/2	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	破片	
615		SD01 燃焼室横・No.08		陶器	香炉(無文)	－	－	11.8	回転ヘラケズリ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (赤色粒子)微・少	普通・発色不良	オリーブ灰2.5GY5/1	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	底部1／8	

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表 (5)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
616		SD01 1室横		陶器	香炉(無文)	-	-	12.2	回転ナデ(マメツ)・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	2／8	
617		SD01 0		陶器	香炉(無文)	-	-	11.7	回転ナデ(マメツ)・施釉	回転ナデ(マメツ)	密 (長石)微・少 (赤色粒子)微・普	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	底部2／8	
618		SD01 No.15		陶器	仏花瓶	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	口縁部破片	
652		SD01		陶器	香炉(無文)	12.2	10.4	11.5	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (赤色粒子)細・普	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部3／8	口縁部:折り曲げ。
653	50	SD01 No.67・No.88		陶器	器種不明	18.8	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・普	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	口縁部1／8	
662	50	SD01 No.59		―	型	7.1	1.5	-	ナデ	ナデ	やや粗(長石)細・少(金雲母)微・少	良好	にぶい黄橙10YR7/4	にぶい黄橙10YR7/4	にぶい黄橙10YR7/4	6/8	上面:金雲母付着(離心剤か？)
669		SD03		陶器	香炉(しのぎ)	-	-	11.6	回転ナデ・施釉	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒5Y2/1	灰白5Y7/1	灰白5Y7/1	底部破片	
670		SD03 No.1		陶器	灯明皿	(14.6)	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい黄橙10YR7/3	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	破片	しきり径14.1cm。
671		SD03		陶器	甕	-	-	(21.0)	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ→回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・少	良好	灰褐5YR4/2	にぶい赤褐2.5YR5/4	橙5YR7/6	底部破片	
679		SD03		土師質土器	焙烙	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ・ハケ目	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好	浅黄橙10YR8/4	にぶい橙5YR6/4	にぶい橙5YR6/4	口縁部破片	
680		SD04 No.12		陶器	碗	14.0	-	-	マメツ	回転ナデ(マメツ)	密 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	口縁部1／8	体部外面:沈線？1条。
681		SD04 No.14・No.15		陶器	鉢	22.8	-	-	回転ナデ(マメツ)	回転ナデ(マメツ)	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	
682		SD04 No.03		陶器	鍋	17.0	-	-	マメツ	回転ナデ(マメツ)	やや粗 (長石)細・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部2／8	
683		SD04 No.11		陶器	鍋	15.5	-	-	回転ナデ→ナデ	回転ナデ→ナデ	密 (長石)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	
684		SD04 No.05・No.08		陶器	鍋	-	-	8.3	回転ヘラケズリ	マメツ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部4／8	
685		SD04		陶器	土瓶	-	-	8.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部2／8	
686		SD04		陶器	土瓶蓋	14.8	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	橙2.5YR7/6	口縁部2／8	
687		SD04 No.01		陶器	土瓶蓋	-	-	7.6	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ	粗 (長石)微・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	橙7.5YR7/6	橙5YR7/6	底部2／8	
688		SD04 No.04		陶器	香炉(しのぎ)	-	-	11.5	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・少 (赤色粒子)粗・少	良好・発色不良	橙5YR6/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部3／8	
689		SD04 No.16		陶器	甕	35.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・少	良好・発色不良	灰5Y5/1	にぶい赤褐5YR5/4	淡黄2.5Y8/3	口縁部1／8	焼け歪み。肩部外面:沈線7条以上。内外面:黄褐色粘土付着。
690	14	SD04		陶器	甕	-	-	14.9	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・多 (赤色粒子)中・少	良好・発色不良	橙5YR7/6	橙5YR7/6	浅黄橙10YR8/4	底部4／8	内外面:黄褐色粘土付着。
695	14	SK01 (西)		陶器	碗	(7.9)	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (褐色粒子)微・少	良好	灰オリーブ5Y6/2	灰オリーブ5Y6/2	灰白N7/	口縁部破片	
696		SK01		陶器	鉢	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (赤色粒子)粗・普 (黒色粒子)細・少	良好	黄灰2.5Y5/1	にぶい褐7.5YR6/3	にぶい橙7.5YR7/4・灰10Y6/1	口縁部破片	
697		SK01 No.35		陶器	鍋	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部破片	
698		SK01 No.11・SK02(北)		陶器	土瓶蓋	12.0	-	-	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰白5Y8/2	灰白5Y8/2	橙5YR6/6	口縁部2／8	
699		SK01 (西)		陶器	土瓶蓋	-	-	6.6	回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	橙5YR6/6	淡黄2.5Y8/3	橙5YR6/6	体部1／8	
700		SK01 調査区東西ベルト(南)・No.07		陶器	土瓶	9.1	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少	良好・素焼き	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	口縁部1／8	肩部外面:沈線8条。凹線1条。
701		SK01 No.39		陶器	土瓶	-	-	10.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	底部2／8	
702		SK01		陶器	香炉(しのぎ)	(8.0)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐2.5Y3/2	黒褐2.5Y3/2	灰白N8/	口縁部破片	
703	14	SK01 調査区東西ベルト(南)		陶器	甕	23.2	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少	良好	灰褐7.5YR4/2	灰褐7.5YR5/2	橙5YR7/6	口縁部4／8	口縁部上面:遺物設置痕。体部内外面:黄褐色粘土付着。
704		SK01 調査区東西ベルト(南)・No.07・No.25		陶器	甕	23.0	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好・発色不良	橙5YR6/6	橙2.5YR6/6	浅黄橙10YR8/4	口縁部2／8	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:ヘラ描き沈線1条以上。
705		SK01 (東)・No.13		陶器	甕	27.0	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	にぶい赤褐2.5YR4/4	にぶい赤褐2.5YR5/3	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部破片	肩部外面:沈線5条以上。内外面:黄褐色粘土付着。

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表 (6)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
706		SK01 No.30・No.31・No.40・No.55		陶器	甕	(25.6)	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・少	良好・発色不良	黄灰2.5Y4/1	橙5YR6/6	浅黄橙7.5YR8/6	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:沈線7条。
707		SK01 No.10		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好・発色不良	褐灰10YR5/1	橙7.5YR7/6	浅黄橙7.5YR8/6	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:ヘラ描き沈線7条。
708		SK01		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ・施釉	指オサエ→ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・少	良好・発色不良	褐灰10YR6/1	にぶい黄橙10YR6/3	浅黄橙7.5YR8/6	口縁部破片	肩部外面:ヘラ描き沈線5条以上。
709		SK01		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	橙2.5YR6/6	橙5YR7/6	淡橙5YR8/4	口縁部破片	
710		SK01		陶器	甕	16.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい赤褐5YR5/3	灰白5Y7/1	口縁部破片	口縁部上面:離れ砂付着。肩部外面:沈線6条。口縁部内部:遺物片付着。
711		SK01 No.15		陶器	甕	20.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	橙2.5YR6/6	にぶい橙2.5YR6/4	淡橙5YR8/4	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:ヘラ描き沈線6条。
712		SK01 No.41		陶器	甕	(20.0)	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	にぶい赤褐2.5YR5/4	にぶい赤褐2.5YR5/4	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1／8	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:ヘラ描き沈線7条。711と同一個体。
713		SK01 No.33		陶器	甕	(20.0)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	にぶい赤褐2.5YR5/4	にぶい赤褐2.5YR5/4	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:ヘラ描き沈線5条以上。711と同一個体。
714		SK01 東西ベルト		陶器	甕	(24.8)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	良好	灰褐5YR4/2	褐灰5YR4/1	にぶい橙5YR7/4	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り、離れ砂付着。肩部外面:沈線6条。
715		SK01		陶器	甕	(25.8)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	褐灰10YR5/1	灰黄褐10YR6/2	灰黄褐10YR6/2	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り、遺物片付着。肩部外面:沈線4条以上。
716		SK01 (東)		陶器	甕	-	-	15.6	回転ナデ・回転板ナデ・板ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・多	良好・発色不良	橙5YR6/6	にぶい赤褐5YR5/3	浅黄橙7.5YR8/6	底部2／8	内面:黄褐色粘土付着。
717		SK01 No.02		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・少	良好・発色不良	橙5YR6/6	橙5YR6/6	浅黄橙10YR8/3	口縁部破片	肩部外面:ヘラ描き沈線3条以上。内外面:黄褐色粘土付着。
718		SK01		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	黄灰2.5Y6/1	褐灰10YR6/1	にぶい褐7.5YR6/3	口縁部破片	口縁部上面:遺物片付着。
719		SK01 調査区東西ベルト(南)		陶器	甕	(35.7)	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→ハケ目・指オサエ→板ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	褐灰7.5YR4/1	にぶい褐7.5YR6/3	灰黄2.5Y7/2	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り、遺物片付着。肩部外面:ヘラ描き沈線6条。
729		SK01 (東)		陶器	陶器片転用品?	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	にぶい橙7.5YR6/4	にぶい橙7.5YR6/4	破片	
730		SK02 (北)		陶器	碗	-	-	3.3	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰黄2.5Y6/2	浅黄5Y7/3	灰白5Y7/1	底部3／8	底部:土瓶片?付着。
731		SK02 (北)		陶器	行平鍋の把手	3.8	2.6	1.1	指ナデ	指ナデ	密 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	破片	外面:文様を陰刻。
732		SK02 (北)		陶器	土瓶蓋	14.8	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)細・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	橙2.5YR7/6	口縁部1／8	
733		SK02 No.13		陶器	土瓶	(10.6)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好	オリーブ黄5Y6/4	灰オリーブ5Y6/2	灰白5Y8/1	口縁部破片	焼け歪み。
734		SK02 No.06・No.17		陶器	香炉(しのぎ)	-	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)微・多 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	灰褐5YR5/2	橙2.5YR7/6	橙2.5YR6/6	口縁部破片	
735		SK02 (北)・No.04		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	橙5YR7/6	橙5YR6/6	浅黄橙10YR8/4	口縁部破片	肩部外面:沈線6条。内外面:黄褐色粘土付着。
736		SK02 No.02		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普	良好・発色不良	灰N4/	橙5YR6/6	浅黄橙10YR8/3	破片	肩部外面:ヘラ描き沈線7条。内面:黄褐色粘土付着。
738		SK02 (北)		陶器	鍋	(11.1)	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰赤2.5YR4/2	灰赤2.5Y4/2	灰白N7/	口縁部破片	口縁部上面:遺物片付着。
751	51	SK03		陶器	鉢	22.1	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部3／8	口縁部外面:沈線6条。肩部外面:沈線4条。腰部内面:凹線2条 。
752		SK03		陶器	鉢?	-	-	-	回転ナデ・回転板ナデ	回転ナデ・回転板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい黄橙10YR7/3	浅黄橙10YR8/3	淡橙5YR8/4	破片	口縁部内面:沈線3条以上。
753		SK03		陶器	鍋	17.6	-	-	回転ナデ・回転ヘラナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	橙5YR7/6	口縁部2／8	
754		SK03		陶器	鍋	18.0	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1／8	
755		SK03 No.5		陶器	鍋	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	
756		SK03 No.6		陶器	鍋	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表 (7)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
757		SK03		陶器	仏花瓶把手	-	-	-	ナデ	／	密 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	把手完存	
758		SK03		陶器	仏花瓶把手	-	-	-	ナデ	／	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	把手完存	
759	51	SK03		陶器	仏花瓶	16.5	15.5	7.8	回転板ナデ→回転ナデ	回転板ナデ→回転ナデ・指オサエ→回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	淡橙5YR8/4	口縁部5/8・底部8/8	
760		SK03		陶器	仏花瓶	16.8	-	-	回転ナデ(マメツ)	回転ナデ(マメツ)	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	口縁部1／8	
761		SK03		陶器	仏花瓶	15.4	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	口縁部4／8	
762		SK03		陶器	仏花瓶	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	頸部6／8	
763		SK03		陶器	仏花瓶	-	-	8.0	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ・指オサエ→回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	底部8／8	
764		SK03		陶器	仏花瓶	-	-	-	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	胴部2／8	
765		SK03 No.7		陶器	仏花瓶	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・回転ナデ→施釉	指オサエ→ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/4	淡黄2.5Y8/4	灰白N7/	体部2／8	
766	51	SK03		陶器	仏花瓶	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	体部外面:沈線3条。
767	51	SK03		陶器	仏花瓶	-	-	-	回転ナデ・指オサエ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	
768		SK03		陶器	土瓶	9.6	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・普	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	口縁部2／8	肩部外面:櫛描沈線8条。
769		SK03		陶器	土瓶	9.7	-	-	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	口縁部2／8	肩部外面:沈線7条。
770		SK03		陶器	土瓶	10.9	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	褐灰 7.5YR6/1	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	胴部3／8	肩部外面:沈線8条。
771		SK03		陶器	土瓶	10.1	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	口縁部1／8	肩部外面:沈線7条。
772		SK03		陶器	土瓶注ぎ口	-	-	-	ナデ・回転板ナデ	マメツ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	
773		SK03 No.4・No.6		陶器	土瓶	-	-	8.4	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい黄褐 10YR7/3	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	底部2／8	
774		SK03		陶器	土瓶	-	-	9.6	回転ヘラケズリ→回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	底部5／8	
775		SK03 ベルト掘削		陶器	甕	28.4	-	-	板ナデ・回転ナデ→施釉	板ナデ・回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・普	良好	褐灰5YR4/1	赤灰 2.5YR4/1	にぶい橙 2.5YR6/4	体部1／8	肩部外面:沈線8条。
785		SK03 ベルト掘削		備前焼	甕	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・多	良好	暗赤褐 5YR3/2	にぶい赤褐 2.5YR5/3	褐灰10YR5/1	口縁部破片	
786		SK04 No.02		陶器	鍋	(17.3)	-	-	施釉	施釉	粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ 5Y5/2	灰オリーブ 5Y4/2	灰白N8/	口縁部破片	
787		SK04		陶器	香炉(無文)	-	-	11.5	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	浅黄2.5Y8/3	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	底部3／8	
795		SK05		陶器	鍋	(20.0)	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	淡黄2.5Y8/4	橙2.5YR7/6	口縁部破片	
796		SK05上		陶器	鍋	15.8	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ 7.5Y6/2	灰オリーブ 7.5Y6/2	灰白N8/	口縁部破片	
797		SK05		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい橙 2.5YR6/4	橙5YR7/6	口縁部破片	内外面:黄褐色粘土付着。
798		SK05 (東)		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐5YR3/1	褐灰5YR4/1	橙5YR7/6	胴部1／8	焼け歪み。肩部外面:沈線6条。内外面:黄褐色粘土付着。
799		SK05		陶器	甕	-	-	20.2	回転ナデ→施釉・ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	橙5YR7/6	にぶい赤褐 5YR5/4	浅黄橙 7.5YR8/6	底部2／8	
800		SK05 No.3		陶器	甕	(25.0)	-	-	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐10YR3/1	灰黄褐 10YR5/2	橙5YR6/6	口縁部破片	体部外面:沈線6条。内外面:黄褐色粘土付着。
801		SK05		陶器	甕	(35.1)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	にぶい橙 5YR6/4	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい橙 5YR7/4	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:ヘラ描き沈線4条＋1条。
802		SK05 No.1		陶器	甕	(27.6)	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)細・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐 5YR4/3	にぶい赤褐 5YR4/3	灰白5Y8/1	口縁部破片	肩部外面:沈線5条。口縁部内面:遺物片付着。
803		SK05 (東)		陶器	甕	-	-	17.7	回転ナデ・施釉	施釉	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐 7.5YR3/1	灰褐5YR4/2	灰白2.5Y8/1	底部1／8	
811	51	SK05		土製品	型	16.0	5.3	-	ヘラケズリ・指オサエ	回転ナデ・板ナデ	密(金雲母)微・少(黒色粒子)微・少	良好	灰白10YR8/2	にぶい橙 7.5YR7/4	灰白10YR8/2	口縁部3／8	土瓶の底部用?

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表 (8)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
817		SK05		土師質土器	甕	(34.7)	-	-	板ナデ	回転ナデ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)中・普	良好・素焼き	にぶい橙7.5YR6/4	灰白10YR8/1	灰白10YR8/1	口縁部破片	
818		SK05 (東)		土製品	器種不明	12.3	12.9	5.0	板ナデ・指オサエ	板ナデ	粗(花崗岩)粗・少(長石・石英)粗・多(金雲母)微・少(黒色粒子)細・多	良好	褐灰7.5YR4/1	浅黄橙10YR8/3	橙5YR6/6	破片	穿孔1。右面は被熱により赤化。
819		SK06 No.01・No.02		陶器	甕	32.2	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗(花崗岩)粗・少(長石・石英)粗・多(金雲母)微・少(黒色粒子)細・多	良好・発色不良	灰赤2.5YR4/2	灰赤2.5YR5/2	橙2.5YR7/6	口縁部1／8	口縁部上端:遺物設置痕？。肩部外面:沈線7条。
822		SK07		陶器	土瓶	5.8	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	橙5YR7/6	口縁部2／8	
823		SK07		陶器	香炉(無文)	-	-	10.8	施釉(マメツ)	マメツ	やや粗 (長石・石英)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・発色不良	灰白2.5Y8/2	浅黄橙7.5YR8/4	灰白2.5Y8/2	底部1／8	
824		SK07		陶器	甕	-	-	22.8	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	粗 (長石・石英)中・粗 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐2.5YR5/3	明赤褐2.5YR5/6	橙5YR7/6	底部1／8	高台外面/体部内面:黄褐色粘土付着。
839		SK07		土師質土器	焙烙	-	-	-	ハケ目(マメツ)	ハケ目(マメツ)	粗 (長石・石英)中・普 (褐色粒子)細・普	良好	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	橙7.5YR7/6	口縁部破片	口縁部:穿孔2。
840		SK07		土師質土器	焙烙	-	-	-	ハケ目・ナデ	ハケ目・ナデ	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい赤褐5YR4/3	橙5YR6/6	口縁部破片	
841		SK07		土師質土器	焙烙	-	-	-	回転ナデ・指オサエ→回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	口縁部破片	
842		SK07		土製品	器種不明	20.5	14.0	2.5	指オサエ・板ナデ	指オサエ・板ナデ	粗 (長石)中・多 (金雲母)細・少 (黒色粒子)中・多	良好・素焼き	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	破片	
843		SK07		土製品	器種不明	7.3	10.2	2.6	板ナデ・指オサエ	板ナデ	(長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・少 (赤色粒子)中・少	良好	にぶい褐7.5YR5/3	浅黄橙10YR8/3	橙5YR6/6	破片	
844	14	SK08 No.1		軟質施釉陶器	蓋	15.0	0.6	-	回転ヘラケズリ→施釉(マメツ)	マメツ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	黄みの薄い緑2.5G6.5/5	浅黄橙10YR8/3	灰白2.5Y8/2	口縁部2／8	
845	14	SK08 No.1・No.2・No.4・SK07		軟質施釉陶器	鉢	17.6	-	-	施釉	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・普	良好・発色不良	黄みの薄い緑2.5G7/3	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	口縁部3／8	
846		SK08		陶器	鍋	-	-	9.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	底部2／8	
856		SK08 No.4		土師質土器	焙烙	(41.0)	-	-	横ナデ・指ナデ・指オサエ	板ナデ→横ナデ・ハケ目→ナデ	やや粗 (長石・石英)細・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・普	良好	灰褐7.5YR4/2	褐灰7.5YR4/1	褐灰7.5YR4/1	口縁部破片	
857		SK08		土製品	器種不明	(28.3)	17.2	(30.3)	ヘラ切り・回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR7/6	橙2.5YR7/6	破片	外面:被熱。
858		SK09 トレンチ		陶器	行平鍋・注ぎ口	-	-	-	施釉	施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/1	灰白2.5Y8/1	橙2.5YR7/6	破片	
864		SK11内		陶器	甕	-	-	14.0	回転ナデ・施釉・ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	褐灰10YR5/1	褐灰7.5YR4/1	浅黄橙7.5YR8/4	底部2／8	内面:黄褐色粘土付着。
868	52	SX02 No.086・B3・B2		陶器	植木鉢？	-	-	22.8	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・普	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部2／8	体部外面:凹線9条以上。
869		SX02 南ベルト		陶器	鍋蓋	20.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	橙2.5YR6/8	破片	体部外面:沈線6条以上。
870		SX02 北ベルト		陶器	鍋	15.8	-	-	施釉	施釉	やや粗 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい赤褐5YR5/4	灰白5Y8/1	口縁部1／8	
871		SX02 No.061		陶器	鍋or土瓶	-	-	9.0	マメツ	マメツ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	底部1／8	
872		SX02 (東)		陶器	鍋	-	-	-	回転ナデ・ナデ	回転ナデ・ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	
888		SX03(土器だまり)		陶器	碗	4.9	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/1	橙5YR7/6	口縁部1／8	889と同一個体の可能性。
889		SX03(土器だまり)		陶器	碗	-	-	4.0	施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	浅黄橙10YR8/3	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部2／8	888と同一個体の可能性。
890	15	SX03(土器だまり)		陶器	香炉(無文)	7.2	-	-	施釉	施釉・回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少	良好	灰オリーブ5Y6/2	灰オリーブ5Y6/2	灰白5Y7/1	口縁部1／8	
891	15	SX03(土器だまり)		陶器	鉢	18.0/17.4/16.0/16.5	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ黄5Y6/3	オリーブ黄5Y6/3	灰白N7/	口縁部2／8	鉢4個体の重ね焼き。下2個体は輪花状口縁部。
892		SX03(土器だまり)		陶器	鉢	-	-	-	マメツ	マメツ	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	
893		SX03(土器だまり)		陶器	行平鍋	19.5	-	-	施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少	良好	灰オリーブ5Y6/2	灰オリーブ5Y6/2	灰白N7/	口縁部1／8	
894		SX03(土器だまり)		陶器	鍋	16.3	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐2.5Y4/4	暗オリーブ5Y4/4	灰白N7/	口縁部1／8	
895		SX03		陶器	鍋	(18.4)	-	-	回転ナデ・施釉・ナデ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・少	良好	灰赤10R4/2	灰赤10R4/2	灰白N7/	破片	口縁部外面:陶器片付着。

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表 (9)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
896		SX03(土器だまり)		陶器	土瓶	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・少	良好	オリーブ褐 2.5Y4/4	黄褐2.5Y5/3	にぶい橙 5YR6/3	破片	肩部外面:沈線7条。
897		SX03(土器だまり)		陶器	茶入れ	6.6	-	-	施釉	施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	褐灰 7.5YR4/1	褐灰 7.5YR4/1	橙7.5YR7/6	肩部 1／8	口縁部上面:釉剥ぎ取り。
898		SX03 調査区南北ﾍﾞﾙﾄ(東)外し		陶器	香炉(しのぎ)	(10.4)	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	橙2.5YR6/6	にぶい褐 7.5YR6/3	橙5YR7/6	破片	
899		SX03		陶器	香炉(しのぎ)	-	-	12.0	回転ヘラケズリ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	橙5YR7/6	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/3	底部 1／8	底部内面:遺物設置痕。
900		SX03(土器だまり)		陶器	香炉(無文)	-	-	10.4	施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい黄橙 10YR7/2	にぶい黄橙 10YR7/3	灰白5Y8/1	底部 1／8	底部外面:香炉片付着。
901	52	SX03 調査区南北ﾍﾞﾙﾄ(東)外し		陶器	植木鉢	-	-	13.2	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰褐 7.5YR6/2	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/3	底部 3／8	底部外面:抉り。
902		SX03(土器だまり)		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・普	良好・発色不良	にぶい赤褐 2.5YR5/3	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい橙 7.5YR7/4	口縁部 破片	肩部外面:沈線5条。
903		SX03		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (金雲母)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐 2.5YR5/4	灰褐5YR5/2	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	内外面:黄褐色粘土付着。肩部外面:沈線5条。
904		SX03 (北東)		陶器	甕	-	-	12.8	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・多 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	橙2.5YR6/6	にぶい赤褐 2.5YR5/4	浅黄橙 10YR8/4	底部 1／8	底部内面:黄褐色粘土付着。
921		SX04		陶器	鉢	25.0	8.8	8.5	回転ヘラケズリ(マメツ)	回転ナデ(マメツ)	密 (長石・石英)微・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	底部 2／8	
922		SX04		陶器	鉢	23.7	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐 5YR5/4	橙2.5YR6/6	橙5YR7/6	口縁部 破片	
923		SX04 南北ﾍﾞﾙﾄ	表土	陶器	鉢?	-	-	4.6	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	にぶい黄橙 10YR7/4	高台部 6／8	
924		SX04 No.39		陶器	鉢	-	-	4.8	マメツ	マメツ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	灰白5Y7/2	灰5Y4/1	灰5Y4/1	底部 3／8	
925		SX04 (東)		陶器	鉢	-	-	5.9	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少	良好・素焼き	にぶい褐 7.5YR5/4	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	高台部 4／8	
926		SX04 (西)		陶器	鉢	-	-	4.8	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	灰白 7.5YR8/2	灰白 7.5YR8/2	灰白 7.5YR8/2	底部 7／8	
927	52	SX04		陶器	鉢	-	-	5.0	回転ヘラケズリ(マメツ)・回転ナデ(マメツ)	回転ナデ(マメツ)	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	普通・素焼き	にぶい黄橙 10YR7/3	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	底部 4／8	
928	52	SX04		陶器	鉢	-	-	5.2	マメツ	マメツ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	底部 7／8	
929		SX04 No.04・Tr.⑤		陶器	行平鍋	21.0	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ・マメツ	やや粗 (長石・石英)細・少 (赤色粒子)細・普	普通・素焼き	灰白10YR8/2	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	口縁部 2／8	
930		SX04 (西)		陶器	鍋蓋	(24.8)	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	淡橙5YR8/4	口縁部 破片	
931		SX04 上・南北ﾍﾞﾙﾄ・No.37	表土	陶器	鍋	20.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	浅黄2.5Y7/3	浅黄2.5Y7/4	橙2.5YR6/8	口縁部 1／8	
932	52	SX04 No.22		陶器	鍋	(22.8)	(11.0)	9.6	回転ナデ(マメツ)・回転ヘラケズリ(マメツ)	回転ナデ(マメツ)	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (赤色粒子)細・少	普通・素焼き	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	橙5YR7/6	底部8/8・口縁部1/8	
933		SX04		陶器	鍋	21.0	-	-	回転ナデ(マメツ)・回転ヘラケズリ(マメツ)	回転ナデ(マメツ)	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	体部 1／8	
934		SX04 No.03		陶器	鍋	21.2	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	口縁部 2／8	
935		SX04		陶器	鍋	22.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	口縁部 1／8	
936	15	SX04 No.46		陶器	土瓶蓋	-	-	-	回転ヘラケズリ・回転ナデ・施釉	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ黄 5Y6/3	にぶい黄 2.5Y6/3	灰白5Y7/1	破片	土瓶蓋の重ね焼き。
937	52	SX04		陶器	土瓶蓋	10.5	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	橙5YR7/6	口縁部 3／8	
938		SX04 (西)		陶器	土瓶	-	-	-	指オサエ→ナデ・施釉	回転ナデ・指オサエ→ヘラケズリ・施釉	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
939	15	SX04・SX05 (東)		陶器	急須	5.1	-	-	回転ヘラケズリ・回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少	良好	オリーブ褐 2.5Y4/4	オリーブ褐 2.5Y4/4	灰白N7/	口縁部 5／8	
940	53	SX04 (東)		軟質施釉陶器	蓋	7.0	2.6	3.6	指オサエ・回転糸切り・回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	7／8	つまみ部:穿孔有り。
941		SX04 (東)		軟質施釉陶器	蓋	-	-	-	回転ナデ(マメツ)・施釉	回転ナデ(マメツ)・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	橙5YR7/6	口縁部 2／8	つまみ部:貼付、穿孔有り。
942		SX04 (西)		軟質施釉陶器	蓋	-	-	-	指オサエ→ナデ・回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (赤色粒子)微・普	良好・発色不良	灰白2.5Y8/1	灰白2.5Y8/1	にぶい橙 5YR7/4	体部 5／8	つまみ部:貼付、穿孔有り。

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表(10)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
943	53	SX04		陶器	灯明皿	9.7	2.2	4.8	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ・回転ヘラナデ・回転ナデ	密 (長石)微・少	良好・素焼き	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	完存	しきり径6.4cm。
944		SX04		陶器	灯明皿	9.9	2.3	5.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)細・普 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙5YR6/6	灰白2.5Y8/1	灰白2.5Y8/1	底部8／8	しきり径6.5cm。
945	53	SX04 (東)		陶器	灯明皿	10.0	2.4	4.8	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	淡黄2.5YR8/3	にぶい黄橙10YR7/4	灰白10YR8/2	ほぼ完存	しきり径6.7cm。
946	53	SX04 (東)		陶器	灯明皿	9.3	2.5	4.5	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	にぶい黄橙10YR7/2	ほぼ完存	しきり径6.3cm。
947	53	SX04		陶器	灯明皿	9.9	2.2	4.5	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	ほぼ完存	しきり径6.4cm。
948	53	SX04 南北ﾍﾞﾙﾄ・Tr.⑤		陶器	灯明皿	19.0	2.6	8.2	回転ヘラケズリ(マメツ)・施釉	回転ナデ(マメツ)	密 (長石)微・少	普通・発色不良	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	灰白10YR8/2	底部8／8	しきり径8.9cm。しきり孔2。
949		SX04		陶器	香炉(しのぎ)	−	−	10.6	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰10Y5/2	灰白N7/	灰白N7/	破片	底部外面:香炉片付着。
950	15	SX04 東のおち込み部		陶器	水滴	7.8	3.3	3.8	ナデ・施釉	指ナデ・指オサエ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ黄7.5Y6/3	灰白5Y7/2	灰白7.5Y7/1	6／8	木の葉をモチーフ。葉脈部分を隆起させる。
951		SX04 №20		陶器	甕	25.6	−	−	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・普	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	口縁部1／8	体部外面:沈線5条。
952		SX04 (東)		陶器	甕	23.7	−	−	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (花崗岩)粗・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)細・普	良好・発色不良	橙7.5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	頸部2／8	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:沈線7条。
953		SX04 №51		陶器	甕	−	−	15.0	板ナデ→回転ナデ・施釉	板ナデ→回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)中・多 (赤色粒子)中・普 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰赤2.5Y5/2	にぶい赤褐2.5YR5/4	浅黄橙7.5YR8/4	底部3／8	
954	53	SX04		陶器	甕	24.4	−	−	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・多 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい橙5YR6/4	灰褐5YR6/2	橙2.5YR7/6	口縁部1／8	肩部外面:波状文。
955		SX04 (西)		陶器	甕	23.5	−	−	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい橙7.5YR6/4	にぶい赤褐5YR5/4	橙5YR7/6	口縁部1／8	肩部外面:波状文。
956	15	SX04 №35・(西)・№52		陶器	甕	29.7	−	−	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (赤色粒子)細・普	良好・発色不良	橙5YR6/6	にぶい橙5YR6/4	浅黄橙10YR8/4	口縁部4／8	肩部外面:沈線9条、環状粘土紐貼付。
984		SX04 (西)		土師質土器	甕	−	−	−	横ナデ・板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	にぶい赤褐5YR5/4	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	口縁部破片	
985		SX04 東のおち込み部		土師質土器	甕	−	−	−	板ナデ→ナデ	板ナデ→ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)・微・少 (赤色粒子)細・少	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	口縁部破片	
986	54	SX04 (西)		土師質土器	甕	43.9	−	−	板ナデ・板ナデ→回転ナデ・板ナデ	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	口縁部1／8	体部:穿孔有り。
987	54	SX04		土師質土器	甕	40.6	−	−	回転板ナデ	回転板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)粗・多	良好	浅黄橙10YR8/3	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	口縁部1／8	
988		SX04		土師質土器	鉢	−	−	9.4	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好	にぶい褐7.5YR5/4	にぶい黄橙10YR7/2	灰白10YR8/2	底部7／8	
989	16	SX04 №23・№24・№29		磁器	徳利	−	−	−	施釉	回転ナデ	精良	良好	染付:ふかい青8.5B4/7・素地:明緑灰10GY8/1	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	破片	
990	54	SX04		土師質土器	焙烙	31.6	−	−	横ナデ・指オサエ→板ナデ・ハケ目	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (角閃石)細・少 (金雲母)微・少	良好	橙7.5YR6/6	褐灰10YR5/1	橙7.5YR6/6	口縁部1／8	御厩産。
994	55	SX04			器種不明	(24.9)	(24.2)	1.3	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少	良好・極弱い被熱	にぶい黄橙10YR7/3	にぶい黄橙10YR7/3	にぶい黄橙10YR7/3	破片	穿孔有り14。
996	14	SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		陶器	碗	6.2	−	−	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ黄5Y6/3	にぶい黄2.5Y6/3	灰黄2.5Y7/2	口縁部1／8	
997	14	SX05 (西)		陶器	碗	7.9	−	−	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ7.5Y6/2	灰オリーブ7.5Y6/2	灰白N7/	口縁部1／8	口縁部上面:釉剥ぎ取り。
998	16	SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し・№46・調査区南北ﾍﾞﾙﾄ(東)		陶器	碗	10.1	6.2	3.9	回転ナデ・回転ヘラケズリ・回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい黄橙10YR6/4	にぶい黄橙10YR6/4	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部5／8	
999		SX05 (東)		陶器	碗	6.1	−	−	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	灰白2.5Y8/2	橙5YR7/6	体部2／8	
1000	16	SX05・B4		陶器	碗	8.8	−	−	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白5Y7/2・暗オリーブ5Y4/4	灰白5Y7/2・暗オリーブ5Y4/4	灰白N7/	口縁部2／8	
1001		SX05 (西)		陶器	碗	−	−	3.5	施釉・回転ヘラケズリ	施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ7.5Y6/2・にぶい橙2.5YR6/4	灰白5Y7/2	灰白7.5Y7/1	底部4／8	体部外面/畳付:遺物片付着。底部内面:離れ砂付着。

第12表 Ⅳ区 土器・陶磁器・土製品観察表 (11)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1002		SX05 (東)		陶器	碗	-	-	-	施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白5Y7/2・にぶい黄橙10YR6/4	黄灰2.5Y6/1	灰白5Y7/1	体部1／8	
1003	16	SX05 No.78		陶器	碗	-	-	5.6	回転ヘラケズリ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい橙5YR6/4	底部5／8	底部外面:無釉。
1004	16	SX05 (西)・(東)・(東)溝状おち込み内・No.64・No.67・調査区南北ベルト(東)		陶器	徳利	3.8	19.5	5.9	施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	明オリーブ灰2.5GY7/1・暗オリーブ5Y4/3	にぶい赤褐5YR5/4	灰白N7/	底部4／8・口縁部2／8	
1005		SX05 (東)		陶器	徳利	(3.4)	-	-	ナデ・施釉	ナデ・指オサエ・施釉	密 (長石)微・少	良好・発色不良	オリーブ5Y5/6	オリーブ5Y5/6	灰白N7/	口縁部4／8	
1006	16	SX05 (西)・ベルト外し		陶器	鉢	22.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ7.5Y6/2	灰オリーブ7.5Y6/2・オリーブ黒7.5Y3/2	灰白N7/	破片	体部内面:絵付。口縁部上面:釉剥ぎ取り。
1007		SX05 (東)		陶器	鉢	23.2	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	粗 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ5Y5/6	オリーブ5Y5/6	灰白5Y8/1	口縁部1／8	口縁部外面:土瓶片付着。
1008		SX05 (東)溝状おち込み内		陶器	鉢	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・少 (褐色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	灰白10YR8/2	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	口縁部外面:沈線2条。
1009	17	SX05 (東)溝状おち込み内		陶器	鉢	-	-	6.6	回転ヘラケズリ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい黄2.5Y6/4	にぶい黄2.5Y6/4	灰白5Y7/1	体部6／8	焼け歪み。底部内面:ピン痕2。
1010		SX05 No.60		陶器	鍋蓋	-	-	6.2	回転ヘラケズリ・回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・多	良好・素焼き	にぶい橙7.5YR7/4	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	つまみ部6／8	体部外面:沈線6条以上。
1011		SX05 (西)		陶器	行平鍋把手	-	-	-	指ナデ・施釉	指ナデ	密 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ5Y6/2	灰黄2.5Y6/2	灰白2.5Y7/1	破片	外面:型による蓮華文。
1012		SX05 (東)		陶器	行平鍋	20.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	灰白2.5Y8/2	橙5YR7/6	口縁部1／8	体部外面:沈線3条以上。
1013	17	SX05 (東)・No.75		陶器	鍋	14.4	-	-	施釉	施釉	粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい褐7.5YR5/3	灰褐7.5YR6/2	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部3／8	焼け歪み。口縁部外面:遺物片付着。
1014		SX05 (東)溝状おち込み内		陶器	鍋	14.8	-	-	施釉	施釉	やや粗 (長石)微・少	良好・発色不良	浅黄2.5Y7/4	浅黄2.5Y7/4	灰白N8/	口縁部1／8	
1015		SX05 No.83		陶器	鍋	-	-	(8.1)	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	褐灰10YR6/1	褐灰10YR6/1	浅黄橙7.5YR8/4	破片	
1016		SX05 (西)・No.39		陶器	鍋	20.1	-	-	施釉	施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい赤褐5YR5/4	灰白10YR8/1	口縁部1／8	体部外面:遺物片付着。
1017		SX05 (東)		陶器	鍋	19.0	8.4	8.9	回転ナデ・施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい赤褐5YR5/4	灰白2.5Y7/1	破片	
1018		SX05 No.79		陶器	鍋	21.8	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	やや粗 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい赤褐5YR5/3	灰白2.5Y7/1	口縁部1／8	
1019		SX05 No.27		陶器	鍋	-	-	9.6	マメツ・回転ヘラケズリ	マメツ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (赤色粒子)細・少	普通・素焼き	浅黄橙10YR8/4	浅黄橙10YR8/4	橙5YR7/6	底部1／8	
1020		SX05 (西)		陶器	土瓶蓋	12.8	-	10.5	マメツ	マメツ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/3	にぶい橙7.5YR7/4	浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1／8	
1021		SX05		陶器	土瓶蓋	13.0	-	10.8	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	口縁部1／8	
1022		SX05(東)		陶器	土瓶蓋	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
1023		SX05 ベルト外し		陶器	土瓶蓋	-	-	4.2	回転ヘラケズリ	指オサエ・回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好	灰オリーブ5Y6/2	にぶい橙7.5YR6/4	灰白5Y8/1	底部5／8	つまみ部完存。
1024		SX05 ベルト外し		陶器	土瓶蓋	-	-	4.4	回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	やや粗 (黒色粒子)微・普	良好	灰オリーブ5Y6/2	にぶい橙7.5YR6/4	灰白5Y8/1	口縁部1／8	つまみ部完存。
1025		SX05 (東)		陶器	土瓶蓋	13.4	-	-	回転ナデ・施釉・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	橙2.5YR7/6	口縁部1／8	口縁部上面:陶器片付着。
1026	17	SX05 (東)・撹乱1・Tr.⑥・B3・B4・A3a・不明	堆積土	陶器	土瓶	5.8	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい橙7.5YR6/4・緑みの暗い青5B3.5/2	橙7.5YR6/6	にぶい橙7.5YR7/4	体部2／8	
1027	17	SX05 (東)・(東)溝状おち込み内・ベルト外し・A4a		陶器	土瓶	7.4	10.0	8.4	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白7.5YR8/2	灰白7.5YR8/2	灰N6/	4／8	
1028		SX05 No.84		陶器	土瓶	8.1	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	灰N4/	頸部1／8	
1029		SX05 (東)		陶器	土瓶	-	-	7.4	施釉・回転ヘラケズリ	施釉	密 (金雲母)微・少	良好	オリーブ灰2.5GY6/1	オリーブ灰2.5GY6/1	灰白N7/	底部5／8	焼け歪み。

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表 (12)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1030	17	SX05 (西)・(東)溝状おち込み内・ベルト外し		陶器	土瓶	-	-	8.4	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ黄5Y6/3	オリーブ黄5Y6/3	灰白5Y7/1	底部4／8	内面:碗付着。
1031		SX05 (西)		陶器	土瓶	-	-	7.6	回転ヘラケズリ・回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	橙5YR7/6	にぶい橙5YR7/4	浅黄橙7.5YR8/6	底部2／8	
1032	17	SX05 (東)・(東)溝状おち込み内・No.01		陶器	土瓶	4.9	8.9	5.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ・施釉	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ5Y6/2・にぶい赤褐5YR4/3	オリーブ黄5Y6/3	灰白5Y7/1	2／8	
1033		SX05 (東)		陶器	土瓶	6.9	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	橙2.5YR6/6	橙5YR6/6	橙5YR6/6	口縁部2／8	肩部外面:沈線5条。凹線1条。
1034		SX05 (東)・溝状おち込み内・ベルト外し		陶器	土瓶蓋	-	2.2	5.0	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰10Y6/2	オリーブ灰10Y6/2	灰白5Y7/1	底部ほぼ完存	口縁部下端:陶器片付着。
1035		SX05 (東)・溝状おち込み内・No.51		陶器	土瓶	7.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (黒色粒子)微・少	良好	褐7.5YR4/3	黒褐7.5YR3/2	灰白N7/	口縁部2／8	肩部外面:沈線6条、凹線1条。
1036		SX05 (東)溝状おち込み内		陶器	土瓶	6.1	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少	良好・発色不良	浅黄橙10YR8/3	黒褐10YR3/2	灰白N7/	口縁部1／8	肩部外面:沈線4条。
1037		SX05 (東)溝状おち込み内・No.67・No.76・No.77		陶器	土瓶	-	-	-	回転ヘラケズリ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ黄5Y6/3	オリーブ黄5Y6/3	灰白5Y8/1	体部2／8	
1038	17	SX05 (西)・(東)・ベルト外し		陶器	土瓶	9.3	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰10Y6/2	オリーブ灰10Y6/2	灰白N7/	口縁部3／8	焼け歪み。肩部外面:沈線20条。
1039		SX05 (東)・No.62		陶器	土瓶	(9.7)	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	橙7.5YR7/6	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部破片	肩部外面:沈線8条、凹線1条。
1040	18	SX05 (東)・溝状おち込み内・A1a・B4	堆積土	陶器	土瓶	10.8	12.2	9.0	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	黒褐10YR2/3	極暗褐7.5YR2/3	灰白7.5Y7/1	底部2／8	肩部外面:凹線1条。体部外面:凹線2条。底部外面:ワトチ片付着。
1041	18	SX05 (西)		陶器	土瓶蓋	9.4	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ黄7.5Y6/3	オリーブ黄7.5Y6/3	灰白7.5Y7/1	口縁部3／8	土瓶蓋の重ね焼き。
1042	55	SX05 (西)・(東)・No.10・No.16・No.18・No.62・No.65・No.66・No.72		陶器	土瓶	9.0	15.9	10.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR6/6	橙5YR6/6	橙5YR6/6	3／8	肩部外面:沈線7条、凹線1条。
1043		SX05 (東)		陶器	土瓶	8.9	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR6/4	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部2／8	肩部外面:沈線7条、凹線1条。
1044		SX05 (東)溝状おち込み内		陶器	土瓶	-	-	10.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部ほぼ完存	
1045		SX05 (東)・溝状おち込み内		陶器	土瓶	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR6/4	橙5YR6/6	にぶい橙5YR7/4	体部3／8	
1046		SX05 (東)		陶器	土瓶注ぎ口	-	-	-	ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	橙2.5YR7/6	注ぎ口完存	
1047	18	SX05		陶器	灯明皿	11.8	2.7	5.3	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	橙2.5YR7/6	口縁部3／8	体部内面:菊花文貼付。
1048	18	SX05 (西)・(東)・No.34		陶器	花生	7.7	-	-	施釉	施釉	密 (黒色粒子)微・普	良好	浅黄5Y7/3	オリーブ黄5Y6/4	灰黄2.5Y7/2	口縁部4／8	焼け歪み。
1049	18	SX05 No.04・No.05・No.06		陶器	香炉(しのぎ)	-	-	10.8	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ褐2.5Y4/3	にぶい橙5YR6/3	灰白N7/	底部4／8	高台部:遺物設置痕。
1050		SX05 No.29		陶器	香炉(無文)	10.5	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰オリーブ5Y6/2	灰オリーブ5Y6/2	灰白5Y7/1	口縁部1／8	口縁部上面:香炉付着。
1051		SX05 (西)		陶器	香炉(無文)	(8.4)	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・回転ナデ→施釉	回転ナデ・回転ヘラケズリ・回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰白7.5Y7/1	灰白10YR7/1	灰白5Y7/1	破片	口縁部上面:香炉付着。
1052		SX05 No.56		陶器	香炉(しのぎ)	-	-	10.6	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・普 (金雲母)微・普	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
1053		SX05		陶器	香炉(無文)	12.6	-	-	施釉	施釉・回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ5Y6/2	灰オリーブ5Y6/2	灰白N8/	口縁部1／8	
1054		SX05 No.19		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ・板ナデ・施釉	回転ナデ・板ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	灰褐5YR6/2	にぶい赤褐5YR5/3	橙2.5YR7/6	口縁部破片	
1055		SX05 No.85		陶器	甕	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (花崗岩)粗・稀 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	橙2.5YR6/8	橙2.5YR6/6	橙5YR7/6	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り。
1056		SX05 (西)		陶器	甕	23.6	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・発色不良	橙2.5YR6/8	明赤褐2.5YR5/6	浅黄橙7.5YR8/6	口縁部1／8	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:沈線6条。体部外面:1条。
1057		SX05 No.30		陶器	甕	(20.4)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普	良好・発色不良	橙5YR6/6	橙5YR6/6	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部破片	肩部沈線3条以上。
1058		SX05 (西)・No.53・No.54		陶器	甕	-	-	15.0	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)細・多 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい赤褐5YR5/4	橙2.5YR7/6	体部2／8	肩部外面:沈線5条以上。内外面:黄褐色粘土付着。
1059		SX05 No.01・No.02・No.03		陶器	甕	-	-	26.5	回転ヘラケズリ・施釉・板ナデ→回転ナデ	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・多 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい褐7.5YR6/3	橙5YR6/6	橙5YR7/6	底部2／8	
1097		SX05 No.32			型	16.0	-	-	ヘラケズリ・ハケ目→指ナデ	板ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	灰白10YR8/2	浅黄橙10YR8/3	灰白10YR8/2	口縁部2／8	

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表 (13)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1100	16	SX05 №22・№49		磁器	皿	-	-	(12.1)	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	精良 (黒色粒子)微・普	良好	明青灰5B7/1	素地:明青灰5B7/1・染付:千草7.5B5.5/7	灰白5Y7/1	破片	産地不明。内面/高台部:染付。畳付:釉剥ぎ取り。
1101		SX05 (東)		土師質土器	火鉢	-	-	-	ヘラケズリ	指オサエ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	破片	
1103		SX06		陶器	土瓶把手	3.9	2.0	0.7	指オサエ・ナデ	ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	破片	キラコ付着。
1107		A1a	堆積土	陶器	鉢	-	-	-	指オサエ→ナデ・施釉	指オサエ→ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	浅黄5Y7/3	浅黄5Y7/3	灰5Y5/1	口縁部破片	口縁部:輪花状。
1108		A1a・A2a	堆積土	陶器	鍋	25.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	にぶい赤褐5YR5/3	灰褐7.5YR6/2	橙5YR7/6	口縁部1／8	
1109		A1a	堆積土	陶器	土瓶蓋	-	-	7.8	回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	橙2.5YR7/6	淡黄2.5Y8/3	橙2.5YR7/6	底部2／8	
1110		A1a	堆積土	陶器	土瓶	10.8	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	口縁部1／8・体部3／8	肩部外面:沈線7条、凹線1条。
1111	55	A1a・A2a	堆積土	陶器	甕	21.5	25.0	14.0	回転ナデ・ハケ目・回転ヘラケズリ→回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好・発色不良	灰褐5YR5/2	灰褐5YR5/2	にぶい橙5YR7/4	口縁部2／8	肩部外面:沈線5条＋1条。底部外面:離れ砂付着。内外面:黄褐色粘土付着。
1112		A1a	堆積土	陶器	甕	(24.4)	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・稀 (黒色粒子)微・多	良好・発色不良	橙5YR7/6	橙5YR7/6	浅黄橙10YR8/4	破片	肩部外面:沈線7条、環状粘土紐貼付。内面:粘土塊付着。
1113	19	A1	表土	陶器	甕	-	-	20.0	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ→板ナデ→回転ナデ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい赤褐5YR4/3	灰白2.5Y7/1	底部3／8	焼け歪み。底部内面:別個体の高台、ピン1付着。
1116	16	A3a・A3c・A1a	表土・堆積土	磁器	徳利	-	-	-	施釉	回転ナデ	精良 (黒色粒子)微・少	良好	染付:オリーブ灰2.5GY5/1明青灰5B7/1・素地:灰白2.5GY8/1	灰白5Y8/1	灰白5Y8/1	破片	産地不明。
1117		A1a	堆積土	磁器	碗?	-	-	-	施釉	施釉	精良 (黒色粒子)微・少	良好	染付:あざやかな青7.5B5.5/7・素地:明青灰10BG7/1	染付:にぶい青8.5B4/4・素地:明青灰10BG7/1	灰白N8/	破片	産地不明。
1118		A2a	堆積土	陶器	碗	-	-	6.0	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	赤橙10R6/6	高台部4／8	
1119		A2a	堆積土	陶器	碗	-	-	6.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ・ヘラミガキ	やや粗 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	黄灰2.5Y4/1	にぶい橙5YR7/4	底部1／8	体部外面:沈線1条。高台部:貼付。内面:炭素吸着。
1120		A2b	表土	陶器	碗	-	-	3.5	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	灰白10Y7/2	灰オリーブ5Y6/2	黄灰2.5Y6/1	底部2／8	
1121	55	A2a	堆積土	陶器	鉢	(46.3)	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)中・多 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい褐7.5YR6/3	にぶい橙5YR6/4	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部破片	
1122		A2a	堆積土	陶器	土瓶注ぎ口	-	-	-	指オサエ→板ナデ	指オサエ→ハケ目	密 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・普 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	破片	
1123		A2a	堆積土	陶器	灯明皿	-	-	(8.0)	マメツ	回転ナデ・マメツ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	破片	
1124		A2a	堆積土	土製品	器種不明	-	-	-	ナデ・ハケ目→ナデ	指オサエ→ハケ目	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)細・少	良好	橙5YR7/6	／	橙5YR7/6	破片	
1125		A2a	層位不明	土製品	器種不明	-	-	-	板ナデ(マメツ)	指ナデ(マメツ)	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい橙7.5YR6/4	にぶい橙7.5YR6/4	浅黄橙7.5YR8/4	破片	
1126	19	A3c	層位不明	陶器	すり鉢	(29.4)	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・多 (黒色粒子)細・多 (赤色粒子)細・稀	良好	青灰5PB5/1	にぶい赤橙10R6/4	灰白2.5Y7/1	破片	堺・明石産
1128		A3c	層位不明	陶器	型	-	-	-	ヘラケズリ・指オサエ	回転板ナデ	やや粗 (褐色粒子)微・少	良好	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	口縁部破片	
1129	19	A3c	表土	陶器	碗	-	-	4.5	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)中・普	良好	灰白10YR8/2	灰黄褐10YR6/2	にぶい橙5YR6/4	高台部4／8	産地不明。
1130	16	A3d	表土	磁器	碗	11.1	5.9	3.9	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉・回転ヘラケズリ	精良 (黒色粒子)微・少	良好	染付:オリーブ黒5Y3/2・青灰5B6/1素地:灰白2.5GY8/1	染付:緑灰10GY5/1素地:灰白2.5GY8/1	灰白2.5Y8/1	高台部8／8	産地不明。染付。高台畳付部:釉剥ぎ取り。

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表 (14)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1132	19	A3b	表土	陶器	灯明皿	11.5	2.5	5.4	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ黄 5Y6/3	オリーブ黄 5Y6/3	灰白N7/	底部 3／8	灯明皿2と鍋or土瓶が付着。中央灯明皿の体部内面:沈線2条(以上)。体部内面:ピン痕1。底部外面:ピン2。
1133	19	A3b	表土	陶器	すり鉢	(44.7)	-	-	回転ナデ	回転ナデ・すり目	密 (長石)細・少 (黒色粒子)粗・少 (赤色粒子)・粗・少	良好	橙5YR6/6・にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/4	灰オリーブ 5Y5/3	破片	内面:自然釉、離れ砂付着。
1138	19	A3a	表土	陶器	碗	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白5Y8/2	灰白5Y8/2	にぶい黄橙 10YR7/2	破片	産地不明。
1139	19	A3a	表土	陶器	碗	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)微・少	良好	オリーブ黄 5Y6/3・灰白 2.5Y8/2	灰黄褐 10YR5/2	灰白10YR7/1	破片	産地不明。イッチン掛け。(条線2)
1140	19	A3a	表土	陶器	鉢	27.3	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	にぶい褐 7.5YR6/3	口縁部 1／8	産地不明。
1141		A3a	表土	土師質土器	甕	-	-	-	回転ナデ	板ナデ	粗 (金雲母)微・普	良好	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/4	破片	
1143	20	A3b・B4・B2	表土・堆積土	陶器	鉢	24.1	6.4	10.2	施釉・回転ヘラケズリ	施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ褐 2.5Y4/4	オリーブ褐 2.5Y4/4	灰白5Y7/1	口縁部 5／8	口縁部:輪花状。
1144	18	A4a	堆積土	陶器	土瓶蓋・土瓶	-	-	(4.0)	回転ナデ・施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好	暗褐10YR3/3	暗褐10YR3/3	灰白2.5Y7/1	破片	土瓶蓋・土瓶の重ね焼き。
1145		A4a	堆積土	陶器	器種不明	-	-	9.4	施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好	灰白5Y7/2	淡黄2.5Y8/3	灰N6/	底部破片	
1146		A4a	堆積土	陶器	灯明皿	6.8	1.6	2.5	回転ナデ・施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白5Y7/2	灰白5Y7/2	灰白2.5Y7/1	底部 2／8	底部内面:ピン痕1、沈線2条以上。
1147		A4a	堆積土	陶器	甕	-	-	-	板ナデ	板ナデ→ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (赤色粒子)中・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	破片	
1148		A4b	堆積土	陶器	甕	-	-	(21.2)	回転ナデ(マメツ)	回転ナデ(マメツ)・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・多	良好・素焼き	にぶい黄橙 10YR7/4	淡橙5YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	破片	
1153		A4a	堆積土		型	-	-	-	ヘラケズリ・板ナデ・ナデ	板ナデ	密 (褐色粒子)細・多	良好	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	破片	
1154	50	A4a	堆積土		型	6.1	1.7	6.4	指オサエ→ナデ・回転ヘラケズリ	指オサエ→ナデ	密 (黒色粒子)微・少	良好	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	破片	
1155	19	A4a	堆積土	陶器	碗	-	-	3.2	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (金雲母)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白5Y8/2	灰白5Y8/2	淡黄2.5Y8/3	高台部 2／8	京・信楽系
1156	19	A4a	堆積土	陶器	碗	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)微・少	良好	灰白7.5Y7/1	灰白7.5Y7/1	灰白5Y8/2	底部 2／8	産地不明。底部内面:ピン痕1。
1157	19	A4a	堆積土	陶器	土瓶蓋	11.2	-	8.4	回転ナデ・施釉	回転ナデ	やや粗 (長石)微・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	緑灰5G5/1・橙5YR6/8	橙5YR7/6	にぶい橙 5YR6/4	破片	産地不明。
1158	19	A4a	堆積土	陶器	土瓶	(13.4)	-	-	施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	黄褐2.5Y5/6	黄褐2.5Y5/6	灰白2.5Y8/2	口縁部 破片	産地不明。外面:トビガンナ。
1159	16	A4a	堆積土	磁器	碗	-	-	3.0	施釉	施釉	精良 (黒色粒子)微・普	良好	染付:緑灰5G5/1・素地:灰白5GY8/1	灰白5GY8/1	灰白N8/	高台部 4／8	産地不明。染付。高台畳付:釉剥ぎ取り。
1160		A3b	堆積土	磁器	皿	17.4	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	精良 (黒色粒子)微・多	良好	灰白5GY8/1	灰白5GY8/1	灰白7.5Y8/1	口縁部 破片	
1161	55	A4a	堆積土	土師器	皿?	-	-	5.4	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少	良好	黒N2/	黒N2/	浅黄橙 10YR8/4	底部 2／8	
1165		B1	堆積土	陶器	土瓶	-	-	(9.5)	回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	橙5YR7/6	淡橙5YR8/4	破片	
1169		B1.C1	堆積土	陶器	甕	27.6	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)中・少 (赤色粒子)微・少	普通・発色不良	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい赤褐 5YR5/4	浅黄橙 7.5YR8/4	口縁部 2／8	口縁部上面:釉剥ぎ取り。肩部外面:ヘラ描き沈線11条。
1170		B1.C1	堆積土	陶器	甕	-	-	24.7	回転ナデ→施釉・板ナデ	回転ナデ→施釉	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)細・少	良好・発色不良	灰褐5YR5/2	橙2.5YR6/6	浅黄橙 7.5YR8/6	底部 1／8	高台部下端:粘土塊付着。
1171		B2	堆積土	陶器	行平鍋の把手	-	-	-	陰刻	指ナデ・ヘラケズリ	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	
1172	20	B2	堆積土	陶器	鍋蓋	17.8	3.8	5.2	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	橙2.5YR6/6	口縁部 2／8	口縁部上端:釉剥ぎ取り。体部外面:沈線9条。
1173		B2	堆積土	陶器	鍋	13.2	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	橙7.5YR7/6	橙5YR7/6	灰白2.5Y8/2	口縁部 1／8	
1174		B2	堆積土	陶器	鍋	19.5	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ・板ナデ	密 (長石・石英)細・少 (シャーモット)中・少 (黒色粒子)細・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	頸部 4／8	
1175		B2	堆積土	陶器	茶入れ	(7.0)	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	黒10YR2/1	黒10YR2/1	橙5YR7/6	口縁部 破片	口縁部上端:釉剥ぎ取り。
1176		B2	堆積土	陶器	器種不明	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい黄 2.5Y6/4	暗褐10YR3/3	灰白2.5Y7/1	破片	口縁部上端:釉剥ぎ取り。体部内面:沈線5条。

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表（15）

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1177		B2	堆積土	陶器	碗	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	頸部 8／8	
1184		B3	堆積土	陶器	鍋	-	-	-	施釉	施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐 5YR4/3	にぶい赤褐 5YR4/3	灰白2.5Y7/1	破片	鍋片付着。
1185		B3	堆積土	陶器	土瓶蓋	9.1	2.0	7.4	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	橙5YR6/6	橙5YR6/6	浅黄橙 7.5YR8/6	口縁部 2／8	
1186		B3	堆積土	軟質施釉陶器	蓋	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黄5Y7/6	浅黄橙 7.5YR8/6	浅黄橙 10YR8/3	破片	つまみ部:穿孔有り。
1187		B3	堆積土	陶器	土瓶蓋	-	-	-	回転ヘラケズリ	マメツ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
1188	20	B3・A3.B3	堆積土	陶器	茶入れ	7.5	-	-	回転ナデ・施釉(注ぎ口部:指ナデ・ナデ)	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	褐灰10YR6/1	褐灰 7.5YR5/1	浅黄橙 7.5YR8/6	体部 2／8	口縁部上端:釉剥ぎ取り。
1189		B3	堆積土	陶器	壺	-	-	14.0	回転ナデ・施釉・板ナデ	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐5YR4/2	橙5YR7/6	底部 6／8	底部外面:粘土付着。内面:黄褐色粘土付着。(ヘラによる引っ掻き傷有り)
1202		B3	堆積土	ー	型	3.2	3.6	1.2	板ナデ	指オサエーナデ	密(長石)微・少(金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	橙5YR7/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
1203	47	B3	堆積土	陶器	ロクロ軸受け	3.3	3.1	1.1	施釉	施釉・回転ヘラケズリ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR6/2	／	完存	
1204	19	B3	堆積土	陶器	すり鉢	-	-	-	横ナデ	横ナデ・すり目	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰褐5YR4/2	にぶい赤褐 5YR4/3	赤橙10R6/6	破片	堺・明石産
1205	16	B3	堆積土	陶器	皿	-	-	4.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	精良 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	明緑灰 10GY8/1	明緑灰 10GY8/1	灰白7.5Y8/1	高台部 8／8	見込部:離れ砂付着
1206		B3	堆積土	土師質土器	火鉢	3.6	3.5	2.4	指オサエ	指オサエ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)細・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好	浅黄橙 10YR8/4	／	橙5YR7/6	破片	
1207	20	B4	堆積土・表土	陶器	碗	3.2	4.6	3.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰 10Y6/2	オリーブ灰 10Y6/2	灰白N7/	底部 5／8	体部外面:草花文。高台畳付:釉剥ぎ取り。体部内面:沈線1条。
1208	15	B4	堆積土	陶器	碗	4.9	-	-	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ 7.5Y6/2	灰オリーブ 7.5Y6/2	灰白N7/	口縁部 2／8	底部外面:無釉。
1209	14	B4	堆積土	陶器	碗	5.8	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	暗灰黄 2.5Y5/2	黄灰2.5Y6/1	灰N6/	口縁部 1／8	
1210		B4	堆積土	陶器	碗	-	-	4.0	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	普通・発色不良	淡黄2.5Y8/4	浅黄2.5Y7/3	浅黄橙 7.5YR8/4	底部 7／8	
1211		B4	堆積土	陶器	碗	-	-	4.1	回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	底部 8／8	
1212		B4	堆積土	陶器	碗	-	-	4.8	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	赤灰 2.5YR4/1	灰赤 2.5YR4/2	灰赤 2.5YR6/2	底部 2／8	
1213		B4	堆積土	陶器	碗	-	-	6.0	回転ヘラケズリ・施釉	施釉	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・普	良好・発色不良	浅黄2.5Y7/4	明黄褐 10Y7/6	にぶい橙 2.5YR6/4	底部 1／8	
1214	15	B4	堆積土(焼土層)	陶器	汁次	-	-	5.0	回転ヘラケズリ・施釉	施釉	密 (長石)微・普 (角閃石)微・普	良好	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR4/3	明青灰 10BG7/1	底部 2／8	
1215	13	B4	堆積土	陶器	徳利	3.8	-	-	指オサエ・回転ナデ・施釉	指オサエ・ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黄褐2.5Y5/4	黄褐2.5Y5/3	灰5Y6/1	口縁部 8／8	
1216	21	B4・A3a・B3	堆積土・表土・層位不明	陶器	鉢	(24.1)	(6.4)	10.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ・回転ヘラケズリ→施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	暗オリーブ 5Y4/3	暗オリーブ 5Y4/4	灰黄2.5Y6/2	底部 7／8	焼け歪み。口縁部:輪花状。内面:陶器片付着、ピン1。
1217		B4	堆積土	陶器	鉢	-	-	9.2	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい橙 5YR7/4	底部 2／8	
1218	21	B4	堆積土	陶器	鉢	-	-	10.0	回転ヘラケズリ・施釉	施釉	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ褐 2.5Y4/4	オリーブ褐 2.5Y4/4	灰白5Y7/1	底部 1／8	底部内面:鉢の高台片付着、ピン1。
1219		B4・B3	堆積土	陶器	鉢	15.4	-	-	回転ヘラケズリ・施釉	回転ヘラケズリ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰 10Y6/2	オリーブ灰 10Y6/2	灰白N7/	体部 1／8	
1220	21	A3a・B4	層位不明・堆積土	陶器	鉢	17.6	8.1	8.0	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰 10Y6/2	オリーブ灰 10Y6/2	灰白N7/	4／8	底部内面:高台片付着、ピン痕1。
1221	56	B4	堆積土	陶器	鉢	24.6	-	-	横ナデ・回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	横ナデ・回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい赤褐 2.5YR5/4	橙5YR7/6	口縁部 1／8	
1222	56	B4	堆積土	陶器	鉢	22.5	-	-	回転ヘラケズリ・ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰赤 2.5YR5/2	灰赤 2.5YR4/2	褐灰10YR5/1	口縁部 1／8	
1223	21	B4	堆積土	陶器	鉢	11.0	-	-	回転ナデ・施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	オリーブ黄 7.5Y6/3	オリーブ黄 7.5Y6/3	灰白7.5Y7/1	口縁部 2／8	口縁部上端/底部外面:無釉。
1224		B4	堆積土	陶器	鉢	25.5	-	-	回転ナデ→板ナデ(マメツ)	回転ナデ→板ナデ(マメツ)	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)微・多 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	淡橙5YR8/4	破片	
1225	21	B4	堆積土	陶器	行平鍋	16.0	-	-	回転ナデ・ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ黄 7.5Y6/3	オリーブ黄 7.5Y6/3	灰白7.5Y7/1	口縁部 2／8	口縁部内面:遺物片付着。

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表（16）

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1226		B4・A3b	堆積土	陶器	鍋	15.3	-	-	施釉	施釉	粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	灰白10YR7/1	口縁部 2／8	
1227	21	B4	堆積土	陶器	鍋	(18.2)	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	密・やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい赤褐 2.5YR4/3	灰白N7/	破片	鍋3個体の重なり。焼け歪み。
1228		B4	堆積土	陶器	鍋	24.6	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ褐 2.5Y4/6	オリーブ褐 2.5Y4/6	明青灰5B7/1	口縁部 破片	
1229		B4	堆積土	陶器	鍋	18.8	-	-	回転ナデ・指オサエ→ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	にぶい赤褐 2.5YR5/4	口縁部 2／8	
1230		B4	堆積土	陶器	鍋	19.0	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	赤黒 2.5YR2/1	暗赤褐 2.5YR3/3	灰白5Y7/1	破片	体部内面:鍋片付着。
1231		B4・A4a	堆積土	陶器	鍋	21.5	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐5YR2/1	暗赤褐 2.5YR3/3	灰白5Y7/1	口縁部 1／8	体部内面:鍋片付着。
1232		B4	堆積土	陶器	鍋	-	-	(8.6)	施釉・回転ヘラケズリ	施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ黄 7.5Y6/3	オリーブ黄 7.5Y6/3	灰白N7/	底部 2／8	焼け歪み。体部外面:陶器片付着。底部内面:ピン1、ピン痕1付着。
1233	56	B4	堆積土	陶器	鍋	-	-	8.0	施釉・回転ヘラケズリ	施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・多 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい赤褐 2.5YR5/4	灰黄褐 10YR6/2	底部 4／8	体部内面:ピン1、ピン痕1、遺物片付着。
1234	56	B4	堆積土	陶器	鍋	-	-	7.0	回転ヘラケズリ	施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ黄 7.5Y6/3	オリーブ黄 7.5Y6/3	灰5Y6/1	底部 3／8	底部内面:碗片付着。
1235	21	B4	堆積土	陶器	鍋	-	-	-	回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	オリーブ灰 10Y5/2	オリーブ灰 10Y5/2	灰白N7/	破片	鍋底部2つの接着。上下鍋間にピン2。底部外面:ワトチ痕。
1236		B4	堆積土	陶器	茶入れ	7.6	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	褐灰5YR5/1	褐灰5YR4/1	橙5YR7/6	口縁部 1／8	口縁部上端:釉剥ぎ取り。
1237		B4	堆積土	陶器	茶入れ	8.5	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	褐灰10YR5/1	褐灰10YR5/1	橙5YR7/6	口縁部 1／8	口縁部上端:釉剥ぎ取り。
1238		B4	堆積土	軟質施釉陶器	鍋蓋	6.2	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰黄緑 5GY4.5/1	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 7.5YR8/4	つまみ部 4／8	
1239		B4	堆積土	陶器	蓋	9.0	-	-	施釉	回転ナデ・施釉	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰オリーブ 5Y6/2	灰オリーブ 5Y6/2	灰黄2.5Y7/2	口縁部 1／8	
1240	22	B4	堆積土	陶器	蓋	5.1	1.2	1.8	回転ナデ・指オサエ	回転ナデ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	灰黄褐 10YR5/2	褐灰10YR5/1	褐灰10YR5/1	口縁部 5／8	つまみ部一部欠損。
1241	22	B4	堆積土	陶器	蓋	5.2	-	1.8	ナデ・回転ナデ	回転ナデ・板ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	褐灰10YR5/1	褐灰10YR5/1	褐灰10YR5/1	ほぼ完存	つまみ部欠損。
1242		B4	堆積土	陶器	土瓶蓋	-	-	3.8	回転ヘラケズリ	施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐 2.5YR5/3	淡黄2.5Y8/3	にぶい赤褐 2.5YR5/3	底部 2／8	つまみ部完存。
1243	56	B4	堆積土	陶器	土瓶蓋	9.4	1.9	5.2	回転ヘラケズリ・施釉	施釉	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	浅黄2.5Y7/3	浅黄2.5Y7/3	にぶい赤褐 5YR5/3	完存	底部外面:煤付着。
1244	22	B4	堆積土	陶器	土瓶蓋	9.8	2.6	7.9	回転ナデ・施釉・回転ヘラケズリ	施釉	粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	褐10YR4/4	褐10YR4/4	灰白2.5Y8/2	3／8	つまみ部欠損。
1245		B4	堆積土	陶器	土瓶の注ぎ口	-	-	-	回転ヘラケズリ→ナデ	回転ナデ	密 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR7/4	褐灰 7.5YR4/1	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	
1246	57	B4	堆積土	陶器	蓋	13.8	3.3	-	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)細・普	良好・素焼き	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	破片	
1247		B4	堆積土	陶器	花生	-	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ褐 2.5Y4/4	オリーブ褐 2.5Y4/4	灰白N7/	破片	
1248		B4	堆積土	陶器	土瓶	11.5	-	-	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰10Y6/1	灰10Y6/1	灰白10Y7/1	胴部 2／8	肩部外面:沈線22条。
1249		B4	堆積土	陶器	土瓶	-	-	8.4	回転ヘラケズリ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ黄 5Y6/3	オリーブ黄 5Y6/3	黄灰2.5Y6/1	底部 2／8	体部外面:モミガラ付着。底部内面:砂付着。
1250		B4	堆積土	陶器	土瓶	-	-	-	回転ナデ・ナデ→施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	オリーブ黄 5Y6/4	灰オリーブ 5Y6/2	灰白5Y7/1	胴部 1／8	
1251	47	B4	堆積土	陶器	土瓶	-	-	8.4	回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰オリーブ 7.5Y6/2	灰オリーブ 7.5Y6/2	灰白7.5Y7/1	底部 3／8	
1252		B4	堆積土	陶器	香炉(無文)	8.8	-	-	ヘラケズリ・回転ナデ→施釉	回転ヘラケズリ→板ナデ・回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ褐 2.5Y4/4	オリーブ褐 2.5Y4/6	にぶい橙 7.5YR7/4	口縁部 2／8	
1253		B4	堆積土	陶器	香炉(無文)	-	-	11.0	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白7.5Y7/2	黄褐2.5Y5/4	灰白N7/	底部 2／8	底部外面:遺物片付着。
1254	22	B4	堆積土	陶器	香炉(無文)	10.2	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	にぶい橙 2.5YR6/4	口縁部 5／8	
1255	57	B4	堆積土	陶器	香炉(凹線)	-	-	12.9	回転ヘラケズリ	回転ナデ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・多 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	底部 3／8	
1256	22	B4	堆積土	陶器	香炉(しのぎ)	10.3	9.6	11.8	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	密 (黒色粒子)微・少	良好	暗オリーブ 5Y4/4	灰黄2.5Y6/2	黄灰2.5Y6/1	底部 1／8	口縁部外面:遺物片付着。
1257		B4	堆積土	陶器	香炉(しのぎ)	10.4	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ褐 2.5Y4/4	暗オリーブ褐 2.5Y3/3	灰白5Y7/1	口縁部 2／8	

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表（17）

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1258		B4	堆積土	陶器	香炉(しのぎ)	-	-	11.8	回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (角閃石)微・少 (金雲母)微・少	良好・発色不良	橙5YR7/6	にぶい黄橙10YR7/4	にぶい黄橙10YR7/4	底部1／8	
1259		B4	堆積土	陶器	香炉(しのぎ)	-	-	(11.0)	施釉	施釉	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	暗褐10YR3/4	暗褐10YR3/4	褐灰10YR6/1	底部2／8	底部内面:ピン痕1。
1260		B4	堆積土	陶器	香炉(しのぎ)	-	-	-	施釉・ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	橙5YR6/6	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
1261		B4	堆積土	陶器	仏花瓶	14.9	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	灰N6/	口縁部1／8	
1262		B4	堆積土	陶器	仏花瓶	-	-	7.8	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	にぶい赤褐2.5YR5/4	底部5／8	
1263		B4	堆積土	陶器	合子	3.5	0.4	-	指オサエ→ナデ・刺突文	指オサエ→ナデ	密 (長石)微・少	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	4／8	みかんをモチーフ。つまみ部:欠損。
1264	22	B4	堆積土	陶器	水注?	5.0	-	-	回転ナデ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	オリーブ灰10Y4/2・にぶい褐7.5YR6/3	にぶい黄褐10YR5/3	灰白10YR7/1	口縁部1／8	芭蕉などを絵付。
1265		B4	堆積土	陶器	すり鉢?	-	-	-	回転ナデ・板ナデ	おろし目?(マメツ)	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙7.5YR6/4	にぶい褐7.5YR5/3	橙5YR7/6	破片	
1266	57	B4	堆積土	陶器	甕	23.6	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい赤褐5YR5/3	橙2.5YR7/6	口縁部2／8	肩部外面:波状文。
1267		B4	堆積土(焼土層)	陶器	甕	24.3	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	灰5Y5/1	黄灰2.5Y5/1	灰白2.5Y7/1	破片	肩部外面:ヘラ描き沈線5条。内外面:黄褐色粘土付着。
1268	22	B4	堆積土	陶器	甕	-	-	16.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・多	良好・発色不良	黄灰2.5Y4/1	にぶい赤褐2.5YR4/3	橙2.5YR6/6	底部5／8	底部内面:ピン痕2。
1288		B4	堆積土		型	15.0	-	-	ヘラケズリ・指オサエ	回転板ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい黄褐10YR5/3	にぶい黄褐10YR5/3	にぶい黄褐10YR5/3	口縁部2／8	
1289	57	B4	堆積土		型	8.7	4.9	3.2	指オサエ→指ナデ	ナデ	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	にぶい橙5YR7/4	破片	六角形を呈する?。
1290	47	B4	堆積土		型	5.2	1.2	3.1	回転ヘラケズリ・ヘラケズリ	指オサエ→ナデ	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好	淡橙5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/3	にぶい黄橙10YR7/2	破片	亀をモチーフ。
1291	19	B4	堆積土	陶器	碗	-	-	4.2	施釉	施釉	やや粗 (長石・石英)微・多 (黒色粒子)細・多	良好	灰5Y6/1	灰5Y6/1	黄灰2.5Y6/1	底部3／8	産地不明。
1292	19	B4	堆積土・表土	陶器	鉢	25.7	-	-	回転ヘラケズリ・施釉	施釉	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)中・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	黄褐2.5Y5/3	にぶい橙5YR7/4	破片	肥前系
1293	16	B4	堆積土	磁器	皿	20.0	3.4	12.8	施釉	施釉	精良 (金雲母)微・少	良好	染付:さえた青紫6PB4/12・素地:明緑灰10GY8/1	染付:さえた青紫6PB4/12・素地:明緑灰10GY8/1	灰白N8/	口縁部1／8	産地不明。染付。高台畳付:釉剥ぎ取り。
1294	57	B4	堆積土	土製品	七輪	11.4	-	-	回転板ナデ	回転板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	橙5YR6/6	橙5YR6/6	橙5YR6/6	口縁部4／8	内面:煤付着。
1295	58	B4	堆積土	土師質土器	甕	(55.0)	(40.0)	31.5	横ナデ・指オサエ→板ナデ・板目状圧痕	横ナデ・板ナデ・横ナデ・回転ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・粗 (金雲母)微・少	良好	にぶい黄橙10YR6/3	にぶい黄橙10YR6/3	にぶい黄橙10YR6/3	底部8／8	
1296		B4	堆積土	土師器	皿	-	-	5.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ	マメツ	密 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	底部2／8	
1297	58	B4	堆積土	土製品	器種不明	-	-	17.3	回転ナデ・ヘラケズリ→ナデ	ハケ目・ヘラケズリ	やや粗 (長石・石英)粗・普	良好	橙5YR6/6	橙5YR6/6	橙5YR6/6	底部2／8	
1298		B4	堆積土	土製品	器種不明	6.3	9.4	2.6	ナデ・板ナデ	指オサエ→ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・少 (黒色粒子)微・普	良好	灰褐7.5YR5/2	／	にぶい褐7.5YR6/3	破片	
1299		B4	堆積土	土師質土器	器種不明	-	-	-	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)中・少	良好	にぶい橙7.5YR6/4	灰黄褐10YR4/2	にぶい橙7.5YR6/4	破片	
1302		B4	表土	陶器	鉢	24.2	-	-	横ナデ・回転ナデ・施釉	横ナデ・板ナデ→回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・発色不良	赤褐10R5/4	赤褐10R5/4	橙5YR7/6	口縁部3／8	
1303		B4	表土	陶器	鉢	25.7	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・発色不良	赤褐10R5/4	赤褐10R5/4	橙5YR7/6	口縁部1／8	
1304		B4	表土	陶器	鍋	-	-	7.4	回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ→施釉	密 (長石・石英)微・普 (黒色粒子)細・普	良好・発色不良	褐灰7.5YR4/1	にぶい黄褐10YR5/3	にぶい橙2.5YR6/4	底部3／8	底部内面:ピン2。
1305	18	B4	表土	陶器	土瓶蓋	(7.5)	-	-	回転ナデ・施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・多	良好	オリーブ灰10Y6/2	オリーブ灰10Y6/2	灰白N8/	破片	土瓶蓋3重ね焼き。
1306		B4	表土	陶器	香炉(凹線)	-	-	11.4	回転ヘラケズリ	回転板ナデ・回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・普	良好・素焼き	浅黄橙7.5YR8/4	浅黄橙7.5YR8/4	淡橙5YR8/4	底部1／8	
1317		C1	堆積土	陶器	鉢	-	-	9.2	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石)微・少 (黒色粒子)細・少 (褐色粒子)細・少	良好	灰オリーブ7.5Y5/3	オリーブ褐2.5Y4/6	灰白5Y7/1	底部2／8	焼け歪み。

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表（18）

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種		口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1321		D3	堆積土	陶器	碗	10.8	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)細・少	良好・発色不良	灰白2.5Y8/2	灰白2.5Y8/2	灰赤2.5YR6/2	口縁部破片	
1322		C2	堆積土	須恵器	杯	-	-	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい黄橙10YR7/2	灰白10YR8/1	浅黄橙7.5YR8/4	破片	
1323		C2	堆積土(地山直上)	須恵器	短頸壺	-	-	-	回転ヘラケズリ	回転ナデ・指ナデ	密 (長石・石英)中・多	良好	灰N5/	灰N5/	灰N5/	体部2／8	
1326		不明	堆積土	縄文土器	深鉢	-	-	-	ナデ・押型文	板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)細・少 (黒色粒子)細・多 (赤色粒子)細・多	良好	にぶい赤褐2.5YR5/4	にぶい赤褐2.5YR5/4	明赤褐2.5YR5/6	破片	押型文
1327		不明	堆積土	陶器	仏花瓶	-	-	-	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	頸部3／8	
1330	19	不明	堆積土	陶器	碗	-	-	5.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・多	良好	灰白2.5GY8/1	灰白2.5GY8/1	灰白N7/	底部1／8	産地不明。底部内面:ピン痕1。
1331	15	(H11. 予備調)斜面部		陶器	碗	5.4	2.3	3.7	回転ナデ→施釉・回転ヘラケズリ	回転ナデ→施釉	やや粗 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	明オリーブ灰2.5GY7/1	明オリーブ灰2.5GY7/1	灰白10Y8/1	口縁部3／8	
1332		(H11. 予備調)斜面部		陶器	蓋	8.6	2.1	10.5	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい橙7.5YR6/4	／	にぶい橙5YR7/4	破片	
1334	16	(H11. 予備調)斜面部		磁器	碗	9.7	5.4	4.0	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	精良 (黒色粒子)微・普	良好	染付:青灰5B5/1・素地:灰白5GY8/1	灰白5GY8/1	灰白N8/	高台部4／8	産地不明。染付。体部外面:二重網目文。高台畳付:釉剥ぎ取り。
1335	16	(H11. 予備調)Tr. ①		磁器	碗	-	-	-	施釉	回転ナデ・施釉	精良 (黒色粒子)微・少	良好	染付:さえた青紫6PB4/12・素地:明青灰10BG7/1	明青灰10BG7/1	灰白7.5Y8/1	破片	産地不明。
1336	55	(H11. 予備調)斜面部		土師器	皿	-	-	4.6	回転ナデ・ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	淡橙5YR8/4	底部2／8	
1337		C3	表土	陶器	甕	-	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)微・少	良好・発色不良	にぶい橙5YR6/4	にぶい橙5YR6/4	浅黄橙10YR8/4	頸部2／8	肩部外面:沈線8条。環状粘土紐貼付。
1338	23	C3.C4	堆積土	陶器	甕	-	-	-	施釉	施釉	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・普	良好	灰褐7.5YR5/2	にぶい赤褐5YR5/3	灰白5Y7/1	口縁部破片	口縁部上端:別の甕が付着。肩部外面:沈線4条。別個体の肩部外面:沈線6条。
1341		C3	表土	磁器	碗	-	-	2.8	施釉	施釉	精良	良好	灰白N8/	灰白N8/	灰白N8/	高台部5／8	高台畳付部:釉剥ぎ取り。
1342		C	堆積土	土製品	器種不明	3.2	0.7	-	ナデ・すり目	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	明赤褐2.5YR5/6	明赤褐2.5YR5/6	明赤褐2.5YR5/6	完存	すり鉢の転用。すり目10条。
1343		撹乱		陶器	碗	(9.7)	-	-	回転ヘラケズリ→施釉	回転ナデ・施釉	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黄褐2.5Y5/4	黄褐2.5Y5/4	灰白2.5Y7/1	口縁部破片	口縁部上面:釉剥ぎ取り。
1344		撹乱		陶器	土瓶	7.9	-	-	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	密 (長石・石英)微・少	良好	黒2.5Y2/1	黒褐2.5Y3/1	灰白5Y7/1	口縁部4／8	焼け歪み。肩部外面:沈線3条。凹線1条。

第12表　Ⅳ区　土器・陶磁器・土製品観察表（19）

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
187		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(小)	12.8	12.7	15.4	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普	良好	暗オリーブ5Y4/3	灰褐7.5YR4/2	2／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
188		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土(赤褐色土層)	サヤ鉢(小)	19.1	13.4	17.7	回転ナデ・回転ヘラケズリ→ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	橙2.5YR6/6	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
189		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土(赤褐色土層)	サヤ鉢(小)・(空気孔)	18.4	13.6	17.0	回転ナデ・ヘラケズリ→ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙7.5YR6/4	底部1／8	
190		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土(赤褐色土層)	サヤ鉢(小)	16.0	14.5	17.8	回転ナデ・回転ヘラケズリ→ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	橙2.5YR6/6	底部2／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
191		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土(赤褐色土層)	サヤ鉢(小)	16.0	14.1	17.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい赤褐2.5YR5/4	橙2.5YR6/6	2／8	
192		SF01 燃焼室	堆積土	サヤ鉢(小)	14.8	12.0	18.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・普	良好	暗オリーブ褐2.5Y3/3	にぶい橙7.5YR7/4	1／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:砂付着。
193		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(小)	−	−	17.4	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・普 (金雲母)細・少	良好	黒褐7.5YR3/2	にぶい褐7.5YR6/3	底部3／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:香炉片付着。
194		SF01 燃焼室 (西)	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	21.0	16.6	23.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	暗赤褐2.5YR3/3	にぶい黄橙10YR7/4	底部1／8	焼け歪み。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
195		SF01 燃焼室 (西)	堆積土	サヤ鉢(大)	21.2	15.4	20.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	オリーブ黒7.5Y3/2	にぶい橙5YR7/4	1／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。底部内面:モミガラ付着。
196		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	23.0	15.8	21.6	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)粗・少 (金雲母)細・少	良好	黒褐10YR3/1	黄灰2.5Y5/1	1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
198		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土(赤褐色土層)	サヤ鉢(大)・(抉り)	24.5	16.4	24.6	回転ナデ→板ナデ→回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	灰褐7.5YR4/2	にぶい黄橙10YR7/4	4／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
199		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(大)	−	−	26.1	回転ナデ・ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい黄褐10YR5/4	灰5Y6/1	底部1／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
200		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	−	−	23.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい橙5YR6/4	底部1／8	
201		SF01 燃焼室	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	−	−	21.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ・指ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい褐7.5YR5/3	灰黄褐10YR6/2	底部1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
202		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	−	−	27.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ・ヘラケズリ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	赤褐10R4/4	にぶい赤褐2.5YR5/4	底部1／8	焼け歪み。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
203		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(大or中)	−	−	27.0	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・普	良好	褐7.5YR4/3	にぶい橙7.5YR6/4	底部2／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
204		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土(赤褐色土層)	サヤ鉢(大)・(抉り)	−	−	−	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・普 (金雲母)微・少	良好	褐7.5YR4/3	にぶい黄橙10YR7/2	破片	口縁部上端:サヤ鉢接合粘土付着。
205		SF01 燃焼室	堆積土	敷き板(台)	13.0	12.0	4.0	指オサエ・ナデ	指オサエ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少(砂岩)1～2cm大・少	良好	暗オリーブ5Y4/3	橙2.5YR6/6	破片	上面:ワトチ片付着、ワトチ痕2。
206	46	SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土(赤褐色土層)	敷き板(台)	11.9	8.3	3.3	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・少 (砂岩)1～3cm大・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい黄橙10YR6/3	にぶい黄橙10YR6/3	破片	上面:陶器片付着。陶器下端:釉剥ぎ取り。釉色調:オリーブ黄5Y6/3
207		SF01 燃焼室 南北ベルト	堆積土	敷き板(支柱)	16.0	12.0	4.3	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	黒褐7.5YR3/2	にぶい黄橙10YR7/3	完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
208		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	ドーナツ状焼き台	8.8	23.0	9.6	指ナデ	回転ヘラケズリ→板ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	3／8	下面:ピン痕2。
209		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土(赤褐色土層)	ドーナツ状焼き台	7.4	1.8	8.3	ナデ	ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	灰褐7.5YR4/2	橙2.5YR6/6	4／8	下面:ピン痕3。
210		SF01 燃焼室 東西ベルト(東)	堆積土	詰め具	12.7	5.7	4.0	／	／	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐2.5YR4/4	にぶい赤褐2.5YR4/4	破片	サヤ鉢転用。左図の粘土塊:敷き板設置痕あり。
211	47	SF01 燃焼室(東)	堆積土	窯壁	11.3	8.4	3.2	指オサエ	指オサエ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・少	良好	暗赤褐5YR3/4	橙5YR7/6	破片	内面:竹管痕1。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (1)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
212	47	SF01 燃焼室 東西トレンチ(東)	堆積土	窯壁	8.2	10.0	5.4	指オサエ	指オサエ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい赤褐5YR5/3	破片	内面:竹管痕3。
220		SF01 1室 №037	床面直上	サヤ鉢(小)	-	-	-	回転ナデ・回転糸切り→ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 7.5YR7/4	底部1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:香炉片付着。
221		SF01 1室 №032	床面直上	サヤ鉢	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 5YR6/4	口縁部破片	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
222		SF01 2室(西)・№012	床面直上	サヤ鉢(大)・(空気孔)	21.5	-	-	横ナデ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好	黄褐 2.5Y5/3	にぶい褐 7.5YR6/3	口縁部2／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
223		SF01 1室 №012	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	20.1	-	-	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・少	良好	オリーブ灰10Y5/2	オリーブ灰10Y6/2	口縁部破片	
224		SF01 1室 №029・№030・№031・№039	床面直上	サヤ鉢(大)	24.0	15.1	24.6	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・普	良好	暗オリーブ7.5Y4/3	にぶい橙 7.5YR7/4	口縁部2／8	口縁部上端:サヤ鉢間粘土付着。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
225		SF01 燃焼室 東焚き口付近・1室 樹根・№020・№025	窯体構築粘土内・堆積土・床面直上	サヤ鉢(大)	22.0	15.2	24.9	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・普	良好	灰オリーブ7.5Y4/2	にぶい橙 7.5YR6/4	体部2／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢接合粘土付着。底部内外面:離れ砂付着。
226		SF01 1室 №013・№027・№038	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	21.8	15.0	25.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・少 (砂岩)1cm大・稀 (金雲母)微・少	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい橙 7.5YR7/4	底部2／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
227		SF01 1室 №103	床面直上	サヤ鉢(大or中)	27.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	にぶい褐 7.5YR5/3	口縁部1／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
228		SF01 1室 №102	床面直上	敷き板(台)	12.5	11.0	4.0	板ナデ	板ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)粗・少 (砂岩)粗・少	良好	灰オリーブ5Y5/2	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:ワトチ片1、陶器・窯道具痕1。
229	11	SF01 1室 №117・№118	床面直上	敷き板(台)	30.2 (29.1)	14.3 (12.0)	3.8	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・少 (シャーモット)粗・少 (砂岩)粗・稀	良好	暗オリーブ5Y4/3	橙 2.5YR7/8	完存	上面左右端:敷き板設置痕。上面:ワトチ片1付着、陶器・窯道具痕2。下面:弱被熱。
230	11	SF01 1室 №011	床面直上	敷き板(台)	27.9	12.4	3.7	／	板ナデ・指オサエ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)1～2cm	良好	オリーブ黒7.5Y3/2	橙 7.5YR7/6	ほぼ完存	上面左右端:敷き板設置痕。右端:敷き板片付着。上面:ワトチ1付着、陶器・窯道具痕1。下面:弱被熱。
234		SF01 1室 樹根	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	25.0	15.8	(24.8)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普 (砂岩)粗・少 (シャーモット)粗・極少 (金雲母)微・少	良好	灰オリーブ5Y5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	口縁部2／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:離れ砂付着。
235		SF01 1室 樹根・北部樹根	堆積土	サヤ鉢(大or中)	-	-	-	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・多 (黒色粒子)細・普	良好	褐灰 10YR4/1	にぶい黄橙 10YR7/4	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
236		SF01 1室(東)	堆積土	敷き板	8.1	7.6	5.3	板ナデ	板ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・少 (シャーモット)粗・少	良好	褐灰 10YR5/1	にぶい赤褐5YR4/3	破片	
237		SF01 1室 北部樹根	堆積土	焼き台	7.1	2.2	9.6	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (角閃石)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい橙 5YR6/4	下面部1／8	下面:ピン痕5。
238		SF01 1室(西)	堆積土	ドーナツ状焼き台	10.3	1.7	7.9	指ナデ・板ナデ	指ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	橙5YR7/6	2／8	下面:ピン痕2。
248		SF01 2室 №078	床面直上	サヤ鉢(小)	18.4	15.0	19.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	赤橙 10R6/8	口縁部2／8・底部1／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
249		SF01 2室 №006	床面直上	敷き板(台)	13.8	12.3	4.0	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普 (砂岩)粗・少 (金雲母)細・普	良好	灰7.5Y5/1	橙5YR7/6	破片	上面右端:敷き板設置痕。
250		SF01 2室 №203	床面直上	敷き板(台)	11.2	11.4	4.2	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)1～2cm・少 (金雲母)微・少	良好	暗赤褐 5YR3/2	にぶい赤褐色 5YR5/3	破片	上下面左端:敷き板設置痕。
251		SF01 2室 №021・№079	床面直上	敷き板(台)	23.0	8.2	3.1	ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・少 (砂岩)粗・極少 (金雲母)微・少	良好	灰オリーブ5Y4/2	橙 2.5YR6/6	破片	上面左右端/下面右端/前面/右側面:粘土塊付着。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (2)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
253		SF01 2室 No.015	床面直上	ワトチ	(10.8)	0.9	-	指オサエ→ナデ	指オサエ→ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	橙5YR7/6	2／8	上面:陶器設置痕。
254		SF01 2室 No.091	床面直上	ワトチ	(10.0)	0.9	-	指ナデ	指ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	1／8	上面:陶器設置痕。
255		SF01 2室 No.097	床面直上	ワトチ	(9.8)	1.0	-	指オサエ→ナデ	指オサエ→ナデ	密 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR6/6	橙5YR6/6	2／8	上面:陶器設置痕。
256		SF01 2室 No.066	床面直上	ワトチ	12.0	0.6	-	ナデ	ナデ	密 (長石・石英)細・少	良好・ガラス化なし	浅黄橙7.5YR8/6	浅黄橙7.5YR8/6	1／8	上面:陶器設置痕。
257		SF01 2室 No.043	床面直上	ワトチ	(14.0)	1.5	-	指オサエ→ナデ	指オサエ→ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少	良好・ガラス化なし	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	1／8	上面:陶器設置痕。
258		SF01 2室 No.087	床面直上	ワトチ	11.2	1.3	-	ナデ	ナデ・指オサエ	やや粗 (長石)細・普 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい橙7.5YR6/4	にぶい橙7.5YR6/4	1／8	上面:陶器設置痕。
259		SF01 2室 No.094	床面直上	ワトチ	-	1.2	-	ナデ・指オサエ	ナデ	やや粗 (長石)細・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	破片	上面:陶器設置痕。
260		SF01 2室 No.075	床面直上	ワトチ	-	1.5	-	指ナデ	指ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙2.5YR7/8	橙5YR7/8	破片	上面:方形陶器設置痕。
261		SF01 2室 No.059	床面直上	燃料投入口	11.2	7.7	7.0	指オサエ→板ナデ	ナデ	やや粗 (黒色粒子)細・少	良好	暗オリーブ7.5Y4/3	橙7.5YR7/6	破片	
262		SF01 2室 No.202	床面直上	燃料投入口	19.6	6.2	7.6	指ナデ・板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普	良好	暗オリーブ5Y4/3	橙7.5YR7/6	破片	推定口径9cm。
263		SF01 2室 No.201	床面直上	燃料投入口	21.3	10.4	16.8	指オサエ→板ナデ	木槌痕→板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多	良好	褐灰7.5YR4/1	にぶい橙7.5YR7/4	破片	推定口径13cm。
266		SF01 2室(西)	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	36.6	-	-	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)1～2cm大・少	良好	灰褐7.5YR4/2	にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:離れ砂付着。
267		SF01 2室 No.076	堆積土	ワトチ	(7.0)	1.0	-	指ナデ	指ナデ	密 (長石)微・少 (角閃石)微・少	良好・ガラス化なし	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	1／8	上面:陶器設置痕。
268		SF01 2室(西)	堆積土	詰め具	9.3	4.2	5.6	指オサエ	／	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)細・普	良好	褐7.5YR4/3	にぶい褐7.5YR5/3	ほぼ完存	サヤ鉢間接合用？。サヤ鉢転用。左側:3条の帯状圧痕。右側:曲面。
281		SF01 3室 No.025	床面直上	サヤ鉢(小)・(空気孔)	15.2	14.2	15.8	回転ナデ・ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	褐7.5YR4/4	にぶい褐7.5YR6/3	2／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。底部内面:モミガラ付着。
282		SF01 3室(南西)	床面(砂床)付近	サヤ鉢(小)	16.5	14.0	18.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)粗・多	良好	暗赤褐2.5YR3/3	灰赤2.5YR4/2	口縁部3／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:粘土塊付着。
283		SF01 3室 No.112	床面直上	サヤ鉢(小)	14.5	14.5	15.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙5YR6/3	2／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部内面:モミガラ付着。
284		SF01 3室 No.003・No.017	床面直上	サヤ鉢(小)	16.6	14.5	16.2	回転ナデ・ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐2.5YR4/4	橙5YR6/4	口縁部2／8	体部外面:サヤ鉢間粘土塊付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
285		SF01 3室	床面付近	サヤ鉢(小)	16.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	暗褐7.5YR3/3	橙2.5YR6/6	体部2／8	口縁部上端:サヤ鉢接合粘土付着。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
286		SF01 3室 No.017・No.020	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	21.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	灰白N7/	口縁部1／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
287		SF01 3室 No.182	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	25.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	明褐7.5YR5/6	にぶい橙7.5YR6/4	破片	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
288		SF01 3室	床面付近	サヤ鉢(大)・(抉り)	22.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・稀 (金雲母)微・少	良好	明赤褐5YR5/6	灰5Y6/1	口縁部1／8	
289		SF01 3室 No.155	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	21.1	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	暗褐7.5YR3/3	灰褐7.5YR6/2	口縁部破片	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
290		SF01 3室 No.321	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	32.0	16.4	28.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	(長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)粗・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	橙5YR7/6	破片	焼け歪み。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (3)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
291		SF01 3室 №063・燃焼室東西ベルト(東)・1室 北部樹根	床面直上	サヤ鉢(大)	22.0	17.1	22.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	オリーブ灰10Y5/2	にぶい黄橙10YR6/3	1／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
292		SF01 3室 №002	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	-	横ナデ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐7.5YR3/2	にぶい橙7.5YR7/4	破片	口縁部上端:サヤ鉢接合粘土付着。
293		SF01 3室 №196	床面直上	敷き板(台)	11.2	10.7	4.4	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)中・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	橙5YR6/6	破片	上面:陶器・窯道具痕1。
294		SF01 3室 №301	床面直上	敷き板(台)	10.7	11.1	4.3	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐2.5YR4/3	にぶい赤褐5YR5/4	破片	上面:サヤ鉢設置痕?。下面:陶器・窯道具痕1。
295		SF01 3室 №189	床面直上	敷き板(台)	13.4	12.6	3.5	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・普	良好	暗赤褐5YR3/2	にぶい橙7.5YR7/4	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕1、粘土塊付着。下面:陶器・窯道具痕1。
296		SF01 3室 №323	床面直上	敷き板(台)	13.1	11.7	3.8	板ナデ	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)1cm・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐7.5YR3/2	橙7.5YR6/6	破片	上下面左端:敷き板設置痕。
297		SF01 3室	床面付近	敷き板(台)	13.7	11.9	3.9	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)中・普	良好	オリーブ5Y5/4	オリーブ5Y5/4	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:ワトチ痕1。
298		SF01 3室奥壁沿い敷き板列№01	床面直上	敷き板(台)	11.8	12.0	3.5	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)1cm・少 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐5YR3/1	橙5YR7/6	破片	上下面左端:敷き板設置痕、陶器・窯道具痕1。
299		SF01 3室奥壁沿い敷き板列№02	床面直上	敷き板(台)	16.3	12.2	4.1	ナデ	ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・普 (長石・石英)細・少 (砂岩)粗・少	良好	灰N4/	浅黄橙10YR8/4	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕3。
300		SF01 3室奥壁沿い敷き板列№03	床面直上	敷き板(台)	8.7	12.3	4.2	ナデ	ナデ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)1～2cm・少	良好	灰褐5YR5/2	にぶい橙7.5YR7/4	破片	上下面右端:敷き板設置痕。
301		SF01 3室・№090・№103	床面直上	敷き板(台)	16.3	12.4	3.9	板ナデ	板ナデ	やや粗 (花崗岩)1cm・少 (長石・石英)粗・普	良好	褐灰5YR4/1	浅黄橙7.5YR8/6	破片	上面右端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕1。
302		SF01 3室 №308	床面直上	敷き板(台)	13.8	12.2	3.8	ナデ	ナデ	密 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐10YR3/2	橙2.5YR6/6	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕2。
303		SF01 3室 №023	床面直上	敷き板	8.5	11.6	4.2	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・少 (金雲母)微・少 (砂岩)粗・少	良好	灰褐7.5YR4/2	にぶい橙7.5YR6/4	破片	
304		SF01 3室・№029	床面付近・床面直上	敷き板(台)	12.5	14.7	3.6	板ナデ	板ナデ	粗 (石英)中・普 (角閃石)細・少 (砂岩)粗・多	良好	黒褐7.5YR4/2	橙5YR6/6	破片	上面:陶器・窯道具痕2。
305		SF01 3室 №186	床面直上	敷き板	12.7	12.3	3.8	板ナデ	指オサエ	やや粗 (花崗岩)粗・普 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	褐灰10YR4/1	橙5YR7/6	破片	上面下端:粘土塊付着。
306		SF01 3室奥壁沿い敷き板列№03	床面直上	敷き板	11.0	7.4	4.0	ナデ	ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・少 (砂岩)1～2cm・稀	良好	黒褐7.5YR3/1	浅黄橙7.5YR8/4	破片	
307		SF01 3室 №191	床面直上	敷き板(台)	13.0	14.7	3.7	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	暗褐7.5YR3/3	にぶい橙7.5YR7/4	破片	上面:粘土塊付着。下面:ワトチ痕、サヤ鉢設置痕1。
308	11・12	SF01 3室 №168	床面直上	敷き板(支柱)	17.5	11.3	4.5	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	褐7.5YR4/3	にぶい黄橙10YR7/4	ほぼ完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
309		SF01 3室 №302	床面直上	焼き台	7.2	2.2	7.2	回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい黄橙10YR6/4	灰白5Y7/1	4／8	
310		SF01 3室 №056	床面直上	ドーナツ状焼き台	7.6	1.7	8.4	指オサエ・ナデ	ナデ	密 (長石)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	褐灰7.5YR4/1	にぶい褐7.5YR6/3	4／8	下面:ピン痕3。
311	47	SF01 3室	床面付近	ワトチ	8.6	1.3	-	指ナデ→指オサエ	指ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少	良好・ガラス化なし	橙2.5YR6/6	橙2.5YR6/6	6／8	上面:陶器設置痕。
312		SF01 3室	床面付近	ワトチ	9.8	0.7	-	指ナデ	指ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR6/6	橙5YR6/6	2／8	上面:陶器設置痕。
313		SF01 3室 №015	床面直上	ワトチ	(9.0)	1.6	-	指オサエ→指ナデ	指オサエ→指ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR6/6	橙5YR6/6	破片	上面:陶器設置痕。縁辺部:指オサエが顕著。
314		SF01 3室 №072	床面直上	ワトチ	4.9	0.9	-	指ナデ・ナデ	指ナデ	密 (長石)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR6/6	橙5YR6/6	3／8	上面:陶器設置痕。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (4)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
315		SF01 3室	床面付近	ワトチ	6.0	0.7	-	ナデ・指オサエ	ナデ・指オサエ	密 (長石)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR6/6	橙 2.5YR6/6	2／8	上面:陶器設置痕。
316		SF01 3室 No.034	床面直上	ワトチ	-	0.8	-	指オサエ→ナデ	指オサエ→ナデ	密 (長石)細・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい赤褐5YR5/4	破片	上面:陶器設置痕。
317		SF01 3室	床面付近	ワトチ	11.0	1.0	-	指オサエ→指ナデ	指オサエ→指ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR6/6	浅黄橙 7.5YR8/6	3／8	上面:陶器設置痕。
318	47	SF01 3室	床面付近	ワトチ	10.6	1.6	-	指オサエ→指ナデ	指オサエ→指ナデ	やや粗 (長石)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR6/6	橙 2.5YR6/6	破片	上面:鍋or土瓶設置痕。(三足痕跡あり)
319		SF01 3室	床面付近	ワトチ	5.4	1.3	-	指ナデ→指オサエ	指ナデ→指オサエ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR6/6	橙 2.5YR6/6	2／8	上面:陶器設置痕。
320		SF01 3室	床面付近	ワトチ	9.2	0.6	-	ナデ	ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	橙5YR6/6	橙5YR6/6	2／8	上面:陶器設置痕。
321		SF01 3室 No.304	床面直上	ワトチ	10.4	2.3	-	指ナデ・指オサエ	指ナデ・指オサエ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上面:サヤ鉢設置痕。(サヤ鉢接合粘土)
322		SF01 3室 No.054	床面直上	ワトチ	5.6	2.3	-	指オサエ→指ナデ	指オサエ→指ナデ	やや粗 (長石)細・少 (褐色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR6/6	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上下面:サヤ鉢設置痕。(サヤ鉢接合粘土)
323		SF01 3室	床面付近	トチン	8.8	-	-	指ナデ・指オサエ	／	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	橙 2.5YR6/6	橙 2.5YR7/8	上面部 3／8	
324		SF01 3室 No.024	床面直上	トチン	-	8.5	8.7	指オサエ・ナデ	／	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好	明赤褐 2.5YR5/6	橙 2.5YR7/6	破片	脚部下端:被熱による赤化なし。
325		SF01 3室 No.157	床面直上	詰め具	12.8	8.8	8.7	指オサエ	／	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・少	良好	暗オリーブ5Y4/3	にぶい黄橙 10YR6/3	底部1／8	サヤ鉢転用。底部外面:砂利圧痕のある粘土塊付着。
326		SF01 3室 No.309	床面直上	詰め具	11.7	11.2	2.5	指オサエ	／	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	橙5YR7/6	破片	サヤ鉢転用。上下端:粘土塊付着。
327		SF01 3室	床面付近	詰め具	7.2	11.5	3.3	指オサエ	／	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好	暗赤褐 2.5YR3/4	にぶい赤褐 2.5YR5/4	破片	サヤ鉢転用。左側粘土塊:平坦面。右側粘土塊:曲面。
328		SF01 3室 No.080	床面直上	詰め具	11.9	9.1	2.6	ナデ	ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (砂岩)1cm・少 (黒色粒子)細・少	良好	褐灰 5YR4/1	橙 7.5YR7/6	破片	平瓦転用。上面/左右側面:粘土付着。(上面:敷き板設置痕?)
329		SF01 3室 No.102	床面直上	詰め具	8.4	7.0	3.4	／	／	やや粗 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい赤褐 2.5YR5/4	破片	平瓦転用。上下面/左右側面:粘土付着。
330		SF01 3室 No.323	床面直上	燃料投入口	15.7	5.7	7.0	板ナデ	指オサエ・指ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普	良好	暗オリーブ5Y4/4	／	破片	推定口径7.5cm。
331		SF01 3室 No.021	床面直上	燃料投入口	16.8	6.9	8.0	指オサエ→指ナデ・板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多	良好	灰褐 5YR4/2	／	破片	推定口径9cm。
332		SF01 3室 No.310	床面直上	燃料投入口	18.6	8.3	8.0	指ナデ・木槌痕	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普	良好	灰オリーブ5Y4/2	／	破片	
336		SF01 3室(東)	堆積土	ワトチ	8.5	1.5	-	指ナデ→指オサエ	指ナデ→指オサエ	やや粗 (長石・石英)細・少 (角閃石)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR6/6	橙5YR6/6	3／8	上面:鍋or土瓶設置痕。(三足痕跡あり)
364		SF01 4室 No.109・No.110	床面直上	サヤ鉢(大)・(空気孔)	24.1	15.2	25.4	回転ナデ・ヘラケズリ・ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ・指オサエ・指ナデ	やや粗 (長石・石英)細・多 (黒色粒子)細・普	良好	暗オリーブ5Y4/3	橙 7.5YR7/6	2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
365		SF01 4室 No.112	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	24.0	-	-	回転ナデ	指オサエ→板ナデ→回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい赤褐 2.5YR4/3	口縁部 1／8	
366		SF01 4室 砂床	床面付近	サヤ鉢(大)	-	-	-	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)粗・少	良好	暗赤褐 5YR3/2	にぶい橙 5YR6/4	底部1／8	
367		SF01 4室 No.212	床面直上	サヤ鉢(浅)	29.6	7.0	29.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙 2.5YR7/8	橙5YR7/6	1／8	底部外面:離れ砂付着。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (5)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
368		SF01 4室 №091・№095	床面直上	敷き板(台)	10.1	11.3	4.3	ナデ・板ナデ	ナデ・板ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 10YR3/2	灰黄褐 10YR6/2	破片	上面:粘土塊付着。
369		SF01 4室 №098	床面直上	敷き板(台)	12.9	14.1	3.3	ナデ	ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	にぶい橙 5YR6/4	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕4、粘土塊付着。下面:陶器・窯道具痕3。
370		SF01 4室 №209	床面直上	敷き板(台)	14.4	14.2	3.4	板ナデ	板ナデ・指オサエ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 5YR2/1	にぶい褐 7.5YR6/3	破片	上面:ワトチ1、陶器・窯道具痕3。下面:陶器・窯道具痕1、粘土塊付着。
371		SF01 4室 №100・№101	床面直上	敷き板(台)	15.6	14.0	3.3	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・多 (金雲母)微・少	良好	黒褐 7.5YR2/2	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上面:サヤ鉢設置痕、粘土塊付着。下面:陶器・窯道具痕1。
372		SF01 4室 №099	床面直上	敷き板(台)	15.5	13.0	3.8	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐 7.5YR2/2	にぶい黄橙 10YR6/3	破片	上面:粘土塊付着。下面:陶器・窯道具痕2、粘土付着痕。
373		SF01 4室 №097	床面直上	敷き板(台)	12.2	12.5	3.2	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 5YR3/1	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上面:粘土塊付着、陶器・窯道具痕1。下面:陶器・窯道具痕1、木槌痕。
374		SF01 4室 №207・№208	床面直上	敷き板(台)	13.5	10.2	3.0	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・少	良好	暗赤褐 5YR3/2	にぶい褐 7.5YR6/3	破片	上下面:陶器・窯道具痕1、粘土塊付着。
375		SF01 4室 №024	床面直上	敷き板(台)	12.9	10.3	3.3	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普	良好	黒 7.5YR2/1	褐灰 7.5YR5/1	破片	上面:陶器・窯道具痕1、粘土塊付着。下面:陶器・窯道具痕?。
376		SF01 4室 №114	床面直上	敷き板(台)	9.8	8.9	3.3	ナデ	ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)中・少 (金雲母)微・少	良好	黒褐 5YR2/2	にぶい赤褐5YR5/4	破片	上面:碗底部片付着。釉色調:オリーブ黄5Y6/3
377		SF01 4室 №103	床面直上	敷き板(台)	12.8	9.6	3.0	板ナデ	板ナデ・ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	上面:粘土塊付着。下面:上面より強い被熱。
378		SF01 4室 №214	床面直上	敷き板(台)	8.6	7.2	3.7	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・少	良好	黒 7.5YR2/1	にぶい褐 7.5YR6/3	破片	上下面右端:敷き板設置痕。
379		SF01 4室 №092・№093	床面直上	敷き板(支柱)	16.6	11.3	3.8	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	橙 2.5YR6/6	ほぼ完存	左右面上下端:敷き板設置痕。左図に釉付着。(鍋口縁部の接触痕跡か?)
380		SF01 4室 №094・№095	床面直上	敷き板(支柱)	13.0	11.6	3.8	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	灰褐 7.5YR4/2	破片	左右面上端:敷き板設置痕。右面:粘土塊付着、粘土付着痕。
381		SF01 4室 №098	床面直上	ワトチ	9.6	0.7	-	指オサエ→ナデ	指オサエ→ナデ	密 (長石)微・普 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR7/8	橙 2.5YR7/8	5/8	上面:鍋or土瓶設置痕。(三足痕跡あり)
382		SF01 4室 №034	床面直上	ワトチ	8.2	0.9	-	ナデ・指ナデ・指オサエ	ナデ・指ナデ・指オサエ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	橙5YR7/6	3/8	上面:陶器設置痕。
383		SF01 4室 №044	床面直上	ワトチ	6.1	1.1	-	ナデ・指ナデ・指オサエ	ナデ・指ナデ・指オサエ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR7/2	3/8	上面:陶器底部設置痕。下面:陶器口縁部設置痕。
384		SF01 4室 №065	床面直上	ワトチ	6.0	0.7	-	ナデ・指ナデ・指オサエ	ナデ・指ナデ・指オサエ	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子) 微・少	良好・ガラス化なし	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	2/8	上面:陶器設置痕。
385		SF01 4室 №124	床面直上	ワトチ	10.0	0.9	-	指ナデ・指オサエ	指ナデ・指オサエ	密 (長石)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/4	1/8	上面:陶器設置痕。下面:土瓶口縁部付着。
386		SF01 4室 №104	床面直上	ワトチ	10.0	0.8	-	ナデ	ナデ	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	1/8	上面:陶器設置痕。下面:土瓶口縁部付着。
387		SF01 4室 №121	床面直上	トチン	-	-	8.2	指オサエ	/	やや粗 (花崗岩)中・少 (長石・石英)細・普	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	
388		SF01 4室 №053	床面直上	トチン	-	-	9.4	ナデ・指オサエ	/	やや粗 (花崗岩)中・少 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少	良好	暗褐 7.5YR3/3	橙5YR6/6	破片	下端部:被熱弱。
389		SF01 4室 №052・№063	床面直上	トチン	8.8	18.0	9.1	指オサエ→ナデ	/	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい橙 5YR6/4	ほぼ完存	上下面:離れ砂付着。
390		SF01 4室(西)	床面直上	焼き台	7.7	2.5	10.6	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (角閃石)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい橙 7.5YR6/4	3/8	上面:遺物設置痕。
391		SF01 4室 №206	床面直上	焼き台	8.9	2.3	10.8	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・普	良好・ガラス化なし	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい赤褐5YR5/3	3/8	下面:ピン痕5。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表(6)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
392	48	SF01 4室 No.202	床面直上	焼き台	9.1	2.2	10.5	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	4／8	上面:遺物設置痕。下面:ピン痕7。
393	48	SF01 4室(東)・No.090	堆積土・床面直上	ドーナツ状焼き台	9.1	1.7	8.1	指オサエ→板ナデ	指オサエ→ナデ	密 (長石・石英)粗・稀 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい赤褐 2.5YR4/3	／	完存	上下面:陶器設置痕。
394		SF01 4室	床直付近	ドーナツ状焼き台	9.8	1.6	8.3	板ナデ・ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・普	良好・ガラス化なし	灰褐 5YR4/2	／	完存	上面:遺物設置痕。(鍋or土瓶底部に伴う凹みもつ)下面:粘土塊付着、遺物設置痕。
398	13	SF01 4室床直No.20	床面直上	トンバイ	16.7	14.0	13.8	指オサエ・板ナデ	指オサエ・板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	暗赤褐 5YR3/2	淡橙 5YR8/4	ほぼ完存	上面:陶器・窯道具痕1。左側面:陶器・窯道具痕1。
399		SF01 4室床直No.22	床面直上	トンバイ	17.0	14.4	15.3	指オサエ・板ナデ	指オサエ・板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	灰白 2.5Y8/2	にぶい橙 5YR6/4	ほぼ完存	上面:陶器・窯道具痕1。右側面:粘土塊付着。
400		SF01 4室南西部床直トンバイ群No.5	床面直上	トンバイ	15.5	13.9	17.5	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	暗赤褐 2.5YR3/2	淡橙 5YR8/4	完存	上面:陶器・窯道具痕。上面/前面:粘土塊付着。
401		SF01 4室南西部床直トンバイ群No.3	床面直上	トンバイ	16.9	14.7	14.0	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	暗赤褐 2.5YR3/2	にぶい橙 7.5YR7/4	ほぼ完存	上面:陶器・窯道具痕。前面/左面/下面:粘土塊付着。
402		SF01 4室(西)	床面直上	レンガ	19.1	12.6	9.6	板ナデ	板ナデ・指オサエ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)1cm・少 (黒色粒子)粗・少	良好	灰オリーブ5Y4/2	にぶい橙 5YR6/4	破片	下面:粘土塊付着。
432	49	SF01 4室 No.057・東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(小)	16.7	12.8	17.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・普 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい褐 7.5YR5/3	褐灰 10YR6/1	底部4／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:サヤ鉢設置痕、離れ砂(らせん状)付着。底部内面:陶器片、モミガラ付着。
433		SF01 4室 東西ベルト(東)	堆積土	サヤ鉢(小)	-	-	17.4	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)粗・少	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい褐 7.5YR5/3	底部3／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:モミガラ付着。
434		SF01 4室 No.008	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	22.8	16.7	25.2	回転ナデ・ヘラケズリ・回転糸切り→回転ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	粗 (花崗岩)粗・多 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい橙 7.5YR7/4	暗オリーブ5Y4/3	底部4／8	焼け歪み。底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:陶器・窯道具痕。
435		SF01 4室 東西ベルト(西)	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	22.4	16.0	23.6	回転ナデ・指オサエ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)粗・少	良好	黒褐 10YR3/1	灰褐 7.5YR5/2	口縁部 2／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:離れ砂付着。体部内面:粘土塊付着。
436		SF01 4室(東)・B2・B1	堆積土	サヤ鉢(大)	23.0	15.8	24.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・普 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい赤褐5YR4/3	浅黄橙 7.5YR8/4	底部5／8	口縁部上端:サヤ鉢接合粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕、土瓶蓋付着。
437		SF01 4室 No.032	堆積土	サヤ鉢(大or中)	-	-	24.6	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ・指ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい褐 7.5YR6/3	底部1／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
438		SF01 4室(北西)	堆積土	サヤ鉢(大or中)	-	-	27.0	回転ナデ・板目状圧痕	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 5YR2/1	にぶい橙 5YR6/4	底部破片	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:粘土塊付着。
439		SF01 4室(北西)	堆積土	ワトチ	9.7	1.0	-	指オサエ・指ナデ	指オサエ・指ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	橙5YR7/6	4／8	
440		SF01 4室 東西トレンチ(東)	堆積土	トチン	-	-	7.6	ナデ・指オサエ	／	密 (花崗岩)粗・稀 (長石・石英)細・少 (シャーモット)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR6/4	橙 7.5YR7/6	破片	
441		SF01 4室 No.077	堆積土	トチン	7.7	-	-	指オサエ→板ナデ	／	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	暗褐 7.5YR3/4	橙 2.5YR6/6	破片	上面部:離れ砂付着。
442		SF01 4室(北西)	堆積土	敷き板(台)	10.2	11.5	3.5	ナデ	ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少	良好	暗赤褐 2.5YR3/2	橙 2.5YR6/6	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面/左側面:粘土塊付着。
443		SF01 4室(北西)	堆積土	敷き板(台)	11.7	11.7	4.0	ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	灰赤 2.5YR4/2	にぶい赤褐 2.5YR5/4	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:ワトチ片付着。
444		SF01 4室 南北ベルト	堆積土	敷き板(台)	12.5	11.6	3.8	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)1～2cm・稀 (黒色粒子)粗・少	良好	暗赤褐 5YR3/2	にぶい赤褐5YR5/3	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:行平鍋口縁部片付着、陶器・窯道具痕2、粘土塊付着。
445		SF01 4室(北東)	堆積土	敷き板(台)	11.2	14.8	3.6	板ナデ(ハケ目状)	板ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (砂岩)1～3cm・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 2.5YR6/4	破片	上面:粘土塊付着。下面:ワトチ痕1。
446		SF01 4室(南西)	堆積土	敷き板(台)	14.0	15.2	3.2	板ナデ	板ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・多 (黒色粒子)粗・少	良好	黒 7.5YR2/1	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	上面:ワトチ付着、陶器・窯道具痕2。下面:陶器・窯道具痕3。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (7)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
447	49	SF01 4室(北東)	堆積土	焼き台	8.2	2.2	10.4	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄橙 10YR7/3	4／8	上面:陶器設置痕。下面:ピン痕7。
448		SF01 4室 東西ベルト(東)	堆積土	焼き台	7.5	2.3	9.8	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)細・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい赤褐 2.5YR5/4	浅黄橙 10YR8/4	3／8	下面:ピン痕1。
449		SF01 4室(南西)	堆積土	焼き台	8.4	2.5	11.0	回転ヘラケズリ・ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい橙 5YR6/4	3／8	上面:遺物片付着。下面:ピン痕5。
450		SF01 4室 奥壁沿い	堆積土	ドーナツ状焼き台	9.9	1.8	8.1	指ナデ・ヘラケズリ・ナデ	指ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい赤褐 2.5YR4/3	／	完存	
451		SF01 4室(南西)	堆積土	ピン	1.2	1.0	－	指オサエ	ナデ	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR7/8	／	完存	
452		SF01 4室(南西)	堆積土	ピン	1.0	0.8	－	指ナデ	／	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・ガラス化なし	橙 2.5YR6/6	／	ほぼ完存	
453		SF01 4室(南西)	堆積土	ピン	1.0	1.0	－	指ナデ	／	密 (金雲母)微・普 (赤色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	浅黄橙 7.5YR8/4	／	完存	
454		SF01 4室(南西)	堆積土	ピン	1.3	1.2	－	指ナデ	／	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	／	完存	
455		SF01 4室(南西)	堆積土	ピン	1.2	1.3	－	指オサエ	ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	浅黄橙 7.5YR8/6	／	ほぼ完存	
456		SF01 4室(南西)	堆積土	ピン	1.4	1.3	－	指オサエ	／	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR6/6	／	ほぼ完存	
457		SF01 4室(南西)	堆積土	ピン	1.4	1.8	－	指ナデ	／	密 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	／	ほぼ完存	
458		SF01 4室(南西)	堆積土	ピン	1.8	1.9	－	指ナデ	／	密 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい橙 7.5YR7/4	／	ほぼ完存	
466		SF01 5室 火床 No.032	床面直上	サヤ鉢(小)	17.8	－	－	回転ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)2cm大・稀 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・普	良好	暗褐 7.5YR3/3	褐灰 10YR6/1	口縁部破片	
467		SF01 5室 火床 No.020	床面直上	サヤ鉢(中)・(穿孔)	24.0	10.4	23.1	回転ナデ・回転ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)細・少 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部3／8	内面:黄褐色粘土付着。
468		SF01 5室 火床No.014・火床No.023	床面直上	サヤ鉢(中)・(穿孔)	23.4	10.4	22.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普	良好・素焼き	橙5YR6/6	にぶい橙 7.5YR7/4	1／8	体部:穿孔を塞ぐ。内外面:黄褐色粘土付着。
469		SF01 5室 火床No.013・火床No.017・火床No.018	床面直上	サヤ鉢(中)・(穿孔)	23.0	10.2	22.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)中・少 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	口縁部 5／8	内外面:黄褐色粘土付着。
470		SF01 5室 火床 No.001	床面直上	サヤ鉢(中)・(穿孔)	26.8	12.3	25.8	回転ナデ・ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	1／8	
471		SF01 5室(西)サヤ鉢だまり・No.025	床面直上	サヤ鉢(中)	24.6	10.5	22.4	回転ナデ・回転ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	口縁部 2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕？。内面:黄褐色粘土付着。
472		SF01 5室(西)サヤ鉢だまり	床面直上	サヤ鉢(中)	(21.0)	10.5	(21.0)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普 (金雲母)細・少 (黒色粒子)中・普	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	内面:黄褐色粘土付着。
473		SF01 5室 火床 No.243	床面直上	サヤ鉢(大)	26.1	14.8	22.8	回転ナデ・回転ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	黒褐 7.5YR3/2	底部2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
474		SF01 5室 南北ベルト・火床(東)	堆積土・床面直上	サヤ鉢(大)	28.6	15.9	24.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	にぶい黄橙 10YR7/3	1／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
475		SF01 5室 火床 No.024	床面直上	サヤ鉢(大or中)	－	－	－	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・稀	良好	褐灰 5YR4/1	褐灰 5YR4/1	底部3／8	底部外面:粘土塊付着。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (8)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
476		SF01 5室 火床(東)	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	25.0	17.8	22.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・少 (砂岩)1cm大・少 (雲母)微・少	良好	褐灰 10YR4/1	褐灰 10YR4/1	1／8	
477		SF01 5室 火床 No.246	床面直上	サヤ鉢(大)・(抉り)	26.0	15.8	25.0	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)粗・稀 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐 7.5YR3/1	にぶい橙 7.5YR6/4	底部1／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
478		SF01 5室 火床 No.012	床面直上	サヤ鉢(大or中)・(穿孔)	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・普	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/6	橙5YR7/6	口縁部破片	
479		SF01 5室 火床 No.014	床面直上	サヤ鉢(台形)	31.6	9.9	19.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部破片	外面:黄褐色粘土付着。
480		SF01 5室(北西)・火床(東)サヤ鉢だまり	堆積土・床面直上	サヤ鉢(台形)	24.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	普通・素焼き	灰褐 7.5YR5/2	橙5YR7/6	口縁部3／8	内外面:黄褐色粘土付着。
481		SF01 5室 火床No.002・火床No.009・火床No.015・火床No.019	床面直上	サヤ鉢(台形)	-	-	15.6	回転ナデ・回転ヘラケズリ→ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR7/4	底部3／8	内面:黄褐色粘土付着。
482		SF01 5室 火床 No.005	床面直上	粘土塊	6.6	3.2	2.4	指オサエ	／	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	橙5YR7/6		完存	
483		SF01 5室 No.031	床面直上	敷き板(台)	14.8	16.4	3.7	板ナデ・指オサエ	板ナデ・指オサエ	密 (長石・石英)中・少 (砂岩)粗・少 (金雲母)細・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい橙 2.5YR6/4	破片	上面:陶器・窯道具痕2。下面:「A`」ヘラ記号。
490		SF01 5室 No.238	床面直上	サヤ鉢(小)	16.0	13.6	18.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (花崗岩)中・少 (長石)細・少 (砂岩)粗・少 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部1／8	
491		SF01 5室(西)・砂床・No.022・No.023	堆積土・床面直上	サヤ鉢(中)・(穿孔)	21.4	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR6/4	浅黄橙 10YR8/4	口縁部3／8	体部内面:黄褐色粘土付着。
492	13	SF01 5室(西) ・南北ベルト・No.021・No.022・No.023	床面付近・堆積土・床面直上	サヤ鉢(中)・(穿孔)	22.8	9.8	22.2	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	ほぼ完存	体部:穿孔2。(貫通1、貫通後塞いだもの1)
493		SF01 5室 火床No.006・火床No.022	床面直上	サヤ鉢(中)・(穿孔)	23.0	10.4	21.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙 7.5YR7/6	浅黄橙 7.5YR8/6	底部2／8	口縁部上端/内面:黄褐色粘土付着。
494		SF01 5室 砂床	床面付近	サヤ鉢(中)・(穿孔)	28.8	10.6	28.1	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・普 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	内面:黄褐色粘土付着。
495		SF01 5室(東)・(南東)・No.049・No.052	堆積土・床面直上	サヤ鉢(中)	26.8	12.6	26.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR6/4	口縁部2／8	
496		SF01 5室 No.229	床面直上	サヤ鉢	-	-	22.0	回転ナデ・板ナデ	／	密 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	浅黄橙 10YR8/4	橙5YR7/6	底部1／8	底部内面:粘土付着。
497		SF01 5室 No.048	床面直上	敷き板(台)	18.4	10.2	5.2	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (砂岩)粗・少	良好	極暗赤褐 2.5YR2/3	にぶい橙 7.5YR7/4	完存	上面:陶器・窯道具痕4。下面:サヤ鉢口縁部片付着、サヤ鉢設置痕。
498		SF01 5室 No.062	床面直上	敷き板(台)	7.8	10.5	3.3	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・普	良好	暗赤褐 5YR3/2	灰褐 7.5YR4/2	破片	上面:陶器・窯道具痕2。下面:陶器・窯道具痕1。
499		SF01 5室 No.053・No.230	床面直上	敷き板 (支柱)	11.2	8.3	3.2	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	橙5YR6/6	破片	上面右端/前面:敷き板設置痕。後面:粘土塊付着。
500		SF01 5室 No.004・No.204	床面直上	敷き板(台)	16.6	11.6	4.7	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	／	完存	上面:サヤ鉢設置痕。上面右端:粘土塊付着。
501		SF01 5室 No.038	床面直上	敷き板(台)	17.1	11.9	3.8	指オサエ	板ナデ・指オサエ	粗 (砂岩)粗・普	良好	黄褐 2.5Y5/3	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	上面左端:敷き板設置痕、敷き板片付着。下面左端:敷き板設置痕。上面:ワトチ片付着。
502		SF01 5室 No.033	床面直上	敷き板(台)	18.4	12.0	3.9	板ナデ・指オサエ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (砂岩)1～2cm・少	良好	黒褐 7.5YR3/1	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上面:陶器・窯道具痕1。下面:陶器・窯道具痕1。上面右端:敷き板設置痕。
503		SF01 5室 No.041・No.201	床面直上	敷き板(台)	15.9	11.6	4.5	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい褐 7.5YR5/3	浅黄橙 10YR8/3	破片	上下面右端:敷き板設置痕。下面:陶器・窯道具痕2。上面右端:粘土内にサヤ鉢片付着。
504		SF01 5室 No.046	床面直上	敷き板(台)	14.7	12.1	3.8	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)1～2cm・少 (黒色粒子)細・普	良好	暗赤褐 5YR3/2	橙5YR7/6	破片	上面:陶器・窯道具痕3。上面右端:敷き板設置痕
505		SF01 5室(東)・No.039	床面付近・床面直上	敷き板(台)	16.0	11.7	3.6	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	上面:陶器・窯道具痕1。上下面右端:敷き板設置痕。
506		SF01 5室 No.232	床面直上	敷き板(台)	13.9	12.3	4.0	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・少 (砂岩)粗・少	良好	灰褐 5YR4/2	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	上面:陶器・窯道具痕2。下面左端:敷き板設置痕。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (9)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
507		SF01 5室 No.241	床面直上	敷き板(台)	16.4	11.4	3.0	指オサエ・板ナデ	指オサエ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	オリーブ灰 2.5GY5/1	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	上面:ワトチ片付着、碗口縁部片?付着。下面:陶器・窯道具痕2。
508		SF01 5室 No.236・No.237	床面直上	敷き板(台)	16.5	12.0	4.0	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普	良好	褐灰 10YR4/1	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上下面左端:敷き板設置痕。下面:陶器・窯道具痕1。
509		SF01 5室 火床 No.016	床面直上	敷き板(台)	10.7	12.2	3.9	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (砂岩)1cm大・稀 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	橙5YR7/6	破片	上下面左端:敷き板設置痕。
510		SF01 5室 No.235	床面直上	敷き板(支柱?)	14.2	12.3	3.9	板ナデ	板ナデ・指オサエ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	
511		SF01 5室 No.034	床面直上	敷き板	12.6	12.0	4.4	指オサエ→板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	良好	橙5YR7/6	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	上下面:金雲母付着。(多)
512		SF01 5室 No.012	床面直上	敷き板	14.2	12.2	4.6	板ナデ	板ナデ	密 (花崗岩)1cm大・稀 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	上下面:雲母が多量に付着。
513		SF01 5室(西)	床面付近	敷き板	11.1	12.0	4.4	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	密 (黒色粒子)細・少 (砂岩)粗・少 (金雲母)細・多	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	上下面:雲母が多量に付着。
514		SF01 5室 No.003	床面直上	敷き板	8.6	11.8	3.5	板ナデ	マメツ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)中・少	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
515		SF01 5室 No.032	床面直上	敷き板	16.4	14.5	3.4	板ナデ	板ナデ	(長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい褐 7.5YR5/3	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	
516		SF01 5室 No.239	床面直上	敷き板(台)	18.5	17.0	2.8	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰褐 5YR4/2	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上面:サヤ鉢設置痕。下面:サヤ鉢設置痕1、陶器・窯道具痕1。
517		SF01 5室 No.020・No.211・No.212	床面直上	敷き板(台)	15.2	18.3	3.3	板ナデ・指オサエ	板ナデ・ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・普	良好	褐 7.5YR4/6	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	上面:サヤ鉢設置痕。左下端:土瓶片?付着。
518		SF01 5室 No.220	床面直上	敷き板	18.0	15.0	3.6	指オサエ→板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	完存	上下面:金雲母が多量に付着。
519		SF01 5室(東)・No.054・No.207	堆積土・床面直上	敷き板(台)	26.7	14.5	3.8	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (砂岩)1cm大・少 (黒色粒子)中・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	上面:サヤ鉢設置痕、陶器・窯道具痕1。下面:陶器・窯道具痕1。
520		SF01 5室 No.210	床面直上	敷き板(台?)	20.1	15.8	3.5	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・多 (黒色粒子)微・少	良好	橙 2.5YR7/8	橙 2.5YR7/6	破片	上面:陶器・窯道具痕?1。
521		SF01 5室 No.027	床面直上	敷き板(台?)	17.3	14.1	3.7	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	褐灰 7.5YR5/1	破片	上面:陶器・窯道具痕2。
522		SF01 5室 No.227	床面直上	敷き板(台)	17.1	13.2	3.4	木槌痕→板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐 7.5YR3/1	褐灰 7.5YR4/1	破片	上面:サヤ鉢設置痕、陶器・窯道具痕2。下面:サヤ鉢設置痕、遺物片付着。右側面:陶器片付着。
523		SF01 5室 No.056・No.222・No.231	床面直上	敷き板(台)	14.0	17.5	3.2	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	上面:陶器・窯道具痕2。下面:陶器・窯道具痕1、陶器・窯道具痕?1。
524		SF01 5室 No.029	床面直上	敷き板(台)	17.5	13.5	3.8	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	粗 (砂岩)粗・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/4	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	上面:陶器・窯道具痕2。下面:陶器・窯道具痕1。
525		SF01 5室 No.016	床面直上	敷き板(台)	11.1	13.8	-	板ナデ	剥落	粗 (花崗岩)粗・多 (長石・石英)粗・多	良好	黒褐 5YR3/1	にぶい赤褐 2.5YR5/4	破片	上面:陶器・窯道具痕1。
526		SF01 5室 No.225・No.228	堆積土・床面直上	敷き板(台)	11.1	13.0	2.9	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)細・普 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 5YR6/4	破片	上面右端:敷き板設置痕。上下面:陶器・窯道具痕?1。
527		SF01 5室 東西ﾍﾞﾙﾄ(東)・(東)・No.061	堆積土・床面付近・床面直上	敷き板(台)	10.3	13.4	3.4	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (金雲母)細・普	良好	灰褐 7.5YR4/2	にぶい橙 5YR6/4	破片	上面:陶器・窯道具痕?2。下面:陶器・窯道具痕?2。
528		SF01 5室 No.045・No.219	床面直上	敷き板(台)	32.6	13.0	5.0	ナデ	ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普	良好	暗灰N3/	赤橙 10R6/6	ほぼ完存	上面左端/下面左右端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕1?。
529		SF01 5室 No.024	床面直上	敷き板(支柱)	16.7	11.8	3.7	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 5YR7/4	完存	左右面上下端:敷き板設置痕。上面:遺物片付着。
530	13	SF01 5室 No.205・No.213	床面直上	敷き板(支柱)	16.3	11.1	3.7	板ナデ・指オサエ	板ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい赤褐 2.5YR5/3	ほぼ完存	左右前後面上下端:敷き板設置痕。右面:鍋付着痕2。
531		SF01 5室 No.001・No.002	床面直上	敷き板(支柱)	15.8	11.4	4.2	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 7.5YR6/4	ほぼ完存	上下面:敷き板片付着。左右面上下端:敷き板設置痕。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表(10)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
532		SF01 5室 No.006・No.008	床面直上	敷き板(支柱)	15.9	11.3	3.8	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい橙 5YR6/4	完存	左右面上下端:敷き板設置痕。右面:ワラ?付着。
533		SF01 5室 No.036・No.233	床面直上	敷き板(支柱)	17.5	11.5	4.1	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3		完存	左右面上下端:敷き板設置痕。左面:木槌痕
534	11・13	SF01 5室 No.010	床面直上	敷き板(支柱)	16.2	11.5	4.4	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい黄橙 10YR7/2	ほぼ完存	上面:敷き板を乗せた痕跡。上下面:敷き板設置痕。
535		SF01 5室 No.019	床面直上	敷き板(支柱)	18.0	10.8	5.0	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	浅黄橙 7.5YR8/4	ほぼ完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
536		SF01 5室 No.011	床面直上	敷き板(支柱)	17.0	10.7	4.1	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・多	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	橙 2.5YR6/6	ほぼ完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
537		SF01 5室 No.047	床面直上	敷き板(支柱)	17.7	12.0	4.3	ナデ	ナデ	密 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好	明赤褐 2.5YR3/2	にぶい橙 7.5YR7/3	完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
538		SF01 5室(北西)	堆積土	敷き板(支柱)	17.2	10.9	4.6	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	暗赤褐 5YR3/3	にぶい橙 7.5YR7/3	ほぼ完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
539		SF01 5室 No.208・No.215・No.217・No.218	床面直上	敷き板(支柱)	17.0	11.4	4.1	板ナデ	板ナデ・指オサエ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	浅黄橙 7.5YR8/3	ほぼ完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
540		SF01 5室 No.202・No.203	床面直上	敷き板(支柱)	16.5	11.0	4.2	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 7.5YR7/4	完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
541		SF01 5室(東)・No.040	床面付近・床面直上	敷き板	17.2	11.4	4.0	板ナデ・指オサエ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	橙5YR7/6	ほぼ完存	右面下端:粘土塊付着痕。
542		SF01 5室 No.028	床面直上	敷き板(支柱)	17.5	11.7	4.0	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	密 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい橙 7.5YR7/4	完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
543		SF01 5室 No.018・No.234	床面直上	敷き板(支柱)	16.1	11.8	4.5	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	褐灰 10YR4/1	にぶい黄橙 10YR7/3	ほぼ完存	左右面上下端:敷き板設置痕。上面:敷き板片付着。
544		SF01 5室 No.209	床面直上	敷き板(支柱)	16.1	11.5	4.4	指オサエ→板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (金雲母)細・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい黄橙 10YR7/4	完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
545		SF01 5室 No.005・南北ベルト	床面直上・堆積土	敷き板	17.4	12.4	3.3	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	浅黄橙 7.5YR8/3	完存	左面上下端:粘土塊付着。右面:ごく弱く被熱。
546		SF01 5室 No.043	床面直上	敷き板(構築材)	19.0	11.0	5.4	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好	暗赤褐 5YR3/3	橙5YR7/6	完存	左右面:被熱による赤化。
547		SF01 5室 No.013・No.015	床面直上	敷き板(支柱)	16.8	10.8	4.1	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)微・少	良好	暗赤褐 5YR3/3	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	左右面上下端:粘土塊付着。
548		SF01 5室 No.007	床面直上	敷き板(支柱)	17.9	11.7	3.6	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・稀 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR4/4	橙5YR6/6	破片	左面下端:敷き板設置痕。
549		SF01 5室 No.057・No.059	床面直上	敷き板(支柱)	9.5	11.4	4.0	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	左右面下端:敷き板設置痕。
550		SF01 5室 No.014	床面直上	敷き板(支柱)	7.0	10.9	4.4	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	暗赤褐 2.5YR3/2	にぶい橙 5YR7/4	破片	左右面下端:敷き板設置痕。
551		SF01 5室(西)	床面付近	トチン	−	7.8	7.2	指オサエ→ナデ		密 (長石・石英)中・少 (金雲母)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR6/4	浅黄橙 10YR8/3	破片	
568		SF01 5室(西)・南北ベルト	堆積土	サヤ鉢(小)・(空気孔)	17.0	13.5	17.9	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	1／8	
569		SF01 5室 南北ベルト	堆積土	サヤ鉢(小)	16.6	13.7	16.8	回転ナデ・指オサエ→回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少 (シャーモット)中・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部3／8・底部2／8	
570		SF01 5室(東)	堆積土	サヤ鉢(浅)	25.6	7.0	25.3	回転ナデ・ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい赤褐5YR5/4	浅黄橙 7.5YR8/4	底部1／8	底部外面:離れ砂付着。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表(11)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
571		SF01 5室 東西ﾍﾞﾙﾄ(東)	堆積土	サヤ鉢(大or中)	23.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙 7.5YR7/6	にぶい橙 7.5YR7/4	口縁部 1／8	
572		SF01 5室(東) 西壁付近・(北西)	堆積土	サヤ鉢(大or中)	-	-	23.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部3／8	
573		SF01 5室(東) 西壁付近・(北西)	堆積土	サヤ鉢(台形)	26.0	10.2	15.3	回転ナデ・指オサエ→板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	橙 7.5YR7/6	橙 7.5YR7/6	口縁部 3／8	
574		SF01 5室(北西)	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	27.8	14.7	22.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	にぶい褐 7.5YR5/3	2／8	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
575		SF01 5室(東)	堆積土	敷き板(台)	12.8	12.0	3.7	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕2。
576		SF01 5室(東)	堆積土	トチン	-	-	9.3	指オサエ→板ナデ・指オサエ→横ナデ・ナデ	／	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普	良好	黒褐 7.5YR3/1	にぶい赤褐色 2.5YR5/4	破片	下面:離れ砂付着。
577		SF01 5室(北東)・(南東)・(東)	堆積土	トチン	-	-	10.0	指オサエ→板ナデ	下面)ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)中・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	下面:離れ砂付着。
578		SF01 5室(南西)	堆積土	ワトチ	(6.0)	1.1	-	指オサエ・指ナデ	指ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)細・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	底部が方形の陶器用？
579		SF01 5室 ﾄﾚﾝﾁ	堆積土	焼き台	7.5	2.1	9.3	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・普	良好・ガラス化なし	橙 7.5YR6/6	にぶい黄橙 10YR7/3	4／8	下面:ピン痕2。
584		SF01 煙出し(東)	堆積土	サヤ鉢(大)・(空気孔)	26.7	-	-	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい黄褐 10YR5/4	にぶい黄橙 10YR7/2	口縁部 1／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
601		SF01	堆積土	トチン	-	-	8.1	指オサエ・板ナデ	(下面)ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・普	良好	暗褐 7.5YR3/3	橙 2.5YR6/6	破片	下面:粘土塊付着、離れ砂付着。
602		SF01	堆積土	ドーナツ状焼き台	8.8	1.9	9.8	板ナデ・指オサエ→ナデ	ナデ	密 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	暗赤褐 5YR3/3	明赤褐 2.5YR5/6	4／8	下面:粘土塊付着、ピン痕3。
619	49	SD01 燃焼室横・No.28		サヤ鉢(小)	15.0	12.2	17.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・普	良好	オリーブ灰 2.5GY6/1	にぶい橙 10YR6/4	ほぼ完存	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
620		SD01 北ﾍﾞﾙﾄすぐ南・No.17		サヤ鉢(小)	16.1	12.1	15.8	回転ナデ・回転糸切リ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)粗・多	良好	にぶい赤褐5YR5/4	灰白 2.5Y7/1	口縁部 4／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:香炉片付着。
621		SD01 No.54		サヤ鉢(小)	17.8	12.7	17.6	回転ナデ・回転糸切リ→ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)粗・少	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい橙 5YR6/4	底部5／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
622		SD01 0・燃焼室横		サヤ鉢(小)	15.8	12.2	17.3	回転ナデ・回転糸切リ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)粗・少	良好	オリーブ 5Y5/4	にぶい橙 5YR6/3	6／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
623		SD01 燃焼室横・No.23		サヤ鉢(小)	-	-	15.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)粗・多	良好	にぶい褐 7.5YR6/3	灰白 10YR7/1	底部3／8	底部内面:香炉片付着。
624		SD01 燃焼室横・1室横・2室横 調査区東西ベルト(北)		<上> サヤ鉢(小)	17.8	12.7	17.0	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・多	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/3	4／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部内面:香炉片？付着。
624				<下> サヤ鉢(小)	17.6	12.3	17.2	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・多	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/3	1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:遺物片付着。
625		SD01 燃焼室横		サヤ鉢(小)	14.9	13.0	15.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)粗・少	良好	灰褐 5YR4/2	にぶい橙 5YR6/3	口縁部 1／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。底部内面:香炉片付着。
626		SD01 2室横 調査区東西ベルト(北)		サヤ鉢(小)	15.6	14.0	17.2	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	橙 2.5YR6/6	2／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:遺物設置痕。
627		SD01 4室横		サヤ鉢(中)・(穿孔)	24.6	9.6	22.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)中・普 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	橙 2.5YR6/6	浅黄橙 7.5YR8/6	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
628		SD01 3室横		サヤ鉢(中)・(穿孔)	22.4	8.9	20.5	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/3	にぶい橙 5YR6/3	底部3／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:陶器・窯道具痕2。内面:粘土塊付着。
629		SD01 3室横・4室横・No.12・No.22		サヤ鉢(大)・(抉り)・(空気孔)	20.4	16.3	22.0	回転ナデ・ナデ・指オサエ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・普	良好	灰N4/	にぶい褐 7.5YR6/3	5／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。体部内面:粘土塊付着。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (12)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
630		SD01 4室横		サヤ鉢(大)・(抉り)	23.6	15.4	23.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい褐7.5YR6/3	底部1／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
631		SD01 燃焼室横・1室横・燃焼室～2室横・No.11		サヤ鉢(小)	18.6	11.1	17.9	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・多	良好	オリーブ5Y5/4	灰白5Y7/1	底部2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
632		SD01 2室横 調査区東西ベルト(北)		サヤ鉢(大)・(抉り)	27.4	15.8	23.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい橙7.5YR6/4	にぶい黄橙10YR7/3	底部1／8	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
633		SD01 4室横		サヤ鉢(大)・(抉り)	24.6	16.1	25.0	回転ナデ・板目状圧痕？→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい褐7.5YR5/3	橙2.5YR7/6	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
634		SD01 1室横		サヤ鉢(大)	18.8	15.0	25.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・多	良好	にぶい赤褐2.5YR4/3	淡赤橙2.5YR7/4	底部3／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部内面:離れ砂付着。
635		SD01 0・1室横・No.10・No.24・No.43		サヤ鉢(大)・(抉り)	26.0	16.5	24.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・稀 (黒色粒子)細・少	良好	橙2.5YR6/6	橙2.5YR7/6	底部2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
636		SD01 No.27		サヤ鉢(大)・(抉り)	26.5	18.2	21.4	回転ナデ・ヘラケズリ・板目状圧痕	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい黄橙10YR7/2	底部2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
637		SD01 1室横・2室横 調査区東西ベルト(北)		サヤ鉢(大)・(抉り)	20.8	16.2	21.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・少	良好	灰7.5Y6/1	にぶい黄橙10YR6/3	1／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
638		SD01 No.29		サヤ鉢(大or中)	-	-	(20.2)	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい橙7.5YR6/4	灰白2.5Y7/1	破片	底部外面:土瓶片・サヤ鉢片付着。土瓶色調:(外面)灰白10Y7/1(内面)灰白10Y7/1・にぶい赤褐5YR5/4(断面)灰白5Y7/1
639		SD01 2室横 調査区東西ベルト(北)		サヤ鉢(大)	24.0	15.0	23.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙5YR6/3	底部2／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
640		SD01 2室横 調査区東西ベルト(北)		敷き板(台)	16.6	13.7	3.1	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・多 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい黄橙10YR7/3	破片	上面:陶器・窯道具痕2。下面:陶器・窯道具痕3、粘土塊付着。
641		SD01 1室横		敷き板(台)	13.0	11.4	3.8	板ナデ	板ナデ・指オサエ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・少	良好	暗赤褐5YR3/3	灰N6/	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:ワトチ痕1、陶器・窯道具痕1。
642		SD01 No.46		敷き板(台)	18.7	11.8	3.7	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・多 (赤色粒子)粗・少	良好	明赤褐5YR3/2	にぶい橙5YR6/4	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕2。
643		SD01 No.52		敷き板(台)	17.5	15.8	3.3	板ナデ	板ナデ・木槌痕	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・多 (黒色粒子)粗・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい黄橙10YR7/3	破片	上面:サヤ鉢片付着、サヤ鉢設置痕。下面:陶器・窯道具痕4。
644	50	SD01 3室横		敷き板(台)	12.5	11.6	4.6	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・普	良好	橙2.5YR6/8	橙5YR7/6	破片	上面:陶器・窯道具痕1、「松木」銘。下面:粘土塊付着。
645		SD01 4室横		焼き台	8.0	2.4	10.4	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	灰白10YR8/2	下面部2／8	上面:遺物片付着。下面:ピン痕2。
646	50	SD01 4室横		トチン	8.6	17.7	9.0	指オサエ・板ナデ・ナデ	／	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・普	良好	暗褐7.5YR3/3	／	ほぼ完存	上下面:粘土塊付着。
647		SD01 燃焼室横		円環状土製品	9.0	1.9	-	回転ナデ・回転ヘラ切り→ナデ	回転ナデ・回転ヘラ切り	やや粗 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙7.5YR7/6	浅黄橙10YR8/4	2／8	
648		SD01 3室横		窯・構築材レンガ	19.5	17.3	7.5	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)1～2cm・普	良好	灰褐5YR4/2	にぶい黄橙10YR7/2	破片	上面下端:強被熱。
649	14	SD01 No.33・No.41・No.42		窯・構築材色見孔塞ぎ	-	14.8	15.8	指オサエ・ナデ	／	やや粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)10mm大・普	普通	にぶい橙5YR6/4	にぶい橙5YR6/4	ほぼ完存	下部中央に穿孔。先端部:赤黒く被熱。基部:極弱い被熱。
650		SD01 3室横		窯・構築材色見孔塞ぎ	-	12.8	12.8	指オサエ→ナデ・横ナデ	指ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	淡橙5YR8/4	6／8	下部中央に穿孔。先端部:赤黒く被熱。基部:極弱い被熱。
654		SD01 No.66		サヤ鉢(大)	24.8	15.1	22.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐7.5YR3/2	明褐灰7.5YR7/2	底部1／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
655		SD01 No.83		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	23.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)中・少	良好	にぶい赤褐2.5YR4/3	にぶい黄橙10YR7/3	底部2／8	焼け歪み。底部外面:サヤ鉢設置痕。
656		SD01 No.81		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	21.0	回転ナデ・指オサエ・板目状圧痕→板ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・多	良好・素焼き	にぶい橙5YR6/4	浅黄橙10YR8/3	底部8／8	

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (13)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
657		SD01 No.64		敷き板(台)	14.3	11.7	3.9	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・多 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR6/3	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:ワトチ痕1。下面:陶器・窯道具痕1。
658		SD01 No.72		敷き板(台)	15.0	11.6	3.9	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい橙 5YR6/3	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:ワトチ痕1。下面:陶器・窯道具痕1、サヤ鉢設置痕?1。
659		SD01		敷き板	20.6	11.8	4.9	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少	良好	橙5YR6/6	灰 10YR8/2	破片	
660		SD01 (東)・No.56		トチン	-	-	9.0	指オサエ→板ナデ	／	やや粗 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	下面:離れ砂付着。
661		SD01		焼き台	9.0	4.3	11.0	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい赤褐5YR5/3	4／8	下面:ピン痕2。
672		SD03		サヤ鉢(小)	16.3	13.5	16.0	回転ナデ・ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)粗・少 (赤色粒子)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 5YR6/3	底部2／8	底部内面:モミガラ付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
673		SD03		サヤ鉢(小)	-	-	17.4	回転ナデ・回転糸切リ→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい黄褐 10YR5/4	灰5Y6/1	底部1／8	底部内面:香炉片付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
674		SD03		サヤ鉢(浅)・(穿孔)	21.8	7.3	21.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・少 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	橙 2.5YR6/6	にぶい橙 7.5YR7/4	底部1／8	底部外面:離れ砂付着。
675		SD03		サヤ鉢(中)	27.2	12.0	26.9	回転ナデ(マメツ)・板ナデ	回転ナデ(マメツ)	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	
676		SD03		サヤ鉢(大)・(抉り)	27.7	17.7	28.0	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・多 (赤色粒子)細・少	良好	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい褐 7.5YR6/3	口縁部 1／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
677		SD03		サヤ鉢(大)	-	-	25.3	回転ナデ・回転糸切リ→板目状圧痕→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)粗・少	良好	褐 7.5YR4/4	灰黄 2.5Y7/2	底部2／8	焼け歪み。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
678	50	SD03		焼き台	26.2	3.5	31.3	回転ナデ・ヘラ切リ	回転ナデ・指オサエ	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	橙 7.5YR7/6	橙 7.5YR7/6	破片	
691		SD04		サヤ鉢(小)	15.2	11.6	18.0	回転ナデ・回転糸切リ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少	良好	暗赤褐 5YR3/2	にぶい赤褐 2.5YR4/3	底部4／8	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
692		SD04		サヤ鉢(中)・(穿孔)	23.6	11.7	23.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)細・少 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	底部2／8	
693		SD04		サヤ鉢(中)・(穿孔)	28.8	12.2	28.0	回転ナデ(マメツ)・板目状圧痕→板ナデ	回転ナデ(マメツ)	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	2／8	
694		SD04		トチン	-	-	8.8	指オサエ→板ナデ	／	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	橙 2.5YR6/6	破片	下面:粘土塊付着。
720		SK01 (東)・南北ベルト		サヤ鉢(中)	21.0	10.3	21.0	回転ナデ・板目状圧痕	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	赤褐 10R5/4	浅黄橙 7.5YR8/4	底部1／8	底部外面:離れ砂付着。
721		SK01 (東)		サヤ鉢(中)・(穿孔)	(25.4)	12.1	26.0	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (シャーモット)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	
722		SK01 調査区東西ベルト(南)		サヤ鉢(中)	26.0	11.6	23.5	回転ナデ・ヘラケズリ→ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・少 (砂岩)粗・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部1／8	
723		SK01 (東)		サヤ鉢(浅?)	23.4	7.5	23.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/3	底部1／8	底部外面:離れ砂付着。
724		SK01 No.01		サヤ鉢(浅)	28.7	7.8	28.5	指オサエ→回転ナデ・指ナデ・板ナデ	指オサエ→回転板ナデ	粗 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	口縁部 1／8	底部外面:離れ砂付着。
725		SK01 調査区東西ベルト(南)		サヤ鉢(大or中)	-	-	28.1	回転ナデ・板目状圧痕→板ナデ	回転ナデ	粗 (花崗岩)1cm・稀 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部1／8	
726		SK01		サヤ鉢(大or中)	-	-	29.8	回転ナデ・ヘラケズリ→板目状圧痕	回転ナデ	粗 (花崗岩)粗・多 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・少	良好・素焼き	橙 2.5YR7/6	浅黄橙 10YR8/4	底部1／8	
727		SK01 No.59		焼き台	9.2	2.1	12.4	回転ヘラケズリ・回転ナデ・指ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	浅黄橙 7.5YR8/6	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	
728		SK01 (東)		焼き台	-	2.7	-	回転ヘラケズリ→回転ナデ	ナデ	粗 (花崗岩)中・少 (長石・石英)粗・普	良好・ガラス化なし	にぶい橙 2.5YR6/4	橙5YR7/6	破片	
737		SK02		サヤ鉢(中)	21.8	10.2	20.0	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	橙 2.5YR7/6	浅黄橙 7.5YR8/4	口縁部 1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表(14)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
739		SK02		サヤ鉢(中)・(穿孔)	21.9	10.1	20.3	回転ナデ(マメツ)	回転ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・多	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	底部1／8	
740		SK02		サヤ鉢(中)・(穿孔)	23.7	10.1	22.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ・板目状圧痕	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (赤色粒子)中・普	良好・素焼き	明赤褐 2.5YR5/6	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	底部外面:離れ砂付着。
741		SK02		サヤ鉢(中)・(穿孔)	25.4	10.6	24.4	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	黄褐 2.5Y5/3	にぶい橙 7.5YR7/3	1／8	焼け歪み。(中)だが自然釉付着。
742		SK02		サヤ鉢(中)	26.9	9.8	26.0	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)細・普 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙 2.5YR6/6	淡橙 5YR8/4	口縁部破片	底部外面:離れ砂付着。
743		SK02		サヤ鉢(中)	23.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (花崗岩)中・少 (長石・石英)粗・普 (赤色粒子)細・普	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	橙5YR7/6	破片	
744		SK02		サヤ鉢(大)	29.7	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)粗・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい黄橙 10YR6/3	橙 2.5YR7/6	口縁部1／8	焼け歪み。
745		SK02		サヤ鉢(浅)	26.3	7.5	26.3	回転ナデ・ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	浅黄橙 10YR8/3	底部1／8	底部外面:離れ砂付着。
746		SK02		サヤ鉢(浅)	29.0	6.8	29.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)微・多	良好	灰褐 5YR4/2	浅黄橙 10YR8/4	底部1／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着、離れ砂付着。
747		SK02		サヤ鉢(浅)	-	7.9	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・少 (赤色粒子)細・少	良好	橙 2.5YR6/6	浅黄橙 7.5YR8/3	破片	底部外面:離れ砂付着。
748		SK02		サヤ鉢	-	-	(28.1)	回転ナデ・板目状圧痕	回転ナデ	粗 (花崗岩)1cm大・稀 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・少	良好	赤橙 10R6/6	赤橙 10R6/6	破片	焼け歪み。底部外面:ワトチ片付着。
749		SK02		敷き板(台?)	9.4	8.3	3.9	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	暗赤褐 2.5YR3/2	橙 2.5YR6/6	破片	上面右端:面取り。
750		SK02		焼き台	9.5	2.1	11.6	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好	褐灰 10YR5/1	褐灰 10YR5/1	2／8	下面:粘土塊付着、ピン痕3。二次的な被熱。
776		SK03 ベルト掘削・窯道具No.01・No.02・No.09・No.10・No.11・No.12		サヤ鉢(中)・(穿孔)	27.8	13.4	30.0	回転ナデ・ナデ・回転糸切り→板目状圧痕	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)微・多 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/6	淡橙 5YR8/4	底部3／8	
777		SK03 ベルト掘削・窯道具No.04・No.05・No.06		サヤ鉢(中)・(穿孔)	28.0	13.3	27.0	回転ナデ・板目状圧痕→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)細・多 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙 2.5YR6/6	にぶい橙 5YR7/4	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
778		SK03 ベルト掘削		サヤ鉢(中)・(穿孔)	29.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・多 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	淡橙 5YR8/4	淡橙 5YR8/4	口縁部破片	
779		SK03 ベルト掘削		サヤ鉢(中)・(穿孔)	24.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	灰褐 5YR4/2	橙5YR6/6	口縁部1／8	
780		SK03 ベルト掘削		サヤ鉢(中)・(穿孔)	-	-	31.0	回転ナデ・板目状圧痕→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (赤色粒子)粗・少	良好	灰褐 5YR6/2	浅黄橙 10YR8/3	底部1／8	
781		SK03 窯道具No.15		サヤ鉢(大or中)	(33.2)	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR6/3	口縁部破片	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
782		SK03 窯道具No.03・No.07		サヤ鉢(大or中)	28.4	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・多 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	橙5YR7/6	口縁部2／8	
783		SK03 ベルト掘削		サヤ鉢(大or中)	-	-	24.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄橙 10YR7/2	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
784	51	SK03 ベルト掘削・窯道具No.08		サヤ鉢(台形)	27.1	10.3	17.4	横ナデ・回転ナデ・ヘラケズリ	横ナデ・回転板ナデ(マメツ)・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	口縁部4／8	
788		SK04 No.05		サヤ鉢(小)	15.6	13.4	15.9	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・普 (金雲母)微・普	良好	にぶい赤褐5YR4/3	褐灰 5YR4/1	底部1／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部外面:山形文をヘラ描き。
789		SK04 No.07		サヤ鉢(大or中)	-	-	(28.3)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)中・少 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	焼け歪み。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
790		SK04 No.30		サヤ鉢	-	-	-	板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・少	良好・素焼き	にぶい赤褐 2.5YR5/4	橙 2.5YR6/6	底部1／8	底部外面:離れ砂付着。
791		SK04 ベルト掘削		敷き板(台)	14.3	13.5	3.5	板ナデ	板ナデ・指オサエ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	上面:ワトチ1、ワトチ痕1、陶器・窯道具痕1。下面:粘土塊付着、サヤ鉢設置痕1。
792		SK04 ベルト掘削		敷き板(台)	9.5	9.5	3.9	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	暗赤褐 5YR3/2	暗赤褐 5YR3/2	破片	上面:陶器・窯道具痕3。
793		SK04 No.31		焼き台	8.0	2.2	10.0	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/3	下面部1／8	

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (15)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
794		SK04 No.09		ドーナツ状焼き台	8.0	1.6	8.5	指ナデ・板ナデ	指ナデ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰褐 5YR4/2	にぶい赤褐5YR5/3	4／8	下面:ピン1、ピン痕5。
804		SK05 (東)		サヤ鉢(中)	24.6	8.8	25.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)細・普	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	底部1／8	
805		SK05		サヤ鉢(中)?	-	11.4	-	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ・板ナデ・マメツ	やや粗 (長石・石英)中・普 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	黒褐 10YR3/2	灰白 10YR8/2	破片	
806	14	SK05		サヤ鉢	-	-	-	板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい黄橙 10YR6/3	褐灰 10YR6/1	破片	底部外面:土瓶片(胴部径18.0cm)付着。
807		SK05 (東)		サヤ鉢(大)・(抉り)	25.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	黒褐 10YR3/2	灰黄褐 10YR6/2	口縁部 2／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
808		SK05		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	26.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ・回転ヘラケズリ	粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい橙 5YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/2	底部1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:陶器・窯道具痕。
809		SK05		敷き板(台)	13.5	13.2	3.3	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・普 (黒色粒子)細・普	良好	黄橙 7.5YR7/8	にぶい橙 7.5YR7/3	破片	上面左端:敷き板設置痕。下面左端:敷き板設置痕。
810		SK05 ベルト掘削		敷き板(台)	13.9	11.6	4.5	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・多	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい橙 5YR7/4	破片	下面右端:敷き板設置痕。上面:ワトチ痕。
812		SK05 No.2		円環状土製品	8.0	1.5	-	回転ヘラ切り・回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ・ヘラケズリ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰白 10YR8/2	灰白 10YR8/2	1／8	
813		SK05		円環状土製品	9.1	1.8	-	回転ヘラ切り・回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少	良好	橙 7.5YR6/6	にぶい橙 7.5YR6/4	1／8	
815		SK05 (東)		トチン	9.3	-	-	指オサエ→板ナデ	上面:板ナデ・離れ砂	やや粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰褐 5YR4/2	橙 2.5YR6/6	破片	上面:離れ砂付着。
816	51	SK05		トチン	-	-	11.7	板ナデ	／	粗 (長石・石英)中・多 (金雲母)細・少 (黒色粒子)中・多	良好・素焼き	灰黄 2.5Y7/2	灰黄 2.5Y7/2	破片	
820		SK06		トチン	-	-	-	マメツ	／	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
821		SK06		粘土塊	11.4	3.7	2.0	指オサエ	／	やや粗 (長石・石英)細・多 (赤色粒子)細・少	良好	橙 2.5YR6/6	橙 2.5YR7/6	ほぼ完存	
825		SK07		サヤ鉢(中)・(穿孔)	22.8	10.6	21.9	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ・板ナデ	密 (長石・石英)細・普 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	灰白 10YR8/1	灰白 10YR8/1	底部1／8	
826		SK07		サヤ鉢(中)・(穿孔)	22.4	11.0	21.9	回転ナデ・マメツ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (赤色粒子)中・普	普通・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部1／8	
827		SK07		サヤ鉢(中)・(穿孔)	-	-	22.1	回転ナデ・ヘラケズリ→板目状圧痕	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙 2.5YR6/6	浅黄橙 7.5YR8/4	底部1／8	
828		SK07		サヤ鉢(大)・(空気孔)	22.5	15.0	21.7	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・少	良好	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR6/3	口縁部破片	底部外面:サヤ鉢設置痕。
829		SK07		サヤ鉢(大)	-	-	19.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・多	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい橙 5YR6/3	底部2／8	体部外面:粘土塊付着。底部外面:サヤ鉢設置痕、離れ砂付着。
830	14	SK07		サヤ鉢(大or中)	-	-	24.0	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・普 (砂岩)粗・少	良好	褐 7.5YR4/6	にぶい黄橙 10YR7/2	破片	底部外面:土瓶蓋(口径9.2cm)付着。
831		SK07		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	27.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい赤褐5YR5/4	破片	体部外面:粘土塊付着。底部外面:遺物片付着。
832		SK07		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	24.0	回転ナデ・ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	褐灰 7.5YR4/1	灰黄褐 10YR5/2	底部1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:遺物片付着。
833		SK07		サヤ鉢(大or中)	-	-	23.9	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・少	良好	灰オリーブ5Y5/2	灰黄 2.5Y7/2	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
834		SK07		サヤ鉢(大or中)	-	-	26.0	回転ナデ・ヘラケズリ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	良好・素焼き	にぶい褐 7.5YR6/3	赤橙 10R6/6	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
835		SK07		敷き板(台)	11.1	11.1	3.0	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普 (黒色粒子)粗・少	良好	褐灰 10YR4/1	にぶい橙 7.5YR7/3	破片	上下面:サヤ鉢設置痕1。
836		SK07		敷き板(台)	7.9	10.5	2.5	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	陶器・窯道具痕1。
837		SK07		トチン	-	-	8.5	指オサエ→板ナデ・板ナデ	／	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	灰赤 2.5YR4/2	赤橙 10R6/6	底部6／8	下面部:離れ砂付着、遺物片付着。
838		SK07		焼き台	8.4	2.2	11.0	回転ヘラケズリ・回転ナデ・ナデ	ナデ・回転ナデ	やや粗 (長石)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	普通・ガラス化なし	灰赤 2.5YR4/2	にぶい橙 2.5YR6/4	下面部 2／8	下面部:ピン痕5?。

第13表　Ⅳ区　窯道具・窯構築材観察表（16）

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
847		SK08		サヤ鉢(小)	-	-	18.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)中・少	良好	オリーブ5Y5/4	灰白N7/	底部3／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着、香炉設置痕。
848		SK08		サヤ鉢(大)	23.7	15.0	24.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)粗・少 (金雲母)微・少	良好	褐灰5YR5/1	灰褐7.5YR6/2	底部1／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
849		SK08		サヤ鉢(大or中)	-	-	24.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)粗・少 (金雲母)微・少	良好	黒褐7.5YR3/1	褐灰7.5YR4/1	底部1／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
850		SK08		敷き板(台？)	9.7	11.6	3.6	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・普	良好	灰褐7.5YR4/2	にぶい黄褐10YR7/2	破片	上下面左端:敷き板設置痕。前後左側面:粘土塊付着。
851		SK08		敷き板(台)	9.7	11.1	3.3	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・普 (黒色粒子)粗・多	良好	灰オリーブ5Y5/3	浅黄橙10YR8/3	破片	上面:サヤ鉢設置痕1、陶器・窯道具痕1。下面:ワトチ片付着。
852		SK08		焼き台	7.8	2.5	11.2	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)微・多	良好・ガラス化なし	にぶい黄橙10YR6/3	灰白10YR7/1	下面部3／8	下面:ピン1、ピン痕2。
853		SK08		焼き台	8.2	2.4	9.9	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい橙5YR6/4	灰褐7.5YR6/2	口縁部1／8	下面:ピン痕2。
854		SK08		円環状土製品	(13.4)	2.3	-	ナデ・回転ナデ・ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)微・少 (褐色粒子)中・少	良好・素焼き	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	1／8	
855		SK08 No.4		円環状土製品	(14.0)	2.5	-	ナデ・回転ナデ・ナデ	回転ナデ	密 (長石)微・少 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	浅黄橙10YR8/3	浅黄橙10YR8/3	破片	
859		SK09		サヤ鉢(小)・(空気孔)	14.8	13.5	16.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)粗・少 (赤色粒子)中・少	良好	にぶい赤褐2.5YR5/3	にぶい橙7.5YR7/3	底部1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:モミガラ付着。
860		SK09		サヤ鉢(大or中)	-	-	23.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・普	良好	黄褐2.5Y5/3	灰白N7/	底部2／8	体部外面:遺物片付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
861		SK09 ﾄﾚﾝﾁ		敷き板(台？)	4.5	10.7	3.7	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・少 (赤色粒子)中・少	良好	にぶい赤褐2.5YR5/4	にぶい赤褐2.5YR5/4	破片	上面:粘土塊付着。下面:離れ砂付着。前後面:粘土塊付着。
863		SK10(炭だまり土坑)		サヤ鉢(大or中)	-	-	23.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)中・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい黄橙10YR7/3	底部1／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
865		SK11内		サヤ鉢(浅)	26.2	8.1	25.6	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	橙5YR7/6	浅黄橙10YR8/3	破片	底部外面:離れ砂付着。
866	51	SK11		サヤ鉢(大)	22.4	15.5	24.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・少	良好	褐7.5YR4/4	浅黄橙10YR8/3	2／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
867		SK11		トチン	-	-	-	指オサエ→板ナデ・指オサエ	／	粗 (長石・石英)細・多 (黒色粒子)粗・少 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	にぶい橙5YR6/4	橙2.5YR7/6	破片	
873		SX02 南ﾍﾞﾙﾄ・No.014・No.031・No.056		サヤ鉢(小)	17.2	11.9	18.0	回転ナデ・回転糸切リ→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・普	良好	褐7.5YR4/4	にぶい褐7.5YR6/3	底部4／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
874		SX02 No.009・No.040・No.041		サヤ鉢(小)・(空気孔)	16.4	12.9	17.2	回転ナデ・ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	オリーブ黒5Y3/2	灰黄2.5Y7/2	4／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
875	52	SX02 (東)		サヤ鉢(小)・(空気孔)	16.2	12.9	17.4	回転ナデ・回転糸切リ→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・多	良好	灰オリーブ7.5Y5/3	灰5Y6/1	6／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
876		SX02 No.001		サヤ鉢(小)	15.6	13.0	16.6	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	オリーブ5Y5/4	灰褐7.5YR6/2	底部2／8	底部内面:香炉片？付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
877		SX02 No.017・No.082		サヤ鉢(中)	(31.1)	11.6	(29.0)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	橙2.5YR6/6	浅黄橙7.5YR8/4	破片	底部外面:サヤ鉢設置痕。
878		SX02 No.037		サヤ鉢(浅)	29.0	6.9	29.3	回転ナデ・マメツ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (砂岩)粗・稀 (金雲母)細・少	良好・素焼き	灰白7.5YR8/2	浅黄橙7.5YR8/4	破片	底部外面:離れ砂付着。
879		SX02 北ﾍﾞﾙﾄ		サヤ鉢(大)	24.0	14.5	23.1	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・普	良好	黒褐10YR3/1	にぶい黄橙10YR7/3	破片	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
880		SX02 (西)・南ﾍﾞﾙﾄ・No.025		サヤ鉢(大)・(抉り)	24.0	16.6	26.6	回転ナデ・ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	良好	褐7.5YR4/4	にぶい黄橙10YR7/3	底部2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
881		SX02 北ﾍﾞﾙﾄ		敷き板(台)	9.2	10.4	3.8	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・多	良好	黒褐5YR3/1	にぶい橙7.5YR6/4	破片	上面:陶器片付着。下面:陶器・窯道具痕。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (17)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
882		SX02 南ﾍﾞﾙﾄ		敷き板(台)	10.1	9.2	6.3	板ナデ	板ナデ	粗 (花崗岩)粗・多 (長石・石英)中・普	良好	褐灰 7.5YR4/1	橙 2.5YR6/6	破片	上下面:陶器・窯道具痕1。
883		SX02 南ﾍﾞﾙﾄ・No.062		敷き板(台)	6.7	11.9	4.0	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・少	良好	にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい橙 5YR6/4	破片	上面:粘土塊付着。
884		SX02 No.102		トチン	-	-	11.4	指オサエ→板ナデ	／	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好・素焼き	橙 2.5YR6/6	橙5YR7/6	下面部 2／8	
885	52	SX02 (東)		ドーナツ状焼き台	8.6	1.9	9.3	指オサエ・板ナデ	指オサエ	やや粗 (長石・石英)中・少	良好・ガラス化なし	黄灰 2.5Y4/1	灰褐 7.5YR5/2	3／8	上面:陶器設置痕。下面:ピン1、ピン痕3、ワトチ片付着。
886	52	SX02 (東)		ドーナツ状焼き台	8.8	1.6	9.0	板ナデ・ナデ・指ナデ	指ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少	良好・ガラス化なし	灰褐 5YR4/2	灰褐 5YR4/2	3／8	下面:ピン1、ピン痕1。
887		SX02 北ﾍﾞﾙﾄ		ドーナツ状焼き台	7.4	1.9	8.5	板ナデ・指ナデ→板ナデ・板ナデ	指ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)細・少	良好	褐灰 7.5YR4/1	にぶい橙 5YR7/4	4／8	下面:ピン痕3。
905		SX03 調査区東西ﾍﾞﾙﾄ(北)外し		サヤ鉢(小)・(空気孔)	15.8	12.2	17.5	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・多	良好	暗赤褐 5YR3/2	にぶい赤褐5YR5/4	3／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:遺物片付着。
906		SX03		サヤ鉢(小)	-	-	16.4	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (砂岩)中・少 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい褐 7.5YR5/4	明褐灰 7.5YR7/2	底部2／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
907		SX03		サヤ鉢(小)・(空気孔)	15.0	15.0	15.9	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい赤褐 2.5YR5/4	底部2／8	底部内面:モミガラ付着。
908		SX03		サヤ鉢(大)・(空気孔)	21.0	15.7	22.0	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・多	良好	褐 7.5YR4/4	にぶい橙 7.5YR6/4	口縁部 2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
909		SX03 調査区東西ﾍﾞﾙﾄ(北)外し・SX02 No.098		サヤ鉢(大)・(抉り)・(空気孔)	25.8	15.8	26.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	明赤褐 5YR5/6	にぶい黄橙 10YR7/2	口縁部 4／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
910		SX03		サヤ鉢(大)・(空気孔)	24.6	17.1	27.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい褐 7.5YR5/4	灰5Y6/1	底部1／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
911		SX03		サヤ鉢(大or中)	-	-	24.0	回転ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	灰黄 2.5Y6/2	破片	底部外面:土瓶付着。
912		SX03		サヤ鉢(浅)	-	-	-	回転ナデ	／	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)中・少	良好・素焼き	橙 2.5YR7/6	淡橙 5YR8/4	破片	底部外面:離れ砂付着。
913		SX03		敷き板(台)	13.2	11.7	3.8	板ナデ	指オサエ	粗 (長石・石英)細・多 (砂岩)粗・多	良好	黒褐 5YR3/1	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕3。下面:陶器・窯道具痕1。
914		SX03		敷き板(台)	15.5	8.9	3.4	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・普 (黒色粒子)中・少	良好	暗灰黄 2.5Y4/2	にぶい橙 7.5YR7/3	破片	上面:ワトチ片1、ワトチ痕1。下面:サヤ鉢設置痕1。
915		SX03		敷き板(台)	14.0	12.7	3.5	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普 (黒色粒子)中・少	良好	暗褐 10YR3/3	にぶい黄橙 10YR7/2	破片	上面:サヤ鉢設置痕、粘土塊付着。下面:粘土付着、陶器・窯道具痕2。
916		SX03		敷き板(台)	14.5	10.6	3.6	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	黒褐 10YR3/2	灰白 2.5Y7/1	破片	上面:陶器・窯道具痕1、粘土塊付着。下面:陶器・窯道具痕1。
917		SX03		焼き台	9.7	2.0	11.5	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	灰褐 5YR5/2	にぶい褐 5YR6/3	下面部 4／8	下面:粘土塊付着、ピン痕4。
918		SX03		焼き台	23.9	3.2	29.2	指オサエ→板ナデ	ヘラケズリ→ナデ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)細・少 (黒色粒子)微・少	良好	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	
919		SX03		焼き台	(24.2)	3.2	29.5	指オサエ→板ナデ	ヘラケズリ→板ナデ・マメツ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (赤色粒子)微・少	良好	浅黄橙 7.5YR8/4	橙 7.5YR7/6	破片	
957		SX04 (西)		サヤ鉢(小)	15.2	13.9	16.0	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・普	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい褐 7.5YR5/3	底部2／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
958		SX04 (西)		サヤ鉢(小)	17.8	12.2	18.4	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)粗・多	良好	にぶい橙 5YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/3	底部3／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
959	15	SX04 杭下		サヤ鉢(大or中)	-	-	-	板ナデ	回転ナデ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい黄橙 10YR6/3	褐灰 10YR6/1	破片	底部外面:土瓶蓋・土瓶片付着。
960	15	SX04		サヤ鉢(小)	16.6	12.9	17.2	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR4/4	にぶい黄橙 10YR7/3	底部3／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:香炉片付着、サヤ鉢接合粘土付着。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (18)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
961		SX04 (西)		サヤ鉢(大)・(抉り)	26.1	17.2	25.5	回転ナデ・板目状圧痕	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・普 (黒色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR7/4	底部1／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。
962		SX04 (西)		サヤ鉢(大)	24.4	16.3	24.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・普	良好・素焼き	にぶい橙 5YR6/3	にぶい橙 2.5YR6/4	底部2／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
963		SX04		サヤ鉢(大)・(抉り)	22.0	16.9	25.0	回転ナデ・板目状圧痕	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・普	良好	オリーブ 5Y5/4	にぶい橙 5YR6/4	口縁部 4／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕、離れ砂付着。
964	53	SX04 南北ベルト		サヤ鉢(大)・(抉り)	27.0	16.6	23.3	回転ナデ・板目状圧痕	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好・素焼き	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい黄橙 10YR7/2	4／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。底部内面:陶器・窯道具痕1。
965		SX04 (西)		サヤ鉢(大)・(抉り)	26.0	16.5	25.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ・板ナデ	粗 (長石・石英)中・普	良好	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/2	底部4／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:ワトチ痕？1。
966		SX04 (東)		敷き板(台)	17.8	13.6	3.3	板ナデ	木槌痕・板ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普	良好	灰褐 7.5YR4/2	灰褐 7.5YR6/2	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕3。下面:土瓶蓋付着。
967		SX04		敷き板(台)	16.6	14.0	3.0	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少	良好	灰オリーブ5Y5/3	にぶい橙 2.5YR6/4	破片	下面右端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕2。下面:陶器・窯道具痕1。
968		SX04 (西)		敷き板(台)	16.7	12.3	4.0	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・普	良好	灰褐 5YR4/2	橙5YR7/6	破片	上面左端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕2。下面:陶器・窯道具痕1。
969		SX04 (西)		敷き板(支柱)	16.8	11.4	4.2	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少	良好	褐灰 7.5YR4/1	にぶい赤褐5YR5/3	ほぼ完存	左右面上下端:敷き板設置痕。
970		SX04		敷き板(支柱)	16.6	10.9	3.6	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	暗オリーブ5Y4/4	黄灰 2.5Y6/1	ほぼ完存	上下面左右端:敷き板設置痕。
971		SX04 (東)		焼き台	8.5	2.4	11.0	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ヘラケズリ・回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい橙 2.5YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/3	下面部 2／8	下面:ピン痕3。
972		SX04		トチン	9.0	－	－	指オサエ→ハケ目？	(上面)指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	灰5Y6/1	灰5Y6/1	破片	
973	53	SX04		トチン	9.3	19.1	9.5	指オサエ→板ナデ	(上面)ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・少 (赤色粒子)粗・少	良好	褐 7.5YR4/3	橙5YR6/6	ほぼ完存	上面:陶器・窯道具痕。上下面:離れ砂付着。
974		SX04 (西)		トチン	－	－	10.0	指オサエ・ナデ	(下面)板目状圧痕	やや粗 (長石・石英)粗・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい赤褐5YR5/4	橙5YR7/6	破片	
975		SX04 (西)・(東)		円環状土製品	8.0	2.0	－	回転ヘラ切り・回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	淡橙 5YR8/4	3／8	上下面:釉付着。
976	54	SX04 (西)・(東)		円環状土製品	8.7	1.8	－	回転ヘラ切り→回転ナデ・回転ナデ・回転ヘラ切り→回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・普 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	灰白 2.5Y8/2	完存	上下面:釉・陶器片？付着。
977	54	SX04 (西)		円環状土製品	8.7	1.9	－	回転ヘラ切り→ナデ・回転ナデ・回転ヘラ切り→ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・普 (黒色粒子)微・普	良好・素焼き	橙5YR7/6	灰白 10YR8/2	完存	上下面:釉付着。
978		SX04 (西)		円環状土製品	8.5	2.0	－	回転ヘラ切り・回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい橙 5YR7/4	浅黄橙 10YR8/4	4／8	上下面:釉付着。
979	16	SX04 (西)		円環状土製品	9.3	1.8	－	回転ヘラ切り・回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ・回転ヘラケズリ	やや粗 (長石・石英)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	灰白 7.5Y8/2	7／8	上下面:釉・陶器片？付着。
980	53	SX04		円環状土製品	13.5	2.4	－	回転ヘラ切り・回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (長石)微・少 (黒色粒子)微・少	良好・素焼き	浅黄橙 7.5YR8/3	明黄褐 2.5Y6/6	完存	上下面:釉付着。
981		SX04(東)		円環状土製品	14.0	2.6	－	回転ヘラ切り・回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	密 (金雲母)・微・少 (赤色粒子)微・少	普通・素焼き	灰白 10YR8/2	灰白 10YR8/2	1／8	
983		SX04		窯・構築材？	30.8	23.7	9.6	指オサエ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普	良好	赤褐 5YR4/6	にぶい橙 5YR6/4	ほぼ完存	上面:粘土塊付着、自然釉付着。
991	54	SX04		桶窯・構築材？	17.0	13.0	2.6	指オサエ→板ナデ？	板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (雲母)中・普	良好・極弱い被熱	にぶい褐 7.5YR5/4	灰白 10YR8/2	破片	側面:ヘラケズリ
992	54	SX04 (西)		桶窯・構築材矢	27.5	11.9	2.4	マメツ	マメツ・板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・多	良好・極弱い被熱	にぶい黄橙 10YR7/4	灰白 10YR8/2	破片	

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (19)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
993	54	SX04 杭下		桶窯・構築材？(底部)	-	-	-	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)微・少	良好	灰褐 7.5YR6/2	にぶい黄橙 10YR7/4	破片	穿孔2。外面:粘土塊付着。
1060		SX05 (東)溝状おち込み内		サヤ鉢(小)	14.7	12.0	16.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)粗・普	良好	橙 7.5YR6/6	にぶい黄橙 10YR6/3	2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
1061		SX05 (東)		サヤ鉢(小)	15.7	11.6	17.4	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (砂岩)粗・少 (金雲母)微・少	良好	灰N5/	灰5Y5/1	4／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
1062		SX05 (東)溝状おち込み内		サヤ鉢(小)	11.0	12.2	16.2	回転ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (砂岩)粗・稀 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい赤褐5YR4/4	灰黄褐 10YR6/2	底部1／8	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面/モミガラ付着。
1063		SX05 (西)		サヤ鉢(小)	-	-	16.0	回転ナデ・指オサエ・回転糸切り	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい橙 7.5YR7/4	底部2／8	底部外面:香炉片付着。サヤ鉢設置痕。
1064		SX05 (東)溝状おち込み内		サヤ鉢(小)	13.7	11.3	17.0	回転ナデ・回転糸切り→ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)粗・普	良好	褐 7.5YR4/4	にぶい黄橙 10YR7/3	2／8	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。口縁部上端:サヤ鉢接合粘土付着。
1065		SX05 (東)		サヤ鉢(小)	17.2	12.1	16.0	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・多	良好	にぶい赤褐5YR5/4	灰褐 7.5YR6/2	口縁部 2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
1066		SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		サヤ鉢(小)	17.2	12.5	16.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい橙 5YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/4	底部1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:遺物片付着。
1067		SX05 (東)		サヤ鉢(小)	16.4	11.5	19.2	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・多 (赤色粒子)粗・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい黄橙 10YR7/3	底部1／8	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
1068		SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		サヤ鉢(小)	-	-	15.4	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)細・普	良好	灰黄 2.5Y6/2	にぶい橙 5YR6/4	底部1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
1069		SX05 (西)		サヤ鉢(小)	-	-	18.9	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい褐 7.5YR5/4	灰黄 2.5Y7/2	底部1／8	サヤ鉢直重ね。粘土塊付着。
1070	18	SX05 (西)		サヤ鉢(小)	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・普	良好	明赤褐 5YR5/6	灰白 5Y7/1	破片	香炉2個体付着。サヤ鉢接合粘土付着。
1071		SX05 (東)溝状おち込み内		サヤ鉢(中)・(穿孔)	-	-	(19.4)	マメツ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	淡橙 5YR8/4	淡橙 5YR8/4	破片	
1072		SX05 (東)		サヤ鉢(中)	26.4	11.4	23.8	回転ナデ・回転糸切り→ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい赤褐5YR5/3	橙 2.5YR6/6	底部2／8・口縁部1／8	内面:黄褐色粘土塊付着。
1073		SX05 (東)溝状おち込み内		サヤ鉢(大)・(空気孔)	24.2	16.1	22.8	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい橙 5YR7/4	にぶい褐 7.5YR5/3	3／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。底部外面:土瓶蓋・土瓶片付着。
1074		SX05 (東)		サヤ鉢(大)・(空気孔)	29.2	15.5	25.8	回転ナデ・横ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・普 (赤色粒子)中・少	良好	明褐 7.5YR5/6	にぶい褐 7.5YR6/3	1／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。底部外面:離れ砂付着。
1075		SX05 (東)		サヤ鉢(大)・(空気孔)	23.9	15.5	24.0	回転ナデ・指オサエ・板目状圧痕	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (赤色粒子)細・少	良好	にぶい褐 7.5YR6/3	明褐灰 7.5YR7/2	口縁部 2／8	体部側面:サヤ鉢接合粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
1076		SX05 (西)		サヤ鉢(大)・(抉り)	25.7	15.5	21.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい褐 7.5YR7/3	口縁部 2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
1077		SX05 (東)		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	20.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・普	良好	灰褐 7.5YR4/2	灰黄褐 10YR6/2	底部1／8	底部外面:離れ砂付着。
1078		SX05 (東)		サヤ鉢(大)・(抉り)	22.4	15.8	22.2	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)中・少 (金雲母)微・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	灰褐 7.5YR4/2	口縁部 2／8	口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。
1079		SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		サヤ鉢(大or中)・(抉り)	-	-	22.8	回転ナデ・板目状圧痕→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・普	良好	灰褐 5YR4/2	黄灰 2.5Y6/1	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
1080		SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	24.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	褐灰 10YR5/1	にぶい橙 5YR6/3	底部1／8	体部内面:離れ砂付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
1081		SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい橙 7.5YR7/4	口縁部 破片	焼け歪み大。
1082		SX05 (東)		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	26.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・少 (金雲母)微・少	良好	灰オリーブ 7.5Y5/2	浅黄 2.5Y7/3	底部1／8	焼け歪み。底部外面:サヤ鉢設置痕。
1083		SX05 (東)		サヤ鉢(大)	19.0	15.1	21.9	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)粗・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	にぶい黄橙 10YR7/2	底部1／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
1084		SX05 (東)		サヤ鉢(大)	21.4	16.1	27.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (砂岩)細・普 (金雲母)微・少	良好	黒褐 7.5YR3/1	灰褐 7.5YR5/2	破片	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。

第13表　Ⅳ区　窯道具・窯構築材観察表（20）

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1085		SX05 (西)・ﾍﾞﾙﾄ外し		サヤ鉢(大)	-	-	23.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普 (赤色粒子)粗・少	良好	灰褐 5YR4/2	橙 2.5YR7/6	底部4／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
1086		SX05 (西)		サヤ鉢(大)	21.4	12.4	23.8	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	粗 (長石・石英)細・多 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	暗灰黄 2.5Y4/2	灰白 5Y7/1	口縁部 2／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
1087		SX05 (東)		サヤ鉢(浅)	(34.5)	7.7	(33.4)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ・指オサエ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい橙 2.5YR6/4	にぶい橙 2.5YR6/4	破片	底部外面:離れ砂付着。
1088	18	SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		サヤ鉢	-	-	-	板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・少	良好	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:土瓶片付着。
1089		SX05 (西)		サヤ鉢	-	-	-	／	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい黄橙 10YR7/4	灰白 10YR8/1	破片	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:土瓶片付着、サヤ鉢片付着。土瓶:(外面)灰白10Y7/1(内面)灰白10Y7/1(断面)灰白N8/
1090		SX05 No.33		サヤ鉢	-	-	-	板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普	良好	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:土瓶片付着。
1091		SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		敷き板(台)	13.9	13.1	3.3	板ナデ・ナデ	板ナデ・ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普	良好	褐 7.5YR4/4	褐灰 10YR6/1	破片	上下面:サヤ鉢設置痕。
1092		SX05 (東)		敷き板(台)	8.6	11.5	4.0	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・普 (黒色粒子)微・少	良好	灰褐 5YR4/2	灰褐 7.5YR6/2	破片	上面:陶器・窯道具痕1。
1093	55	SX05		焼き台	7.2	2.2	9.2	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい黄橙 10YR6/4	灰白 7.5YR8/1	2／8	上面:ピン1。下面:ピン1、ピン痕2。
1094		SX05 (東)		焼き台	7.6	2.6	10.6	回転ヘラケズリ・回転ヘラケズリ→回転ナデ	回転ナデ・ヘラケズリ	やや粗 (長石・石英)細・少	良好・ガラス化なし	灰黄褐 10YR6/2	褐灰 10YR6/1	2／8	上面:遺物片付着。下面:ピン1、ピン痕1。
1095		SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		焼き台	9.2	2.5	10.0	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/2	下面部 2／8	
1096		SX05 ﾍﾞﾙﾄ外し		焼き台	9.8	2.1	11.9	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/3	底部2／8	下面:ピン痕2。
1098		SX05 (西)		円環状土製品	11.8	2.4	-	ナデ・回転ナデ・ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石)微・少 (褐色粒子)微・少	良好	浅黄橙 10YR8/4	灰白 10YR8/2	1／8	
1099		SX05 (東)溝状おち込み内		詰め具	3.0	1.6	1.2	指オサエ	／	やや粗 (黒色粒子)微・少	良好	浅黄橙 10YR8/3	／	完存	サヤ鉢(中)の穿孔を塞ぐ粘土。
1102		SX05 (東)		サヤ鉢(穿孔)	29.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好・素焼き	橙5YR6/6	橙5YR6/6	破片	体部:三角形の穿孔。
1104		SX06 (北)		サヤ鉢(浅)	-	6.9	-	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	にぶい赤褐 2.5YR5/4	淡橙 5YR8/4	破片	底部外面:離れ砂付着。
1105		SX06 (北)		サヤ鉢(中or浅)?	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・普	良好・素焼き	灰白 7.5YR8/2	浅黄橙 7.5YR8/4	破片	
1106		SX06		サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	-	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (砂岩)粗・普	良好	褐灰 7.5YR5/1	褐灰 7.5YR4/1	破片	底部外面:サヤ鉢設置痕。
1114		A1a	堆積土	焼き台	23.4	3.0	29.0	回転ナデ・指オサエ→回転ナデ	回転ナデ・指オサエ→回転ナデ・回転ヘラ切り	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR7/6	橙 2.5YR6/6	破片	
1115	50	A1a	堆積土	焼き台	(25.3)	3.6	(31.7)	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
1127	19	A3c	表土	サヤ鉢	-	-	-	回転ナデ	板目状圧痕	やや粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	破片	底部内面:土瓶片付着。
1131		A3c	表土	桶窯・構築材矢	10.1	9.5	3.3	板ナデ	ヘラ切り?	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・少	良好・極弱い被熱	にぶい黄褐 10YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/4	破片	

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表 (21)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1134		A3b	表土	サヤ鉢(小)	-	-	(16.0)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・多	良好	にぶい黄褐 10YR5/4	褐灰 10YR6/1	底部1／8	焼け歪み。底部外面:香炉片・サヤ鉢片付着。底部内面:香炉片付着。
1135		A3b	表土	サヤ鉢(小)	-	-	(18.0)	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普 (赤色粒子)粗・多	良好	灰オリーブ7.5Y4/2	黄灰 2.5Y6/1	底部2／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢接合粘土付着。底部外面:サヤ鉢片付着。底部内面:香炉片付着。
1136		A3a	表土	サヤ鉢	-	-	-	板ナデ	回転ナデ→指ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)中・普	良好	灰オリーブ5Y4/2	黄灰 2.5Y5/1	破片	底部外面:土瓶片付着。底部内面:陶器片付着。
1137		A3a	表土	サヤ鉢(小)	-	-	19.0	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR5/4	明褐灰 7.5YR7/1	底部1／8	焼け歪み。底部外面:香炉片付着、サヤ鉢片付着。
1149	20	A3b	堆積土	サヤ鉢(小)・(空気孔)	15.0	12.6	17.0	回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・多	良好	にぶい赤褐5YR4/4	黄灰 2.5Y6/1	底部2／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。底部内面:香炉片付着。
1150		A3b	堆積土	サヤ鉢(小)	-	-	15.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR6/2	破片	底部内外面:香炉片付着。底部外面:サヤ鉢設置痕。
1151		A4a	堆積土	敷き板?	11.8	6.5	2.2	板ナデ・指オサエ	板ナデ・ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)細・少	良好・素焼き	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	
1152		A4a	堆積土	焼き台	29.2	3.2	34.4	板ナデ・ナデ・板ナデ	ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・多 (赤色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	橙 7.5YR7/6	橙 7.5YR7/6	破片	
1162	55	A4a	堆積土	桶窯・構築材矢	12.3	5.4	2.7	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・普	良好・極弱い被熱	にぶい黄橙 10YR7/2	にぶい黄橙 10YR7/3	破片	
1163	55	A4a	堆積土	桶窯・構築材矢	13.7	10.2	3.4	ハケ目	板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・多	良好・極弱い被熱	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/4	破片	
1164	55	A4a	堆積土	桶窯・構築材矢	11.2	11.2	2.5	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・普 (赤色粒子)細・少	良好・極弱い被熱	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	破片	上面:陶器設置痕2、釉(暗緑灰10GY3/1)付着。
1166		B1	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	25.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/3	にぶい橙 7.5YR6/4	底部3／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
1167		B1	堆積土	トチン	-	-	9.2	板ナデ・指ナデ	／	密 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)細・少 (赤色粒子)細・少	良好・素焼き	橙5YR7/6	橙5YR7/6	破片	
1168		B1	堆積土	トチン	-	-	7.9	指オサエ→ナデ・横ナデ	／	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・普	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/4	橙 2.5YR7/6	破片	下面:粘土塊付着、離れ砂付着。
1178		B2	堆積土	サヤ鉢(小)	17.0	13.0	17.2	回転ナデ・ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR4/3	明褐灰 7.5YR7/2	底部4／8	底部内面:遺物片付着。
1179		B2	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	24.4	15.6	22.4	回転ナデ・板ナデ・回転糸切り→ヘラケズリ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)1cm大・稀 (黒色粒子)粗・多	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい橙 7.5YR7/4	底部3／8	焼け歪み。口縁部上端/底部外面:サヤ鉢設置痕。体部・底部:接合痕あり。
1180	20	B2	堆積土(地山直上層)	サヤ鉢(大or中)	-	-	25.1	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・稀	良好	褐灰 7.5YR4/1	灰黄褐 10YR5/2	1／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着、土瓶片付着。
1181		B2	堆積土	敷き板(台)	18.1	11.9	3.9	ナデ	ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	オリーブ 5Y5/4	浅黄橙 7.5YR8/3	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:ワトチ痕1。
1182		B2	堆積土	敷き板(台)	11.7	12.6	3.5	板ナデ・板目状圧痕	板ナデ・指オサエ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普	良好	オリーブ灰10Y6/2	にぶい褐 7.5YR6/3	破片	上面:陶器・窯道具痕1、ワトチ片付着、粘土塊付着。下面:粘土塊付着。
1183		B2	堆積土	焼き台	11.9	2.9	15.4	板ナデ・回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・少	良好・ガラス化なし	橙5YR7/6	橙5YR7/6	底部1／8	
1190		B3	堆積土	サヤ鉢(小)	-	-	15.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・少	良好	灰オリーブ7.5Y5/2	にぶい褐 7.5YR5/4	底部1／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。底部内面:香炉片付着。
1191		B3	堆積土	サヤ鉢	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・少	良好	灰褐 7.5YR4/2	にぶい褐 7.5YR5/3	破片	口縁部上端:サヤ鉢接合粘土付着。
1192		B3	堆積土	サヤ鉢(小)	17.1	-	-	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・多	良好	褐灰 7.5YR4/1	にぶい橙 5YR6/4	口縁部1／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。

第13表　Ⅳ区　窯道具・窯構築材観察表（22）

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1193	20	B3	堆積土	敷き板(台)	13.4	11.8	3.9	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・普 (金雲母)微・普 (黒色粒子)細・少	良好	黒褐 7.5YR3/2	にぶい褐 7.5YR6/3	破片	上面:陶器設置痕4。
1194		B3	堆積土	敷き板(台)	12.2	11.5	3.2	板ナデ	板ナデ・指オサエ	やや粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕1。
1195		B3	堆積土	敷き板(台)	18.9	11.7	3.8	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	粗 (長石・石英)粗・少 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)粗・少	良好	オリーブ 5Y5/4	にぶい黄橙 10YR6/3	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:ワトチ片付着、陶器・窯道具痕1。下面:陶器・窯道具痕2、碗片付着。
1196		B3	堆積土	敷き板(台?)	11.8	5.4	4.7	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (赤色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR4/3	橙5YR6/6	破片	左面:粘土塊付着。右面:「×」ヘラ記号。
1197	20	A3.B3	堆積土	敷き板(台)	16.4	26.9	3.3	板ナデ	板ナデ	粗 (花崗岩)粗・普 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)粗・少	良好	オリーブ黄5Y6/4	にぶい黄橙 10YR7/2	破片	上面:サヤ鉢設置痕、碗片付着。下面:サヤ鉢設置痕、陶器・窯道具痕2。
1198		B3	堆積土(地山直上堆積土層)	ワトチ	9.6	1.1	-	ナデ	ナデ	密 (長石)細・少 (角閃石)細・少 (金雲母)微・少	良好	橙5YR6/6	橙5YR6/6	4/8	上面:陶器設置痕。
1199	56	B3	堆積土	ドーナツ状焼き台	8.1	1.6	8.5	指オサエ→ナデ	指オサエ→ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	にぶい赤褐5YR5/4	灰白 2.5Y7/1	4/8	下面:ピン3。陶器片付着。上面:遺物設置痕。
1200	56	B3	堆積土	焼き台	11.4	2.7	14.6	板ナデ・回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・普	良好・ガラス化なし	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR6/4	破片	
1201		B3	堆積土	焼き台	11.0	2.8	15.9	板ナデ・回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・普 (黒色粒子)細・普	良好・ガラス化なし	にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	破片	
1269	22	B4・B3	堆積土	サヤ鉢(小)	15.0	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR5/4	灰白 10YR7/1	口縁部 2/8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。口縁部内面:香炉片(口径9cm)付着。
1270		B4	堆積土	サヤ鉢(小)	-	-	16.7	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・少	良好	暗赤褐 2.5YR3/3	にぶい橙 2.5YR6/4	底部3/8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
1271		B4	堆積土	サヤ鉢(小)	-	-	16.0	回転ナデ・ナデ	回転ナデ・回転糸切り	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・粗 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	にぶい橙 5YR6/3	底部2/8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
1272		B4	堆積土	サヤ鉢(小)	-	-	16.0	板ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ→指ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・多	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい黄橙 10YR7/2	底部2/8	底部内面:香炉片付着、モミガラ付着。
1273	57	B4	堆積土	サヤ鉢(中)	24.8	8.3	20.8	回転ナデ・板目状圧痕	回転ナデ・回転ナデ→指ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普	良好・素焼き	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	口縁部 3/8	底部外面:離れ砂付着。
1274		B4	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	25.2	15.9	24.9	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	暗赤褐 5YR3/3	にぶい黄橙 10YR7/3	底部1/8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
1275		B4	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	26.0	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	褐 7.5YR4/3	灰黄褐 10YR6/2	底部1/8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着、離れ砂付着。
1276	23	B4	堆積土	サヤ鉢(大or中)	-	-	25.9	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少	良好	オリーブ黄5Y6/3	にぶい橙 7.5YR6/4	底部1/8	底部外面:土瓶蓋・土瓶片付着。サヤ鉢設置痕。
1277		B4	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	(25.0)	ナデ・横ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少 (砂岩)粗・少	良好	にぶい橙 2.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR7/4	破片	底部外面:離れ砂付着。
1278	23	B4	堆積土	サヤ鉢	-	-	-	板目状圧痕	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)中・普 (赤色粒子)中・普	良好	にぶい橙 7.5YR6/4	明褐灰 7.5YR7/1	破片	底部外面:土瓶蓋付着。
1279	23	B4	堆積土	サヤ鉢	-	-	-	板ナデ	回転ナデ→指ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・普	良好	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい橙 7.5YR7/3	破片	底部外面:土瓶蓋付着。(直径7.2cm)
1280	23	B4	堆積土	敷き板(台)	11.0	11.5	3.6	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・普 (黒色粒子)細・普	良好	灰黄 2.5Y6/2	にぶい赤褐5YR5/4	破片	上下面左端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕5。
1281		B4	堆積土	敷き板(台)	15.1	11.6	3.6	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・普	良好	黒 7.5YR2/1	にぶい橙 7.5YR6/4	破片	上下面右端:敷き板設置痕。上面:陶器・窯道具痕3。下面:陶器・窯道具痕1。
1282		B4	堆積土	敷き板(台)	13.2	11.8	3.4	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	暗オリーブ5Y4/4	にぶい黄褐 10YR5/3	破片	上面:土瓶片・ワトチ片付着。下面:行平鍋蓋・行平鍋片付着。釉色調:オリーブ灰10Y6/2
1283		B4	堆積土	敷き板(台)	15.6	15.1	3.7	ナデ	ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (砂岩)粗・多 (黒色粒子)中・少	良好	褐 7.5YR4/3	にぶい褐 7.5YR5/4	破片	上面:サヤ鉢接合粘土付着。上下面:サヤ鉢設置痕。

第13表　Ⅳ区　窯道具・窯構築材観察表(23)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1284	57	B4	堆積土	敷き板(台)	10.2	10.2	2.2	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (砂岩)粗・普 (金雲母)微・少	良好	黒褐 5YR3/1	にぶい黄橙 10YR7/4	破片	上面:サヤ鉢設置痕、陶器・窯道具痕2。下面:粘土塊付着。
1285	57	B4	堆積土	敷き板(台)	6.3	5.5	4.1	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・多 (黒色粒子)細・普	良好	褐 7.5YR4/3	褐 7.5YR4/3	破片	上下面:粘土塊付着。側面:「讃州」銘。
1286		B4	堆積土	トチン	−	−	9.0	指ナデ	／	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	赤橙 10R6/6	破片	下面:粘土塊付着、離れ砂付着。
1287		B4	堆積土(焼土層)	焼き台	8.4	2.3	10.8	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少	良好・ガラス化なし	橙 2.5YR6/6	橙 2.5YR6/6	2／8	下面:ピン痕1。
1300		B4	堆積土	桶窯・構築材矢	11.5	10.4	3.6	指オサエ→板ナデ	ヘラケズリ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)細・多	良好・極弱い被熱	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	破片	
1307	23	B4	表土	サヤ鉢(大or中)	−	−	(26.0)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗・やや粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)粗・少	良好	灰褐 5YR4/2	にぶい褐 7.5YR6/3	破片	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。底部内面:土瓶片付着。
1308		B4.C4	堆積土	サヤ鉢(小)・(空気孔)	14.3	13.4	14.0	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/3	にぶい赤褐 2.5YR5/3	口縁部1／8	
1309		B4.C4	堆積土	サヤ鉢(小)	16.9	−	(17.0)	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・普 (角閃石)細・普 (金雲母)微・少 (シャーモット)粗・少	良好	橙 2.5YR6/6	橙 2.5YR6/6	底部1／8	
1310		B4.C4	堆積土	サヤ鉢(大)	−	−	21.6	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)粗・少 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/4	にぶい黄橙 10YR7/3	底部1／8	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
1311		B4.C4	堆積土	サヤ鉢(大)・(空気孔)	23.0	15.1	23.0	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	密 (花崗岩)粗・稀 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)中・普	良好	オリーブ 5Y5/4	にぶい橙 7.5YR7/4	2／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
1312		B4.C4	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	−	−	23.8	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐 2.5YR5/3	明褐灰 5YR7/2	底部1／8	体部外面:サヤ鉢間粘土付着。底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。
1313		B4.C4	堆積土	サヤ鉢(大or中)	25.6	−	−	回転ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)微・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	橙5YR7/8	橙5YR7/8	口縁部1／8	
1314		B4.C4	堆積土	敷き板(台)	27.8	12.0	3.8	ナデ	板ナデ	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普	良好	黒 10YR2/1	橙5YR7/6	ほぼ完存	上下面左右端:敷き板設置痕。上面:ワトチ片付着、陶器・窯道具痕2。下面:ピン痕?1。
1315		B4.C4	堆積土	トチン	−	−	8.6	指オサエ・ナデ	／	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好・素焼き	にぶい黄褐 10YR4/3	にぶい黄褐 10YR5/3	破片	
1316		B4.C4	堆積土	トチン	−	−	8.0	ナデ	／	密 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR5/3	橙 2.5YR6/6	破片	下面:粘土塊付着、離れ砂付着。
1318		C1	堆積土	粘土塊	15.1	0.7	−	ナデ・指オサエ	ナデ・指オサエ	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 7.5YR8/6	破片	
1319		C1	堆積土(地山直上)	サヤ鉢(小)	−	−	17.3	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい褐 7.5YR5/4	灰黄 2.5Y7/2	底部2／8	底部外面:香炉片付着、サヤ鉢設置痕。底部内面:香炉片付着。
1320		C1	堆積土(地山直上)	敷き板(台)	8.0	10.0	3.4	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (黒色粒子)細・普	良好	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	破片	上面:碗口縁部?付着。下面:陶器・窯道具痕。
1324		C2	堆積土	色見孔塞ぎ	−	−	−	指オサエ→板ナデ	板状工具痕	やや粗 (長石・石英)粗・普 (シャーモット)粗・多 (砂岩)粗・普 (黒色粒子)細・少	良好	褐灰 10YR5/1	橙5YR7/6	破片	先端部:赤黒く被熱。基部:極弱い被熱。
1325		C2	堆積土	サヤ鉢(大)	25.0	13.4	25.7	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい赤褐 2.5YR5/3	口縁部破片	
1328		不明		サヤ鉢(小)	−	−	−	回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)中・多 (黒色粒子)中・多	良好	明褐 7.5YR5/6	灰白 2.5Y7/1	破片	底部外面:香炉片付着。
1329		不明	堆積土	サヤ鉢(小)	−	−	17.4	回転ナデ・回転糸切り→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)粗・普 (赤色粒子)粗・普	良好	灰褐 5YR4/2	灰黄褐 10YR6/2	破片	底部外面:サヤ鉢接合粘土付着。底部内面:香炉片付着。
1333	58	(H11. 予備調)南端 山の平坦面		サヤ鉢(小)	16.3	12.1	17.6	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・多 (金雲母)微・少 (黒色粒子)中・多	良好	にぶい赤褐5YR4/4	にぶい黄橙 10YR7/3	3／8	焼け歪み。口縁部上端:サヤ鉢設置痕。底部外面:サヤ鉢片付着。

第13表 Ⅳ区 窯道具・窯構築材観察表(24)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調3(断面)	遺存度	備考
1339		C4	堆積土	サヤ鉢(大)・(抉り)	-	-	(22.0)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	密 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	にぶい黄橙10YR6/3	破片	焼け歪み。底部外面:サヤ鉢設置痕。
1340		C4	堆積土	トチン	9.6	-	-	板ナデ・指ナデ・板ナデ→指オサエ	／	粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・普 (金雲母)微・少	良好	にぶい赤褐5YR4/3	橙2.5YR7/8	破片	上面:ワトチ痕。
1345		撹乱		サヤ鉢(大)・(抉り)	26.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)中・普	良好	にぶい橙7.5YR6/4	橙2.5YR6/6	口縁部1／8	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
1346		撹乱		サヤ鉢(大)・(抉り)	23.8	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい橙7.5YR6/4	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1／8	
1347		撹乱		サヤ鉢(大)	-	-	(24.4)	回転ナデ・板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (黒色粒子)中・普	良好	灰オリーブ5Y6/2	にぶい黄橙10YR7/4	破片	底部外面:サヤ鉢設置痕。
1348		撹乱		サヤ鉢(大or中)	-	-	24.0	回転ナデ・ヘラケズリ→板ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)粗・少 (黒色粒子)中・少	良好	暗オリーブ7.5Y4/3	にぶい褐7.5YR6/3	底部1／8	底部外面:サヤ鉢設置痕。
1349		撹乱		サヤ鉢	-	-	-	回転ナデ	回転ナデ	粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・多	良好	オリーブ5Y5/4	灰白N7/	口縁部破片	口縁部上端:サヤ鉢設置痕。
1350		撹乱		敷き板(台)	13.4	7.8	3.4	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・多	良好	黒褐7.5YR3/2	橙2.5YR6/6	破片	上面:ワトチ片付着、陶器・窯道具痕1。下面:サヤ鉢設置痕。
1351		撹乱		敷き板(台)	17.5	14.0	3.5	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)粗・普 (砂岩)1cm大・稀 (黒色粒子)粗・少	良好	灰褐5YR4/2	にぶい橙5YR6/3	破片	上面:陶器・窯道具痕1、ワトチ付着。下面:遺物片付着。
1352		撹乱		敷き板(支柱)	7.8	6.7	3.6	指オサエ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)粗・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	黒褐7.5YR3/2	にぶい橙5YR6/4	破片	左面上端:敷き板設置痕。
1353		撹乱		敷き板	9.4	10.1	4.0	板ナデ	板ナデ	粗 (花崗岩)中・多 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰褐5YR5/2	灰褐5YR5/2	破片	下端のみ強く被熱。
1354		撹乱		焼き台	7.9	2.4	10.4	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)細・少	良好・ガラス化なし	灰褐5YR5/2	灰褐5YR6/2	2／8	下面:ピン痕2。
1355		撹乱		焼き台	9.0	1.9	12.4	回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (黒色粒子)微・少	良好・ガラス化なし	にぶい褐7.5YR6/3	灰褐7.5YR6/2	1／8	下面:ピン痕1。
1356		撹乱		詰め具	5.5	9.2	1.7	／	／	やや粗 (長石・石英)細・少 (赤色粒子)中・普	良好	暗赤褐5YR3/2	浅黄橙7.5YR8/4	破片	平瓦転用。上下側面:粘土塊付着。

第13表　Ⅳ区　窯道具・窯構築材観察表(25)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
462		SF01 4室(南西)	堆積土	平瓦	14.0	23.0	1.9	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)微・少 (赤色粒子)細・少	良好	暗灰N3/	暗灰N3/	浅黄橙 7.5YR8/3	破片	
463		SF01 4室(南西)	堆積土	平瓦	11.7	23.3	1.9	板ナデ→ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (赤色粒子)微・少	良好	灰N4/	灰N4/	灰白10YR8/2	破片	
585		SF01 煙出し(東)	堆積土	平瓦	13.8	24.4	1.6	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)細・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰N5/	にぶい褐 7.5YR5/3	浅黄橙 10YR8/4	破片	
586		SF01 煙出し No.101	床面直上	平瓦	12.0	18.8	1.9	板ナデ・マメツ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	普通	灰10Y4/1	浅黄橙 7.5YR8/6	浅黄橙 7.5YR8/6	破片	凹面:キラコ付着。
587		SF01 煙出し(東)	堆積土	平瓦	9.8	9.0	1.6	板ナデ	板ナデ・マメツ	密 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰N4/	灰N4/	灰白2.5Y8/1	破片	
588		SF01 煙出し No.001	床面直上	平瓦	12.4	14.3	1.9	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	破片	
589		SF01 煙出し No.008	床面直上	平瓦	11.0	13.9	1.6	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石)微・少 (金雲母)微・少	良好	灰N4/	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	破片	
590		SF01 煙出し(東)	堆積土	平瓦	16.2	18.0	1.5	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・少 (金雲母)細・少	良好	灰N4/	暗灰黄 2.5Y4/2	灰白10YR8/2	破片	
591		SF01 煙出し No.102	床面直上	平瓦	12.0	10.6	1.8	板ナデ	板ナデ	密 (長石)粗・稀	良好	灰N4/	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	破片	
592		SF01 煙出し No.014	床面直上	平瓦	12.6	12.6	1.5	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少	良好	オリーブ黒 5Y3/1	オリーブ黒 5Y3/1	にぶい黄橙 10YR7/4	破片	
593		SF01 煙出し No.103	床面直上	平瓦	13.6	12.3	2.0	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (砂岩)中・稀 (黒色粒子)微・少	良好	灰黄褐 10YR6/2	黄灰2.5Y4/1	にぶい黄橙 10YR7/4	破片	凸面:煤付着。
594		SF01 煙出し	堆積土	平瓦	13.9	9.1	2.0	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・普 (黒色粒子)細・少	良好	灰黄2.5Y7/2	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	破片	
651		SD01 1室横・2室横調査区東西ベルト(北)		平瓦	9.0	15.4	1.9	板ナデ	板ナデ	やや粗 (花崗岩)粗・少 (長石・石英)中・少 (砂岩)粗・少	普通	灰白10YR8/2	灰白10YR8/2	浅黄橙 10YR8/3	破片	
663	50	SD01 No.85		平瓦	27.2	24.0	1.6	板ナデ	板ナデ	密 (長石・石英)細・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	淡橙5YR8/4	浅黄橙 10YR8/3	淡橙5YR8/4	ほぼ完存	
664		SD01		平瓦	25.0	22.0	2.0	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)細・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰オリーブ 5Y6/2	灰5Y6/1	灰黄2.5Y7/2	3／4	凹面:キラコ付着。
665		SD01 No.75・No.77・No.78・No.80		平瓦	25.8	7.5	1.7	板ナデ(マメツ)	板ナデ(マメツ)	粗 (長石・石英)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	黒褐 2.5Y3/1	破片	

第14表 Ⅳ区 瓦観察表 (1)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	外面	内面	胎土	焼成	色調1(外面)	色調2(内面)	色調3(断面)	遺存度	備考
666		SD01 No.73		平瓦	18.7	13.9	1.6	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)中・少 (金雲母)微・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰5Y5/1	灰白5Y8/1	灰白5Y8/1	破片	右側面:キラコ付着。
667		SD01 No.58		平瓦	10.5	11.2	1.6	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (黒色粒子)細・少	良好	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	破片	
668		SD01 No.61		平瓦	16.0	10.1	1.6	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (赤色粒子)細・少	良好	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	破片	
814		SK05		平瓦	10.7	9.8	1.6	指オサエ→板ナデ	指オサエ→板ナデ	やや粗 (長石・石英)細・普 (金雲母)微・少 (黒色粒子)微・少	良好	暗灰N3/	灰白5Y7/1	灰白2.5Y8/2	破片	
862		SK09		平瓦	14.1	7.2	1.6	マメツ	マメツ	やや粗 (長石・石英)細・少 (褐色粒子)細・少	良好	灰N4/	灰N4/	灰白2.5Y8/2	破片	
920		SX03 調査区南北ベルト(東)外し		平瓦	7.6	7.5	1.9	板ナデ	板ナデ	粗 (長石・石英)細・少 (砂岩)1cm大・稀	良好	黄灰2.5Y6/1	黄灰2.5Y6/1	浅黄2.5Y7/3	破片	
982		SX04		平瓦	14.2	12.0	1.7	板ナデ	板ナデ	やや粗 (長石・石英)中・少 (赤色粒子)粗・少 (黒色粒子)細・少	良好	灰N4/	灰N4/	灰白10YR8/2	破片	

第14表 Ⅳ区 瓦観察表 (2)

報文番号	図版番号	出土位置	出土層	器種	現存長	現存幅	現存厚	重量	残存率	材質	形態・手法の特徴	備考
1142		A3a, A3b	表土	砥石	5.4	3.4	1.9	51.04	破片	サヌカイト		左側面：下部に研磨面・下面：擦痕有り

第 15 表　Ⅳ区　石器観察表

報文番号	図版番号	出土位置	出土層	器種	現存長	現存幅	現存厚	重量	残存率	材質	形態・手法の特徴	備考
995		SX04		鉄斧	1.9	5.6	1.3	15.04	破片	鉄		
1301		B4	堆積土	鋸？	5.2	2.3	0.3	13.44	破片	鉄		
197		SF01, 燃焼室		鎹	18.8	1.0	0.9	82.60	完存	鉄		下部で折れ曲がる

第 16 表　Ⅳ区　鉄製品観察表

図　版

①

遺跡　遠景（南から）

②

Ⅳ区　SF01　作業風景（北東から）

③

Ⅳ区ＳＦ01検出状況（北から）

④

Ⅳ区ＳＦ01燃焼室検出状況（北から）

⑤

Ⅳ区ＳＦ01焚口検出状況（南から）

⑥

Ⅳ区ＳＦ01燃焼室東側壁検出状況（西から）

⑦

Ⅳ区ＳＦ01第１室西側壁検出状況（東から）

⑧

Ⅳ区ＳＦ01第2，3室間通炎孔検出状況（西から）

⑨

Ⅳ区ＳＦ01第3室奥壁検出状況（北から）

⑩

Ⅳ区ＳＦ01第3室西側壁検出状況（東から）

⑪

Ⅳ区ＳＦ01第４室検出状況（北から）

⑫

Ⅳ区ＳＦ01第４室西側壁検出状況（東から）
（矢印のある奥壁破損部では先行して形成された側壁が見える。P180参照）

⑬

Ⅳ区ＳＦ01第４，５室間通炎孔検出状況（北西から）

⑭

Ⅳ区ＳＦ01第５室奥壁検出状況（北から）

⑮

Ⅳ区ＳＦ01第５室西側壁検出状況（東から）

⑯

Ⅳ区ＳＦ01煙出し検出状況（北から）

⑰

Ⅳ区ＳＦ01遺物出土状況（北から）

⑱

Ⅳ区ＳＦ01第１～３室遺物出土状況（南から）

⑲

Ⅳ区ＳＦ01第４室遺物出土状況（西から）

⑳

Ⅳ区ＳＦ01第３室遺物出土状況（西から）

㉑

Ⅳ区ＳＦ01第４室遺物出土状況（南から）

㉒

Ⅳ区ＳＦ01第５室遺物出土状況（西から）

㉓

Ⅳ区ＳＦ01第５室火床遺物出土状況（西から）